SHARP

パーソナルモバイルツール

形名 **MI-P10**

取扱説明書

もくじ
時計
基本的な使いかた
電卓
基本操作
情報ファイル
文字入力
アクションプランナー
所有者情報
検索/絞り込み
メール
データ編集
インターネット
ユーザー設定
アドレス帳
メモリー管理
スケジュール
シークレット
アクションリスト
カード
レポート
バックアップ/リストア
パーソナルデータベースII
PCリンク
フォトメモリー
データ交換
クイックメモ
名刺交換
デジタルカメラ
パソコンデータ
MOREソフト
買い替えのお客様
統合辞典
付録

はじめに

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店または、もよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
別添の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

- この製品を正しくお使いいただくために、この『取扱説明書』と別冊の『取扱説明書（通信ガイド）』をよくお読みになってからご使用ください。また、この『取扱説明書』と別冊の『取扱説明書（通信ガイド）』は、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役にたちます。
- 当社は、この製品の使用誤り、ご使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き一切その責任を負いません。
- 当社は、この製品において内蔵機能（ソフトウェア）、MOREソフトなどの追加ソフトウェアを使用された結果に関しては、いかなる保証も致しかねますので、あらかじめご了承のほどお願い申しあげます。
  なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
- お客様または第三者がこの製品の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
- 次のことを必ずお守りください。
  重要な内容は必ず控えを取っておいてください。パソコン連携ソフト（別売のパソコン連携キットCE-P10PKに付属）や当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードを使って、バックアップ（保管）することができます。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

- この製品では、当社MI-EX1、MI-600/500シリーズ、MI-10用のPCカード、PI-8000/PI-6600/PI-6500/PI-6000/PI-5000/PI-4500/PI-4000/PI-3000用、PV-F1用や電子手帳用のICカードは使用できません。

- **本書をお読みになる前に**
  この製品に同梱の「はじめにお読みください」をご覧になり、この製品をお使いになる前の準備をしてください。
- この製品で利用できる周辺機器には、入手困難または現在生産されていないものが含まれています。すでに、周辺機器を入手されているお客様への説明として記載しているものもありますので、周辺機器のご購入に際しては、この製品をお買いあげの販売店にお問い合わせください。

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。
⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

🚫 記号は、してはいけないことを表しています。

❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

■ MI-P10 本体の取り扱いについて

⚠ 警告

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。 ❗
- 万一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まずACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。 ❗
- 指定のACアダプターや充電池をご使用ください。指定以外のACアダプターや充電池などを使用すると、火災・事故の原因となります。 ❗

■ MI-P10 本体の取り扱いについて（続き）

⚠ 注意

● ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

■充電池の取り扱いについて

⚠ 危険

● 充電池（リチウムイオン充電池）について、次のことをお守りください。発熱・発火・破裂の原因となります。

- MI-P10 で使用できる充電池は、EA-BL05 です。これ以外の充電池は使用しないでください。
- プラスとマイナスの向きが決められています。MI-P10にうまく装着できないときは、無理をしないで、充電池の向きを確かめてください。
- 充電にはMI-P10および付属のAC アダプター（EA-66）以外のものを使用しないでください。また、この充電池は指定機器以外の機器には使用しないでください。
- 直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所（60°C以上）に放置しないでください。
- 釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- 充電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけないでください。
- 外傷、変形の著しい充電池は使用しないでください。
- 分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
- 水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
- 端子をショートさせないでください。金属小物（鍵、アクセサリー、ネックレスなど）と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。

● 充電池からもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。障害を起こす恐れがあります。

■充電池の取り扱いについて（続き）

⚠ 警告

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
- 水や海水に浸けたり、雨滴などでぬらさないでください。万一、ぬれた場合には、直ちに使用を止めてください。
- 充電池から液がもれたり異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。
- 液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
- 充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

● 充電池を誤って飲み込むことがないように、充電池は乳幼児の手の届かない所へ置いてください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。

⚠ 注意

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となることがあります。
- 小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。
- 乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が MI-P10 から取り出さないように注意してください。
- 充電は必ず 5 ～ 35℃の範囲で行ってください。
- 充電方法については、MI-P10の取扱説明書をよくお読みください。
- 使用した後は、必ず使用機器（MI-P10）の電源を切ってください。

● 充電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

■充電池の取り扱いについて（続き）

⚠注意

● 充電池を本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われたときは、充電池を本体に装着しないでお買いあげの販売店にご持参ください。

■ AC アダプターの取り扱いについて

⚠警告

● 表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。

● 付属のACアダプターをコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

● ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。

● 次のことをお守りください。火災や感電の原因となります。

・ACアダプターを水やその他の液体につけたり、ぬらしたりしないでください。

・ACアダプターおよび本体の上やそばに、液体の入った容器を置かないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。

・お客様による改造や分解・修理はしないでください。

・ACアダプターに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

・ACアダプターに針金などの金属を差し込んだりしないでください。

・コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。

● 使用されないときには、安全のため、ACアダプターをコンセントおよびMI-P10本体から外しておいてください。

■ AC アダプターの取り扱いについて（続き）

⚠ 警告

● 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにAC アダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。

● 雷が鳴りはじめたら、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

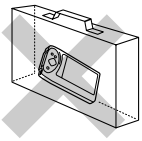
⚠ 注意

● AC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

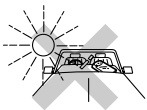
● 火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。
  - 周囲温度 0 ～ 40℃、湿度 35 ～ 85%の範囲でご使用ください。
  - 直射日光の当たる場所では使用しないでください。
  - ほこりの多い場所に置かないでください。
  - 重い物を載せたり、落下しやすいところに置かないでください。
  - 電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

使用上のご注意とお手入れのしかた

電源を入れたまま、コンパクトフラッシュメモリーカードなどの抜き差しはしないでください。
データが壊れたり正常に働かなくなることがあります。



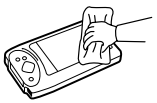
持ち運ぶときや使用しないときは、必ずクリアカバーを取り付けてください。
クリアカバーを取り付けずに持ち運ぶと、表示部が割れたり傷ついたりします。



日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。
高温により、変形や故障の原因となります。

落としたり、ズボンのポケットに入れたり、強いショックを与えたりしないでください。
故障や破損の原因となります。

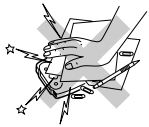
ホコリの多い場所や湿度の高いところに置いたり、使用しないでください。
故障の原因となります。



表示部は、ときどき乾いた柔らかい布でふいて、汚れないようにしてください。
汚れたまま画面にタッチすると傷つくことや、タッチペンのすべりが悪くなることがあります(☞8ページの「メモ」)。

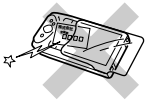
お手入れは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。

表示部(画面)やタッチパネルキー、クリアカバーを強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。
表示部やキー、クリアカバーを傷めることがあります。

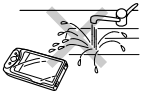


本体の上に書類などをのせないでください。
誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。

突起部のある硬いものと一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。
入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落とすなど）によっては、クリアカバーや表示部の破損の原因となります。



クリアカバーと本体の表示部の間に名刺やテレホンカード、ペンなどを入れないでください。
クリアカバーの上から力が加わったときなどに表示部に荷重がかかり、表示部が割れたり傷ついたりします。



防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

使用中に、強い磁石を近づけないでください。
故障の原因となります。

ご注意

- この製品を落としたり、満員電車の中などで強い衝撃や力を加えないでください。表示部(画面)などの破損の原因となります。ハンドストラップなどをご利用になって落下しないようにしてください。
- この製品のデジタル携帯電話アダプター/cdmaOneアダプター/PHSアダプター機能は、日本国内での使用を目的に設計されておりますので、海外では使用できません。
  The built-in PDC/cdmaOne/PHS adapter of this product are designed for use in Japan only.
  They must not be used in any other country.
- この製品は使用誤りや故障により記憶内容が変化・消失する場合があります。重要な内容は必ず控えを取っておいてください。パソコン連携ソフト(別売のパソコン連携キットCE-P10PKに付属)や当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードを使って、保管(バックアップ)することもできます。
- この製品は**戻る**(電源)ボタンを押すか、表示部に触れると電源が入ります。この製品に周辺機器を接続するときには、誤って電源が入らないように、画面にタッチしたり、**戻る**(電源)ボタンを押さないようにして周辺機器を接続してください。
- 航空機内や病院内の一部など、デジタル携帯電話やPHSなどの使用を禁止された区域では使用しないでください(この製品は、デジタル携帯電話やPHSなどを接続して通信を行います。デジタル携帯電話やPHSなどは航空機内では使用が禁止されています。くわしくは、航空会社にお問い合わせください。また、医療機関内での使用については、各医療機関の指示に従ってください)。胸部(胸ポケット)に入れて使用すると、ペースメーカーに悪影響を及ぼす場合があります。バッグなどに入れて携帯してください。
- タッチペンのペン先や画面の汚れを取って操作してください。汚れたまま操作すると、表示部に傷がついたり、ペンのすべりが悪くなることがあります(☞このページの「メモ」)。
- 画面やタッチパネルキーの操作は、付属または別売のタッチペンを使ってください。鉛筆やシャープペンシルなど先のとがったものは、使わないでください。表示部やタッチパネルキーを傷つけます。

メモ

- 表示部や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。
- ゴミやホコリなどの多いところでよくお使いの場合には、画面の保護のために別売の「液晶保護シート(OZ219S5)」のご使用をおすすめします(同梱の「MI-P10システムのご案内」を参照してください)。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオ、テレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。
- AC アダプターとラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

なお、くわしくはもよりの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口までご相談ください。

こんなことができます

メールマガジンを読みましょう

ポストマガジンクラブ

ポストマガジンクラブとは、エッセイやイラスト、マンガなどを配信するメールマガジン配信サービスです。
自分で創作したマンガ、エッセイなどをメールマガジンとして発行したり、ほかの人の作品を楽しむこともできます。
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』64ページ)

ホームページを読んだり、メールのやり取りをしましょう

インターネット/メール

インターネットでお気に入りのホームページを見ましょう。
メールでは、メールの送受信のほか、お知らせメールなどの便利な機能を使うこともできます。
(☞本書の126、96ページ、『取扱説明書(通信ガイド)』52、32ページ)

住所やメールアドレスを登録したり、毎日の予定を管理しましょう

アドレス帳/スケジュール

日頃よく使うアドレス帳やスケジュールをいろいろな角度から管理することができます。
(☞161、187ページ)

自分だけのデータ集を作りましょう

レポート&自由帳/パーソナルデータベースII

決まったフォームに従ってレポートやデータベースを作ることができます。
また、オリジナルフォームを作って目的にあったデータベースができます。
(☞214、227ページ)

手書きのイラストやメモを書きましょう

フォトメモリー/クイックメモ

手書きでイラストや地図を書いたり、手書メモをアドレス帳などに貼り付けたりできます。
（☞264、281ページ）

辞典で調べましょう

統合辞典

国語辞典、漢和辞典、英和辞典、和英辞典を使って、わからない漢字や英単語を調べることができます。
（☞302ページ）

大切なデータを保存しましょう

カード/バックアップ/リストア

当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードに、この製品で作成したデータを保存できます。
（☞375、382ページ）

パソコンやほかのザウルスと通信しましょう

PCリンク/データ交換

パソコン連携ソフトでパソコンとデータをやり取りしたり、ほかのザウルスと通信することができます。
（☞389、399ページ）

便利な機能を使いましょう

このほか、登録したデータをファイルに分類したり、わからない言葉を辞典で調べるなど便利な機能が多くあります。

- 「アクションリスト」…用件にランクをつけて登録する（☞210ページ）
- 「デジタルカメラ」…別売のデジタルカメラカードCE-AG06（☞285ページ）を使ってデジタル写真を撮影する
- 「電卓」…10桁までの計算ができる（☞324ページ）
- 「アクションプランナー」…関連データを抽出する（☞338ページ）
- 「MOREソフト」…ザウルス用のソフトが使える（☞296ページ）
- 「時計」…世界の時間もわかる（☞321ページ）
- 「情報ファイル」…各機能のデータを整理する（☞326ページ）
- 「検索/絞り込み」…機能ごとに検索する（☞340ページ）

本書の見かた

1 はじめに

見出しと説明文を読み、これから操作する機能と目的を確かめます。

2 操作する

大きな操作ステップ（1、2、3…）
操作するステップが多いときなどに、大きなまとまりごとに、分けています。具体的な操作は小さな操作ステップに従って行います。

小さな操作ステップ（❶、❷、❸…）
操作ステップに従って操作してください。簡単に操作できます。

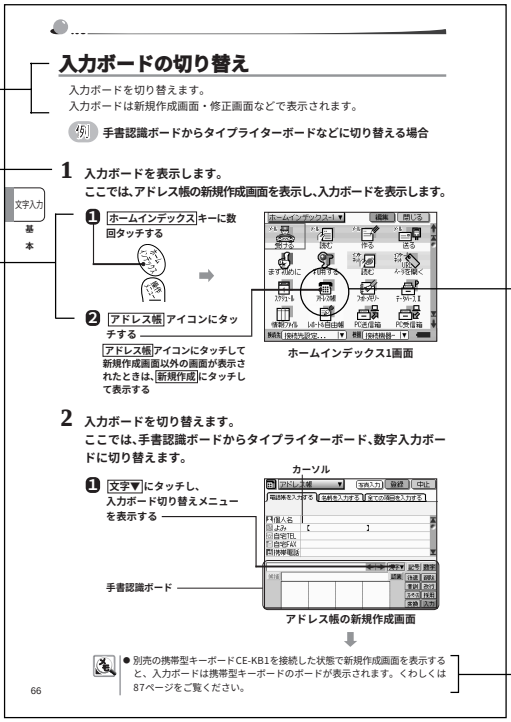
3 くわしく

操作をマスターした後、メモの補足説明を読むと、さらに内容がよくわかります。

1
これから行う操作の概要や前提を確認します。

2
大きなステップ
操作のひとまとまりを説明しています。

小さなステップ
1つ1つの操作手順を❶→❷…の順番に説明しています。



棒引きしている箇所で操作できることを示します。

3
操作するときに、知っていると役に立つ情報などを説明しています。

本書の表記

●ボタンやキーの表記

- 戻る …… 本体左側にあるボタンは、戻る(電源)ボタンなどと表記します。また、◇は、◇(スクロールボタン)と表記します。
- 新規作成 …… 作業を実行する 新規作成 などのボタンは、 で囲って示します。などのタッチパネルキーは、ホームインデックス キーと表記します。
  ホームインデックス1画面などに表示されるアイコンは、たとえば、 は アドレス帳 アイコンと表記します。
- 一覧へ …… 画面を切り替える 一覧へ などのボタンは で囲って示します。

●タッチ操作の表記

1回または2回タッチする ……データなどに1回または2回タッチすることです。

- 選択してグレーに表示されているデータなど …… 1回タッチする
- 選択していないデータなど …… 2回タッチする

選択しているグレーの表示の部分に1回タッチすると、選ばれる

選択していない部分に2回タッチすると、選ばれる

●マーク

メモ …補足的なことを説明しています。 重要 … 大切なことを説明しています。

ご注意 …注意していただきたいことを説明しています。

●表示画面

- 本書に記載されている画面は、実際の製品で表示される画面とは異なる場合があります。
- 実際の画面では、数字のゼロと英字のオーを区別するために、ゼロは「0」と表示されます。

もくじ

はじめに ..... 表紙の裏
安全にお使いいただくために 1
使用上のご注意とお手入れのしかた 6
こんなことができます 10
本書の見かた 12
本書の表記 13

基　本

基本的な使いかた

各部のなまえとはたらき 25
クリアカバーの取り外し/取り付け 27
タッチペンの取り出し/取り付け 28
電源の入/切 29
ACアダプターの接続と充電について 31

基本操作

インデックス画面の表示と機能を選ぶ 32
インデックス画面の切り替え 34
コラム ・メニューでインデックス画面を変えるには 35
プレイ インデックス画面 36
ホームインデックス1画面 37
ホームインデックス2画面 38
ツールインデックス画面 39
MOREインデックス画面 40
本体機能インデックス画面 40
ボタンを押して操作する 41
各ボタンのはたらき 41
タッチパネルキー 45
操作メニューを使う 46
インデックス画面を編集する 48
インデックス画面でアイコンを追加・隠す・移動する 48
オリジナルインデックス画面を作る 50
電源を入れたときや[ホームインデックス]キーにタッチしたときの画面を変更する 51
電源を入れたときに表示される画面を変更する 51
(戻る)(電源)ボタン、[ホームインデックス]キーで表示する画面を変更する 52
文字を拡大して表示する 53
画面各部のなまえと操作 54
お好みメニューを設定する 60
お好みメニューにメニューを登録する 60
次に行う操作を教えてくれる 62
次に行う操作を教えてくれる 62

文字入力

入力ボードの種類 64
9つの入力ボードの概要 64
入力できる文字と入力ボード 65
入力ボードの切り替え 66
手書認識ボードで入力する 68
文字を手書きする 68
コラム ・入力中の文字を修正するには(入力行での修正) 73
コラム ・採用した文字を修正するには(入力項目での修正) 74
ひらがなを漢字に変換する 75
コラム ・漢字変換中に修正するには 79
コラム ・採用されたひらがなを漢字にするには 80
コラム ・人名・地名をすばやく入力するには 80
50音ボードで入力する 81
タイプライターボードで入力する 83
数字入力ボードで入力する 85
記号入力ボードで入力する 86
携帯型キーボードで入力する 87
携帯型キーボード表示 87
携帯型キーボードの使いかた 88
その他の入力ボードで入力する 91
ユーザー辞書ボード 91
常用語ボード 91
区点入力ボード 91

所有者情報

所有者情報を登録する **93**

通信する

メール（2）

ほかの機能で作成したデータを送信する **96**
他機能のデータをメール本文として送信する **98**
データを添付して送信する **99**
便せんをつけてメールを送信する **100**
便せんを選ぶ **100**
メールの送りかたを変える **102**
未送信のメールをまとめて送信する ..... 一括送信 **102**
ｺﾗﾑ ・作成途中のメールを登録だけして、一時的に送信しないようにする **102**
送信したい未送信のメールだけを選んで送信する ..... 選択送信 **103**
一度送信したメールをもう一度送信する ..... 再 送 **103**
お知らせメールを設定する ..... **お知らせメール** ... **104**
お知らせメールを送信するまでの流れ **105**
お知らせメールを設定する **105**
お知らせメールを（本文メールと同時に）送る ... **108**
宛先を選択する **109**
アドレス帳で登録したデータを選択する **109**
宛先を直接入力する **111**
送信簿のメールを確認・修正・削除する **112**
送信簿で未送信メールや送信済みのメールを確かめる **112**
未送信のメールを修正する **112**
未送信メールや送信済みメールを削除する **113**
ｺﾗﾑ ・複数のメールを選択して削除する **113**
メールを受信する **114**
メールを選んで受信する **114**
受信したメールを見る **115**
受信したメールを自動的に分類する ..... メール自動分類 **116**
受信メールを削除する **116**
ｺﾗﾑ ・受信メールでのプレイ インデックスと受信簿の関係について **116**
メールを返信する ..... **返 信** ... **117**
メールを転送する ..... **転 送** ... **118**
条件を指定して送信/受信する **119**
1、自分宛にも同じメールを送信する **119**
2、メール送信時、決まった文章を自動的に入れる **119**
3、相手がメールを受け取ったことを確認する **120**
4、大きなサイズのメールをスキップして受信する **120**
5、メール送信と受信を一度に行う **120**
6、一度受信したメールをパソコンなどで再度受信する **120**
条件設定（Internet）画面について ..... **メール条件設定** ... **121**
メール送受信の留意点 **123**
メール送信の留意点 **123**
メール受信の留意点 **124**

インターネット（2）

インターネットブラウザの特長 **126**
ホームページを指定して録画の予約をする ..... **予約録画** ... **130**
取り込む（録画する）ページを設定する ..... 予 約 **130**
取り込むページと時刻を設定する **134**
録画したホームページを見る **137**
予約録画ページの設定をくわしく行う **138**
同じページをすぐ開いて見る ..... **マークページ** ... **141**
表示しているページにマークをつける **141**

もくじ

アドレスを指定してマークページを登録する 142
マークしたページを開く 143
マークページをフォルダに移動する 143
インターネット接続中のご注意 144
IDやパスワードを簡単に入力する ..... ID入力ボード ... 145
ID入力ボードにIDやパスワードを登録する 145
ID入力ボードを使ってIDやパスワードを入力する 146
ホームページのアドレスに直接接続する ..... なぞってインターネット ... 148
接続中の画面で操作する 148
画面上のボタンやアイコンにタッチして操作する 148
ツールパレットを使って操作する 149
(スクロールボタン)や決定ボタンを使って操作する 150
文字を入力する 151
MOREソフトなどをダウンロードする 152
クイックパスをダウンロードする 153
画像を保存する 153
メールを送る 154
SSLに対応したホームページに接続する 155
通信状態の設定について ..... 条件設定 ... 156
ツールパレットや画像データの表示を設定する ..... 表示設定 156
ホームページや画像をカードに登録する ..... 保存先設定 157
(スクロールボタン)などの操作方法を変更する ..... 操作設定 157
キャッシュをカードに指定したり、SSLやCookieを使う ..... 詳細設定 158
保存したページを見る ..... インターネットライブラリ ... 160

情報を管理/活用する

アドレス帳

始めましょう

アドレス帳にデータを入れる 162
アドレス帳のデータを見る 167
個人名から個人の電話番号などを見る 167
個人名から会社の電話番号などを見る 168
会社名から個人の電話番号などを見る 169
データを修正する 171
データを削除する 171

連絡をとる予定と連絡先を入れる ..... コンタクト登録 ... 172
連絡をとる予定を入れる 172
スケジュール画面で連絡をとる内容を見る 174
連絡をとった履歴を見る 174
メールアドレスを入力する ..... メールアドレス ... 175
2種類以上のメールアドレスを入力する 175
複数のメールアドレスをグループ登録する 177
住所や郵便番号を調べる 178
郵便番号から住所を入力する ..... 郵便番号変換 178
住所から7桁の郵便番号を入力する ..... 郵便番号逆変換 179
一覧画面で表示項目や項目の表示幅を変える 180
アドレス帳から電話をかける 181
写真をつける 183
フォトメモリーから写真を貼り込む 183
アドレス帳に貼り込まれた写真を見る 185
季節のやり取りを記録する ..... チェックリスト ... 185
会社名を変える ..... 会社名変更 ... 186

スケジュール

始めましょう

予定を入れる **187**
ある日の予定を入れる **188**
日をまたがる予定を入れる **191**
予定を確かめる **192**
コラム ・1週間のつまり具合を見るには(週間グラフ画面) **195**
予定を修正する **195**
予定を削除する **196**

簡単に同じ予定を作る **197**
同じ予定を決まった日に入れる ..... 繰り返し **197**
同じような予定を作る **198**
データを移動・複写する **198**
年月日を指定して予定を表示する ..... **年月日指定** ... **199**
休日を設定/解除する **200**
毎週ある曜日を休日に設定/解除する ..... 曜日単位 **200**
ある日を休日に設定/解除する ..... 1日単位 **201**
表示を変える **202**
月曜日を週の始まりにする ..... カレンダー開始曜日 **202**
アクションリストのデータを表示/非表示にする **202**
メールのデータを表示/非表示にする **203**
記念日を登録する ..... **記念日** ... **204**
毎年決まった日を記念日にする ..... 記念日(月日) **204**
ある月の何週目の何曜日を記念日にする ..... 記念日(月/週/曜) **205**
登録した記念日データだけを見る/削除する **206**
記念日を見る ..... 表 示 **206**
記念日を削除する ..... 削 除 **206**
時刻前にアラームを鳴らす ..... **スケジュールアラーム** ... **207**
アラームを設定する **207**
アラームの時刻になると **208**
アラーム音を一時的に鳴らさないようにする **209**
アラーム音を変える **209**
アラームを解除する **209**

アクションリスト

用件にランクをつけ登録する ..... **新規作成** ... **210**
未処理の用件を確かめチェックする **211**

レポート＆自由帳

レポートや自由帳を作る **214**
新しい用紙を開き、データを作る ..... 新規作成 **214**
同じ用紙に新しいデータを作る **217**
レポート＆自由帳を見る ..... **表 示** ... **217**
情報ファイルから見る **217**
レポート＆自由帳の一覧画面から見る **218**
レイアウトを確かめる ..... レイアウト **219**
フォームを変える **220**
設定をまとめて変える ..... フォーム変更 **220**
1項目の設定を変える ..... 項目名変更 **221**
項目を挿入する ..... 項目挿入 **222**
項目を削除する ..... 項目削除 **222**
新しいフォームを作る ..... **オリジナルフォーム** ... **223**
新しいフォームを作る ..... 新規フォーム作成 **223**
既存のフォームを利用して新しく作る **224**
表示中のデータのフォームを新しいフォームにする **224**
オリジナルフォームの用紙を開く **225**

もくじ

オリジナルフォームを修正・削除する
..... **修正・削除** ... **226**

パーソナルデータベースII

使ってみましょう

新しいパーソナルデータベースのデータを入力する **228**
あらかじめ決まっている入力形式を利用して、新しいデータを入力する **228**
データを見る **231**
項目一覧画面に表示する項目を変える **233**
データを修正する **234**
データを削除する **234**
1データを削除する **234**
選択した複数のデータをまとめて削除する **235**
パーソナルデータベース内のすべてのデータを削除する **235**

すでに用意してあるフォームについて **236**
内蔵フォームについて **236**
電子アルバムについて **238**
写真や手書きの画像などを貼り込む **239**
その場で写真を撮影して貼り込む **239**
新しく手書きした画像を貼り込む **240**
フォトメモリーの写真データや以前手書きした画像を貼り込む **241**
電子アルバムの画像を貼り込む **242**
写真や手書きの画像などの一部分を貼り込む **243**
「パソコンデータ」に取り込まれた画像データを貼り込む **244**
写真などの画像を加工・修正する **245**
貼り込んだ写真などの画像を削除する **245**
データを表示する **246**
フォームを作る **248**
新しいフォームの作りかた **248**
新しいオリジナルフォームを作る **252**
各項目を設定する **254**
内蔵フォームを利用して新しいフォームを作る **259**
パソコン用データベースソフトで作ったフォームを利用する **260**
項目の設定を変える **260**
項目を追加する ..... 項目追加 **261**
項目を削除する ..... 項目削除 **261**
複製する ..... **複 製** ... **262**
データを複製する ..... データ複製 **262**
データベースを複製する ..... データベース複製 **262**
データベース名を変える ..... **データベース名変更** ... **263**

メモする/記録する

フォトメモリー

始めましょう

手書きでメモを書く ..... **新規作成** ... **265**
メモを見る **267**
データを修正する **268**
データを削除する **268**

ツールを使う **269**
データを編集する **271**
指定した範囲のデータを移動・複写・削除する **271**
指定した範囲のデータを回転・反転させる、文字を入力する **272**
写真などの画像をアドレス帳に貼る **273**
表示を変える **274**
フルスクリーン表示・縮小表示にする **274**
スライドで連続して見る ..... スライドショー **275**
路線図、出口案内のデータを利用する **278**

オープニング画面にデータを表示する **279**
フォトメモリーでの画像データの扱いについて **280**

クイックメモ

新しくクイックメモを書く **281**
クイックメモを見る **283**
クイックメモを取り除く・修正・削除 **284**

デジタルカメラ

各部のなまえ **285**
デジタルカメラカードの取り付け/取り外し **286**
デジタルカメラカードを取り付ける **286**
デジタルカメラカードを取り外す **287**
撮影するときのボタン操作 **288**
撮影する **288**
撮影する状態を設定する **292**
撮影した画像を見る **294**
顔写真つきのアドレス帳を作る **295**

機能を追加する

MOREソフト

ほかのソフトウェアを利用する ..... **MOREソフト** ... **296**
MOREソフトを読み込む **296**
MOREソフトを展開する **298**
MOREソフトを実行する **299**
MOREソフトを停止する **299**
MOREソフトを削除する **300**
MOREドライバーを組み込む **300**
MOREドライバーを取り外す **301**

辞典/時計/電卓を使う

統合辞典

始めましょう

読みから漢字を調べる ..... **国語辞典** ... **302**
漢字から読みを調べる ..... **漢和辞典** ... **303**
スペルから英単語の意味を調べる ..... **英和辞典** ... **304**
日本語から英単語を調べる ..... **和英辞典** ... **305**

国語辞典で調べる ..... **国語辞典** ... **306**
ある文字から始まる言葉を探す ..... 見出し語表記検索 **307**
調べた漢字１字から熟語を探す ..... 熟語検索 **307**
漢和辞典で調べる ..... **漢和辞典** ... **308**
音読み・訓読みから漢字を探す ..... 音訓検索 **308**
部首から漢字を探す ..... 部首検索 **309**
画数から漢字を探す **310**
漢字の一部分から漢字を探す ..... 部品検索 **311**
復数の条件で漢字を探す ..... 組み合わせ検索 **312**
調べた漢字から熟語を探す ..... 熟語検索 **312**
調べた漢字の異体字を探す ..... 異体字検索 **312**
英和辞典で調べる ..... **英和辞典** ... **313**
スペルがわからない英単語を探す **313**
熟語、例文、変化形を調べる ..... 熟語検索、例文検索、変化形検索 **315**
和英辞典で調べる ..... **和英辞典** ... **316**
漢字を含む文字から英単語を探す ..... 見出し語表記検索 **316**

もくじ

ほかの機能の文字から辞典を引く
..... **オンライン辞典** ... **317**
調べた語からほかの辞典を引く
..... **マルチ検索** ... **319**
よく使う言葉にマークをつける
..... **マーカー** ... **319**
マークをつける ..... マーカー **319**
マークつきの言葉を探す
..... マーカー検索 **320**
マークを消す ..... マーカー消し **320**

時　計

時計を使う **321**
時刻を調べる ..... 基準時計・世界時計 **321**
時計を合わせる ..... 時刻設定 **322**
基準時計の都市を変える ..... 基準都市 **322**
世界時計の都市を変える ..... 世界都市 **322**
毎日同時刻にアラームを鳴らす
..... デイリーアラーム **323**
サマータイムをセットする
..... サマータイム **323**

電　卓

計算する **324**

データを整理する/探す/編集する

情報ファイル

いろいろなデータを集める
..... **整 理** ... **326**
新しいファイルを作る
..... 新規作成 **327**
1.各機能からデータを集める
..... 登 録 **328**
2.「未分類データ」ファイルからデータを集める
..... 移 動 **328**
ファイルを開き、データを見る
..... **表 示** ... **330**
ｺﾗﾑ ・各ファイル内で、機能ごとに絞り込んで表示するには **331**
ファイルに整理したデータを各機能から見る
..... **332**
集めたデータを別のファイルに移動・複製する
..... **333**
データを別のファイルに移動する **333**
データを別のファイルに複製する **334**
ｺﾗﾑ ・情報ファイルのデータを除外するときは **334**
ファイルを編集する **335**
ファイルの位置を変える ..... 移 動 **335**
ファイルの中身を含めて複製を作る
..... 複 製 **335**
ファイルを削除する ..... 削 除 **336**
ファイルのタイトル名や縦書き/横書きを変える
..... ファイルタイトル変更 **336**
ｺﾗﾑ ・情報ファイルに整理したデータについて **337**
ｺﾗﾑ ・各機能で、情報ファイルに分類されているデータをまとめて削除する **337**

アクションプランナー

関連するデータを選び出す **338**
指定した語句に関連するデータを抽出する
..... **338**

検索/絞り込み

データの探しかた **340**
各機能ごとの検索 **341**
絞り込み **344**
アドレス帳、スケジュール、レポート＆自由帳で絞り込む **344**
なぞってキーワード検索 **345**

データ編集

操作メニューを使った文字の変換 **346**
旧字体などに変換する ..... 異体字変換 **346**
ひらがな←→カタカナに変換する
..... ひら←→カタ変換 **346**
全角←→半角に変換する
..... 全角←→半角変換 **347**
郵便番号を住所に変換する
..... 郵便番号変換 **348**
入力している住所から郵便番号を調べる
..... 郵便番号逆変換 **349**
現在の日付・時刻を入力する
..... 日付スタンプ・時刻スタンプ **349**
複写・切り取り・貼り込み **350**
文字列を移動・複写する **350**
1データを移動・複写する **351**
各機能間でのデータの移動・複写について **352**
複 製 **352**
他機能の数字を使って電卓で計算する **353**
データの修正・削除 **355**
データの修正 **355**
データの削除 **355**

データを管理/設定する

ユーザー設定

使いやすい設定に変える
..... **ユーザー設定** ... **356**
自動節電機能を設定する
..... **省電力設定** ... **357**
表示濃度を調整する
..... **表示濃度調整** ... **357**
よく使う語句を登録する
..... **ユーザー辞書登録** ... **358**
ユーザー辞書に登録する **358**
登録した語句を使う **358**
登録した語句を修正する **359**
登録した語句を削除する **359**
タッチ音などを入/切する
..... **サウンド設定** ... **360**
ツールパレットの消しかたを設定する
..... **ツールパレット設定** ... **361**
タッチパネルを調整する
..... **タッチパネル調整** ... **361**

メモリー管理

メモリー使用量と登録件数を確かめる
..... **363**
メモリーがいっぱいになると **364**
さらにデータを入れられるようにする
..... **メモリー整理** ... **365**
すべてのデータを消去する
..... **全データ消去** ... **366**
シークレットデータを消去する
..... **シークレットデータ消去** **366**

シークレット/全機能ロック

データを秘密にする
..... **シークレット機能** ... **367**
パスワードを登録する
..... シークレット設定 **367**
データをシークレットにする
..... シークレットデータ **369**
シークレットデータを見えるようにする
..... **369**
一時的にシークレットデータを見る
..... 一時解除 **369**
データのシークレットを解除する **370**
一時的に解除したシークレット機能をもう一度設定する **370**
この製品を他人が使えないようにする
..... **全機能ロック** ... **371**
全機能ロックを設定する
..... 全機能ロック設定 **371**

もくじ

全機能ロックしたこの製品を使う ..... 一時解除 372
全機能ロックを解除する 373
パスワードを変更・消去する 374
コラム ・パスワードを忘れてしまったときは 374

データを保存する

カード

カードを取り付ける 376
カードを取り外す 377
本体のメモリーを拡張する 378
データの登録先を切り替える 378
本体のデータをバックアップしたり、カードに複製する 379
カードデータロック機能について 380
カードデータロック機能とは 380
カードデータロックの状態と解除方法 381

バックアップ/リストアとカード複製

全データをカードへ保管(バックアップ)する 383
全データをカードにバックアップする ..... バックアップ 384
バックアップしたデータを呼び出す ..... リストア 385
ほかのMI-P10へ全データを送信する 386
機能別にカードへデータを複製する ..... **機能別複製** ... 387
本体のデータをカードに複製する ..... 本体→カード 387
カードのデータを本体に複製する ..... カード→本体 388

ほかの機器と通信する

パソコンとの連携(PCリンク)

通信方法について 390
Powerリンク、PowerPIMMリンクを使う 391
通信時のご注意などについて 394
パソコンリンクを使う ..... **パソコンリンク** ... 395
PC送信箱/PC受信箱を使う 397
PC送信箱にデータを入れる 397
PC受信箱で受信したデータを確認する 398

データ交換

通信方法、通信できる機種 399
光通信でほかのザウルスなどと通信する ..... **光通信** ... 401
光通信のしかた 401
ザウルスどうしで光通信する 402
ザウルスと通信するときの制限事項 405
液晶パッドと光通信する 410
IrTran-P方式で光通信する 411
通信する範囲と開始画面 412
ケーブルでほかのザウルスと通信する 414
接続のしかた 414
オプションポート16の条件を設定する 414
通信のしかた 415
「書院」と通信する ..... **ワープロ通信** ... 416
レポート&自由帳やフォトメモリーのデータを転送する 416
エラーについて 417

名刺交換

名刺交換する ..... **名刺交換** ... **418**

パソコンデータの読み込み(インポート)と送り出し(エクスポート)

読み込み(インポート)と送り出し(エクスポート)について **420**
データのやり取り **420**
扱えるデータ形式 **420**
取り込んだデータを読み込む(インポート) **421**
作成したデータを送り出す(エクスポート) **422**
パソコンデータ画面で受信・削除する ..... **パソコンデータ** ... **424**

付　録

買い替えのお客様へ

PIシリーズのザウルスからデータを移すには **425**
MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズからデータを移すには **428**
すべての機能のデータを受信したいとき **429**
特定の機能のデータのみを受信したいとき **432**

付　録

異常が起きたとき **433**
プログラム実行中に異常が発生したとき **433**
リセット操作 **434**
データ異常と初期化 **434**
初期化する **435**
充電池を充電する **437**
充電池を充電する時期 **437**
充電池の残量を確認する **437**
充電池(EA-BL05)を充電する **438**
充電池について **441**
充電池の交換手順 **444**
手書認識について **445**
ローマ字→かな変換表 **450**
タイプライターキーボード、携帯型キーボード(別売品) **450**
手書認識できる文字の表 **451**
手書認識できるJIS第2水準漢字 **451**
統合辞典について **455**
国語辞典編集要旨 **455**
漢和辞典編集要旨 **456**
英和辞典編集要旨 **457**
和英辞典編集要旨 **458**
参考 **458**
部首一覧表 **459**
手順作成用コマンドについて **460**
記述のしかた **460**
コマンドリファレンス **460**
仕様 **462**
さくいん **467**
アフターサービスについて **475**
困ったときは **476**
補足説明 **486**
「テガルス」を使ってFAX送信する **486**

もくじ

●買い替えのお客様へ

今までほかのザウルスやコミュニケーションパルをお持ちになっている場合、それらに入力しているデータをこの製品に移して使用することができます。
本書の「買い替えのお客様へ」(☞425ページ)をご覧になりデータを移してください。

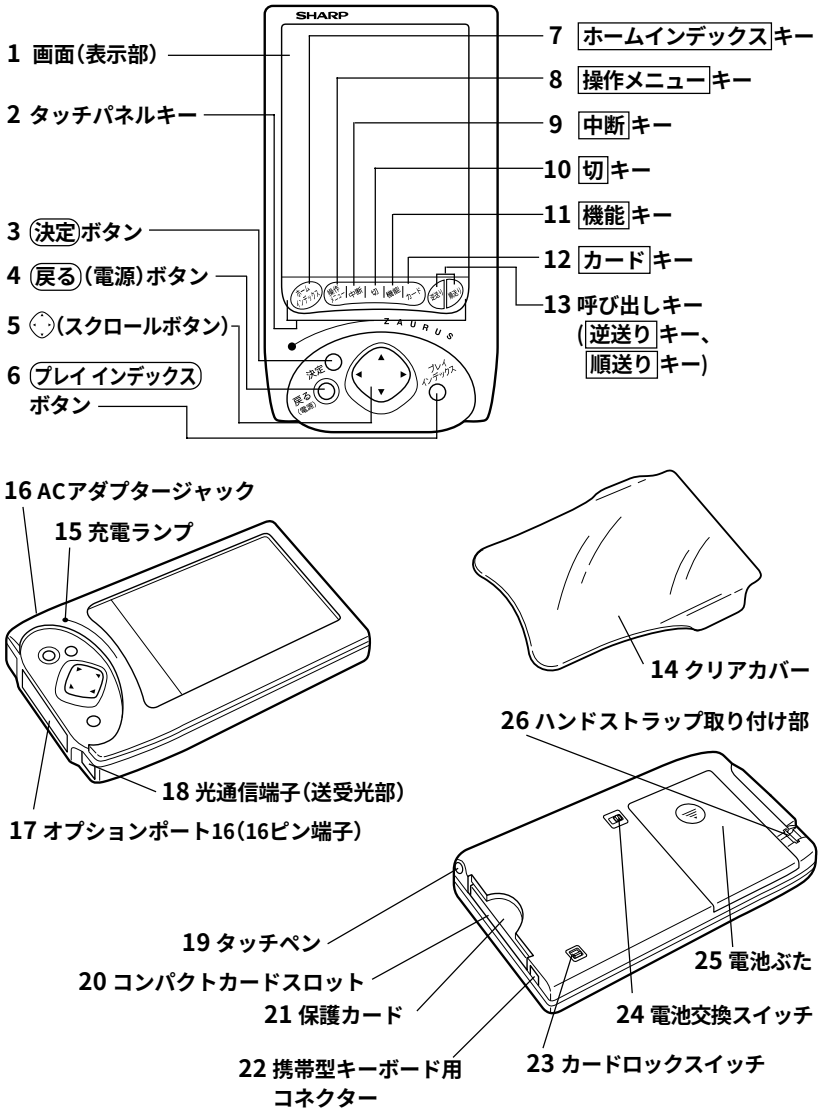
●この製品をお使いになって

この製品をお使いになって、「インターネットに接続できない」や「メールの送受信ができない」など困ったときは、『取扱説明書(通信ガイド)』の「よくあるお問い合わせ」(☞151〜161ページ)および本書の「困ったときは」(☞478〜487ページ)をご覧になりお確かめください。

基本的な使いかた

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとその働きを覚えましょう。



1 ： 画面(表示部)
選んでいる機能などが表示されます(320×240ドット)。

2 ： タッチパネルキー
画面の下側にあるキーのことです。基本的な操作を行います(☞45ページ)。

3 ： 決定ボタン
一覧画面で選んだデータを表示します。

4 ： 戻る(電源)ボタン
1つ前の画面に戻ります。また、インデックス画面を切り替えます。電源が入っていない状態で押すと、電源が入ります。

5 ： (スクロールボタン)
一覧画面でデータをスクロールしたり、詳細表示画面でデータをめくります(☞41ページ)。

6 ： プレイ インデックスボタン
プレイ インデックス画面に切り替えたり、縦画面・横画面に切り替えます。

7 ： ホームインデックスキー
ホームインデックス1画面などを表示します。

8 ： 操作メニューキー
操作メニューを表示します(☞46ページ)。

9 ： 中断キー
データ通信中などに通信などを途中で中断します。

10 ： 切キー
電源を切ります。

11 ： 機能キー
特別な働きを利用するときに、画面上のボタンと組み合わせて使います。

12 ： カードキー
当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードや、別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)を取り付けるとき、本体メモリーとカードメモリーを切り替えたり、デジタルカメラモードに切り替えます。

13 ： 呼び出しキー
前後のデータを呼び出したり、一覧画面で1つ上や下のデータを選びます(☞57ページ)。

14 ： クリアカバー
画面を保護するためのカバーです(☞次ページ)。

15 ： 充電ランプ
この製品とACアダプターを接続し、充電が始まると点灯します。満充電になると消えます(☞31ページ)。

16 ： ACアダプタージャック
ACアダプターを取り付けます。

17 ： オプションポート16(16ピン端子)
デジタル携帯電話接続ケーブル(CE-DT1)などを接続する端子です。

18 ： 光通信端子(送受光部)
光通信でデータをやり取りするとき、ほかの機器の光通信端子と対向させます(☞401ページ)。

19 ： タッチペン
画面にタッチしたり文字を書いたりするとき使います。

20 ： コンパクトカードスロット
当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードなどを使うとき、ここに入れます。

21 ： 保護カード
当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードなどを取り外したときに装着しておくカードです。

22 ： 携帯型キーボード用コネクター
別売の携帯型キーボード(CE-KB1)のケーブルを接続します。

23 ： カードロックスイッチ
当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードなどを取り付け(ロック)たり、取り外し(解除)たりするときに切り替えます。

24 ： 電池交換スイッチ
充電池を取り付ける/取り外すときに切り替えます。

25 ： 電池ぶた
充電池を取り付ける/取り外すときに開けます。

26 ： ハンドストラップ取り付け部
ハンドストラップを取り付けることができます(☞次ページ)。

クリアカバーの取り外し / 取り付け

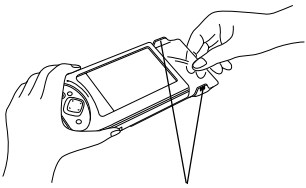
クリアカバーを正しく取り外し/取り付けしましょう。

取り外す

クリアカバーを右側に引いて取り外す

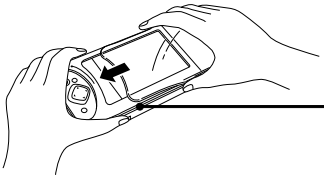
取り外したクリアカバーは本体裏面に取り付けることもできます

注) クリアカバーを取り外すとき クリアカバー表面に親指などを押し当てて引くような外しかたはしないでください。親指などを押し当てて引くと、クリアカバーに傷がつきます。



クリアカバーロック部分

取り付ける



本体横のミゾに合わせてクリアカバーを奥までしっかり取り付ける
(注) テーブルなどの上に置いたときは、上から強く押さえないでください。

ご注意

- **持ち運ぶときは**
  画面保護のため必ずクリアカバーを取り付けてください。クリアカバーを取り付けずに持ち運ぶと、画面(表示部)を傷つけたりガラスが割れることがあります。
- クリアカバーのクリアカバーロック部分を押さえた状態で取り外し/取り付けはできません。
- クリアカバーを本体裏側に取り付けて机の上に置いたり、硬いものなどといっしょにバッグに入れたりすると、クリアカバーに傷がつきます。

ハンドストラップ取り付け部には、携帯電話用などに販売されている市販のハンドストラップを取り付けることができます。ハンドストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回したり、ハンドストラップを強く引っぱるなどハンドストラップ取り付け部に過重がかかる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

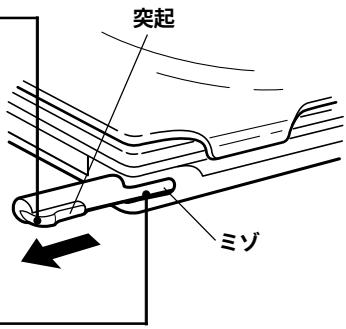
タッチペンの取り出し / 取り付け

タッチペンを正しく取り出します。また、取り付けます。

1 **この製品の後面に取り付けられているペンをまっすぐ引き出す**

2 **ペンを取り付けるときは、この製品のミゾとペンの突起部分が合うように、ゆっくり奥まで入れる**
ペンがロックされ、出てこないことを確かめる

（注）向きを誤って、むりやり差し込むと取り出せなくなることがあります。



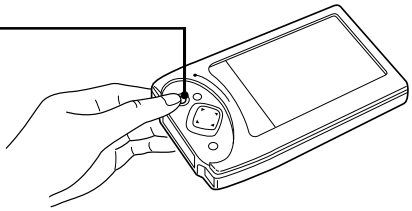
● タッチペンの取り扱いについては、8ページの「ご注意」もご覧ください。

電源の入 / 切

電源を入/切しましょう。

❶ 戻る(電源)ボタンを押す

戻る(電源)ボタンは奥まで<u>しっかり押してください。</u>
軽く、またはすばやく押して離したときには電源が入らないことがあります。



1〜2秒でプレイ インデックス画面が表示される

❷ 電源を切るときは、切キーにタッチする

● この製品では、付属のペンで画面にタッチしても電源を入れることができます(画面中央部の1辺約1cmの正方形の範囲にタッチしても電源は入りません)。

● **電源が入らないときは**

次のことを確かめてください。

- 電池交換スイッチが「ロック(使用時)」側になっているか(☞25ページ)
  電池交換スイッチが「解除(交換時)」側になっていると、戻る(電源)ボタンを押しても電源が入りません。
- 充電池が消耗していないか
  「ACアダプターを接続して充電してください」のメッセージが表示されて電源を切ると、電源が入らないことがあります。
  ACアダプターをこの製品に接続して、約3分以上充電池を充電した後、電源が入るかどうかを確かめてください。

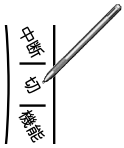
● **電源を入れたとき、メモリー整理を実行するかどうかのメッセージが表示されたときは**
電源を入れたとき、メモリー不足についてのメッセージが表示され、「メモリー整理」を実行するかどうか聞いてくる場合があります。そのときは**はい**にタッチしてメモリー整理を実行してください。メモリー整理を行うとメモリーの断片化が解消され、通常、使用できる空きメモリー領域が増えます。次に電源を入れたときも同じメッセージが表示されたときは、**いいえ**にタッチして不要なデータを削除してください。
メモリー整理については、365ページをご覧ください。

● **戻る**（電源）ボタンをしばらく押したままにしても電源が切れます。
● **電源を入/切するときの音は**
電源を入/切するとき、小さな音がしますが、故障ではありません。
● **しばらく画面にタッチしないと（自動節電機能）**
通常約10分間（注）、ボタンを押したり画面タッチ操作をしないと、自動的に電源が切れます。ただし、使用状況により電源が切れるまでの時間が短くなることがあります（たとえば、長い通信終了直後に電源が切れるなど）。自動節電機能により電源が切れたときは、入力中であっても電源が切れる前のデータを保持しますが、入力ボードの入力行に入っている文字など、採用されていない（未確定）文字は保持されません。その場を離れる場合などには、必ず採用しておいてください。
（注）自動的に電源が切れるまでの時間は、「ユーザー設定」の「省電力設定」で設定できます（☞357ページ）。
● **コンパクトフラッシュメモリーカードなどが装着されているときの起動時間について**
本体にコンパクトフラッシュメモリーカードなどが装着されていると、カードが装着されていないときと比べて起動時間が長くなります。これは、起動時に、装着されているカードをシステムがチェックするためです。
また、オープニング画面に非常に大きなサイズのJPEG画像を使用したときにも、起動時間が長くなります。
● **異常ありのメッセージが表示されたら**
メッセージの内容によって「異常が起きたとき」（☞433ページ）をご覧ください。
● 通信中などでは、電源が切れません。**中断**キーにタッチして中止してから電源を切ってください。**中断**キーは、通信などが中止されるまで、タッチしたままにしてください。
● この製品の使用中、特にコンパクトフラッシュメモリーカードなどを使用すると、この製品の温度が上がって温かくなりますが、故障ではありません。

ACアダプターの接続と充電について

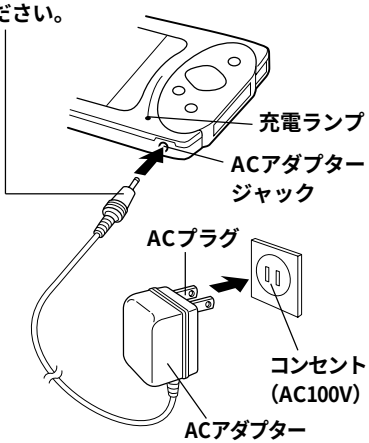
この製品の使用中、充電池が消耗すると、「ACアダプターを接続して充電してください」のメッセージが画面に表示されます。このときは、すぐに付属のACアダプターを使って充電池を充電してください。

1 **この製品の表示部(画面)の 切 キーにタッチして電源を切ります(☞29ページ)。**



2 **付属のACアダプターを、右図のようにこの製品のACアダプタージャックとAC100Vのコンセントに接続します。充電ランプが点灯して、充電が始まります。**
満充電になると、充電ランプが消え、充電が完了します(通常、約3時間かかります)。

抜き差しは、この部分を持って行ってください。ケーブルを引っぱって抜かないようにしてください。



3 **ACアダプターを取り外します。**

ご注意

- ACアダプターは、この製品(本体)に充電池が装着されている状態で接続してください。充電池がこの製品に装着されていない場合、ACアダプターを接続しても動作しません。
- 充電中はこの製品が多少温かくなりますが、故障ではありません。
- この製品に電源が入っている状態でACアダプターを接続したときは、充電ランプが点灯してACアダプターから電源が供給されていることを示します(このとき充電ランプは消えません)。
- ACアダプターを接続したままこの製品を使用しても差し支えありません。ただし、この場合、充電池の充電が完了するまでに長い時間がかかります。充電池を充電するときは、この製品の電源を切っておくと、早く充電できます(通常、約3時間。ただし、使用温度、使用状態によって充電が完了するまでの時間は変わります)。

メモ

- **ACアダプターおよび充電池について**
  くわしくは437、441ページをご覧ください。
- **充電時のご注意**
  充電池をこの製品に装着して充電する場合、ACアダプターのコードに足を引っかけてこの製品を高い場所から落としたりしないようご注意ください。
- **充電時の電池交換スイッチの位置は**
  充電池を充電するときには、本体裏面の電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側にしておいてください。「解除(交換時)」側にしても充電されますが、充電中でも充電ランプは点灯しません。

基本操作

どのようにして操作するの？

この製品を操作するには、次の2つの方法があります。

- 付属のタッチペンで画面の各部にタッチする
- ⊹(スクロールボタン)と決定ボタンを押して、データを表示する

ここでは、この製品の基本的な操作方法を説明します。
初めに、次の項目をお読みになり、本書でよく使う操作方法を覚えましょう。

- 「インデックス画面の表示と機能を選ぶ」(☞このページ)
- 「ボタンを押して操作する」(☞41ページ)
- 「タッチパネルキー」(☞45ページ)
- 「操作メニューを使う」(☞46ページ)

この後、すぐに使ってみたい方は「文字入力」の章へお進みください。
インデックス画面の編集や画面各部のなまえなど、くわしい操作説明は48ページ以降をご覧ください。

インデックス画面の表示と機能を選ぶ

この製品が持っている機能(アイコン)を集めた画面や、ポストマガジンクラブから配信されるメールマガジンを整理して表示する画面をインデックス画面と呼びます。
これらのインデックス画面は全部で7つあり、ポストマガジンクラブからのメールマガジンを整理する画面はプレイ インデックス画面、機能(アイコン)を集めた画面はホームインデックス1画面などとそれぞれ名前がついています。
ここでは、これらインデックス画面の概要や表示方法、各機能の選びかたについて説明します。

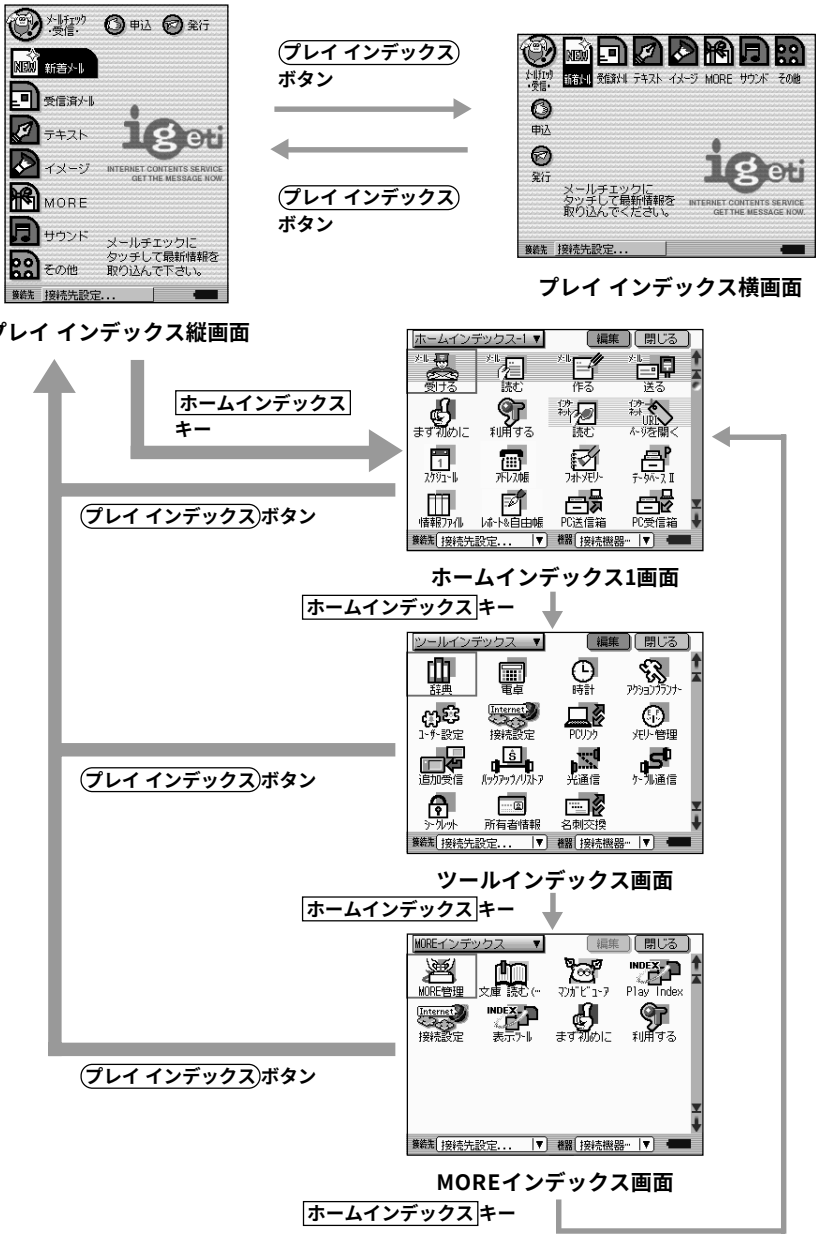
- プレイ インデックス画面 …… ポストマガジンクラブから配信されたメールマガジンを整理して表示します。
- ホームインデックス1画面 …… 各機能のアイコンや、**メール受ける**アイコンのような目的別のアイコンがまとめられています。
- ホームインデックス2画面 …… よく使う機能ごとに**書く**、**見る**などの目的別のボタンやよく使う機能のアイコンが表示され、行いたい操作をすばやく簡単に実行できます。
- ツールインデックス画面 …… 時計・電卓・辞典などの機能やデータ通信を行う機能をまとめています。

- オリジナルインデックス画面　… よく使うアイコンを登録し、自分で使いやすいオリジナルインデックスを作ることができます。
- MOREインデックス画面 …… この製品で使うことができるMOREソフトやクイックパスのアイコンがまとめられています。
- 本体機能インデックス画面　… MOREインデックス画面に表示されているアイコン以外のアイコンがすべて表示されます。

● ホームインデックス1画面、ホームインデックス2画面、ツールインデックス画面、オリジナルインデックス画面には、機能(アイコン)を追加したり隠したりして、自分なりのインデックス画面に変えることができます(☞48ページ)。

インデックス画面の切り替え

戻る(電源)ボタンを押して電源を入れます。お買いあげ直後は、プレイ インデックス縦画面が表示されます。プレイ インデックスボタン、ホームインデックスキーを使ったインデックス画面の切り替えの流れを説明します。



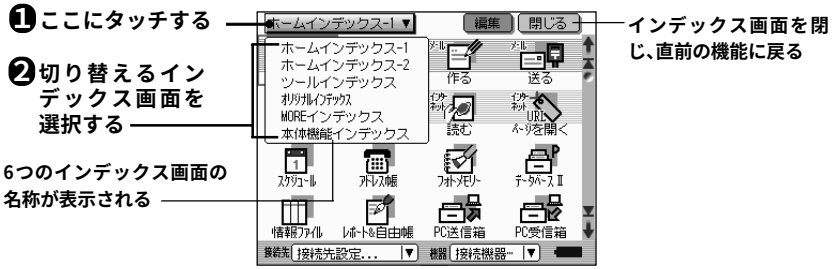
- お買いあげ直後、電源を入れるとプレイ インデックス画面が表示されます。電源を入れたときに表示される画面を変えるには、51ページをご覧ください。
- お買いあげ直後、**ホームインデックス**キーにタッチして表示される画面は、前ページの3つですが、これ以外にもホームインデックス2画面、オリジナルインデックス画面、本体機能インデックス画面があります。これらの画面も表示することができます。くわしくは、52ページをご覧ください。
- **戻る**(電源)ボタンを押すと、前ページの**ホームインデックス**キーを押したときと同様の順にインデックス画面が切り替わります。

コラム

メニューでインデックス画面を変えるには

ホームインデックスキーにタッチする、**戻る**(電源)ボタンを押す方法以外でも、インデックス画面を変えることができます。

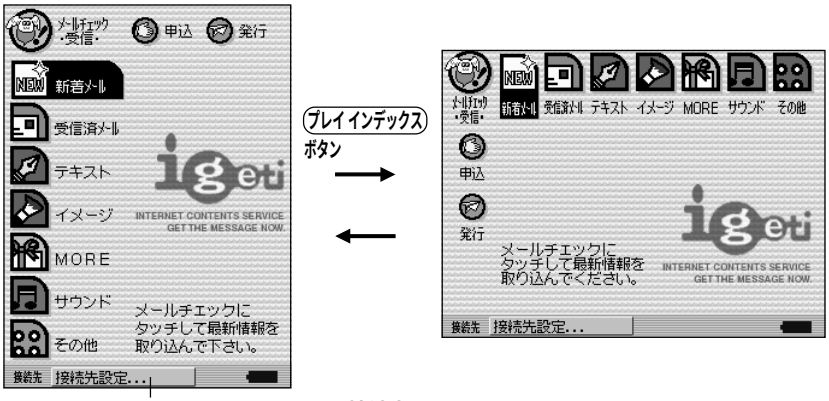
プレイ インデックス画面以外のインデックス画面(ホームインデックス1画面など)が表示されているとき、画面左上の**ホームインデックス-1**などにタッチするとメニューが表示されます。表示されたメニューのインデックス名にタッチするとその画面に変わります。



- **ホームインデックス-1**などにタッチすると、プレイ インデックス以外のインデックス画面の名称がメニューの中に表示されます。

プレイ インデックス画面

プレイ インデックス画面は、**プレイ インデックス**ボタンを押して表示します。
プレイ インデックス画面では、ポストマガジンクラブにメールマガジンの購読を申し込むアイコンや配信されたメールマガジンをジャンル別に表示するアイコンなどがあります。
プレイ インデックス画面の表示を、縦表示または横表示に切り替えるときは、**プレイ インデックス**ボタンを押します。
プレイ インデックス画面の操作について、くわしくは『取扱説明書(通信ガイド)』をご覧ください。



インターネットやメールの接続先を選択/設定する

メールチェック・受信
未読のメールを受信する
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』74ページ)

新着メール
未読のメールを一覧表示する
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』76ページ)

受信済メール
既読の一般メールを一覧表示する
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』79ページ)

テキスト
テキストデータ、文庫データを表示する
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』80ページ)

イメージ
イメージデータやマンガデータを表示する
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』86ページ)

MORE
動くキャラクターなどのMOREソフト用のデータを使う
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』88ページ)

サウンド
カードに取り込んだサウンドデータ(MP3データ)を表示する
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』89ページ)

その他
上記以外のジャンルのデータが分類される(将来、いろいろなデータが配信されたときのためのもの)

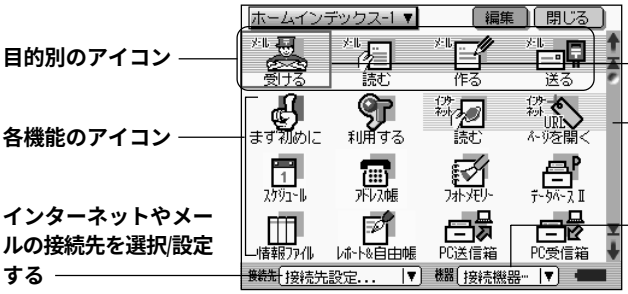
申込
購読したいメールマガジンを申し込む
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』72ページ)

発行
発行用ツール(MOREソフト)(*1)で作成した作品を発行する
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』99ページ)

(*1): MOREソフトは、Sharp Space Townの「ポストマガジンクラブ」からこの製品にダウンロード(無償)してください。

ホームインデックス1画面

ホームインデックス1画面では、**フォトメモリー**アイコンなど各機能を表示するアイコンや、**メール受ける**アイコンのような目的別のアイコンがあります。機能アイコンは各機能を実行するときに使います。目的別のアイコンは、「メールを受ける」「メールを読む」などの操作がワンタッチで実行でき大変便利です。



メール 受ける
電子メールを受信する
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』43ページ、本書の114ページ)

メール 読む
受信した電子メールを読む
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』44ページ、本書の115ページ)

メール 作る
送信する電子メールを作る
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』37ページ)

メール 送る
まだ送っていない電子メールを送信する
(☞102ページ)

まず初めに
オンラインでユーザー登録できる
(☞「はじめにお読みください」)

利用する
Sharp Space Townに接続してサービスを受けることができる
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』61ページ)

インターネット 読む
インターネットで取り込んだページをゆっくり見られる(☞『取扱説明書(通信ガイド)』59ページ、本書の160ページ)

インターネット URL ページを開く
オフラインでURLを選択したり直接入力できる
(☞『取扱説明書(通信ガイド)』57ページ)

スケジュール
予定を登録し、スケジュールを管理する
(☞187ページ)

アドレス帳
会社や自宅の住所やメールアドレスを登録し、表示する
(☞161ページ)

フォトメモリー
手書きで自由にメモしたり、イラストや地図を描ける
(☞264ページ)

データベースII
フォームを作成し、目的にあったデータベースを作れる
(☞227ページ)

情報ファイル
各機能で登録した関連のあるデータを1つのファイルにまとめることができる(☞326ページ)

レポート&自由帳
議事録や時刻表など、フォームに合わせて入力するだけで文書が作れる
(☞214ページ)

PC送信箱
パソコンに送るデータをPC送信箱へ入れる
(☞397ページ)

PC受信箱
パソコンから送られてきたデータがPC受信箱に入る
(☞398ページ)

インターネット
インターネット トップ画面を表示し、いろいろなホームページを見ることができる(☞『取扱説明書(通信ガイド)』52ページ、本書の126ページ)

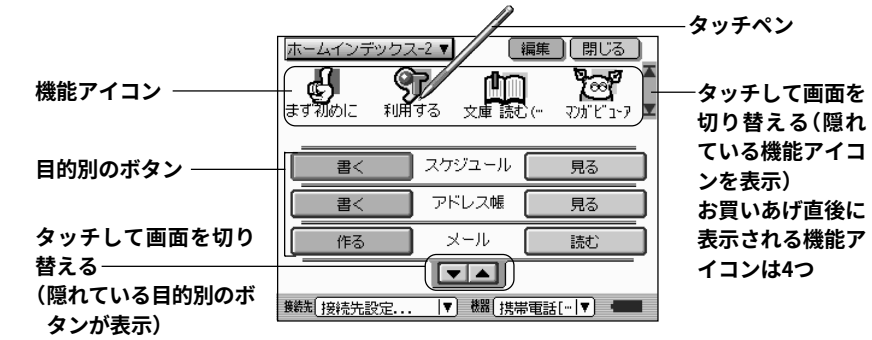
メール
メールトップ画面を表示し、メールの送受信や表示ができる
(☞96ページ)

カメラ
別売のデジタルカメラカードで写真を撮影する
(☞285ページ)

アクションリスト
行うべき用件にランクをつけて入力し、整理できる
(☞210ページ)

ホームインデックス2画面

この画面には、機能ごとに目的別のボタンが表示され、行いたい操作をすばやく実行できます。「スケジュール」の［書く］、［見る］などのボタンを⊹(スクロールボタン)を押して選択し(決定)ボタンを押したり、タッチペンでタッチして目的の操作を簡単に行うことができます。



まず初めに　オンラインでユーザー登録できる(☞「はじめにお読みください」)

利用する　Sharp Space Townに接続してサービスを受けることができる(☞『取扱説明書(通信ガイド)』「インターネット(1)」の「コラム」)

ﾏﾝｶﾞﾋﾞｭｰｱ　Sharp Space Townから取り込んだマンガデータを読む(☞『取扱説明書(通信ガイド)111ページ』)

文庫 読む(…　Sharp Space Townから取り込んだ文庫データを読む(☞『取扱説明書(通信ガイド)102ページ』)

スケジュール(☞187ページ)

［書く］　新しい予定を入れる

［見る］　予定をカレンダーなどで見る

アドレス帳(☞161ページ)

［書く］　知人・友人などの電話番号や住所などを新しく入れる

［見る］　登録した電話番号や住所などを見る

メール(☞『取扱説明書(通信ガイド)』32ページ、本書の96ページ)

［作る］　送信する電子メールを作る

［読む］　受信した電子メールを読む

メール送受信(☞96ページ)

［送る］　まだ送っていない電子メールを送信する

［受ける］　電子メールを受信する

インターネット(☞『取扱説明書(通信ガイド)』52ページ、本書の126ページ)

［つなぐ］　インターネットに接続する

［読む］　録画したページや接続して登録したページをインターネットに接続しないで読む

インターネット録画(☞130ページ)

［録画する］　好きなホームページを予約録画(登録)する

［予約する］　番組表などから見たいページを選び予約する

フォトメモリー(☞264ページ)

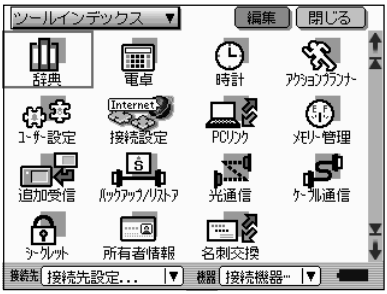
［書く］　手書きで自由にメモやイラストを作る

［見る］　作ったデータを見る

● 取扱説明書では、ホームインデックス2画面のボタンを「「スケジュール」の［書く］」などと機能名をつけて表記します。

ツールインデックス画面

ツールインデックス画面では、アドレス帳など各機能を実行しているときに、途中で使う便利な機能やデータ通信を行う機能をまとめています。



辞典
国語辞典、漢和辞典、英和辞典、和英辞典を使うことができる
(☞302ページ)

電卓
電卓として10桁までの計算ができる
(☞324ページ)

時計
現在の時刻や世界各地の時刻を調べることができる
(☞321ページ)

ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝﾅｰ
関連するデータを抽出し、まとめてレポートにできる
(☞338ページ)

ﾕｰｻﾞｰ設定
サウンドの入/切などを、使いやすく設定できる
(☞356ページ)

接続設定
インターネットへの接続設定を簡単に行える
(☞『取扱説明書(通信ガイド)10ページ』)

PCﾘﾝｸ
パソコンと接続し、データをやり取りできる
(☞389ページ)

ﾒﾓﾘｰ管理
本体やカードで使用しているメモリーの使用量を確認できる
(☞363ページ)

追加受信
ほかのザウルスなどからデータを追加受信できる
(☞428ページ)

ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ/ﾘｽﾄｱ
本体の全データを当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードなどにバックアップできる
(☞382ページ)

光通信
MOREソフトなどのデータを光通信でほかのザウルスなどと送受信できる
(☞401ページ)

ｹｰﾌﾞﾙ通信
MOREソフトなどのデータをケーブル通信でほかのザウルスなどと送受信できる
(☞414ページ)

ｼｰｸﾚｯﾄ
この製品をほかの人に使えなくしたり、データをシークレットにできる
(☞367ページ)

所有者情報
自分の名前や連絡先を登録できる
(☞92ページ)

名刺交換
ほかのザウルスなどと所有者情報をやり取りできる
(☞418ページ)

MOREインデックス画面

この製品で使えるMOREソフトがアイコンで表示されます。MOREソフトとは、ザウルス用に開発されたアプリケーションソフトウェアの総称です。ゲームやビジネスソフトなどのMOREソフトが用意されており、これらを利用するとこの製品の機能を拡げることができます。
この製品には、あらかじめいくつかのMOREソフトが入っています。また、Sharp Space Townやパソコンからほかの MOREソフトを読み込んで使うこともできます。

MORE管理 MOREソフトを実行したりできる (☞296ページ)	Internet 接続設定 インターネットに接続する設定を行う (☞『取扱説明書(通信ガイド)』10ページ)
文庫 読む(… Sharp Space Townから取り込んだ文庫データを読む (☞『取扱説明書(通信ガイド)』102ページ)	ﾏﾝｶﾞﾋﾞｭｰｱ Sharp Space Townから取り込んだマンガデータを読む (☞『取扱説明書(通信ガイド)』111ページ)

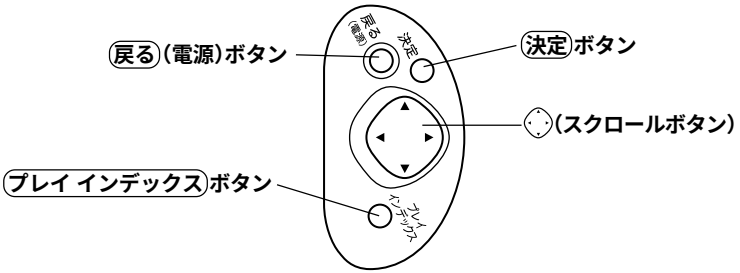
まず初めにアイコン、**利用する**アイコンについては37ページをご覧ください。**Play Index**アイコン、**表示ツール**アイコンは、プレイ インデックスのMOREソフトです。**表示ツール**アイコンはプレイ インデックスで一般のメールなどを見る際に必要なツールで、単独では利用できません。これらについては、『取扱説明書(通信ガイド)』をご覧ください。なお、これらを削除すると、プレイ インデックスが使えなくなりますので、ご注意ください。

本体機能インデックス画面

この画面には、MOREソフトやクイックパス以外のアイコンが表示されます。この画面に表示されるアイコンはホームインデックス1画面、ツールインデックス画面に表示されるアイコンと同じです。それぞれのアイコンについては37～39ページのアイコンの説明をご覧ください。

ボタンを押して操作する

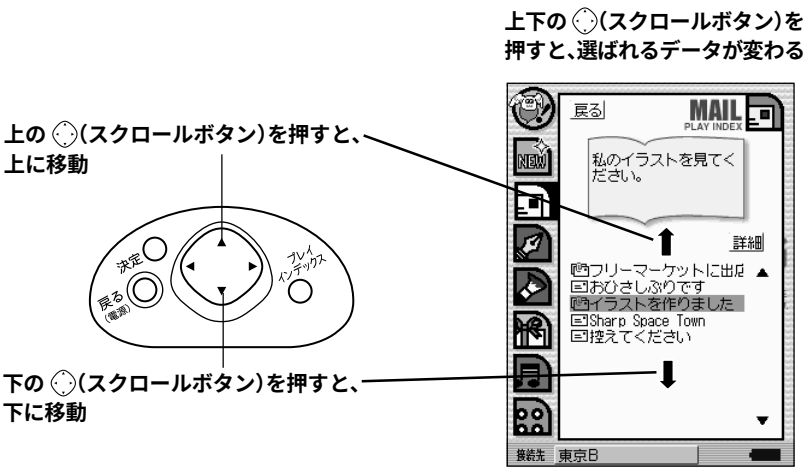
本体の左側または下側にあるボタンを使うと、表示するデータを切り替えたり、1つ前の画面を表示するなど、この製品を持ったまま手軽に操作できます。

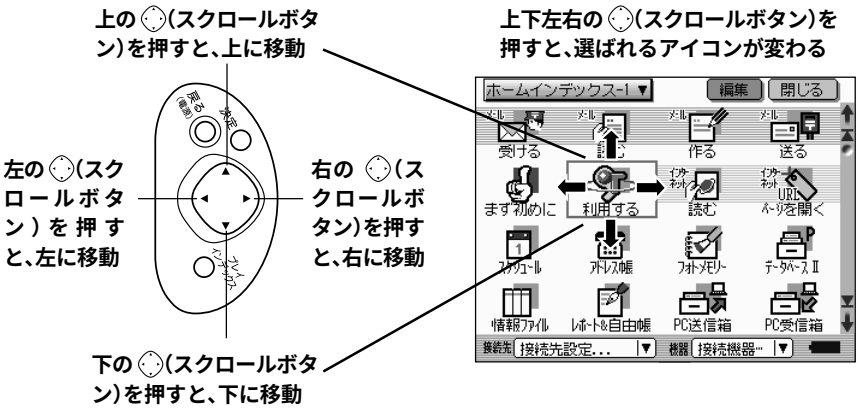


各ボタンのはたらき

(スクロールボタン)

(スクロールボタン)を押してプレイ インデックス画面やホームインデックス1画面、MOREインデックス画面などにあるアイコンを選んだり、ホームインデックス2画面の項目を選ぶことができます。また、一覧画面や詳細表示画面でスクロールすることができます。



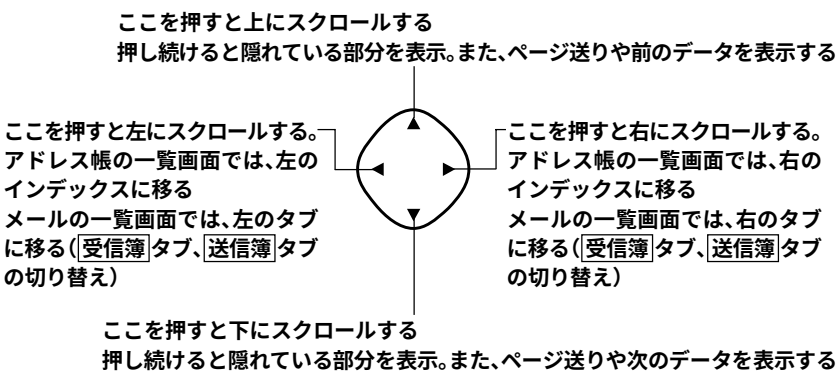


●上下左右の(スクロールボタン)について

ホームインデックス1画面などの横画面で上下のアイコンなどを選ぶときは、(スクロールボタン)が左側にある状態で上下の (スクロールボタン)を押します。

また、プレイ インデックス縦画面で一覧表示の選択を変えるときは、(スクロールボタン)が下側にある状態で上下の (スクロールボタン)を押します。

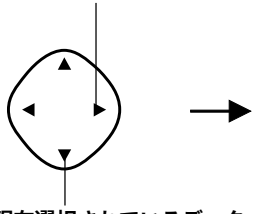
横画面のとき((スクロールボタン)が左側にあるとき)の上下の (スクロールボタン)と、縦画面((スクロールボタン)が下側)での上下の (スクロールボタン)は同じボタンではなく、画面表示の状態によって左右上下は変わります。



● 機能や画面によっては、左右の (スクロールボタン)を押してもタブが移らないことがあります。

●一覧画面でのスクロール

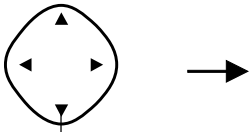
1回押すと、現在選択されているデータの1つ右のデータが選択される
押し続けると、1つずつ右のデータが選択される



1回押すと、現在選択されているデータの1つ下のデータが選択される
押し続けると、1つずつ下のデータが選択される

カレンダー画面

●詳細表示画面でのスクロール



1回押すと、下にスクロールする
下まですべてを表示した後は、次のデータを表示する

アドレス帳の詳細表示画面

● スケジュール、アドレス帳では、(スクロールボタン)を押したときの働きを設定できます。スケジュール、アドレス帳の一覧画面で**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**スクロールキー設定**にタッチし、働きを選択します。

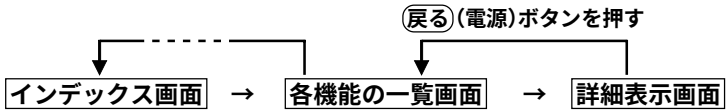
決定 ボタン

決定ボタンを押すと、次の操作を行います。

- 一覧画面 …… データが選択されているとき、1日表示画面や詳細表示画面などを表示する
- インデックス画面 …… ボタンやアイコンを選択した場合は、選択したボタンやアイコンの機能を実行する
  メールトップ画面
  インターネット トップ画面

戻る（電源）ボタン

操作中に表示している画面の、1つ上の階層に戻ります。インデックス画面では、ホームインデックス1画面→ツールインデックス画面→MOREインデックス画面に切り替えます。



電源OFFの状態で、戻る（電源）ボタンを押すと、電源が入りインデックス画面が表示されます。また電源ONの状態で、しばらく戻る（電源）ボタンを押したままにすると電源が切れます。

メモ
- 機能によっては、戻る画面が異なる場合があります。
- 戻る（電源）ボタンを押して切り替えることができるインデックス画面の順番は、インデックス設定画面で変更することができます（☞52ページ）。

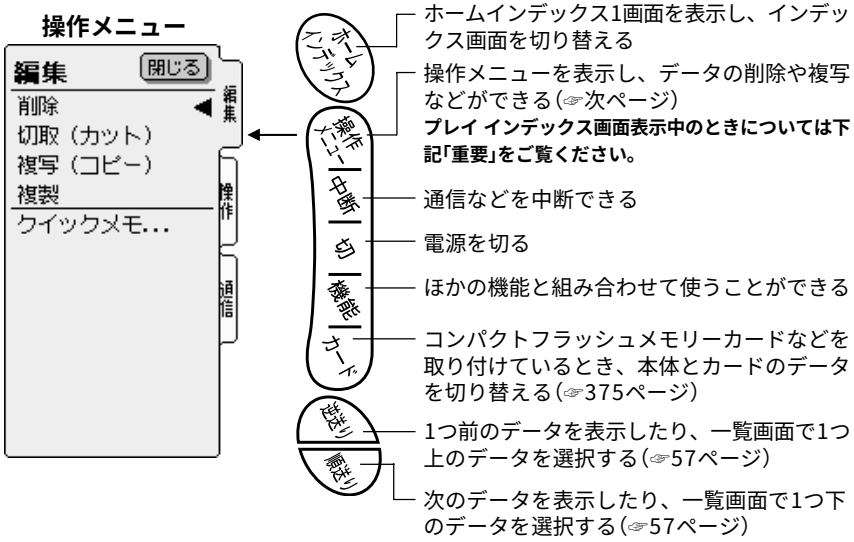
プレイ インデックス ボタン

プレイ インデックス画面を表示します。また、プレイ インデックス画面の表示を、縦画面または横画面に切り替えます。

タッチパネルキー

画面の左側、プレイ インデックス縦画面のときは画面の下側にあるタッチパネルキーの働きを説明します。

タッチパネルキー



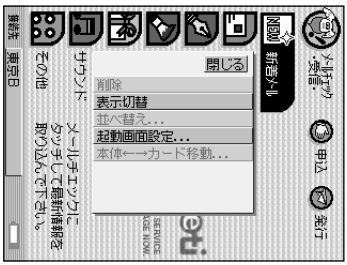
- ホームインデックス1画面を表示し、インデックス画面を切り替える
- 操作メニューを表示し、データの削除や複写などができる（☞次ページ）
  プレイ インデックス画面表示中のときについては下記「重要」をご覧ください。
- 中断：通信などを中断できる
- 切：電源を切る
- 機能：ほかの機能と組み合わせて使うことができる
- カード：コンパクトフラッシュメモリーカードなどを取り付けているとき、本体とカードのデータを切り替える（☞375ページ）
- 逆送り：1つ前のデータを表示したり、一覧画面で1つ上のデータを選択する（☞57ページ）
- 順送り：次のデータを表示したり、一覧画面で1つ下のデータを選択する（☞57ページ）

メモ

- **取扱説明書での表記**
  取扱説明書ではタッチパネルキーを**中断**キーなどと「キー」をつけて表記します。
- **通信中に操作できるキー**
  インターネットの通信途中では、タッチパネルキーで操作できるキーが限られています。通信中は、**操作メニュー**キー、**中断**キー、**逆送り**キー、**順送り**キーが操作できます。これ以外の**機能**キーなどにタッチしても、働きません。

重要

- プレイ インデックス画面で**操作メニュー**キーにタッチすると、操作メニューは表示されず、設定を変更する画面に切り替わります。画面を横にして、設定の変更などを行ってください。



操作メニューを使う

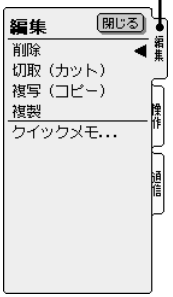
画面上のボタン以外の機能は、操作メニューにあります。操作メニューの内容は、各機能や画面によって異なりますが、基本的には「編集」、「操作」、「通信」というグループにまとめられ、タブとして表示されています。操作中の画面によって、表示されないタブや機能が違うと同じタブでも表示される内容が違う場合があります。

アドレス帳などプレイ インデックス画面以外での操作メニュー

1 アドレス帳の画面を表示し、操作メニュー キー にタッチする

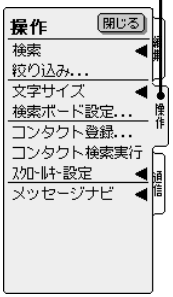
操作メニューを消すときは閉じる にタッチする

編集 タブ にタッチする



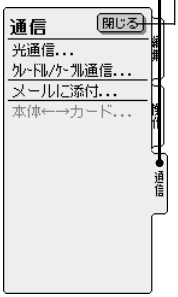
データの削除・複写などの編集機能がまとめられています。

操作 タブ にタッチする



検索・絞り込みなどの機能がまとめられています。

通信 タブ にタッチする



光通信などの通信機能がまとめられています。

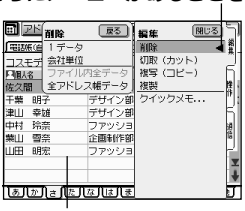
ご注意

- 操作メニューの中には動作しないメニュー（たとえば、貼込（ペースト） など）は薄文字で表示されます。

メモ

- **メニューの表示は**
  - 削除◀ などのようにメニューの一部に◀が表示されるものには、さらにメニューがあることを示しています。
  - メニュー名の後ろに「...」が表示されるものは、選ぶと設定などを行う画面が表示されます。
  - メニューの前に ✓ が表示されるときは、そのメニューが選ばれていることを示しています。

さらにメニューがあることを示す



この部分にタッチしても、メニューが消える

- 操作メニューを表示した後、上下の ◇（スクロールボタン）を押してメニューを選択し、決定 ボタンを押して実行します。タブの切り替えは左右の ◇（スクロールボタン）を押して行います。

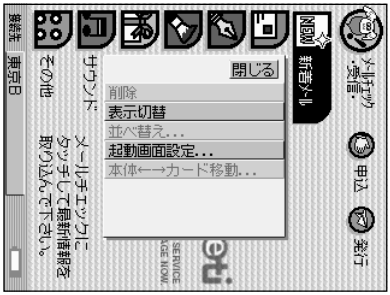
● **取扱説明書での表記**
削除◀などのメニューを、取扱説明書では**削除**と表記しています。また、メニューを選択する操作を、「**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**削除**、**1データ**にタッチする」と表記しています。

● **オリジナルのメニューを作るには(お好みメニュー設定)**
編集タブの**削除**の**1データ**などよく使うメニューをお好みメニューに登録すると、1つのメニューにまとめることができます。タブの選択やサブメニューを表示する手間が省けて便利です(☞60ページ)。

● ブンコビューアやマンガビューアなどのMOREソフトでは**操作メニュー**キーにタッチしたとき、タブが表示されないものがあります。

プレイ インデックス画面での操作メニュー

1 プレイ インデックス画面で操作メニューキーにタッチする



● プレイ インデックス画面で**操作メニュー**キーにタッチすると、アドレス帳などのときのようにメニューは表示されず、設定画面に移ります。プレイ インデックス縦画面でも横画面でも、設定画面は横表示になります。

●●●すぐ使ってみたい方へ●●●　GO！
すぐ使ってみたい方は、64ページの「文字入力」の章へお進みください。

インデックス画面を編集する

ホームインデックス1画面などでアイコンを追加・隠す・並び順の変更をしたり、ホームインデックス1画面などとは別によく使うアイコンなどを登録したインデックス画面（オリジナルインデックス画面）を作ったり、自分なりのインデックス画面を作ることができます。

ご注意
- ここで説明している編集は、ホームインデックス1画面、ホームインデックス2画面、ツールインデックス画面、オリジナルインデックス画面の編集です。プレイ インデックス画面の編集はできません。

インデックス画面でアイコンを追加・隠す・移動する

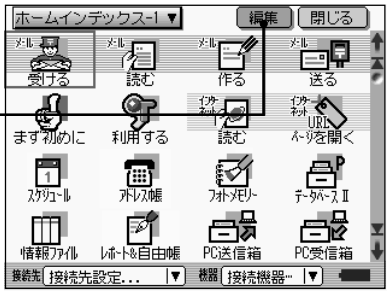
ホームインデックス1画面、ホームインデックス2画面、ツールインデックス画面でアイコンを追加・隠したりアイコンの並びを替えて、アイコンを探しやすくすることができます。

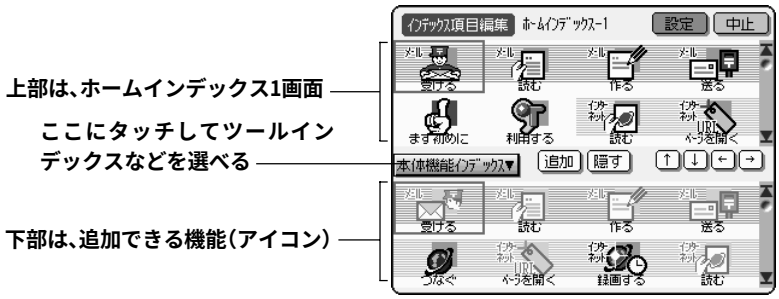
アイコンを追加する

1　インデックス編集画面を表示します。

❶ ホームインデックス1画面などを表示する

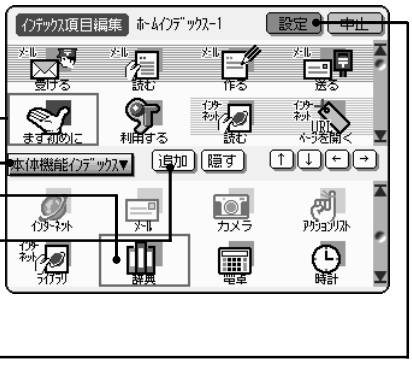
❷ 編集 にタッチする





インデックス項目編集画面

2 アイコンを追加します。



❶ **追加するアイコンの位置を決める**
選択したアイコンの後ろに追加される

❷ **ここにタッチし、表示されたメニューから追加したい機能（アイコン）があるインデックス画面名にタッチする**

❸ **追加したい機能（アイコン）にタッチする**

❹ **追加にタッチする**
この例では**まず初めに**アイコンの後ろに**辞典**アイコンを追加

❺ **設定にタッチする**

● 追加したいアイコンを選択したとき、すでに上部に同じアイコンがあるときは追加することができません。

アイコンを隠す・移動する

・アイコンを隠す場合

インデックス項目編集画面で隠したい上部のアイコンを選択し、**隠す**にタッチします。ホームインデックス1画面などからアイコンが隠されます。

・アイコンを移動する場合

インデックス項目編集画面で移動したいアイコン(上部にあるアイコン)を選択し、↑↓←→にタッチしてアイコンを移動させます。

● **購入直後の状態にアイコンを戻すには**

ホームインデックス1画面、ツールインデックス画面で、アイコンを購入直後の状態に戻すには、**操作メニュー**キー、**機能**タブ、**順番を元に戻す**にタッチします。

● **ホームインデックス2画面で項目の並び順を変えるには**

「アドレス帳」や「スケジュール」など(書く スケジュール 見る)の「スケジュール」にしばらくタッチし、表示されたメニューから機能名を選ぶと、選択した機能と入れ替わります。項目の並び順を購入直後の状態に戻すには、表示されたメニューから**購入直後の状態に戻す**にタッチします。

オリジナルインデックス画面を作る

よく使うアイコンだけを登録したインデックス画面を作ることができます。

1 ホームインデックス1画面などで、画面左上の[ホームインデックス-1▼]などにタッチし、表示されたメニューから[オリジナルインデックス]にタッチし、オリジナルインデックス画面で[編集]にタッチします。

前項の「アイコンを追加する」と同じ方法で、オリジナルインデックス画面に入れたいアイコンを選択し、**追加**にタッチします。お買いあげのとき、オリジナルインデックス画面にはアイコンは入っていません。

電源を入れたときや ホームインデックス キーにタッチしたときの画面を変更する

電源を入れたときに表示される画面を変えたり、戻る(電源)ボタンを押したり、**ホームインデックス**キーにタッチしたときに表示される画面を変更することができます。

電源を入れたときに表示される画面を変更する

お買いあげ時、電源を入れるとプレイ インデックス画面が表示されます。これをホームインデックス1画面などの画面に変更することができます。

❶ **プレイ インデックス画面を表示し、操作メニュー キーにタッチし、起動画面設定...にタッチする**

❷ **ここにタッチし、表示されたメニューから本体の設定に従うを選択する**

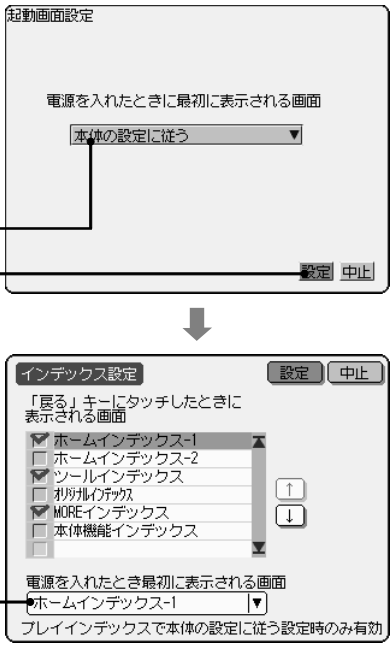
❸ **設定にタッチする**

❹ **ホームインデックスキーに数回タッチし、ホームインデックス1画面を表示する**

❺ **操作メニュー キーにタッチし、機能 タブの設定...にタッチする**

❻ **ここにタッチし、表示されたメニューから、電源を入れたときに表示される画面を選択する**

❼ **設定にタッチする**



インデックス設定画面

メモ

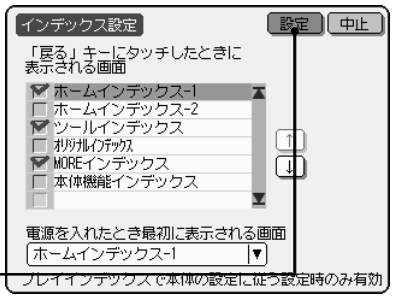
- **電源を入れたとき表示される画面を変更するには**
  手順❶～❸で**本体の設定に従う**に変更したことを確認して、手順❹～❼を行ってください。**本体の設定に従う**になっていないと、手順❹～❼を行っても画面は変わりません。
- インデックス設定画面の「電源を入れたとき最初に表示される画面」で「電源を切る前の画面」を選択した場合、電源を切る前に使用していた画面が表示され、電源を切る直前の画面データなどを保持しています。ただし、充電池が完全に消耗したときは、これらの内容を保持できなくなります。

戻る(電源)ボタン、ホームインデックスキーで表示する画面を変更する

ホームインデックスキーにタッチしたり、戻る(電源)ボタンを押して表示されるインデックス画面を変更できます。

1 **ホームインデックス1画面などで、操作メニューキーにタッチし、機能タブの設定...にタッチする**

2 **をつけるなど設定を変更し、設定にタッチする**



インデックス設定画面

インデックス設定画面の説明

◆「戻る」キーにタッチしたときに表示される画面

戻る(電源)ボタンを押したり、ホームインデックスキーにタッチしたときに表示される画面を設定します。
チェックがついているものが表示されます。表示される順番は、このリストの上から順に表示されます。

◆↑ ↓

戻る(電源)ボタンを押したり、ホームインデックスキーにタッチしたときに表示される画面の順番を変更できます。左のリストから上に移動したい画面を選択し、↑にタッチします。下に移動したいときは、↓にタッチします。

◆電源を入れたとき最初に表示される画面

電源を入れたとき最初に表示される画面を設定します(☞前ページ)。
この設定はプレイ インデックス画面から操作メニューキーにタッチして、設定画面で**本体の設定に従う**になっているときに有効になります(**プレイインデックス**に設定されているときは、無効です)。
ホームインデックス-1などにタッチして表示されたメニューから選択します。

文字を拡大して表示する

一覧画面や詳細表示画面で文字を拡大して表示することができます。
文字の大きさを変更する操作は、機能によって次のように分かれます。

- **画面上の[文字 大]で拡大する**
  [文字 大]と[文字 標準]で2段階に切り替えることができます。[文字 大]で表示を切り替えることのできる機能は、アドレス帳、スケジュール、アクションリスト、メール、レポート&自由帳の各機能です(メールでは、大/標準/小の3段階)。なお、上記の機能では[操作メニュー]キー、[操作]タブ、[文字サイズ]にタッチし、[大]または[標準](メールでは、[大]、[標準]、[小])にタッチしても切り替えることができます。
- **[操作メニュー]キーで拡大・縮小する**
  インターネット、インターネットライブラリは[操作メニュー]キー、[操作]タブ、[文字サイズ]にタッチし、3段階に切り替えることができます。

ここでは、アドレス帳の一覧を例に説明します。

❶ 拡大する画面を表示する

❷ [文字 大]にタッチする

❸ [文字 標準]にタッチし、通常の大きさの画面に戻す

区切り線にタッチし、右にずらすと隠れている部分を表示できる

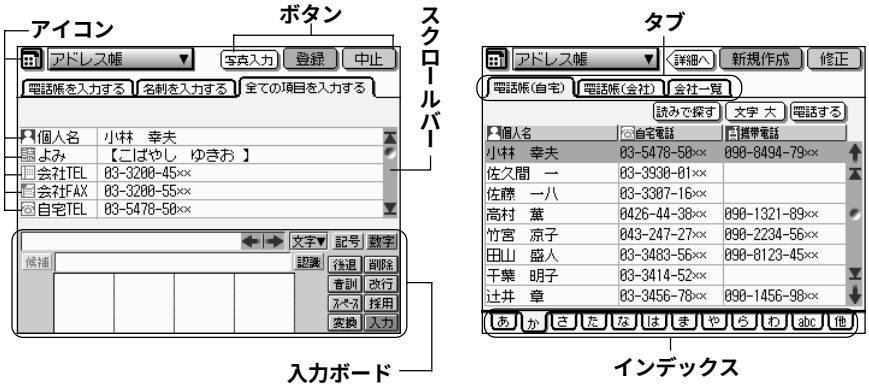
メモ

- プレイ インデックス画面では、文字を拡大することはできません。ブンコビューアなどで文庫データなどを表示しているときは、文字を拡大して表示できます。くわしくは、『取扱説明書(通信ガイド)』106ページをご覧ください。
- **隠れている部分を表示するには**
  インターネットなどではタッチペンで画面にタッチしてスクロールしたり、(スクロールボタン)を押すと、隠れている部分を表示することができます。

画面各部のなまえと操作

画面には、いろいろな働きや表示を示すアイコンやボタンなどがあります。これらのアイコンやボタンなどの役割を知っておくと、簡単に操作できたり、その意味がわかります。

ここでは、画面の各部に表示されるアイコンなどをまとめて説明します。



●アイコン

アイコンには、次のようなものがあります。

- など …各項目の前でその内容を示すアイコン
- など …画面の左上で、操作中の機能を示すアイコン
- など …… インデックス画面に表示されている機能を示すアイコン
- など … プレイ インデックス画面で、情報の種類を示すアイコン

メモ

- アイコンの種類は機能によって違います。
  また、「個人名の読み」や「会社名の読み」などのアイコンは、新規作成画面や修正画面では表示されますが、それ以外の画面では表示されません。
- **アイコンの表示は**
  アイコンやボタンには、表示によって状態を示すものがあります。
  修正 … 選択できる状態
  修正 … 選択できない状態(薄い)
  … シークレットがかかっている
  … シークレットがかかっていない

●ボタン

ボタンには、次の3種類があります。

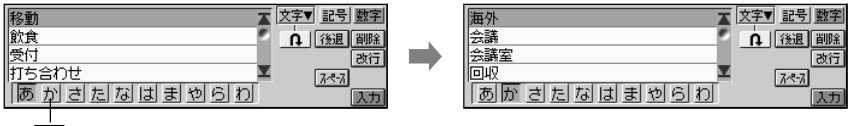
- ［　　］ …… 作業を実行する
- ［◁　　］ …… 画面を切り替える
- ［　　▼］ …… メニューを表示する

ボタンにタッチすると、ボタンの中に書かれている機能や作業が実行されます。ボタンは、操作中の画面で選べるものだけが表示されます。

● **登録**、**中止**の働きは
- **登録**……新規作成中や修正中のデータを登録します。
- **中止**……作業を中止します。

●インデックス

データを名前の読みなどで分類したものを、インデックスと呼びます。



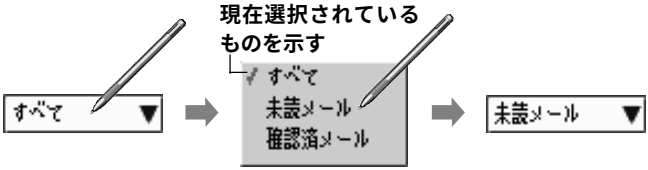
かにタッチする

●タブ

タブとは、表示中の内容を示すものです。タッチすると、ほかのタブに切り替えることができます。

●ポップアップメニュー

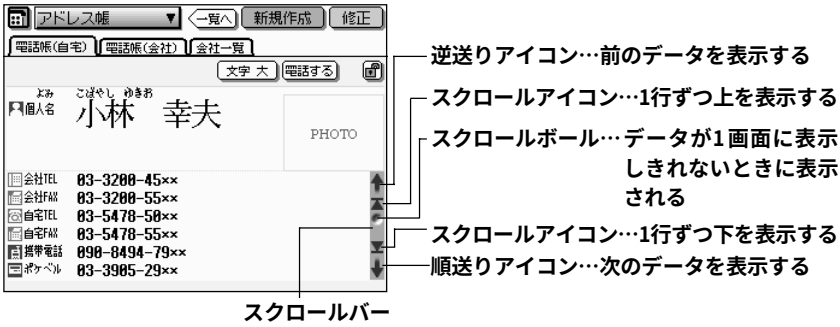
すべて ▼ などのように右端に▼が表示されているボタンがあります。このボタンにタッチすると縦に並んだポップアップメニューが表示され、タッチして目的の機能に切り替えることができます。ポップアップメニューの内容は、ボタンによって違います。



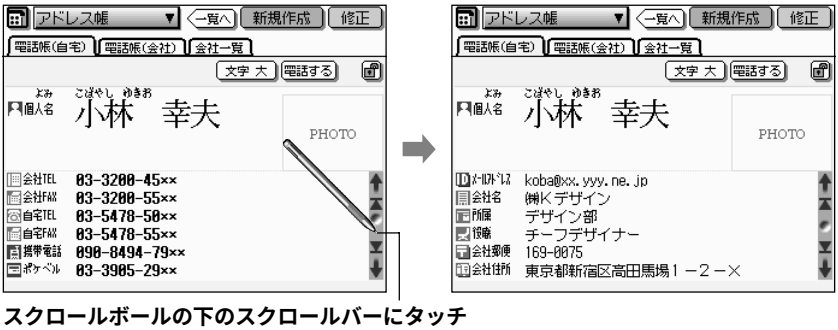
● **メニューの選択は**
ボタンにタッチしたままメニューまでなぞって離しても選択できます。

●スクロールバー

1画面に表示しきれない内容を表示するときに、スクロールバーを使います。
スクロールバーに が表示されたときは、1画面分以上のデータがあります。



- 上下のスクロールアイコンにタッチすると、1行分ずつ上下に表示を送ります。
- スクロールボールの上または下のスクロールバーにタッチすると、1画面分表示を送ります。



- スクロールボールにタッチしたまま上下にペンを移動して離すと、表示が大きく変わります。データ量が多いとき、大きく動かすときに使います。

メモ

- **表示するデータ量が多いと**
  画面の切り替えに時間がかかることがあります。
- **区切り線がスクロールバーに重なっていると**
  スクロールバーにタッチしているつもりが、誤って区切り線にタッチしていることがあります(☞「区切り線」180ページ)。そのときは、画面がスクロールしません。なるべく、スクロールバーの右側寄りをタッチするようにしてください。

●前後のデータの呼び出し、ページめくり

前後のデータを呼び出したり、リストのページをめくるときは、
逆送り キー、順送り キーや ◢ にタッチします。

- 逆送り キー ◤ …… 前のページや、表示中のデータよりリスト上で上に位置するデータを呼び出す
- 順送り キー ◢ …… 次のページや、表示中のデータよりリスト上で下に位置するデータを呼び出す

ここにタッチして前後のページやデータを表示できる

● 順送り キーでの順番は

例：

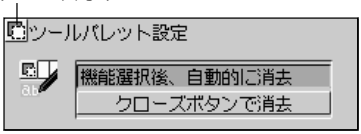
- **レポート＆自由帳、フォトメモリー、インターネットライブラリ**
  ……日付の新しいものから順に表示
- **スケジュール**
  ……予定時刻順に表示
- **アドレス帳**
  ……個人名や会社名の読みの順(50音順)に表示
- **パーソナルデータベースII**
  ……一覧画面でのデータの並び順に表示

●閉じる ボタン、クローズボタン

ホームインデックス1画面などに表示される 閉じる ボタンや設定画面(たとえばツールパレット設定画面)などで表示されるクローズボタンにタッチすると、その画面が閉じます。

閉じる ボタン

クローズボタン



●一覧画面でのデータの選択

一覧画面でデータを選んで内容を表示したりするときは、次のように操作します。

◇(スクロールボタン)と決定ボタンを使うとき

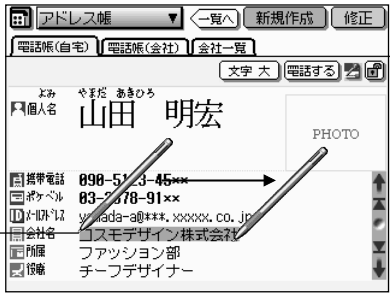
上下の◇(スクロールボタン)を押してデータを選択し、決定ボタンを押します。

タッチペンを使うとき

- 選択されているデータ(グレーで表示) …… 1回タッチする
- 選択されていないデータ …… 2回タッチする

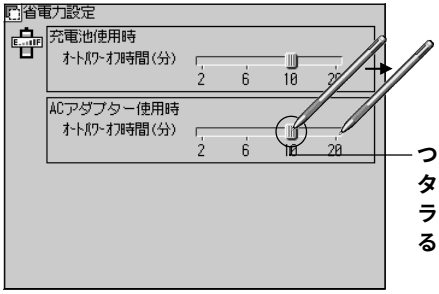
●ペンでなぞる

選び始めの文字にタッチし、タッチしたまま最後の文字までスライドさせてグレーに表示することを「ペンでなぞる」といいます。なぞって選んだ後、いずれかの文字にタッチすると、選択が解除されます。



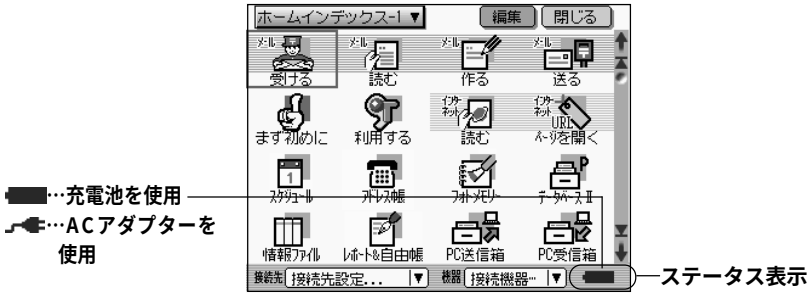
●つまみの移動

オートパワーオフ時間などをつまみで設定するときは、つまみにタッチしたままスライドして移動します。



●ステータス表示

充電池/ACアダプターの使用を確かめるときは、インデックス画面の右下にあるステータス表示で確かめます。



- ステータス表示は、インデックス画面に表示されます。アドレス帳やスケジュール機能などでは表示されません。
- 充電池の使用中、「■」のマークの白い部分が多くなると、充電池が消耗しています(☞438ページ)。

お好みメニューを設定する

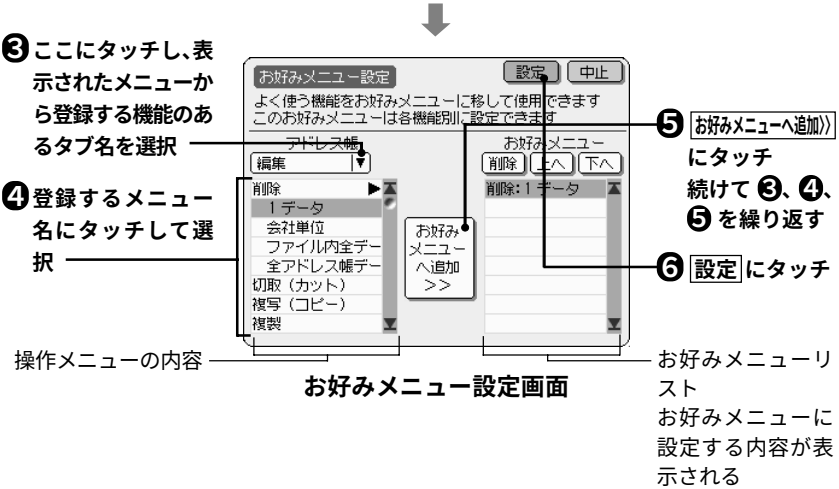
よく使うメニューをお好みメニューに登録すると、簡単に操作できるようになります。編集タブの削除の1データや通信タブの光通信...など、ご自分でよく使う機能を1つのメニューにまとめることができます。タブの選択やサブメニューを表示する手間が省けて便利です。
お好みメニューは、アドレス帳などの各機能ごとに1つ設定することができます。

ここでは、アドレス帳のお好みメニューを設定します。

お好みメニューにメニューを登録する

❶お好みメニューを設定する機能(ここでは、アドレス帳)のデータを表示

❷画面左上の各機能アイコン(など)にタッチし、表示されたメニューから お好みメニュー設定... を選択



お好みメニュー設定画面

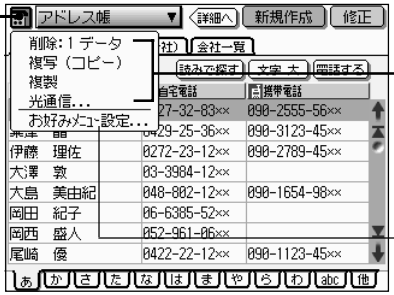
- 画面左上の機能アイコンにタッチし お好みメニュー設定... が表示されない機能では、お好みメニューを設定することはできません。
- お好みメニューに登録できるメニュー数は、最大20個です。
- お好みメニューに追加した機能を削除するには、画面右側のお好みメニューリストで削除するメニューを選択し、削除にタッチします。
- **メニューの位置を変えるには**
  お好みメニューリストで位置を変えるメニューを選択し、上へ、下へにタッチすると、選択したメニューが上下に移動します。

● お好みメニューでは、削除メニューのサブメニュー(**1データ**など)が**削除:1データ**などと「:」で区切って表示されます。

お好みメニューを使う

❶お好みメニューを設定した機能を表示

❷画面左上の機能を示すアイコンにタッチ



❸表示されたメニューから実行する機能にタッチ

お好みメニュー設定画面へ

● **お好みメニューを修正するには**
画面左上の機能を示すアイコンにタッチし、表示されたメニューから**お好みメニュー設定...**にタッチします。お好みメニュー設定画面で機能を追加・削除し、**設定**にタッチします。

次に行う操作を教えてくれる

この製品では、メール、スケジュール、アドレス帳などで次に何の操作をすればよいのかを教えてくれます。

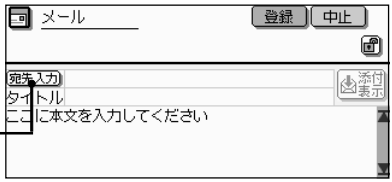
次に行う操作を教えてくれる

メール機能

ボタンのまわりに枠が点滅して、次にタッチするボタンを教えてくれます。

❶ ホームインデックス1画面で メール作る アイコンにタッチする

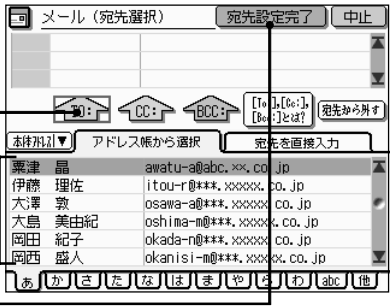
❷ 宛先入力 にタッチする



❸ 宛先にする TO: が枠で囲まれ、このボタンにタッチすればよいことを教えてくれる

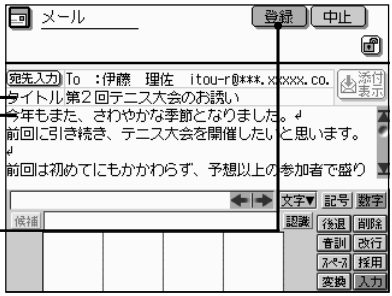
❹ 下のリストから宛先を選んで、TO: にタッチする

❺ 宛先が決まると、宛先設定完了 が枠で囲まれる(点滅)。
宛先設定完了 にタッチする

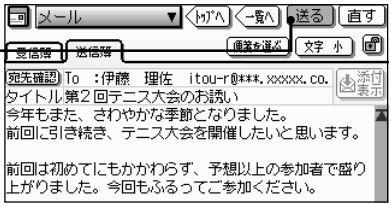


❻ タイトル、本文を入力する

❼ 登録 が枠で囲まれ(点滅)、このボタンにタッチすると新しく作ったメールが登録される



❽ 送る にタッチするとメールを送信する

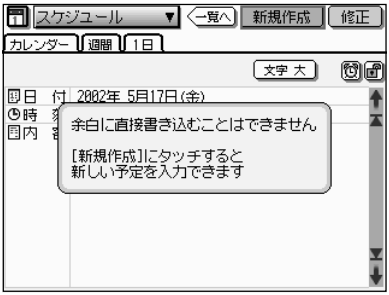


- 手順 ❺、❼ でボタンを囲む点滅する枠は、しばらくすると消えます。
- スケジュール、アドレス帳では、文字などを入力した後、**登録**ボタンが枠で囲まれ(点滅)、次の操作を教えてくれます。
  この点滅する枠も、しばらくすると消えます。

メッセージで教えてくれる

この製品では、操作を迷いやすいところではメッセージを表示して今行っている操作を教えてくれます。ナビゲーションしてくれる操作として、次のようなものがあります。

- タブ(☞55ページ)やボタンなどにタッチすると、タッチしたタブやボタンの意味を教えてくれます。
- 入力できない画面に手書きをすると、まちがっていることを教えてくれます。



- メッセージナビが表示される機能は、スケジュール、アドレス帳、メールです。
- メッセージナビの表示/非表示は、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**メッセージナビ**、**表示する**または**表示しない**にタッチします。各機能でそれぞれ設定します。
- メッセージナビを**表示しない**にしても、新規作成中に**中止**にタッチした場合などは、確認のメッセージが表示されます。

文字入力

ここでは、文字の入力方法を説明します。基本的な文字の変換や修正の方法は、手書入力ボードで説明しています。手書入力ボードのほかに50音ボードやタイプライターボードなどがあります。ご自分で入力しやすい入力ボードに切り替えてお使いください。

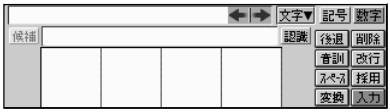
入力ボードの種類

文字は入力ボードから入力します。
入力ボードは9つあり、入力のしかたや入力する文字によって自由に選ぶことができます。通常の入力では、手書きで入力できる手書認識ボードを使って入力できます。

9つの入力ボードの概要

9つの入力ボードを紹介します。

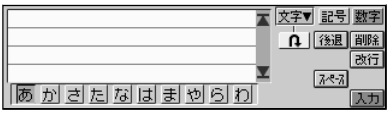
●手書認識ボード（☞68ページ）
付属のペンを使って、手書きで入力します。ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力できます。



●50音ボード（☞81ページ）
50音の読みでひらがな・カタカナ・漢字などを入力できます。

●タイプライターボード（☞83ページ）
英文タイプライターと同じキー配列でローマ字変換ができます。ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字などを入力できます。

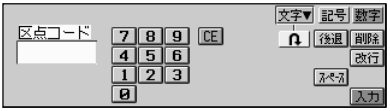
●ユーザー辞書ボード（☞91ページ）
自分で登録した語句を入力できます。



●常用語ボード（☞91ページ）
よく使う語句を入力できます。

●区点入力ボード(☞91ページ)

4桁の区点コードで文字を入力できます。



●記号入力ボード(☞86ページ)

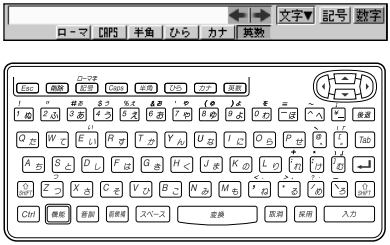
全角記号、半角記号、絵記号を入力できます。

●数字入力ボード(☞85ページ)

数字、入力ボード上の記号や文字を入力できます。

●携帯型キーボード(☞87ページ)

別売の携帯型キーボードCE-KB1を使って、ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力できます。



入力できる文字と入力ボード

入力できる文字は、入力ボードによって次のように異なります。

入力ボード	入力できる文字(*1)						
	ひらがな	カタカナ	漢字	英字	数字	記号	絵記号
手書認識ボード	○	○	○	○	○	○(*2)	
50音ボード	○	○	○				
タイプライターボード	○	○	○	○	○	○(*4)	
区点入力ボード	○	○	○	○	○	○	○
携帯型キーボード	○	○	○	○	○	○(*3)	
数字入力ボード					○	○(*4)	
記号入力ボード						○	○
常用語ボード	常用語						
ユーザー辞書ボード	ユーザー辞書に登録してある語句						

＊1：ひらがな・漢字・絵記号・記号の一部は全角文字で、カタカナ・英字・数字・記号の一部は全角・半角の両方で入力できます。
機種名がPI-8000などのPIシリーズザウルスで入力できた半角ひらがな、1文字で濁点や半濁点を含んだ半角のカタカナ(「ﾀﾞ」など)は入力できません。

＊2：一部の記号を入力できます(☞453ページ)。

＊3：別売の携帯型キーボード上の記号を入力できます。

＊4：ボード上の記号を入力できます。なお、各ボードのボタンに表示される記号は、それぞれ入力できます。

入力ボードの切り替え

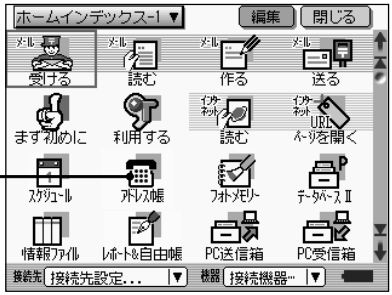
入力ボードを切り替えます。
入力ボードは新規作成画面・修正画面などで表示されます。

例 手書認識ボードからタイプライターボードなどに切り替える場合

1 入力ボードを表示します。

ここでは、アドレス帳の新規作成画面を表示し、入力ボードを表示します。

❶ ホームインデックス キーに数回タッチする



ホームインデックス1画面

❷ アドレス帳 アイコンにタッチする

アドレス帳 アイコンにタッチして新規作成画面以外の画面が表示されたときは、新規作成 にタッチして表示する

2 入力ボードを切り替えます。

ここでは、手書認識ボードからタイプライターボード、数字入力ボードに切り替えます。

❶ 文字▼ にタッチし、入力ボード切り替えメニューを表示する

手書認識ボード

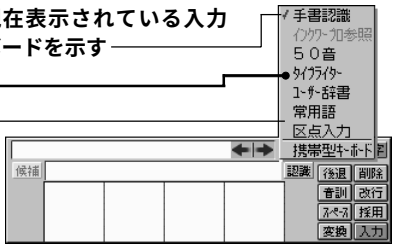
アドレス帳の新規作成画面

● 別売の携帯型キーボードCE-KB1を接続した状態で新規作成画面を表示すると、入力ボードは携帯型キーボードのボードが表示されます。くわしくは87ページをご覧ください。

❷ **タイプライター**にタッチし、タイプライターボードに切り替える

現在表示されている入力ボードを示す

入力ボード切り替えメニュー



❸ **数字**にタッチし、数字入力ボードに切り替える

タイプライターボード

直前に表示していた入力ボードに戻る
この場合、タイプライターボードに戻る

数字入力ボード

- **入力ボードの表示は**
  データを入力する項目（入力項目）にカーソルが移ると、通常その項目に合った入力ボードに切り替わります。主に数字を入力する項目では数字入力ボード、それ以外の項目では選んでいる入力ボード（手書認識ボード、50音ボード、タイプライターボード）が表示されます。携帯型キーボードを接続して選択しているときは、すべての項目で携帯型キーボードが選ばれたままになります。
- **入力項目とは**
  たとえばアドレス帳機能には、名前を入れる項目、電話番号を入れる項目などがあります。これらデータを入力する項目を、入力項目といいます。
- **手書認識ボード、50音ボード、タイプライターボード、ユーザー辞書ボード、常用語ボード、区点入力ボードに切り替えるには**
  入力ボードの**文字▼**にタッチし、表示された入力ボード切り替えメニューから、**手書認識**、**50音**、**タイプライター**、**ユーザー辞書**、**常用語**、**区点入力**を選択します。
- **数字入力ボード、記号入力ボードに切り替えるには**
  入力ボードの**数字**、**記号**にタッチします。
- **直前に表示されていた入力ボードに戻るには**
  にタッチします。
- **切り替えを中止するには**
  表示中の入力ボードにタッチすると、入力ボード切り替えメニューが消えます。
- **文字▼**にタッチして表示される入力ボード切り替えメニューには、常に**携帯型キーボード**が表示されますが、携帯型キーボードが接続されていないときには、**携帯型キーボード**にタッチしても入力ボードを切り替えることはできません。

手書認識ボードで入力する

手書認識ボードを使って手書きで文字を入力します。

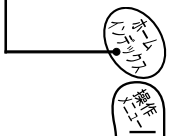
文字を手書きする

手書きで漢字、ひらがな、カタカナ、英数字を入力します。

例 **「大木浩二」、「おおきこうじ」、「デザイナーSMA55所属」を手書きして入力する場合**

1 アドレス帳の新規作成画面に手書認識ボードを表示します。

❶ ホームインデックス キーに数回タッチする



❷ アドレス帳 アイコンにタッチする

新規作成画面以外の画面が表示されたときは、新規作成にタッチして表示する

❸ 手書認識ボードが表示されていることを確認する

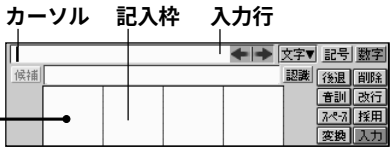
手書認識ボード以外が表示されていたら、入力ボードの 文字▼ にタッチし、表示されたメニューから 手書認識 にタッチして手書認識ボードを表示する (☞66ページ)

新規作成画面

2 手書きで漢字を入力します。ここでは、「大木浩二」を手書きします。

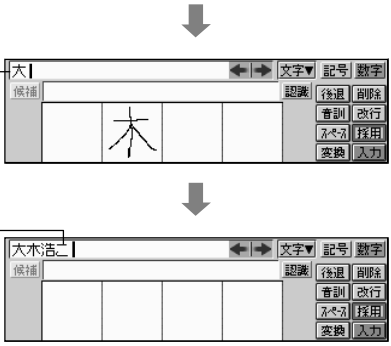
❶ 1枠に1文字ずつ(「大木浩二」)手書きする

4個の枠のどこに書いてもかまわない



枠に文字を書いてしばらくする
と、入力行に表示される

手書き文字の入力について
(☞71～72ページの「メモ」)



「二」が「こ」に似ているため、ま
ちがって認識された

3 まちがって認識された場合は、正しい文字に変えます。この後、文字を採用します。

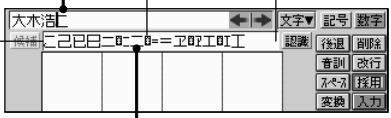
❶ 正しい文字に変えたい
文字(「こ」)にタッチする

候補文字表示窓に
「こ」に似た文字が表示される

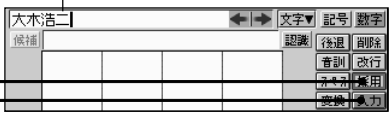
❷ 正しい文字(「ニ」)にタッチし
選択する

左側に半のついた文字は半角(横幅が漢字の半分の文字)

候補文字表示窓



「二」が選択されている

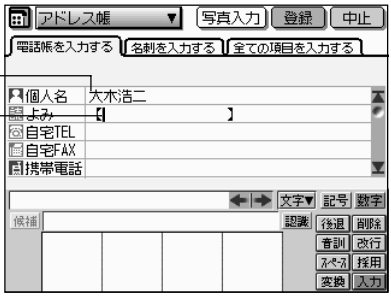


❸ 採用 にタッチし、
「個人名」項目に採用する

❹ 入力 にタッチし、カーソルを
「よみ」項目に移動する

採用した漢字が表示される

カーソルがここに移動する

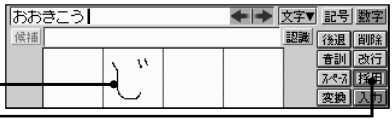


認識、候補、採用、入力、
削除について
(☞71ページの「メモ」)

4 手書きでひらがなを入力します。
ここでは、「おおきこうじ」を手書きします。

❶ ひらがな(「おおきこうじ」)を手書きする

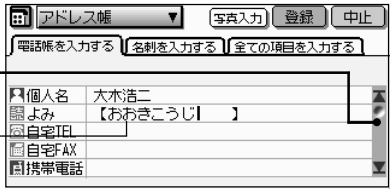
❷ 採用 にタッチする



5 カーソルを「備考」項目に移動します。

❶ ここに2回タッチし、下に隠れている画面を表示する

採用したひらがなが表示されている



❷ ここにタッチし、カーソルを「備考」項目に移動する

6 手書きでカタカナと英数字などを入力します。
ここでは、「デザイナーSMA55所属」を手書きします。

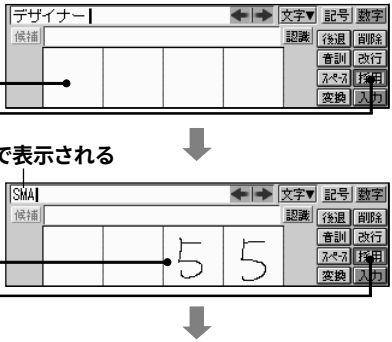
❶ カタカナ(「デザイナー」)を手書きする

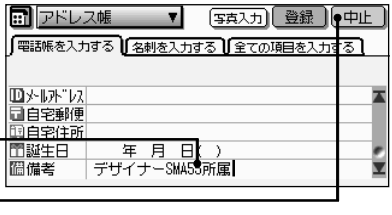
❷ 採用 にタッチする

英数字を手書きすると、入力行に半角で表示される

❸ 英数字(「SMA55」)を手書きする

❹ 採用 にタッチする





これで、手書きでの漢字、ひらがな、カタカナ、英数字の入力を終わります。
次に、手書きでひらがなを入れ、漢字に変換する方法を説明します。

- **入力行のカーソルとは**
  入力行に表示されるカーソル(｜)は、この後ろ(右)に文字が入力されることを示しています。
- **手書き文字での入力は**
  - 筆順や画数をあまり気にしないで書くことができます。もし書いた文字がほかの文字になったときは、筆順どおりに正しく書くか、楷書でていねいに書いてください。
  - きちんとした楷書でなく、少々続け字になっても、多くの場合、認識できます。漢字の場合、「へん」と「つくり」を続けたり、「かんむり」と「あし」の間を続けても、多少ならば認識できます。
  - 行書体で書くと、認識できない場合があります。
- 手書きして**認識**にタッチすると、手書き文字を認識します。また、空白の記入枠に次の文字を書き始めるか、約2秒経過すると、自動的に認識されます。
- **入力行に表示される文字の順番は**
  枠に書いた順に入力行に表示されます。枠の位置に関係なく、空いた枠に続けて書いてください。
- **表示される候補が候補文字表示窓に表示しきれないときは**
  候補が濃く表示されます。**候補**にタッチすると、次の候補が表示されます。
- **候補に目的の文字がないときは**
  削除にタッチして削除(☞73ページ)し、もう一度文字の特徴をはっきりと書いてください。
- **候補文字表示窓に表示される文字は**
  カーソルの後ろ(右)の文字の候補が表示されます。
- 入力中の文字の修正は73ページをご覧ください。
- **採用とは**
  採用にタッチして入力行の文字を入力項目に入れることです。
- **入力する文字を採用するには、次の2つの方法があります。**
  - **採用にタッチする** … 入力項目に入力される(カーソルは移動しない)
  - **入力にタッチする** … 入力項目に入力され、カーソルが次の項目に移動する(最後の項目では、カーソルは移動しない)
- **おことわり**
  人によって手書き文字の筆跡が異なっていることにより、認識された文字が本書に記載の例のとおりでなかったり、候補文字が違っていたりする場合があります。

● **半角のカタカナを入力するときは**

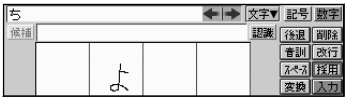
カタカナの手書き文字はすべて全角になりますので、半角にしたい文字にタッチして候補の中から選んでください。ただし、半角文字の直後に同じ種類の文字を入力したときは半角で入力されます。違う種類の文字を入力したときや採用後では、全角の文字が入力されます。

● **濁点・半濁点を含む半角カタカナについて**

候補の中には、1文字で濁点、半濁点を含んだ半角カタカナが表示されますが、入力行や項目に表示されるときは、半角カタカナ文字(「ザ」は「サ」+「゛」)の形となります。

● **小文字の入力は**

「っ」や「ょ」などの小文字は、普通の文字より小さく書きます。



● **全角の英字・数字を入力するときは**

英字・数字の手書き文字は、すべて半角になります。全角にしたい文字にタッチして候補の中から選んでください。

● 「0」(ゼロ)と「O」(オー)の違いは、画面上では数字のゼロ「0」は0、英字のオー「O」はOと区別して表示されます。

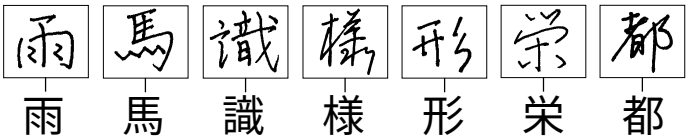
● 半角のひらがなは入力できません。

● **手書きでの文字の書きかた**

次のことに注意して書いてください。

- 枠全体を使って、枠からはみ出さないように大きく書く(ただし、ひらがな・カタカナの小文字は小さく書く)
- なるべく、正しい筆順で書く
- なるべく、楷書で書く(下記の例のように、少々ならば続け字になってもかまわない)
- 文字の1画(線)が途切れないように書く
- 傾きすぎないように書く
- はね、かざりをつけすぎないようにする

文字の書きかたと認識については、445ページを参照してください。



ご注意

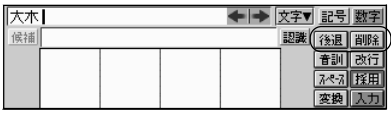
● **入力行に表示できる文字数**

入力ボードの入力行には40文字まで表示できますが、40文字を超えて入力した文字は取り込まれません。長い文を書く場合でも、数文字から10数文字を入力行に入力した後、**採用**にタッチして採用し、入力行を空にすることをおすすめします。

コラム

入力中の文字を修正するには（入力行での修正）

入力行に入力された文字の修正には、次の方法があります。



後退、**削除**を使って文字を修正する

■ **削除する** …… **後退**、**削除**

後退はカーソルの前（左）の文字、**削除**はカーソルの後ろ（右）の文字を削除します。

例：「大木」の「木」を削除するとき

後退を使う

大木
↓ **後退**にタッチ
大

削除を使う

大木
↓「木」にタッチ
大木
↓ **削除**にタッチ
大

例：「大木浩二」の「大木」を削除するとき

大木浩二
↓「大木」をなぞって選ぶ
大木浩二
↓ **削除**にタッチ
（**後退**にタッチしても削除できる）
浩二

● 入力行に文字がないときに**後退**、**削除**にタッチすると、入力項目の文字が削除されます。

■ **入力中に文字を挿入する**

挿入したい位置にカーソルを移動し、文字を入力します。

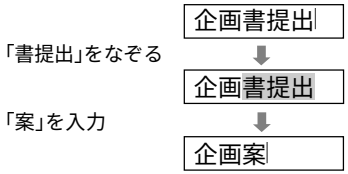
例：「大木二」の「木」と「二」の間に「浩」を挿入するとき

大木二
↓「二」にタッチ
大木二
↓「浩」を入力
大木浩二
↓ ➡ にタッチ
大木浩二

● **カーソルの移動は**
ある文字に直接タッチするか、⬅➡ にタッチして左右に移動します。

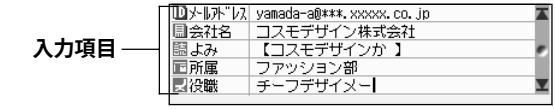
■ 別の文字に書き換える

例:「企画書提出」を「企画案」に修正するとき

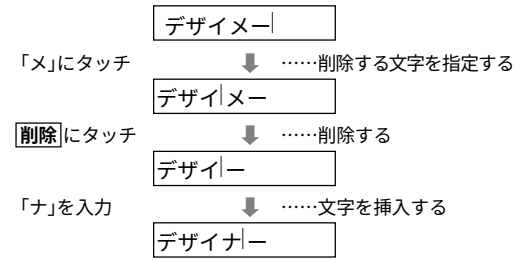


採用した文字を修正するには（入力項目での修正）

採用して入力項目に入力した文字の修正は、入力行での修正と同じです（☞前ページ）。



例:「デザイメー」の「メ」を「ナ」に修正するとき



- **カーソルを移動するには**
  修正したい文字に直接タッチします。
- **文字を削除するには**
  後退はカーソルの前（左）の文字、**削除**はカーソルの後ろ（右）の文字を削除します。
- **文字を挿入するには**
  挿入したい位置にカーソルを移動し、文字を入力し採用します。
- **入力行に文字があるときに、入力項目の文字を修正するには**
  入力行に文字があるときに、**後退**や**削除**にタッチすると、入力行の文字が削除されます。入力項目の文字を削除するには、次のようにします。
  1 入力項目で削除する文字を、なぞって選択します。
  2 **操作メニュー**キー、**編集**タブ、**削除**にタッチします。
  3 入力行にある文字を採用する位置にタッチし、カーソルを移します。
- スケジュールやアクションリストの日付や時刻などの入力項目では、入力項目の左のアイコン（ や ）にタッチすると、入力されている内容が消去されます。アドレス帳の誕生日を消去するときは、内容をなぞって選択し、**削除**にタッチしてください。

ひらがなを漢字に変換する

手書認識ボードを使ってひらがなを漢字に変換して入力します。

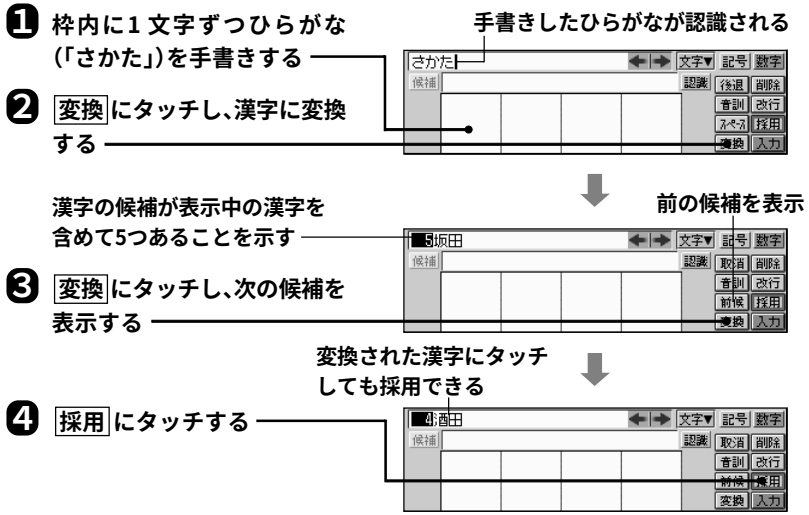
ひらがなを漢字に変換する　かな漢字変換

手書きでひらがなを入力し、漢字に変換します。

例 **「さかた」を入力し「酒田」に変換する場合**

1 **68ページと同じ手順で、アドレス帳の新規作成画面を表示します。**

2 **ひらがなを手書きし、漢字に変換します。続けて、目的の候補を表示し、採用します。**



メモ

- 以前別の漢字で変換していると、学習機能により最初に表示される漢字が違うことがあります。
- **学習機能とは**
  一度選んだ漢字を優先して採用できるようにする機能です。いったん採用した漢字は、同じ読みで変換すると、最初の候補として表示されます。
- 機能キー、変換にタッチすると、人名や地名が変換の候補に表示されます。続けて変換にタッチすると、次の人名・地名の候補が表示されます。
- **変換したときの入力ボードの表示について**
  変換などにタッチすると、入力ボードの後退が取消に、スペースが前候に変わります。取消にタッチすると、変換前のひらがなに戻ります。この2つのボタンの切り替えは、ほかの入力ボードでも同じです。

音読み/訓読みから漢字に変換する　音訓変換

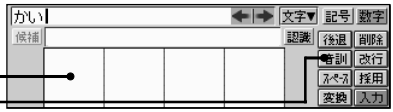
変換にタッチして入力したい漢字が見つからないときは、音訓にタッチして音訓変換します。

例 **「かい」を入力し「改」に音訓変換する場合**

1 漢字の音読み/訓読みを入力し、漢字に変換します。

❶ ひらがな(「かい」)を手書きする

❷ 音訓にタッチし、音訓変換する



前の候補群を表示

漢字の候補群が表示中の候補群を含めて9つあることを示す

❸ 音訓にタッチし、次の候補群を表示する

❹ 「改」にタッチすると、自動的に採用される

- 以前別の漢字で変換していると、学習機能により最初に表示される漢字が違うことがあります(☞前ページ)。
- この製品で文字を入力するときの音訓変換については、字によって「意味」をとらえて変換する場合があります。たとえば、入力ボードから「はけ」を入力して音訓変換を行うと、「鉋」が表示されますが、これは「鉋」の意味の中に「はけ」があるためです(例：角川新字源(角川書店刊)など)。

連続した2文節を変換する　　連文節変換

この製品では2文節までの連文節変換ができます。3文節以上の読みを入力して変換できなかったときは、取消にタッチして読みに戻し、文節を区切って漢字に変換します。

例　「こくさいてきなきかくをていあん」を「国際的な企画を提案」に変換する場合

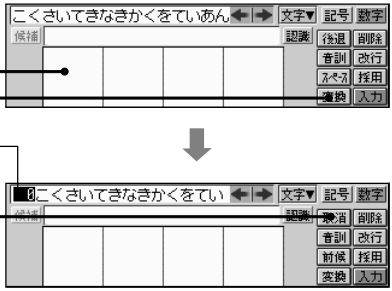
1 ひらがなを入力し漢字に変換します。

❶ ひらがな(「こくさいてきなきかくをていあん」)を手書きする

❷ 変換にタッチする

変換できる漢字がないことを示す

❸ 取消にタッチし、ひらがなに戻す



2 文節を区切って漢字に変換します。

❶ 文節を区切って変換する文字の次の文字(「て」)にタッチし、カーソルを移動する
(☞79ページの「メモ」)

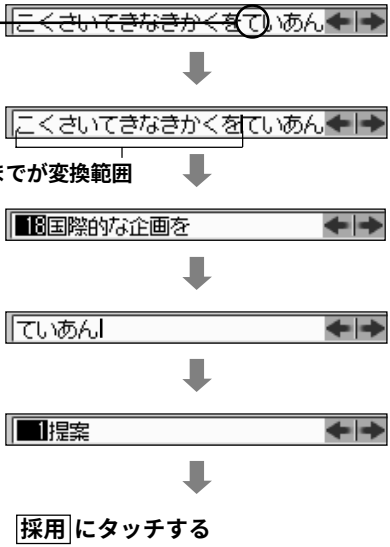
ここまでが変換範囲

❷ 変換にタッチする

❸ 採用にタッチする

❹ 変換にタッチする

❺ 採用にタッチする



● 連続した2文節を変換する読みの範囲は

変換にタッチすると、カーソルの前までの読みを2文節の漢字混じりの文字に変換します。

文節の区切りを変えて変換する

文節区切り変換

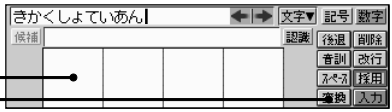
文節の区切りを変えて目的の漢字に変換します。

例 **「きかくしょていあん」と入力して変換した「規格所定案」の文節の区切りを変え、「企画書提案」に変換する場合**

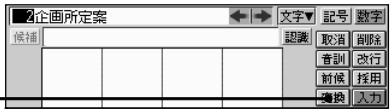
1 ひらがなを入力し、漢字に変換します。

❶ ひらがな(「きかくしょていあん」)を手書きする

❷ 変換 にタッチする



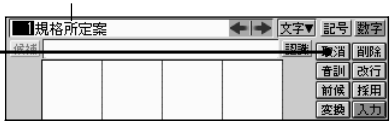
❸ さらに 変換 にタッチし、「企画書提案」を探す



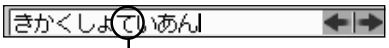
2 目的の漢字がないので、ひらがなに戻し、文節の区切りを変える位置を指定し、変換し直します。

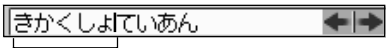
❶ 取消 にタッチし、ひらがなに戻す

「企画書提案」が見つからないので、ひらがなに戻し、文節の区切りを変えて変換し直す



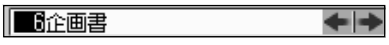
❷ 文節を区切って変換する文字の次の文字(「て」)にタッチし、カーソルを移動する





ここまでが変換範囲

❸ 変換 に数回タッチし、目的の漢字(「企画書」)に変換する



❹ 採用 にタッチし、目的の漢字(「企画書」)を入力項目に採用する

❺ 変換 にタッチし、残りのひらがなを漢字に変換する

❻ 採用 にタッチする

● **文節を区切るときは**
区切る文字の右の文字にタッチしてカーソルを移動し、変換します。

● **変換するひらがなとカーソルの位置は**
カーソルの前(左)までが漢字に変換する対象です。文字を挿入した後などは、変換する読みを確かめ、カーソルを移動します。

コラム

漢字変換中に修正するには

漢字変換中に修正するには、次の方法があります。

■ 変換を取り消して読みに戻す

例:「店頭」と入力するところを、「てるとう」と入力して変換したとき

「てるとう」を入力し、**変換**にタッチ

6 照ると得

取消にタッチ ……読みに戻す

てるとう

「る」にタッチ ……削除する文字を指定する

てるとう

削除にタッチ ……削除する

てとう

「ん」を入力 ……文字を挿入する

てんとう

→に2回タッチ ……変換する読みを指定する

てんとう

変換にタッチ ……漢字に変換する

4 店頭

● **変換するひらがなとカーソル位置は**
カーソルの前(左)までが漢字に変換する対象です。文字を挿入した後などは、変換する読みを確かめ、カーソルを移動します。

● **変換する文節を区切るには**
カーソルの前(左)までの読みを漢字に変換します。文節区切りをまちがえたまま変換したときは、**取消**にタッチして読みに戻した後、←|→にタッチしてカーソルを左右に移動して変換する読みを指定します。

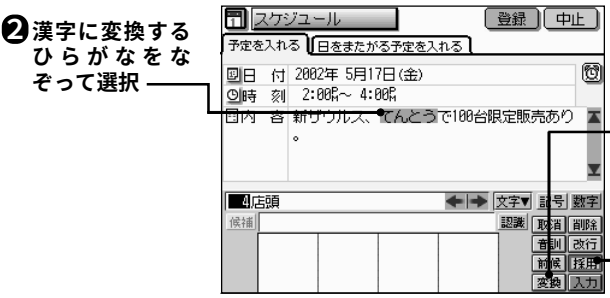
● **読みを入れすぎて一度に変換できないときは**
読みに戻し、文節を区切って変換し採用します。この後、残りの読みが表示されたら、さらに文節を区切り変換します(☞前ページ)。

コラム

採用されたひらがなを漢字にするには

採用した「てんとう」を漢字に変換するには、次のようにします。

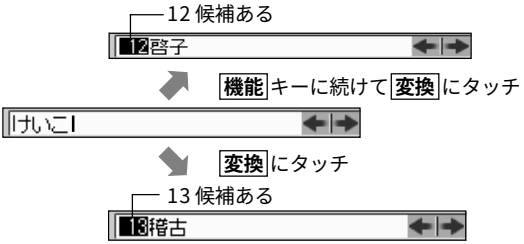
❶入力行に文字がまったく表示されていないことを確認（入力行に文字があるときは、採用または削除する）



コラム

人名・地名をすばやく入力するには

読みを入力して**機能**キーに続けて**変換**にタッチすると、人名や地名のみの候補が表示されます。



● 機能キーにタッチすると

画面の左上に**機能**＞と表示されます。

● データを新規作成中やデータ修正中に、画面を切り替えてほかの機能に移ったりすると、作成中・修正中の内容が消えることがあります。画面を切り替える前に作成中・修正中のデータは登録しておいてください。

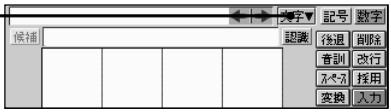
50音ボードで入力する

50音ボードを使って文字を入力します。
50音ボードでは、ひらがな、カタカナ、漢字などを入力できます。ひらがなを漢字に変換する方法は手書認識ボードと同じです。くわしい変換方法は、75ページをご覧ください。

例 ひらがなとカタカナを入力する場合

1 68ページと同じ手順で、アドレス帳などの新規作成画面を表示し、50音ボードに切り替え、ひらがなを入力します。

❶ 文字▼にタッチし、表示されたメニューから50音を選択し、50音ボードに切り替える



❷ ひらにタッチしひら(選択状態)にする
必要に応じて小字、半角にタッチする

カーソルの直前の文字を濁音・半濁音にする

❸ ボタンにタッチし、ひらがなを入力する。
この後、必要に応じて変換にタッチして漢字に変換し採用にタッチする
くわしくは、次ページの「入力方法」をご覧ください

2 カタカナを入力します。

❶ カナにタッチしカナ(選択状態)にする
必要に応じて小字、半角にタッチする

❷ ボタンにタッチし、カタカナを入力する。
くわしくは、次ページの「入力方法」をご覧ください

●入力方法

入力文字	入力方法	入　力　例
ひらがな	ひら (選択状態)、文字入力	やま → ひら や ま
カタカナ	カナ (選択状態)、文字入力	イカ → カナ い か
濁音(が、ガ)	文字入力後、゛にタッチ	ずが → ひら す゛ か゛
半濁音(ぱ、パ)	文字入力後、゜に2回タッチ	パパ → カナ は゜゜ は゜゜
小文字(っ、ッ)	小字 (選択状態)、1文字入力	かっき → ひら か 小字 つ き
半角(ｱ)	半角 (選択状態)、文字入力	ﾒﾓ → カナ 半角 め も
長音符(ー)	ー	ハーフ → カナ は ー ふ
句読点(、。)	、。	、。 → 、。

● **カタカナの入力は**
ひらがなを変換してカタカナにできます。また カナ にタッチして カナ にし、50音で直接入力項目に入力することもできます。

● 半角文字は、半角 (選択状態)で連続して入力できます。全角文字に戻すには、半角 にタッチし、選択状態を解除します。

● 半角のひらがな、1文字で濁点や半濁点を含んだ半角のカタカナ(「ﾀﾞ」など)は入力できません。

タイプライターボードで入力する

タイプライターボードを使って文字を入力します。
タイプライターボードでは、ひらがな、カタカナ、漢字、英字、数字などを入力できます。ひらがな、カタカナはローマ字入力で入力します。ひらがなを漢字に変換する方法は手書認識ボードと同じです。くわしい変換方法は75ページをご覧ください。

例 ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号を入力する場合

1 68ページと同じ手順で、アドレス帳などの新規作成画面を表示し、タイプライターボードに切り替え、文字を入力します。

❶ 文字▼にタッチし、表示されたメニューから タイプライター を選択し、タイプライターボードに切り替える

❷ 入力する文字の種類(ひらがな、カタカナ、英数字、半角、小文字)にタッチして選択する

半角(選択状態)…
半角文字を入力できる
小字(選択状態)…
英字、ひらがな、カタカナの小文字を入力できる
ひら(選択状態)…
ひらがなを入力できる
カナ(選択状態)…
カタカナを入力できる
英字(選択状態)…
英数字を入力できる

❸ ボタンにタッチし、ひらがな、カタカナ、英数字などを入力する
この後、必要に応じて 変換 にタッチして漢字に変換し 採用 にタッチして入力項目に採用する
くわしくは次ページの「入力方法」をご覧ください

メモ

- **漢字に変換するとき**
  ひらがなを入力して スペース にタッチしても漢字に変換することができます。
- **ひらがな、カタカナの入力は**
  ひらがな、カタカナは、ローマ字入力で入力します。カタカナは直接入力項目に入力されます(ただし、入力行に文字が入力されていると直接入力されません)。
- **英字の入力は**
  直接入力項目に入力されます(ただし、入力行にひらがななどの文字が入力されていると直接入力できません)。

●入力方法

入力文字	入力方法	入　力　例
英字	英字 (選択状態)、英字入力	WHO → 英字 W H O
英小文字	英字 小字 (選択状態)、英字入力	box → 英字 小字 B O X
数字	数字入力	987 → 9 8 7
ひらがな	ひら (選択状態)、ローマ字入力	うみ → ひら U M I
カタカナ	カナ (選択状態)、ローマ字入力	イス → カナ I S U
小文字(ぁ、ッ)	小字 (選択状態)、ローマ字入力	おっ → ひら O 小字 T U
長音符(ー)	ひら カナ (いずれか選択状態) ー	スー → カナ S U ー
半角文字、数字	半角 (選択状態)、文字・数字入力	ｲｽ → カナ 半角 I S U
		DOG → 英字 半角 D O G
		345 → 半角 3 4 5
ハイフン	英字 (選択状態) ー	ー → 英字 ー
句読点(、。)	ひら カナ (いずれか選択状態) , .	、。 → , .

- 半角文字は、半角(選択状態)で連続して入力できます。全角に戻すには、半角にタッチし、普通の表示に戻します。
- 英小文字は、小字(選択状態)で連続して入力できます。大文字に戻すには、小字にタッチし、普通の表示にします。ひらがな・カタカナの小文字は、1文字ずつ小字にタッチして入力します。
- 半角のひらがな、1文字で濁点や半濁点を含んだ半角のカタカナ(「ﾀﾞ」など)は入力できません。
- 機能キーにタッチした後、数字などにタッチすると、次のように記号を入力できます。

機能キーの後にタッチするボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	ー	@	;	:	,	.	/
入力される記号	!	"	#	$	%	&	'	(	)	=	`	+	*	<	>	?

※下の◇(スクロールボタン)を押しながら数字などにタッチしても、上記の表のように記号を入力できます。

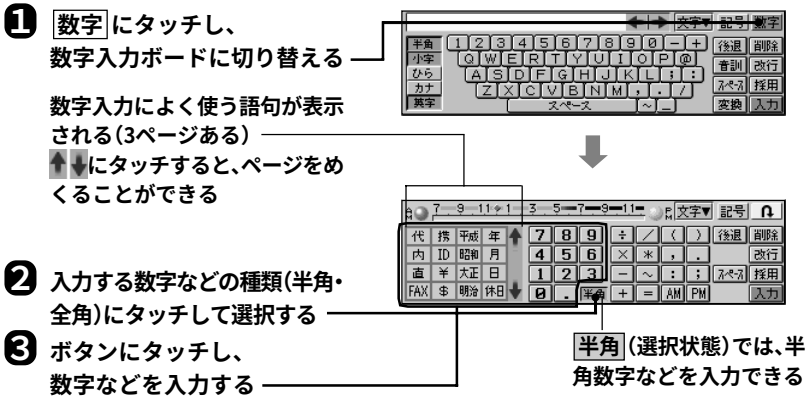
- **ローマ字かな変換について**
  - ローマ字のつづりは、「付録」の章、「ローマ字→かな変換表」(☞450ページ)を参照してください。
  - 「ん」「ン」は、Nの後にXにタッチ、またはNに2回タッチします。
  - Lに続けてAやIにタッチすると、小文字の「ぁ」や「ぃ」が入力されます。「ぅ」「ぇ」「ぉ」「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」「ゎ」「ヵ」「ヶ」も同様です。
- 左右の◇(スクロールボタン)を押すと、ひら、カナ、英字の選択状態が切り替わります。
- 上の◇(スクロールボタン)を押すと、半角の選択状態が切り替わります。
- 英小文字が入力できる状態(英字、小字が選択状態)のときに下の◇(スクロールボタン)を押しながら英字を入力すると、英大文字が入力できます。
  英大文字が入力できる状態(英字が選択状態で、小字が選択されていない状態)のときに下の◇(スクロールボタン)を押しながら英字を入力すると、英小文字が入力できます。

数字入力ボードで入力する

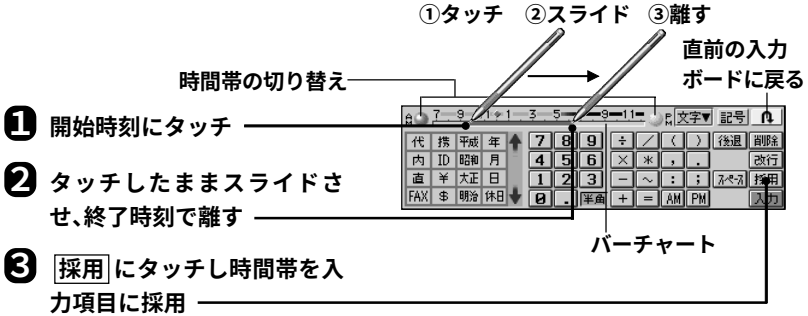
数字入力ボードを使って数字などを入力します。
数字入力ボードでは、数字とボタンの記号や文字を入力できます。

ここでは、数字や時刻などの入力を説明します。

1 68ページと同じ手順で、アドレス帳などの新規作成画面を表示し、数字入力ボードに切り替え、数字などを入力します。



2 時間帯を入力します。
ここでは、30分単位の時間帯を入力するのに便利なバーチャートを使います。



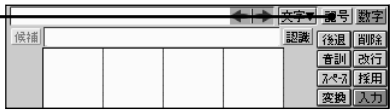
- バーチャートの表示や入力される時刻の時間制(12時間制、24時間制)は、時計機能で設定した時間制と同じです。
- バーチャートの時間帯には2種類あり、バーチャートの左右いずれかの●にタッチして切り替えます。「5:00AM～6:00PM(5:00～18:00)」など2つのバーチャートにまたがる時間帯は数字キーで入力してください。

記号入力ボードで入力する

記号入力ボードを使って、記号、絵記号を入力できます。

1 **68ページと同じ手順で、アドレス帳などの新規作成画面を表示し、記号入力ボードに切り替え、記号を入力します。**

❶ **記号にタッチし、記号入力ボードに切り替える**



❷ **入力する記号・絵記号の種類（記号、半角記号、絵記号）にタッチして選択する**

❸ **記号、絵記号にタッチして入力する**

↑↓にタッチするとページをめくることができる

直前の入力ボードへ戻る

● 記号にタッチして最初に表示される画面（学習画面）は、最近選んだ記号が、新しい順に表示されます。よく使う記号が選びやすくなります。

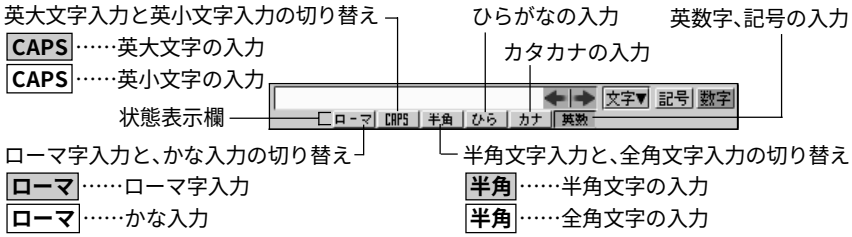
携帯型キーボードで入力する

別売の携帯型キーボードCE-KB1を接続すると、携帯型キーボードからひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力できます。携帯型キーボードの接続方法や取り扱いについては、携帯型キーボードCE-KB1の取扱説明書をご覧ください。

● 携帯型キーボードを使用すると、充電池の消耗が大きくなりますので、ご使用にならないときは外しておいてください。また長時間ご使用になるときは、ACアダプター(EA-66)を接続することをおすすめします。

携帯型キーボード表示

通常の新規作成画面や修正画面での表示



フォトメモリーの画像編集画面の文字入力画面などでの表示

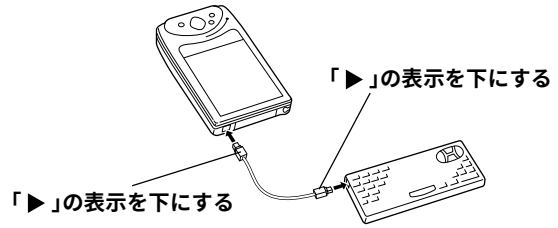
入力の状態は、画面の携帯型キーボード表示の**半角**などにタッチするか、接続中の携帯型キーボードの**半角**キーなどを押して変えることができます。

● 別の入力ボードから携帯型キーボードに切り替えるには、**文字▼**にタッチし、表示されたメニューから**携帯型キーボード**を選択します。
● スケジュールの時刻入力欄では、時刻入力専用の入力ボードが携帯型キーボード表示の上に表示されます。表示された入力ボードを使って入力するか、時刻入力ボードにタッチしたまま少し上にずらして携帯型キーボード表示を表示し、携帯型キーボードを使って入力してください。

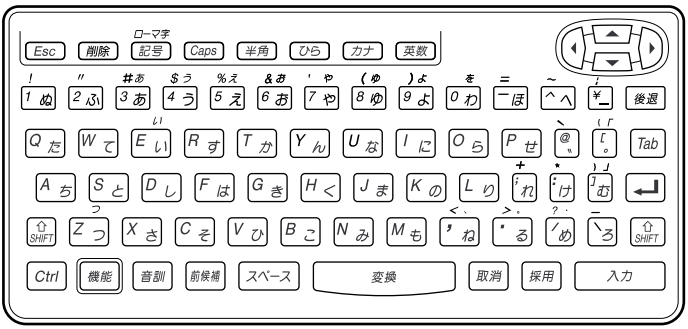
ご注意

● **携帯型キーボードCE-KB1とこの製品を接続する際のご注意**

携帯型キーボードCE-KB1とこの製品を接続する際、接続ケーブルは、この製品とキーボード両方とも「▶」の表示を下にして挿入してください。表裏をまちがえて無理に挿入すると、故障や破損の原因となります。



携帯型キーボードの使いかた



- 次のキーは、手書認識ボードなどの入力ボードにある同名のボタンと同じ働きです。
  削除、**半角**、**ひら**、**カナ**、**後退**、**音訓**、**スペース**、**変換**、**取消**、**採用**、**入力**
- **前候補**キーは、手書認識ボードなどの**前候**と同じ働きです。
- **記号**キーを押すと、入力ボードが記号入力ボードに切り替わります。
- ↵キーを押すと、改行されます。
- ▲▼◀▶キーを押すと、入力行に文字がないとき、新規作成画面や修正画面のカーソルが上下左右に移動します。
  入力行に文字があるとき、◀▶キーを押すと、入力行のカーソルが左右に移動します。
- ＼(バックスラッシュ)キーを押すと、「\」が入力されます。
- **Esc**キー、**Ctrl**キー、**Tab**キーは、将来の拡張用です。

• 入力行で、次表の「入力行での選択文字」の文字を選択してキーを押すと、カタカナ、ひらがな、半角カタカナに変換されます。

入力行での選択文字	押すキー	変換される文字
ひらがな	機能 キーを押した後 カナ キーを押す	カタカナ
カタカナ	機能 キーを押した後 ひら キーを押す	ひらがな
カタカナ	機能 キーを押した後 半角 キーを押す	半角カタカナ

例：「ゆり」を「ユリ」に変換するとき

「ゆり」をなぞって選択し、機能 キーを押した後、カナ キーを押す

メモ

- 本書では、手書認識ボードなどの入力ボードを例に説明しています。携帯型キーボードを使うときは、「削除 などにタッチする」を「削除 キーなどを押す」と読み替えてください。
- **SHIFT キーの操作のご注意**
  キートップの文字や英大文字を入力するときなど、SHIFT キーを押しながら文字キーを押す場合は、文字キーを SHIFT キーより先に離してください。文字キーより SHIFT キーを先に離すと、SHIFT キーを押さずに入力したときの文字が続けて入力されます。
- **文字キーなどを押したままにしたとき**
  一部のキーを除き、文字キーなどのキーを押したままにすると、そのキーが連続して何度も押された場合と同じように、続けて文字が入力されます。

ローマ字入力のしかた

ローマ字入力での各キーの使いかたは、次のようになります。

- 携帯型キーボードの状態表示が ローマ のときに、機能 キーを押した後 記号 キーを押して状態表示を ローマ にすると、ローマ字入力ができるようになります。
- ローマ字入力時に、ひら キーを押して状態表示を ひら にすると、ローマ字ひらがな入力ができます。カナ キーを押して状態表示を カナ にすると、ローマ字カタカナ入力ができます。
- 半角 キーを押して状態表示を 半角 にすると、ローマ字ひらがな入力時には、ひらがなは全角で、数字、記号は半角で入力されます。
  ローマ字カタカナ入力時には、半角のカタカナ、数字、記号が入力されます。
- SHIFT キーを押しながら、左上に記号が書かれている文字キーを押すと、その記号が入力できます。

例：SHIFT キーを押しながら 5（% え）キーを押す ➡ %

- 英数字を入力するときは、英数 キーを押して状態表示を 英数 にします。
  英数字の入力については、次ページの「**英数字入力のしかた**」を参照してください。

かな入力のしかた

かな入力での各キーの使いかたは、次のようになります。

- 携帯型キーボードの状態表示が**ローマ**になっているときに、**機能**キーを押した後、**記号**キーを押して状態表示を**ローマ**にすると、ローマ字入力が解除され、かな入力ができるようになります。
- かな入力時に**ひら**キーを押して状態表示を**ひら**にすると、各文字キーに刻印されているひらがなを直接入力できます。
  カナキーを押して状態表示を**カナ**にすると、カタカナを直接入力できます。
- **半角**キーを押して状態表示を**半角**にすると、カタカナ入力時には、半角のカタカナ、記号が入力されます。
  なお、ひらがな入力時には、半角での入力状態を解除して、全角で入力するようにしてください。
- **SHIFT**キーを押しながら、右上に文字や記号が書かれている文字キーを押すと、その文字や記号が入力できます。

  例：**SHIFT**キーを押しながら（ゆ）8 ゆキーを押す ➡ ゆ

- 英数字を入力するときは、**英数**キーを押して状態表示を**英数**にします。
  英数字の入力については、このページの「**英数字入力のしかた**」を参照してください。

英数字入力のしかた

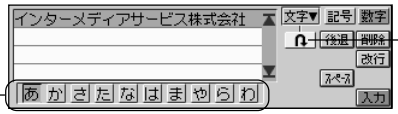
英数字入力での各キーの使いかたは、次のようになります。

- 携帯型キーボードの状態表示が**英数**のときに、**英数**キーを押して状態表示を**英数**にすると、英数字入力ができるようになります。
- **半角**キーを押して状態表示を**半角**にすると、半角の英数字、記号が入力されます。
- **Caps**キーを押して状態表示を**CAPS**にすると、大文字の英字を入力できます。再び**Caps**キーを押して状態表示を**CAPS**にすると、小文字の英字を入力できます。
- **SHIFT**キーを押しながら文字キーを押すと、状態表示が**CAPS**のとき、大文字の英字を入力できます。状態表示が**CAPS**のとき、小文字の英字を入力できます。

その他の入力ボードで入力する

ユーザー辞書ボード

ユーザー辞書に登録した語句を、50音別に表示して入力できます。
入力したい語句を表示させてタッチします。



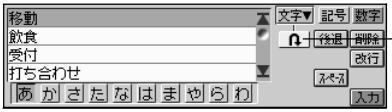
登録した語句が50音別に分類されている

直前の入力ボードへ切り替える

- 見出し語を入力して**変換**にタッチしても登録した語句を入力できます。
- ユーザー辞書への登録は、358ページを参照してください。

常用語ボード

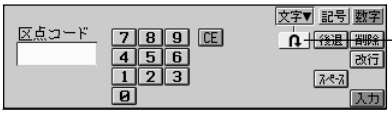
よく使う語句を簡単に入力できます。入力したい語句を表示させ、タッチします。



直前の入力ボードへ切り替える

区点入力ボード

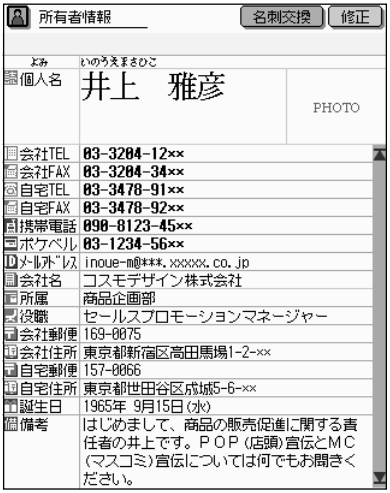
区点コードから文字・記号・絵記号が入力できます。読みのわからない漢字などを入力するときに使います。
4桁の数字(区点コード)を入れると、対応する文字などが入力されます。



直前の入力ボードへ切り替える

所有者情報

所有者情報を登録すると、この製品が自分の物であることを確かめることができます。



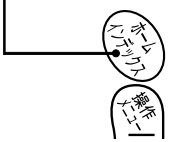
- 「まず初めに」ソフトを使ってユーザー登録の途中で所有者情報を登録するように指定したときは、その内容が所有者情報にすでに入っています。
- **所有者情報を登録すると**
  - 名刺交換では、自分と相手の所有者情報を光通信で交換できます。
  - メール送信では、個人名が送信者名になります。

所有者情報を登録する

ここでは、必要な項目のみを入力してもかまいません。
入力しない項目は、何も入力しないで 入力 にタッチします。
ただし、個人名と会社名は必ず入力してください。

1 所有者情報の新規入力画面を表示します。

❶ 画面の ホームインデックス キーに数回タッチしてツールインデックス画面を表示する



❷ 所有者情報 アイコンにタッチする

● Sharp Space Townへユーザー登録した場合は、上記の手順 ❷ でユーザー登録時に入力した内容が入った状態になっています。この内容を追加/修正したい場合は、修正にタッチし内容を追加/修正します。

2 自分の名前と読みを入力します。

❶ 入力ボードから自分の名前を入力する

❷ 採用 にタッチし、「個人名」項目に自分の名前を入力する

❸ 入力 にタッチする

所有者情報の新規入力画面

カーソルが移動したことを確認

❹ 名前の読みを8文字以内のひらがな・カタカナ・英字などで入力し 採用 にタッチし、 入力 にタッチする

名前の入力で、ひらがなを漢字に変換したときは、個人名の「よみ」項目にひらがなが8文字以内で表示される

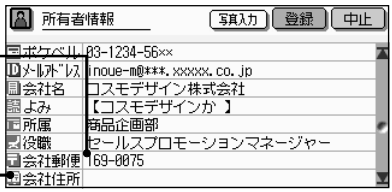
3 会社の電話番号、会社のFAX番号、自宅の電話番号、自宅のFAX番号、携帯電話の番号、ポケベルの番号、メールアドレス、会社名、会社名の読み、所属、役職を入力します。

❶ 各項目に入力する

4 会社の郵便番号、会社の住所などを入力します。

❶ 「会社郵便」項目にタッチし、郵便番号を入力する

❷ 〒にタッチし、郵便番号変換画面を表示する

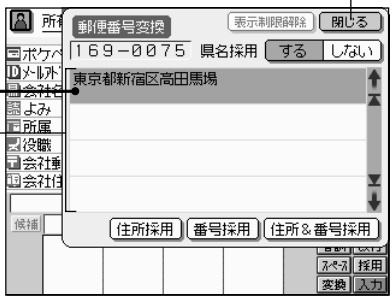


ここにタッチすると閉じる

❸ 入力したい住所に1回または2回タッチする

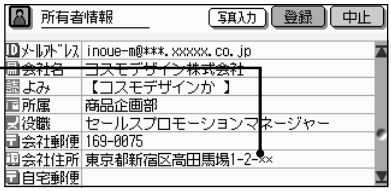
入力した郵便番号の住所が表示される

順送り キー、逆送り キーにタッチすると、別の住所が表示される



郵便番号変換画面

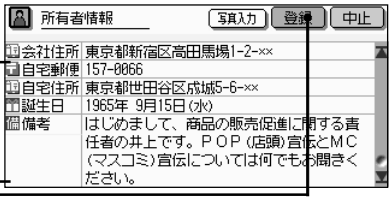
❹ 住所の続きを入力する



5 自宅の郵便番号と自宅の住所を、会社の郵便番号と会社の住所と同じ方法で入力します。
また、誕生日を西暦で入力します。必要に応じて備考を入力します。入力が終わったら、登録します。

❶ 各項目に入力する

❷ 登録にタッチし、所有者情報画面を表示する



- **読みを入れるには**
「個人名」を漢字で入力中に姓と名の間にスペースを入れると、「よみ」項目にもスペースが入ります。不要な場合は削除してください。
- **顔写真をつけるには**
別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)を装着し、データ入力途中で**写真入力**にタッチして自分の写真を撮ると、直接所有者情報に写真を貼り込むことができます。ユーザー登録をした場合はCE-AG06を装着し、**修正**にタッチし、修正画面で**写真入力**にタッチします。
- **誕生日の入力をまちがえたときは**
まちがえた数字にタッチした後、数字を入れ直してください。
- **所有者情報の修正は**
93ページの手順 **1**の操作をして表示された所有者情報画面で**修正**にタッチして修正画面にします。内容を修正した後、**登録**にタッチして登録します。

メール（2）

ここからは、くわしい説明

96〜125ページは、『取扱説明書（通信ガイド）』の「メール（1）メールを始めましょう」の章よりくわしい操作説明や、「メール（1）メールを始めましょう」に含まれていない機能について説明しています。
メール送受信について、便利な機能が使えるようになります。

ほかの機能で作成したデータを送信する

レポート＆自由帳で作成したデータ、フォトメモリーのデータなどをメールとして送信します。送信するメールには、次の2つの形式があります。

- ほかの機能で作成したデータのテキスト文字をメール本文として使う
- ほかの機能で作成したデータをメールの添付データとして使う

●メール本文にテキスト文字を利用する（☞98ページ）

レポート＆自由帳で作成されたデータのテキスト文字のみをメール本文として送信できます。
MI-P10またはMI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズ、パソコンなどで受信して読めます。

●メールにデータを添付する（☞99ページ）

次の機能で作成されたデータをメールに添付して送信できます。

- レポート＆自由帳　・スケジュール
- アクションリスト　・アドレス帳　・フォトメモリー
- パーソナルデータベースII

メッセージなどのメール本文は別に作成できます。MI-P10またはMI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズで受信して読むことができます。なお、それぞれの機種によって受信できないデータがあります。くわしくは、99ページの「メモ」をご覧ください。

ここでは、レポート＆自由帳のテキスト文字をメールとして送信する方法と、データを添付してMI-P10に送信する方法を説明します。新しくメールを作成して送信する操作は、『取扱説明書（通信ガイド）』「メール（1）メールを始めましょう」の「メールを作って送る」をご覧ください。

● **メール本文の制限について**

この製品で送受信できるメール本文の最大サイズは約64KBです。

また、受信したメールを詳細表示画面で読むときや、メール本文を入力・修正し登録するときは、2000行を超えて行うことができません。

● **送信できるメールの最大サイズの目安**

この製品から送信できるメールの最大サイズは、本文(最大約64KB)と添付データ(最大約512KB)を合わせて約512KBです。

メール本文の文字数や添付データの種類などによって、添付できるデータの件数が変わります。メールを送信する際、気をつける内容については、123ページにまとめていますので併せてご覧ください。

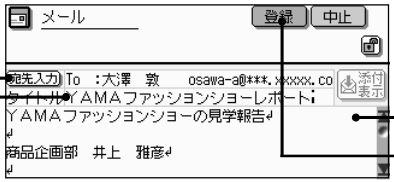
他機能のデータをメール本文として送信する

レポート＆自由帳で作成したデータをメール本文として利用できます(メール本文にできるのは、レポート＆自由帳の機能だけです)。

1 レポート＆自由帳で作成したデータをメール本文にします。

❶ レポート＆自由帳の自由帳の「メモ」の新規作成画面で、メール本文を入力し、登録にタッチして登録し、詳細表示画面に表示。
一覧画面では本文にしたいデータにタッチして選択

❷ 操作メニューキー、通信タブ、メール本文に利用...にタッチ



❸ 宛先入力にタッチし、メールを送る宛先を選択

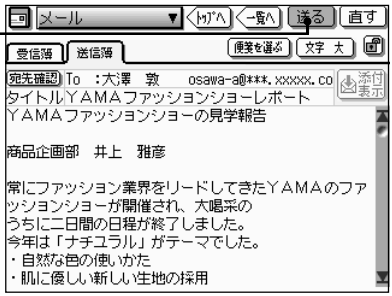
❹ タイトルを入力

❺ レポート＆自由帳で作成したデータを確認 必要があれば修正

❻ 登録にタッチ

2 メールを送信します。

❶ 送るにタッチ



送信簿の詳細表示画面

コネクションパスワードの設定が毎回に設定されているときは、パスワードを入力し、実行にタッチ
メールが送信され、送信が終わると接続が切れる

データを添付して送信する

メールには、画像などほかの機能のデータを添付することができます。テキスト以外のデータ(スケジュールやフォトメモリーなどのデータ)が添付されたメールはMIME(*1)で送信されます(テキストのみのメールもMIMEで送信されます)。ただし、受信側がMI-P10またはMI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズでないと、添付データを読むことはできません。なお、機種によっては、受信側では受信できないデータがあります。くわしくは、このページの「メモ」をご覧ください。

＊1：Multipurpose Internet Mail Extensions
漢字などの2バイト文字コードや、画像・音声などのバイナリデータを扱えるようにしたインターネットのメールの規格。

データを添付する方法は、『取扱説明書(通信ガイド)』「メール(1)」の「イラストを添付して送る」をご覧ください。

メモ

- **パーソナルデータベースIIのデータを添付するには**
  添付したいデータを選択し、**操作メニュー**キー、**通信**タブ、**メールに添付**、**データベース形式で添付...**にタッチします。
  パーソナルデータベースIIに貼り込まれている画像データのみを送りたいときは、詳細表示(画像あり)画面に送りたい画像データを表示し、**操作メニュー**キー、**通信**タブ、**メールに添付**、**画像のみ添付...**にタッチします。
- **データの添付をやめるときは**
  メールの新規作成画面または、登録後の詳細表示画面で**添付表示**にタッチし、添付データ画面で**除外**、**はい**にタッチします。
- **添付データについて**
  - お互いにない機能のデータは、読むことはできません。
  - MI-310、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-100シリーズでは、この製品のパーソナルデータベースIIを受信できません。
  - MI-10では、アドレス帳、1/4VGA以上のサイズのフォトメモリーのデータは添付されていても見ることはできません。
  - MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズでは、デジタルカメラカード(CE-AG06)のドキュメントモードで撮影した画像(PNG形式)を開くことはできません。それらの画像を添付するとき表示されるメッセージ(手書メモ/フォトメモリー形式に変換して添付しますか？)で**はい**にタッチして送信すると、これらの機種で見ることができるようになります。
  - PIシリーズザウルスで受信した場合は、添付データを取り込むことはできません。
- コンパクトフラッシュメモリーカードが装着されている場合、メール送付リスト画面で**カード**にタッチしてカード側に作ったメールに、本体側のデータを添付することができます。また、この逆もできます。

便せんをつけてメールを送信する

メールに便せんをつけて送ることができます。

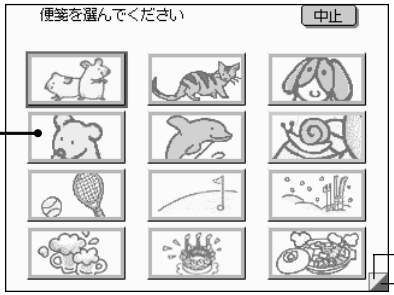
便せんを選ぶ

あらかじめ用意されている便せんを選んでメールにつけます。

❶送信簿の詳細表示画面を表示

❷便箋を選ぶにタッチ

送信簿の詳細表示画面



❸使いたい便せんにタッチ

便せん選択画面は2画面ある

前画面

次画面

便せん選択画面

便せんの上にメール本文が表示される
便せんはメール本文表示欄の中央に表示される

送るにタッチするとメールを送る

メール本文をスクロールしても便せんは常に表示されている

● **便せんつきのメールは**

便せんのデータのサイズは308×155ドットです。実際にメールを送信するとメールには選択された便せんのデータが添付されて送られます。MI-P10またはMI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-310、MT-300/MT-200シリーズで受信すると、受信簿の詳細表示画面で便せんの上にメール本文が表示されます。MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-10やパソコンなどで受信すると、便せんのデータは添付データになっています。

● **便せんつきのメールを送信すると**

便せんをつけなかったときと比べて送信に時間がかかります。

● **便せんを外すには**

送信簿の詳細表示画面で、**便箋を外す**にタッチします。また、**添付表示**にタッチし、添付データ画面に便せんを表示し**除外**にタッチしても外すことができます。

● **オリジナルの便せんを作るには**

フォトメモリーのデータ(手書きしたデータやCE-AG06で撮影した写真)を、便せんとして活用することができます。また、パーソナルデータベースⅡの電子アルバムのデータも便せんとして活用できます。

フォトメモリーの場合は、データのタイトル名を「便箋フォーム」としてメールに添付すると、便せんのデータとして使用できます。

パーソナルデータベースⅡの電子アルバムの場合は、**操作メニュー**キー、**通信**タブ、**メールに添付**、**便箋フォームとして利用**にタッチすると、メール送付リストが表示されるので、便せんをつけたいメールを選択して**添付**にタッチするか、**新規メールに添付**にタッチします。

メールの送りかたを変える

ここでは、『取扱説明書(通信ガイド)』の「メール(1) メールを始めましょう」で説明している基本的なメールの送りかた以外の送信方法(複数件のメールをまとめて送信するなど)について説明しています。基本的なメールの送信方法については、『取扱説明書(通信ガイド)』の「メール(1) メールを始めましょう」をご覧ください。

『取扱説明書(通信ガイド)』「メール(1) メールを始めましょう」の「メールを作って送る」に従って、複数のメールを作り、登録してあるものとします。

未送信のメールをまとめて送信する　一括送信

未送信のメールをまとめて送信します。

1 **『取扱説明書(通信ガイド)』「メール(1) メールを始めましょう」の「メールを作って送る」に従って複数のメールを作り、登録します。**

2 **ホームインデックス1画面を表示し、左右の◇(スクロールボタン)を押し、[メール送る]アイコンを選択し、(決定)ボタンを押します。**
またはメール トップ画面で[送る]アイコンにタッチします。
電話回線に接続し、未送信メールが送信されます。

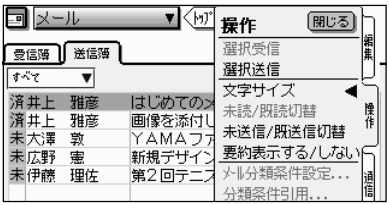
コラム

作成途中のメールを登録だけして、一時的に送信しないようにする

後で修正したいのでいったん登録だけして、ホームインデックス1画面の[メール送る]アイコンなどにタッチしても送らないようにすることができます。

1 途中まで作ったメールを登録します(この時点では、このメールは送信簿画面では[未]と表示され、[メール送る]アイコンなどで送信されます)。

2 送信簿画面で、作ったメール(未送信メール)を選択し、[操作メニュー]キー、[操作]タブ、[未送信/既送信切替]にタッチします。
[未]が[済](送信済メール)に変わり、送信されません。



3 送らなかったメールを修正して送りたいときは、詳細表示画面に表示して、[直す]にタッチします。内容を修正して[登録]にタッチすると、未送信メールになり送信することができます。

送信したい未送信のメールだけを選んで送信する　選択送信

未送信のメールのうち、送信したいものだけを選んで送信します。

❶メール トップ画面で 操作メニュー キー、操作 タブ、選択送信 にタッチし、はい にタッチ

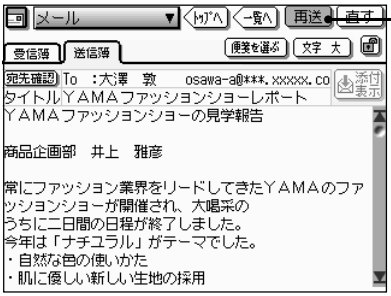
❷送信しないメールは■にタッチして選択を外す

❸送る にタッチ
選択したメールが送信される

すべての選択を取り消す

一度送信したメールをもう一度送信する　再　送

❶送信簿画面で再送したいメールに１回または２回タッチ

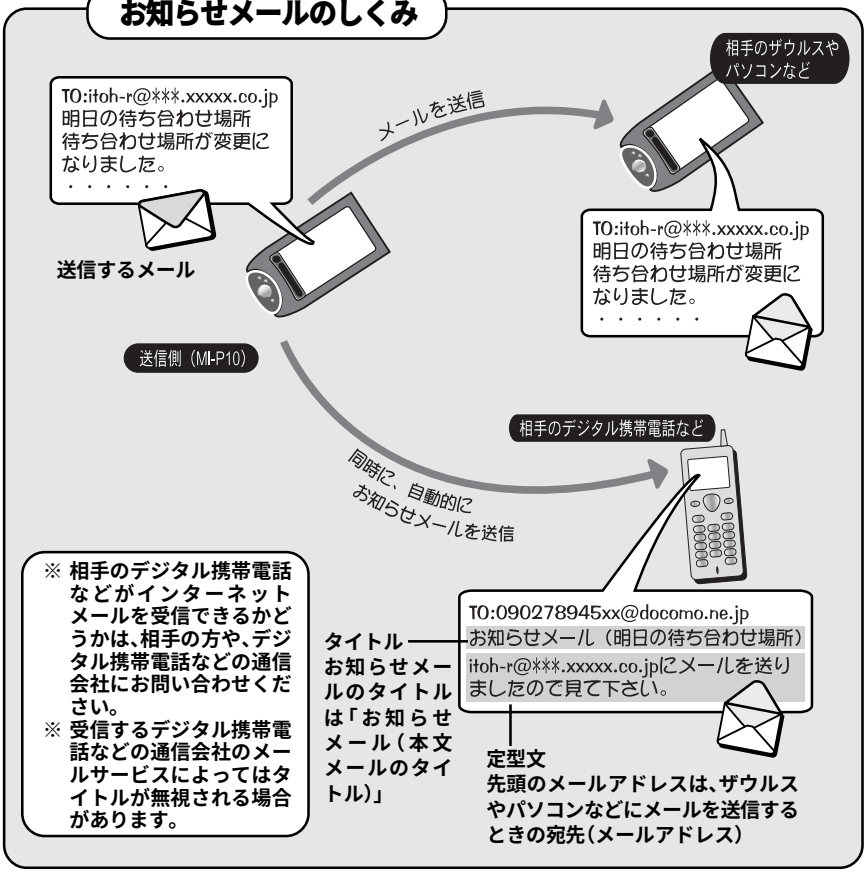


❷再送 にタッチ

お知らせメールを設定する お知らせメール

この製品では、相手のザウルスやパソコンなどにメールを送ると同時に、インターネットメールができるデジタル携帯電話やPHS電話機などにも自動的に定型文のメールを送ることができます(この機能を「お知らせメール」と呼びます)。この機能を使うと、相手にメールを送ったことに気づいてもらうことができ便利です。お知らせメールは、「お知らせメールリスト」に登録するだけで、通常のメール送信時に自動的に送ることができます。
お知らせメールの内容(定型文)は、「xxx@xxx.xx.xxにメールを送りましたので見て下さい」です(先頭のメールアドレスは、ザウルスやパソコンなどにメールを送信するときの宛先(メールアドレス)です)。

例 **「お知らせメールリスト」の本文メールアドレスに「itoh-r@***.xxxxx.co.jp」、お知らせメールアドレスを「090278945xx@docomo.ne.jp」で登録(登録の方法は、163、175ページをご覧ください)**



お知らせメールを送信するまでの流れ

❶ 本文メールアドレスとお知らせメールアドレスを登録する

アドレス帳に、通常のメールを送るメールアドレス(本文メールアドレス)と、お知らせメールを送るデジタル携帯電話やPHS電話機などのメールアドレス(お知らせメールアドレス)を入力し登録する

・デジタル携帯電話やPHS電話機などのメールアドレスは、アドレス帳で簡単に入力することができます(☞「アドレス帳」の章162ページ)。

↓

❷ お知らせメールを設定する

メール機能でお知らせメールを送りたい人を「お知らせメールリスト」に登録

↓

❸ メールを送信する

❷で設定した本文メールアドレス宛にメールを送信すると、お知らせメールが自動的に作成されて同時に送信される

お知らせメールを設定する

まず始めに、上記のようにアドレス帳にメールアドレス(本文メールアドレスとお知らせメールアドレス)を入力し登録しておきます。

1 お知らせメールリスト画面を表示します。

❶ 〈トップへ〉にタッチする

❷ メール トップ画面で〈お知らせメールリスト〉にタッチする

❸ 追加にタッチする

お知らせメールリスト画面

2 お知らせメールを送りたい相手の宛先を選びます。

❶ アドレス帳から選択 タブにタッチする

❷ お知らせメールに設定したい人にタッチする

❸ 選択 にタッチする
選んだ人が表示される

❹ 設定 にタッチする

❺ トップへ にタッチし、メール トップ画面に戻る

お知らせメールの内容を確認したいときは、1回または2回タッチする

タッチすると、設定される内容、使いかたについての説明文が表示される

お知らせメール設定画面

この本文メールアドレスが、送信メールの宛先に選択されたとき、自動的にお知らせメールが作成される

この例では、本文メールアドレスを「itoh-r@***.xxxxx.co.jp」、お知らせメールアドレスを「090278945xx@docomo.ne.jp」で登録しました。「itoh-r@***.xxxxx.co.jp」宛にメールを作り送信すると同時に、自動的に「090278945xx@docomo.ne.jp」宛にお知らせメールが送信されます。お知らせメールの内容は「itoh-r@***.xxxxx.co.jpにメールを送りましたので見て下さい」になります。

● **お知らせメールを送らないようにするには**

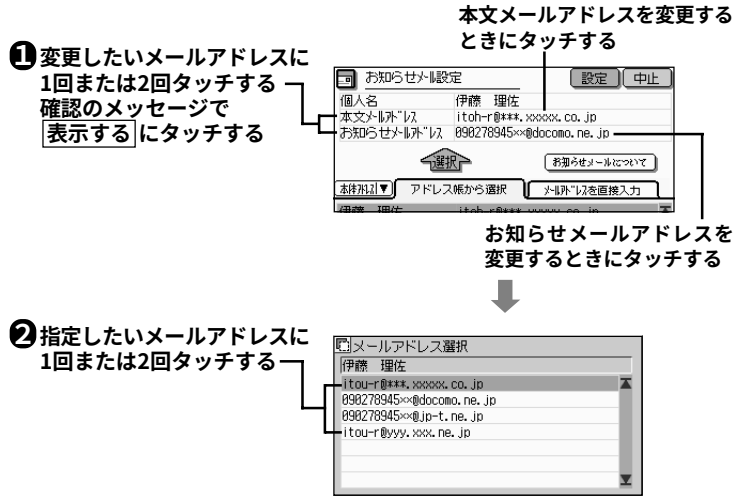
お知らせメールリスト画面で、送らないようにする(除外する)データにタッチして選択し、**除外**にタッチします。お知らせメールリストから除外されて、その相手にはお知らせメールは送られなくなります。

● **お知らせメールの活用法**

「お知らせメール」は、デジタル携帯電話やPHS電話機だけでなく、パソコンなどにも送信できます。本文メールは自宅のパソコンに、お知らせメールは会社のパソコンに送信する、などという使いかたもできます。

● **アドレス帳に登録した別のメールアドレスに変更するときは(複数のメールアドレスを登録した場合)**

お知らせメール設定画面でアドレス帳のデータを選択すると、アドレス帳の「メールアドレス」欄の1行目にあるメールアドレスが「本文メールアドレス」欄に、2行目にあるメールアドレスが「お知らせメールアドレス」欄に自動的に入ります。入れ替えたいときや、アドレス帳に2つ以上のメールアドレスが入力されていて、別のメールアドレスを指定したいときは、次の操作を行います。



複数のメールアドレスを持っている人にメールを作成する際、「本文メールアドレス」として設定されているメールアドレス以外を宛先にしても、お知らせメールは送信されません。

● **お知らせメールのメールアドレスを直接入力するときは**

お知らせメール設定画面で本文メールアドレスをアドレス帳から選択した後、**メールアドレスを直接入力**タブにタッチし、キーボードから入力します(本文メールアドレスは直接入力できません)。

● **お知らせメールのメールアドレスを変更するには**

アドレス帳でお知らせメールアドレスを修正した後、あらためてお知らせメールリスト画面に登録し直します。前に登録したお知らせメールの設定は削除してください。アドレス帳でデータを修正・削除してもお知らせメールリストに登録したデータは変わりません。

- お知らせメールアドレスに、本文メールアドレスと同じアドレスを設定することはできません。またグループ登録されているメールアドレスはお知らせメールには設定できません。
- お知らせメール設定画面の**アドレス帳から選択**タブが選択されているときに**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**新規メールアドレス入力**にタッチするとメール宛先新規作成画面が表示され、アドレス帳にメールアドレスなどを登録することができます。また、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**メールアドレス修正**にタッチすると、アドレス帳のメールアドレスなどを修正することができます。

お知らせメールを(本文メールと同時に)送る

お知らせメールは、通常のメールを作成するとき、お知らせメールリスト画面で「本文メールアドレス」として設定した宛先を選択して送信すると、自動的に作成されて送信されます。

- **お知らせメールは、デジタル携帯電話やPHS電話機などにすぐには届かないことがあります**
  相手のデジタル携帯電話やPHS電話機などの電源が入っていなかったり、圏外の場合などでは、お知らせメールがすぐには届かないことがあります。

- **メール送信が中断されたときは**
  お知らせメールはメール送信時に自動的に作成されるため、送信途中に通信エラーなどでメール送信が中断されると、未送信のお知らせメールが送信簿に残ります。これを削除せずに、本文メールを送信し直すと、再度お知らせメールが作成され、2通のお知らせメールが送信されます。このため、メール送信が中断されたときは、未送信のお知らせメールを削除してから、送信し直してください。

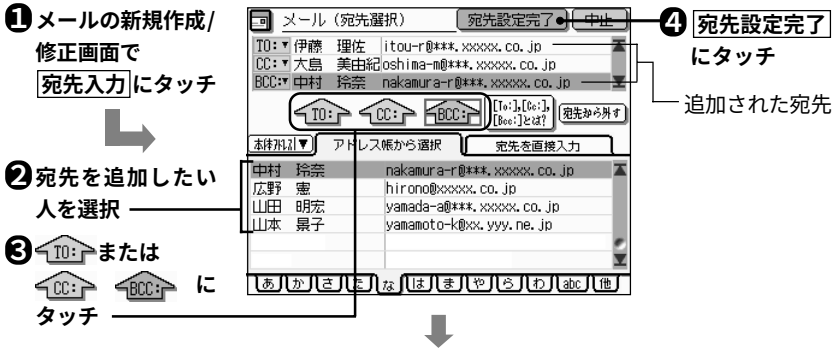
宛先を選択する

メールの宛先を選択するには、次の2つの方法があります。

- アドレス帳で登録したデータを選ぶ(☞このページ)
- 宛先(メールアドレス)を直接入力する(☞111ページ)

アドレス帳で登録したデータを選択する

アドレス帳で登録したデータを選択するときは、名前やメールアドレスなどを、あらかじめアドレス帳に登録しておきます。
アドレス帳へのメールアドレスの入力方法は、「アドレス帳」の章の163、175ページをご覧ください。



ご注意

- メール(宛先選択)画面で **操作メニュー** キー、**操作** タブ、**新規メールアドレス入力** または **メールアドレス修正** にタッチし、メール宛先を新規作成/修正中にほかの機能に画面を切り替えると、新規作成/修正中のデータは消えます。必ず登録した後、ほかの機能に切り替えてください。

● **「TO:」「CC:」「BCC:」について**
『取扱説明書(通信ガイド)』42ページをご覧ください。

● **「TO:」「CC:」「BCC:」を変更するには**
メール(宛先選択)画面の上部に表示される宛先リストの左の**TO:▼**などにタッチします。タッチするたびに**TO:▼**→**CC:▼**→**BCC:▼**→**TO:▼** と変わります。

● 送信簿の詳細表示画面で**宛先確認**にタッチすると、そのメールで指定した宛先を確認できます。

● **宛先の個人名とメールアドレスを新しく登録するには**
メール(宛先選択)画面で**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**新規メールアドレス入力**にタッチします。表示されたメール宛先新規作成画面で個人名、個人名のよみ、メールアドレスなどを入力し**登録**にタッチしてアドレス帳に登録します。メールアドレスの入力は、163ページをご覧ください。

● **メールアドレスが登録されているアドレス帳の全員にメールを送信するときは**
メール(宛先選択)画面で**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**全選択**にタッチします。

● **送信できる宛先の件数は**
メールの場合は、最大98件です。

● **アドレス帳のデータを確認するには**
メール(宛先選択)画面でアドレス帳一覧(画面の下半分の一覧)のデータに1回または2回タッチすると、データの内容を確認できます。

● **選択した宛先を宛先リストから除外するには**
除外する宛先にタッチして選択し、**宛先から外す**にタッチします。選択されているすべての宛先を除外するときは、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**全除外**にタッチします。

● メールアドレスを記入したアドレス帳データの「個人名」には、絵記号や特殊記号を使用しないでください。メール(宛先選択)画面で、その宛先を選択できない場合があります。

● **複数のメールアドレスからの選択は**
アドレス帳のデータに複数のメールアドレスがあるときは、上部の宛先リストに表示した宛先に1回または2回タッチし、確認画面で**表示する**にタッチし宛先ID/メールアドレス選択画面でメールアドレスを選択します。ただし、メールを返信する場合(☞117ページ)、返信メールの宛先の個人名はこの製品に登録している個人名と一致しない場合があります。このような場合には、宛先にタッチしても宛先ID/メールアドレス選択画面は表示されません。

● **同じ複数の宛先によくメールを送信するときは**
宛先(メールアドレス)を、グループ登録します。メール(宛先選択)画面の上部に送信したい複数の宛先を表示し**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**グループ登録**にタッチした後、**本体に登録**か**カードに登録**を選び、**実行**にタッチします。メール宛先新規作成画面で「個人名」にグループ名を、「よみ」にグループの読みを入力し**登録**にタッチして登録します。

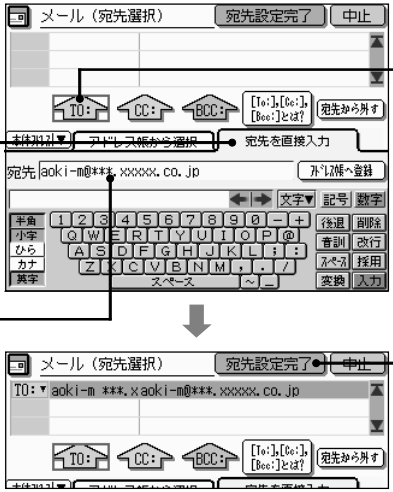
宛先を直接入力する

アドレス帳に登録されていない宛先のメールアドレスを直接入力して、宛先に指定することができます。さらに、直接入力したメールアドレスをアドレス帳に登録することもできます。

❶メールの新規作成/修正画面で**宛先入力**にタッチ

❷メール（宛先選択）画面で**宛先を直接入力**タブにタッチ

❸メールアドレスを入力



❹TO:にタッチ

❺**宛先設定完了**にタッチ

● **直接入力した宛先をアドレス帳に登録するには**

アドレス帳へ登録にタッチします。確認のメッセージで**OK**にタッチします。アドレス帳にデータが登録されます。登録したデータはインデックスの「他」に収録され、「個人名」と「メールアドレス」項目に入力したメールアドレスが入っています。アドレス帳機能に移り、修正してください。

送信簿のメールを確認・修正・削除する

送信簿で未送信メールや送信済みのメールを確かめる

登録した未送信のメールは送信簿で確かめることができます。

❶ 戻る(電源)ボタンを数回押し、ホームインデックス1画面で左右の ◇ (スクロールボタン)を押し、メール読む アイコンを選択し 決定 ボタンを押すか、メール トップ画面で 読む アイコンにタッチして受信簿画面を表示し、送信簿 タブにタッチまたは送信簿の詳細表示画面で 一覧へ にタッチする

メール トップ画面に戻る

送信済みのメールであることを示す

未送信メールであることを示す

送信簿の詳細表示画面へ

ここにタッチし、確認メッセージで OK にタッチして表示されたメニューから **すべて**、**未送信メール**、**送信済メール** を選択すると、該当するメールのみを表示できる

送信簿画面

● **データの内容を確認するには(要約表示)**
送信簿画面で **操作メニュー** キー、**操作** タブ、**要約表示する/しない** にタッチすると、画面下部に選択したメールの内容のうち4行ほどが縮小されて表示されます(途中の空白行は削除されるなど簡略化されます)。メールの内容をすばやく識別するのに便利です。要約表示をやめるときは、**操作メニュー** キー、**操作** タブ、**要約表示する/しない** を選択します。

未送信のメールを修正する

未送信のメールを修正します。

1 送信簿画面を表示します(☞ このページ)。

2 修正したいメールに1回または2回タッチし、詳細表示画面にします。

3 直す にタッチします。
修正画面が表示されます。

4 メールの内容を修正し、登録 にタッチして登録します。

未送信メールや送信済みメールを削除する

未送信のメールや送信済みのメールを削除します。

1 **送信簿画面を表示します(☞前ページ)。**

2 **削除するメールにタッチして選択します。**

3 **操作メニュー キー、編集 タブ、削除 にタッチし、削除する範囲を選択します。**
送信簿内選択メール削除 を選択したときは、任意のメールを複数選択して削除できます(☞このページの「コラム」)。

4 **確認のメッセージで はい にタッチします。**

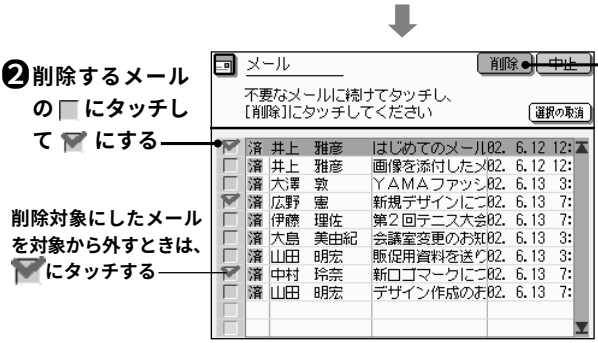
● 詳細表示画面では、操作メニュー キー、編集 タブ、削除 にタッチします。

コラム

複数のメールを選択して削除する

未送信のメールや送信済みのメールを複数選択して削除できます。

❶送信簿画面で 操作メニュー キー、編集 タブ、削除、送信簿内選択メール削除 にタッチする



メールを受信する

受信したメールは、受信簿に入ります。受信のしかたは、次の2つがあります。

- すべての未読メールを受信する（メールサーバー内のメールボックスにある未読メールをすべて受信する）
- メールを選んで受信する（メールサーバー内のメールボックスにあるメールを選択して受信する）

ここでは、選んだメールだけを受信する操作について説明しています。すべての未読メールを受信する操作は、『取扱説明書（通信ガイド）』「メール（1）メールを始めましょう」をご覧ください。メールを受信する際、気をつける内容を124ページにまとめていますので、併せてご覧ください。

メールを選んで受信する

選んだメールだけを受信するには、インターネットに接続した状態で、メールサーバーにあるメールのリストを表示してメールを選択し、そのメールだけを受信します。

❶ 操作メニュー キー、操作 タブ、選択受信 にタッチし、はい にタッチすると、接続先に接続される
コネクションパスワードの設定が 毎回 に設定されているときは、パスワードを入力し 実行 にタッチ

❷ 受信するメールは選択した状態（■）に、受信しないメールは選択を外した状態（□）にする
未読のメールはあらかじめ選択されている

❸ 受ける にタッチ

すべての選択を取り消す

● 受信したメールをメールサーバーから削除するには
メール選択受信画面の「受信済メールの削除」で 要 にタッチして受信します。なお、条件設定（Internet）画面の「サーバーのメールを受信後」で 自動削除する に設定しても同じです。

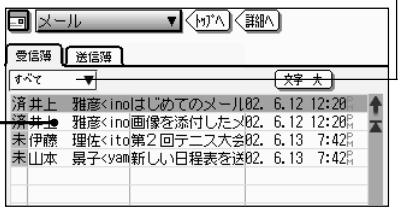
● メール受信を行うときは、本体メモリーの空き容量が十分であることをご確認ください。メール受信を実行したときに「メモリーがたりません」が表示されて回線が切れたときは、本体メモリー上の不要なデータを削除した後、メモリー整理を行って本体メモリーの空き容量を増やしてから、再度メール受信を実行してください。

受信したメールを見る

受信したメールは受信簿に入ります。分類条件を指定したメールは、指定した情報ファイルに入ります。情報ファイルから受信メールを見るときは、**メール▼**にタッチし、表示されたメニューから情報ファイルを選択します。

❶戻る(電源)ボタンを数回押し、ホームインデックス1画面で左右の(スクロールボタン)を押し、メール読むアイコンを選択し、決定ボタンを押す
またはメール トップ画面で読むアイコンにタッチ

❷表示したいメールに1回または2回タッチ



受信簿画面

ここにタッチし、確認メッセージで**OK**にタッチして表示されたメニューから**すべて**、**未読メール**、**確認済メール**を選択すると、該当するメールのみを表示できる

- **受信後、添付されているデータを見るには**
  受信メールの詳細表示画面で**添付表示**にタッチしてデータを表示します。添付されているデータを登録するには、**本体▼**にタッチして登録先(**本体**または**カード**)を選んだ後、**登録**にタッチします。添付データを作成した機能(本体メモリーまたはカードメモリー)に登録されます。なお、パーソナルデータベースⅡのデータは送られてきたデータと同じフォームがないと、登録できません。同じフォームを作ってから登録してください。**削除**にタッチすると、添付データが削除されます。
- **メールの発信者のメールアドレスをアドレス帳に登録するには**
  受信メールの詳細表示画面で**差出人**にタッチした後、アドレス帳に登録する発信者にタッチして選択し、**アドレス帳へ登録**にタッチします。確認のメッセージで**はい**にタッチするとアドレス帳に登録され、インデックスの「他」に分類されます。アドレス帳で個人名の読みなどを修正してください。
  メールアドレスを複写にタッチすると、メールアドレスのみが複写されます。アドレス帳の修正画面などで貼り込んでください。貼り込む方法は、アドレス帳の修正画面などで、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**貼込(ペースト)**にタッチします。
- **すでに読んだメールを未読メールとして保存するには**
  受信簿画面でメールを選択し、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**未読/既読切替**にタッチすると、**済**が**未**になり、未読メールとして扱われます。一度読んだけれど、後でもう一度読まなければならないときなど、未読メールとして保存しておくと便利です。
- **表示調整について**
  受信したメールの詳細表示画面で、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**表示調整**にタッチすると、表示調整する/しないを切り替えることができます。「表示調整」とは、受信メールを表示する際、改行や連続する記号(例:「＊＊＊~＊」や「===~=」など)を、この製品の画面幅に合わせて読みやすく調整する機能です。
  この機能を使用すると、メールの内容によっては、メールアドレスやURLの前後に半角の英数字があった場合、この英数字が続いて表示されることがあります。その場合には、「表示調整」を**しない**に設定してください。

受信したメールを自動的に分類する　メール自動分類

受信したメールをメールアドレス別、タイトル別などに自動的に分類し、指定した情報ファイルに登録することができます。多くのメールを受信する場合に大変便利です。
メールの自動分類を設定する操作については、『取扱説明書（通信ガイド）』「メール（1） メールを始めましょう」の「受信したメールを自動的に分類する」をご覧ください。

受信メールを削除する

受信メールを削除します。

1 **受信簿画面を表示します（☞前ページ）。**

2 **削除するメールにタッチして選択します。**

3 **操作メニュー キー、編集 タブ、削除 にタッチし、削除する範囲を選択します。**
受信簿内選択メール削除 を選択したときは、任意のメールを複数選択して削除できます（☞このページの「メモ」）。

4 **確認のメッセージで はい にタッチします。**

メモ
- 詳細表示画面では、操作メニュー キー、編集 タブ、削除 にタッチします。
- **複数のメールを選択して削除するには**
  操作メニュー キー、編集 タブ、削除、受信簿内選択メール削除 にタッチすると、任意の受信メールを複数選択して削除できます。削除するメールの選択のしかたは、113ページの「コラム」の送信メールの削除方法と同じです。

コラム

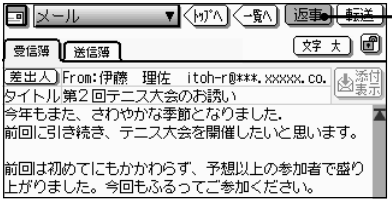
受信メールでのプレイ インデックスと受信簿の関係について

プレイ インデックス画面で メールチェック（受信） アイコンにタッチしてメールを受信すると、プレイ インデックス画面の「新着メール」に受信したメールが入り、同じ受信メールがメール機能の受信簿画面にも未読メールとして表示されます。プレイ インデックス画面からメールを受信した後、メール機能の受信簿画面に移り、未読メールを詳細表示画面で読み既読メールにすると、プレイ インデックス画面の「新着メール」にあったメールが「受信済メール」に移ります。くわしくは、『取扱説明書（通信ガイド）』をご覧ください。
ポストマガジンクラブを利用し、プレイ インデックス画面からメールを受信しているときは、プレイ インデックス画面の「新着メール」からメールを読むことをおすすめします。

メールを返信する　返信

受信したメールに対するコメントを、発信した相手に返信します。

❶受信簿画面で返事を書くメールを選び、詳細表示画面に表示



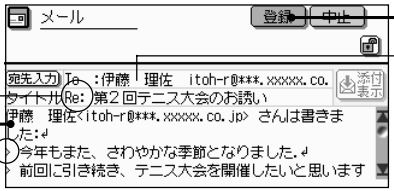
❷ 返事 にタッチ

❸表示された画面で、全員に返信 が選ばれていることを確認し 実行 にタッチ

❹返信する本文を入力

タイトルには、「Re:」が表示される

相手が送信したメール本文の先頭に「>」がついて表示される



❺ 登録 にタッチ

宛先に送信元が表示される

返信メール作成画面

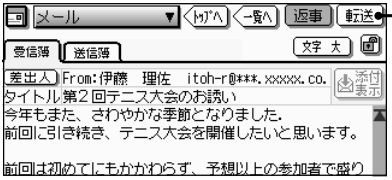
❻詳細表示画面で 送る にタッチ

- 送信簿画面の宛先には送信元、タイトルには「Re:」がついたタイトルが表示されます。
- 返信メールには、添付していた便せんはつきません。
- 全員に返信 では、メール条件設定(☞121ページ)で、「自分宛にも送信」の項目を しない に設定していても、自分宛にも宛先が設定されます。

メールを転送する　転送

受信したメールを、ほかの人に転送します。

❶受信簿画面で転送するメールを選び、詳細表示画面に表示

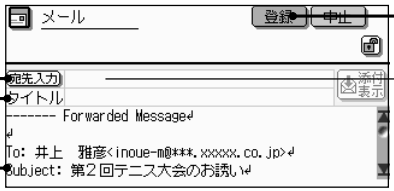


❷ 転送 にタッチ

❸ 宛先入力 にタッチし、転送先の宛先を選択

❹タイトルを入力

❺転送する旨などの本文を追加



❻ 登録 にタッチ

宛先が空欄で表示される

転送メール作成画面

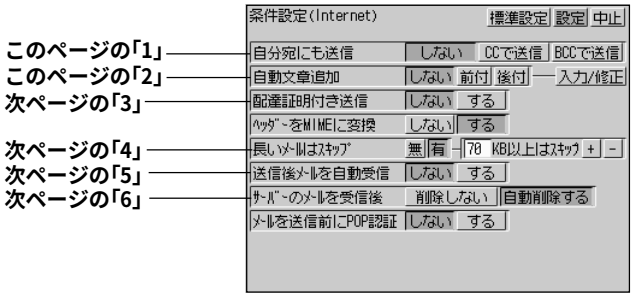
❼詳細表示画面で 送る にタッチ

● 受信したデータに添付したデータもそのまま転送されます。

条件を指定して送信/受信する

条件設定(Internet)画面では、メールを送信したり受信するときの条件を指定することができ、この条件を指定すると、確認用に自分宛にもメールを送ったり、大きなデータサイズのメールを受信しないようにしたりできます。

ここでは、それぞれの条件によってどのようなことができるのかを、各項目ごとに説明します。
条件設定(Internet)画面は、メール トップ画面や送信簿画面、受信簿画面で、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**メール条件設定...**にタッチすると表示されます。また、この画面の詳細は、121ページをご覧ください。



条件設定(Internet)画面

1.自分宛にも同じメールを送信する

メールを送信したとき、自動的に自分宛にも同じメールを送ることができ、そのメールが送られたかどうかを確認できます。
この設定は条件設定(Internet)画面で、「自分宛にも送信」の**CCで送信**または**BCCで送信**にタッチし、**設定**にタッチします。

2.メール送信時､決まった文章を自動的に入れる

メール送信時に自動的に、メールの最初や最後に文章を追加して送ることができます。追加される文章として、自分の名前やメールアドレスなどを入れておくと、メール送信時に自動的に本文に追加されて便利です。
この設定は条件設定(Internet)画面で、「自動文章追加」の**前付**または**後付**にタッチします。続けて**入力/修正**にタッチし自動文章追加画面で追加したい文章を入力し、**設定**にタッチします。

3.相手がメールを受け取ったことを確認する

相手のザウルス(PIシリーズ以外)からメールを受信した旨のメールを、自動的に受け取ることができます。
この設定は条件設定(Internet)画面で、「配達証明付き送信」の**する**にタッチし、**設定**にタッチします。

4.大きなサイズのメールをスキップして受信する

メールの受信時、サイズが大きいメールを受信しないようにできます。ただし、選択受信のときは、この設定にかかわらず選択したメールを受信します。
この設定は条件設定(Internet)画面で、「長いメールはスキップ」の**有**にタッチします。スキップするデータのサイズを**+**または**−**にタッチして設定した後、**設定**にタッチします。

5.メール送信と受信を一度に行う

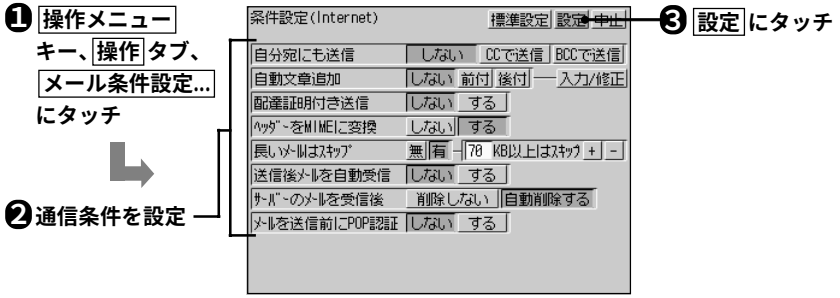
メールを送信した後、メールの受信を行います。
この設定は条件設定(Internet)画面で、「送信後メールを自動受信」の**する**にタッチし、**設定**にタッチします。

6.一度受信したメールをパソコンなどで再度受信する

この製品でメールを受信した後、サーバーからメールを削除せずに残します。サーバーにまだメールが残っているので、後でパソコンなどを使って同じメールを受信することができます。
この設定は条件設定(Internet)画面で、「サーバーのメールを受信後」の**削除しない**にタッチし、**設定**にタッチします。これで、この製品でメールを受信しても、サーバーにメールが残ります。

条件設定(Internet)画面について　メール条件設定

メールを送受信するときの条件を設定します。



条件設定(Internet)画面

画面の説明

◆自分宛にも送信

メールを送信するとき、確認用に自分宛にもメールを送信するかどうかを指定します。

しない …… 自分宛に送信しない
CCで送信 … 自分宛にもCCで送信する
BCCで送信 … メールを自分宛に送信するが、「TO:」および「CC:」の宛先へのメールには、このことが記録されない

自分宛にも送信するときは、あらかじめ所有者情報を登録しておいてください(☞92ページ)。

◆自動文章追加

メール本文の前または後ろに、あらかじめ登録した文章を自動的に追加するかどうかを指定します。一般には、発信者の名前やメールアドレスなどを入れます(☞次ページの「メモ」)。

しない … 自動的に文章を追加しない
前付 …… メール本文の前に自動的に文章をつける
後付 …… メール本文の後ろに自動的に文章をつける

◆配達証明付き送信

配達証明が必要かどうかを指定します。

しない … 配達証明は不要
する … 配達証明が必要。**する**に設定すると、相手のMI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-310、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-10、MT-300/MT-200シリーズからメールを受信した旨のメールが自動的に自分宛に届く

◆ヘッダーをMIMEに変換

メールのヘッダーをMIME方式のデータに変換するかどうかを指定します。

しない … 変換しない
する …… 変換する

するに設定すると、「タイトル」に半角英数字以外の全角文字などの2バイト文字コードが使われていても、相手に正しく送信できます。海外の1バイト文字コード圏にメールを送信するときは、全角文字を使わず、**しない**に設定してください。

画面の説明

◆長いメールはスキップ

容量の大きいメールを受信するかどうかを指定します(「全メール受信」のときに有効)。

無 … 受信する

有 … **有** の右側の枠内に表示されたサイズより大きいメールを受信しない(タイトルのみ受信)。(**＋**、**－**にタッチすると、1KB単位でサイズが増減する)

◆送信後メールを自動受信

メールを送信した後、自分宛のメールを自動的に受信するかどうかを指定します。

しない … 自動受信しない

する …… 自動受信する

◆サーバーのメールを受信後

メールを受信した後、メールをメールサーバーから自動的に削除するかどうかを指定します。

削除しない… 削除しない(メールサーバーに残しておく)

自動削除する… メール受信後、メールを自動的に削除する

この設定については124ページもご覧ください。

◆メールを送信前にPOP認証

プロバイダーによっては、メールを受信してから(POP認証してから)送信することがあります。そのようなプロバイダーをご利用のときに、この設定をします。

しない … 通常は**しない**で使います。

する …… プロバイダーによっては、「メール送信前に、いったん受信するか、メールチェックをしてください」と案内している場合があります。このような場合、**する**に指定します。

接続完了後、まずPOP認証をして約30秒待ってからメールを送信します。

●メールの前や後ろに、発信者のメールアドレスなどの文章を自動的につけるには

「自動文章追加」の**前付**または**後付**にタッチします。メールの前や後ろに文章がつきます。文章は、**入力/修正**にタッチして自動メール文章追加画面で入力・修正し、**登録**にタッチし登録します。

前付の場合

自動文章追加(前付)
本　文
添付データ

後付の場合

本　文
自動文章追加(後付)
添付データ

メール送受信の留意点

メール送信の留意点

メールを送信する場合、次のような点に気をつけてください。

●インターネットメールでの使用文字種について

インターネットの世界では、日本語のメッセージを送信する場合、半角カタカナやJISコードにない半角ひらがな・特殊文字・絵記号の使用は推奨されていません。この製品からインターネットメールを送信する際には、半角カタカナ・半角ひらがな、この製品特有の特殊記号や絵文字を使用しないようにしてください。文字化けが発生したり、サーバーに悪影響を与えたりすることがあります。特に、PIシリーズザウルスから転送してきたデータをインターネットでメール送信する場合には、前もって半角カタカナ・半角ひらがなを全角に変換したり、ザウルス特有の特殊記号や絵文字をJISコードで規定されているほかの文字に変更するなどの修正を行ってください。

ご参考：受信側がMI-P10またはMI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-310、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-10、MT-300/MT-200シリーズの場合であれば、データを添付してメール送信することにより、半角カタカナ・半角ひらがな、ザウルス特有の特殊記号や絵文字を含んだデータを送ることができます(☞99ページ)。

●パソコンとのメールの送受信について

インターネットメールを使って送信されたメール内容は、インターネットメール機能のあるザウルスまたは、MT-300/MT-200シリーズで受信して読むことができます。ザウルスから送信したメール内容が文字のみの場合は、一般のパソコンなどで受信して読むことができますが、添付データは一般に読むことができません。

パソコンでMIMEに対応したメールソフトを使うと、メールに添付されているフォトメモリーのデータを受信することができます。また、このデータを読むには、次のパソコン用ソフトが必要です。

フォトメモリー …… GIF/JPEG形式に対応したグラフィックソフト

● この製品から送信した添付データつきのメールをほかの機種で受信する場合は、制限があります。
くわしくは、99ページの「メモ」をご覧ください。
● この製品から送信したメール（添付データなし）を、PIシリーズザウルスでニフティサーブ通信のザウルスメール機能を使って受信した場合、受信メールはメールボックスには入りません（PI-8000、PI-7000、PI-6600、PI-6500を除く）。通信記録でお読みください。

メール受信の留意点

メールを受信する場合、次のような点に気をつけてください。

●サイズが大きくてこの製品で受信できないインターネットメールについて

選択受信画面でメールのサイズがグレーで表示されます。

●パソコンなどから添付データつきのメールを送信してもらい、この製品で受信するときのご注意

- 送信側であらかじめ添付データのファイル名をDOS形式にしてもらってください（ファイル名は半角英数字で8文字以内、拡張子は半角英数字で3文字以内）。長いファイル名や全角文字の入ったファイル名の添付データは正しく受信できません。
  ※一般に、MI-P10で受信できるデータのファイル名の拡張子は次のとおりです。
  GIF、JPGなど
- パソコンから画像が添付されたメールを送信してもらってこの製品で受信する場合には、画像サイズをこの製品で扱える容量（128KB以下）に合わせてもらうよう、メールの発信者に依頼してください。

●メールサーバー上でのインターネットメールの削除に関する設定について

インターネットメールの受信の際、条件設定（Internet）画面で、「サーバーのメールを受信後」の項目を「削除しない」に設定すると、メールサーバー上のメールボックスからは既読のメールが削除されず、溜まる一方になります。メールサーバー上のメールボックスがいっぱいになると、それ以上メールを受信できなくなります。

そこで、通常は「サーバーのメールを受信後」の項目を「自動削除する」に設定することをおすすめします。一方、インターネットメールの送受信をこの製品とパソコンとで併用していて、受信メールをパソコン上で一元管理したい場合などであれば、この製品でメール受信するときには「サーバーのメールを受信後」を「削除しない」に設定して受信し、後でパソコンで同一メールを受信したときにメールサーバーから削除するようにします。
条件設定(Internet)画面の「サーバーのメールを受信後」と、「長いメールはスキップ」の項目は、次の表を参考にして設定してください。

	「長いメールはスキップ」の設定	受信メールのサイズ(MIMEに展開されたサイズ)	「サーバーのメールを受信後」が「自動削除する」のとき	「サーバーのメールを受信後」が「削除しない」のとき
			「受信済メールの削除」が「要」のとき	「受信済メールの削除」が「否」のとき
全未読受信	「無」	800KB以下のメール	受信するメールは削除される	受信するメールは残る
		800KBを超えるメール	メールの一部を受信メールは削除される	メールの一部を受信メールは残る
	「有」で「xxKB以上はスキップ」	xxKB以下のメール	受信するメールは削除される	受信するメールは残る
		xxKBを超えるメール	メールの一部を受信メールは残る	メールの一部を受信メールは残る
選択受信	—	800KB以下のメール	受信するメールは削除される	受信するメールは残る
	—	800KBを超えるメール	メールの一部を受信メールは削除される	メールの一部を受信メールは残る

(注)「全未読受信」 …… メールサーバー上のメールボックス内の未読メールをすべて受信する(*1)
「選択受信」 …… メールサーバー上のメールボックス内のすべてのメールの中から、メールを選択して受信する(*1)
「受信する」 …… メール1件全体を受信する
「メールの一部を受信」 …… サイズが800KBを超える、または「長いメールはスキップ」を「有」にした場合、メールの一部(約200行まで)を受信
「メールは削除される」 …… 受信後メールボックスから削除される
「メールは残る」 …… 受信後メールボックスには残る

ご注意： 添付データのあり/なしにかかわらず、受信メール本文のサイズが全角文字で約32000文字(約64KB)を超える場合、超える部分については受信できません。

＊1：一度に受信できる件数は最大256件です。

インターネット（2）

ここからは、くわしい説明

126～160ページでは、『取扱説明書（通信ガイド）』の「インターネット（1）インターネットを始めましょう」の章よりくわしい操作説明や、「インターネット（1）インターネットを始めましょう」に含まれていない機能について説明しています。インターネットについて、便利な機能が使えるようになります。

インターネットブラウザの特長

この製品のインターネット機能には、次の機能があります。

- 接続してホームページを見る（ブラウザ）機能
- 見ているページのデータを登録してインターネットに接続しない（オフライン）で表示する（インターネットライブラリ）機能
- 閲覧中のホームページのアドレスを保存するマークページ機能
- 録画の予約をすると、指定した時間にホームページを自動巡回してデータを自動的に取り込んでくる予約録画機能
- 情報を暗号化して通信するセキュリティ機能

登録したホームページなどは、回線を切断した後、ゆっくりインターネットライブラリで見ることができます。ただしこの製品は、TELNETやネットニュース、FTP、Gopherなどには対応しておりません。
インターネットには、この製品やMI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズユーザーのための「Sharp Space Town」のホームページがあり、ザウルスをさらに活用する情報やビジネス情報などが提供されています。

ブラウザ機能

この製品からインターネットに接続し、WWW(World Wide Web：インターネット上の文書や画像などのデータを検索できる仕組み)を利用することができ、世界中のWWWサーバーにあるホームページに次々とアクセスし、有用な情報、楽しい情報、専門的な情報など、多彩な情報を入手することができます。

また、インターネットブラウザには、要所にHTML 3.2の仕様が取り入れられていますので、表現力が豊かです。

- JPEG形式の画像もページ中に表示できます。
- クライアントサイドクリッカブルマップ(表示された絵の中をタッチすると、その部分に対応したページにジャンプする)に対応しています。
- ページに表示されている画像を保存し、フォトメモリーで表示・管理することができます(☞153ページ)。
- SSLやCookieを利用しているホームページを利用できます(たとえば、電子ショッピングやユーザー別ニュース提供など)。
- フレーム構成のページも、フレーム構成のまま見ることができます。
- 閲覧中のホームページに表示される、メール送信用のアイコンやメールアドレスなどにタッチすると、相手のメールアドレスが登録された新規未送信メールが作成されます。インターネット接続を終了してから、メール機能でメールを作成し送信することができます(☞154ページ)。

インターネットライブラリ機能

(☞本書の160、『取扱説明書(通信ガイド)』59ページ)

- インターネットに接続し、閲覧中のホームページのうち、取り込みたいページをインターネットライブラリに登録することができます。インターネットライブラリに取り込んだデータは、オフライン(インターネットに接続しない)で見ることができます。
- パソコンのMicrosoft PowerPoint 95、PowerPoint 97、PowerPoint 2000で作成したデータをHTML形式で保存すると、パソコン連携ソフト「ザウルスパワーコネクション」(別売のパソコン連携キットCE-P10PKに付属)を使って、インターネットライブラリに取り込み、表示させることができます。外出先でのプレゼンテーションツールとして利用できます。
  また、パソコン上で「ザウルスパワーコネクション」の「ホームページクリップユーティリティー」機能を使って、パソコンで取り込んだホームページのデータをこの製品に送信して表示することができます。

マークページ機能

（☞141ページ）

- 閲覧中のホームページで気に入ったものは、そのページのアドレス（URL）をマークページリストに取り込んで保存できます。取り込んだマークページは、次にそのページを閲覧したいときに、マークページリストからすぐに指定できます。
- 保存したマークページは、マークページ編集でフォルダを作成して目的別、種類別などに保管することができます。フォルダとは、書類（データ）を整理・収納するボックスのようなものです。マークページのフォルダ間の移動も容易です。

予約録画機能

（☞130ページ）

マークページリストの「予約録画」フォルダに登録したページを時刻を指定して録画できます。指定した時刻になるとインターネットに接続され、指定したページのデータが自動的にインターネットライブラリに保存された後、自動的に接続が終了します。外出中や就寝中に取り込んだページを、インターネットライブラリ機能を使って、オフラインでゆっくり見ることができます。

セキュリティ機能

（☞159ページ）

この製品のインターネットブラウザでは、一般に広く使われている暗号化技術SSL（*1）を搭載しています。接続先のホームページがSSLに対応していると、そのホームページとこの製品の間でやり取りされるデータが暗号化されて通信されます。これにより、この製品では40bitのSSLに対応しているインターネット上の通信販売のホームページなどをご利用になれます。

（*2）

（*3）

＊1：Secure Sockets Layer。
SSL関連ソフトウェアの一部は米国Consensus Development Corporationが著作権を有します。

＊2：RSAロゴは米国RSA Data Security, Inc.の登録商標です。

＊3：SSLを使って通信する場合、ベリサイン社の発行するベリサイン・ルート・キーを使用して、接続先がベリサイン社で証明された相手であることを認証しています。
VeriSignはベリサイン社の商標です。

ご注意

- この製品に搭載されているインターネットブラウザによる表示は、パソコンなどで広く使われているWWWブラウザによる表示と比べて、文字のフォント・サイズ、画像や音声データの扱いなどについて、次のような一部異なる部分や制限があります。
  - プラグインアプリケーションなど、この製品でサポートされていないHTML3.2の仕様の一部の機能が動作しません。そのため、一部の表示が見えなかったり、表示が乱れたりすることがあります。
  - ホームページは白黒16階調で表示されます(カラーの属性は保持されています)。
  - JavaおよびJavaScriptには対応していません。
  - 動画を表示させることはできません。
  - 音声を再生することはできません。
  - 一部の画像(サイズが大きすぎるものなど)は、正しく表示できないことがあります。
  - 大きな表のデータを受信したときには、正しく表示できません。
  - パソコン用のソフトウェアをダウンロードすることはできません。
  - この製品が持っている文字コード以外の文字が送られてきた場合、正しく表示されません。
  - この製品が持っている文字のフォントサイズの種類が少ないため、HTMLソースで指定されたフォントサイズの区分どおりに表示されない場合があります。
  - ブラウジング画面から直接メールを送ることはできません。
  - この製品でホームページを表示すると、ホームページの背景に使われている画像などは表示されません。パソコンなどを使ってホームページを表示したときと画面は異なりますのでご注意ください。
- インターネットのホームページに表示される文章や画像、音声などは一般に著作権法で保護されています。それらのデータをこの製品に取り込んで利用する際、自分で楽しむ以外に、著作者の許可なくそれらの内容の一部あるいは全部を配布/販売したり、自分の作品などに掲載して発表したりすることはできません。

重要

- インターネットに接続して画像の表示を伴ったWWW(World Wide Web)を利用するには、64Kデータ通信または32Kデータ通信(PIAFS対応)準拠のPHS電話機などの使用をおすすめします。
  デジタル携帯電話は通信速度が9600bpsのため、画像が表示されるホームページを見ようとすると読み込みに時間がかかります。
  条件設定画面の**表示設定**タブで「イメージ表示」を「しない」に設定してイメージ(画像)を表示しないようにすると、ページの読み込みが早くなります(☞156ページ)。
- 基地局との間を9600bpsで通信できるデジタル携帯電話(NTTドコモ デジタル・ムーバHYPER機種など)をCE-DA3、CE-DA4、CE-DA5、CE-DT1に接続した場合には、9600bpsが使用できるアクセスポイントに接続ができます。通信速度が2400bpsのみに対応したデジタル携帯電話をCE-DA3、CE-DA4、CE-DA5、CE-DT1に接続して、アクセスポイントに接続することはできません。

ホームページを指定して録画の予約をする 予約録画

予約録画とは、外出中や就寝中などに、時刻を指定して見たいホームページを取り込むことです(予約録画)。
見たいホームページを設定しておけば、指定した時刻になると自動的にインターネットに接続して、そのページのデータを保存した後、自動的にインターネットの接続を切ります。録画したページは後でインターネットライブラリで、ゆっくり見ることができます。
この機能を使うには、

1 取り込むホームページを予約リスト画面に設定する
↓
2 取り込む時刻の指定(予約)を行う

取り込む(録画する)ページを設定する 予 約

まず、録画するページを予約リスト画面に設定します。
録画するページを設定するには、次の2つの方法があります。

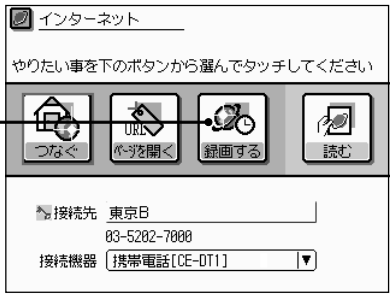
- Sharp Space Townから取り込んだインターネット番組表を使って、録画ページを設定する
- 自分で取り込んだホームページを録画ページに設定する

インターネット番組表を使って録画ページを設定する

Sharp Space Townから取り込んだインターネット番組表を使って、録画するページを設定します。ここでは、番組表を取り込んでいるものとして説明します。

1 インターネット予約録画の画面を表示します。

❶ インターネット トップ画面の 録画する アイコンにタッチする



2 取り込みたいページを予約します。

❶ 〈番組表へ〉にタッチする

インターネット予約録画画面

❷「エキサイト インターネット番組表」に1回または2回タッチする

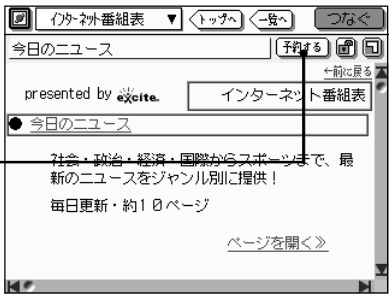
※画面例(番組表のタイトルなど)は、実際のものと異なります。

インターネットライブラリの一覧画面

❸ ほかのページに関係づけられている(リンクされている)ところにタッチする

ここでは、「今日のニュース」にタッチする

※画面例は、実際のものと異なります。



❹ 予約するにタッチする

❺ 確認のメッセージで はい にタッチする

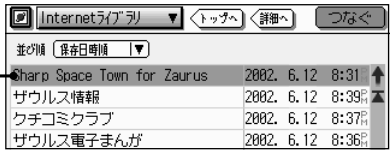
自分で取り込んだホームページを録画ページに設定する

自分で取り込んだホームページを録画するページに設定します。
あらかじめ、インターネットに接続して予約録画したいホームページを取り込み、インターネットとの接続を切ります(☞『取扱説明書(通信ガイド)』59ページ)。

1 予約録画したいホームページをインターネットライブラリの詳細表示画面に表示します。

❶ インターネット トップ画面で 読む アイコンにタッチする

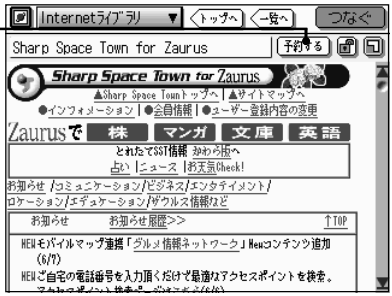
❷ 取り込みたいページに1回または2回タッチする



一覧画面

2 取り込みたいページを予約します。

❶ 予約する にタッチする



詳細表示画面

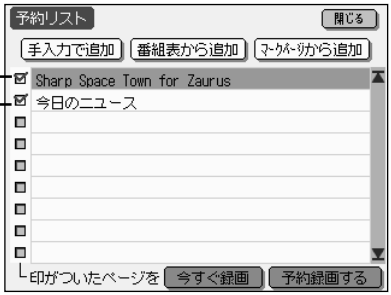
❷ 確認のメッセージで はい にタッチする

予約リスト画面の内容を確認する

❶ インターネットトップ画面で 録画する アイコンにタッチする

❷ 予約リスト にタッチする

❸ 130〜132ページの操作で設定した内容を確認する



- **予約録画するホームページのアドレス(URL)がわかっているときは**
  予約録画するホームページのアドレス(URL)を直接入力して、予約リスト画面に追加することができます。予約リスト画面で**手入力で追加**にタッチします。マークページ登録画面で**マークページ**タブにタッチし、「タイトル」と「URL」を入力し、**登録**にタッチします。予約リスト画面に追加されます。
- 予約リスト画面の**番組表から追加**にタッチして、インターネット番組表から予約することもできます。
- **すでにマークページに登録してあるホームページを予約録画するには**
  マークページとは、よく訪れるホームページにマークをつけたものです(☞141ページ)。予約リスト画面で**マークページから追加**にタッチします。マークページ編集画面で予約したいデータのあるフォルダやホームページ名にタッチして選択し、**予約リストに追加**にタッチします。予約リスト画面に追加されます。
- **予約リストからホームページを削除または除外するには**
  予約録画で取り込みたくないホームページは削除または除外します。削除する場合は、予約リスト画面で削除するホームページ名にタッチして選択し、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**削除**にタッチします。選択したデータが削除されます。除外する場合は、予約リスト画面で除外するホームページ名にタッチして選択し、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**予約リストから外す**にタッチします。選択したデータがマークページとしてマークページ編集画面の「一時保管」フォルダに移動します(再度予約リスト画面に追加する場合は、上記の項目の手順に従って操作します)。
- **認証が必要な会員制のホームページやリンクされているページ、ページのテキストのみを取り込むときは**
  138ページの「予約録画ページの設定をくわしく行う」をご覧ください。

取り込むページと時刻を設定する

取り込みたいホームページと、取り込む時刻を設定します。録画するとき、ホームページの取り込みと同時にメールの受信/送信も行うことができます。

1 取り込むページを指定します。

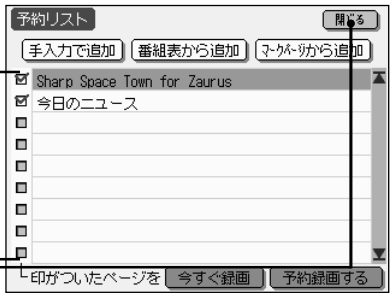
❶ インターネット トップ画面で 録画する アイコンにタッチする

❷ 予約リスト にタッチする

インターネット予約録画画面

❸ 取り込むページを確認する
取り込まないページは、☑ にタッチして ☐ にする

❹ 閉じる にタッチする



予約リスト画面

2 取り込む開始時刻、メールの自動受信・送信を指定します。

❶ [∨][∧]にタッチして開始時刻を指定する
10分単位で切り替わる

❷ 録画x件、メール受信、メール送信が選択されていることを確認する
選択されていないときはその下の録画にタッチする
ホームページ取り込み時に同時にメールを送受信するときは メール受信、メール送信にタッチして選択する

❸ このまま予約録画をセットするときは、接続先と接続機器を確認し、電話回線に接続していることを確認し、予約ONにタッチする
決定ボタンを押しても予約ONにでき、もう一度押すと予約OFFに切り替わる

予約録画で実行する内容が表示される
録画件数は開始時刻に取り込む件数を表示

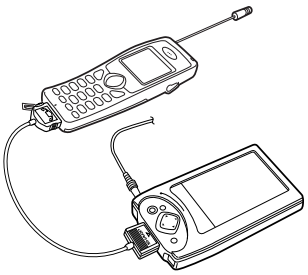
3 予約録画の準備をします。

❶ この製品の電源を切り、デジタル携帯電話などとこの製品を接続する

❷ この製品とACアダプターを接続する

❸ 電話機の電源が入っていることを確認する

これで指定した時刻に自動的にインターネットに接続した後、接続したホームページを録画し、メールを送受信することができます。終了すると自動的に回線を切断し電源が切れます。



ご注意

- 予約録画を行う場合は、コネクションパスワードを「自動」に設定してください（設定の方法☞『取扱説明書（通信ガイド）』131ページ）。「毎回」に設定していると録画されません。また、全機能ロックは解除してください。全機能ロックが設定されていても録画されません。

メモ

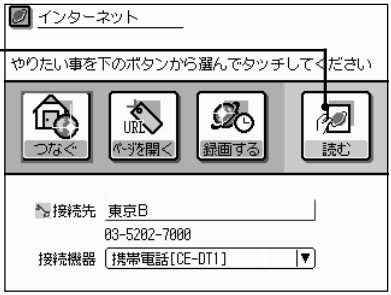
- 予約録画は、この製品とデジタル携帯電話などを接続し、付属のACアダプター（EA-66）を接続して行います。この製品だけを使って予約録画することはできません。
- 前ページの手順 **2**の ❶ で上下の ⊕ （スクロールボタン）を押しても、時刻が切り替わります。
- **録画のみ、またはメールの受信・送信のみの予約をするには**
  インターネット予約録画画面で、**録画**、**メール受信**、**メール送信**にそれぞれタッチすると、選択した機能のみが実行されます。ボタンはタッチするたびに切り替わります。
- **今すぐ録画するには**
  インターネット予約録画画面で予約OFFの状態で**今すぐ録画**にタッチします。予約リスト画面でチェックしたページをすべて取り込みます。
- **録画日について**
  ホームページは、作成者によって毎日や毎週、その内容が更新されるものがあります。インターネット番組表のホームページにはあらかじめ更新するタイミングが設定されているものもあります。録画日になると、予約したページが自動的に選択状態になり、録画できるようになります。たとえば、録画日が火曜日に設定されていると、毎週火曜日の取り込み時刻に新しい内容を録画します。常に最新のホームページを録画できます。録画日の設定のしかたは、138、139ページをご覧ください。
- **予約録画を一時解除するには**
  インターネット予約録画画面で**予約OFF**にタッチします。再度設定する場合は、**予約ON**にタッチします。
- 予約録画によってインターネットライブラリの1データとして取り込めるデータのサイズについては、160ページの「**●インターネットライブラリの1データとして取り込めるサイズは**」をご覧ください。
- 予約録画では、指定のページのデータは、必ずWWWサーバー（外部）から取り込まれます。
- 録画の開始時刻、接続先や接続機器を変更するときは、予約OFFの状態にした後、設定を変更します（☞前ページ）。

録画したホームページを見る

開始時刻になると、自動的に電源が入り、指定したホームページを取り込んだり、メールを送受信します。終了すると、自動的に回線を切断し電源が切れます。

1 録画したホームページを表示します。

❶ インターネット トップ画面で 読む アイコンにタッチする



❷ Internetライブラリ▼にタッチし、表示されたメニューから予約録画を開始した時刻のタイトル(情報ファイル)にタッチする

1回の予約録画で取り込んだホームページの一覧が表示される

❸ ホームページに1回または2回タッチする

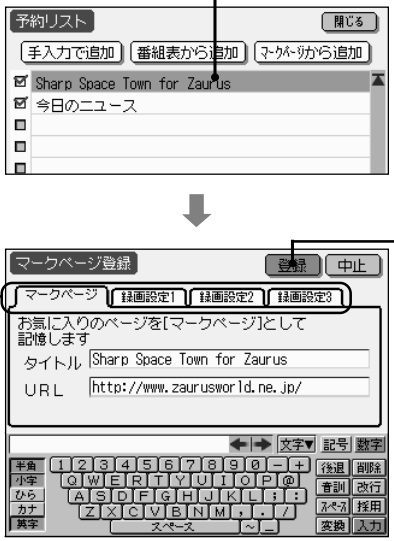
- 一度の接続で取り込んだホームページは1つの情報ファイルに入り、このタイトルは接続した年月日時分になります(情報ファイルについては326ページをご覧ください)。
- 予約録画で通信した時刻などを見るときは、インターネット予約録画画面で 予約OFF にタッチし、 通信記録 にタッチします。

予約録画ページの設定をくわしく行う

予約録画ページのタイトルを編集したり、予約録画ページの開きかたなどの設定は、マークページ登録画面で行います。

❶インターネットトップ画面で 録画する にタッチし、予約リスト にタッチ

❷設定するページに1回または2回タッチ



❹ 登録 にタッチ

❸各タブで設定
くわしい設定内容は、次ページをご覧ください。

マークページ登録(マークページ)画面

● 録画設定1、2、3のそれぞれのタブで設定した内容は、「予約録画」フォルダにあるマークページのみ有効です。これらの内容は、録画を実行する際のみ利用されます。

タイトルとURLを登録する

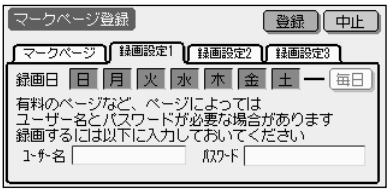
マークページ登録(マークページ)画面

画面の説明

◆タイトル
ページのタイトルを入力します。

◆URL
アドレス(URL)を入力します。

録画日やユーザ名、パスワードを指定する



マークページ登録(録画設定1)画面

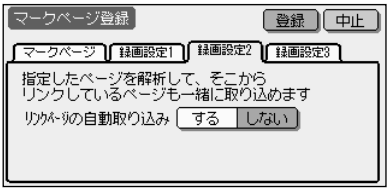
画面の説明

◆録画日
指定した録画日に自動的に新しいページ内容を取り込みます。

◆ユーザー名
会員制のホームページなどに入るIDを入力します。

◆パスワード
会員制のホームページなどに入るパスワードを入力します。

リンク先のデータも一緒に取り込むように指定する



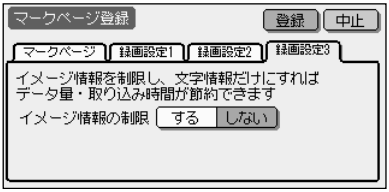
マークページ登録(録画設定2)画面

画面の説明

◆リンクページの自動取り込み

指定したページでリンク先を指定してある文字列や画像があるとき、そのページを一緒に取り込むかどうかを指定します。

文字情報だけを取り込むように指定する



マークページ登録(録画設定3)画面

画面の説明

◆イメージ情報の制限

する では、指定したページを録画するとき、画像データが取り込まれません。

同じページをすぐ開いて見る マークページ

ホームページの内容は、定期的に、あるいは不定期に更新されるのが一般的です。たびたび訪れてみたいホームページにマークをつけると、後ですぐに探せます。インターネットに接続中にマークをつけたページ(マークページ)に切り替えて見ることができます。

表示しているページにマークをつける

❶インターネットに接続し、マークをつけたいページを表示

❷ツールパレットを表示し(☞149ページ)**マーク**にタッチ

❸登録するフォルダに1回または2回タッチし、フォルダを開く

❹**現在のページを追加**にタッチ 表示されているページが指定したフォルダに登録され、ページ名が表示される

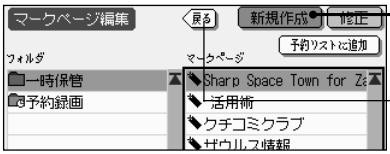
❺**中止**にタッチし、「ページを開く」画面を閉じる

- インターネットに接続中に**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**マークページに登録**にタッチしても、表示中のホームページをマークページとして登録できます。「一時保管」フォルダに入ります。
- **登録できるページ数は**
  約200件まで登録できます(フォルダ作成件数と合わせた目安)。
- **登録した内容を修正するには**
  マークページ編集画面で修正するマークページを選択し、**修正**にタッチします。内容を修正した後、**登録**にタッチします(☞次ページ)。
  マークページ編集画面は、接続中は上記の画面で〈**ページ編集へ**にタッチして表示します。接続を切ってから修正する場合は、接続を切った後、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**マークページ編集...**にタッチするか、インターネット トップ画面の**ページを開く**アイコンにタッチし、〈**ページ編集へ**にタッチしてマークページ編集画面を表示します。
- インターネットライブラリの詳細表示画面のデータ、または一覧画面で選択したデータをマークページとして登録するには、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**マークページに登録**にタッチします。「一時保管」フォルダに入ります。
- **「予約録画」フォルダとは**
  このフォルダに入っているページが、予約録画を行うときに設定の対象となります。予約したいページを「予約録画」フォルダに入れておくと、予約一覧画面に表示されて選択できます。予約録画については、130ページをご覧ください。

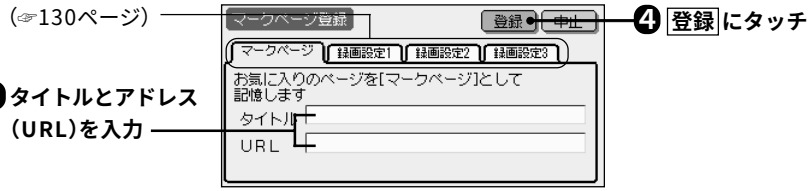
アドレスを指定してマークページを登録する

マークページにしたいページのアドレスを入力して登録します。

❶インターネット トップ画面で ページを開く アイコンにタッチし、ページ編集へ にタッチ



マークページ編集画面



- **ホームページを開くために必要なユーザー名とパスワードを入力するには**
  認証が必要な会員制のホームページなどを録画ページに指定して開くとき、自動的にユーザー名とパスワードを入力するには、マークページ登録画面の 録画設定1 タブにタッチして入力します。
- **新しいフォルダを作るには**
  マークページ編集画面で、 操作メニュー キー、 新規フォルダ作成 にタッチします。フォルダ名を入力した後、 登録 にタッチします。
- **マークページ、フォルダを削除するには**
  マークページ編集画面で削除したいマークページやフォルダを選び、 操作メニュー キー、 削除 にタッチし、削除する範囲を選択します。
- **マークページの編集画面は**
  操作メニュー キー、 操作 タブ、 マークページ編集... にタッチしても表示できます。

マークしたページを開く

マークしたページは、アドレス(URL)を入力せずに開くことができます。

❶インターネットトップ画面で**ページを開く**アイコンにタッチ

インターネット トップ画面

❹**開く**にタッチ

❷開きたいマークページが入っているフォルダにタッチ

❸開きたいマークページにタッチ

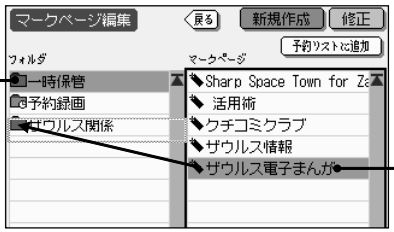
● インターネット接続中にマークページを開くには

ページを開くにタッチし、表示された「ページを開く」画面の**マークページから選択**タブでマークページを選択し、**開く**にタッチします。

● 指定のページがすでにキャッシュ(ホームページのデータを一時的に記憶する場所)に入っていたとき(以前読んだことのあるページであったとき)には、キャッシュの中のデータが表示されます。あるホームページから別のページにジャンプしたときも同様です。内容を更新したいときは、**再読込**にタッチします。

マークページをフォルダに移動する

❶マークページ編集画面を表示し(☞前ページ)、フォルダアイコンにタッチし、フォルダの中を表示



❷移動したいマークページにしばらくタッチし、枠が表示されてからスライドしてフォルダの中に移動する

● フォルダの中にフォルダを移動することはできません。

● 予約リストに追加にタッチすると

選択しているマークページが「予約録画」フォルダに複製されます。

「予約録画」フォルダ内のマークページを選択すると**予約リストから外す**に変わり、タッチすると、そのマークページは「一時保管」フォルダに移動します。

インターネット接続中のご注意

インターネットへ接続する操作は『取扱説明書(通信ガイド)』の「インターネット(1) インターネットを始めましょう」をご覧ください。うまく接続できないときは、**中断**キーにタッチしていったん接続を切り、もう一度接続し直してください。
また、「困ったときは」(☞478ページ)もご覧ください。

- **つなぐ**アイコンにタッチした直後、「キャッシュ容量不足　設定されているキャッシュ容量(○○○KB)は確保できません　現在確保できるキャッシュ容量は△△△KBです．．．」というメッセージが表示される場合があります。これは、条件設定画面の**詳細設定**タブのキャッシュの「容量」で指定したサイズより、実際にキャッシュとして使用できるメモリーサイズが少ない場合に表示されます。メッセージにある「現在確保できるキャッシュ容量」のままでよいなら、**実行**にタッチして接続を開始します。現在確保できるキャッシュ容量が少ない場合には、メモリー内の不要なデータを削除してメモリー整理を行うなどして、メモリーの空きエリアを大きくした後、再度、**つなぐ**アイコンにタッチしてください。
- 「WWWブラウザを実行するための作業用メモリーが不足しています･･･」のメッセージが表示されて、インターネットブラウザが起動しない場合には、実行中のMOREソフトを停止させてください(☞299ページ)。
- 条件設定画面で**表示設定**タブの「イメージ表示」を**しない**に設定した場合、ホームページにはテキスト(文字)だけが表示され、画像は表示されません。画像の代わりに文字、あるいは次のようなアイコンが表示され、そこに画像が埋め込まれていることを示します。

  …… リンクされていない画像(GIF形式、JPEG形式)を示します。

  … リンクされている画像(GIF形式、JPEG形式)を示します。このアイコンにタッチすると、表示はリンク先にジャンプします。
- MOREソフトやクイックパス、データのダウンロードについては、152ページ、153ページをご覧ください。
- 通信中に、タッチペンを画面に押しつけたままにしないでください。ページデータの読み込みなどの通信動作が中断されたままになります。

IDやパスワードを簡単に入力する ID入力ボード

ホームページの中には、ページを開くためのIDやパスワードを入力しないと開けないものがあります。
このとき入力するIDやパスワードをID入力ボードに登録しておくと、IDやパスワードを簡単に入力できます。

ご注意

- ID入力ボードにIDやパスワードを登録すると、簡単にIDやパスワードが入力され便利ですが、この製品を紛失したり他人に使われたとき、プライベートなページを勝手に読まれたり、使用料金などを請求される恐れがあります。シークレット機能を設定しておいてください。シークレット機能を設定すると、パスワードを入力しない限りID入力ボードを使えません。

ID入力ボードにIDやパスワードを登録する

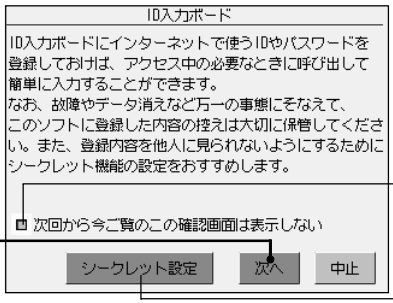
ホームページを開くためのIDとパスワードを、名称をつけて登録します。

ご注意

- **登録するパスワードについて**
  登録するパスワードは登録後に見ることはできません。パスワードは必ず控えておいてください。

ここでは、シークレット機能でパスワードが設定されているものとして説明します。

❶インターネット トップ画面で 操作メニュー キー、操作 タブ、ID入力ボード設定... にタッチ

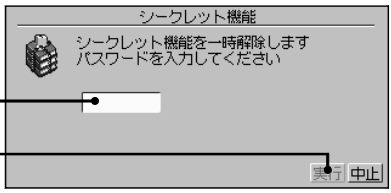


❷内容を確認

❸ 次へ にタッチ

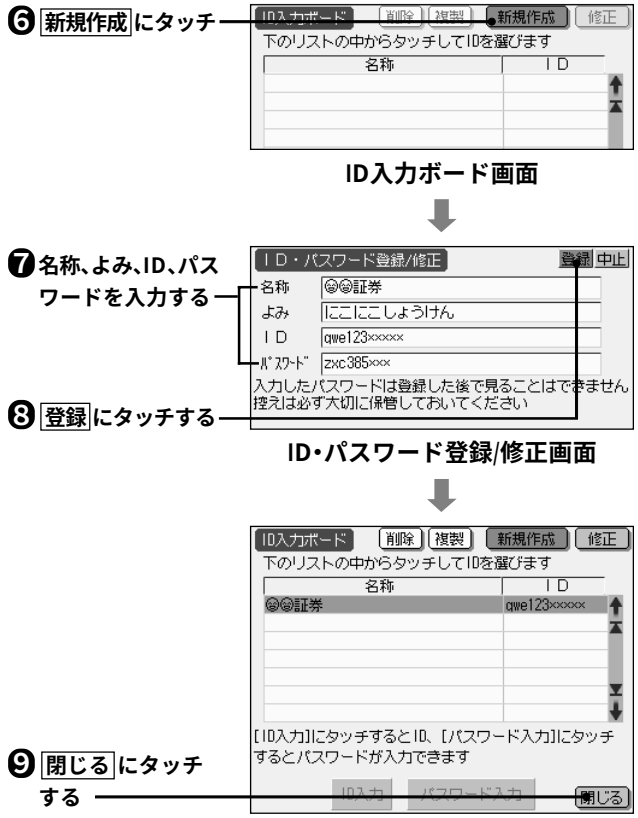
タッチして ☑ にすると、次回からこの画面が表示されなくなる

シークレット機能でパスワードを設定する（☞367ページ）



❹シークレット機能のパスワードを入力

❺ 実行 にタッチ



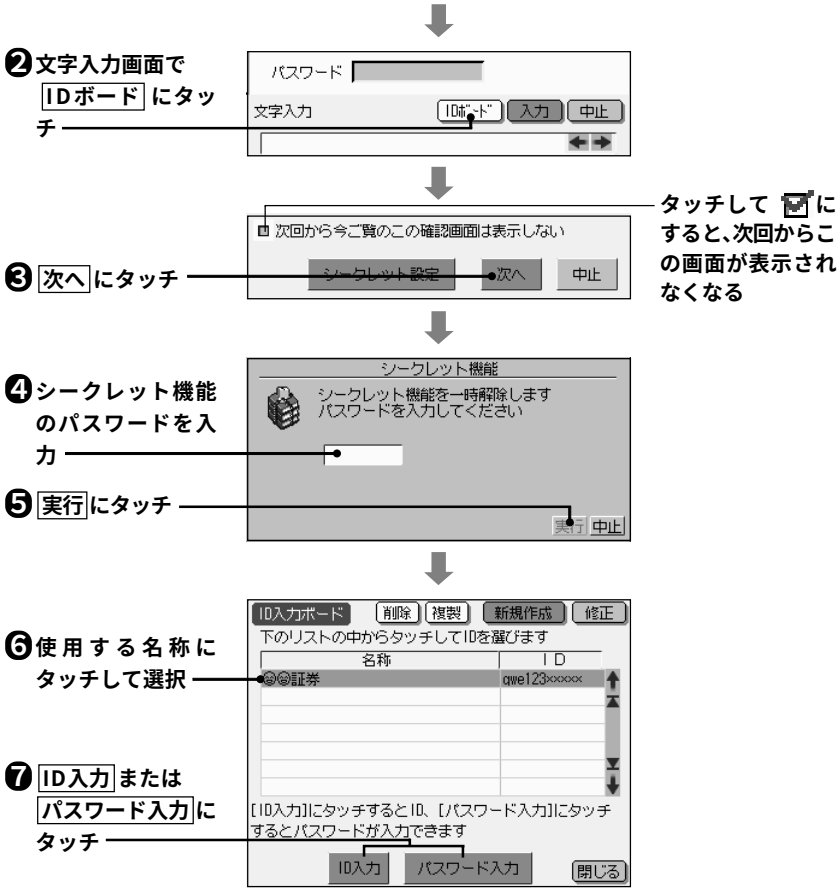
メモ

- **登録したIDとパスワードを削除するには**
  ID入力ボード画面で削除する名称にタッチして選択し、**削除**にタッチします。メッセージを確認し、**はい**にタッチします。
- **登録したIDやパスワードなどを修正するには**
  ID入力ボード画面で修正する名称にタッチして選択し、**修正**にタッチします。ID・パスワード登録/修正画面で情報を修正し、**登録**にタッチします。
- **同じような名称のIDやパスワードを登録するには**
  複製機能を使うと便利です。ID入力ボード画面で複製する名称にタッチして選択し、**複製**にタッチします。複製された名称を選択し、**修正**にタッチします。ID・パスワード登録/修正画面で必要に応じて修正し、**登録**にタッチします。

ID入力ボードを使ってIDやパスワードを入力する

専用のIDやパスワードが必要なホームページで、ID入力ボードを使ってIDやパスワードを入力します。ID入力ボードは、文字入力画面で使うことができます。IDとパスワードは別々に入力します。

❶IDやパスワードを入力するホームページでIDやパスワードを入力する欄にタッチ



ID入力ボード画面

- ID入力ボード画面は、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**ID入力ボード設定...**にタッチしても表示できます。
- シークレット機能でシークレットを一時解除しているときやID入力ボードを使うために、シークレット機能のパスワードを入力していったん一時解除すると、電源を切るなどしてシークレットを再設定するまでは、手順❹の画面は表示されません。

ホームページのアドレスに直接接続する なぞってインターネット

以下の各機能にホームページを示すアドレス(「http://www.spacetown.ne.jp/」など)があるとき、そのアドレスをなぞって選択した状態で **ホームインデックス** キー、↓、**インターネット** アイコンにタッチすると、自動的にインターネットに接続します。このときこの製品に設定されている内容で接続しますので、あらかじめ、デジタル携帯電話などを接続しておいてください。

- スケジュール　• アクションリスト　• アドレス帳
- レポート&自由帳　• パーソナルデータベースII　• メール

接続中の画面で操作する

接続中の画面で操作するには、画面上のボタンにタッチしたり、ツールパレットを表示して行います。
接続中にページを前後に切り替えたりするときは、ツールパレットを使います。

画面上のボタンやアイコンにタッチして操作する

画面の説明

◆**ページを開く**
表示するホームページを開きます。マークページから選択する方法と(☞143ページ)、アドレスを直接入力する方法があります(☞『取扱説明書(通信ガイド)』57ページ)。

◆**ページ名**
タッチすると、接続してから開いたページのリストが表示され、開きたいページに1回または2回タッチすると、切り替えることができます。

◆**登録**
表示しているホームページを取り込みます(☞『取扱説明書(通信ガイド)』59ページ)。

◆**接続を切る**
接続を切ります。

◆**再読込**
表示中の画面をもう一度読み込みます。画面表示が乱れたときなどにタッチします。読み込み中は **停止** に変わります。

◆**停止**
データの受信を停止します。読み込みが終わると、**再読込** に変わります。

◆、
ホームページの表示領域を切り替えます。

● **表示中のページにあるイメージの表示/非表示を切り替えるには**
操作メニューキー、**操作**タブ、**イメージ表示**にタッチし、**イメージ表示**または**イメージ非表示**にタッチします。イメージを表示しないようにすると、ページの読み込みが速くなります。接続を切り、次に接続したときは、条件設定画面の**表示設定**タブで設定されているイメージ表示する/しないで表示されます。

● **表示中のページのURLや文字列を複写するには**
表示中のページのURLを複写するには、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**文字列複写**にタッチします。
画面上の文字列の複写は、文字列をなぞって選択し、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**文字列複写**にタッチします。複写したURLや文字列は、接続を切った後、他機能の新規作成画面や修正画面で貼り込みます。

● **表示中の漢字コード(シフトJIS/EUC)を変えるには**
操作メニューキー、**操作**タブ、**文字コード指定**、**Shift JIS**または**EUC**にタッチします。現在選択されている漢字コードは、Shift JISコードまたはEUCコードの左にチェックマークがついています。日本語(漢字)が正しく表示されない場合に設定を変えてみてください。

● **表示中にスクロールキー設定を変えるには**
表示中に左右の (スクロールボタン)を押したときの働きを変えるときは、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**スクロールキー設定**にタッチし、**左右スクロール**または**リンク選択**、**前/次ページ切替**にタッチします。
ボタン操作については、次ページをご覧ください。

● 何度も同じページを開くときは、マークページに登録すると、次回から簡単に開くことができます(☞142ページ)。

ツールパレットを使って操作する

ツールパレットを常に画面上に表示する設定については、156ページをご覧ください。

❶操作するホームページを表示し、操作メニューキー、操作タブ、ツールパレット表示、表示にタッチ

ツールパレットの説明

◆**戻る**
前ページに切り替えます。
◆**進む**
次ページに切り替えます。
◆**ホーム**
接続条件設定(基本2)画面で設定してあるホームページに切り替えます。
◆**開く**
URLを指定してほかのホームページを開きます。
◆**マーク**
マークページを指定してそのページを開きます。
◆**再読込**
表示中の画面をもう一度読み込みます。
◆**停止**
データの受信を停止します。

◇(スクロールボタン)や決定ボタンを使って操作する

インターネットに接続してホームページを表示しているときや、インターネットライブラリでホームページを表示しているとき、◇(スクロールボタン)などを使って簡単に操作することができます。

上下の◇(スクロールボタン)

- 画面を上下にスクロールします。
- ページの一番上を表示しているときに、上の◇(スクロールボタン)をしばらくの間押すと、前ページが表示されます。ページの一番下を表示しているときに、下の◇(スクロールボタン)をしばらくの間押すと、次ページが表示されます。

左右の◇(スクロールボタン)

- 画面を左右にスクロールします(標準設定)。
- 条件設定画面の操作設定で「スクロールボタンの左右」を**リンク選択**に変更すると、表示しているホームページにあるリンクされている文字やイラストや写真などを選択します(☞158ページ)。
  リンクが文字のときはその文字が選択されて、イラストや写真などの場合は枠で囲まれます。
  右の◇(スクロールボタン)を押していくと、次のリンクに移っていきます。
  左の◇(スクロールボタン)を押していくと、前のリンクに戻っていきます。
- 条件設定画面の操作設定で「スクロールボタンの左右」を**前/次ページ**に変更すると、前ページ、次ページを表示します(☞158ページ)。

決定 ボタン

- 左右の ◌(スクロールボタン)の設定が **スクロール**(標準設定)になっているときは、フレームのあるページを表示したとき、**決定**ボタンを押すと、選択されているフレーム(枠で囲まれている部分)が切り替わります。さらに左右の ◌(スクロールボタン)を押すと、選択されているフレームの中の画面が左右にスクロールします。
- 左右の ◌(スクロールボタン)の設定が **リンク選択** になっているときは、リンクされている文字やイラストなどを選択し、**決定**ボタンを押すとそのページが表示されます。インターネットライブラリの場合では、リンクしているページが取り込まれていないときは、インターネットに接続するメッセージが表示されます。

逆送り キー、順送り キー

次ページ、前ページを表示します。

ペンで画面をなぞる

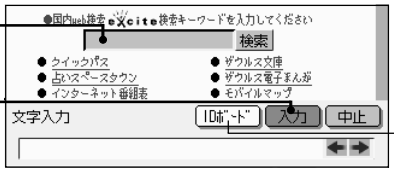
標準設定では文字をなぞると、文字が選択されます。条件設定画面の操作設定で「ペンでなぞると」を **画面スクロール** に変更すると、ペンで画面をなぞったとき、画面をスクロールします(設定の変更について☞158ページ)。

文字を入力する

インターネットで検索や航空券を予約するときなど、文字を入力する欄が表示されます。次のようにして入力してください。

❶名前などを入力する欄にタッチ

❷文字を入力し、**入力** にタッチ
入力欄に文字が入力される



ID入力ボードを表示する(☞147ページ)

● 文字入力画面で入力できる文字数は、全角で1024文字です。
ただし、ザウルス特有の絵記号などは、使えません。

MOREソフトなどをダウンロードする

ページの中には、ある文字部分やアイコンなどにタッチするだけで、MOREソフトやデータをダウンロードすることができるようになっている箇所があります。一般に、それらはページの中で案内されています。

1 表示されているページの中で、MOREソフトやデータのダウンロードに関係づけされている文字列やアイコンなどにタッチします。

通常、すぐにダウンロードが始まります。ダウンロードが終了すると、保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

2 はいにタッチします。

ダウンロードしたソフトやデータは、この製品の「MOREソフト画面」に入ります（いずれも拡張子が.ZACになっています）。

3 接続を切り、ホームインデックスキーにタッチし、画面左上のホームインデックス-1▼などにタッチしMOREインデックスにタッチします。MOREインデックス画面のMORE管理アイコンにタッチしてMOREソフト画面を開き、ダウンロードされたデータを選択して展開にタッチします。

それらが展開されます。

MOREソフトの場合は、アプリケーション名の表示に変わって実行可能な状態になります。

データの場合は、展開すると通常「パソコンデータ」に入ります。それぞれの機能で読み込み（インポート）し、活用してください（☞298、421ページ）。

コンパクトフラッシュメモリーカードにダウンロードする

接続する前に、インターネット トップ画面を表示させてカードキーにタッチし、画面左上のアイコンを CARD にします。 CARD が表示されているときにインターネットに接続してMOREソフトをダウンロードすると、コンパクトフラッシュメモリーカードにダウンロードできます。

クイックパスをダウンロードする

Sharp Space Townのホームページには、クイックパスのコーナーがあり、そこから簡単にクイックパスを購入、ダウンロードできます。

1 Sharp Space Townのホームページの「クイックパス」のコーナーへ進みます。

2 画面の案内に従って、画面を進めていきます。

3 ダウンロードを開始するボタンや文字にタッチすると、ダウンロードが始まります。
ダウンロードが終了すると、保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

4 はいにタッチします。
ダウンロードしたクイックパスは、この製品のMOREソフト画面に入ります。

5 接続を切り ホームインデックスキーにタッチし、画面左上の ホームインデックス-1▼ などにタッチして MOREインデックス にタッチします。MORE管理アイコンにタッチしてMOREソフト画面を開き、ダウンロードしたデータを選択して 展開 にタッチします。
展開するとMOREインデックス画面にクイックパスのアイコンが表示され、実行できるようになります。

画像を保存する

表示中の画像データを保存します。保存先(本体メモリーまたはカードメモリー)は、「通信状態の設定について」(☞156ページ)で指定します。
保存した画像データは、読み込み(インポート)用データとして「パソコンデータ」に書き込まれます。書き込まれたデータをフォトメモリーに入れるには、パソコンデータの読み込み(インポート)機能を使います(☞421ページ)。
パーソナルデータベースIIに画像データを貼り込む方法は、239ページをご覧ください。

1 インターネットに接続し、保存したい画像データのあるページを表示します。

2 操作メニュー キー、編集 タブ、イメージ保存 にタッチします。

3 保存する画像データにタッチします。
画像データ以外にタッチすると、保存が中止されます。

4 確認のメッセージで はい にタッチします。
「パソコンデータ」に保存した画像データの種類によっては、フォトメモリーなどでの読み込み(インポート)や表示ができない場合があります。

メールを送る

ホームページには、意見や感想などを入力して直接メールを送信できるようにしたページがあります。この製品では、インターネット接続中にメールを送信できません。次のようにして送信メールを作成し、送信してください。

1 **インターネットに接続し、メールを送るボタンや文字のあるページを開きます。**

2 **ボタンや文字にタッチし、[はい]にタッチし、確認メッセージで[確認]にタッチします。**

3 **接続を切ります。**

4 **[ホームインデックス]キー、[メール読む]アイコンにタッチし、受信簿画面を表示します。**
[送信簿]タブにタッチし、[すべて▼]などにタッチし、表示されたメニューから[未送信メール]を選択します。
送信簿画面に未送信のメールが表示されます。

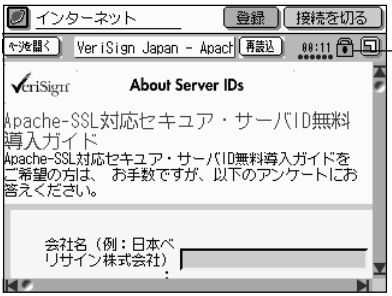
5 **送信するメールに1回または2回タッチします。**

6 **詳細表示画面で、[直す]にタッチします。修正画面でタイトルを修正します。メール本文入力欄にカーソルを移し、本文を入力し、[登録]にタッチします。**

7 **[送る]にタッチします。**
メールが送信されます。

SSLに対応したホームページに接続する

接続したホームページがSSLに対応しているとき、接続中の画面の右上に が表示されます。この状態で、クレジットカードの番号などのデータを送ると、これらのデータは暗号化されて通信されます。



相手のホームページとの間でSSLでつながっているとき、が表示される。
SSLでつながっていないとき、が表示される。

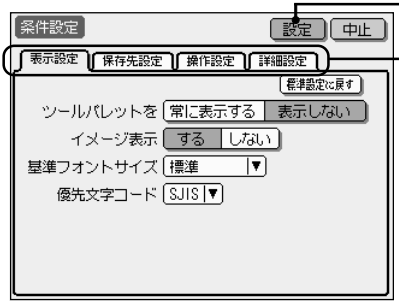
相手のホームページの証明書の内容は、にタッチすると表示されます。
確認にタッチすると、もとの画面に戻ります。必要に応じて**再読込**にタッチしてください。

- この製品は40bitのSSLに対応しています。
- 証明書の有効期限が過ぎていたり、証明書に署名した発行人を認識できなかったり、証明書に正しいサイト名が書かれていないときは、確認のメッセージが表示されます。**続ける**にタッチすると、続けてそのページを見ることはできますが、証明されていない状態での接続になります。**中止**にタッチすると、そのページへの接続を中止します。
- SSLを使う/使わないの設定は、条件設定画面の**詳細設定**タブで「SSLを」を**使う**または**使わない**で設定します(☞159ページ)。

通信状態の設定について　条件設定

インターネット接続時の条件を設定します。

❶インターネットトップ画面で操作メニューキー、操作タブ、インターネット条件設定...にタッチ

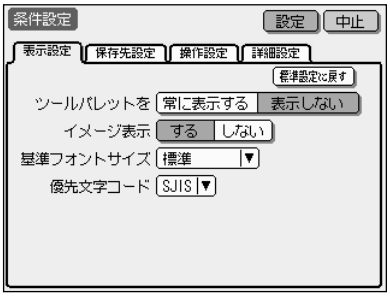


❷各タブで設定
くわしい設定内容はこのページ～159ページをご覧ください

❸設定にタッチ

条件設定(表示設定)画面

ツールパレットや画像データの表示を設定する　表示設定



条件設定(表示設定)画面

画面の説明

◆標準設定に戻す
標準の内容に戻します。

◆ツールパレットを
インターネットに接続したときにツールパレットを表示する(常に表示する)か、ツールパレットを表示しない(表示しない)かを指定します。接続中、ツールパレットを表示するときは149ページをご覧ください。

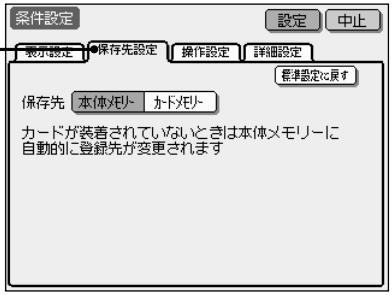
◆イメージ表示
イメージ(画像)データを表示する(する)か、テキストのみで表示する(しない)かを指定します。

◆基準フォントサイズ
HTMLデータの表示で使う文字の大きさを指定します。

◆優先文字コード
文字コードを自動認識するとき、判別できにくい文字に対して優先的に認識する文字コードを指定します。
通常は「SJIS」。

ホームページや画像をカードに登録する　保存先設定

❶ 保存先設定 タブに
タッチ



条件設定（保存先設定）画面

画面の説明

◆保存先

インターネットライブラリにホームページを登録するときや、インターネットから取り込んだ画像の保存先を指定します。

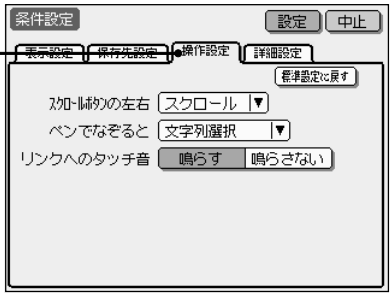
本体メモリー …… 本体メモリー上に登録します。

カードメモリー … カードメモリー上に登録します。

メモ
- **カードメモリー** を選択してもカードを装着していないときは、自動的に本体メモリーに登録、保存されます。

◇（スクロールボタン）などの操作方法を変更する　操作設定

❶ 操作設定 タブに
タッチ



条件設定（操作設定）画面

画面の説明

◆スクロールボタンの左右

左右の(スクロールボタン)を押したときの動きを指定します(くわしくは150ページ)。

スクロール …… 左右方向に隠れている部分があるとき、スクロールします。

リンク選択 …… リンクのある文字列や画像を選択します。

前/次ページ …… 左の(スクロールボタン)で前ページ、右の(スクロールボタン)で次ページを表示します。

◆ペンでなぞると

ペンでブラウジング画像(画面)をなぞったときの動きを指定します。

文字列選択 …… 文字列をなぞると、文字が選択されます。

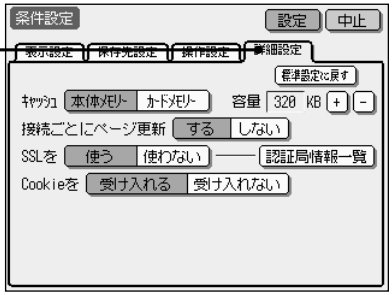
画面スクロール … ペンでなぞると、隠れている部分が表示されます。

◆リンクへのタッチ音

ほかのページへのリンクを示す文字にタッチしてページを切り替えるとき、タッチ音を鳴らす/鳴らさないを設定します。

キャッシュをカードに指定したり、SSLやCookieを使う　詳細設定

❶ **詳細設定** タブにタッチ



条件設定(詳細設定)画面

画面の説明

◆キャッシュ

インターネットブラウザが受信したホームページのデータを一時的に記憶しておく場所。通信中にどこのキャッシュメモリーを使うかを指定します。

本体メモリー …… 本体メモリー上のキャッシュを使います。

カードメモリー … カード上のキャッシュを使います。

◆容量

使用するキャッシュメモリーの最大サイズを指定します。 **+**、**−** にタッチすると、32KB単位で容量が増減します(0〜8192KBの範囲で指定)。

画面の説明

◆接続ごとにページ更新

する では、接続のたびにキャッシュのデータがチェックされ、キャッシュに目的のページがなかったり、あってもキャッシュのデータが古いときは、そのページがウェブサイトから取り込まれ、最新のページ内容が表示されます。
キャッシュのデータと比べて更新されていないときは、キャッシュの内容が表示されます。
しない では、目的のページがキャッシュにないときはウェブサイトからそのページを取り込み、キャッシュにあるときはそれが表示されます。したがって、表示されているページが最新のものでない場合がありますので、必要に応じて **再読込** にタッチして、ページを更新してください。

◆SSLを

SSL(Secure Sockets Layer)とは、一般に広く使われている暗号化技術のことであり、接続先のホームページがSSLに対応していると、そのホームページとこの製品の間でやり取りされるデータが暗号化されて通信されます(たとえば、SSLに対応しているインターネット上の通信販売のホームページなどをご利用時など)。

使う …… 接続先のホームページがSSLに対応している場合、データを暗号化して通信します。
認証局情報一覧 にタッチすると、認証局情報を確認できます。

使わない …… SSLに対応したホームページには接続できません。

◆Cookieを

Cookieとは、サーバーがホームページに接続したユーザーごとの履歴などを取るために、ブラウザに情報を記憶させるためのものです。
「Cookieを受け入れる」に設定すると、CookieをサポートしたWWWサーバーに接続した場合、たとえば一度IDやパスワードを設定するとそれ以降は入力しなくても、WWWサーバー側が接続したユーザーを認識することができます。

受け入れる … Cookieを利用したホームページを利用できます(サーバー側が接続したユーザーを認識できます)。

受け入れない … Cookieを利用したホームページの閲覧はできますが、サーバー側は接続したユーザーを認識できません。

● キャッシュについて

- インターネットブラウザがホームページのデータを読み込んで表示する際、読み込んだデータは順次キャッシュに取り込まれますが、そのデータ量が指定されたキャッシュサイズを超えた場合、最も早く読み込んだ(古い)データから削除されていき、キャッシュには常に最新のデータが記憶されています。
- 「キャッシュ」の「容量」で指定する数字は、キャッシュメモリーとして使用できる最大のメモリーサイズを示します。もし、本体メモリー(またはカード)に書き込まれるデータが増加して空きエリアがなくなってきた場合には、キャッシュメモリーのエリアにそれらのデータが書き込まれるため、指定の容量のキャッシュメモリーを確保できないことになります。その場合には、インターネットブラウザの起動時に、現在確保できているキャッシュメモリーサイズについてのメッセージが表示されます(☞144ページ)。
- 「キャッシュ」の「容量」の設定を、現在の設定値より小さくすると、キャッシュの内容がクリアされます。
- この製品では、キャッシュの内容を見ることはできません。

保存したページを見る インターネットライブラリ

インターネットに接続して保存したページや、予約録画で取り込んだページは、接続を中止した後、ゆっくり見ることができます。インターネットライブラリでのデータの表示は、『取扱説明書(通信ガイド)』59ページをご覧ください。

●インターネットライブラリの1データとして取り込めるサイズは

1データとして保存できる最大のデータサイズは、512KBです。512KBを超えるページは取り込めません。また、小さなサイズのデータが多数含まれるページなどを保存した場合には、512KB未満のサイズも保存できないことがあります。

●インターネットに接続してホームページを取り込むと

一度の接続で1つの情報ファイルが自動的にでき、取り込んだページはその中に入ります。このとき情報ファイルの名前は、最初に取り込んだ年月日時分が名前となります(たとえば、2002年10月21日10時15分に最初にページを取り込むとファイル名は2002.10.21 10:15となります)。

インターネットに接続し、ページを取り込むたびに情報ファイルが作られます。不要な情報ファイルは削除することをおすすめします。

情報ファイルは、234個まで作れます。情報ファイルが234個になっているときにインターネットに接続しページを取り込むと、「未分類データ」ファイルに入ります。

●インターネットライブラリで見ることができるページは

インターネットライブラリに保存したページを見ることができます。リンクされているページを見るときは、そのページも保存する必要があります。

リンクされているページを取り込むときは、一度のインターネット接続で取り込んでください。一度の接続で取り込むと、1つの情報ファイルに入り見ることができます。別の情報ファイルにリンク先のデータが入っている場合、リンク先にタッチしても見ることはできません。

＊インターネットライブラリに取り込んでいないページを見ることはできません。

メモ

- **一覧画面に表示されるページの並び順を変えるには**
  一覧画面の「並び順」の右の**保存日時順▼**などにタッチして並び順を選択します。**保存日時順**では取り込んだ日時の順に、**タイトル名順**ではページのタイトル名のJISコード順に並びます。
- インターネットライブラリに保存したページを表示中に、ほかのページや画像などへのリンクを示す文字やアイコンにタッチしたとき、それらのページや画像が取り込まれていなかった場合には、インターネットに接続してもよいかどうかのメッセージが表示されます。**はい**にタッチすると、そのままインターネットに接続され、タッチして指定したページが表示されます。
- **文字を拡大、縮小して見るには**
  操作メニューキー、**操作**タブ、**文字サイズ**にタッチし、文字のサイズを選択します。
- **一覧画面でデータのタイトルを変更するには**
  一覧画面でタイトルを変更したいデータを選択するか、詳細表示画面にデータを表示し、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**タイトル入力...**にタッチします。タイトル入力画面で「タイトル」の右の欄を新しいタイトルに書き換え、**実行**にタッチします。なお、タイトルの変更には、最大約512KBの本体メモリーの空きが必要です。メモリー管理のグラフ表示を見て、約10%の空きがあることを確認してから行ってください。

アドレス帳

アドレス帳では、何ができるの?

友人や知人の住所や電話番号、メールアドレスなどを登録できます。また、名刺をもとに仕事関係の人の連絡先なども登録できます。登録した人の電話番号などは、自宅用や会社用に分けてすばやく探せます。メールアドレスは、メールやお知らせメールの宛先として使えます。
アドレス帳では、電話をかける約束などを登録しておくと、スケジュール画面で電話番号などを見てすぐ電話できます。また、別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)で撮影した写真を取り込み、顔写真つきのアドレス帳を作ることができ便利です。年賀状やお中元などの季節のやり取りをチェックした情報を個人のデータに登録することもできます。

始めましょう

「始めましょう」(☞161〜171ページ)は、アドレス帳を初めて使われる方を対象に、基本的な使いかたをやさしく説明しています。さらにくわしい操作方法や「始めましょう」に含まれていない機能については、172ページ以降をご覧ください。

ここでは、
- アドレス帳の入力方法
- 入力したアドレス帳を確認する方法
- まちがえて入力したデータを修正する方法
- いらなくなったデータを削除する方法

を具体的にやさしく説明しています。操作手順に従って操作してみましょう。

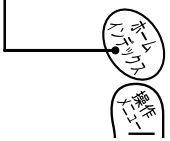
アドレス帳にデータを入れる

アドレス帳に住所や電話番号などの情報を入れましょう。アドレス帳では、個人の情報を自宅関連と会社関連に分けて入れます。

ここでは、名刺をもとに会社関連の住所や電話番号などを入れます。

1 アドレス帳の新規作成画面を表示します。

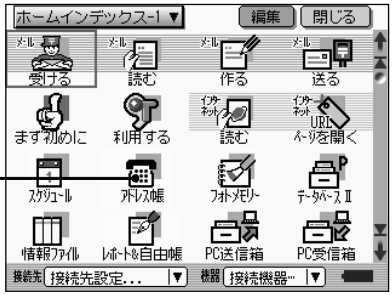
❶ ホームインデックスキーに数回タッチする



❷ アドレス帳アイコンにタッチする

新規作成画面以外の画面が表示されたときは、**新規作成**にタッチする

ホームインデックス2画面の「アドレス帳」の**書く**にタッチしても新規作成画面を表示できる



ホームインデックス1画面

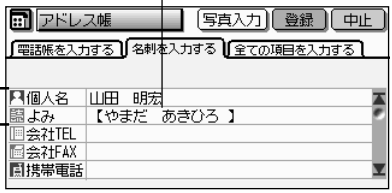
❸ 名刺を入力する タブにタッチする

新規作成画面

2 登録する人の名前(個人名)と読みを入力します。個人名は必ず入力します。

❶ 個人名(ここでは、山田 明宏)を入力し、読み項目にタッチしてカーソルを移動し、内容を入力する

読みを入れるには(☞166ページの「メモ」)



3 会社の電話番号、会社のFAX番号、携帯電話番号、ポケベル番号を入力します。わかっている項目のみを入力してください。

❶ 入力する項目にカーソルを移動し、内容を入力する

❷ タッチしてカーソルを「メールアドレス」に移動する

4 メールアドレスを入力します。

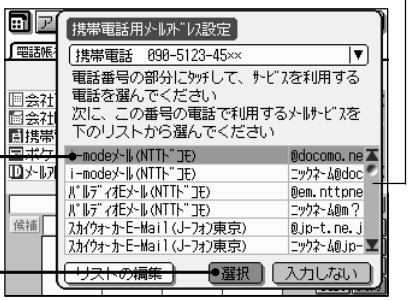
「携帯電話」項目に電話番号が入力されていると、確認メッセージが表示され、**確認** にタッチすると、携帯電話用メールアドレスを設定する画面が表示されます（携帯電話用メールアドレスは、デジタル携帯電話やPHS電話機にインターネットメールを送るメールアドレスです）。手順 ❶ ～ ❹ に従って相手のメールアドレスを入力します。

「携帯電話」項目に電話番号が入力されていないときは、携帯電話用メールアドレスを設定する画面は表示されません。メールアドレスの項目に相手のメールアドレスを入力します。

❶ 利用するメールサービスにタッチする

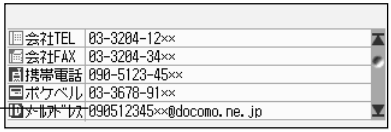
タッチするとスクロールする

❷ **選択** にタッチする
確認メッセージで **確認** にタッチする



携帯電話用メールアドレス設定画面

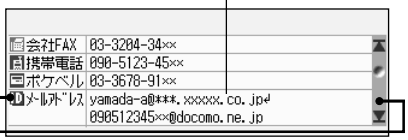
携帯電話番号の後に手順 ❷ で選択したメールアドレスがつく



お知らせメールの設定について
（☞104ページ）

❸ 1行目に本文メールアドレスを入力し、**改行**にタッチする

❹ タッチして次の項目に進む



● **携帯電話用メールアドレスについて**

デジタル携帯電話やPHS電話機にインターネットメールを送るときは、それぞれのメールアドレスが必要です。ほとんどの電話会社では、「電話番号@…(電話会社固有のアドレス)」でメールを送ることができます。この製品では、利用するメールサービスを選ぶと、携帯電話の項目に入力された番号をもとにメールアドレスを作成します。

- 電話番号を利用しないメールサービスもあります。このときは、キーボードで@より前の「ニックネーム」の文字列を消して、メールアドレスを入力してください。

(注) 相手の電話機がインターネットメールを受信できる手続きがなされていることを確認してください。手続きがされていない場合は、相手側はメールを受信できません。

● **複数の携帯電話番号が入力されているときは**

「携帯電話」項目の1行目に入力されている番号が、携帯電話用メールアドレスとして自動的に指定されます。2行目などに入力している番号に変更するときは、携帯電話用メールアドレス設定画面で、電話番号が表示されている部分にタッチして選びます。

● **「お知らせメールアドレス」として利用するには**

携帯電話用メールアドレスを「お知らせメールアドレス」として利用することができます(2行目に入力したメールアドレスが「お知らせメールアドレス」に設定されます)。ほかのザウルスやパソコンなどにインターネットメールを送ったとき、その相手のデジタル携帯電話やPHS電話機にメールを送信したことを通知するものです。「お知らせメールアドレス」について、くわしくは104ページをご覧ください。

● **携帯電話用メールアドレス設定画面にデータを追加・修正するには**

この製品にあらかじめ登録されているメールサービスの情報は、2000年5月現在のデータです。これらのデータを追加・修正するには、携帯電話用メールアドレス設定画面で**リストの編集**にタッチします。データを追加するときは、**新規入力**にタッチし、「サービス名」、「メールアドレス」を入力し、**登録**にタッチします。データを修正するときは、**修正**にタッチし、「サービス名」、「メールアドレス」を変更し、**登録**にタッチします。追加・修正後**閉じる**にタッチして携帯電話用メールアドレス設定画面に戻ります。

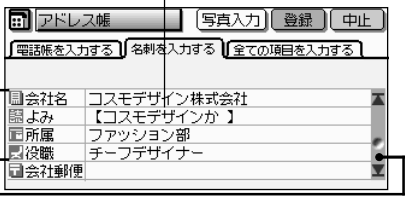
● 「携帯電話用メールアドレス」を変更したいときは、修正画面などで「メールアドレス」項目のアイコンにタッチし、**確認**にタッチして、携帯電話用メールアドレス設定画面を表示させて行います。

5 会社名、会社名の読み、所属、役職を入力します。

読みを入れるには(☞次ページの「メモ」)

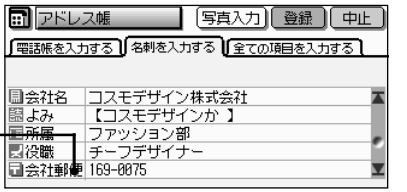
❶ 入力する項目にタッチしてカーソルを移動し、内容を入力する

❷ スクロールバーにタッチし、画面をスクロールする



6 会社の郵便番号、会社の住所などを入力します。終わったら登録します。

❶ 「会社郵便」項目にタッチし、郵便番号を入力し、入力 にタッチし、郵便番号変換画面を表示する



ここにタッチすると閉じる

❷ 入力したい住所に1回または2回タッチする

入力した郵便番号の住所が表示される

順送り キー、逆送り キーにタッチすると、別の住所が表示される

郵便番号変換画面

❸ 住所の続きを入力する

❹ 必要に応じて誕生日(西暦)、備考を入力する

❺ 登録 にタッチし登録する(枠が点滅)

● **自宅の住所や電話番号を入れるときは**

新規作成画面の**電話帳を入力する**タブにタッチします。自宅と会社の住所や電話番号を入れるときは、**全ての項目を入力する**タブにタッチします。

● **読みを入れるには**

- 全角のひらがな・カタカナ・英字などを8文字以内で入力します。8文字を超えて入力しても、9文字目以降は入力されません。また、個人名や会社名にかな漢字変換で入力したときや、読みに入力できるひらがなや英字などの文字を入力したとき、「よみ」項目にもひらがなや英字などが入力されます。
- 個人名の読みを入れずに登録すると、そのデータは電話帳(自宅)一覧画面で**他**のインデックスに入ります。

● **郵便番号で住所を入力するには**

7桁以内の郵便番号を入力した後、**入力**にタッチしたり、「会社住所」項目や「自宅住所」項目や項目のアイコン( )にタッチすると郵便番号変換画面が表示されます。

住所などは次の方法で入力できます。

- **住所と郵便番号の入力** … 住所を選択し**住所&番号採用**にタッチする。または、選択されている住所に1回、選択されていない住所に2回タッチする。
- **住所のみ入力** …… 住所を選択し**住所採用**にタッチする。
- **郵便番号の入力** …… **番号採用**にタッチする。

なお、「県名採用」の**する**が選択されていると都道府県名も入力されます。**しない**では、都道府県名を除いて入力されます。

また、住所から郵便番号を入力したり、5桁の番号を自動的に7桁の番号に変換させることもできます(☞「郵便番号逆変換について」179ページ)。

● **家族や同じ会社の人のデータを入れるには**

個人名や所属などを少し変えるだけのデータは、複製を使うと、簡単に入力できます(☞352ページ)。

● **前に入力した会社名を利用して入力するには**

新規作成/修正画面で会社名のアイコン( )にタッチすると、前に入力した会社名の一覧が表示されます。会社名にタッチすると、会社名と読みを入力できます。

会社名の読みで50音順に分類・収録されている

アドレス帳のデータを見る

個人名や会社名から、電話番号や住所などを見ましょう。

個人の電話番号などを見る方法には、次の3つがあります。

- 個人名から個人の電話番号などを見る(☞このページ)
  ……電話帳(自宅)一覧画面→詳細表示画面
- 個人名から会社の電話番号などを見る(☞次ページ)
  ……電話帳(会社)一覧画面→詳細表示画面
- 会社名から個人の電話番号などを見る(☞169ページ)
  ……会社一覧画面→会社別個人一覧画面→詳細表示画面

ここでは、上記の3つの方法を順番に説明します。

個人名から個人の電話番号などを見る

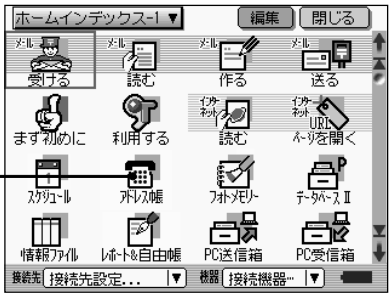
個人名から個人の電話番号などを見ましょう。

ここでは、名前の読みを指定して、見たい人のデータを表示します。

1 電話帳(自宅)一覧画面を表示します。

❶ ホームインデックスキーに数回タッチする

❷ アドレス帳アイコンにタッチする



詳細表示画面が表示されたときは〈一覧へ〉にタッチして、一覧画面を表示する

読み検索ボード
個人名の読みで検索する

電話帳(自宅)一覧画面

2 見たい人のデータを表示します。

❶ **見たい個人名の読みを入力する**

「山田 明宏(やまだ あきひろ)」さんでは、「や」、「ま」、「だ」、を入力するたびに、一覧画面の表示が変わり、絞り込まれる

❷ **見たい人のデータに1回または2回タッチする**

選択しているデータを詳細表示する

閉じる

順送りキー、**逆送り**キーにタッチすると、個人名の読み順にデータが表示される

スクロールバー
タッチすると隠れている部分を表示できる

上下の(スクロールボタン)を押しても、隠れている部分が表示された後、前後のデータを表示できる(☞43ページ)

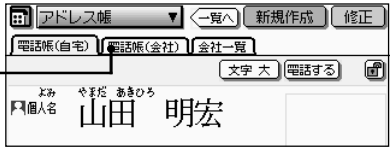
詳細表示画面

個人名から会社の電話番号などを見る

個人名から会社の電話番号などを見ましょう。

1 電話帳(会社)一覧画面を表示します。

❶ **電話帳(会社)**タブにタッチする



❷ **見たい人の読みを入力する**

❸ **見たい人のデータに1回または2回タッチし、詳細表示画面を表示する**

電話帳(会社)一覧画面

会社名から個人の電話番号などを見る

会社名から個人の電話番号や住所などを見ましょう。

1 会社別個人一覧画面を表示します。

❶ 会社一覧 タブにタッチする

❷ 会社の読みを入力する

❸ 見たい会社名に1回または2回タッチする

会社一覧画面

会社名が表示される

選ばれている会社の個人名が一覧表示される

❹ 見たい人のデータに1回または2回タッチし、詳細表示画面を表示する

会社別個人一覧画面

● **読み検索ボードについて**
読み検索ボードは、電話帳(自宅)一覧画面と電話帳(会社)一覧画面、会社一覧画面で表示され、個人名の読みを検索します。また、電話帳(自宅)一覧画面と電話帳(会社)一覧画面、会社一覧画面で表示される読み検索ボードは、詳細表示画面に移ると消えます。詳細表示画面で〈**一覧へ**にタッチし、一覧画面に戻ると、読み検索ボードが表示されます。

● **読みで検索するとき**
入力する読みは、1字でも検索できます。たとえば、「や」と入力すると、や行の読みの先頭データが選択されます。

● **読み検索ボードを常に表示しないようにするには**
操作メニューキー、**操作**タブ、**検索ボード設定...**にタッチし、読み検索ボード表示設定画面で**しない**を選択し、**設定**にタッチします。

● **50音順に読みを分類・収録したインデックスを利用するには**
読み検索ボードの**閉じる**にタッチし、**あ**～**他**のインデックスにタッチします。再び読み検索ボードを表示するときは、**読みで探す**にタッチします。

● **インデックスの**[あ]**～**[他]**とは**
データを個人名や会社名の読みで分類・収録しているインデックスです。**あ**～**わ**にタッチすると、選んだインデックスを先頭に、それ以降のデータも表示されます。たとえば、**あ**が選ばれているときは、あ行以降のデータ、**た**ではた行以降のデータが表示されます。
登録されているデータ件数が少ないときには、指定のインデックスより前のデータが表示されることがあります。**他**には、個人名や会社名の読みの1文字目に、空白・記号・数字のあるデータが入ります。

● **(スクロールボタン)の働きを、インデックスまたはタブの切り替えにするには**
左右の(スクロールボタン)を押したときタブを切り替えるようにするときは、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**スクロールキー設定**、**タブ**にタッチします。50音のインデックスを切り替えるようにするときは**50音**にタッチします。

● **データの数が少ないと**
読み検索ボードに読みを入れたり、インデックスにタッチしても一覧の内容が変わらないことがあります。

● 写真ありの詳細表示画面で、個人名は大きな文字で表示されます。ただし、個人名が全角で15文字以上になると、通常の文字の大きさで表示されます。

● **情報ファイルに分類したアドレス帳のデータを表示するには**
アドレス帳から情報ファイルに分類されたデータを表示するには、画面左上の**アドレス帳▼**にタッチして、目的のファイル名にタッチします。情報ファイルについては、326ページをご覧ください。

● **詳細表示画面で項目を多く表示するには**
「顔写真」欄(「PHOTO」)を表示しない設定にすると、「個人名」などの項目を多く表示することができます。**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**表示切替**、**写真無し**にタッチします。もとに戻すには、**写真無し**の代わりに**写真有り**にタッチします。

● **文字を拡大して見るには**
文字 大にタッチします。または**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**文字サイズ**、**大**にタッチします。もとの文字サイズに戻すには、**大**の代わりに**標準**にタッチします。

データを修正する

登録したデータを修正します。

1 修正したいデータを表示します。電話帳(自宅)一覧画面と電話帳(会社)一覧画面では、修正したいデータにタッチして選択します。

2 修正にタッチして、修正画面でデータを修正します。

3 登録にタッチして、修正したデータを登録します。

● **修正前と修正後の2つのデータの登録は**
手順 **3**で**機能**キーにタッチした後、**登録**にタッチします。修正前のデータはそのまま残ります。

データを削除する

登録したデータを削除します。

1 電話帳(自宅)一覧画面または電話帳(会社)一覧画面で、削除したいデータにタッチして選択します。

2 操作メニューキー、編集タブ、削除にタッチして、削除メニューを表示します。メニューから削除する範囲を選択し、続けて表示される確認メッセージではいにタッチして削除します。

● **詳細表示画面での削除は**
削除したいデータを表示した後、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**削除**にタッチします。

● **会社単位の削除は**
会社一覧画面、会社別個人一覧画面で削除できます。
なお、会社一覧画面では、1データの削除はできません。

● **シークレット機能が設定されているときは**
1データの削除以外はできません。シークレット機能を解除してから削除してください(☞369ページ)。

ここからは、くわしい説明

172～186ページは、「始めましょう」よりくわしい操作説明や、「始めましょう」に含まれていない機能について説明しています。
アドレス帳機能について、便利な機能が使えるようになります。

連絡をとる予定と連絡先を入れる コンタクト登録

たとえば、Aさんの自宅に電話する予定をスケジュール機能で入力するには、アドレス帳に切り替えて電話番号を確かめる必要があります。
ところが、コンタクト登録を行うと、スケジュール機能に連絡する相手と電話番号などを登録することができ、スケジュールを見るだけですばやく連絡がとれます。
コンタクト登録では、「電話する」「FAXする」「会う」「メールする」の4つの連絡方法で予定を入れることができます。

連絡をとる予定を入れる

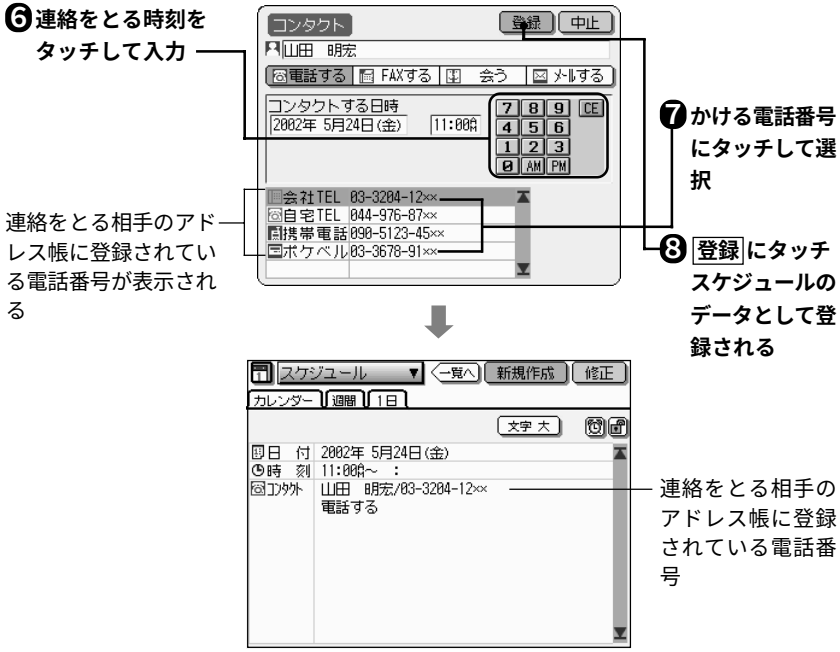
ここでは、アドレス帳から相手の会社に電話する予定(スケジュール)を入れます。

❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で アドレス帳 アイコンにタッチ

❷ 連絡をとる相手のデータを詳細表示画面に表示、または一覧画面で選択

❸ 操作メニュー キー、操作 タブ、コンタクト登録... にタッチ

コンタクト画面



スケジュールの詳細表示画面

メモ

- **FAXやメールする予定を入れるには**

  FAXするを選んだときは、手順❼でFAX番号が表示され、**メールする**を選んだときは、メールアドレスが表示されます。それぞれの中から選んでください。

- **会社に連絡をとる予定を入れるには**

  会社一覧画面で、会社を選択し、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**コンタクト登録**にタッチすると、会社に連絡をとる予定を入れることができます。

  このとき表示される「会社TEL」、「会社FAX」は、電話帳(会社)一覧画面の一番初めに登録されている人の内容が表示されます。

- **連絡をとる日時を修正するには**

  修正する日付や時刻の欄にタッチしてカーソルを表示し、数字入力ボードの**CE**にタッチして日付や時刻を消し、入力し直します。

  また、日付や時刻の一部を修正するときは、修正したい数字にタッチしてカーソルを移し、入力し直します。

スケジュール画面で連絡をとる内容を見る

コンタクト登録で登録した内容をスケジュール画面で見ます。

❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で スケジュール アイコンにタッチ

❷ スケジュールの1日表示画面やカレンダー画面を表示

❸ 連絡をとる予定を確認

電話する連絡のとりかたがアイコンで表示される

コンタクトする予定

● **コンタクトデータの表示や修正・削除は**
スケジュール画面では、通常のスケジュールと同じように表示や修正・削除ができます。

● **コンタクトデータのアイコンは**
・電話する…… **・FAXする……** **・会う……** **・メールする……**

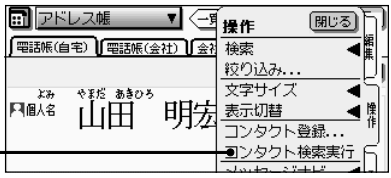
連絡をとった履歴を見る

コンタクト登録で登録した履歴を見ます。

❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で アドレス帳 アイコンにタッチ

❷ 履歴を見たい人のデータを詳細表示画面に表示

❸ 操作メニュー キー、操作 タブ、コンタクト検索実行 にタッチ



コンタクト登録した履歴

❹ 見たいコンタクトデータに1回または2回タッチして、スケジュールの詳細表示画面にデータを表示

メールアドレスを入力する メールアドレス

アドレス帳の「メールアドレス」項目にメールアドレスを入力しておくと、メール機能のメール（宛先選択）画面の宛先選択で自動認識されて表示されます。まちがえて入力すると、自動認識されなかったり、うまく送信できません。
次の方法で、正しく入力してください。

ここでは、次の2つの入力方法について説明しています。

- 2種類以上のメールアドレスを入力する
- 複数のメールアドレスをグループ登録する

2種類以上のメールアドレスを入力する

ここでは、次の3種類のメールアドレスを入力します。
2行目には、お知らせメールアドレスとして使用するメールアドレスを入力しておくと、メール機能でお知らせメールの設定をするときに自動認識されて便利です。
お知らせメールについては104ページをご覧ください。

suzuki-n@＊＊＊.sharp.co.jp …… メールアドレス1
090212345XX@docomo.ne.jp … メールアドレス2（お知らせメールアドレス）
suzuki-n@＊＊＊. ＊＊＊. ne.jp …… メールアドレス3

❶アドレス帳の新規作成画面、または修正画面を表示

❷個人名、個人名の読みなどを入力

新規作成/修正画面

❸メールアドレスを入力

「メールアドレス」項目

メールアドレス入力後、必ず入力ボードの 改行 にタッチしてから次のメールアドレスを入力する

1行目のメールアドレス

2行目にはお知らせメールアドレス

3行目以降には3つ目以降のメールアドレス

❹ほかの項目にも入力
入力が終わったら、登録 にタッチ

● **メールアドレスの入力について**

- 英字の大文字/小文字を区別して正しく入力してください。
- インターネットメール用のメールアドレスの記述に使用できる文字は次のとおりです(いずれも半角文字)。

  0〜9、a〜z、A〜Z、! # $ % & ' * + - . / = ? @ ^ _ ` { | } ~

● 前ページの方法で入力されたメールアドレスは、メール機能で自動的に認識されます。なお、@nifty(元NIFTY SERVE会員)の利用者ID番号については、「ABC012＊＊」と入力しておくだけで、メール(宛先選択)画面で「ABC012＊＊@nifty.ne.jp」と下線の部分が自動的につきます。その他の通信サービス用の利用者ID番号は自動的に認識されません。

● **メールアドレスの中に名前や通信サービス名などのコメントを入れるときは**

コメントを括弧でくくり、末尾に入力します。メールの宛先には、それらのコメントは入力されません。コメントの途中には、改行コードやスペースを入れないでください。

例：suzuki-n@＊＊＊.sharp.co.jp(鈴木直子)

※ この製品では、MI-10から移されたアドレス帳データに書き込まれている、頭にコメントがついたメールアドレスも扱えます。

● **お知らせメールアドレスについて**

- メール機能でお知らせメール設定を行うとき、2行目に入力したメールアドレスが自動的に「お知らせメールアドレス」として入力されます。
- 「お知らせメールアドレス」はデジタル携帯電話やPHS電話機のインターネットメールサービスに限定されていません。本文(通常のメール)は自宅のパソコンにメールを送り、お知らせメールの内容は会社のパソコンに送るなどの使いかたもできます。

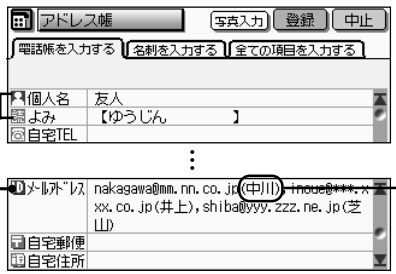
  1行目に通常のメールを送るメールアドレスを入力し、改行して2行目にお知らせメールの送り先アドレスを入力します。

複数のメールアドレスをグループ登録する

複数のメールアドレスをグループとして登録すると、送信メールの宛先にグループ名を選択するだけで、登録している人全員のメールアドレスに同じメールを送信できます。

例　3人のメールアドレスを、「友人」という名前でグループ登録する場合

❶アドレス帳の新規作成画面または修正画面を表示



新規作成/修正画面

❷「個人名」項目にグループ名と、「よみ」項目にグループ名のよみを入力

❸メールアドレスをコンマ(,)で区切って登録

❹コメントをつけたい場合には、コメントの文字列を半角括弧でくくり、各メールアドレスの末尾に入力(必ず末尾に入れてください)
コメントの途中に改行コードやスペースを入れないでください

❺ほかの項目を入力
入力が終わったら、登録にタッチ

- メールアドレス欄に複数のメールアドレスを指定する場合の文字数は、半角で1192文字以内です。
- メールアドレスのグループ登録はメール機能のメール(宛先選択)画面から行うこともできます(☞110ページ)。

住所や郵便番号を調べる

この製品の郵便番号辞書は7桁の郵便番号に対応しています。
住所や郵便番号を調べて入力するには、次の2つの方法があります。

- 郵便番号項目に入力した郵便番号から住所を入力する … 郵便番号変換
  (☞このページ、348ページ)
- 住所項目に入力した住所から郵便番号を入力する …… 郵便番号逆変換
  (☞次ページ、349ページ)

郵便番号から住所を入力する　郵便番号変換

入力した郵便番号から住所を入力します。

1 アドレス帳の新規作成画面や修正画面の郵便番号項目で、郵便番号を入力または変更します。

2 住所アイコン( )にタッチします。
郵便番号変換画面が表示されます。

3 入力する住所を選択し、住所採用または住所＆番号採用にタッチします。
住所が入力されます。

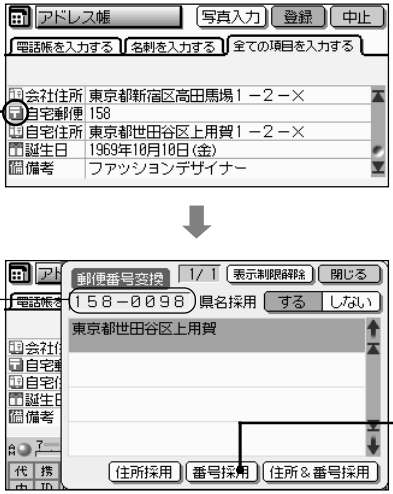
- 住所項目にすでに文字(住所)が入力されていて、その文字を残して新しい住所を挿入する場合は、手順 **3**で**機能**キー、**住所採用**にタッチします。
- この製品の郵便番号辞書は7桁の郵便番号に対応しています。5桁の郵便番号を入力した場合も、住所アイコン( )にタッチすると、郵便番号変換画面では近い7桁の郵便番号が表示されます。
  表示されている郵便番号以外の番号と住所を見るには、**順送り**キー、**逆送り**キーにタッチします。変換したい郵便番号や住所を表示した後、**住所&番号採用**などにタッチします(郵便番号辞書について☞348ページの「メモ」)。
- 郵便番号がはっきりしないときは、近い番号を入力して変換し、**順送り**キー、**逆送り**キーにタッチして目的の住所を探します。

住所から7桁の郵便番号を入力する　郵便番号逆変換

入力されている住所を使って郵便番号を5桁から7桁へ変えます。

❶アドレス帳で、5桁の郵便番号になっているデータを修正画面に表示

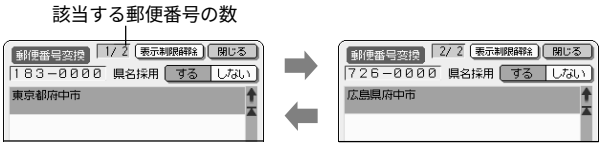
❷郵便番号アイコン（〒）にタッチ



この7桁の郵便番号に置き換わる

❸番号採用にタッチ

- 郵便番号変換画面で住所にタッチするか、**住所&番号採用**にタッチすると、郵便番号と住所が両方置き換わります。番地などはあらためて入力し直してください。
- 入力されている住所によっては(たとえば、「府中市」や「京都市上京区仲之町」など)、複数の郵便番号が合致していることがあります。
  このような場合は、**順送り**キー、**逆送り**キーにタッチして、ほかの郵便番号を表示します。



  ほかの住所で、郵便番号を調べる場合は、**表示制限解除**にタッチして絞り込みを解除して、**順送り**キー、**逆送り**キーにタッチします。
- **住所がはっきりしない場合などは**
  わかる範囲の住所を入力し、郵便番号変換画面で**表示制限解除**にタッチした後、**順送り**キー、**逆送り**キーにタッチして目的の住所を探します。
- **うまく郵便番号逆変換ができない場合は**
  入力している住所に誤りがないか確認してください。住所に誤りがあると、郵便番号逆変換ができないことがあります。

一覧画面で表示項目や項目の表示幅を変える

一覧画面に表示される項目と項目の表示幅を変更することができます。

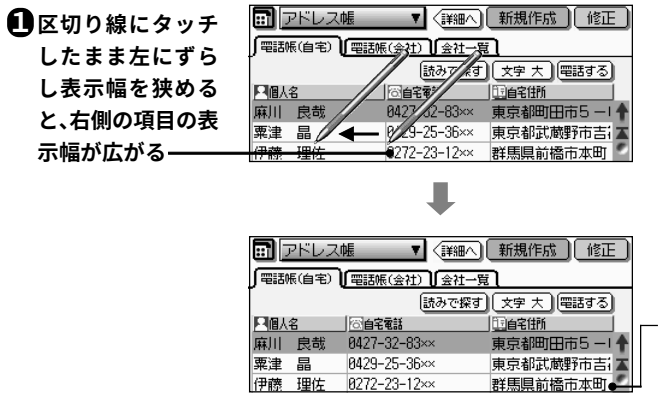
表示する項目を変える

例 **電話帳(自宅)一覧画面で「携帯電話」項目を「自宅住所」項目に変える場合**

電話帳(自宅)一覧画面

項目の表示幅を変える

例 **電話帳(自宅)一覧画面で「個人名」項目の表示幅を狭める場合**

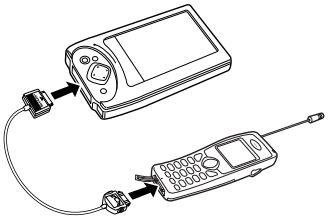


- 一覧画面の先頭の項目を変更することはできません。
  また、各一覧画面では、項目一覧に表示されない項目に切り替えることはできません。たとえば、電話帳(自宅)一覧画面では、会社名や会社電話などの会社関連の項目に切り替えられません。
- 項目は、電話帳(会社)一覧では6つまで、それ以外の一覧では5つまで表示できます。
- **区切り線の表示は**
  区切り線を一番右にずらすと、その区切り線の右にある項目が表示されなくなります。

アドレス帳から電話をかける

デジタル携帯電話、ドッチーモ、PHS電話機を使って、アドレス帳に登録した電話番号に直接電話をかけることができます(cdmaOne方式のデジタル携帯電話を使って直接電話をかけることはできません)。
使用できるデジタル携帯電話とPHS電話機などの機種は、Sharp Space Townのホームページ(http://zaurus.spacetown.ne.jp/menu-faq01-01.asp)をご覧ください(2000年7月現在)。

1 この製品とデジタル携帯電話などを接続します(☞『取扱説明書(通信ガイド)』24〜25ページ)。



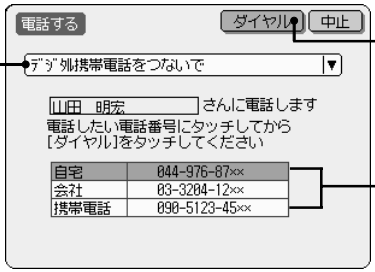
※ イラストはデジタル携帯電話と接続ケーブルで接続するときの例

2 アドレス帳のデータを表示し、電話をかけます。

❶電話する相手のデータを詳細表示画面に表示
一覧画面ではタッチして選択

❷電話する にタッチ

❸ここにタッチし、表示されたメニューから電話をかける方法を選択



❹電話する電話番号にタッチし選択

❺ダイヤル にタッチ

選択した電話番号にダイヤルされる
この後、画面に表示されるメッセージに従って操作する

● **相手に電話番号を知らせたくないときは**

この機能を使って電話をかける際、MI-P10側で自動的に発信者番号通知が「ON」になります。「ON」にしたくないときは、相手の電話番号の前に「184」を入力しておいてください

● 電話をかける番号は、「自宅TEL」「会社TEL」「携帯電話」の項目に入力している数字(0〜9)と＊、＃(半角、全角どちらも可)です。

電話をかける際、

-(ハイフォン)、スペース、(　、)

の記号は無視されてダイヤルされます。

また、これら以外の記号や文字(ひらがな、漢字など)が入力されていると、その記号や文字の直前までの番号をダイヤルします。

例：03-1234-XXXX(大代表)　(“031234XXXX”がダイヤルされます)

● 1つの項目(「自宅TEL」など)に複数の電話番号を続けて入力していると(間に改行などを入れずに、複数の電話番号をスペースで区切って入力している場合など)、複数の電話番号を一度にダイヤルして電話がかからなくなりますので、1つ1つの電話番号の末尾には改行を入れてください。このとき、ダイヤルする番号は、項目の1行目にある番号です。

例：03-2345-XXXX　03-1234-XXXX　(“032345XXXX031234XXXX”とダイヤル)

例：03-1234-XXXX(5678)　(“031234XXXX5678”とダイヤル)

このような場合は、各電話番号の末尾に改行を入れたり、03-1234-XXXX(内線5678)のように全角文字を入力してください(03-1234-XXXX(内線5678)の場合は、“031234XXXX”をダイヤルします。「内」以降は無視されます)。

● 電話番号以外の数字は併記しないようにしてください。ダイヤルをまちがえます。

写真をつける

アドレス帳の個人名項目には、別売のデジタルカメラカード（CE-AG06）で撮った写真をフォトメモリー機能から貼り込むことができます。

フォトメモリーから写真を貼り込む

フォトメモリーのデータから取り込みたい写真を切り出すには、次の2つの方法があります。

- 顔切り出し……**顔切出し**を選び、切り出したい顔の内側をペンで丸く囲む
- 写真切り出し……**矩形切出し**を選び、切り出したい部分を四角に囲む

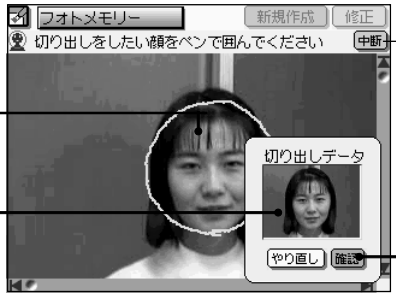
顔切り出しをうまく行うには、できるだけ正面を向いた顔写真をお使いください。

例　顔切り出しを使って顔の内側をペンで丸く囲んで切り出す場合

1　貼り込む範囲を指定して写真を複写します。

❶ **ホームインデックス**キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で**フォトメモリー**アイコンにタッチし、詳細表示画面に貼り込む写真を表示

❷ **操作メニュー**キー、**操作**タブ、**顔切出し**にタッチ



顔写真の切り出しを中止する

❸ 切り出したい顔の内側で、両目と口を囲むような感じで丸く線を引く

❹ 切り出したデータを確認

❺ **確認**にタッチ
切り出した部分の写真が複写される。
やり直すときは、**やり直し**にタッチする（☞次ページの「メモ」）

フォトメモリーの顔切り出し画面

2 アドレス帳のデータに貼り込みます。

❶ 写真を貼り込むアドレス帳のデータを詳細表示画面に表示

❷個人名欄右端の「PHOTO」と表示された枠内にタッチ
枠がグレーに選択される

❸ 操作メニュー キー、編集 タブ、貼込(ペースト) にタッチ

複写した写真が貼り込まれる

● **顔の切り出しをやり直すときは**
顔の外側を囲むようにペンでなぞって線を引くと、うまく切り出すことができません。
手順 **1**の ❺ で **やり直し** にタッチした後、もう一度切り出したい顔の内側で、両目と口を囲むように丸く線を引きます。

● **四角に囲んで切り出すには**
手順 **1**の ❷ で **操作メニュー** キー、**操作** タブ、**矩形切出し** にタッチした後、四角に切り出したい部分の頂点付近にペンを当て、斜めにスライドして四角の点線枠を表示させて位置決めし、ペンを画面から離します。四角の点線枠の縦横比は3：4と一定です。切り出したデータの確認画面が表示されます。**確認** にタッチした後、続けて手順 **2**以降の操作を行います。

● すでに貼り込まれた写真があるときは、新しく貼り込んだ写真に置き換えられます。

● **顔写真の「顔切り出し」がうまく行かないときは**
顔写真つきアドレス帳をフォトメモリーの顔切り出し機能を使って作るとき、パソコンのフォトレタッチソフトで色調などを修正した写真を使用すると、顔切り出し機能が正常に動作しないことがあります。
顔切り出しがうまく行かないときには、矩形切り出し機能(四角に囲んで切り出す)を使ってください。

アドレス帳に貼り込まれた写真を見る

1 **写真が貼り込まれているデータを詳細表示画面に表示します。**

2 **操作メニュー**キー、**操作**タブ、**表示切替**、**写真有り**にタッチします。
個人名の右に写真が表示されます。

● 写真を削除するには
詳細表示画面に写真ありのデータを表示し、写真にタッチして選択し、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**削除**にタッチします。

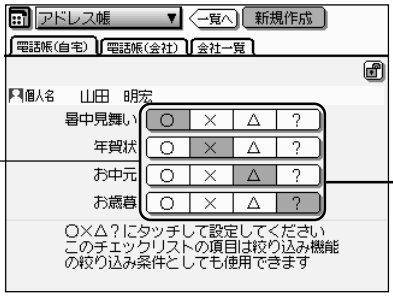
季節のやり取りを記録する チェックリスト

年賀状・お歳暮などのやり取りをチェックリストに記録することができます。年賀状などのやり取りの記号(○、×、△、?)は、下記のようにあらかじめ使いかたを決めておいてください。

❶チェックするアドレス帳のデータを、詳細表示画面に表示

❷ 操作メニューキー、**操作**タブ、**表示切替**、**チェックリスト**にタッチ

○は送り、いただいた
×は送らなかったが、いただいた
△は送り、いただかなかった
記号によって、あらかじめ使いかたを決めておく



順送りキー、**逆送り**キーにタッチすると、前後の人のチェックリストが表示される

❸登録する記号にタッチ

チェックリスト画面

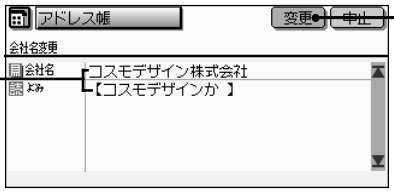
● 年賀状などを送った人を調べるには(絞り込み)
絞り込み条件設定画面で**チェックリスト**タブにタッチした後、年賀状などの項目で○などにタッチし、**実行**にタッチします。条件に合うデータが表示されます。絞り込みを解除しないで電話帳(自宅)一覧画面などを表示すると、年賀状を送った人の一覧が表示されます。

会社名を変える　会社名変更

登録した会社名をまとめて変更します。会社名を変更すると、その会社に勤務している個人データの会社名は、すべて変更後の会社名に書き換わります。

❶会社一覧画面で、変更する会社名に1回または2回タッチし、会社別個人一覧画面を表示

❷会社名にタッチ。確認画面で**会社名を変更する**にタッチ



❸「会社名」と「よみ」を変更

❹**変更**にタッチ

- シークレット機能が設定されていると変更できません。解除してください(☞369ページ)。
- 情報ファイルに分類されているデータの会社一覧が表示されているときは、画面左上のファイル名表示にタッチし、**全アドレス帳**にタッチして全アドレス帳データの表示に切り替えた後、**会社一覧**タブにタッチしてください。

スケジュール

スケジュールでは、何ができるの？

ある日の予定や、何日かにまたがる予定を登録できます。登録した予定は、スケジュールと連動した1カ月カレンダーで、予定のつまり具合などを一目で確認できます。また、詳細表示・1日表示・週間表示・週間グラフで多角的に見ることができます。また、予定の開始時間前にアラームを鳴らし、大切な約束を確かめることができます。
この製品には、あらかじめ国民の祝日（☞204ページの「メモ」）のデータが入っています。

始めましょう

「始めましょう」（187～196ページ）は、スケジュール機能を初めて操作される方を対象に、基本的な使いかたをやさしく説明しています。さらにくわしい操作方法や「始めましょう」に含まれていない機能については、197ページ以降をご覧ください。ここでは、

- 予定の入力方法
- 入力した予定をいろいろな画面で見る方法
- まちがえて入力したデータを修正する方法
- いらなくなったデータを削除する方法

を具体的にやさしく説明しています。操作手順に従って操作してみましょう。

予定を入れる

スケジュールでは、予定を次の2つのタイプに分けています。

- **ある日の予定**
- **日をまたがる予定**
  …何日かにまたがる予定

予定を入れるときは、その予定が何日かにまたがるかどうかを確かめ、予定のタイプを決めてください。
ある日の予定を入れましょう。その後、日をまたがる予定を入れます。

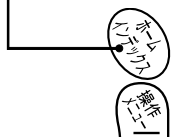
ある日の予定を入れる

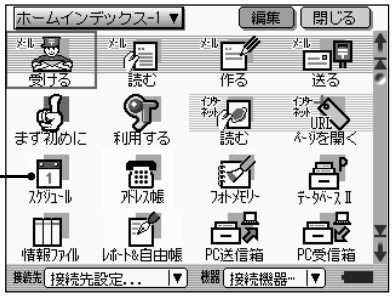
次の予定を入れましょう。

- 2002年5月15日午後3時～5時の「新企画検討会議」

1 スケジュールの新規作成画面を表示します。

1 **ホームインデックス** キーに数回タッチする





ホームインデックス1画面

2 **スケジュール** アイコンにタッチする

または、ホームインデックス2画面の「スケジュール」の **書く** にタッチして、新規作成画面を表示する

3 **新規作成** にタッチする

カレンダー画面

4 **予定を入れる** タブが選択されていることを確認する

カーソル
（文字などを入力する位置を示す）

日付には、今日の日付またはカレンダー画面などで選んでいた日付が入っている

ミニカレンダーが表示されている

新規作成画面

2 ミニカレンダーで予定の日付を入力します。

❶ 予定の日付にタッチする
月を変えるときは、←にタッチして前月、→にタッチして翌月に切り替える

前月、翌月に切り替え

3 予定の開始時刻と終了時刻を入力します。
ここでは、午後3時（15時00分）～5時（17時00分）を入力します。

❶ 予定の開始時刻にタッチし入力する
午後3時では 1 5 0 0 にタッチする

時刻の入力について
（☞次ページの「メモ」）

入力した日付が表示される

なぞって 入力 にタッチすると、30分単位で時刻を入力できる

12時間制で入力するときに、AM または PM にタッチする

❷ 予定の終了時刻にタッチし入力する
午後5時では 1 7 0 0 にタッチする

入力された開始時刻

時刻を入力し直すときにタッチする

❸ 入力 にタッチする

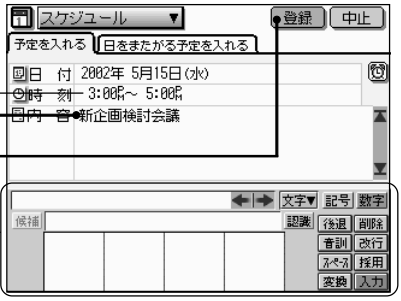
4 予定の内容を入力します。すべてを入力したら、予定を登録します。

❶ 入力ボードを使って、
予定の内容を入力する

入力された時刻が表示される

❷ 登録 にタッチして
予定を登録する

入力ボード
入力ボードの使いかたは、68〜91
ページをご覧ください



● **時刻の入力について**
開始時刻のみや、時刻を入力しなくても予定を登録できます。
時刻の入力を途中でやめたり、時刻を入力しないときは、「内　容」欄にタッチしカーソルを内容欄に移動して予定の内容を入力してください。
時刻は数字を直接「01」、「02」のように2桁の数字で入力します。

● 12時間制で正午(12:00)を入力するには、時刻の項目に「12:00 PM」と入力します。

● **日付や時刻を修正するときは**
「日付」の左の(日付アイコン)や「時刻」の左の(時刻アイコン)にタッチすると、表示されている日付や時刻が消えます。日付や時刻を入力し直してください。また、日付や時刻の一部を修正するときは、修正したい数字にタッチしてカーソルを移動し、入力し直します。

● **予定を入力できる日は**
1901年1月1日から2099年12月31日までの任意の日に入力できます。

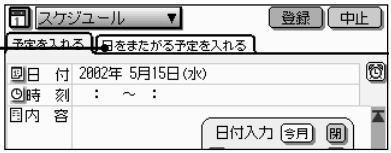
日をまたがる予定を入れる

ある日の予定を入れたら、今度は日をまたがる予定(5月17日午前9時～22日午後5時までの視察旅行)を入れてみましょう。

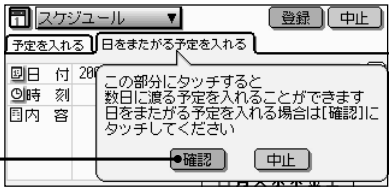
1 日をまたがる予定の新規作成画面を表示します。

❶ 新規作成にタッチする

❷ 日をまたがる予定を入れるタブにタッチする



❸ 確認にタッチする



❹ **予定の開始日や開始時刻、終了日や終了時刻を入力する**

入力方法は188ページの「ある日の予定を入れる」と同様にして入力する

2 予定の内容を入力します。終わったら、登録します。

❶ 予定の内容を入力する

❷ 登録にタッチする

● **開始時刻と終了時刻について**

必要に応じて入力してください。入力の方法は189ページの手順 **3**と同じです。

予定を確かめる

登録した予定をいろいろな画面で確かめましょう。

1 予定を確かめる月のカレンダーを表示します。
カレンダー画面では、1カ月の予定のつまり具合を確認します。

❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で スケジュール アイコンにタッチする

❷ カレンダー タブにタッチする

カレンダー画面

カレンダー画面の表示説明

❶：週間表示画面に移る(☞194ページ)
❷：1日表示画面に移る(☞次ページ)
❸：画面下に表示されている日付の詳細表示画面に移る(☞次ページ)
❹：画面下の予定内容を拡大して表示
❺：今月のカレンダーを表示
❻：年月日指定画面に移る(☞199ページ)
❼：記念日(枠の囲み)
❽：休日(反転表示)
❾：日をまたがる予定
重なると、黒色で表示
❿：日をまたがる予定
⓫：この日に送信/受信したメールも表示される
⓬：この位置の●は、この日の午前開始や時刻の入力のない予定があることを示す
⓭：この位置の●は、午後開始の予定があることを示す
⓮：前月、翌月のカレンダーを表示
⓯：選択された1日の予定と送信/受信したメールが表示される
⓰：受信したメールは、送信したメールはと表示される

メモ

● 予定内容の文字を拡大して見るには
各画面の 文字 大 にタッチします。
もとの文字サイズに戻すには、 文字 大 の代わりに 文字 標準 にタッチします。

2 予定を確かめたい日を表示します。

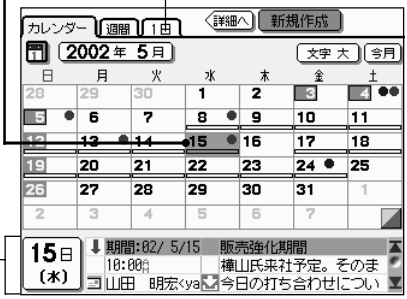
❶ ◇(スクロールボタン)で予定を確かめたい日を選択する

ペンでデータに1回または2回タッチして画面を切り替えることもできる
(☞次ページの「メモ」)

❷ 決定ボタンを押す

タッチすると、選択している日の予定を見ることができる

選択されている日の予定



3 1日表示画面では、その日の予定を一覧できます。確認したら、確かめたい予定の内容を表示します。

❶ 上下の◇(スクロールボタン)で予定を選択し、決定ボタンを押す

選択した予定の詳細表示画面へ

今日の1日表示画面へ

日をまたがる予定の内容

日をまたがる予定であることを示す

この日に送信/受信したメール

ミニカレンダーの日付にタッチすると、その日の1日表示画面になる

予定の開始時刻と終了時刻

アクションリストのデータ未処理データで、□にタッチすると処理済みデータになる

1日表示画面

予定の内容

4 詳細表示画面では、予定の詳細を確認します。確認したら、次の予定に切り替えます。

❶ 内容を確認する

❷ 上下の◇(スクロールボタン)で次の予定に切り替える

詳細表示画面

5 1週間の予定表を表示します。

❶ 週間 タブにタッチする

6 週間表示画面では、1週間の予定を一覧できます。確認したら、日をまたがる予定を表示します。

❶ 上下の◇(スクロールボタン)で予定を選択し、決定 ボタンを押す

今週へ

年月日指定画面に移る(☞199ページ)

予定の開始時刻と内容が表示される

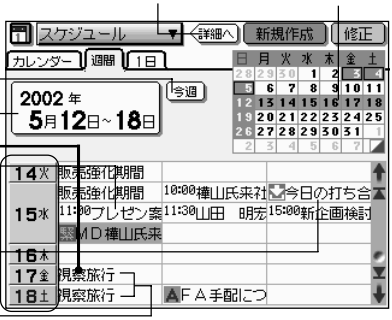
日付にタッチすると1日表示画面へ

送信/受信したメールが表示される

日をまたがる予定
(開始時刻の表示がない)

選択した予定の詳細表示画面へ

タッチした週の週間表示画面へ



週間表示画面

●「1回または2回タッチする」とは

ペンでデータをタッチして次の画面に進むには、日付やデータが選択(反転表示)されている場合は1回タッチします。データが選択されていない場合は2回タッチします。

● 逆送り キー、順送り キーでの表示切り替えについて

詳細表示画面で、逆送り キーにタッチすると1つ前のデータ、順送り キーにタッチすると1つ後のデータが表示されます。また、1日表示画面では前日・翌日、カレンダー画面では前月・翌月、週間表示/週間グラフ画面では前週・翌週が表示されます。

● 情報ファイルに分類したスケジュールデータを表示するときは

スケジュール▼ にタッチして、目的の情報ファイル名にタッチします。情報ファイルについては、326ページをご覧ください。

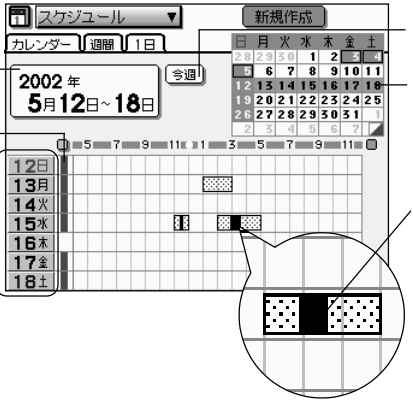
● 予定の表示件数は

1日表示画面では500件以内、週間表示画面では1000件以内を表示できます。

コラム

1週間のつまり具合を見るには(週間グラフ画面)

カレンダー画面、週間表示画面、一日表示画面、詳細表示画面のいずれかで**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**週間グラフ**にタッチします。1週間の予定のつまり具合がグラフでビジュアルに確認できます。



年月日指定画面に移る(☞199ページ)

日をまたがる予定があることを示す

日付にタッチすると1日表示画面へ

今週へ

タッチした週の週間グラフ画面へ

濃い部分は予定の時刻が重なっていることを示す

予定を修正する

一度登録した予定を修正します。

1 **修正したい予定を詳細表示画面に表示します。**

2 **修正**にタッチして、修正画面を表示します。

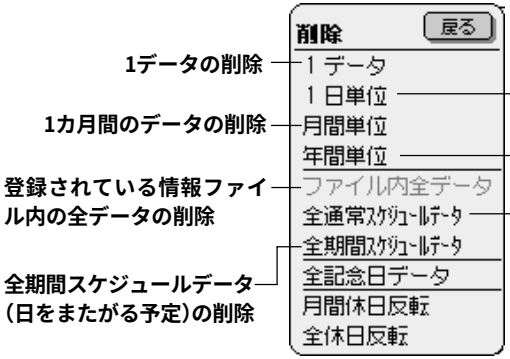
3 **内容を修正します。**

4 **登録**にタッチし、修正した予定を登録します。

- **1日表示画面・週間表示画面からの修正は**
  修正したい予定にタッチして選び、**修正**にタッチします。
- **修正前と修正後の2つのデータを登録するには**
  手順 **4**で**機能**キーにタッチした後、**登録**にタッチします。修正前の予定はそのまま残ります。

予定を削除する

登録した予定を削除します。



削除メニュー

1 削除したい予定のある1日表示画面、週間表示画面を表示します。

2 削除したい予定にタッチして選択します。

3 操作メニューキー、編集タブ、削除にタッチし、削除メニューを表示します。

4 削除する範囲にタッチします。確認のメッセージではいにタッチして削除します。

メモ

- **カレンダー画面での削除は**
  カレンダー画面の削除メニューの**月間単位**にタッチすると、表示されている月の予定(日をまたがる予定を除く)と、アドレス帳で登録したコンタクトのデータを削除できます。**全通常スケジュールデータ**ではすべての予定(日をまたがる予定を除く)とアドレス帳で登録したコンタクトのデータ、**全期間スケジュールデータ**ではすべての期間スケジュール(日をまたがる予定)、**年間単位**では1年間のすべての予定(日をまたがる予定を除く)と、アドレス帳で登録したコンタクトのデータを削除できます。
- **詳細表示画面での削除は**
  削除したい予定が表示されている画面で、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**削除**にタッチします。
- **1週間のデータを削除するには**
  1日表示画面または週間表示画面で、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**削除**に続いて**週間単位**にタッチします。
- **シークレット機能が設定されているときは**
  1データの削除以外はできません。シークレット機能を解除してから削除してください(☞369ページ)。
- 各画面で手順 **3**で表示される削除メニューの中で、薄い文字になっているものは選べません。たとえば、週間グラフ画面では、1データ、1日単位、週間単位は選べません。

ここからは、くわしい説明

197～209ページでは、「始めましょう」よりくわしい操作説明や「始めましょう」に含まれていない機能について説明しています。
スケジュール機能について、便利な機能が使えるようになります。

簡単に同じ予定を作る

同じ予定を決まった日に入れる　繰り返し

毎日、数日おき、毎週、毎月、毎年など同じ時刻に同じ予定を入れます。

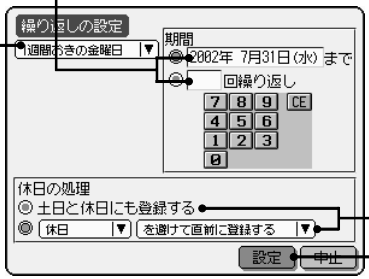
例　2002年5月10日(金)の予定を、2002年7月31日まで、1週間おきの金曜日に繰り返し入力する場合(金曜日が休日のときは木曜日に入力する)

❶繰り返したい予定を表示。カレンダー画面、1 日表示画面、週間表示画面では、繰り返す予定にタッチして選択

❷ 操作メニュー キー、操作 タブ、繰り返し登録... にタッチ

❸ここにタッチし、繰り返しかたを選択

❹繰り返す期間または回数を入力
「繰り返し期間」と「繰り返し回数」は入力項目にタッチしてカーソルを移動させ、下の数字入力ボードから入力



繰り返しの設定画面

❺休日などと、繰り返し入力する予定が重なったときの設定を選択

❻ 設定 にタッチし、確認のメッセージで 確認 にタッチ

● 繰り返しで登録できるデータは
予定(日をまたがる予定を除く)、アドレス帳のコンタクトデータ、アクションリストデータです。アクションリストデータの期限日は入力されずに登録されます。

- 繰り返したい予定の曜日や日付は、繰り返しかたのメニューに反映されます。たとえば、繰り返したい予定が月曜日のもののときは、繰り返しかたのメニューに「毎週月曜日」、「1週間おきの月曜日」のように表示されます。
- 8月31日など月末の予定を繰り返し登録するときは、「月末」を選んでください。30日までの月は「30日」に、31日までの月は「31日」に登録されます。
「毎月31日」を選ぶと、「31日」がない月を飛ばして登録されます。「31日」のみに登録したいときは、「毎月31日」を選んでください。
- 繰り返し登録した予定を取り消すときは、1件ずつ削除します。繰り返し回数が多い予定を登録するときは、 設定 にタッチする前に、指定にまちがいがないかご確認ください。

同じような予定を作る

「複製」を使って、同じデータをもう1つ作ります。

1 **1日表示画面でもとになるデータを選択します。**

2 **操作メニュー**キー、**編集**タブ、**複製**にタッチします。
選択したデータと同じデータが登録されます。

3 **複製したデータを選択し、修正にタッチします。**
修正画面が表示されます。

4 **日付など、データを修正し、登録にタッチします。**
データが登録されます。

- 手順 **1**で詳細表示画面に予定を表示し、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**複製**にタッチしても複製できます。
- もとになるデータの修正画面で、**機能**キーに続けて**登録**にタッチすると、もとのデータを残したまま、修正後のデータを別に登録できます。また、「複写(コピー)」と「貼込(ペースト)」を使ってもう1つのデータを作ることもできます(☞351ページ)。

データを移動・複写する

スケジュールやアクションリストのデータを、スケジュールの1日表示画面、週間表示画面で移動・複写できます。

❶ 1日表示画面、週間表示画面で、移動したいデータを選択。選択したデータに再度タッチしたままにする。しばらくすると、データが浮き出てくる

1日表示画面

❷ タッチしたまま、ミニカレンダー上の移動する日までペン先を移動し、離す

ミニカレンダー

浮き出たデータを移動させる

- **データを複写するには**
  手順 ❶ で**機能**キーにタッチした後、データにタッチしたままペン先を移動します。
- **データを移動すると**
  スケジュールデータの日付や未処理のアクションリストの期限日が自動的に変わります。なお、スケジュールデータに設定されているアラームは解除されます。
- 別の月にデータを移動するには、データにタッチしたままミニカレンダー下の ◸、◢ に合わせると、前月・翌月が表示されます。タッチしたままペン先をいったん ◸、◢ から外し、再び ◸、◢ に合わせると、さらに前月・翌月が表示されます。

年月日を指定して予定を表示する 年月日指定

年月日を指定して予定を表示します。表示していた画面(カレンダー画面、週間表示画面、1日表示画面、週間グラフ画面)に、指定した日のデータやその日を含むデータが表示されます。カレンダー画面の場合は、指定した月のカレンダーが表示され、指定した日が選択された状態になります。

❶年月日表示にタッチ
カレンダー画面では、2002年 5月にタッチ
週間表示画面では、2002年 5月12日~18日にタッチ

❷年月日を西暦で入力

❸実行にタッチ

年月日指定画面

● 年月日をすべて入力しなくても、指定した年または年月の画面を表示することができます。年だけを指定するとその年の1月1日、年月を指定するとその年月の1日が指定されたものとみなされます。

休日を設定/解除する

休日を設定/解除するには、次の2つの方法があります。

- 毎週ある曜日を休日に設定/解除する（曜日単位）
- ある日を休日に設定/解除する（1日単位）

毎週ある曜日を休日に設定/解除する　曜日単位

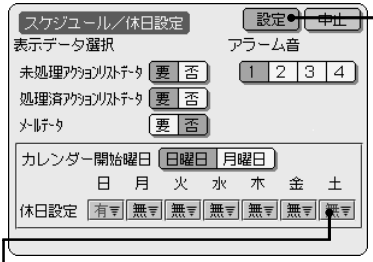
ある曜日をすべて休日にします。また、休日の設定を解除します。

例　土曜日を休日に設定し、カレンダーでの土曜日を反転表示する場合

❶カレンダー画面などで［操作メニュー］キー、［操作］タブ、［スケジュール/休日設定...］にタッチ

❷ここにタッチし［有］を表示

❸［設定］にタッチ



スケジュール/休日設定画面

● 曜日単位で設定した休日を解除するには（曜日単位解除）

スケジュール/休日設定画面で、普通表示にしたい曜日の［有］にタッチして［無］に変え、［設定］にタッチします。あらかじめ「日」（日曜日）が［有］（休日）に設定されています。日曜日が休日でないときは、［有］にタッチして［無］にします。

● 曜日単位の休日を1日だけ解除するには

通常は休みの日曜日なのに、その日だけ出勤というようなときは、1日単位で休日を解除してその日の表示を普通表示にします（次ページの1つ目の「メモ」）。1日単位の休日設定と曜日単位の休日設定が重なると、普通表示になります。なお、休日設定が重なっている日は、どちらか一方の休日設定を解除すると、再び反転表示になります。

また、曜日単位の休日と記念日の休日が重なったときは、反転表示のままです。

ある日を休日に設定/解除する　1日単位

ある日を休日にします。また、1日単位で設定した休日を解除します。

1 **カレンダー画面で、休日にしたい日にタッチして選択します。**

2 **操作メニュー**キー、**操作**タブ、**休日設定/解除**にタッチします。
選択した日が反転表示されます。

- **1日単位で設定した休日を解除するには（1日単位解除）**
  カレンダー画面で解除する日にタッチして選択し、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**休日設定/解除**にタッチします。
- **1日単位で設定した休日をまとめて1カ月分取り消すには**
  休日を取り消したい月のカレンダー画面で、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**削除**、**月間休日反転**にタッチします。
- **1日単位で設定したすべての休日を取り消すには**
  カレンダー画面で、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**削除**、**全休日反転**にタッチします。
- **月間休日反転**、**全休日反転**で解除するときは
  - 曜日単位や記念日で設定した休日は解除されません。
  - 曜日単位や記念日で設定した休日を、1日単位で解除して普通表示に戻したとき、**月間休日反転**や**全休日反転**で解除すると、曜日単位や記念日で設定した休日に戻ります。

表示を変える

月曜日を週の始まりにする　カレンダー開始曜日

週の始まりの曜日を日曜日から月曜日に変えます。

1 カレンダー画面で、操作メニューキー、操作タブ、スケジュール/休日設定…にタッチします。
スケジュール/休日設定画面(☞200ページ)が表示されます。

2 「カレンダー開始曜日」の月曜日にタッチし、設定にタッチします。
週の始まりが月曜日になったカレンダー画面が表示されます。

メモ
- **週の開始曜日を変更すると**
  週間表示画面、週間グラフ画面の開始曜日も変わります。
  また、スケジュールの週間単位の削除の範囲が、開始曜日が月曜日のときは月曜日～日曜日に変わります。ご注意ください。

アクションリストのデータを表示/非表示にする

カレンダー画面や1日表示画面などにアクションリストのデータを表示するか、表示しないかを切り替えることができます。

1 カレンダー画面で、操作メニューキー、操作タブ、スケジュール/休日設定…にタッチします。
スケジュール/休日設定画面(☞200ページ)が表示されます。

2 「表示データ選択」で表示/非表示にするデータの要または否にタッチし、設定にタッチします。
アクションリストデータの表示/非表示が切り替わります。

メモ
- 開始日や期限日を指定する必要のないアクションリストのデータをスケジュールの画面に表示しないようにするには、そのデータの開始日をしばらく先の日付に変えます。
- **週間表示画面でのアクションリストのデータの表示は**
  未処理データは期限日に表示されます(期限日なしの未処理データは表示されません)。処理済みデータは処理日に表示されます。
- **アクションリストのデータは**
  未処理データは開始日が来ると、処理するまで毎日、今日の1日表示画面、詳細表示画面に表示されます(期限日とは関係ありません)。
  また、今日処理したデータも今日の1日表示画面、詳細表示画面に表示されます。

メールのデータを表示/非表示にする

カレンダー画面などに送受信したメールのデータを表示するか、表示しないかを切り替えることができます。

1 カレンダー画面で、操作メニューキー、操作タブ、スケジュール/休日設定...にタッチします。

スケジュール/休日設定画面(☞200ページ)が表示されます。

2 「メールデータ」で表示にするときは要、表示しないときは否にタッチし、設定にタッチします。

送受信したメールデータの表示/非表示が切り替わります。

- 未送信メールはスケジュール機能には表示されません。また、スケジュールの詳細表示画面で未読メールのデータを表示しても、既読メールにはなりません。
- 受信メールは、スケジュール機能では受信した日に表示されますが、メール機能ではそのメールが送信された日付が受信簿に表示されます。メールを探すときなどご注意ください。

記念日を登録する　記念日

スケジュールとは別に、特定の日を記念日として登録できます。

- 誕生日、設立記念日など毎年決まった日(記念日(月日))…… 月日 で登録
- 母の日(5月第2日曜日)のように、
  ある月の何週目の何曜日(記念日(月/週/曜))…… 月/週/曜 で登録

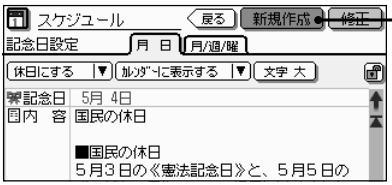
登録した記念日はすべての年に設定されます。

毎年決まった日を記念日にする　記念日(月日)

毎年決まった日を記念日として登録します。

例　6月23日の開校記念日を休日で登録し、カレンダー画面に表示する場合

❶ 操作メニューキー、操作 タブ、記念日設定... にタッチ



記念日設定画面

❷ 新規作成 にタッチ

❸ 月 日 タブが選択されていることを確認

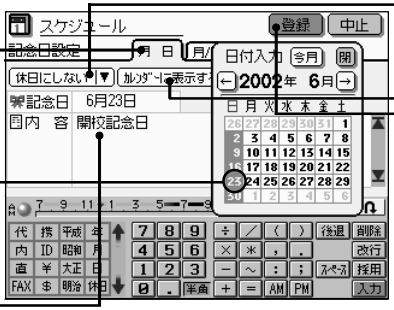
❹ ミニカレンダーで入力する日付にタッチ または数字入力ボードから日付を入力

❺ 内容を入力

❻ ここにタッチし、表示されたメニューから 休日にする を選択

❼ ここにタッチし、表示されたメニューから カレンダーに表示する を選択

❽ 登録 にタッチ



記念日設定(月日)新規作成画面

メモ

● **春分の日や秋分の日などの国民の祝日は**

この製品には、2000年現在の国民の祝日などがあらかじめ登録されています。ただし、「春分の日」、「秋分の日」は年によって変わるので、登録されていません。ご使用になる年の暦に合わせて登録や変更を行ってください。また、2001年以降に施行される新設の祝日などは、新たに登録してください(「成人の日」と「体育の日」は1999年までと2000年以降の両方のデータが入っています)。

なお、振替休日の機能はありません。ご使用になる年の暦に合わせて登録や変更を行ってください。

● **記念日を休日にするには**

休日にする に設定すると、毎年その日が休日として登録されます。

ある月の何週目の何曜日を記念日にする　記念日(月/週/曜)

何月、何週目の何曜日を記念日として登録します。

例　5月第3日曜日を「リサイクルデー」として登録し、カレンダー画面に表示する場合

❶ 操作メニュー キー、操作 タブ、記念日設定... にタッチ

❷ 記念日設定画面(☞前ページ)で 新規作成 にタッチ

❸ 月/週/曜 タブにタッチ

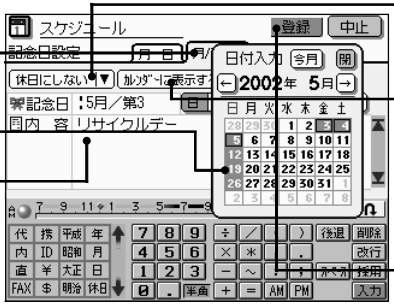
❹ 記念日にする日付にタッチ

❺ 内容を入力

❻ ここにタッチし、登録する記念日を休日にするかどうかを選択

❼ ここにタッチし、表示されたメニューから カレンダーに表示する を選択

❽ 登録 にタッチ



記念日設定(月/週/曜)新規作成画面

● **月/週/曜日を入力するには**
ミニカレンダーで記念日にする日付にタッチするか、数字入力ボードで1月は「01」と2桁の数字で、週は第何週目かを1〜5の数字で入力します。数字入力ボードで入力した場合は、曜日は曜日の一覧にタッチして入力します。

● **記念日を休日にするには**
休日にする に設定すると、毎年その日が休日として登録されます。

登録した記念日データだけを見る/削除する

記念日を見る　表　示

記念日は、カレンダー画面とスケジュール画面に表示されます。

- カレンダー画面　…… 日付が枠で囲まれます。
- スケジュール画面　… 1日表示画面や週間表示画面で1日の最初のデータとして表示されます。
  詳細表示画面で予定と同じように表示されます。

❶ **操作メニュー** キー、**操作** タブ、**記念日設定...** にタッチ

❷ 記念日(月/週/曜)画面に切り替えるときは、**月/週/曜** タブにタッチ

❸ **逆送り** キー、**順送り** キーで前または次の記念日を表示

記念日(月日)と記念日(月/週/曜)の表示を切り替える

記念日(月/週/曜)詳細表示画面

● カレンダー画面に記念日を表示しないときは
カレンダーに表示する にタッチし、表示されたメニューから **カレンダーに表示しない** を選択します。その記念日の日付から枠が消えます(ただし、カレンダーの下に表示される記念日データは、そのまま残ります)。

● 休日に設定された記念日は、日付が反転表示されます。

● 記念日データを修正するには
スケジュールの1日表示画面や週間表示画面、詳細表示画面でも、予定と同じようにして記念日を修正できます。また、記念日の詳細表示画面で **修正** にタッチしても修正できます。

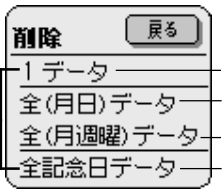
記念日を削除する　削　除

記念日を削除します。

❶ **記念日(月日)詳細表示画面や記念日(月/週/曜)詳細表示画面で、削除する記念日データを表示**

❷ **操作メニュー** キー、**編集** タブ、**削除** にタッチ

❸ **削除するデータの範囲を選択**



- 1 データ — 表示したデータを削除
- 全(月日)データ — 月日で指定したデータを削除
- 全(月週曜)データ — 月/週/曜で指定したデータを削除
- 全記念日データ — すべての記念日データを削除

❹ 確認のメッセージで、[はい]にタッチ

ご注意
- 「全(月日)データ」などで記念日を削除すると、あらかじめ登録されている内容も削除され、もとに戻せなくなります。

メモ
- **シークレット機能が設定されているとき**
  1データの削除以外はできません。シークレット機能を解除してから削除してください(☞369ページ)。
- 1日表示画面や週間表示画面、詳細表示画面でも、予定の1データ削除と同じようにして記念日を削除できます。
- 記念日の全データを削除するには、次の方法もあります。
  カレンダー画面で、[操作メニュー]キー、[編集]タブ、[削除]、[全記念日データ]にタッチします。

時刻前にアラームを鳴らす スケジュールアラーム

会議や打ち合わせなどの前に、アラームが鳴るように設定します。

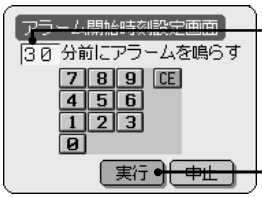
アラームを設定する

アラームを設定します。

例 **会議の30分前にアラームを鳴らす場合**

❶ **アラームを設定する予定を表示**

❷ **にタッチ**



❸ **アラーム時刻を入力**
0～99分前に設定できる

❹ [実行]にタッチ

アラーム開始時刻設定画面

アラームを設定すると が (反転表示) に変わる

設定されたアラーム時刻

設定後の詳細表示画面

● **アラームを設定するとき**
- 日をまたがる予定以外の予定とコンタクト登録したデータ(☞172ページ)に設定できます。なお、開始時刻のない予定には、アラームを設定できません。
- 過去の予定には、アラームを設定できません。
- アラーム開始時刻を「00」にすると、開始時刻にアラームが鳴ります。
- データの入力、修正中に [アラーム] にタッチしたときは、**登録** にタッチした後、アラーム開始時刻設定画面が表示されます。

● **アラームのみを設定するとき**
予定の開始時刻を入力し、内容にスペースを入力します。予定内容のないスケジュールを登録でき、アラームが設定できます。

● データ通信を行っているときなどではアラーム時刻になっても鳴りません。

アラームの時刻になると

ユーザー設定のサウンド設定画面(☞360ページ)で「アラーム音」が **入** に設定されているとき、設定した時刻になると、アラームが鳴り、アラームメッセージとそのデータが表示されます。

❶設定した時刻になると、アラームが鳴り、アラームメッセージとスケジュールデータを表示

アラーム音は、数秒経つと自動的に鳴りやむ
(アラーム音によって長さが異なる)

❷ 解除 にタッチ

● **シークレットデータにアラームが設定されているとき**
シークレット機能が設定されているときは、データの内容は表示されず、「予定の時刻です！(シークレットデータ)」というメッセージが表示されます。

● **電源が切れているとき**
アラーム時刻になると、自動的に電源が入り、メッセージが表示されます(電池交換スイッチが「解除(交換時)」側になっているときは除きます)。
※デイリーアラームも同様です(☞323ページ)。

アラーム音を一時的に鳴らさないようにする

会議中などでアラーム音を鳴らしたくないときは、アラームの設定を解除しないで、一時的にアラーム音を鳴らないようにすることができます(アラームメッセージの表示は行います)。

1 **[ホームインデックス]キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で[ユーザー設定]アイコン、[サウンド設定]にタッチします。**
サウンド設定画面(☞360ページ)が表示されます。

2 **「アラーム音」の[切]にタッチします。**

3 **サウンド設定画面のクローズボタン( )にタッチして閉じます。**

メモ
- **アラーム音を切ると**
  アラームが設定されているすべてのスケジュールのアラーム音が鳴りません。一時的に切った後は、サウンド設定画面で[入]にタッチしてアラーム音が鳴るようにしてください。
- アラーム音の鳴る/鳴らないの設定は、デイリーアラームの鳴る/鳴らないには影響しません。デイリーアラームについては、323ページをご覧ください。

アラーム音を変える

アラーム音を4種類の中から選ぶことができます。なお、デイリーアラームのアラーム音は変わりません。

1 **カレンダー画面で[操作メニュー]キー、[操作]タブ、[スケジュール/休日設定...]にタッチします。**
スケジュール/休日設定画面(☞200ページ)が表示されます。

2 **「アラーム音」でアラーム音を選び、[設定]にタッチします。**
「アラーム音」の[1]～[4]にタッチすると、各番号に設定されているアラーム音が流れます。

アラームを解除する

アラームを解除します。アラーム設定の解除は、スケジュールの入力、修正中でもできます。

1 **アラームの設定を解除するデータを詳細表示画面に表示します。**

2 **にタッチします。**
アラームの設定が解除されます。また、アラーム時刻が消えます。

アクションリスト

アクションリストでは、緊急な用件や重要な用件にランクをつけて登録・整理できます。ランクづけした用件は緊急なものや重要なものから片付けられます。処理した用件はすばやくチェックでき、処理済みの用件として分けることができます。また、未処理の用件は一覧で整理できます。処理しなければならない順に並べたり、処理済みの用件だけを日付順に並べて確認できます。

用件にランクをつけ登録する　新規作成

重要な用件から処理できるように、用件を入力しランクをつけます。

❶ **ホームインデックス キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で、アクションリスト アイコンにタッチ**

❷ **新規作成 にタッチ**

❸「開始日」項目にタッチ

開始日（☞次ページ）

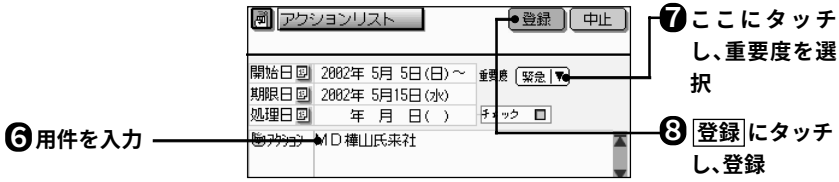
期限日（☞次ページ）

ミニカレンダー

❹ 日付にタッチし開始日を入力

❺ 日付にタッチし期限日を入力

新規作成画面



● 開始日、期限日とは

- 開始日とは、用件の処理を始める日、または用件を処理する予定日です。必ず入力します。アクションリストの画面で**新規作成**にタッチすると、開始日には今日の日付が自動的に入ります。
- 期限日とは、用件に「～日まで」と期限をつけるときに入れます。期限がないときは空欄にします。

● 開始日などの年月日の修正は

「開始日」などの右の年月日の欄にタッチすると、ミニカレンダーが表示され、入力し直すことができます。また、年月日の一部を修正するときは、修正したい数字にタッチしてカーソルを移し、入力し直します。

● 重要度の順番は

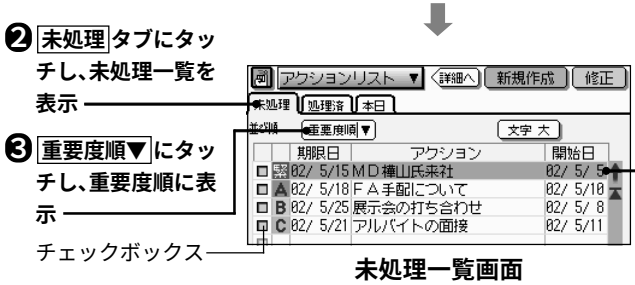
「緊急」→「A」→「B」→「C」の順。後で重要度を変えることもできます。

未処理の用件を確かめチェックする

未処理の用件（まだ処理が終わっていない用件）を確かめ、処理済みの用件をチェックします。

1 未処理の用件を表示します。

❶ **ホームインデックス**キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で↓、**アクションリスト**アイコンにタッチ



未処理一覧画面

2 処理が終わった用件を処理済みにします。

❶チェックボックスにタッチ
□または■が☑となる
☑は処理済みを示す

詳細表示画面

● **チェックボックスの表示について**
□ … 未処理を示します。
☑ … 処理済みを示します。
■ … 期限日が過ぎた未処理のデータを示します。期限日が過ぎると□が■に自動的に変わります。タッチすると、☑(処理済み)になります。

● **チェックすると**
処理済みのチェックが入り、詳細表示画面では期限日が処理日に変わり、チェックした日付が自動的に入ります。この後、ほかの画面に移ると、チェックした用件は処理済一覧に移ります。

● **チェックの取り消しは**
☑にタッチして□や■に戻します。「処理日」が「期限日」になり、期限日の日付に戻ります。

● **詳細表示画面で順送りキーにタッチすると**
一覧画面のチェックボックスの上に表示されている順番にデータが呼び出されます。たとえば、**未処理**タブで「重要度順」と表示されているときは、未処理データが重要度順に呼び出されます。未処理データを期限日順に呼び出したいときは、いったん**未処理**タブにタッチした後、期限日順の未処理一覧を表示し、〈**詳細へ**にタッチします。

● **スケジュールの1日表示画面でチェックするには**
アクションリストの未処理データはスケジュールの1日表示画面に表示することができます(☞193ページ)。表示すると、未処理データにチェックすることもできます。

● **未処理データの移動は**
スケジュールの1日表示画面では、スケジュールデータと同じようにアクションリストの未処理データを移動できます(☞198ページ)。移動すると期限日が自動的に移動した日に変わります。

● **情報ファイルに分類したアクションリストデータを表示するときは**
画面左上の**アクションリスト▼**にタッチして、目的の情報ファイル名にタッチします。情報ファイルにデータを分類する方法は328ページをご覧ください。

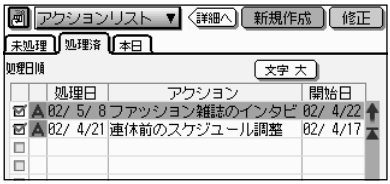
● **文字を拡大して見るときは**
画面上の**文字 大**にタッチします。もとに戻るときは、**文字 標準**にタッチします。

一覧画面について

一覧画面では、目的別にデータの並び順を替えることができます。

●処理済一覧画面

処理済みのチェックをした用件の一覧。
処理済 タブにタッチすると表示されます。



●開始日順の未処理一覧画面

未処理の用件を開始日順に表示する一覧。未処理一覧画面で**開始日順**を選択すると表示されます。

開始日が同じときは、重要度順に表示される

●期限日順の未処理一覧画面

未処理の用件を期限日順に表示する一覧。未処理一覧画面で**期限日順**を選択すると表示されます。

期限日が同じときは、重要度順に表示される

●本日一覧画面

開始日が今日以前の未処理の用件を表示する一覧。
本日 タブにタッチすると表示されます。

本日(今日)チェックして処理済みとなったデータも、本日中は表示されたままになる

画面の説明

◆本日タブ

開始日が今日以前の未処理の用件が表示されます。本日(今日)チェックして処理済みとなったデータも、本日中は表示されたままになります。

◆未処理タブ

まだ処理が終わっていない用件が表示されます。重要度順、期限日順、開始日順に切り替えることができます。

◆処理済タブ

処理済みのチェックをした用件を表示します。

◆詳細へ

一覧画面で選択されたデータを詳細表示画面に表示します。

◆並び順

- **重要度順**
  未処理データが重要度順に並び、同じ重要度では、期限日の新しいものから順に表示されます。
- **期限日順**
  未処理データが期限日の新しいものから順に並び、同じ期限日では、重要度順に表示されます。
- **開始日順**
  未処理データが開始日の新しいものから順に並び、同じ開始日では、重要度順に表示されます。

レポート&自由帳

レポート&自由帳を使って、決まった書きかたに従って入力すると、簡単に議事録、日報、時刻表などが作れます。作った議事録などは、仕事別、用途別など自由に情報ファイルに整理できます。また、フォトメモリーで作ったデータを貼りつけたりできます。

レポートや自由帳を作る

書きかたの決まった用紙に入力して新しいデータを作ります。
レポートや自由帳の作りかたには、次の2つの方法があります。

- 新しい用紙を開き、レポートや自由帳を作る(☞このページ)
- 表示中と同じ用紙に新しいレポートや自由帳を作る(☞217ページ)

新しい用紙を開き、データを作る　新規作成

入力項目やそのレイアウトなどの様式(フォーム)の決まった用紙を新しく開き、データを入力します。

ここでは、レポートの出張報告用紙にデータを入力し、出張報告書を作ります。

1　新しい用紙を開きます。

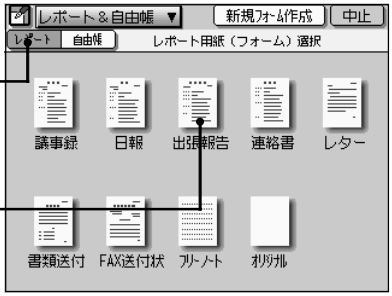
❶ **ホームインデックス** キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で **レポート＆自由帳** アイコンにタッチ
詳細表示画面が表示されたら、**一覧へ** にタッチ

❷ **新規作成** にタッチし、フォーム選択画面を表示

一覧画面

❸自由帳用紙が表示されたら[レポート]にタッチ

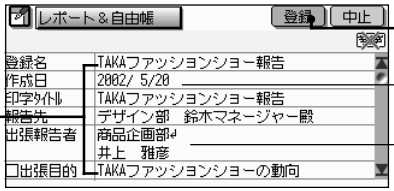
❹ここにタッチし、出張報告書の新しいページを表示



レポート用紙（フォーム）選択画面

2 入力項目に従ってデータを入力します。入力が終わったら、登録します。

❶各項目にデータを入力



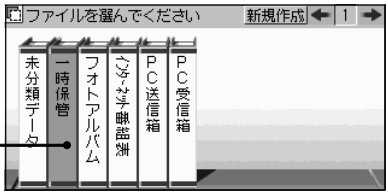
❷[登録]にタッチ

今日の日付が自動的に入力される

所有者情報（☞「所有者情報」の章）が自動的に入力される

3 データを登録する情報ファイルを選びます。

❶登録する情報ファイルのファイルにタッチ
ここでは「一時保管」にタッチ



レポート＆自由帳のデータとして登録されるとともに情報ファイルにも登録される

● 用紙（フォーム）とは
「出張報告」のように、入力項目やそのレイアウトなどの様式（フォーム）を決めた用紙のことです。自分でフォームを設定した用紙を「オリジナル」に登録して使うこともできます（☞223ページ）。

● レポートや自由帳のタイトルは
最初の項目（「登録名」など）に入力した文字はそのデータのタイトルになり、一覧画面に表示されます。

● 入力できる文字数
レポートおよび自由帳の1枚の用紙には約1,800文字入力できます。

● 情報ファイルとは
データを整理するためのファイルです。スケジュール、レポート＆自由帳、アドレス帳などのデータを、プロジェクトや部課ごとに整理できます（☞328ページ）。

● **「未分類データ」ファイルとは**
分類されていないデータを保管するファイルです。このファイル内のデータは、後でほかのファイルに移して整理できます(☞328ページ)。

● **「一時保管」ファイルとは**
作成したレポートや自由帳などのデータを一時的に保管するファイルです。このファイル内のデータは、後でほかのファイルに移して整理できます(☞333ページ)。

● **自由帳を作るには**
自由帳の作りかたは、用紙の種類の選択以外、レポートの作成と同じです。レポート用紙(フォーム)選択画面で**自由帳**にタッチします。
自由帳の用紙は、2画面分あり、画面右下の◢◤または**順送り**キー、**逆送り**キーにタッチして切り替えます。使いたい自由帳のフォームにタッチし、新規作成画面でデータを作ります。

● **入力ボードを消すには**
にタッチするか、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**入力ボード**に続けて**表示しない**にタッチすると、入力ボードが消え画面いっぱいにデータが表示されます。入力ボードを表示するには、にタッチするか同じように操作して**表示する**にタッチします。

フォトメモリーのデータを貼り込む

フォトメモリーのデータを、「複写(コピー)」と「貼込(ペースト)」を使ってレポートや自由帳の項目に貼り込むことができます。

1 貼り込みたいフォトメモリーのデータを表示します。

2 操作メニューキー、編集タブ、複写(コピー)にタッチし、データを複写します。

3 レポート＆自由帳の新規作成画面または修正画面を表示します。

4 貼り込みたい項目にタッチしてカーソルを移動します。

5 操作メニューキー、編集タブ、貼込(ペースト)にタッチし、データを貼り込みます。貼り込まれた項目には、「PICTURE(タイトル名)」が表示されます。

6 登録にタッチし、続けて登録するファイルにタッチします。

貼り込んだフォトメモリーのデータを見るときは、詳細表示画面で貼り込まれている項目名にタッチしてください。

ご注意
● フォトメモリーデータをレポート＆自由帳に貼り込むと「PICTURE(タイトル名)」だけが貼り込まれます。実際の内容は貼り込まれません。このため、もとのフォトメモリーの内容を変更すると、表示される内容も変わります。また、もとのフォトメモリーのタイトル名を変更したり、内容を削除すると、表示できません。なお、タイトル名に半角のかっこが使われているフォトメモリーは表示されません。フォトメモリーのデータを他機能のデータで見られるようにするときは、クイックメモとして貼りつけてください。

● レポート＆自由帳では、1項目に1枚のフォトメモリーを貼り込めます。フォトメモリーを貼り込んだ項目にほかの文字を入力することはできません。入力しても、レイアウト表示ではないものとみなされます。また「PICTURE(タイトル名)」の前に文字やスペースが入力されていると、貼り込んだデータを表示できません。

● 貼り込まれたフォトメモリーと同じタイトル名のフォトメモリーがほかにもあったとき、貼り込まれたデータを表示させると、新しいデータ(タイトルリスト上位にあるデータ)が表示されます。

同じ用紙に新しいデータを作る

表示されている用紙と同じ用紙に、新しいレポートや自由帳を作ります。

1 レポートや自由帳が表示されている詳細表示画面で、新規作成にタッチします。
新規作成画面になります。

2 必要な項目にデータを入力した後、登録にタッチします。
情報ファイル選択画面が表示されます。

3 登録するファイルにタッチします。

● **同じようなデータを作るには**
- もとになるデータを表示するか、一覧画面で選択し、操作メニューキー、編集タブ、複製を選択します。
- もとになるデータの修正画面で、機能キーに続けて登録にタッチすると、もとのデータを残したまま、修正後のデータを別に登録できます。また、「複写(コピー)」と「貼込(ペースト)」を使ってもう1つのデータを作ることもできます。

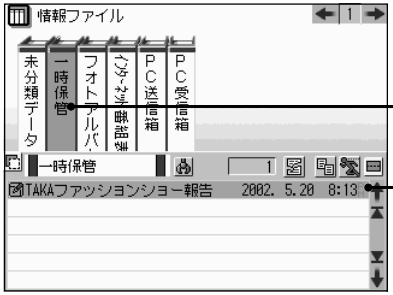
レポート＆自由帳を見る 表示

登録したレポートや自由帳のデータを見るには、次の2つの方法があります。
- 情報ファイルから見る(☞このページ)
- レポート＆自由帳の一覧画面から見る(☞次ページ)

情報ファイルから見る

登録したデータを情報ファイルから開いて見ます。

❶ 戻る(電源)ボタンを数回押してホームインデックス1画面を表示し、◇(スクロールボタン)を押して、情報ファイルアイコンを選び、決定ボタンを押す

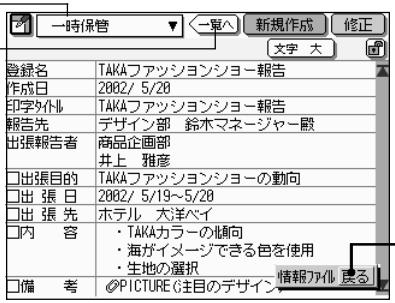


❷ 左右の◇(スクロールボタン)を押して登録したファイルを選択し、決定ボタンを押す

❸ 上下の◇(スクロールボタン)を押して表示するデータを選択し、決定ボタンを押す

情報ファイルのタイトル

<一覧へ>にタッチすると一覧画面へ



❹ 戻るにタッチし、情報ファイルに戻る

詳細表示画面

● **文字を拡大して見るには**

文字 大にタッチします。もとに戻すときは文字 標準にタッチします。

レポート＆自由帳の一覧画面から見る

登録したデータをレポート＆自由帳の一覧画面から開いて見ます。

❶ 戻る(電源)ボタンを数回押してホームインデックス1画面を表示し、◇(スクロールボタン)を押して、レポート＆自由帳アイコンを選び、決定ボタンを押す
詳細表示画面が表示されたら<一覧へ>にタッチ

日付の新しいデータから順に表示される

❷ 上下の◇(スクロールボタン)を押して表示するデータを選択し、決定ボタンを押す

● **情報ファイルに分類したレポート＆自由帳のデータを表示するには**
画面左上の**レポート＆自由帳▼**にタッチして、目的のファイル名にタッチします。情報ファイルについては332ページをご覧ください。

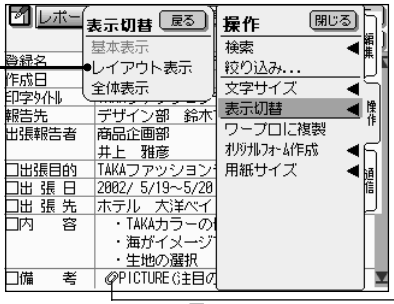
● 画面左上に**一時保管▼**などが表示され「レポート＆自由帳」が表示されていないときは、画面左上の**一時保管▼**などにタッチし、表示されたメニューから**全レポート＆自由帳**を選択します。

レイアウトを確かめる　レイアウト

レイアウト画面でレイアウトを確かめることができます。

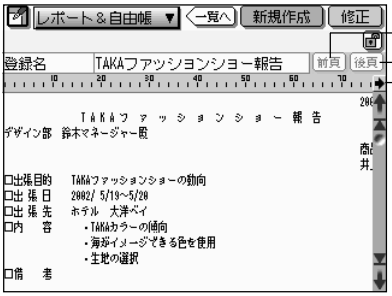
❶**詳細表示画面を表示**

❷**操作メニューキー**、**操作**タブ、**表示切替**、**レイアウト表示**にタッチ



フォトメモリーが貼り込まれている

全体表示にタッチすると、画面全体にページのレイアウトが表示される



前ページへ
次ページへ
右側の見えていない部分を表示

● **レイアウト画面での表示は**
- 文字サイズが横倍の文字は右に、縦倍は上に、4倍は上と右にスペースが入って表示されます。
- 文字サイズ（横倍など）や文字の配置（右詰めなど）などのレイアウトのしかたは、用紙ごとにあらかじめ決まっています。
- フォトメモリーのデータが貼り込まれている位置には、「IIIII」が表示されます。

● **レイアウトの変更は**
フォームを変えると、レイアウトを変えられます（☞次ページ）。

● MI-P10では、レポート＆自由帳のデータを印字できませんが、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**用紙サイズ**にタッチして表示される**A4縦**などの印字関連項目は、MI-310などほかのザウルスにデータを送信し、活用するときなどにお使いください。

フォームを変える

文字サイズや位置を変えたり、項目を挿入・削除したりして、作成したデータのフォームを変えます。変更した内容は、レイアウト表示で確かめられます。
フォームを変えるには、次の2つの方法があります。

- 設定をまとめて変える …… フォーム変更(☞このページ)
- 1項目の設定を変える …… 項目名変更(☞次ページ)

● MI-P10では、レポート&自由帳のデータを印字できませんが、「印字」、「項目名」、「サイズ」などの印字関連項目は、MI-310などほかのザウルスにデータを送信し、活用するときなどにお使いください。

設定をまとめて変える　フォーム変更

各項目の設定内容をまとめて変えます。

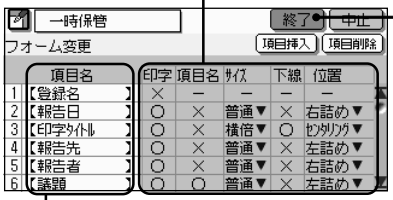
❶フォームを変更するデータを表示

❷ 修正 にタッチし、操作メニュー キー、操作 タブ、フォーム変更... にタッチ

❸必要に応じて項目名を変更

❹それぞれの欄にタッチし、設定を変更(各設定の内容は、下記の「画面の説明」を参照してください)

❺ 終了 にタッチし、修正画面に戻る



フォーム変更画面

❻ 登録 にタッチし、設定した内容を登録

フォーム変更画面の説明

◆印字
項目名と、その項目に入力した文字を印字する(○)/しない(×)を設定します。

◆項目名
項目名を印字する(○)/しない(×)を設定します。項目名を印字しない(×)にしても、その項目に入力した文字は印字されます。

◆サイズ
印字する文字サイズ(普通、横倍、縦倍、4倍)を設定します。

◆下線
文字に下線(アンダーライン)を引く(○)/引かない(×)を設定します。

◆位置
文字の印字位置(左詰め、センタリング、右詰め)を設定します。センタリングとは、中央寄せのことです。

◆項目挿入
フォームに新しい項目を追加できます(☞222ページ)。

フォーム変更画面の説明

◆**項目削除**

フォームの項目を削除します(☞次ページ)。

● **設定を変えるには**

変更したい欄にタッチして変更します。

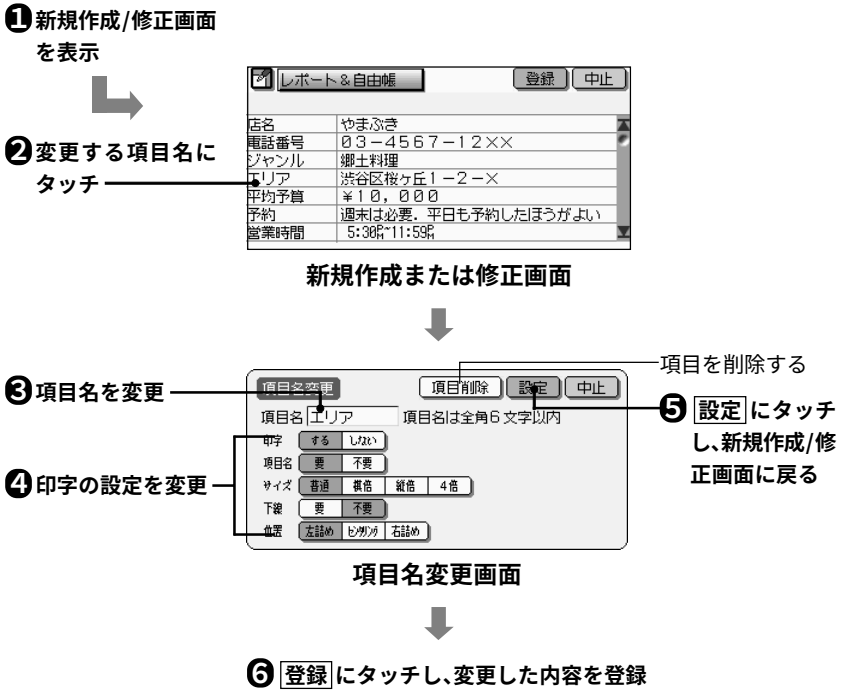
「印字」、「項目名」、「下線」は、○(設定する)←→×(設定しない)が交互に替わります。

「サイズ」、「位置」は、タッチすると設定できる文字サイズ、位置のメニューが表示されます。表示されたメニューの**横倍**などにタッチして文字サイズなどを設定します。

- 自由帳用紙の「メモ」のフォームは変更できません。
- レポートや自由帳にあらかじめ用意されている基本フォーム(定型フォーム)自体は、変更できません。
- 変更した内容を設定せずに戻るには、フォーム変更画面で**中止**にタッチします。

1項目の設定を変える　項目名変更

1項目の設定を変えます。



項目を挿入する

項目挿入

1 **項目を挿入するデータを表示し、[修正]にタッチして修正画面にします。**

2 **[操作メニュー]キー、[操作]タブ、[フォーム変更...]にタッチします。**
フォーム変更画面が表示されます。

3 **挿入したい位置の項目名にタッチし、[項目挿入]にタッチします。**
選んだ項目の上に新しい項目が挿入されます。

4 **項目名を入力し、印字の設定内容を設定します。**

5 **[終了]にタッチします。**
修正画面に戻ります。

6 **データを入力し、[登録]にタッチします。**

メモ
- 項目名は、全角6文字まで入力できます。
- 項目数は、もともとある項目を含めて25項目まで登録できます。
  25番目の項目に項目名が入力されているときは、挿入できません。すでに入力している項目を削除してから挿入してください。

項目を削除する

項目削除

1 **項目を削除するデータを表示し、[修正]にタッチして修正画面にします。**

2 **[操作メニュー]キー、[操作]タブ、[フォーム変更...]にタッチします。**
フォーム変更画面が表示されます。

3 **削除する項目名にタッチし、[項目削除]にタッチします。**
確認のメッセージが表示されます。

4 **[はい]にタッチします。**
指定した項目名が削除されます。

5 **[終了]にタッチします。**
修正画面に戻ります。

6 **[登録]にタッチします。**

ご注意
- **項目名を削除すると**
  項目名に登録されていたデータも削除されます。

メモ
- 項目名変更画面(☞前ページ)で[項目削除]にタッチしても削除できます。

新しいフォームを作る　オリジナルフォーム

あらかじめ用意されている用紙(フォーム)とは別に、独自のフォーム(オリジナルフォーム)を作り登録できます。オリジナルフォームを作ると、自分がよく使う用紙(フォーム)を使ってデータを作れるようになります。
オリジナルフォームを作るには、次の3つの方法があります。

- 新しく項目名や内容を設定し登録する(☞「新しいフォームを作る」このページ)
- 表示されているデータのフォームを修正して登録する(☞「既存のフォームを利用して新しく作る」次ページ)
- 表示されているデータのフォームを、そのまま登録する(☞「表示中のデータのフォームを新しいフォームにする」次ページ)

各項目の印字の設定は、220ページの「画面の説明」をご覧ください。
作成したオリジナルフォームの用紙を開く方法は、225ページをご覧ください。

新しいフォームを作る　新規フォーム作成

新しく項目名や内容を設定し、オリジナルフォームを作ります。

1 詳細表示画面を表示します。

2 操作メニュー キー、操作 タブ、オリジナルフォーム作成 にタッチし、続けて 新規作成 にタッチします。
新規フォーム作成画面が表示されます。

3 項目名を入力し、印字の設定を指定し、終了 にタッチします。
オリジナルフォーム登録画面が表示されます。

4 フォーム名と登録先を指定し、登録 にタッチします。
作成したフォームが、登録先に指定したレポートまたは自由帳の用紙(フォーム)選択画面の「オリジナル」に登録されます。

メモ
- **データのタイトル名について**
  先頭の項目に入力された文字がデータのタイトル名になります。先頭の項目名は、データの内容を表す名称にしてください。
- レポートまたは自由帳用紙(フォーム)選択画面で 新規フォーム作成 にタッチしても新しいフォームを作ることができます。

● **自動入力項目名について**

次の項目名をつけた項目は、自動入力項目として日付や名前が自動的に入力されます。

- **日付入力** …… 「日付」「作成日」「記入日」「報告日」「送付日」「□業務日」「□出 張 日」
- **所属・名前入力** …… 「報告者」「発信者」「出張報告者」(*)
- **会社名・所属・名前入力** 「送付者」「差出人」(*)

*:これらは、あらかじめ所有者情報登録をしておく必要があります(☞「所有者情報」の章)。

既存のフォームを利用して新しく作る

表示されているデータのフォームを変更してオリジナルフォームを作ります。

1 データを表示し、操作メニューキー、操作タブ、オリジナルフォーム作成にタッチし、続けてフォームを利用して作成にタッチします。

新規フォーム作成画面が表示されます。

2 フォームを変更し、終了にタッチします。

オリジナルフォーム登録画面が表示されます。

3 フォーム名と登録先を指定し、登録にタッチします。

作成したフォームが、登録先に指定したレポートまたは自由帳の用紙(フォーム)選択画面の「オリジナル」に登録されます。

● 自由帳の「メモ」のフォームはオリジナルフォームに登録できません。

表示中のデータのフォームを新しいフォームにする

表示されているデータのフォームをそのままオリジナルフォームとして登録します。

1 データを表示し、操作メニューキー、操作タブ、オリジナルフォーム作成にタッチし、続けてフォームを登録にタッチします。

オリジナルフォーム登録画面が表示されます。

2 フォーム名と登録先を指定し、登録にタッチします。

作成したフォームが、登録先に指定したレポートまたは自由帳の用紙(フォーム)選択画面の「オリジナル」に登録されます。

● 自由帳の「メモ」のフォームはオリジナルフォームに登録できません。

オリジナルフォームの用紙を開く

作成したオリジナルフォームの用紙を開いてデータを作ります。
新しく作ったフォームは、レポートまたは自由帳の「オリジナル」に登録されています。

❶一覧画面で
新規作成にタッチ

❷使用するオリジナルフォームの登録先にタッチ

自由帳用紙（フォーム）選択画面

❸オリジナルにタッチし、オリジナルフォーム選択画面を表示

❹使用するフォーム名に1回または2回タッチ

❺データを入力し登録

オリジナルフォームを修正・削除する 修正・削除

作成したオリジナルフォームを修正・削除します。

1 一覧画面で、新規作成にタッチします。
用紙(フォーム)選択画面が表示されます。

2 修正するオリジナルフォームの登録先(レポートまたは自由帳)にタッチします。

3 オリジナルにタッチします。
オリジナルフォーム選択画面が表示されます。

4 修正するオリジナルフォーム名にタッチし、修正にタッチします。
フォーム修正画面が表示されます。

5 フォームを修正し、終了にタッチします。
オリジナルフォーム登録画面が表示されます。

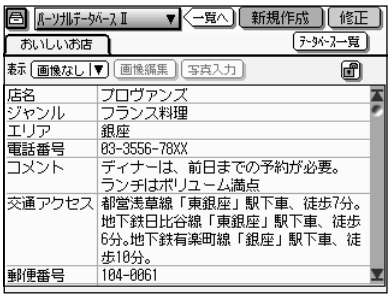
6 フォーム名と登録先を指定し、登録にタッチします。

● **オリジナルフォームを削除するには**
オリジナルフォーム選択画面で削除するフォーム名にタッチし、削除にタッチします。

パーソナルデータベースII

パーソナルデータベースIIでは、何ができるの？

パーソナルデータベースIIでは、あらかじめ用意されている入力形式（フォーム）に合わせてデータを入力し、身の回りの情報を整理し活用できます。街や雑誌などで見つけた情報を、「おいしいお店」や「スポット情報」、「シネマ&ステージ」などのフォームに合わせてデータを入力していくと、プライベートやビジネスで活用できる自分だけの情報誌を作ることができます。
フォームには、文字（テキスト）情報だけでなく、手書きのメモやフォトメモリーデータ、インターネットで取り込んだ画像、別売のデジタルカメラカード（CE-AG06）で撮影した写真などを貼り込んで整理できるので、さらに楽しく便利に活用することができます。
また、自分で独自のフォームを作成し、オリジナルのパーソナルデータベースを作ることもできます。



あらかじめ用意されているフォームに従ってデータを作ることができる

手書きのメモやデジタルカメラカードで撮影した写真などをパーソナルデータベースに貼り込み、表示することができる

パソコン用データベースソフトのMicrosoft Access 2000またはMicrosoft Access 97とデータをやり取りするには？

ザウルスパワーリンク for Microsoft Access 2000/97（別売のパソコン連携キット（CE-P10PK）に付属）をパソコン用データベースソフトのMicrosoft Access 2000またはMicrosoft Access 97に組み込むと、この製品とMicrosoft Access 2000またはMicrosoft Access 97との間でデータのやり取りをすることができます。パソコンで作成したデータベースをこの製品で持ち運んだり、この製品のパーソナルデータベースII機能で入力したデータをパソコンに移して管理したりすることができます。

※Microsoftは米国マイクロソフト社の登録商標です。
※Microsoft Accessはマイクロソフト社の製品です。

使ってみましょう

「使ってみましょう」(☞228〜235)は、パーソナルデータベースIIを初めて使われる方を対象に、基本的な使いかたをやさしく説明しています。さらにくわしい操作方法や「使ってみましょう」に含まれていない機能については、236ページ以降をご覧ください。

新しいパーソナルデータベースのデータを入力する

新しいパーソナルデータベースにデータを入力する方法には、次の3つがあります。

- あらかじめ決まっている入力形式(フォーム)を利用して、新しいデータを入力する(☞このページ)
- 自分で独自のフォームを作成し、データを入力する(☞248ページ)
- パソコン用データベースソフトMicrosoft Access 2000またはMicrosoft Access 97で作ったデータベースをこの製品に取り込み、そのフォームを利用してデータを入力する(☞227、260ページ)

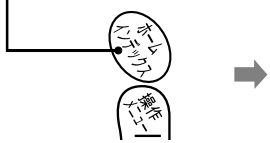
あらかじめ決まっている入力形式を利用して、新しいデータを入力する

入力項目や入力する内容などの入力形式(フォーム)があらかじめ決まっているパーソナルデータベースに新しいデータを入力します。

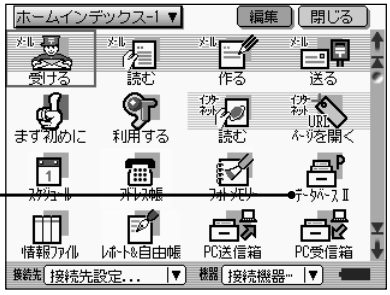
ここでは、あらかじめ用意されている「おいしいお店」に、新しいお店のデータを入力します。

1 パーソナルデータベースIIの新規データ入力画面を示します。

❶ ホームインデックス キーに数回タッチする

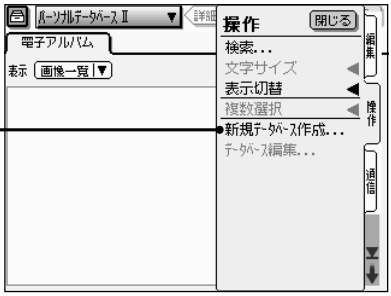


❷ データベースII アイコンにタッチする



ホームインデックス1画面

❸ 操作メニュー キーにタッチし、操作 タブ、新規データベース作成... にタッチする



❹ 内蔵フォームを利用 にタッチする

❺ 利用したいフォーム（ここでは「おいしいお店」）にタッチして選択する

❻ 選択 にタッチする

内蔵フォーム一覧画面

❼ 登録 にタッチする

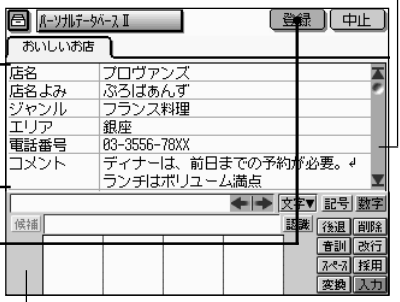
データベース編集画面

❽ データ入力確認メッセージで はい にタッチする

2 各項目にデータを入力し、登録します。

❶ 各項目にデータを入力する
必要な項目のみ入力する

スクロールすると、隠れている項目を表示できる



❷ 登録にタッチする

各項目に入力できる文字の種類によって入力ボードが変わる

新規作成画面

- **項目に入力できるデータについて**
  「URL」項目やスポット情報の「最近の利用日」など、一部の項目では入力できる文字の種類に制限があります。
- 写真や手書きの画像などを貼り込んだり、メモなどを手書きする操作は、239ページをご覧ください。
- **すでにデータが入力されているパーソナルデータベースに新しいデータを追加する**
  詳細表示画面や一覧画面で、**新規作成**にタッチします。新規作成画面で各項目にデータを入力し、**登録**にタッチします。

データを見る

「おいしいお店」のデータを表示します。項目一覧画面では、次のようにしてデータを探しやすくできます。

- 項目を選択してデータを50音順またはシフトJIS順に並べ替える
- 項目の表示幅を変更する

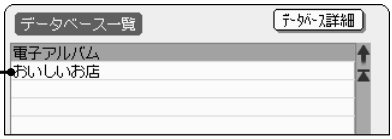
また、詳細表示画面では、画像データのある/なしを切り替えることができます。

1 項目一覧画面を表示します。

❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で データベースII アイコンにタッチする

❷ データベース一覧 にタッチする

❸ 見たいパーソナルデータベースに1回または2回タッチする



データベース一覧画面

項目一覧画面

2 データの並び順を替えます。

❶ 「ジャンル」にタッチし、「ジャンル」の項目を基準にデータを並び替える

もう一度タッチすると逆順に並び替わる

項目名にタッチすると、その項目を基準にしてデータが並び替わる

3 項目の表示幅を変えます。また、詳細表示画面にデータを表示します。

❶ 項目の右側の区切り線にタッチしたまま右にずらす

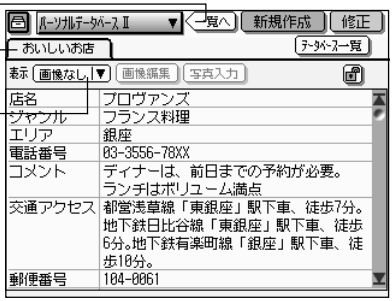
❷ 見たいデータに1回または2回タッチする

スクロールバーの左側にある区切り線にタッチしたまま左にずらすと項目が増える（最大5項目まで）

一覧画面へ

タブにタッチすると、一覧画面を表示する

表示切り替えボタン



詳細表示画面

● 項目に読み項目が設定されている場合は

「店名」に対して「店名読み」などの読み項目が設定されているときは、「店名」などの項目名にタッチすると、「読み」の50音順またはその逆順に並びが替わります。

● 項目に読み項目が設定されていない場合は

項目名にタッチすると、シフトJISまたはその逆順に並びが替わります。

● 表示する項目数を減らすには

区切り線にタッチしたまま右にずらし、スクロールバーまでずらします。

● 写真や手書きのメモなどが貼り込まれているときは

画像一覧画面や詳細表示（画像あり）画面で、貼り込んだデータを見ることができます。それらの画面の切り替えかたは246ページの「データを表示する」をご覧ください。

● 一覧画面、詳細表示画面の表示は、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**表示切替**にタッチし、**項目一覧**または**画像一覧**、**詳細（画像なし）**、**詳細（画像あり）**にタッチしても切り替えることができます。**項目一覧**にタッチすると項目一覧画面、**画像一覧**では画像一覧画面、**詳細（画像なし）**では詳細表示（画像なし）画面、**詳細（画像あり）**では詳細表示（画像あり）画面が表示されます。なお、**詳細（画像）**にタッチすると、詳細表示（画像あり）画面に表示されている画像だけを表示する画像表示画面が表示されます。

項目一覧画面に表示する項目を変える

表示する項目を変えると、別の角度からデータを探したり、必要な情報だけを見たりできます。

ここでは、「ジャンル」項目を「電話番号」項目に変えます。

1 項目一覧画面に表示する項目を変えます。

❶ 項目名にしばらくタッチしたままにすると、項目リストが表示される
そのままペンをずらして切り替える項目まで移動してから離す

「電話番号」項目にタッチすると、シフトJIS順に並びを切り替えることができる

データを修正する

データを修正します。

1 **修正するデータを表示します。**
一覧画面では、修正したいデータにタッチして選択します。

2 **修正にタッチします。**

3 **データを修正し、登録にタッチして登録します。**

データを削除する

データを削除します。

1データを削除する

1 **一覧画面で削除するデータにタッチして選択します。または、削除したいデータを詳細表示画面に表示します。**

2 **操作メニューキー、編集タブ、削除、1データにタッチします。**

3 **確認のメッセージで、はいにタッチします。**
データが削除されます。

選択した複数のデータをまとめて削除する

複数のデータを選択してまとめて削除するときは、項目一覧画面を複数選択可に変えてから行います。

❶ 項目一覧画面で[操作メニュー]キー、[操作]タブ、[複数選択]、[複数選択可]にタッチする

❷ 削除するデータの ☐ にタッチして ☑ に変える

❸ [操作メニュー]キー、[編集]タブ、[削除]、[複数選択データ]にタッチする

❹ 確認のメッセージで[はい]にタッチする

パーソナルデータベース内のすべてのデータを削除する

指定したパーソナルデータベース内のすべてのデータを削除します。フォームそのものは削除されません。

1 一覧画面に削除するパーソナルデータベースを表示します。または、削除するパーソナルデータベースのデータを詳細表示画面に表示します。

2 [操作メニュー]キー、[編集]タブ、[削除]、[データベース内全データ]にタッチします。

3 確認のメッセージで、[はい]にタッチします。
指定したパーソナルデータベース内のすべてのデータが削除されます。

- **データベースそのものを削除するには**
  データベース内の全データを含めてデータベースそのものを削除するときは、手順 **2**で[操作メニュー]キー、[編集]タブ、[削除]、[1データベース]にタッチします。
- **シークレット機能が設定されているときは**
  1データの削除以外はできません。シークレット機能を解除してから削除してください(☞369ページ)。

ここからは、くわしい説明

236～263ページは、「使ってみましょう」よりくわしい操作説明や、「使ってみましょう」に含まれていない機能について説明しています。
パーソナルデータベースII機能について、便利な機能が使えるようになります。

すでに用意してあるフォームについて

パーソナルデータベースIIには、あらかじめ19個のフォームが用意されています。あらかじめ用意されたフォームをそのまま利用したり、少し変更して自分なりのパーソナルデータベースを作ることもできます。
あらかじめ用意されたフォームをそのまま利用してデータを入力する操作については、「使ってみましょう」の「新しいパーソナルデータベースのデータを入力する」をご覧ください。

フォームの種類

- 電子アルバム
- お泊まりガイド
- グッズ/アイテム
- クッキングレシピ
- レンタルビデオ&CD
- インターネット情報
- 時刻表
- スポット情報
- 企業情報
- ソフト&ゲーム
- 飲み物辞典
- ミュージックナビ
- フリーメモ
- おいしいお店
- Book情報
- イベント情報
- シネマ&ステージ
- ビジネスニュース
- ダイアリー

●「電子アルバム」は、フォームを削除したり変更することができません。

内蔵フォームについて

●電子アルバム
手書きした画像や別売のデジタルカメラカード（CE-AG06）で撮影した写真を登録できるフォームです。
画像情報を中心に扱うため、このフォームを選択した状態では、ほかのフォームとは異なる動作になります（☞238ページ）。

●スポット情報
さまざまなスポット（場所）の情報を入力することができます。

●おいしいお店
レストランなどの情報を入力します。

●お泊まりガイド
ホテルや旅館などの情報を入力します。

●企業情報
企業の情報を入力します。

●Book情報
購入したい本や購入した本の情報を入力します。

●グッズ/アイテム
さまざまな商品の情報を入力します。

●ソフト&ゲーム
パソコンソフトやゲームソフトの情報を入力します。

●イベント情報
ショーや催しものなどの情報を入力します。

●クッキングレシピ
さまざまな料理のレシピを入力します。

●飲み物辞典
ワインやカクテルなどの情報を入力します。

●シネマ&ステージ
映画・演劇などの情報を入力します。

●レンタルビデオ&CD
ビデオやCDの情報を入力します。

●ミュージックナビ
好きな歌の情報を入力します。

●ビジネスニュース
仕事に関連したニュースなどを入力します。

●インターネット情報
ホームページの情報を入力します。

●フリーメモ
思いつきやメモを入力します。

●ダイアリー
毎日の日記をつけられます。

●時刻表
列車、バス、飛行機などの時刻表を入力します。

電子アルバムについて

電子アルバムとは、手書きでメモや画像を描いたり、別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)で撮影した画像データを登録したりするなど、画像を中心としてデータを扱えるパーソナルデータベースⅡの1つのフォームです。
最初に文字を入力し、データを登録してから写真や手書きの画像を貼り込む、ほかのパーソナルデータベースⅡのフォームとは異なり、電子アルバムは最初に画像データを入力して、後から撮影場所やコメントなどの文字情報をつけることができます。

画像をアルバム風に一覧

写真にコメントをつけて
思い出に残るアルバム作り

- 電子アルバムは画像を中心に取り扱う目的で作られているので、ほかのパーソナルデータベースⅡのフォームとは違った動作をします。
  主な違いは、次の点です。
  - 画像一覧画面からは、画像データのみを取り扱う画像表示画面にしか移らない
  - タイトルや日付、コメントなどの情報を表示/修正するには、まず詳細表示(画像なし)画面にしてから操作する
- **電子アルバムで手書きのデータを作成する方法は**
  画像一覧画面または画像表示画面で**新規作成**にタッチします。手書きでの画像の描きかたや画像データの編集は、「フォトメモリー」と同じです。「フォトメモリー」の章をご覧ください(☞264ページ)。
- **デジタルカメラカード(CE-AG06)で撮影した写真を電子アルバムに登録する方法は**
  電子アルバムの詳細表示(画像あり)画面で**写真入力**にタッチし、デジタルカメラ画面を表示します。デジタルカメラ画面での操作方法は「デジタルカメラ」の章をご覧ください。
  なお、撮影モードと画質を「ドキュメント」にして撮影した写真は電子アルバムのデータになります。
- 電子アルバムでは、次のサイズの画像データを扱うことができます。
  手書きで入力した画像データは、GIF形式になります。撮影モードと画質を「ドキュメント」にして撮影した写真はPNG形式になります。
  GIF形式 …… 2048×2048ドット以下
  PNG形式 …… 2000×2000ドット以下
  JPEG形式 …… 2000×2000ドット以下
- 「通常サイズの表示」の場合、もとのデータの左上から1024×1024ドットの範囲しか表示できません。このとき修正、登録するともとのデータの左上から1024×1024ドットの範囲に切り取られて登録されます。

写真や手書きの画像などを貼り込む

詳細表示(画像あり)画面では、別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)で撮影した写真をその場で入力したり、画像を手書きすることができます。

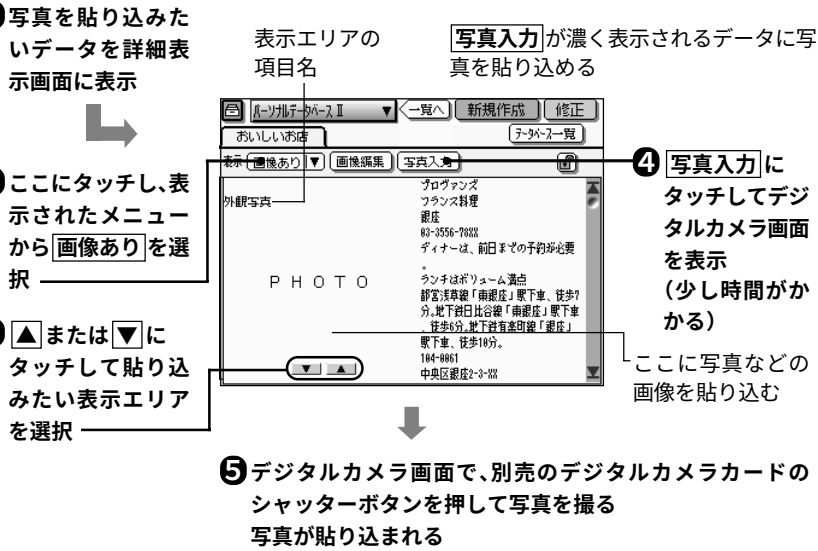
写真などの画像を貼り込むには、次の6つの方法があります。

- 別売のデジタルカメラカードでその場で撮影した写真を貼り込む
- 新しく手書きした画像を貼り込む
- フォトメモリーの写真データや以前手書きした画像を貼り込む
- 電子アルバムの画像を貼り込む
- 写真や手書きの画像などの一部分を貼り込む
- インターネットやパソコンなどから取り込んだ画像データを貼り込む

●「入力タイプ」が「イメージ」に設定されている項目があるパーソナルデータベースに写真などの画像を貼り込むことができます。
また、写真などの画像を貼り込めるデータの詳細表示(画像あり)画面には**写真入力**と**画像編集**の両方が濃く表示されます。

その場で写真を撮影して貼り込む

詳細表示(画像あり)画面に表示したパーソナルデータベースⅡのデータに、別売のデジタルカメラカードで写真を撮影してその場で貼り込みます。
別売のデジタルカメラカードの接続のしかたは、別売のデジタルカメラカードの取扱説明書をご覧ください。また、写真の撮りかたについては、「デジタルカメラ」の章をご覧ください。

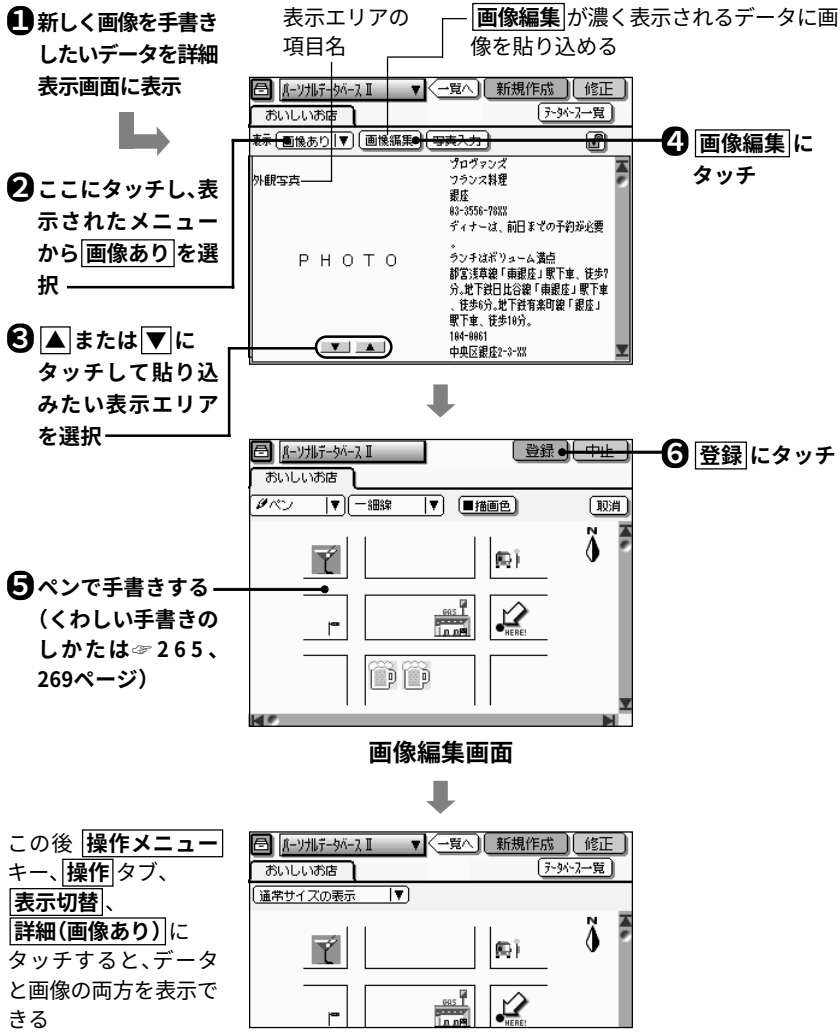


● **別の写真と差し替えるには**
手順 ❸ で差し替える前の写真を表示し、手順 ❹ 以降の操作を行います。新しく撮った写真に差し替わります。

● **フォトメモリーに保存した写真データを貼り込むには**
「フォトメモリーの写真データや以前手書きした画像を貼り込む」(☞次ページ)をご覧になり、貼り込んでください。

新しく手書きした画像を貼り込む

詳細表示(画像あり)画面に表示したパーソナルデータベースⅡのデータに、画像編集機能を使って新しく手書きした地図やメモなどを貼り込みます。



フォトメモリーの写真データや以前手書きした画像を貼り込む

フォトメモリーの写真データや手書きの画像などを、パーソナルデータベースIIのデータに貼り込みます。

1 フォトメモリーからパソコンデータに写真データを送り出します。

❶フォトメモリーの画面で、操作メニュー キー、通信 タブ、読込/送出、PCデータに送出... にタッチ

❷パソコンデータ送出画面で、貼り込みたいデータの□にタッチして選択し、実行 にタッチ

❸確認のメッセージで 確認 にタッチ

2 パーソナルデータベースIIでパソコンデータから写真データを読み込みます。

❶画像を貼り込むパーソナルデータベースのデータを詳細表示画面に表示

❷ここにタッチし、表示されたメニューから 画像あり を選択

❸▲ または ▼ にタッチして貼り込みたい表示エリアを選択

画像編集 と 写真入力 が濃く表示されているデータに写真などの画像を貼り込める

❹ 操作メニュー キー、通信 タブ、読込/送出、画像PCデータを読込... にタッチ

❺手順 1 で送り出したデータの□にタッチして選択し、実行 にタッチ

❻確認のメッセージで はい にタッチし、続けて 確認 にタッチ

電子アルバムの画像を貼り込む

パーソナルデータベースIIの電子アルバムの画像データを、ほかのパーソナルデータベースのデータに貼り込みます。

1 貼り込みたい電子アルバムの画像を複写します。

❶貼り込みたい写真などの画像が、画像表示画面に表示されていることを確認

❷ 操作メニュー キー、編集 タブ、画像複写 にタッチ

2 複写した画像をデータに貼り込みます。

❶画像を貼り込むデータを詳細表示画面に表示

❷ここにタッチし、表示されたメニューから 画像あり を選択

❸ ▲ または ▼ にタッチして貼り込みたい表示エリアを選択

画像編集 と 写真入力 が濃く表示されているデータに写真などの画像を貼り込める

❹ 操作メニュー キー、編集 タブ、画像貼込 にタッチ

● パーソナルデータベースIIのデータに貼り込まれている写真などの画像を複写するときは、手順 1の ❶ で詳細表示(画像あり)画面を表示し、▲ または ▼ にタッチして複写したい写真などの画像を表示エリアに表示します。この後、手順 1の ❷ に移ります。

写真や手書きの画像などの一部分を貼り込む

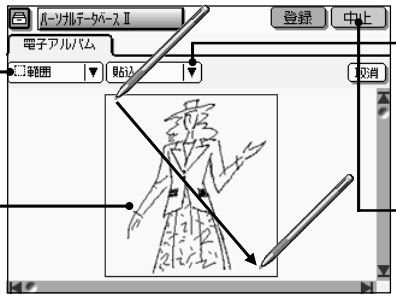
パーソナルデータベースⅡの画像編集画面で写真や手書きの画像などの一部分を複写し、ほかのデータに貼り込みます。

ここでは、電子アルバムの画像の一部分を貼り込みます。

1 貼り込みたい電子アルバムの写真や手書きした画像を複写します。

❶電子アルバムの画像一覧画面で、画像に1回または2回タッチして画像表示画面に表示

❷ 修正 にタッチし、画像編集画面を表示



❸ここにタッチし、表示されたメニューから 範囲 を選択

❹なぞって複写したい範囲を編集枠で囲む

❺ここにタッチし、表示されたメニューから 複写 を選択

❻ 中止 にタッチし、確認のメッセージで はい にタッチ

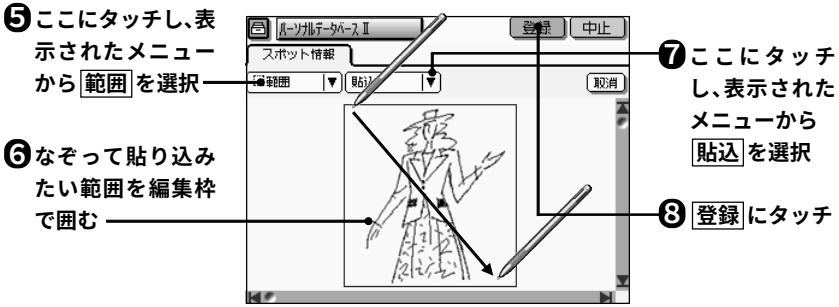
2 画像の一部分をデータに貼り込みます。

❶画像を貼り込むデータを詳細表示画面に表示

❷ここにタッチし、表示されたメニューから 画像あり を選択

❸ ▲ または ▼ にタッチして貼り込みたい表示エリアを選択

❹ 画像編集 にタッチ



● 貼り込みかたについて

複写した画像は、貼り込む範囲を指定した編集枠の左上を起点として貼り込まれます。編集枠の大きさに関係なく、複写した画像がすべて貼り込まれます。

「パソコンデータ」に取り込まれた画像データを貼り込む

インターネットやパソコンなどからこの製品の「パソコンデータ」に取り込んだ画像データは、パーソナルデータベースIIの電子アルバムの写真として読み込むことができます。

インターネットやパソコンなどから画像データを取り込む方法については、「パソコンデータの読み込み(インポート)と送り出し(エクスポート)」の章および「インターネット(2)」の章の「画像を保存する」を参照してください。

写真などの画像を加工・修正する

データに貼り込まれている写真などの画像を加工・修正します。

❶画像を加工・修正するデータを詳細表示画面に表示

❷ここにタッチし、表示されたメニューから画像ありを選択

❸▲または▼にタッチして加工・修正したい画像を表示

❹画像編集にタッチし、画像編集画面を表示

❺フォトメモリーと同じようにして、画像を加工・修正（☞268、271ページ）

❻登録にタッチして登録

貼り込んだ写真などの画像を削除する

データに貼り込まれている写真などの画像を削除します。

❶画像を削除するデータを詳細表示画面に表示

❷ここにタッチし、表示されたメニューから画像ありを選択

❸▲または▼にタッチして削除する画像を表示

❹操作メニューキー、編集タブ、画像削除にタッチし、確認のメッセージではいにタッチ

データを表示する

パーソナルデータベースIIには、いろいろな表示方法があります。ここでは、各画面の切り替えについて説明しています。基本的な表示方法や一覧画面での項目の表示数や並びの変更については、この章の「データを見る」をご覧ください。

●一覧画面を表示する

項目一覧画面と画像一覧画面があり、「表示」の右枠にタッチし、**項目一覧**または**画像一覧**にタッチして切り替えます。

項目一覧画面

項目一覧画面は、たくさんの情報から目的の情報を探し出すのに使います。

画像一覧
↓
項目一覧

画像一覧画面

画像一覧画面には、イメージ項目に貼り込まれている画像の一覧が表示されます。1つのフォームに複数の画像が貼り込まれている場合は、最初のイメージ項目に貼り込まれている画像のみが表示されます。最初のイメージ項目に何も貼り込まれていない場合、画像は表示されません。

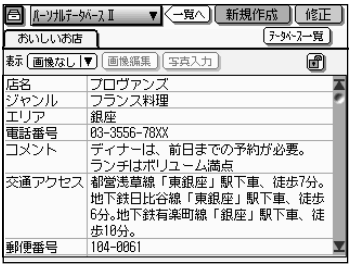
●詳細表示画面を表示する

項目一覧画面または画像一覧画面で、**詳細へ**にタッチして表示します。
詳細表示（画像あり）画面と詳細表示（画像なし）画面があり、「表示」の右枠にタッチし、**画像あり**または**画像なし**にタッチして切り替えます。
また、詳細表示（画像あり）画面で画像にタッチすると、画像表示画面を表示できます。詳細表示画面に戻すには、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**表示切替**に続けて**詳細（画像あり）**または**詳細（画像なし）**にタッチします。
詳細表示画面の**一覧へ**にタッチすると、項目一覧画面から詳細表示画面を表示したときは項目一覧画面に、画像一覧画面から表示したときは画像一覧画面に戻ります。

詳細表示(画像あり)画面

詳細表示(画像あり)画面では、1つの画像項目と文字情報が同時に表示されます。画像項目が複数ある場合は、画像の下部にある▼、▲にタッチして表示する画像を切り替えることができます。表示中の画像項目に対して、**画像編集**や**写真入力**にタッチして、手書きの画像の登録や別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)などから写真の貼り込みなどができます。

画像なし → ← **画像あり**



詳細表示(画像なし)画面

詳細表示(画像なし)画面では、項目の名前とその項目に入れてある情報が表示されます。データが入っていない項目は表示されません。

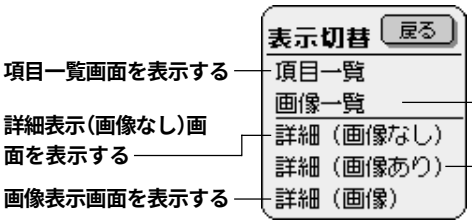
画像にタッチ ↓　↑ **操作メニュー**キー、**操作**タブ、**表示切替**、**詳細(画像あり)にタッチ**

画像表示画面

画像表示画面は、画像のみの表示画面です。詳細表示(画像あり)画面で画像にタッチすると、この画面が表示されます。また、**通常サイズの表示**などの「サイズ表示」にタッチしてから表示された**フルスクリーン表示**にタッチすると、画面いっぱいに表示します。**戻る**(電源)ボタンを押すと、通常サイズの表示に戻ります。

● **操作メニューで切り替えるには**

操作メニューキー、**操作**タブ、**表示切替**にタッチし、表示切替サブメニューを表示します。続けて表示する画面のメニューにタッチします。



● **画像表示画面について**

通常サイズの表示などの「サイズ表示」にタッチすると、「半分のサイズ」「2倍のサイズ」「フルスクリーン」など、画像の大きさを切り替えることができます。隠れている部分はスクロールバーにタッチしたり、ペンで画面にタッチしたままスライドさせて表示します。表示できる画像データの大きさは、画面左上から1024ドット×1024ドットまでです。それ以上の大きさの画像データを貼り込んでも表示できません。

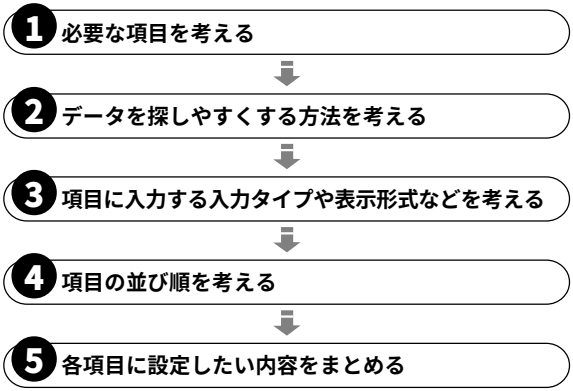
フォームを作る

フォームを作るには、次の3つの方法があります。

- 新しいオリジナルフォームを作る(☞252ページ)
- 内蔵フォームを利用して新しいフォームを作る(☞259ページ)
- パソコン用データベースソフトで作ったフォームを利用する(☞260ページ)

新しいフォームの作りかた

内蔵フォームにない新しいパーソナルデータベースを使うには、次のような流れでどんな項目を作り、どんな内容を入力するかを決めてフォームを作る必要があります。



● **内蔵フォームの利用**

あらかじめ用意されているサンプルのフォームを使うこともできます(☞228ページ)。また、サンプルのフォームの項目の順番や項目名などを自由に変えて、オリジナルのフォームに変更することもできます。

ここでは、これまでに観た美術館や、これから行きたい美術館のデータを入れていく「美術館めぐり」というパーソナルデータベースのフォームを例として作っていきます。

必要な項目を検討する

次の点を検討して、必要な項目を決めます。

- **よく調べる項目は何か？**
  住所録では氏名や住所など、顧客名簿ではお客様名や住所、電話番号など、よく調べる項目や必要不可欠な項目を検討します。
- **あると役に立つ項目は何か？**
  趣味や家族構成、社員数など現在わかっている情報や調べればすぐわかる情報から、あると役に立つ項目を検討します。

例 「美術館めぐり」では？

よく調べる項目として、次の項目を取り上げます。

美術館名、住所、入館料、開館時間、閉館時間、地図

また、あると役に立つ項目として、次の項目を取り上げます。

電話番号、主な作品、URL

● 必要な項目を考えるときのヒント

パーソナルデータベースに数多くの項目があると、探すのに手間がかかったり、データを入力するのに時間がかかります。項目は後で増やすことができるので、よく調べる項目と、あると役に立つ項目に整理して項目を選び出してください。あると役に立つ項目は、現在その内容がわかっているものや調べればすぐわかるものにします。

データを探しやすくする項目を検討する

次の点を検討して、データを探しやすくする項目を決めます。

- **どのような順にデータを並べるか？**
  氏名の読みなどでデータを調べるとき、読みの50音順に並び替えると、データを探しやすくなります。
  パーソナルデータベースⅡでは、項目一覧画面で項目名にタッチすると、50音順またはシフトJIS順にデータを並べ替えることができます。
- **データを分類する項目は必要か？**
  地域別、担当者別などにデータを分類して調べるときは、それぞれの「読み」の項目を設定すると、50音順に並び替わり、データを探しやすくなります。

例 「美術館めぐり」では？

データを並べ替える項目として、次の項目を取り上げます。

美術館名読み …… 美術館の名前（美術館名の読み）の50音順で探せるように読み項目として設定する

また、データを分類する項目として、次の項目を取り上げます。

所在地読み …… 美術館の所在地（都道府県名）で探せるようにする

● データを探しやすくするときのヒント

数多くのデータからすばやく探せるようにしておくと、パーソナルデータベースⅡが使いやすいものになります。

名前の読みなど、データを並べ替える項目と、地域別や担当者別などデータを分類する項目を作ると、データが探しやすくなります。

各項目に入力するデータの種類や表示形式などを検討する

次の点を検討して、各項目に入力するデータの種類や表示形式を決めます。

- **項目にどんな形式で入力するか？**

  各項目によって入力する内容が違い、必要に応じて項目ごとに形式を変えます。

  氏名や住所などの漢字混じりの文字を入力するときは、項目設定画面で「テキスト」を選びます。入会年月日や開店時間などを入力するときは、項目設定画面で「日付/時刻」を選び、日付/時刻項目設定画面の「入力タイプ」で「年月日」や「時分」などを選びます。

  英数字が入っている会員IDや数字だけの会員番号では、項目設定画面で「テキスト」を選び、テキスト項目設定画面にタッチし、入力文字制限画面で「数字」と「アルファベット」を選びます。

  宿泊費や料金などの金額では、項目設定画面で「数値」を選び、数値項目設定画面の「コンマ」で**あり**を選びます。

  手書きしたデータやフォトメモリーで作ったデータ、インターネットから取り込んだ画像、別売のデジタルカメラカードで撮影した写真を入れるときは、項目設定画面で「イメージ」を選びます。

例 「美術館めぐり」では？

美術館名、住所など … 自由に入力できるようにする

美術館名読み …… ひらがなを入力して、美術館名が50音順に並び替わるようにする。登録するデータには表示されない

電話番号 …… 数字や「-」などの記号が入力できるようにする

URL …… 半角の英数字が入力できるようにする

入館料 …… 入力した数字を3桁ごとにコンマで区切って表示できるようにする

開館時間、閉館時間 … 「11:05AM 」や「11:05」という形式で表示できるようにする

地図 …… 手書きしたメモやフォトメモリーで作成した地図、インターネットやパソコンから取り込んだ近隣の地図、別売のデジタルカメラカードで撮影した写真を貼り込んで表示できるようにする

● 入力する形式を考えるときのヒント

何でも入力できるようにすると、データの検索や並べ替えが思っている通りにできないことがあります。いくつかのサンプルをもとに、電話番号やFAX番号では「-」で数字を区切るなどと、各項目に何を入力するかを決めます。

項目の並び順を検討し、データを探しやすくする

次の点を検討して、各項目の並び順を決めます。

- **データを入力しやすい順番は？**
- **データを表示したときに見やすい順番は？**
- **写真などの画像は？**

項目一覧画面では、最大5項目まで表示することができます。入力タイプが「イメージ」に設定されている項目に貼り込んだデータは、項目の並び順に関係なく、詳細表示（画像あり）画面や画像一覧画面に表示されます。このような項目は並び順の最後に置いても問題ありません。

※項目の並び順はデータを入力した後でも簡単に変更できます（☞254ページ）。

※項目一覧画面で表示する項目は簡単に切り替えることができます（☞233ページ）。

●設定例

	項目名	設定したい内容	設定する方法	
			入力タイプ	詳細設定
1	美術館名	自由に文字を入力できるようにする 先頭の項目にする	テキスト	• 入力文字制限：全て許可
2	美術館名読み	美術館名の読みを入力し、「美術館名」を50音順に並べ替え、データを探しやすくする	テキスト	• 読み項目にする • 読みを参照する項目：「美術館名」
3	住所	自由に文字を入力できるようにする	テキスト	• 入力文字制限：全て許可
4	所在地読み	都道府県名の読みを入力し、「住所」を50音順に並べ替え、データを探しやすくする	テキスト	• 読み項目にする • 読みを参照する項目：「住所」
5	電話番号	数字や「-」を入力できるようにする	テキスト	• 入力文字制限：半角のアルファベット/数を許可
6	主な作品	自由に文字を入力できるようにする	テキスト	• 入力文字制限：全て許可
7	入館料	入力した数字を3桁ごとにコンマで区切って表示できるようにする	数値	• コンマ：あり
8	URL	英数字・記号を入力できるようにする	テキスト	• 入力文字制限：半角のアルファベット/数を許可 • 項目識別：URL
9	開館時間	数字を入力して「10:00AM」や「10:00」という形式で表示できるようにする	日付/時刻	• 入力タイプ：時分
10	閉館時間	数字を入力して「5:00PM」や「17:00」という形式で表示できるようにする	日付/時刻	• 入力タイプ：時分
11	地図	手書きした地図や、インターネットやパソコンから取り込んだ近隣の地図を貼り込んで表示できるようにする	イメージ	—

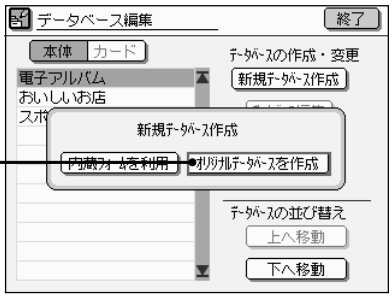
新しいオリジナルフォームを作る

ここでは、新しいフォームを作る基本的な流れを説明しています。各項目の「入力タイプ」などのくわしい内容は、「各項目を設定する」(☞254ページ)をご覧ください。

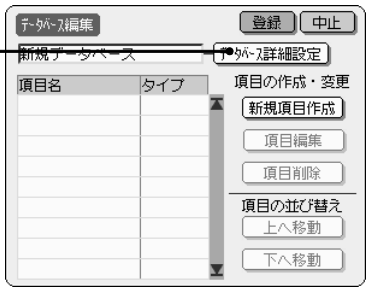
1 パーソナルデータベース名を入力します。

❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で データベースII アイコンにタッチ

❷ 操作メニュー キー、操作 タブ、新規データベース作成... にタッチ



❸ オリジナルデータベースを作成 にタッチ



❹ データベース詳細設定 にタッチ

データベース編集画面

❺ パーソナルデータベース名を入力

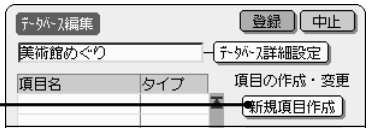
データベース詳細設定画面について、くわしくは255ページをご覧ください

❻ 設定 にタッチ

データベース詳細設定(基本設定)画面

2 項目名と入力タイプなどを設定します。

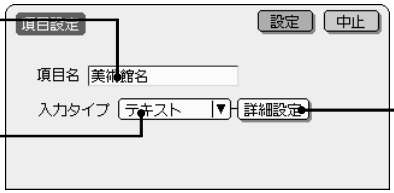
❶ 新規項目作成 にタッチ



❷ 項目名を入力

❸「入力タイプ」の右枠にタッチし、入力タイプを選択

「入力タイプ」について、くわしくは256ページをご覧ください。

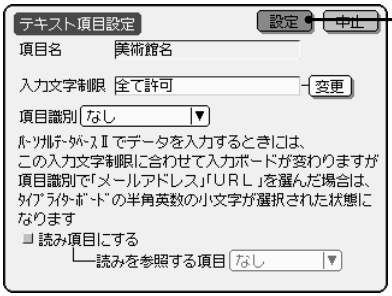


❹ 詳細設定 にタッチ

項目設定画面

❺ 各項目を設定

選択した入力タイプによって表示される画面が異なる
各項目設定画面について、くわしくは257、258ページをご覧ください。



❻ 設定 にタッチ

テキスト項目設定画面

❼ 項目設定画面で 設定 にタッチ

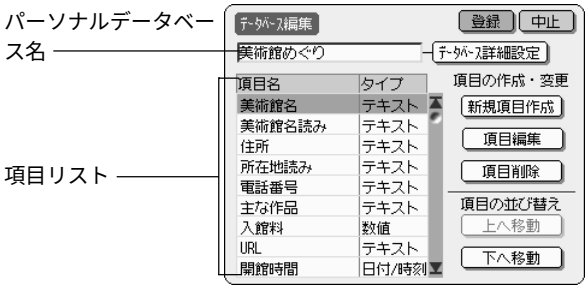
❽ 項目が設定されたことを確かめ、手順❶～❼を繰り返し新しい項目を設定する

❾ 設定が終了したら 登録 にタッチ

❿ 確認のメッセージが表示される。
続けてデータを入力するときは、はい にタッチ
後でデータを入力するときは いいえ にタッチし、終了 にタッチ

● 1つのパーソナルデータベースでは、35項目まで設定できます。ただし、「イメージ」は、3項目分として数えます。

各項目を設定する



データベース編集画面

データベース編集画面の説明

◆パーソナルデータベース名

パーソナルデータベース名が表示されます。枠内にタッチするとパーソナルデータベース名などを設定するデータベース詳細設定画面(☞次ページ)が表示されます。

◆データベース詳細設定

パーソナルデータベース名などを設定するデータベース詳細設定画面が表示されます(☞次ページ)。

◆項目リスト

データベース内の項目が順番に表示されます。ここでの項目順番に従って詳細表示画面や一覧画面に表示されます。

◆新規項目作成

新しい項目を設定する項目設定画面(☞256ページ)が表示されます。作成された項目は項目リストで選択されている項目の下に追加されます。

◆項目編集

項目リストで選択した項目の内容を編集する項目設定画面(☞256ページ)が表示されます。

◆項目削除

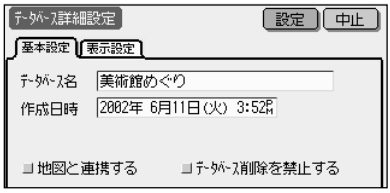
項目リストで選択した項目を削除します。

◆上へ移動

項目リストで選択した項目を1つ上に移動します。

◆下へ移動

項目リストで選択した項目を1つ下に移動します。



データベース詳細設定(基本設定)画面

データベース詳細設定(基本設定)画面の説明

◆データベース名

パーソナルデータベースの名称を入力します。「レポート&自由帳」という名称はつけることができません。

◆作成日時

パーソナルデータベースを作成した日時が、時計機能で設定した時刻で表示されます。時刻を変えるときは、タッチして修正します。

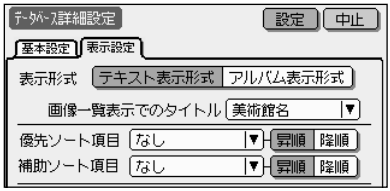
◆地図と連携する

パーソナルデータベースⅡと連携可能な地図を扱えるMOREソフトが将来出てきたときに、地図データと連携するかどうか設定します。

設定するときは、□にタッチして、■にします。

◆データベース削除を禁止する

データベースを削除できないように設定します。設定するときは、□にタッチして、■にします。



データベース詳細設定(表示設定)画面

データベース詳細設定(表示設定)画面の説明

◆表示形式

一覧画面に切り替えたときに表示される画面(項目一覧画面または画像一覧画面)を設定します。

テキスト表示形式 … 項目一覧画面を表示する

アルバム表示形式 … 画像一覧画面を表示する

データベース詳細設定(表示設定)画面の説明

◆画像一覧表示でのタイトル

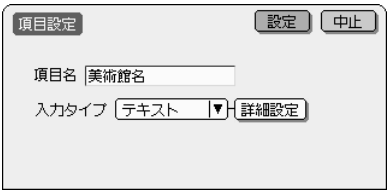
画像一覧画面の画像の下に表示するタイトルを設定します。タイトルとして表示できるのは、「入力タイプ」で「テキスト」に設定した項目のみです。また、ここで選択したタイトルは、メールに添付したときやPC送出で「パソコンデータ」に送り出したときに表示されるデータのタイトル名になります。タイトルが設定されていない画像データは、メールに添付できません。

◆優先ソート項目

項目一覧画面を表示したとき、どの項目を基準にデータを並べるかを指定します。また、**昇順**または**降順**を選択し、データの並び順を指定します。**昇順**では50音順やシフトJIS順に、**降順**ではその逆順に並べ替わります。

◆補助ソート項目

「優先ソート項目」で指定した項目でデータを並び替えたとき、同じデータの場合、さらにどの項目を基準にしてデータを並び替えるかを指定します。また、「優先ソート項目」と同様に**昇順**または**降順**を選択します。



項目設定画面

項目設定画面の説明

◆項目名

項目名を全角10文字以内で入力します。新しい項目では「名称未設定」と表示されます。

◆入力タイプ

項目に入力するデータの種類や表示する形式を設定します。

◆テキスト

文字データを入力します。**詳細設定**にタッチすると、テキスト項目設定画面(☞次ページ)が表示され、さらに詳細に設定できます。

◆数値

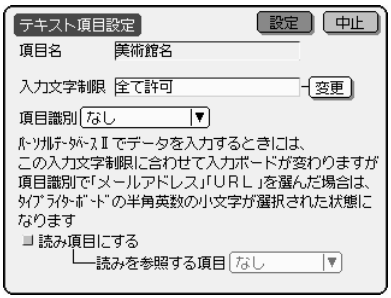
半角の数字のみが入力できます。11桁以上の数値を入力すると、指数表示されます。**詳細設定**にタッチすると、数値項目設定画面(☞258ページ)が表示されます。

◆日付/時刻

データを新規作成したとき、時計機能で設定されている日付や時刻が選択した形式(入力タイプ)で自動的に入力させることができます。時刻は時計の時制に従って12時間制のときは12時間制、24時間制のときは24時間制で表示されます。**詳細設定**にタッチすると、日付/時刻項目設定画面(☞258ページ)が表示され、入力タイプなどを設定できます。

◆イメージ

画像を入力、貼り込みができます。電子アルバムまたはフォトメモリーのデータ、インターネットやパソコンから取り込んだ画像データ、別売のデジタルカメラカードで撮影した写真などを貼り込むことができます。



テキスト項目設定画面

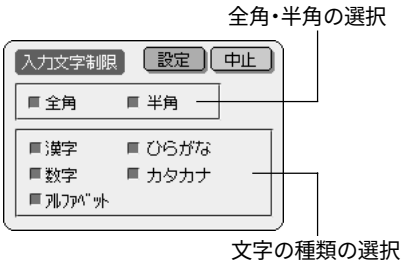
テキスト項目設定画面の説明

◆入力文字制限

「全て許可」では、この製品で入力できるすべての文字を入力できます。特定の文字を入力できないようにするには、**変更**にタッチします。

◆変更

入力できる文字を指定する入力文字制限画面を表示します。



■は入力できる文字の種類、□は入力できない文字の種類です。■または□にタッチして切り替えます。半角文字のみを入力できるようにしたとき、「漢字」と「ひらがな」は選択できません。

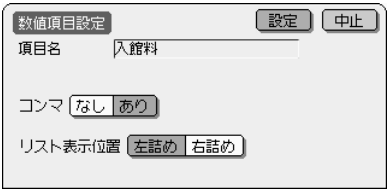
◆項目識別

新規作成画面や修正画面で、ここで設定しようとしている項目にカーソルが移ったときに表示する入力ボードを指定します。

なし …… 入力ボードを変えない
メールアドレス … 半角の英小文字を入力できるタイプライターボードに切り替わる
URL …… 半角の英小文字を入力できるタイプライターボードに切り替わる

◆読み項目にする

□にタッチして■にすると、「読みを参照する項目」で選択した項目の読み項目として設定します。読み項目に設定すると、「入力文字制限」が自動的に「半角と漢字を禁止」に設定されます。また、データ入力時、アドレス帳の「個人名」と「よみ」と同じように読みの対応項目に読みを入力して変換すると、自動的に読み項目にも読みが入力されます。読み項目に設定すると、データの新規作成/修正画面では表示されますが、詳細表示画面や項目一覧画面には表示されません。「読みを参照する項目」で選択した項目名にタッチして並び替えたときは、読み項目の50音順に並び替えられます。



数値項目設定画面

数値項目設定画面の説明

◆コンマ

なし …… 入力したままの数字が表示されます。

あり …… 入力した数字が3桁ごとに区切られて表示されます。

◆リスト表示位置

項目一覧画面での表示を設定します。

左詰め … 左詰めで表示されます。

右詰め … 右詰めで表示されます。

日付/時刻項目設定画面

日付/時刻項目設定画面の説明

◆入力タイプ

日付や時刻を入力する形式を選択します。

年月日時分 … 年月日と時分が表示される

年月日 …… 年月日が表示される

年月 …… 年月が表示される

時分秒 …… 時分秒が表示される

時分 …… 時分が表示される

◆現在時刻入力

新規入力時 …… □にタッチして■にすると、データを新規作成した日付/時刻が設定されます(修正登録しても変更されません)。

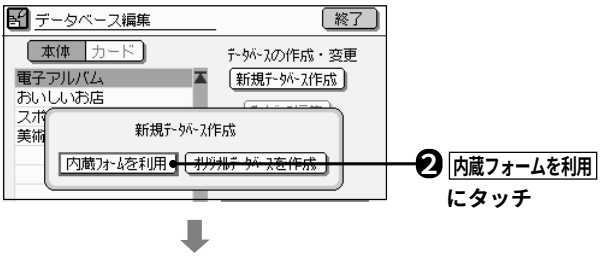
登録時(空の場合) … □にタッチして■にすると、データを登録するとき、何も入力されていない場合、日付/時刻が入力されます。

内蔵フォームを利用して新しいフォームを作る

内蔵フォーム(☞236ページ)に似た新しいフォームを作るときは、内蔵フォームを利用します。

1 内蔵フォームを選択し、データベース編集画面を表示します。

❶パーソナルデータベースII画面で 操作メニュー キー、操作 タブ、新規データベース作成... にタッチ



❷ 内蔵フォームを利用 にタッチ

❸利用する内蔵フォームにタッチして選択

❹ 選択 にタッチ

内蔵フォーム一覧画面

2 252ページの手順1の ❹ 以降の操作を行い、パーソナルデータベース名や項目を設定し、登録します。

データベース編集画面

● 内蔵フォームを利用して新しいフォームを作成しても内蔵フォームの内容は変わりません。

パソコン用データベースソフトで作ったフォームを利用する

パソコン用データベースソフトMicrosoft Access 2000またはMicrosoft Access 97を使って作成したデータベースを、パソコンからこの製品に取り込み、活用することがきます。データをやり取りするには、ザウルスパワーリンク for Microsoft Access 2000/97（別売のパソコン連携キット（CE-P10PK）に付属）をMicrosoft Access 2000またはMicrosoft Access 97に組み込む必要があります。

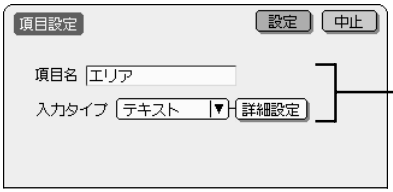
項目の設定を変える

作成したパーソナルデータベースの項目の設定を変更します。

❶項目の設定を変更したいパーソナルデータベースを表示

❷ 操作メニュー キー、操作 タブ、データベース編集... にタッチ

❸データベース編集画面で、設定を変更する項目名にタッチして選択し、項目編集 にタッチ



❹項目名や入力タイプなどを変更し、設定 にタッチ

❺続けて手順 ❸ ～ ❹ を繰り返し、ほかの項目も変更

❻データベース編集画面で 登録 にタッチ

❼データベース編集（一覧）画面で 終了 にタッチ

●「入力タイプ」を変更すると

「入力タイプ」を変更すると、その項目に入力されていたデータは削除されてしまいます。まず変更したい形式の項目を追加し、新しい項目に 複写、貼込 を使ってデータを貼り込み、その後、古い項目を削除するなどしてください。

項目を追加する

項目追加

作成したパーソナルデータベースに新しい項目を追加します。

1 **新しい項目を追加するパーソナルデータベースのデータベース編集画面を表示します(☞前ページ)。**

2 **新規項目作成にタッチします。**
項目設定画面が表示されます。

3 **項目名や入力タイプなどを設定し、設定にタッチします(☞253ページ)。**
さらに項目を追加するときは、手順**2**～**3**を繰り返して追加します。

4 **データベース編集画面で登録にタッチします。**

5 **終了にタッチします。**

項目を削除する

項目削除

パーソナルデータベースの項目を削除します。項目を削除すると、項目に入力されている内容も削除されます。

1 **項目を削除するパーソナルデータベースのデータベース編集画面を表示します(☞前ページ)。**

2 **削除する項目名にタッチして選択し、項目削除にタッチします。**
項目を削除すると、項目に入力されている内容も削除されます。

3 **メッセージを確認し、はいにタッチします。**

4 **データベース編集画面で登録にタッチし、メッセージを確認し、はいにタッチします。**

5 **データベース編集(一覧)画面で終了にタッチします。**

複製する　複　製

データを複製する　データ複製

同じようなデータを作るときは、もとになるデータを複製して使います。

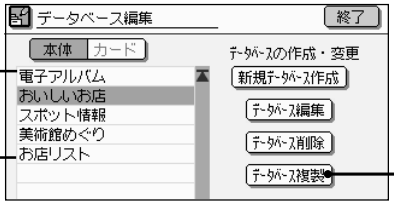
1 項目一覧画面で複製したいデータにタッチして選択します。または、詳細表示画面にデータを表示します。

2 操作メニュー キー、編集 タブ、複製 にタッチします。

データベースを複製する　データベース複製

パーソナルデータベースを複製します。すでにデータを登録したパーソナルデータベースを複製してもデータは複製されません。

❶ 操作メニュー キー、操作 タブ、データベース編集... にタッチ
❷ 中止 にタッチ



❸ 複製するデータベース名にタッチして選択

❹ データベース複製 にタッチ
選択したパーソナルデータベースが複製されデータベース編集画面が表示される

データベース編集(一覧)画面

❺ パーソナルデータベース名などを変更し、登録 にタッチ
❻ データ入力の確認メッセージで はい にタッチ
❼ 新規作成画面で、データを入力し 登録 にタッチ

● データベース編集(一覧)画面の データベース複製 以外のボタンの働きは、次のとおりです。

新規データベース作成 … 新しいパーソナルデータベースを作成する
データベース編集 …… 選択したパーソナルデータベースの内容を編集する
データベース削除 …… 選択したパーソナルデータベースを削除する
上へ移動 …… 選択したパーソナルデータベースを1つ上に移動する
下へ移動 …… 選択したパーソナルデータベースを1つ下に移動する

データベース名を変える データベース名変更

登録したパーソナルデータベース名と作成日時を変更します。

1 **データベース名を変更するパーソナルデータベースのデータベース編集画面を表示します(☞260ページ)。**

2 **データベース詳細設定にタッチし、データベース詳細設定(基本設定)画面で「データベース名」と「作成日時」を変更し、設定にタッチします。**

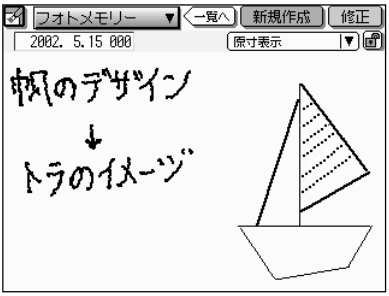
3 **データベース編集画面で 登録 にタッチします。**
メッセージが表示され、変更したパーソナルデータベースが登録されます。

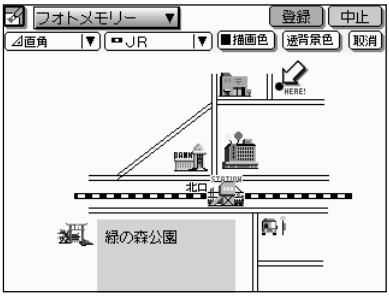
4 **データベース編集(一覧)画面で 終了 にタッチします。**

フォトメモリー

フォトメモリーで、何ができるの？

ふと思いついたことなどを手軽に手書きでメモすることができます。
地図には、鉄道や道路の線を引き、建物のスタンプを貼りつけ、見やすくできます。
この製品には、あらかじめ路線図や出口案内のデータが入っていますので、路線図を確認するときなどに活用することができます。





フォトメモリーで作ったデータを電子メールに添付して送ることもできます。
さらに、画像をパラパラめくるスライドショー機能を使うと、プレゼンツールとして活用できます。

画像を取り込んで利用できるの？

別売のデジタルカメラカード（CE-AG06）で撮影した画像や、別売のパソコン連携キット（CE-P10PK）を使ってパソコンから取り込んだ画像を利用することができます。
また、インターネットに接続して画像を取り込むこともできます。
取り込んだ画像には、コメントをつけ、表現力の高い情報に仕上げることができます。

始めましょう

「始めましょう」(☞265〜268ページ)は、初めてフォトメモリーを使われる方を対象に、基本的な使いかたをやさしく説明しています。さらにくわしい操作方法や「始めましょう」で説明していない機能については、269ページ以降をご覧ください。

ここでは、手書きでメモし、タイトルをつけて登録したり、登録したデータを見たりします。

手書きでメモを書く　新規作成

手書きでメモを書きましょう。

1 白紙の新規作成画面を表示します。

❶ **ホームインデックス**キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で**フォトメモリー**アイコンにタッチする

データがまったくないときに新規作成画面が表示される

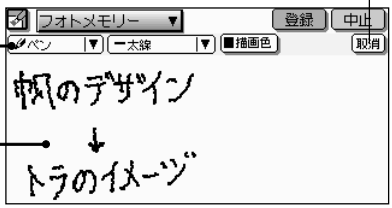
データがあるときは、**新規作成**にタッチして表示する

2 手書きでメモを書きます。

取消にタッチすると、直前に操作した作業を取り消すことができる

❶ ペン が表示されていることを確認する

❷ タッチペンでメモを手書きする

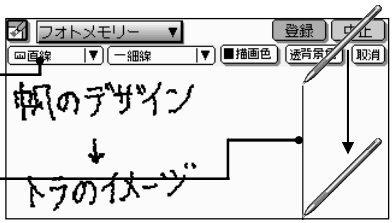


新規作成画面

3 直線を描きます。

❶ ここにタッチし、表示されたメニューから**直線**を選択する

❷ タッチペンでなぞって直線を描く

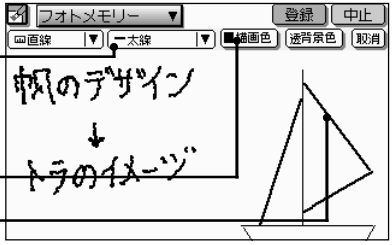


4 線の太さと色(グレーの濃さ)を変えて、直線を描きます。

❶ ここにタッチし、表示されたメニューから 太線 を選択する

❷ ここにタッチし、表示されたパレットからグレーの濃さを選択する

❸ なぞって直線を描く

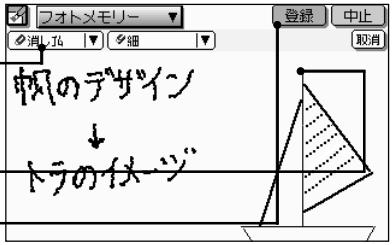


5 消しゴムで余分な線を消します。終わったら、登録します。

❶ ここにタッチし、表示されたメニューから 消しゴム を選択する

❷ タッチペンで、消しゴムのように線をなぞって消す

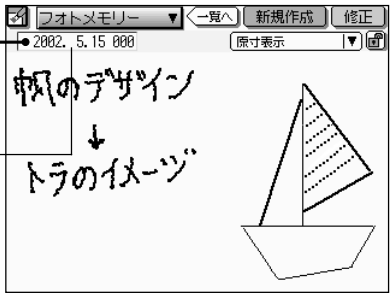
❸ ここにタッチし登録する



6 タイトルをつけます。

❶ この枠内にタッチする

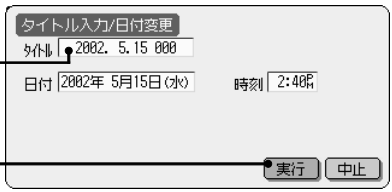
描いた日付と連番が自動的についている
連番はその日に入力した順番につく



詳細表示画面

❷ この欄の文字を削除し、タイトルを入力する

❸ ここにタッチする



● 手書きで入力したフォトメモリーデータのサイズは320×200ドットです。

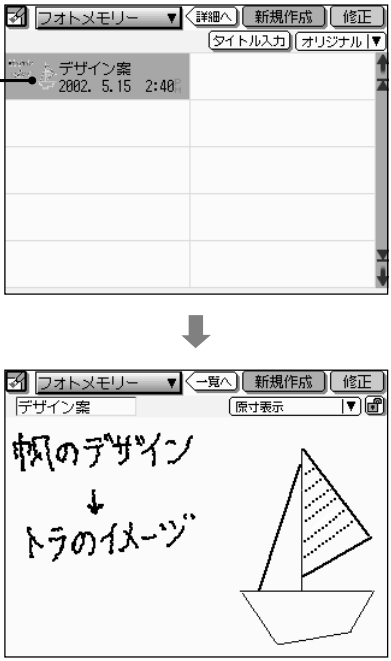
メモを見る

登録したメモを見ましょう。

1 データを表示します。

❶ 戻る(電源)ボタンを数回押してホームインデックス1画面を表示し、上下左右の ◇ (スクロールボタン)を押して、フォトメモリーアイコンを選び、決定ボタンを押す

❷ 上下左右の ◇ (スクロールボタン)を押して、見たいデータを選び、決定ボタンを押す



データを修正する

登録したデータを修正します。

1 修正したいデータを表示(一覧画面では、修正したいデータを選択)し、[修正]にタッチします。

2 修正画面でデータを修正し、[登録]にタッチして、修正したデータを登録します。

メモ
- フォトメモリーの縮小表示で表示しているデータを修正画面で登録すると、元データの画像サイズが1/4に縮小されます。
- フォトメモリーの640×480ドットを超えるデータを修正画面で登録すると、一部が消去されます。

データを削除する

登録したデータを削除します。

1 削除したいデータを表示(一覧画面では、削除したいデータを選択)し、[操作メニュー]キー、[編集]タブ、[削除]にタッチします。

2 詳細表示画面では、確認メッセージで[はい]にタッチします。一覧画面では、「1データ」や、「全フォトメモリーデータ」にタッチし、確認メッセージで[はい]にタッチして削除します。

メモ
- **シークレット機能が設定されているときは**
  1データの削除以外はできません。シークレット機能を解除してから削除してください(☞369ページ)。

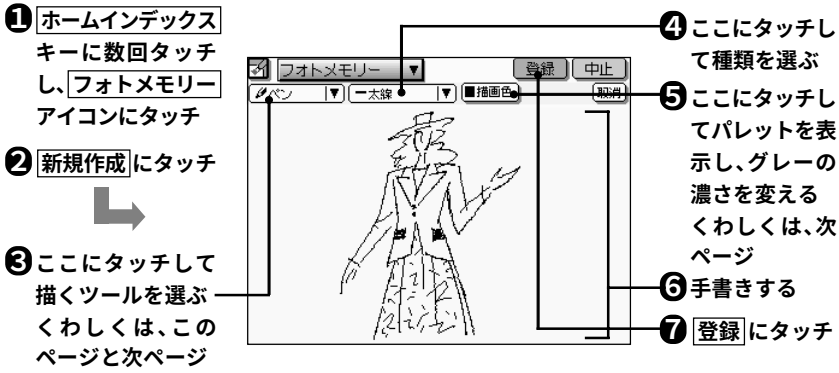
ご注意
- **全フォトメモリーデータを削除すると**
  クイックメモのデータもすべて削除されます。ご注意ください。
- **クイックメモのデータを削除すると**
  クイックメモのデータを削除すると、そのデータを添付しているデータのクイックメモを表示しようとしてにタッチしても表示できなくなります。ご注意ください。
- フォトメモリーのデータを本体メモリーからコンパクトフラッシュメモリーカードへ、またはコンパクトフラッシュメモリーカードから本体メモリーへ移すときは、操作メニューの[通信]タブの中にある[本体←→カード...]の機能をご利用ください。くわしくは、387～388ページをご覧ください。
  なお、操作メニューの[編集]タブの中にある[切取(カット)]と[貼込(ペースト)]の機能を使って移すことはできませんのでご注意ください。

ここからは、くわしい説明

269～280ページは、「始めましょう」よりくわしい操作説明や、「始めましょう」に含まれていない機能について説明しています。
フォトメモリーについて、便利な機能が使えるようになります。

ツールを使う

ここでは、メモや地図を描くとき、直線を引く/四角を描くなど便利なツールについて説明します。



画面の説明

◆**ペン** **直線** **直角** **□四角** **■四角** **消しゴム** **スタンプ**
描くためのツールを選びます。

ペン …… フリーハンドで線を描けます。線の太さは3種類あります。

直線 …… タッチした始点とペンを離した終点を結ぶ直線を引きます。線は12種類あります。

直角 …… 水平線や垂直線を引きます。線は12種類あります。

□四角 …… タッチした始点とペンを離した終点を結ぶ四角形の枠を描きます。線は9種類あります。

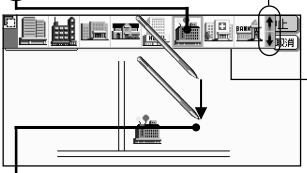
■四角 …… タッチした始点とペンを離した終点を結ぶ四角形を描き、四角形の内部を選択したパターンで塗りつぶします。パターンは10種類あります。

消しゴム … 図形を消します。消しゴムの太さは2種類あります。

画面の説明

スタンプ… 表示されたスタンプパレットからスタンプを選び貼り込みます。

❶タッチして選択　パレットの切り替え



❷画面にスタンプを表示し、スタンプにタッチしたままペンを移動し、貼り込みたい位置で画面からペンを離す

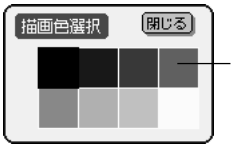
範囲 …… 範囲編集メニューを使って、図形を編集します(☞271、272ページ)。

◆**一太線など**

左端の欄で選んだペンなどのツールの太さや種類を選びます。

◆**■描画色**

左端の欄で選んだペンなどのツールの色(グレーの濃さ)をパレットから選びます。



◆**■背景色**

直線、**直角**、**四角**では、点線などの線と線の間に色(グレーの濃さ)をつけることができます。**■四角**では、網や模様のない部分に色(グレーの濃さ)をつけることができます。

◆**取消**

直前に操作した作業を取り消します。

メモ

- **斜め線を描くと**
  画面はドットで構成されているため、斜め線などは正確な直線になりません。
- クイックメモのデータは、フォトメモリーで表示・編集することができます。
- **タイトルを変えるには**
  一覧画面で変更するデータにタッチして選択し、**タイトル入力**にタッチするか、詳細表示画面では**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**タイトル入力...**にタッチします。表示されたタイトル入力/日付変更画面でタイトルを変え、**実行**にタッチします(☞266ページ)。
- **フォトメモリーからほかの機能に切り替えるときは**
  フォトメモリーからほかの機能に切り替えるときは、新規作成中または修正途中のデータをできるだけ登録または中止してから行うことをおすすめします。新規作成中または修正途中で別の機能に切り替えると、時間がかかります。

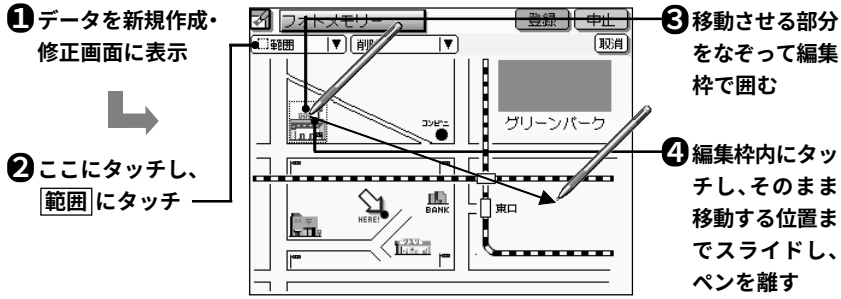
データを編集する

指定した範囲のデータを移動・複写・回転・反転します。また、文字を入力します。データの編集は、新規作成・修正画面で、編集範囲(編集枠)を指定してから行います。編集した直後に 取消 にタッチすると、もとの状態に戻ります。

指定した範囲のデータを移動・複写・削除する

指定した範囲のデータを移動・複写・削除します。

ここでは、データの一部を移動します。



● **データの一部を複写するには**
手順 ❹ で 機能 キーにタッチし、続けて編集枠内にタッチし、そのまま複写する位置までスライドして離します。
また、次のようにして「複写」と「貼込」を使って複写することもできます。

1 範囲 を選択して複写させる部分を編集枠で囲み、範囲 の右の枠内にタッチし、表示された範囲編集メニュー(☞次ページ)から 複写 にタッチします。

2 貼り込む場所を編集枠で囲みます。

3 範囲編集メニューの 貼込 にタッチします。

● **データの一部を削除するには**
手順 ❹ で範囲編集メニューの 削除 にタッチします。

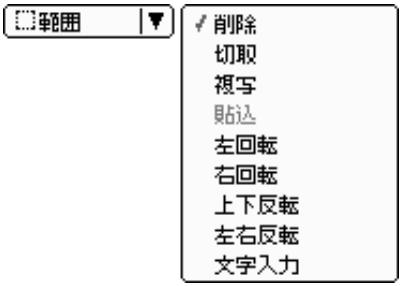
● **編集枠の囲みかたをまちがえたときは**
取消 にタッチした後、もう一度編集枠で囲みます。

● **画像の一部を切り取るときは**
手順 ❹ で範囲編集メニューの 切取 にタッチします。切り取ったデータはなくなります。

● **ほかのフォトメモリーのデータに複写・移動するときは**
複写・切取・貼込機能を使います。
手順 ❹ で範囲編集メニューの 複写 または 切取 にタッチします。 登録 または 中止 にタッチし、いったん終了させ、この後、複写・移動先のフォトメモリーのデータを表示させ、 修正 にタッチし修正画面にします。 範囲 にタッチし、貼り込む場所を編集枠で囲み、範囲編集メニューの 貼込 にタッチします。

指定した範囲のデータを回転・反転させる、文字を入力する

データの一部を回転・反転させたり、文字を入力するときは、**ペン▼**などにタッチした後、**範囲**を選択し、編集枠で囲みます。この後、**範囲**の右の枠内にタッチして表示される範囲編集メニューを使って編集します。



範囲編集メニュー

範囲編集メニューの説明

◆**削除**
指定した範囲のデータを削除します。

◆**切取**
指定した範囲のデータを切り取ります。一時的にメモリーに記憶されます。

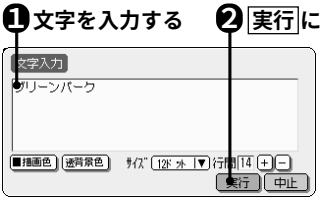
◆**複写**
指定した範囲のデータを複写します。一時的にメモリーに記憶されます。

◆**貼込**
切取・複写したデータを貼り込みます。

◆**左回転**、**右回転**
指定した範囲のデータを、左に90°回転または右に90°回転します。

◆**上下反転**、**左右反転**
指定した範囲のデータを、上下/左右に反転させます。

◆**文字入力**
指定した範囲に文字を入力します。



◆**■描画色**
文字の濃さを指定します。タッチすると、パレットが表示されます。

◆**■背景色**
文字の背景のグレーの濃さを指定します。タッチすると、パレットが表示されます。**透明**を選ぶと、背景にグレーが描かれず、下にある図形などと重なった部分が表示されます。

◆**サイズ**
右の枠内にタッチし、表示されたメニューから文字の大きさ(8、12、16ドット)を選択します。

◆**行間**
文字の行間を指定します。**＋**/**－**にタッチすると、右の枠の数値が変わります。

● **文字入力について**

- 指定したサイズや行間は、表示されている文字入力画面に入力した文字すべてに適用されます。一部の文字のサイズを変えるときは、別々に文字入力します。
- フォトメモリーの画像に入力された文字は、すべて図形として扱われますので、文字として検索したり、編集したりできません。
- 文字入力画面の1画面の行数を超えて文字を入力したときは、文字入力の枠内にタッチしたまま枠外へ上下にペンをずらすと、画面がスクロールします。
- 挿入する位置にカーソルを戻し文字を入力すると、新しい文字に上書きされます(カーソル位置に文字を挿入することはできません)。

写真などの画像をアドレス帳に貼る

アドレス帳の顔写真つきのデータや所有者情報に、別売のデジタルカメラカードで撮影した画像を切り出して貼り込みます。
写真の切り出しとアドレス帳への貼り込みは、「アドレス帳」の章、「写真をつける」をご覧ください。所有者情報への貼り込みは、アドレス帳と同じように操作できます。

● **別売のデジタルカメラカードで撮影した画像データをフォトメモリーで加筆・修正すると**

- 画像が粗くなる場合があります。大切なデータを編集するときは、あらかじめデータを複製し、複製したデータを編集してください。
- データのサイズが増えて(126KB以上になり)登録できない場合があります。その場合は、登録をいったん中止し、加筆・修正の量を減らすか、必要な部分だけを切り取って、再度登録してください。

表示を変える

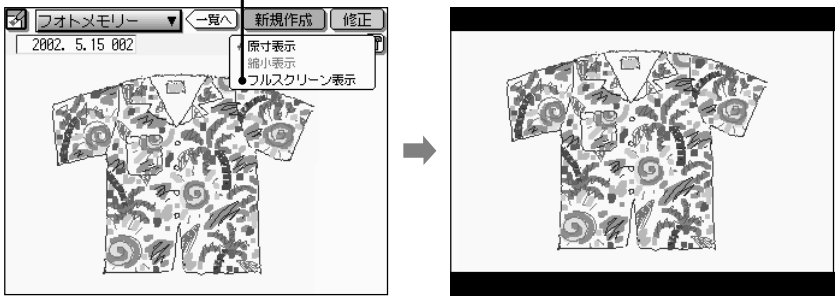
フルスクリーン表示・縮小表示にする

データは次の3つの状態を切り替えて表示できます。

- 原寸表示 …… 画像の原寸で表示
- 縮小表示 …… 画像を1/4に縮小して表示
  画像サイズが320×200ドットより大きいと、縮小表示できる
- フルスクリーン表示 … タイトルやボタンなど画像以外の部分を消して画像だけを表示
  また、画面サイズより大きい画像は、画像全体を表示できるように縮小して中央に表示(周りは黒く表示)

❶フルスクリーンで表示するときは、ここにタッチし、表示されたメニューから[フルスクリーン表示]を選択。
縮小表示するときは、表示されたメニューから[縮小表示]を選択

❷[中断]キーにタッチし、もとに戻す



原寸表示　　**フルスクリーン表示**

- 画像サイズが画面サイズよりも大きいと、スクロールバーが表示されます。画面にペンをタッチして動かすか、▲▼にタッチして画面をスクロールします。
- VGAなど大きなサイズの画像データをフルスクリーン表示中に、[順送り]キーや[逆送り]キーにタッチしたとき、画面が変わるまで時間がかかります(「お待ちください」のメッセージは表示されません)。

スライドで連続して見る　スライドショー

手書きした地図や別売のデジタルカメラカードで撮影した写真などをスライドショーにして見ることができます。

スライドショーを見るには、次の流れで操作します。

❶スライドショーで見るデータを情報ファイルのファイルに集める ➡ ❷スライドショーを実行する

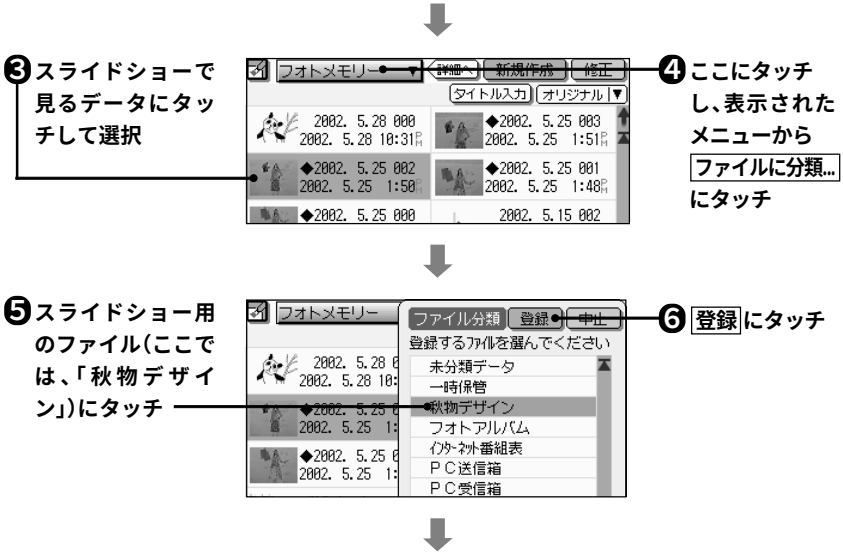
● **スライドショーで見るデータは**
情報ファイルの1つのファイルに入っているフォトメモリーのデータです。スライドショーで見る前に情報ファイルに集める必要があります。情報ファイルについては326ページをご覧ください。

スライドショーで見るデータを情報ファイルのファイルに集める

スライドショーで見たいフォトメモリーのデータを情報ファイルのファイルに集めます。

❶327ページの手順で、情報ファイルの新規ファイルを作る
すでにファイルが作ってあるときは、新しく作る必要はない

❷ ホームインデックス キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で、フォトメモリー アイコン、〈一覧へ にタッチし、一覧画面を表示



❼ほかのフォトメモリーのデータも、❸～❻を繰り返して集める

スライドショーを実行する

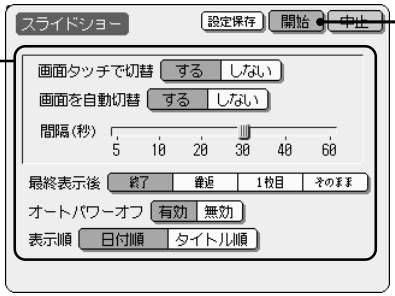
❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、フォトメモリー アイコン、〈一覧へ にタッチ

❷ フォトメモリー▼ にタッチし、表示されたメニューからスライドショー用のファイル名を選択

❸ 操作メニュー キー、操作 タブ、スライドショー... にタッチ

❹ 各項目を設定（設定の内容☞ 次ページの「画面の説明」）

❺ 開始 にタッチ。設定に従ってスライドショーが始まる



❻ スライドショーを終了させるときは、中断 キーにタッチ

画面の説明

◆画面タッチで切替

スライドショー実行時、画面タッチでめくる/めくらないを指定します。

する …… 画面にタッチすると次の画面に切り替わります。

しない … **順送り**キーまたは**逆送り**キーにタッチして画面を切り替えます。

順送りキーでは次の画面に移り、**逆送り**キーでは1つ前の画面に戻ります。

スライドショーを終了するには、**中断**キーにタッチします。

◆画面を自動切替

画面を自動的に切り替えるか切り替えないかを指定します。

する …… 自動的に画面を切り替えます。切り替えの間隔は「間隔(秒)」の右の で調整できます。

しない … 「画面タッチで切替」の設定に合わせて、画面または**順送り**キーにタッチすると次の画面に移ります。

※画像データによっては、表示するまでに数秒かかる場合があります。画面タッチなどによって次の画面を表示するまでに数秒かかったり、「間隔(秒)」で設定した時間よりも長くなることがあります。

◆最終表示後

最後のスライドを表示した後の動きを指定します。

終了 …… スライドショーが終了すると、一覧画面に戻ります。

繰返 …… 1 枚目から再度スライドショーを繰り返します。

1枚目 … 終了するとスライドショーの1枚目を表示したままにします。

そのまま … 終了した画面を表示したままにします。

◆オートパワーオフ

スライドショー実行中のオートパワーオフ(自動節電機能)の働きを指定します。

有効 …… 設定している時間になるとオートパワーオフが働きます。

無効 …… オートパワーオフが働かなくなります。

なお、オートパワーオフになる時間の設定は、357ページをご覧ください。

◆表示順

スライドショーで表示するデータの順番を指定します。

日付順 … 選択した情報ファイルのファイル内のデータの日付順に表示されます。

タイトル順 … タイトルのシフトJISコード順に表示されます。

◆設定保存

スライドショーの設定を保存します。

● スライドショーを終了させるには

スライドショー実行中や終了後、スライドショーの画面が表示された状態から一覧画面に戻るには、**中断**キーにタッチします。

路線図、出口案内のデータを利用する

路線図、出口案内のデータを利用すると、必要な部分をコピーしてメモ書きなどをしたオリジナルのデータを作ることができます。

路線図のデータには、次のものがあります。

- 東京中央部、池袋・赤羽方面、上野・北千住方面、立川・八王子方面、西船橋・舞浜方面、多摩方面、品川・蒲田方面、横浜・川崎周辺、千葉周辺、名古屋周辺、大阪中央部、新大阪・茨木方面、堺・関西空港方面、神戸周辺、京都周辺

出口案内のデータには、次のものがあります。

- 大手町、霞ヶ関、永田町/赤坂見附、日本橋、銀座、日比谷/有楽町、新宿西口、新宿東口、渋谷、横浜駅、名古屋駅、梅田、難波

ここでは、出口案内から新しいオリジナルのデータを作ります。

❶一覧画面を表示し、[オリジナル▼]にタッチし、表示されたメニューから[路線図]または[出口案内]にタッチ

❷一覧画面で活用したいデータに1回または2回タッチ

❸[活用]にタッチし、新規作成画面に「新宿西口」を表示

表示を切り替える

❹画面上に手書きで文字などを入力する

❺[登録]にタッチすると、もとの出口案内から新しいオリジナルのデータが作れる

- 路線図、出口案内のデータ自体を修正することはできません。これらのデータは1998年5月現在のものです。
- **部分的に使いたいときは**

  手順❹で、[ペン▼]などにタッチした後、[範囲]にタッチして使いたい範囲を編集枠で囲み、範囲編集メニューの[複写]にタッチします。この後、[中止]、[新規作成]にタッチして新規作成画面にし、[ペン▼]などにタッチした後、[範囲]にタッチします。貼り込む場所を編集枠で囲み、範囲編集メニューの[貼込]にタッチして貼り込んだ後、文字などを入力します。

オープニング画面にデータを表示する

フォトメモリーのデータをオープニング画面に表示できます。
オープニング画面とは、戻る(電源)ボタンを押して電源を入れたときに表示される画面です。

1 一覧画面または詳細表示画面で、操作メニューキー、操作タブ、オープニング設定...にタッチします。

2 オープニング画面に設定したいデータを選択し、設定にタッチします。
確認メッセージが表示されます。

3 はいにタッチします。
終了の確認メッセージが表示されます。

4 確認にタッチします。
選択したフォトメモリーのデータの複製がパソコンデータに保管されます。

- オープニング画面に設定したフォトメモリーのデータの複製は、パソコンデータに保管されます。オープニング画面に指定されているデータは、パソコンデータ画面に斜体の文字で表示されます。
- オープニング画面を初期の設定に戻すには、パソコンデータのリスト画面で、指定しているオープニング画面のデータを削除します。
- オープニング画面に表示できるデータは1つです。別のデータがオープニング画面に表示されているときは、新しく指定したデータに置き替わります。

フォトメモリーでの画像データの扱いについて

インターネットブラウザや別売のデジタルカメラカードで撮影した画像データなど、フォトメモリーではさまざまな画像データを扱うことができます。これらのデータの扱いや制限については次のようになります。

フォトメモリーでは、次のサイズの画像データを扱うことができます。

- GIF形式 …… 2048×2048ドット以下
- JPEG形式 …… 2000×2000ドット以下

フォトメモリー機能で手書きしたデータは、GIF形式で登録されます。デジタルカメラカードCE-AG06で撮影したデータ(撮影モードと画質を「ドキュメント」にして撮影したデータを除く)は、JPEG形式で登録されます。撮影モードと画質を「ドキュメント」にして撮影したデータは、PNG形式でパーソナルデータベースⅡの「電子アルバム」に登録されます。

これらのサイズのデータをフォトメモリーで加筆・修正などの編集を行うと、修正後の画像サイズは次の表のようになります。

	もとのデータのサイズ		
	640×480ドットを超える画像	640×480ドット以下で320×200ドット以上の画像	320×200ドットより小さい画像
加筆・修正を行った後に登録した場合の画像サイズ	640×480ドット(注1)	もとのデータの画像サイズで登録される	320×200ドット(注2)

(注1)： 登録したときに画面に表示されていた部分を含めて、640×480ドットのサイズに切り取られて登録されます。なお、どの範囲が切り取られるかについては、登録の前に、タッチペンで画面にタッチしたままスライドさせることにより確認することができます。

(注2)： 画像は、320×200ドットの領域の中央に配置されます。

※実際に加筆・修正を行わなくても、**修正**にタッチして修正画面にした後に登録すると、登録後の画像サイズは上の表のようになります。

※表示するだけの場合、あるいは、修正画面で加筆・修正せずに**中止**にタッチした場合には、もとの画像のサイズは変わりません。

- メールやインターネットブラウザ、光通信で受信したカラーの画像データを表示すると、白黒16階調のデータとして表示されます。
  このデータを、パソコン連携ソフトや光通信、メールを使ってカラー対応の機種に転送したとき、転送先の機種でその画像を表示させると、カラーの画像として表示されます。ただし、この製品で修正した後転送して表示すると、修正した部分のみ白黒16階調となり、カラーと白黒16階調が混在して表示されます。
- **非常に大きいJPEG画像のスクロールについて**
  インターネットからダウンロードした写真データなど640×480ドットを超える大きいJPEG画像をフォトメモリーで表示させると、スクロールがうまくできなかったり、画像の表示が乱れたりする場合があります(この場合でも、もとのデータは壊れてはいません)。

クイックメモ

クイックメモを使うと、急ぎの用件などが発生したとき、手書きですばやくメモできます。手書きしたメモは、表示中のスケジュールなどのデータに貼りつけることができます。また、パソコンから読み込んだ画像や作成した地図、デジタルカメラで撮影した画像などを貼りつけることもできます。

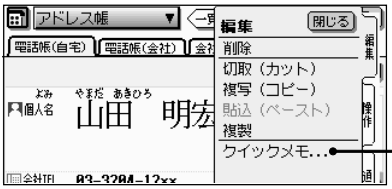
新しくクイックメモを書く

急ぎの用件を手書きでメモし、表示中のデータに貼りつけます。
クイックメモは、次の画面で書くことができます(新規作成画面や修正画面、データが登録されていない日のカレンダー画面や1日表示画面では使えません)。

- スケジュールのカレンダー画面、1日表示画面、詳細表示画面、記念日詳細表示画面
- アドレス帳、アクションリスト、レポート&自由帳、一覧画面、詳細表示画面

また、フォトメモリーで作成したデータを上記の各機能のデータに貼りつけることもできます。
メモの書きかたは、フォトメモリーの描きかたと同じです(☞265ページ)。また、クイックメモを登録すると、フォトメモリーのデータとして登録されます。

❶クイックメモを貼りつけるデータを表示。カレンダー画面や一覧画面では、貼りつけるデータを選択

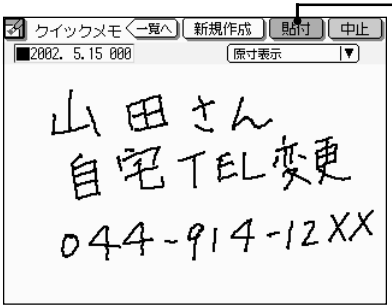


❷操作メニューキー、編集タブ クイックメモ... にタッチ

❸メモを手書きする
フォトメモリーの描きかたと同じようにして書く

❹登録 にタッチ

クイックメモの画面



● **登録済のデータを貼りつけるには**

すでに登録したクイックメモのデータや、フォトメモリーで作成した地図や画像などを貼りつけることができます。

❶ クイックメモを貼りつけるデータを表示するか、一覧画面でデータを選択します。

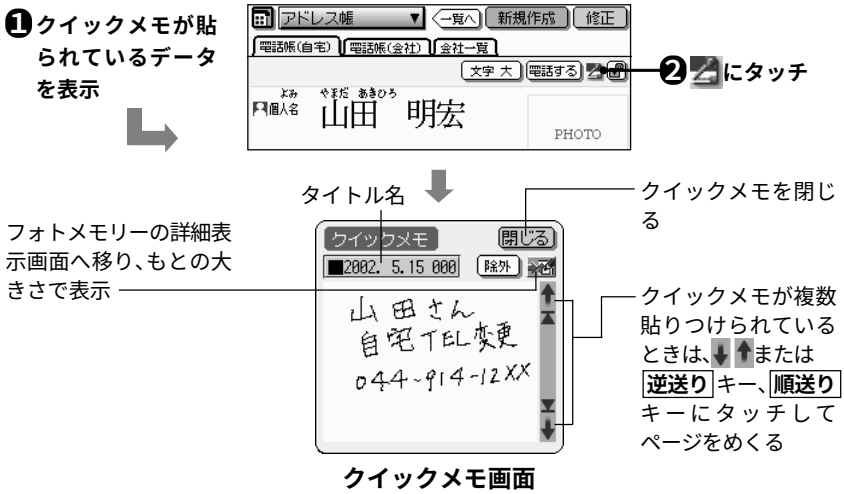
❷ **操作メニュー** キー、**編集** タブ、**クイックメモ...** にタッチします。クイックメモの画面が表示されます。

❸ **選択** にタッチします。一覧画面が表示されます。

❹ 貼りつけるデータにタッチして選択し、**貼付** にタッチします。

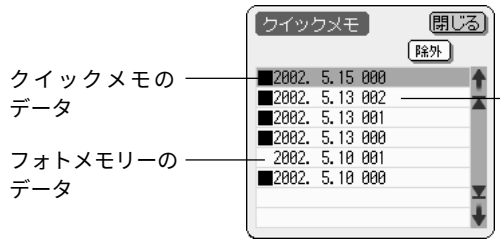
クイックメモを見る

貼りつけたクイックメモを見ます。
クイックメモが貼りついているデータには、が表示されます。



クイックメモ画面

● 同じデータに複数貼りつけられたクイックメモをリスト画面から選ぶには、クイックメモ画面のタイトル名(■2002. 5.13 000など)にタッチします。タイトル名にタッチすると、下のリスト画面が表示されます。このリスト画面で見たいクイックメモのタイトルに1回または2回タッチすると、クイックメモが表示されます。



● **MI-600シリーズなどとデータ交換を行うと**

クイックボイスやボイスメモが貼りついているデータもこの製品の各機能に入ります。クイックボイスのみが貼りついている場合は、クイックメモとクイックボイスの両方が貼りついている場合はのアイコンが表示されます。また、クイックメモのリスト画面で、「●」がついているものはクイックボイス、何もついていないものはフォトメモリーまたはボイスメモを表しますが、クイックボイスとボイスメモはこの製品で再生できません。また、MI-600などで写真を貼りつけているデータを取り込んだ場合、クイックメモのリスト画面を表示すると、写真には「◆」がついて表示されます。

クイックメモを取り除く・修正・削除

貼りつけられているクイックメモを取り除くには、クイックメモ画面で**除外**に続けて**はい**にタッチします。リスト画面では、クイックメモを選択し**除外**に続けて**はい**にタッチします。クイックメモのデータは、フォトメモリーに残ります。

クイックメモは、フォトメモリーのデータとして登録されます。このためクイックメモを修正・削除するときは、フォトメモリーで行います。
データから取り除かずにクイックメモを削除した後、クイックメモを表示しようとすると、タイトルのみが表示されます。データの内容は表示されません。

メモ
- クイックメモのデータをフォトメモリーで削除すると、そのデータが貼りつけられているすべてのデータで、そのクイックメモを表示することができなくなります。

ご注意
- **すべてのフォトメモリーのデータを削除すると**
  フォトメモリー機能で全データの削除を行うと、クイックメモのデータもすべて削除されてしまいますのでご注意ください。

重要
- **貼りつけられたクイックメモやフォトメモリーのタイトルを変更すると**
  クイックメモやフォトメモリーを貼りつけた後、フォトメモリー機能でタイトルを変更すると、 などにタッチしてもクイックメモの内容を表示できなくなります。貼りつけたデータのタイトルは変更しないでください。
- 貼りつけたデータと同じタイトルのクイックメモやフォトメモリーがあるとき、新しい方のデータが表示されます。
- 貼りつけたデータにシークレットをかけると、クイックメモを表示しようとしたとき、タイトルのみが表示されます。データの内容は表示されません。シークレットを解除して表示してください。

デジタルカメラ

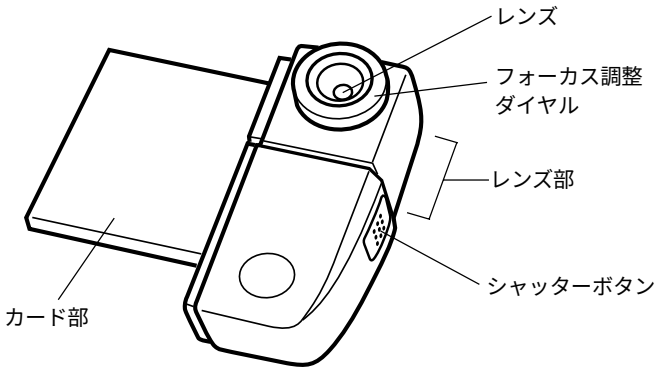
別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)を取り付けると、デジタル写真(画像データ)を撮影できます。
別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)を使うと、人物や風景、書類など撮りたいものに合わせて5つの撮影モードから選択することができます。

- 自動(フルオート)撮影モード … 被写体に合わせて最適な撮影をするときに使う
- ドキュメント撮影モード …… 文書を接写するときに使う
- 人物撮影モード …… 人物を中心に撮影するときに使う
- 風景撮影モード …… 風景を撮影するときに使う
- 連写撮影モード …… 連写(簡易動画)するときに使う

撮影した写真はフォトメモリーのデータになり、文字を書き込んだり、メールに添付して送信することができます。
別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)の取り扱いについては、デジタルカメラカード(CE-AG06)に同梱のCE-AG06取扱説明書をご覧ください。

各部のなまえ

デジタルカメラカード(CE-AG06)の各部の名前を説明します。



デジタルカメラカードの取り付け/取り外し

この製品のコンパクトカードスロット部とデジタルカメラカードを取り付け/取り外します。

デジタルカメラカードを取り付ける

1 **この製品の電源を切り、カードロックスイッチを「解除」側にした後、この製品から保護カードまたはすでに入っているコンパクトカードを抜き取ります。**

カードの抜き取りかたについては、「カード」の章(☞377ページ)をご覧ください。

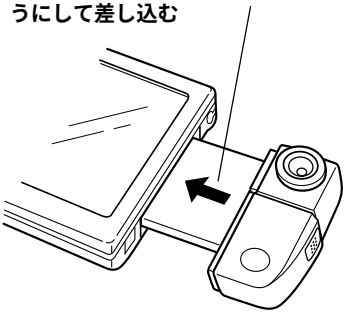
2 **クリアカバーを取り外します。**

3 **デジタルカメラカード(CE-AG06)を差し込みます。**

❶ この製品のコンパクトカードスロットにデジタルカメラカードを奥までまっすぐに差し込む

❷ カードロックスイッチを「ロック」側にする

「SHARP CE-AG06 DIGITAL CAMERAデジタルカメラカード」が表面に見えるようにして差し込む



ご注意

- デジタルカメラカードを取り付けた後、クリアカバーを取り外そうとすると、クリアカバーがデジタルカメラカードにあたり、デジタルカメラカードやクリアカバーの破損の原因となります。クリアカバーは、デジタルカメラカードを取り付ける前に取り外してください。
- デジタルカメラカードをこの製品に取り付けているときは、デジタルカメラカードを強く押したり引いたりしないでください。この製品やデジタルカメラカードが破損することがあります。
- デジタルカメラカードをこの製品に装着したまま、デジタルカメラカードのみや、この製品のみを持って移動したり、振り回したりしないでください。

デジタルカメラカードを取り外す

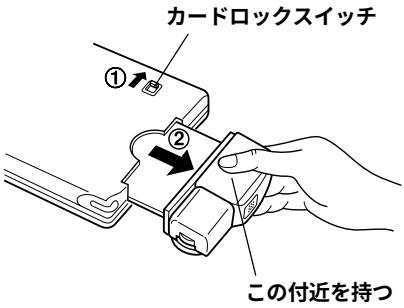
1 **この製品の電源を必ず切り、デジタルカメラカード（CE-AG06）を引き抜きます。**

❶ **デジタルカメラモードで使用している場合は、画面右上の 終了 にタッチするか、戻る （電源）ボタンを押してデジタルカメラモードを終了する**

❷ **切 キーにタッチして、この製品の電源を必ず切る**

❸ **本体裏側のカードロックスイッチを「解除」側にする**

❹ **デジタルカメラカードをまっすぐに引いて取り外す**



2 **保護カードを取り付け、カードロックスイッチを「ロック」側にします。**

カードの取り付けかたについては、「カード」の章をご覧ください。

3 **クリアカバーを取り付けます。**

ご注意

- 取り外しは、上図のようにデジタルカメラカードの中央部を持って行ってください。レンズ部を引いて取り外すと、レンズ部が折れるなど破損や故障の原因となります。
- デジタルカメラカードの取り付け/取り外しのときは、必ずこの製品の電源を切ってください。電源を入れたままデジタルカメラカードを取り外すと、次に取り付けたとき、デジタルカメラカードを認識しないことがあります。認識しなくなった場合は、リセット操作を行ってください（☞434ページ）。
- デジタルカメラカードを使用しないときは、本体から取り外しておいてください。

撮影するときのボタン操作

デジタルカメラカードを取り付けて撮影するときは、この製品の ⊹(スクロールボタン)やデジタルカメラカードのシャッターボタンなどを押して操作します。

上下の ⊹(スクロールボタン) … ズーム(ON/OFF)を切り替える
左右の ⊹(スクロールボタン) … 明るさを切り替える
決定 ボタン …… 撮影する(シャッターボタンと同じ)
戻る (電源)ボタン …… 全画面表示からデジタルカメラ画面に戻る。デジタルカメラ画面の場合は、デジタルカメラモードを終了し、フォトメモリーの一覧画面に移る(全画面表示のとき、操作メニュー キーまたは中断 キーにタッチしてもデジタルカメラ画面に戻る)

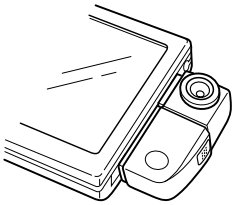
⊹(スクロールボタン)や決定ボタンで操作できますので、片手で持って撮影できます。また、デジタルカメラ画面のボタンにタッチしても操作できます。

撮影する

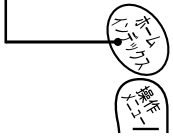
デジタルカメラカードで撮影します。

1 デジタルカメラ画面を表示し、撮影するモードを選択します。

❶ この製品にデジタルカメラカードを取り付ける



❷ ホームインデックス キーに数回タッチする



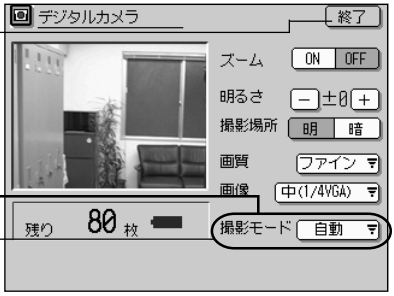
❸ ↓にタッチし、カメラ アイコンにタッチする

ホームインデックス1画面

デジタルカメラモードを終了し、フォトメモリーの画面に切り替える

❹「撮影モード」のボタンにタッチし、撮影モードを選択する

撮影モードには
・自動(フルオート)撮影モード
・ドキュメント撮影モード
・人物撮影モード
・風景撮影モード
・連写撮影モード
があります。各撮影モードについては、285ページをご覧ください。



デジタルカメラ画面

2 フォーカス調整ダイヤル、(スクロールボタン)を操作して、被写体の画像が最適になるように調整します。

❶ レンズ部を回転させて被写体をファインダーに表示する

❷ フォーカス調整ダイヤルを回し、焦点を合わせる

レンズ部
この方向に回転してください。レンズ部は回転範囲を越えて回さないでください(くわしくはCE-AG06の取扱説明書をご覧ください)

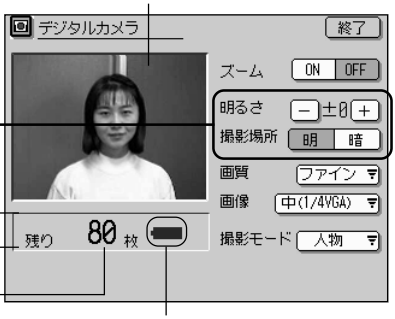
❸ 上下の(スクロールボタン)を押してズーム(ON/OFF)を切り替える
画像サイズが「中(1/4VGA)」、「小(1/16VGA)」のとき、ズーム(ON/OFF)の切り替えができる

❹ 明るさや撮影場所(明/暗)を切り替える

現在の撮影状態が表示される

撮影できる残り枚数

ファインダー



充電池残量表示
ACアダプター使用時は になる

3 撮影します。

❶ シャッターボタンを押す
または 決定 ボタンを押す
撮影した画像がフォトメモリー
などに保存される

● 撮影した画像は
この製品では白黒16階調で表示されます。
- 撮影モードを「ドキュメント」以外にして、画質を「ファイン」、「ノーマル」に設定して撮影すると、撮影した画像はフォトメモリーにJPEG形式で保存されます。
- 撮影モードを「ドキュメント」にして、画質を「ファイン」、「ノーマル」に設定して撮影すると、撮影した画像はフォトメモリーにJPEG形式で保存されます。
- 撮影モードを「ドキュメント」にして、画質を「ドキュメント」にすると、撮影した画像はパーソナルデータベースⅡの「電子アルバム」(☞238ページ)にPNG形式で保存されます。
- JPEG形式で保存されたデータを表示するときには、手順 **2** で表示されている画像よりも少しきめが粗くなります。あらかじめご了承ください。

● フォーカス調整ダイヤルについて
- 接写撮影(約6cm)では、ダイヤルを右(時計回りの方向)に回しきって(のマークがついている側)撮影します。
- 6cm～無限遠の距離では、ダイヤルを回転させて調整します。

● 「ズーム」について(ズーム ON OFF)
上の ⊹(スクロールボタン)を押すと「ズームON」(2倍)、下の ⊹(スクロールボタン)を押すと「ズームOFF」(等倍)に切り替えることができます。「ズームON」(2倍)では、画面の中央部を中心に2倍に拡大されます。「ズーム」では、光学的に2倍にするのではなく、この製品のソフトウェアの処理により画像を2倍に拡大します。画像サイズが大(VGA)のとき、「ズームON」に切り替えることはできません。

● 「明るさ」について(明るさ −±0+)
画面の「明るさ」右の **+** にタッチし、+1、+2と増やしていくと、露光を増やし画面を明るくします。逆に「明るさ」右の **−** にタッチし、−1、−2と減らしていくと、露光を減らし画面を暗くします(+側9段階、−側9段階)。
また、左右の ⊹(スクロールボタン)を押しても露光を切り替えることができます。右の ⊹(スクロールボタン)を押すと、+1、+2と増加し、左の ⊹(スクロールボタン)を押すと、−1、−2と減少します。

● 電子アルバムからデジタルカメラ画面を表示するには
電子アルバム(パーソナルデータベースⅡ)の詳細表示(画像あり)画面の **写真入力** にタッチしても表示できます。

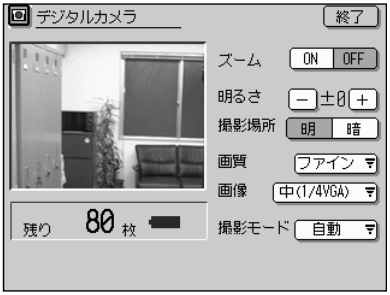
● シャッター音を鳴らす/鳴らさない
操作メニュー キー、 **シャッター音** にタッチし、 **シャッター音ON** または **シャッター音OFF** にタッチして切り替えます。

● カメラカードを装着して**カード**キーにタッチすると、デジタルカメラモードに変わります。
● デジタルカメラCE-AG06は非常に精密度の高い技術で作られておりますが、常時明るい色の点に見える画素や黒く見える画素もありますので、あらかじめご了承ください。
● **撮影するときには**
  • 薄暗い場所など光量の不足している場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、手ブレがおきないよう、しっかり持って撮影してください。
  • 撮影時レンズを指などでふさがないようにしてください。また、「撮影場所」で**暗**が選択されているときは、手ぶれが起こりやすくなります。シャッターボタンを押すときは、本体を動かさないようにしてください。
  • 画像登録中は撮影できません。
● **ファインダーを全画面表示にするには**
逆送りキーにタッチするか、**操作メニュー**キー、**全画面表示へ**にタッチすると、全画面表示になります。もとに戻すには、**戻る**(電源)ボタンを押すか、**順送り**キーまたは**中断**キー、**操作メニュー**キーにタッチします。
全画面表示にすると、フォーカス調整がしやすくなります。
● **残り撮影可能枚数について**
  • 被写体によって画像データのサイズは異なります。また、残り撮影可能枚数は本体メモリーの空き容量から、最大サイズの画像が撮影されることを想定して計算しています。このため、データサイズが小さい被写体の場合には、撮影後に撮影できる残り枚数が減らないことがあります。
  • デジタルカメラカードで撮影する前に、入力・修正途中のデータを登録または中止してください。入力・修正途中のデータがあるときにデジタルカメラモードのオン/オフを繰り返すと、メモリー使用量のグラフのアミの部分が増えるため、撮影できる残り枚数が減ります。
  • デジタルカメラカードを使って撮影していてメモリーが足りなくなったときに、撮影済みの不要なデータを削除しても、撮影できる残り枚数は増えません。削除した後、必ず「メモリー整理」を実行してください。
● 画面が見にくい場合は、本体を縦に持って調整してみてください。

ご注意
● ホームインデックス1画面で**カメラ**アイコンにタッチしてからデジタルカメラモードに変わるまで、数秒かかります。

撮影する状態を設定する

撮影する状態を設定します。



デジタルカメラ画面の説明

◆終了

デジタルカメラモードを終了し、フォトメモリーの一覧画面に移ります。

◆ズーム

デジタルズーム(2倍)のON/OFFを切り替えます(☞290ページ)。

ON … デジタルズームを使う(2倍)

OFF … デジタルズームを使わない(等倍)

◆明るさ

露光を増減し、明るくしたり暗くします(−側9段階、＋側9段階)。

◆撮影場所

カメラカードモードにしたときは、**明**になっています。通常は**明**を選択して撮影します。

ただし、**明**になっていても、画面が暗いときは、**暗**を選択します。たとえば、照明の暗い部屋や日陰などの場所では**暗**を選択します。

暗が選択されているときは、手ぶれが起こりやすくなります。シャッターボタンを押すときは、本体を動かさないようにしてください。

◆画質

撮影する写真の画質を設定します。

ファイン …… 画質はよいが、撮影枚数が減る

ノーマル …… 画質はやや落ちるが、撮影枚数は増える

◆画像

撮影する写真の大きさを設定します。

中(1/4VGA) …… 320×240ドットの大きさで撮影

大(VGA) …… 640×480ドットの大きさで撮影

小(1/16VGA) … 160×120ドットの大きさで撮影

◆撮影モード

撮影モードを切り替えます。撮影モードについては、285ページをご覧ください。

連写を選択すると、その下の**自動連写**/**手動連写**、分割数を指定できます。

◆**自動連写**/**手動連写**

シャッターボタンや**決定**ボタンを押したときの連写方式を設定します(連写撮影モードのみ)。

自動連写 … 一度シャッターボタンや**決定**ボタンを押すと、約0.3〜0.5秒間隔で自動的に撮影される(この間隔は、「画像」で選択した写真の大きさと分割枚数の条件によって異なる)

手動連写 … 手動で1枚ずつシャッターボタンまたは**決定**ボタンを押す。連写を中断するには、**戻る**(電源)ボタンを押す。連写が途中で終了しデータが登録される

◆**4分割**/**16分割**/**64分割**

1枚の写真を何枚に分割して連写するかを設定します(連写撮影モードのみ)。

4分割 … 「画像」で選択した画像サイズを4分割して4枚分の画像を保存する

16分割 … 「画像」で選択した画像サイズを16分割して16枚分の画像を保存する

64分割 … 「画像」で選択した画像サイズを64分割して64枚分の画像を保存する

「画像」が**大(VGA)**のとき

- **4分割**は、1枚が320×240ドットの大きさで保存される
- **16分割**は、1枚が160×120ドットの大きさで保存される
- **64分割**は、1枚が80×60ドットの大きさで保存される

「画像」が**中(1/4VGA)**のとき

- **4分割**は、1枚が160×120ドットの大きさで保存される
- **16分割**は、1枚が80×60ドットの大きさで保存される
- **64分割**は、選択できない

「画像」が**小(1/16VGA)**のとき

- **4分割**は、1枚が80×60ドットの大きさで保存される
- **16分割**は、選択できない
- **64分割**は、選択できない

ご注意

- 操作メニューを開いている間は、ファインダーに表示されている画像は止まります。

撮影した画像を見る

撮影した画像をフォトメモリーから表示します。

1 **ホームインデックス**キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で**フォトメモリー**アイコンにタッチする

2 **見たい画像に1回または2回タッチする**

フォトメモリーの一覧画面

- 「撮影モード」と「画質」を**ドキュメント**にした場合、撮影した画像はパーソナルデータベースⅡの電子アルバムに登録されますので、電子アルバムから表示します。
- **画像を修正・削除するには**
  フォトメモリーのデータと同じように修正・削除します(☞「フォトメモリー」の章)。
- **画面表示サイズより大きな画像を見るには**
  画面表示サイズより大きな画像データをフォトメモリーで表示するときは、画面をスクロールさせて表示します。◇(スクロールボタン)を押すと、画面がスクロールします。

顔写真つきのアドレス帳を作る

顔写真つきのアドレス帳データを作ることができます。

❶ アドレス帳で 新規作成 にタッチし、新規作成画面を表示する

❷ 写真入力 にタッチする

❸ デジタルカメラカードのレンズ部を回転させて、被写体の方に向け、フォーカス調整ダイヤル、(スクロールボタン)を操作して画像を調整する

写真入力画面

❹ シャッターボタンまたは 決定 ボタンを押し、登録する

❺ 詳細表示画面で 修正 にタッチし、個人名などを入力し登録する

個人名の「<未登録>」を削除してから入力する

アドレス帳の詳細表示画面

● 写真入力画面では

連写はできません。また、残り枚数が表示されません。

● 顔写真の入力とデータの登録は

顔写真の画像サイズは80×60ドットです。登録されたデータは個人名に「〈未登録〉」が表示され、インデックスの「他」に分類されます。

● 所有者情報に顔写真をつけるには

所有者情報画面で 写真入力 にタッチした後、手順 ❸ ～ ❹ を操作します。この後、所有者情報を入力し 登録 にタッチして登録します。

MOREソフト

MORE(モア)ソフトは、ザウルス用に開発されたアプリケーションソフトウェアの総称です。
ゲームやビジネスソフトなどのMOREソフトが用意されており、MOREソフトを利用するとこの製品の機能を拡大することができます。
MOREソフトはSharp Space Townにあります。また、MOREソフトのコンパクトROMカード(別売)もご利用になることができます。
この製品には、いくつかのMOREソフトがあらかじめ入っています。MOREソフトの使いかたについては、それぞれの説明書や説明されている章をご覧ください。

- Play Index …… 『取扱説明書(通信ガイド)』「ポストマガジンクラブ」の章
- 文庫 読む …… 『取扱説明書(通信ガイド)』「ブンコビューア/マンガビューア」の章
- マンガビューア … 『取扱説明書(通信ガイド)』「ブンコビューア/マンガビューア」の章
- まず初めに …… 同梱の「はじめにお読みください」
- 利用する …… 『取扱説明書(通信ガイド)』「インターネット(1)」の章、「コラム　Space Townに接続するには?」
- 接続設定 …… 『取扱説明書(通信ガイド)』「インターネット接続設定をしましょう」の章、同梱の「インターネットかんたん接続設定」

ほかのソフトウェアを利用する MOREソフト

インターネットのSharp Space TownにあるMOREソフトを利用するには、次の方法でMOREソフトを読み込む必要があります。

1．インターネットからMOREソフトを読み込む
2．パソコンからMOREソフトを読み込む

MOREソフトを読み込む

1.インターネットからMOREソフトを読み込む

インターネットのSharp Space Townから直接この製品に読み込みます。パソコンを使わなくても、簡単にMOREソフトを読み込めます。

2.パソコンからMOREソフトを読み込む

MOREソフト用のダウンローダーを使って、パソコンからMOREソフトをこの製品に読み込みます。パソコンから読み込むには、MOREソフトおよびダウンローダーをインターネットのSharp Space Townなどからパソコンにダウンロードする必要があります。

くわしくは、MOREソフト用のダウンローダーまたはMOREソフトの使用説明などを参照してください。なお、この機能はパソコン側でコントロールされます。

パソコンから読み込むには、次の3つの通信方法のいずれかを使います。

- オプションポート16を使った通信
- 光通信
- 別売のパソコン連携キットに付属のクレードルを使った通信

❶ **ホームインデックスキーに数回タッチしてMOREインデックス画面を表示**

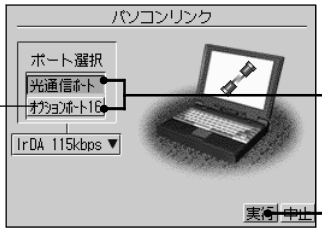
※画面例は実際のものと異なります。

❷ **MORE管理アイコンにタッチ**

❸ **取る にタッチ**

MOREソフト画面

パソコン連携キットに付属のクレードルを使った通信の場合はオプションポート16を選択



❹ **通信方法を選択**

❺ **実行 にタッチ**

❻ **PCリンクの実行画面を確認し、パソコン側でダウンローダーを操作**

● 工場出荷時、この製品には、「利用する」などのMOREソフトが入っています。
● MI-600/MI-500/MI-100シリーズ用のMOREソフト「10円メール」および「10円メールVer.2.0」をこの製品で使用することはできません。

ご注意
● この製品が使用可能機種になっているMOREソフトをご使用ください。使用可能機種については、MOREソフトの説明書に掲載されています。
● 同じ名称のMOREソフトを、本体メモリーとカードの両方に読み込まないでください。古いバージョンのMOREソフトがある場合は、それを削除したうえで、新しいバージョンを読み込んでください。同じ名称のMOREソフトで異なるバージョンのものが本体メモリーとカードの両方に読み込まれていた場合は、そのMOREソフトを実行したとき、起動しなかったり、動作異常が起こったりすることがあります。

MOREソフトを展開する

MOREソフトを使うには、読み込んだMOREソフトを展開する必要があります。

1 MOREソフト画面を表示します（☞前ページ）。

2 展開したいMOREソフトのタイトルにタッチして選択し、展開にタッチします。

読み込んだMOREソフトが伸張・展開されます。MOREソフト画面にそのMOREソフトのアプリケーション名が表示され、**展開**が**実行**になります。また、展開したMOREソフトはMOREインデックス画面にアイコンで表示されます。

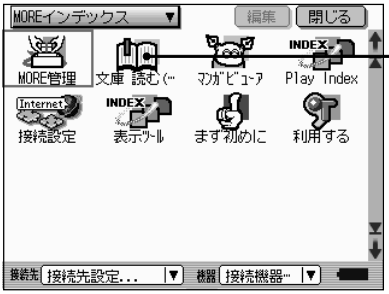
● **カード側のMOREソフトを展開するには**
カードを本体に装着した状態で、MOREソフト画面を表示し、**カード**にタッチしてカード側に入っているMOREソフトを表示します。MOREソフトのタイトルを選択し、**展開**にタッチするとカード側のMOREソフトを展開することができます。

MOREソフトを実行する

MOREソフトは、MOREインデックス画面に表示されるMOREソフトのアイコンにタッチして実行します。

❶ **ホームインデックスキーに数回タッチして、MOREインデックス画面を表示**

※画面例は実際のものと異なります。



❷ **実行するMOREソフトのアイコンにタッチ**

MOREソフトが起動し、選んだMOREソフトの画面が表示される。MOREソフトの操作方法は、MOREソフトに付属のヘルプや説明書をお読みください。

- **MOREインデックス画面について**
  MOREインデックス画面は、MOREソフトを実行するための画面です。この画面には、前項の方法で展開したMOREソフトと実行中のMOREソフトの両方がアイコンで表示されます。また、本体とカードの両方のMOREソフトが表示されます。
- **MOREソフトが実行しているかどうかを確認するには**
  MOREソフト画面で、太字で表示されるMOREソフトが実行中のものです。通常の文字で表示されるMOREソフトは実行されていません。
- 複数のMOREソフトを同時に実行できますが、インターネット接続時など、作業用メモリーが足りないときにはMOREソフトを停止してメモリーを空けてください。MOREソフトの停止の方法は、次項をご覧ください。
- **MOREソフト画面からMOREソフトを実行するには**
  MOREソフト画面で実行するMOREソフトを選択し、**実行**にタッチします。

MOREソフトを停止する

1 MOREソフト画面を表示します（☞297ページ）。

2 停止したいMOREソフトのタイトルにタッチして選択し、停止にタッチします。
停止が**実行**になります。

- MOREソフトを停止しても、MOREソフトはMOREインデックス画面に残ります。

MOREソフトを削除する

1 MOREソフト画面を表示します（☞297ページ）。

2 削除したいMOREソフトのタイトルにタッチして選択します。

3 削除にタッチし、確認画面で、はいにタッチします。
削除したMOREソフトは、MOREソフト画面から消えます。また、MOREインデックス画面からも消えます。

メモ
- 実行しているMOREソフトを削除することはできません。いったん停止させてから削除してください。

MOREドライバーを組み込む

MOREドライバーとは、MOREソフトのうち、本体機能に組み込まれて実行されるものを指します。パソコンにおけるデバイスドライバーのような機能を持ちます。

あらかじめ読み込んだMOREドライバーを本体に組み込みます。

1 MOREソフト画面を表示します（☞297ページ）。

2 組み込みたいMOREドライバーにタッチして選択します。
実行が組み込みになります。

3 組み込みにタッチします。
確認メッセージが表示され、MOREドライバーが組み込まれます。
組み込まれたドライバー名は太文字で表示されます。

ご注意
- MOREドライバーは、必ず本体メモリーで展開し、組み込みを行ってください。MOREドライバーをカード側に読み込み、展開しないでください。

メモ
- MOREドライバーを組み込んでも、MOREインデックス画面には、MOREドライバーのアイコンは表示されません。
- **MOREドライバーの情報を見るには**
  MOREソフト画面で、情報を見たいMOREドライバーに2回タッチします。MOREドライバーの組み込み/取り外しに関係なく表示できます。情報を表示した後、確認にタッチします。
- MOREドライバーを本体に組み込んだ場合、メモリー管理画面（☞363ページ）の「MOREソフト」の件数には数えられませんが、メモリー使用量のグラフには表示されます。

MOREドライバーを取り外す

1 **MOREソフト画面を表示します(☞297ページ)。**

2 **取り外したいMOREドライバーにタッチして選択します。**
実行が**取り外し**になります。

3 **取り外し にタッチします。**
確認メッセージが表示され、MOREドライバーが取り外されます。

● **MOREドライバーを削除するには**
MOREドライバーを削除するときは、いったん組み込みを解除(取り外し)してから削除してください。組み込んだままでは削除できません。

統合辞典

統合辞典には、国語辞典、漢和辞典、英和辞典、和英辞典の4つの辞典があります。国語辞典では見出し語表記から、漢和辞典では見出し語・部首・画数などから、漢字や読み、意味などを多角的に調べられます。また、英和・和英辞典からも探せます。
さらに、よく使う単語にマークをつけると、辞典からすばやく調べられます。
各辞典の編集要旨については、「付録」の章、「統合辞典について」をご覧ください。

始めましょう

「始めましょう」(☞302～305ページ)は、統合辞典を初めて使われる方を対象に、基本的な使いかたをやさしく説明しています。さらにくわしい操作方法や「始めましょう」に含まれていない機能については、306ページ以降をご覧ください。

読みから漢字を調べる　国語辞典

見出し語の読み(「ほととぎす」)から漢字(「時鳥」など)を国語辞典で調べましょう。

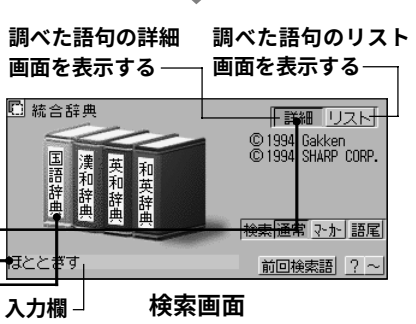
1 統合辞典の検索画面を表示し、読みを入力し、漢字を調べます。

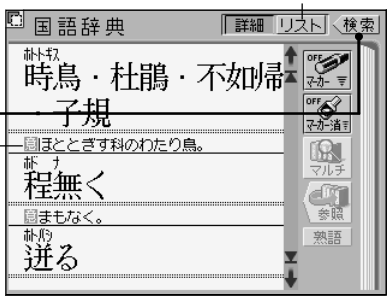
❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で 辞典 アイコンにタッチする

❷ 入力ボードから読みをひらがなまたはカタカナで入力し、採用 にタッチして入力欄に表示する
ここでは「ほととぎす」を入力する

❸ 詳細 にタッチする

❹ 国語辞典 にタッチする





詳細画面

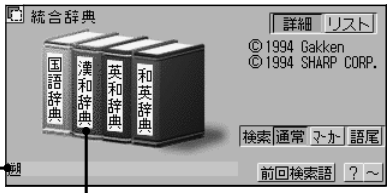
● 検索画面に 前回検索語 が表示されたときは
いったん辞典を使用すると、検索画面に 前回検索語 が表示されます。タッチすると、前回検索した語が入力され、もう一度検索できます。

漢字から読みを調べる　漢和辞典

漢字(「遡」)を手書認識ボードに手書きして、読みかたを漢和辞典で調べましょう。

1 漢字を手書きし、読みかたを調べます。

❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で 辞典 アイコンにタッチする



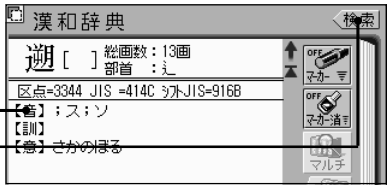
検索画面

❷ 手書認識ボードから調べる漢字(「遡」)を入力し、採用 にタッチして入力欄に表示する

❸ 画面右上の 詳細 にタッチし、漢和辞典 にタッチする

❹ 漢字の読みかたを確認する

❺ 検索 にタッチし、検索画面に戻る



詳細画面

● 手書き文字が認識できないときは
部首、総画数から探します(☞309、310ページ)。
● 漢和辞典では、前回検索語を使用できません。

スペルから英単語の意味を調べる 英和辞典

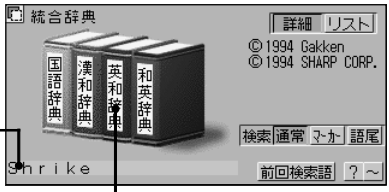
スペル(「Shrike」)から英単語の意味を英和辞典で調べましょう。

1 英単語のスペルを入力し、その意味を調べます。

❶ ホームインデックスキーに数回タッチし、ツールインデックス画面で辞典アイコンにタッチする

❷ 英語のスペル(「Shrike」)を入力して入力欄に表示する

❸ 画面右上の詳細にタッチし、英和辞典にタッチする

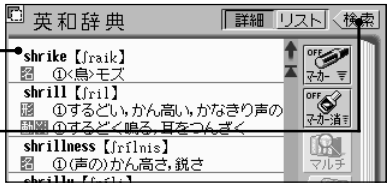


検索画面

❹ 目的の英単語を確認する

❺ 〈検索にタッチし、検索画面に戻る

一致する英単語がないときは入力した英単語よりも並び順が後で、もっとも近い英単語が呼び出される



詳細画面

● 英字の入力は

何も入力されていないときに 英和辞典 にタッチすると、タイプライターボードが表示されます。英字は、全角、半角、大文字、小文字の区別なく検索できます。

● 前回検索語にタッチすると

前回検索した語が入力され、もう一度検索できます。

● 複数形や過去形で見出し語検索をするには

複数形や過去形などの変化形のスペルで見出し語検索を行い、一致する見出し語が見つからなかった場合、変化形情報を調べて、その原形の見出し語を表示します。

例：「LILIES」で見出し語検索を行うと、見出し語‘ LILY ’が検索されます。

● 熟語の意味を調べるには

たとえば「take：care」などと、単語の間に、全角または半角「：」を入れると、それらの単語を使った熟語の意味を調べることができます。

日本語から英単語を調べる　和英辞典

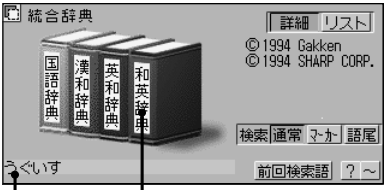
日本語読み(「うぐいす」)から英単語を和英辞典で調べましょう。

1 日本語の読みを入力し、英単語を調べます。

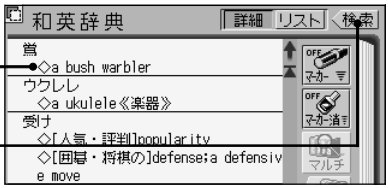
❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で 辞典 アイコンにタッチする

❷ 読みをひらがなまたはカタカナで入力して入力欄に表示する
ここでは「うぐいす」を入力する

❸ 画面右上の 詳細 にタッチし、
和英辞典 にタッチする



検索画面



詳細画面

❹ 目的の英単語を確認する

❺ 〈検索〉 にタッチし、検索画面に戻る

一致する見出し語がないときは「見つかりません」のメッセージが表示される

● 前回検索語 にタッチすると
前回検索した語が入力され、もう一度検索できます。

ここからは、くわしい説明

306〜320ページでは、「始めましょう」よりくわしい操作説明や、「始めましょう」に含まれていない機能について説明しています。
統合辞典機能について、便利な機能が使えるようになります。

国語辞典で調べる　国語辞典

国語辞典を使うと、読み・漢字を含む語から漢字や意味などを調べることができます。

使いかた	内　容
見出し語読み検索 **(☞302ページ)**	読み(ひらがな、カタカナ)から、その言葉の漢字や意味などを調べる
見出し語表記検索 **(頭引きサーチ)**	漢字を含む語で始まる言葉の読みや意味などを調べる また、漢字1字からその文字で始まる熟語などを調べる
見出し語語尾読み検索 **(逆引きサーチ)**	入力した読みと同じ読みで終わる言葉の漢字や意味などを調べる
見出し語語尾表記検索 **(逆引きサーチ)**	入力した語(漢字を含む)と同じ語で終わる言葉の意味や読みなどを調べる
熟語検索	調べた漢字から、関連する熟語やその意味を調べる

(注)この製品で入力できても、辞典に収録されていない文字があります。

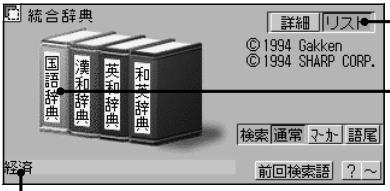
メモ

- **表記検索とは**
  辞典の見出し語の文字そのものを調べることです。
- **語尾検索について**
  語尾検索は、国語辞典、英和辞典、和英辞典で使えます。**語尾**にタッチした後、調べたい辞典で探します(☞306、313、316ページ)。一致するものがないときは「見つかりません」と表示され、もとの画面に戻ります。
- 見出し語による検索の結果、256以上の候補があるときは、「候補が多過ぎます」とメッセージを表示した後、検索画面に戻ります。わかっている言葉は、できるだけ入力するようにしてください。

ある文字から始まる言葉を探す　見出し語表記検索

見出し語(「経済」)から始まる言葉(「経済学」など)を探します。

❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で 辞典 アイコンにタッチ

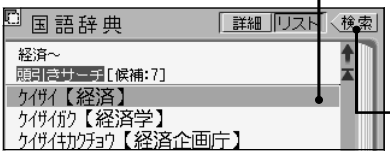


❸ リスト にタッチ

❹ 国語辞典 にタッチ

❷ 見出し語を入力し 採用 にタッチ

検索画面



❺ 調べたい言葉に1回または2回タッチし、詳細画面を表示

❻ 検索 にタッチすると、検索画面に戻る

- 手順 ❸ で 詳細 にタッチして調べることもできます。
- 漢字や熟語は50音順に表示されます。

調べた漢字1字から熟語を探す　熟語検索

漢字1字(「辞」)を調べた後、その漢字を使った熟語を探します。

1 **見出し語読み・表記検索などで詳細画面を表示し、逆送り キー、順送り キーにタッチして、熟語の調べたい漢字(「辞」)を画面の先頭に表示します。**

2 **熟語 にタッチします。**
熟語リスト画面が表示されます。
熟語 が薄く表示されている語は、熟語が収録されていません。

3 **調べたい熟語に1回または2回タッチします。**
熟語詳細画面が表示されます。

4 **別の熟語を調べるときは、逆送り キー、順送り キーにタッチします。**

漢和辞典で調べる

漢和辞典

漢和辞典を使うと、漢字1字、部首、画数などから、読みや意味などを調べることができます。

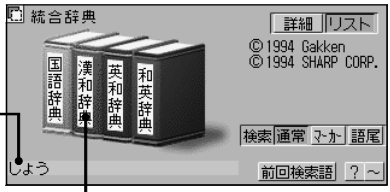
使いかた	内　　容
漢字検索 **(☞303ページ)**	漢字1字から、読みや画数、熟語などを調べる
音訓検索	音読みや訓読みから、漢字や熟語などを調べる
部首検索	部首から、漢字や読み、熟語などを調べる
総画数検索	総画数から、漢字や読みや熟語などを調べる
部首画数検索	部首画数から、漢字や読み、熟語などを調べる
部品検索	漢字の一部分(部品)から、漢字や読みや熟語などを調べる
組み合わせ検索	音訓、部品、部首、総画数の各条件を組み合わせて調べる
熟語検索	調べた漢字から、関連する熟語を調べる
異体字検索	調べた漢字から、異体字を調べる

音読み・訓読みから漢字を探す

音訓検索

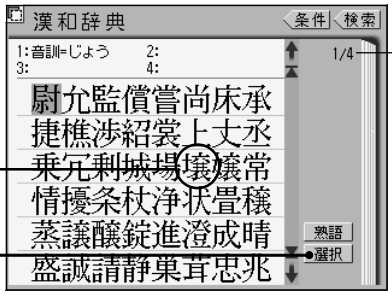
音読み(「じょう」)や訓読みから漢字(「壌」)を探します。

❶音読み、訓読みをひらがなまたはカタカナで入力し、[採用]にタッチ



検索画面

❷[漢和辞典]にタッチ



候補漢字表示画面

❸目的の漢字にタッチ

❹[選択]にタッチ

画面番号

漢字の候補が何画面分あるか、現在表示中の画面がその何番目かを示す。[逆送り]キー、[順送り]キーで画面を送ってほかの候補を表示できる

選択した漢字の読みなどが漢字表示画面に表示される

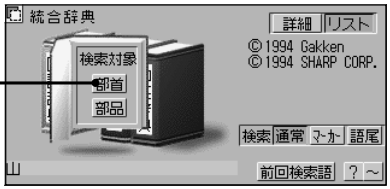
部首から漢字を探す

部首検索

漢字(「峰」)の部首(「山」)から、読み(「みね」)を調べます。

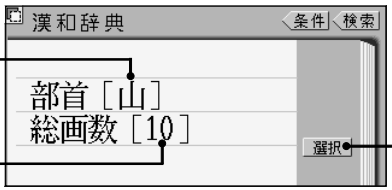
❶検索画面で何も入力されていないことを確認し、漢和辞典にタッチ
「検索対象」に部首と部品が表示される
また、入力ボードが手書認識ボードに変わる

❷手書認識ボードから部首(「山」)を入力し、採用にタッチ



❸部首にタッチ

検索画面

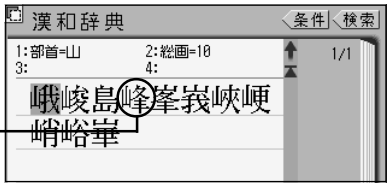


❹入力した部首を確認

❺部首を含む総画数を入力

❻選択にタッチ

部首総画数入力画面



❼目的の漢字にタッチし、選択にタッチ

候補漢字表示画面

選択した漢字の読みなどが漢字表示画面に表示される

- 漢和辞典にタッチして表示された「検索対象 部首 部品」を消すときは、「検索対象 部首 部品」以外の検索画面にタッチします。
- 手順 ❶ で表示された手書認識ボードでは、部品または部首のみを認識します。
- 総画数は入力しなくても、入力した部首の漢字の候補を表示できます。

画数から漢字を探す

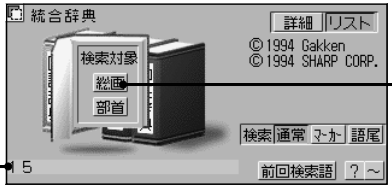
漢字の画数から漢字を探すには、次の2つの方法があります。

- 漢字の総画数から探す　…　総画数検索
- 部首の画数から探す　……　部首画数検索

総画数から漢字を探す　　総画数検索

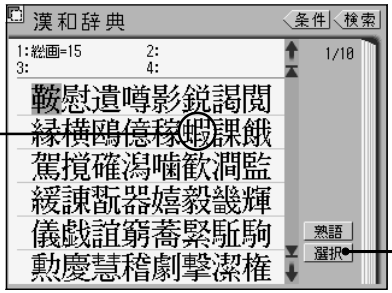
漢字(「蝦」)の総画数(15)から、読み(「えび」)を調べます。

❶検索画面で総画数を入力し、漢和辞典にタッチ



❷総画にタッチ

検索画面



❸目的の漢字にタッチ

❹選択にタッチ

選択した漢字の読みなどが漢字表示画面に表示される

部首の画数から漢字を探す　部首画数検索

漢字(「峰」)の部首画数(3)から、読み(「みね」)を調べます。

1 **検索画面で、部首の画数(「3」)を入力し、漢和辞典にタッチします。**
「検索対象」に総画と部首が表示されます。

2 **部首にタッチします。**
指定した画数の部首一覧が表示されます。

3 **目的の部首(「山」)にタッチして選び、選択にタッチします。**
総画数入力画面が表示されます。

4 **漢字の総画数(「10」)を入力し、選択にタッチします。**
漢字の候補が表示されます。

5 **目的の漢字(「峰」)にタッチして選び、選択にタッチします。**
漢字の読みが漢字表示画面に表示されます。
熟語を調べるときは、目的の漢字にタッチして選び、熟語にタッチします。

メモ
- 漢和辞典にタッチしたときに表示される「検索対象 総画 部首」を消すときは、「検索対象 総画 部首」以外の検索画面にタッチします。
- 部首画数検索では総画数を入力しなくても、選択した部首の漢字の候補を表示できます。

漢字の一部分から漢字を探す　部品検索

手書認識ボードで手書きした漢字の一部分から漢字を探します。
部品とは、たとえば「習」の中の「白」や、「座」の中の「土」のように、漢字を構成している一部分です。

例　部品「旧」から「稲」を調べる場合

1 **検索画面で何も入力されていないことを確かめ、漢和辞典にタッチします。**
「検索対象」に部首と部品が表示されます。また、入力ボードが手書認識ボードに変わります。

2 **手書認識ボードから部品(「旧」)を入れ、採用、部品にタッチします。**
漢字の候補が表示されます。

3 **目的の漢字(「稲」)にタッチして選び、選択にタッチします。**
漢字が漢字表示画面に表示されます。
熟語を調べるときは、目的の漢字にタッチして選び、熟語にタッチします。

メモ
- 漢和辞典にタッチしたときに表示される「検索対象 部首 部品」を消すときは、「検索対象 部首 部品」以外の検索画面にタッチします。
- 手順 **1**で表示された手書認識ボードでは、部品または部首のみを認識します。

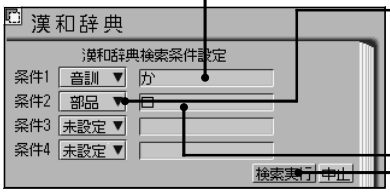
複数の条件で漢字を探す　組み合わせ検索

音訓検索、部品検索、部首検索、部首画数検索、総画数検索で探した候補から、さらに条件を追加して漢字を絞り込むことができます。探した候補が多いときに便利です。

例　音訓検索で調べた「嘩」の音読み「か」の漢字候補から、部品(「口」)を追加して絞り込む場合

❶検索画面で音読みを入力して採用し、[漢和辞典]にタッチ

❷候補漢字表示画面で〈[条件]にタッチ



検索条件設定画面

❼目的の漢字にタッチし、[選択]にタッチ
選択された漢字が漢字表示画面に表示される

メモ
- [部品]、[部首]にタッチして部品検索、部首検索で表示される手書認識ボードでは、部品または部首のみを認識します。

調べた漢字から熟語を探す　熟語検索

漢字の熟語を調べます。漢字表示画面では、熟語を調べたい漢字を表示させ[熟語]にタッチします。

音訓検索・部首検索・部首画数検索・部品検索・総画数検索では、候補漢字表示画面で目的の漢字を選択し、[熟語]にタッチすると熟語リスト画面が表示されます。調べたい熟語にタッチすると、熟語詳細画面が表示されます。熟語リスト画面以降の操作は国語辞典と同じです(☞307ページ)。

調べた漢字の異体字を探す　異体字検索

「学」と「學」など、意味が同じで標準の漢字と字体が違う語(異体字)を調べます。

1 異体字を調べたい漢字を漢字表示画面に表示させます。

2 [異体字]にタッチします。

さらに[異体字]にタッチすると、次の異体字が表示されます。

[異体字]が薄く表示されている語は、異体字が収録されていません。

英和辞典で調べる　英和辞典

英和辞典を使うと、スペルから英単語の意味などを調べることができます。

使いかた	内　容
見出し語検索 **(☞304ページ)**	単語のスペルから、意味などを調べる
見出し語語尾検索 **(逆引きサーチ)**	入力したスペルと同じスペルで終わる英単語を調べる
熟語検索	調べた英単語の熟語を調べる
変化形検索	調べた英単語の変化形を調べる
例文検索	調べた英単語の例文を調べる
ワイルドカード検索	途中で不明なスペルを「?」(例「g??ge」)に置き換えて調べる 「?」は、アルファベット1文字に対応する
ブランクワード検索	途中で不明な複数文字のスペルを「~」に置き換えて調べる 「~」は、アルファベット数文字に対応する

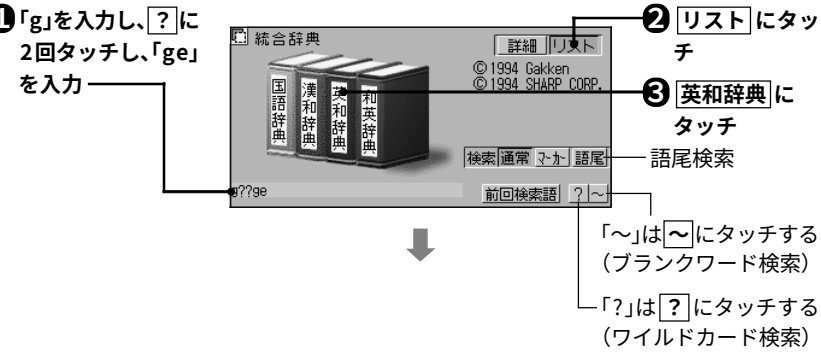
スペルがわからない英単語を探す

スペルがわからない英単語は、次の方法で探します。

ワイルドカード検索	ブランクワード検索	見出し語語尾検索
文字数がわかっていてスペルがはっきりしないとき	途中の文字数がはっきりしないとき	スペルの語尾以外がはっきりしないとき

文字数がわかっていてスペルがはっきりしない英単語を探す　ワイルドカード検索

ここでは、途中の2文字が不明な単語(「gauge」)として、「g??ge」を入力してワイルドカード検索で探します。



❹目的の英単語に1回または2回タッチ

ワイルドカードリスト画面

●“ ？ ”使用時の注意

- 先頭文字には指定できません。
- ブランクワード検索“ ～ ”と組み合わせて指定できません。
- 記号、ハイフン(－)、スペースなどを含む語は、検索対象にはなりません。
- 単語の大文字、小文字の区別なく探します。
- 候補が256以上あるときは、「候補が多過ぎます」とメッセージを表示した後、検索画面に戻ります。わかっているスペルは、できるだけ入力するようにしてください。

● 手順 ❷ で 詳細 にタッチしても調べることができます。

途中の文字数がはっきりしない英単語を探す　ブランクワード検索

ここでは、途中の数文字が不明な単語(「Saturday」)を、「s～day」を入力してブランクワード検索で探します。

1 検索画面で、「s」を入力し、～にタッチし、「day」を入力します。
「s～day」と入力されます。

2 リストにタッチします。

3 英和辞典にタッチします。
ブランクワードリスト画面が表示されます。

4 目的の英単語(「Saturday」)に1回または2回タッチします。
英単語が表示されます。

●“ ～ ”使用時の注意

- ブランクワード検索は、3文字以上ある単語を対象とします。
- “ ～ ”の前と後には必ず文字を入れてください。
- 記号、ハイフン(－)、スペースなどを含む語は、検索対象にはなりません。
- ワイルドカード検索“ ？ ”と組み合わせて指定できません。
- “ ～ ”は１単語中、１回しか指定できません。
- 候補が256以上あるときは、「候補が多過ぎます」とメッセージを表示した後、検索画面に戻ります。わかっているスペルは、できるだけ入力するようにしてください。

● 手順 **2**で 詳細 にタッチしても調べることができます。

スペルの語尾以外がはっきりしない英単語を探す　見出し語語尾検索

ここでは、語尾以外が不明な単語(「altruistic」)を、「istic」を入力して見出し語語尾検索で探します。

1 **検索画面で「istic」を入力し、[語尾]にタッチします。**

2 **[リスト]にタッチします。**

3 **[英和辞典]にタッチします。**
語尾リスト画面が表示されます。

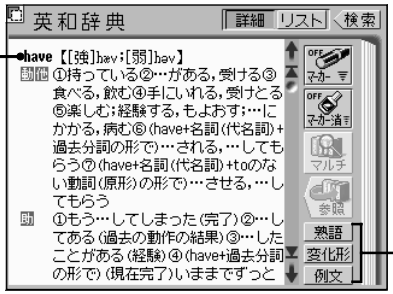
4 **目的の英単語(「altruistic」)に1回または2回タッチします。**
英単語が表示されます。

- 手順 **2**で[詳細]にタッチしても調べることができます。
- **見出し語語尾検索について**
  候補が256以上あるときは、「候補が多過ぎます」とメッセージを表示した後、検索画面に戻ります。わかっているスペルは、できるだけ入力するようにしてください。

熟語、例文、変化形を調べる　熟語検索、例文検索、変化形検索

英単語の熟語、例文、変化形を調べます。

❶探した英単語を英単語詳細画面の先頭に表示



英単語詳細画面

❷熟語を調べるときは[熟語]、変化形を調べるときは[変化形]、例文を調べるときは[例文]にタッチ

和英辞典で調べる　和英辞典

和英辞典を使うと、日本語読みから英単語を調べることができます。

使いかた	内　容
見出し語読み検索 **(☞305ページ)**	日本語読み(ひらがな、カタカナ)から、英単語を調べる
見出し語表記検索 **(頭引きサーチ)**	漢字を含む語で始まる日本語に対応する英単語を調べる
見出し語語尾読み検索 **(逆引きサーチ)**	入力した読みと同じ読みで終わる日本語に対応する英単語を調べる
見出し語語尾表記検索 **(逆引きサーチ)**	入力した言葉(漢字を含む)と同じ言葉で終わる日本語に対応する英単語を調べる

- **語尾検索について**
  入力した検索語と同じ言葉で終わる日本語(ひらがな、カタカナ、漢字・熟語)に絞り込んで50音順に表示します。検索画面で、**語尾**にタッチして探します。一致する語がないときは、「見つかりません」と表示され、もとの画面に戻ります。
- **見出し語のリストから英単語を調べるには**
  検索語を入力し、検索画面で**リスト**にタッチした後、**和英辞典**にタッチします。見出し語リスト画面が表示されます。
- 和英辞典では、入力した言葉とは、無関係に思える見出し語まで検索されることがあります。これは「派生語」も検索の対象になっているためです。「派生語」については458ページを参照してください。

漢字を含む文字から英単語を探す　見出し語表記検索

漢字を含む文字(「愛情」)から英単語を探します。

1 **検索画面で詳細にタッチします。**

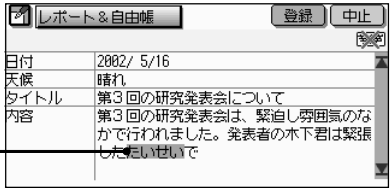
2 **調べたい日本語(「愛情」)を入れ採用し、和英辞典にタッチします。**
見出し語が表示されます。

ほかの機能の文字から辞典を引く オンライン辞典

ほかの機能を使っていて不明な語句が出てきたとき、なぞって選択すると、直接辞典で調べることができます。もとの機能が新規作成画面や修正画面のときは、調べた内容を貼り込むことができます。

例 レポート＆自由帳のデータ内の文字「たいせい」から、同音異義語とその意味を調べ、ひらがなを正しい漢字(「体勢」)に置き換える場合

❶調べたいひらがなをなぞって選択



レポート＆自由帳の新規作成/修正画面

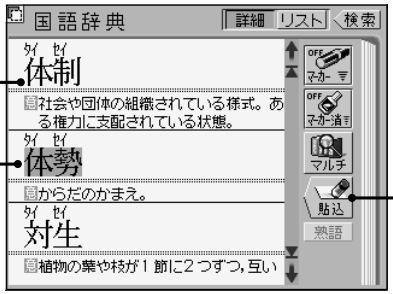
❷ ホームインデックス キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で 辞典 アイコンにタッチ

❸統合辞典の検索画面で 詳細 にタッチ

❹ 国語辞典 にタッチ

❺選択されている文字にタッチして選択を解除

❻貼り込む文字をなぞって選択



❼ 貼込 にタッチ

詳細画面

選んだ漢字がもとの機能で選択した文字に置き換えられる

メモ
- 漢和辞典などで調べたいときは、手順 ❹ で 漢和辞典 または 英和辞典、和英辞典 のいずれかにタッチします。

● ほかの機能のデータをなぞって選択した後、辞典を引き、辞典の漢字や意味などにタッチして選択すると、右側に**貼込**が表示されます。選択をやめ普通表示にすると、**参照**に変わります。**参照**にタッチすると、もとの機能に戻ります。**貼込**にタッチすると、もとの機能が新規作成画面や修正画面のときは、選択した辞典の文字が貼り込まれます。もとの機能が詳細表示画面のときは、辞典で選択した文字でキーワード検索が実行されます。

● **辞典でなぞって選択した文字と貼り込まれる文字**

見出し語のほかに意味も貼り込めます。見出し語と意味を選択して**貼込**にタッチすると、次のように「見出し語(意味)」の形で貼り込まれます。

体勢 → 体勢(からだのかまえ。)
意 からだのかまえ。

また、熟語でも熟語見出し語と意味が貼り込めます。

なぞって選択した文字	貼り込まれる文字
見出し語と意味	見出し語(意味)
意味	意味
見出し語	見出し語
熟語見出し語と意味(*)	熟語見出し語(意味)
熟語の意味(*)	意味
熟語見出し語(*)	熟語見出し語

＊：和英辞典以外で使用できます。

なお、複数の見出し語も貼り込めます。このとき、見出し語と見出し語の間に「/」が入ります。1つの見出し語で意味と類語のように複数の項目を選択したときは、間に「,」(半角)が入ります。

● フォトメモリー、インターネットなどの通信画面、インターネットライブラリなどからは、辞典を引くことができません。

調べた語からほかの辞典を引く　マルチ検索

各辞典で調べた語から、もう一度辞典を引き直すことができます。

例　**国語辞典で調べた「伝達」の説明に書かれた類語の「通達」の英訳を調べる場合**

1 **検索画面で、詳細にタッチした後、検索語(「伝達」)を入れ採用し、国語辞典にタッチします。**
詳細画面が表示されます。

2 **ほかの辞典で調べたい語(「通達」)をなぞって選択し、マルチにタッチします。**

3 **引きたい辞典(和英辞典)にタッチします。**
詳細画面が表示されます。

4 **続けて引き直したいときは、手順 2 ～ 3の操作を繰り返します。**

メモ

● **マルチ検索で調べられる検索方法**

次に引く辞典	検索方法
国語辞典	見出し語読み検索、見出し語表記検索、見出し語語尾読み検索、見出し語語尾表記検索
漢和辞典	漢字検索、音訓検索
英和辞典	見出し語検索、見出し語語尾検索
和英辞典	見出し語読み検索、見出し語表記検索、見出し語語尾読み検索、見出し語語尾表記検索

よく使う言葉にマークをつける　マーカー

統合辞典でよく使う言葉にマークをつけると、探しやすくなります。

マークをつける　マーカー

よく使う言葉にマークをつけます。

1 **英和辞典で単語(「exalt」)を調べ、英単語画面に表示します。**

2 **マーカーOFFにタッチし、マーカーONにします。**

3 **マークする単語にタッチします。**
単語の左にマーカーマーク( )がつきます。

● まちがえてマークした場合は**マーカー消OFF**にタッチして**マーカー消ON**にした後、まちがえた単語にタッチしてマークを消します。
● マーカーは、辞典ごとにそれぞれ100個まで登録できます。

マークつきの言葉を探す　マーカー検索

マークをつけた言葉を探します。

1 検索画面で、マーカーとリストにタッチします。

2 英和辞典など、マークつきのものを探す辞典にタッチします。
マークリスト画面が表示されます。

3 目的の言葉に1回または2回タッチします。
言葉の意味などがマーク詳細画面に表示されます。

マークを消す　マーカー消し

マークを消すには、2つの方法があります。
- 1語ずつマークを消す
- 各辞典別のマーク、すべてのマークを消す

ここでは、1語ずつマークを消します。

1 検索画面で、リストとマーカーにタッチします。

2 マークを消したい辞典にタッチします。
マークリスト画面が表示されます。

3 マークを消す言葉に1回または2回タッチします。
マーク詳細画面に表示されます。

4 マーカー消OFFにタッチし、マーカー消ONにします。

5 マークを消す言葉にタッチします。
言葉の左側のマーカーマークが消えます。

● 各辞典別のマーク、すべてのマークを消すには、検索画面で**操作メニュー**キー、**削除**にタッチし、消したいマークの範囲を選びます。

時　計

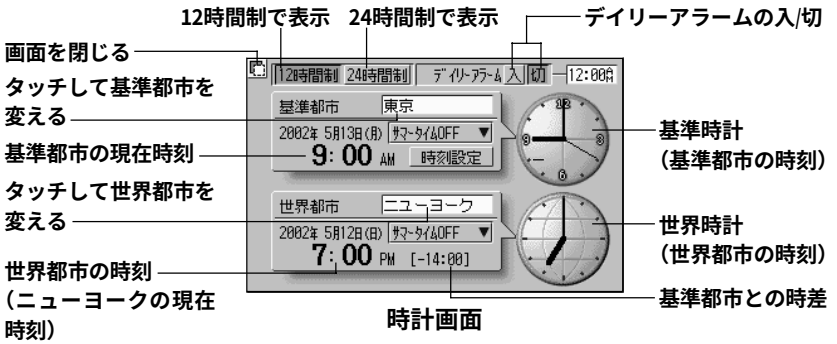
時計機能では、海外で使用するときに基準時計の都市を変えることができます。また、毎日同じ時刻にアラームを鳴らすことができます。

時計を使う

時刻を調べる　基準時計・世界時計

時刻を調べます。

❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で 時計 アイコンにタッチ



時計画面

● 基準都市とは
世界時計を正しく動かすための基準になる都市です。基準都市を設定し、その都市（地域）の時刻に時計を合わせると、時差から世界都市の時刻を表示します。通常日本で使うときは、「東京」または「大阪」にします。

● 基準時計とは
世界時計やカレンダー/スケジュールの表示、アラームの動作、日付スタンプや時刻スタンプの入力などの基準になる時計です。正しく合わせてください。

● 世界都市/世界時計とは
この製品に登録されている世界中の都市の中から1つを選択し表示します。また、世界時計はその世界都市の現在時刻を表示します。

時計を合わせる

時刻設定

時計を合わせるには、基準時計を設定します。

時刻設定画面

● 年月日は2058年12月31日まで設定できます。

基準時計の都市を変える

基準都市

基準都市の都市を変えます。

1 時計画面で、基準都市の都市名にタッチします。
都市変更画面が表示されます。

2 変更する都市名を表示させ、1回または2回タッチします。
時計画面に戻ります。

● **海外旅行などで時計を現地時間に合わせるには**
基準都市を変えた後、時刻を合わせてください。基準都市を変更せずに、日付・時刻のみを現地時間に合わせると、世界都市の日付・時刻が正しく表示されません。

● 時計の都市名や国名、時差などは1997年7月現在のデータです。時差はサマータイムを設定しない基本の時刻にもとづいています。

世界時計の都市を変える

世界都市

世界都市の都市を変えます。

1 時計画面で、世界都市の都市名にタッチします。
都市変更画面が表示されます。

2 変更する都市名を表示させ、1回または2回タッチします。
時計画面に戻ります。

毎日同時刻にアラームを鳴らす　デイリーアラーム

毎日同じ時刻にアラームを鳴らすには、デイリーアラームを設定します。

1 時計画面で、「デイリーアラーム」の右の 入 にタッチします。

2 「デイリーアラーム」の右の時刻欄にタッチします。
デイリーアラーム時刻設定画面が表示されます。

3 時刻を入力します。

4 設定 にタッチします。
時計画面に戻ります。

メモ
- **デイリーアラームの設定を一時的に切るには**
  明日から数日間だけアラームを止めたいときなどには、時計画面の「デイリーアラーム」の 切 にタッチします。
- **デイリーアラームの音を一時的に鳴らないようにするには**
  ユーザー設定のサウンド設定画面で「デイリーアラーム」を 切 に設定すると、音を鳴らさないようにすることができます（このとき時計画面の「デイリーアラーム」が 入 になっていると、デイリーアラームのメッセージは表示されます）。
- デイリーアラームが 入 のとき、電源が切れていても、アラーム時刻になると自動的に電源が入り、アラームが鳴ります。
- データ通信を行っているときなどでは、アラーム時刻になっても鳴りません。

サマータイムをセットする　サマータイム

サマータイムをセットします。

1 時計画面で、サマータイム OFF▼ にタッチし、表示されたメニューから サマータイム ON を選択します。
1時間プラスした時刻が表示されます。

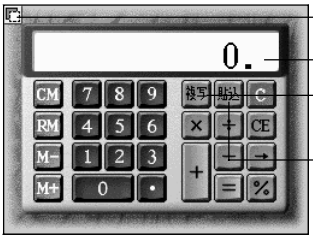
メモ
- **サマータイムを表示するには**
  サマータイムは、表示を1時間プラスするだけで、内蔵時計は変更されません。
  また、地域や季節ごとに自動的には設定されません。
  サマータイムは、基準都市と世界都市で別々に設定します。
- **サマータイムを解除するには**
  サマータイム ON▼ にタッチし、表示されたメニューから サマータイム OFF を選択します。

電　卓

電卓機能では、一般の電卓と同じ操作で10桁までの計算ができます。

計算する

❶ ホームインデックスキーに数回タッチし、ツールインデックス画面で電卓アイコンにタッチ



画面を閉じる
表示窓
表示されている数字を複写する
ほかの機能で複写した数字を貼り込む（☞353ページ）

計算例		キー操作	表示結果
加減乗除	12×3+5=	12 × 3 + 5 =	41.
	(−24)÷4−2=	C − 24 ÷ 4 − 2 = 負数計算は負数が最初にくる場合に限り C − と押して計算できます。	−8.
定数計算	34+57= 45+57=	34 + 57 =　（加数が定数となります） 45 =	91. 102.
	48−23= 14−23=	48 − 23 =　（減数が定数となります） 14 =	25. −9.
	68×25= 68×40=	68 × 25 =　（被乗数が定数となります） 40 =	1'700. 2'720.
	35÷14= 98÷14=	35 ÷ 14 =　（除数が定数となります） 98 =	2.5 7.
パーセント計算	200の10%は？	200 × 10 %	20.
	9は36の何%？	9 ÷ 36 %	25.
割増／割引計算	200の10%増しは？	200 + 10 % (または200 × 10 % + =)	220.
	500の20%引きは	500 − 20 % (または500 × 20 % − =)	400.
べき乗	$(4^3)^2$=	4 × = = × =	4'096.
逆数計算	1／8=	8 ÷ =	0.125

- 計算をするときは、[C]にタッチしてから始めてください。
- 入力中に数字を入れまちがえたときは、[→]にタッチします。直前に入れた数字を右端から1桁ずつ取り消します。また、計算結果が表示されているときに[→]にタッチすると、右端の数字が消え、桁数が1つ減ります。

計算例		キー操作	表示結果
メモリー計算	**累計**	計算の前にメモリーを消します。	(*) M
	25×5=	[CM] 25 [×] 5 [M+]	125.
	−)84÷3=	84 [÷] 3 [M−]	28. M
	+)68+17=	68 [+] 17 [M+]	85. M
	(計)=	[RM]	182. M
		[M+] [M−] は [=] の働きもかねています	
	一時記憶		
	(14−3×2)×	[CM] 14 [M+] 3 [×] 2 [M−]	6. M
	(52−35)=	52 [−] 35 [×] [RM] [=]	136. M
	定数記憶		
		[CM] 12 [+] 14 [M+]	26. M
	135×(12+14)=	135 [×] [RM] [=]	3'510. M
	(12+14)÷5=	[RM] [÷] 5 [=]	5.2 M

＊：メモリーに0以外の数値が入ると、**M**が表示されます。

- メモリーを使う計算では、[CM]にタッチして、メモリー内容を消去してから始めてください。

●‘ E ’が表示されたとき

計算の結果‘ E ’が表示されると、それ以降の計算ができません。
このようなときは、[C]にタッチしてください(①では、[CE]でも解除できます)。

①計算結果の整数部が11〜20桁になったとき(概算)

例：4567890123 [×] 456 [=]　　208.2957896 E

このときの答えの小数点は、100億の位を示します。

概数：2兆829億5789万6000
(208.2957896×10^{10}=2,082,957,896,000)

②除数が０の計算をしたとき
例：5 [÷] 0 [=]

③メモリーの数値の整数部が10桁を超えたとき
例：[CM] 9999999999 [M+] 1 [M+]

④計算結果の整数部が21桁以上になったとき
例：1000000000 [÷] 0.000000001 [%]

情報ファイル

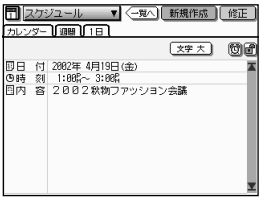
情報ファイルって何ができるの？

スケジュール、アドレス帳など各機能で登録したデータの中から、プロジェクトごとや得意先ごとなどの関連しているデータだけを1つのファイル(データを整理して保管する入れもののようなもの)にまとめて整理できます。また、各チームごとのスケジュールデータやアドレス帳の得意先データ、報告書など関連するデータを1つにまとめることができます。整理したファイルを開くと、まとめたデータのみが表示され探しやすくなります。

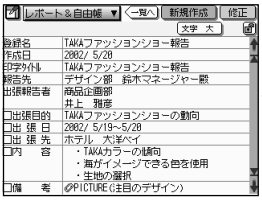
関連のあるデータを1つの
情報ファイルにまとめる

情報ファイル

アドレス帳



スケジュール



レポート＆自由帳

いろいろなデータを集める　整理

新しく作ったファイルに、関連するデータを集めます。
データをファイルに集めるには、次の2つの方法があります。

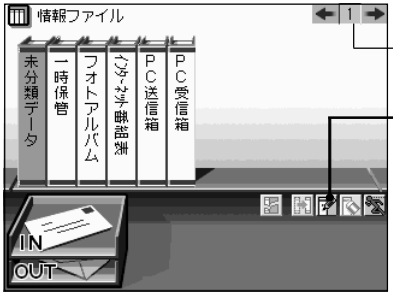
1．各機能でデータを表示・選択し、画面左上の**アドレス帳▼**などの機能名の枠にタッチし、表示されたメニューから**ファイルに分類..**にタッチしてファイルに登録する(☞328ページ)
2．自動的に「未分類データ」ファイルに表示されるデータを、整理するファイルに移動する(☞328ページ)

ここでは、まず新しいファイルを作り、関連するデータを集めます。

新しいファイルを作る　新規作成

各機能のデータを整理するファイルを新しく作ります。

❶ **ホームインデックス**キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で**情報ファイル**アイコンにタッチ



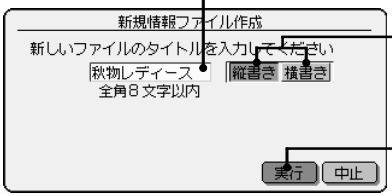
棚番号

❷ ここにタッチ

❸ ファイルのタイトル名を入力

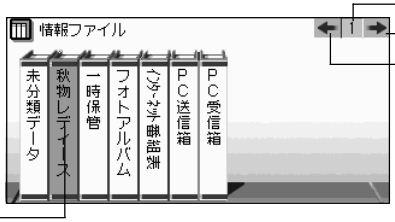
❹ タッチし、タイトルの表示を選択

❺ **実行**にタッチし、新しいファイルを作成



新規情報ファイル作成画面

縦書きでは全角文字のみ入力できる
横書きでは半角文字も入力できる



棚番号
1つ後ろの棚へ
1つ前の棚へ

新しく作ったファイルは選択されていたファイルの右に表示される。ファイルの位置は自由に移動できる（☞335ページ）

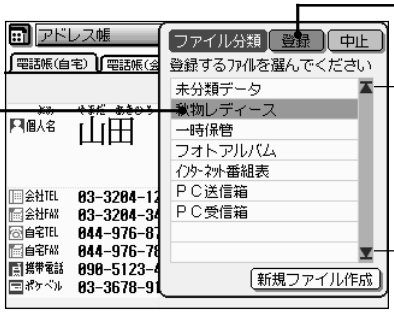
メモ

- **ファイルを置く場所について(棚)**
  ファイルを置く場所を「棚」といいます。1つの棚には12のファイルを置くことができます。棚がいっぱいになると、次の棚に新しいファイルが作られます。画面右上の◀ ▶にタッチすると、前後の棚に切り替わります。1（棚番号）にタッチして表示される棚の番号を選んでも切り替えることができます。
- この製品には、「未分類データ」、「一時保管」、「フォトアルバム」、「インターネット番組表」、「PC送信箱」、「PC受信箱」ファイルが用意されています。新しいファイルは234個まで作成できます。
- 新規情報ファイル作成画面は、手順❷で**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**新規ファイル作成**にタッチしても表示できます。

1. 各機能からデータを集める　登　録

各機能で登録したデータをファイルに集めます。

❶ファイルに集めたいデータを各機能の詳細表示画面に表示する、または一覧画面で選択
❷画面左上の アドレス帳▼ などの機能の枠にタッチし、表示されたメニューから ファイルに分類.. にタッチ



ファイル分類画面

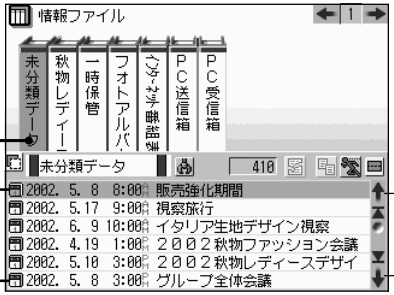
● 情報ファイルに登録できるデータは
次の機能のデータを情報ファイルに登録できます。
スケジュール、アクションリスト、アドレス帳、レポート&自由帳、パーソナルデータベースII、インターネットライブラリ、メール、フォトメモリー
登録すると、自動的に元データとは別の参照用データが作成されて登録されます。

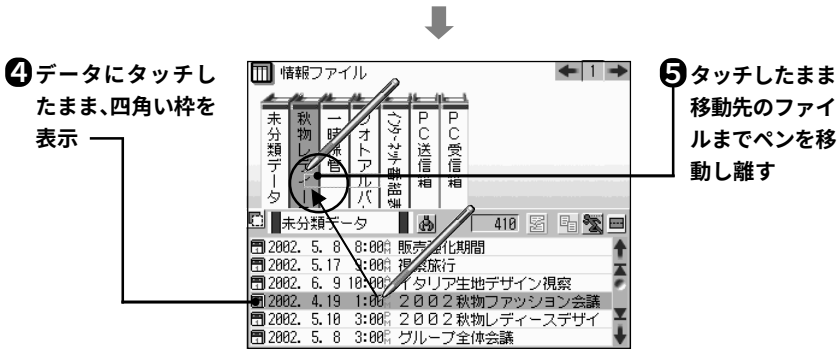
● ファイル分類画面で新しいファイルを作るには
新規ファイル作成 にタッチします。表示された新規ファイル作成画面でタイトルを入力して新しいファイルを作ります。

2.「未分類データ」ファイルからデータを集める　移　動

「未分類データ」ファイルのデータを、別のファイルに移して整理します。
「未分類データ」ファイルとは、どのファイルにも登録されていないデータが分類されるファイルです。

❶ ホームインデックス キー、情報ファイル アイコンにタッチ
❷「未分類データ」ファイルに1回または2回タッチ
❸移したいデータをリストから探す





●「未分類データ」ファイルのデータを移動すると

いずれかの情報ファイルに登録すると「未分類データ」には表示されなくなりますが、登録したファイルから除外すると、再び「未分類データ」に表示されるようになります。したがって、「未分類データ」の内容を除外することはできません。

●「未分類データ」ファイルに表示されるデータ

次のデータが「未分類データ」ファイルに表示されます。

・次の機能で新規登録したデータ

スケジュール、アクションリスト、アドレス帳、レポート&自由帳、パーソナルデータベースⅡ、インターネットライブラリ、メール、フォトメモリー

※レポート&自由帳は登録時にファイルを選択できます。

・メールに添付されたデータを受信し、登録したとき

● あらかじめ用意されたファイルについて

「未分類データ」ファイルについては、前項をご覧ください。

PC送信箱 …… パソコンに送信したいデータ（別売のパソコン連携キットを使ってパソコンに送信するデータ）をこのファイルに入れる

PC受信箱 …… 別売のパソコン連携キットを使って、パソコンから取り込んだデータがこのファイルに自動的に分類される

フォトアルバム … 別売のデジタルカメラカードで撮影したデータがこのファイルに自動的に分類される

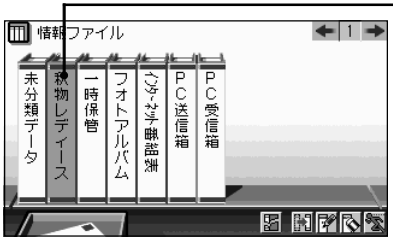
「PC送信箱」と「PC受信箱」の内容は、ホームインデックス1画面の「PC送信箱」アイコン、「PC受信箱」アイコンにタッチしても表示することができます。

ファイルを開き、データを見る 表示

データを集めたファイルを開き、データを見ます。

1 ファイルを開き、データのリストを表示します。

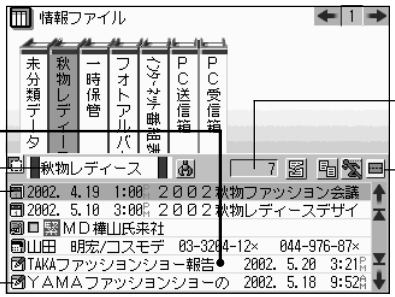
❶戻る(電源)ボタンを数回押してホームインデックス1画面を表示し、上下左右の(スクロールボタン)を押して情報ファイルアイコンを選択し、決定ボタンを押す



❷左右の(スクロールボタン)で開きたいファイルを選択し、決定ボタンを押す
または開きたいファイルに1回または2回タッチし、リスト画面を表示

2 データを表示します。

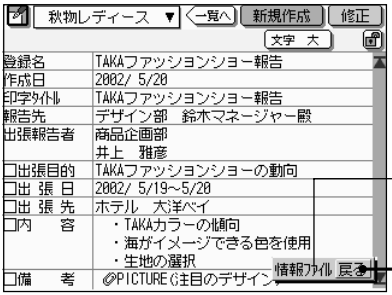
❶上下の(スクロールボタン)で表示するデータを選択し、決定ボタンを押す。または表示するデータに1回または2回タッチ



ファイルのタイトル
開いたファイルのデータのリスト
リストに表示されているデータ件数
ここにタッチすると、リストが画面全体に広がる
もとに戻すときはにタッチする

リスト画面

現在開いている情報ファイル内のほかのデータを見るには、**順送り**キー、**逆送り**キーにタッチする。このとき、ほかの機能のデータを見ることはできない

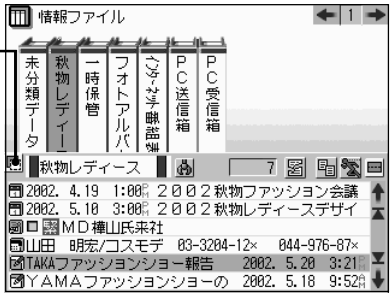


タッチしたまま動かして、移動できる

❷ **戻る**にタッチし、リスト画面に戻る

データ確認画面

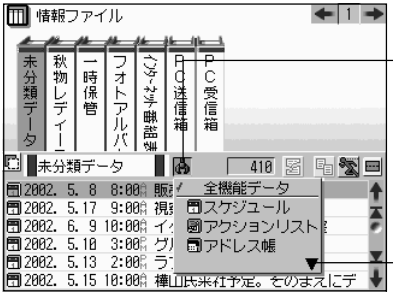
❸ここにタッチし、リスト画面を閉じる



コラム

各ファイル内で、機能ごとに絞り込んで表示するには

ファイルに入っているデータのうち、1つの機能のデータのみを表示させることができます。



ここにタッチし、表示されたメニューから**アドレス帳**などを選択。
選択した機能のデータのみが表示される

スクロールする

ファイルに整理したデータを各機能から見る

ファイルに整理したデータは、情報ファイルで見るだけでなく各機能(スケジュール、アドレス帳など)から見ることができます。各機能から見ると、整理したファイルに入っているデータのうち、その機能のデータだけを見ることができます。

❶ **フォトメモリー▼** にタッチし、表示されたメニューからファイルを選択

フォトメモリーのデータが入っている情報ファイルのファイル名が表示される

❷ 表示するデータにタッチ

情報ファイルのファイル名

メモ

- **スケジュール▼ または アクションリスト▼ の機能名にタッチすると**
  スケジュール▼ にタッチすると、スケジュールデータやアクションリストデータが入っている情報ファイルのタイトルが表示されますが、タイトルにタッチしてデータのリストを表示できるのはスケジュールの入っている情報ファイルです。
  アクションリスト▼ にタッチしたときも同様にアクションリストとスケジュールのデータが扱われます。これは、スケジュールデータとアクションリストデータの管理が互いに関連づけられているためです。
- **一覧画面で選択されているデータや詳細表示画面に表示しているデータがどのファイルに分類されているのか確認するには(分類状況の確認)**
  画面左上の機能名(**アドレス帳▼** など)にタッチし、**分類状況の確認..** にタッチすると、一覧画面で選択されているデータや詳細表示画面に表示しているデータが分類されている情報ファイル名を、ファイル分類状況画面に表示します。

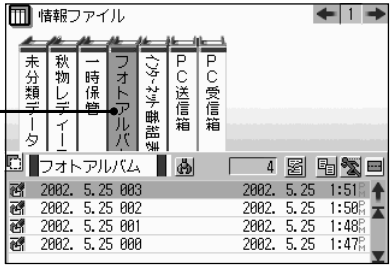
集めたデータを別のファイルに移動・複製する

1つのファイルに集めたデータを別のファイルに移したり、複製します。

データを別のファイルに移動する

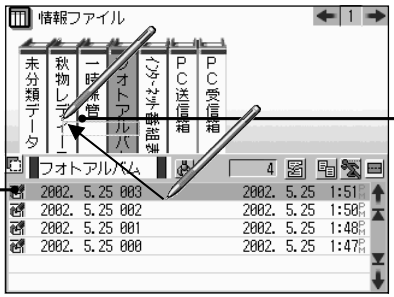
ファイルに入っているデータを別のファイルに移します。

❶移したいデータが入っているファイルに1回または2回タッチ



❷データにタッチしたまま、四角い枠を表示

❸タッチしたまま移動先のファイルまでペンを移動し、離す

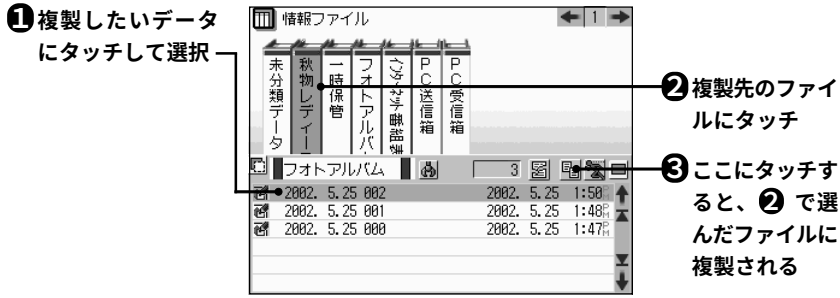


● **ほかのファイルから「未分類データ」ファイルにデータを移動すると**

同じデータが複数のファイルに登録されているとき、その1つのデータを「未分類データ」ファイルに移動すると、ほかのファイルに登録されている同じデータもそのファイルから除外され、なくなります。

データを別のファイルに複製する

ファイルに入っているデータをそのまま残して、別のファイルに複製します。



メモ

- **機能**キーにタッチした後、データにタッチしたまま複製先のファイルまでペンを動かしても、データを複製できます。
  なお、「未分類データ」ファイル内のデータを複製することはできません。また、複製先を「未分類データ」ファイルにしてデータを複製することもできません。
- 情報ファイルでは、元データを複製することはできません。元データを複製するときは、もとの機能で行ってください。

コラム

情報ファイルのデータを除外するときは

- 情報ファイルのファイルからデータ(参照用データ)を除外しても、データ(元データ)がなくなることはありません。同じデータが複数のファイルにあるときは、1つを除外してもほかのファイルのデータはそのまま残ります。

除外の方法

情報ファイルの画面で行うとき

❶ 情報ファイルのリスト画面で、除外するデータにタッチして選択します。
❷ 画にタッチします。
❸ 確認メッセージで、**はい**にタッチします。

各機能で行うとき

❶ 各機能で画面左上の機能名(**アドレス帳▼**など)にタッチし、除外したいデータがあるファイル名にタッチします。
❷ 除外したいデータを一覧画面で選択するか、詳細表示画面に表示します。
❸ 画面左上の情報ファイル名にタッチし、**ファイルから除外**にタッチします。

- 情報ファイルに同じデータがなく、1つのみのときは、そのデータを除外すると、自動的に「未分類データ」ファイルに移動します。
- 「未分類データ」ファイルに入っているデータは、除外できません。

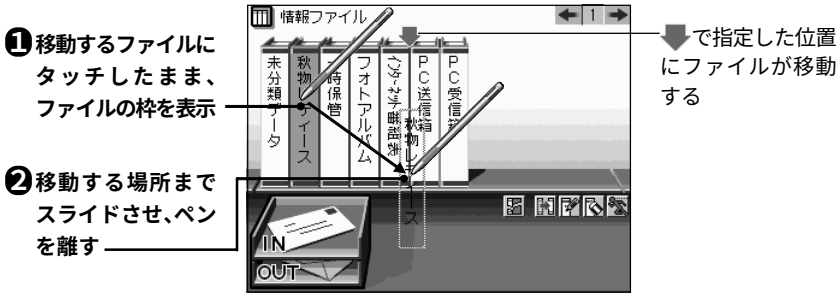
ご注意

- **情報ファイルのデータ確認画面で削除すると**
  情報ファイル 戻る が表示されるデータ確認画面で、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**削除**を選択して削除すると、元データと参照用データの両方が削除されます。
  フォトメモリー▼などの各機能名にタッチして、データを表示しているときに削除した場合も同様です。

ファイルを編集する

ファイルの位置を変える　移　動

ファイルの置き場所を変えます。



- 「未分類データ」ファイルは移動できません。
- **ほかの棚に移動するときは**
  手順 ❷ でタッチしたまま右上の ← や → に合わせると、前後の棚に移動します。タッチしたまま、ペン先をいったん ← → から外し、再び ← → に合わせると、さらに前または次の棚が表示されます。ファイルが1つも置かれていない棚に移動することはできません。

ファイルの中身を含めて複製を作る　複　製

すでにあるファイルとその中のデータをまるごと複製します。

1 情報ファイル画面で、複製するファイルにタッチした後、にタッチします。
情報ファイル複製画面が表示されます。

2 新しいファイルのタイトルを入力し、縦書き、横書きを選びます。

3 実行にタッチします。

- 手順 **1**で、複製するファイルにタッチしたままにした後、ファイルの枠が浮き出たらまでペン先をスライドしても、情報ファイル複製画面が表示されます。
- 情報ファイルでは、ファイル内のデータの元データを複製することはできません。
  元データを複製するときは、もとの機能で行ってください。
- 「未分類データ」ファイルの複製は作れません。

ファイルを削除する　削　除

ファイルを削除します。ファイルを削除すると、ファイル内のデータも削除されます。ファイル内のデータは、情報ファイルで見るための参照用データです。参照用データが削除されても、元データは削除されません。

1 **情報ファイル画面で、削除するファイルにタッチした後、にタッチします。**
確認のメッセージが表示されます。

2 **はい にタッチします。**
選んだファイルが削除されます。

- 「一時保管」、「PC送信箱」、「PC受信箱」、「フォトアルバム」、「インターネット番組表」ファイルを削除すると、その中のデータは除外できます。ただし、ファイルそのものは削除されません。
- 「未分類データ」ファイルそのものは削除されません。また、中のデータは除外できません。
- 手順 **1**で、削除するファイルにタッチしたままにした後、ファイルの枠が浮き出たらまでペン先をスライドしても、確認のメッセージが表示されます。

ファイルのタイトル名や縦書き/横書きを変える　ファイルタイトル変更

ファイルのタイトル名や縦書き/横書きの表示を変えます。

1 **情報ファイル画面で、タイトル名や「縦書き」、「横書き」を変えるファイルにタッチした後、にタッチします。**
ファイルタイトル変更画面が表示されます。

2 **新しいタイトル名を入力し、 縦書き 、 横書き を選びます。**

3 **実行 にタッチします。**

- 手順 **1**で、タイトル名を変えるファイルにタッチしたままにした後、ファイルの枠が浮き出たらまでペン先をスライドしても、ファイルタイトル変更画面が表示されます。
  また、 **操作メニュー** キー、 **編集** タブ、 **タイトル変更** にタッチしてもファイルタイトル変更画面を表示できます。
- 「未分類データ」、「一時保管」、「PC送信箱」、「PC受信箱」、「フォトアルバム」、「インターネット番組表」のタイトル名は変更できません。
- 情報ファイルが、情報ファイルに対応しているほかのザウルスに転送された場合、ファイルのタイトルは次のように変わります。
  - **この製品からMI-10以外のザウルスへ**
    全角文字で書かれた横書きのタイトルは、縦書きとなります。
  - **MI-10以外のザウルスからこの製品へ**
    全角文字で書かれた横書きのタイトルは、縦書きとなります。
  - **この製品からMI-10へ**
    半角文字は全角文字に変換され、縦書きのタイトルとなります。

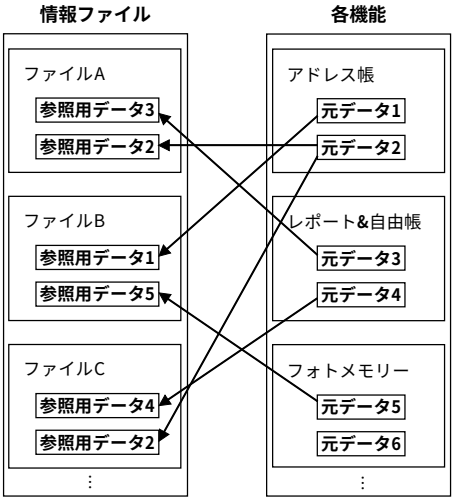
コラム

情報ファイルに整理したデータについて

スケジュールなどのデータを登録すると、自動的にそのデータ（元データ）の参照用（ダミー）データが「未分類データ」ファイルに表示されます。レポート&自由帳では、データ登録時に情報ファイルを選択でき、同じように参照用データが登録されます。

これは、情報ファイルで目的別にデータを整理し、探しやすくするためです。「未分類データ」ファイルなどに入っている参照用データを、別の情報ファイルに移して、目的別に整理できます。

また、1つの元データを複数の情報ファイルに登録することもできます。



※「元データ6」はどのファイルにも分類されていないので「未分類データ」ファイルに表示されます。

メモ

● **参照用データとは**

作成したデータを情報ファイルで整理するためのデータ。情報ファイルの参照用データを表示しようとすると、元データが表示されます。なお、元データを削除すると、参照用データも削除されます。

コラム

各機能で、情報ファイルに分類されているデータをまとめて削除する

各機能の画面で、すでに各情報ファイルに分類されているその機能の元データだけを削除することができます。

ここでは、情報ファイルに分類されているアドレス帳のデータを確認したのち、そのファイル内のデータをまとめて削除します。

❶ アドレス帳の一覧画面を表示して、画面左上の**アドレス帳▼**にタッチし、表示されたメニューから削除したい情報ファイルを選択します。一覧画面は、削除したい情報ファイルに入っているアドレス帳のデータだけが表示されます。

❷ 内容を確認したい場合は、詳細表示画面にします。

❸ 画面左上に削除したい情報ファイル名を表示させた状態の一覧画面で、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**削除**、**ファイル内全データ**を選択します。確認の画面で**はい**にタッチします。

これで、表示した情報ファイルに入っているアドレス帳のデータだけが削除されます。別の情報ファイルに入っているデータを削除する場合は、手順❶で別の情報ファイルを選択して同様の操作を行います（❶、❷の操作については、332ページもご覧ください）。

アクションプランナー

アクションプランナーでは、各機能に別々に登録されているデータから、関連するデータをまとめて選び出すことができます。各機能にまたがって行う検索のようなものです。

関連するデータを選び出す

関連するデータに共通する言葉(関連語)を指定し、その言葉(関連語)を含んだデータを選び出します。
抽出する対象は、次の中から選ぶことができます。

- 本体の各機能(スケジュール、アクションリスト、アドレス帳、レポート&自由帳、フォトメモリー、パーソナルデータベースⅡ、メール)
  ※フォトメモリーでは、タイトルのみを対象とします。
- カード(本体と同じ機能)

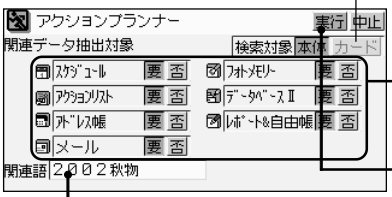
指定した語句に関連するデータを抽出する

関連語(例：「2002秋物」)でデータを抽出し、情報ファイルに登録します。

1 関連語を入力し、データを抽出します。

❶ **ホームインデックス** キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で **アクションプランナー** アイコンにタッチまたは情報ファイル画面で にタッチ

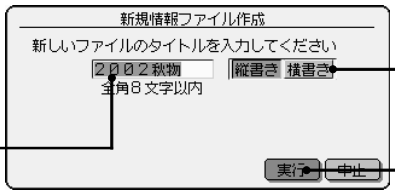
カード装着時は、抽出対象を本体か、カードのどちらかを指定する



❸ **抽出する機能は** 要 **、抽出しない機能は** 否 **にタッチ**

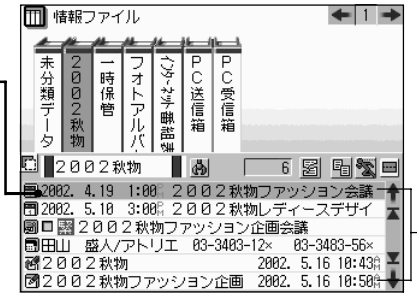
❹ **実行** **にタッチし、新規情報ファイル作成画面を表示**

❷ **関連語を全角10文字以内で入れる**



抽出が始まり、抽出されたデータは情報ファイルにまとめられる

2 抽出が終わると、情報ファイルの画面に抽出されたデータが入ったファイルの一覧が表示されます。抽出したデータを表示します。



● 関連語とは
抽出したいデータに共通に含まれている言葉です。全角の場合10文字以内で入力します。文字をなぞって選択した後、**ホームインデックス**キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で**アクションプランナー**アイコンにタッチすると、なぞった言葉が関連語に入力されます。

● シークレットデータの抽出
シークレット機能が設定されていると、シークレットデータは抽出されません。シークレットデータを抽出したいときは、シークレット機能を解除してください(☞369ページ)。

● 抽出されたデータ
抽出されたデータは情報ファイルにまとめられます。この情報ファイルに入っているデータは参照用データです(☞337ページ)。元データはもとの機能にあります。参照用データを削除しても元データはもとの機能に残ります。

● 各機能の絞り込みとデータの抽出
絞り込みを行っていても、絞り込んだデータだけでなく、登録されている全データから抽出されます。

● 抽出したデータを既存のファイルに登録すると
手順 **1**の ❺ で指定したタイトル名と同じタイトル名のファイルがあるときは、抽出したデータが指定したファイルに追加されます。

● アクションプランナーでも、複数のキーワードを**で**または**か**で結んで関連語として指定することができます。キーワード「A」と「B」の両方を持つデータを抽出する**で**、キーワード「A」または「B」のどちらかを持つデータを抽出する**か**の使いかたについては、342ページの「メモ」「●検索語の入力」をご覧ください。

検索/絞り込み

検索語を指定してデータを探すことができます。
アドレス帳やスケジュールなどでは、絞り込みを行ってデータを抽出した状態のまま表示などが行えます。

データの探しかた

データの探しかたには、次の方法があります。

- 各機能ごとの検索 …… 各機能内で、指定した検索語に合ったデータを探す
- 絞り込み(☞344ページ) … 機能内で、指定した絞り込みの条件に合ったデータだけを表示する
  絞り込んだデータは、一覧表示や詳細表示ができる
- なぞってキーワード検索 (☞345ページ) … 他機能で指定した検索語を使って、別の機能内で検索する

● 検索語と検索の結果

あいまいな言葉でも探せるように、検索では、カタカナ、英数字の全角・半角は区別しません。また、濁音、半濁音、清音も区別しません。
さらに、ひらがな・カタカナ、英字の大文字・小文字も区別しません。

各機能ごとの検索

ここでは、アドレス帳での個人名検索を例にあげて、検索のしかたを説明します。
ほかの機能でも同様の操作手順で検索を行います。
各機能の検索方法や検索対象データ、注意事項については、343ページに記載していますので、併せてお読みください。

❶検索する機能のデータを表示
ここではアドレス帳のデータを表示

❷操作メニューキー、操作タブ、検索、個人名検索にタッチ

❸個人名検索▼になっていることを確認
違うときは、ここにタッチし、表示されたメニューから個人名検索を選択

❹検索語を10文字以内で入力（検索方法によって文字数が違う）

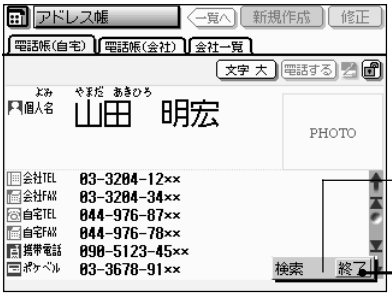
前回検索した検索語が表示される

❺実行にタッチ

検索画面

条件に合うデータがないときは、「見つかりません」と表示される

別のデータを検索するときは、逆送りキー、順送りキーにタッチ



タッチして移動できる

❻終了にタッチ

検索後の画面

検索画面の説明

◆検索語

どんな言葉でデータを探すかを指定します(☞下記の「メモ」の「●検索語の入力」)。

◆内容

検索方法を選択します。検索方法は各機能によって違います。343ページの各機能の表を参照してください。

◆シークレットデータ検索

要では、シークレットデータのみを対象に検索します。シークレット機能を解除してから操作してください(☞369ページ)。表示されている検索語を削除して検索すると、シークレットデータだけを表示できます。

● 検索語の入力

・1つの検索語を検索するとき

検索画面で検索語を入力します。

データ内の語句を検索語にするときは、語句をなぞって選択します。この後、**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**検索**、**キーワード検索**などにタッチします。なぞった語句が検索語に入力されます。

・複数の検索語を入力する

検索語として同一項目内の複数の用語を指定して検索することができます。

「A」**で**「B」…検索語「A」と「B」両方があるデータを検索

「A」**か**「B」…検索語「A」または「B」どちらかがあるデータを検索

検索語「A」を入力した後、記号入力ボードを表示し↑にタッチします。**で**または**か**が表示されるまで↑にタッチします。表示された**で**または**か**にタッチして入力します。その後、続けて検索語「B」を入力します。

ご注意:「A」と「B」は同一項目内の用語を指定してください。「A」と「B」が別の項目にある場合、検索できません。

なお、ここで使う**で**、**か**は、データに入力できません。

・日付検索では、検索語に年月日を指定します。

・前回検索していると、検索語には前回検索したときの検索語が表示されます。

各機能での検索

	検索方法(内容)		検　索　対　象
アドレス帳	個人名検索		名前の先頭から10文字以内 または、名前の読みの先頭から8文字以内
	会社名検索		会社名の先頭から10文字以内 または、会社名の読みの先頭から8文字以内
	キーワード検索		検索語を含むデータ
	読み検索	(個人名)	個人名の読みの先頭から8文字以内
		(会社名)	会社名の読みの先頭から8文字以内
スケジュール	日付検索	(未来へ)	指定した日付以降にスケジュールのある日
		(過去へ)	指定した日付以前にスケジュールのある日
	予定内容検索		検索語と同じ文字がスケジュール内容の先頭にあるデータ
	キーワード検索		検索語を含むスケジュールデータ
アクションリスト	頭文字検索		内容の先頭から10文字以内
	キーワード検索		検索語を含むアクションリストデータ
レポート&自由帳	キーワード検索		検索語を含むデータ
	日付検索		指定した日付で、作成された時刻が最も早いデータ ないときは、検索した日付より後で最も近いデータ
フォトメモリー	タイトル検索		タイトルに検索語を含み、作成された時刻が最も遅い(最新の)データ
パーソナルデータベースII	1データベース内検索		現在表示しているパーソナルデータベース内で検索語を含むデータ
	全データベース検索		すべてのパーソナルデータベース内の検索語を含むデータ

メモ

- **アドレス帳の読み検索では**
  条件に合うデータがないとき、並び順が検索語よりも後で最も近い読みのデータが表示されます。
- **アドレス帳で簡単に検索するには**
  アドレス帳の一覧画面では、読み検索ボードを使って簡単に検索することができます。名前の読みを指定すると、文字を入力するたびに一覧画面の表示が変わり、データが表示されます(☞167ページ)。
- **スケジュールのキーワード検索での日付や予定時刻の入力**
  1月4日→0104　8:00AM→0800　3:30PM→1530と入力します。
  なお、日付と時刻は、「01040800」(1月4日8:00AM)のように連続した数字で登録されます。数字で検索すると、これらの数字も検索対象になります。
- **スケジュールでは**
  予定、日をまたがる予定、アドレス帳でコンタクト登録したデータが検索の対象となります。アクションリスト、記念日のデータは検索の対象にはなりません。
- **パーソナルデータベースIIで簡単に検索するには**
  「読み項目」が設定されているパーソナルデータベースでは、一覧画面で**読みで探す**にタッチすると、アドレス帳と同じように読み検索ボードを使って簡単に検索することができます。**読みで探す**は、一覧画面の並び順が「読みを参照する項目」に設定されている項目を基準として並べられているときに濃く表示され、読み検索ボードを表示できます。また、複数の「読み項目」があるときは、並び順の基準になっている項目の読みで検索します。

絞り込み

絞り込みを行うと、入力した条件に合うデータが抽出されます。
絞り込んだ状態で検索やデータ交換などを行うこともできます(絞り込んだデータのみが対象になります)。
絞り込みが行える機能は、アドレス帳、スケジュール、レポート＆自由帳の3つです。アドレス帳、スケジュール、レポート＆自由帳は、同様の手順のため、次項「アドレス帳、スケジュール、レポート＆自由帳で絞り込む」でまとめて説明しています。

アドレス帳、スケジュール、レポート＆自由帳で絞り込む

ここでは、アドレス帳を例にして新宿区在住で1975年生まれの人を絞り込みます。スケジュール、レポート＆自由帳での絞り込みも同様の手順で行えます。

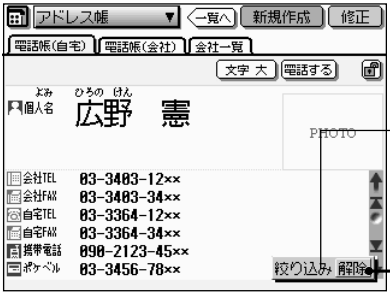
❶アドレス帳の画面で 操作メニュー キー、操作 タブ、絞り込み... にタッチ

❷絞り込む条件を入力
(「自宅住所」項目に「新宿区」、「誕生日」項目の「年」に「1975」を入力)

❸ 実行 にタッチし絞り込む

絞り込み条件設定画面

条件に合うデータがないときは、「該当するデータがなく絞り込みできませんでした」と表示される



タッチして移動できる

別のデータを呼び出すときは、 逆送り キー、順送り キーにタッチ

❹ 解除 にタッチし、絞り込みを解除

絞り込み検索後の画面

● **絞り込み後の操作**
絞り込んだ状態で一覧画面を表示したり、検索をすると、絞り込まれたデータだけが対象になります。絞り込んだデータのデータ交換などもできます。なお、絞り込んだ状態で電源を切っても、絞り込んだ状態は解除されません。絞り込みのままでは、絞り込まれなかったデータを見ることができません。絞り込みでの操作が終わったら、絞り込みを解除してください。また、絞り込んだ状態で新たにデータを登録すると、登録したデータは絞り込んだ条件にかかわりなく表示されます。

● **アドレス帳のチェックリストで条件を設定するときは**
絞り込み条件設定画面で**チェックリスト**タブにタッチします。チェックリストで、○×△を選びます。チェックリストで絞り込みの条件にしない項目では、**?**を選びます。

● **スケジュール、レポート＆自由帳では**
スケジュールは予定内容を条件にします。レポート＆自由帳では項目の内容を条件にします。

● **絞り込んだスケジュールデータのみの表示**
詳細表示画面で**機能**キー、**逆送り**キーまたは**順送り**キーにタッチすると、絞り込み条件を含むデータを表示できます(日をまたがる予定が入力されていた場合、同時にそれらの予定も表示されます)。

● **シークレットデータを含む絞り込み**
シークレット機能を解除した後(☞369ページ)、絞り込んでください。

● **条件設定が正しくないと**
「絞り込み条件が正しく設定されていません　再入力してください」とメッセージが表示されます。

なぞってキーワード検索

なぞってキーワード検索とは、ある機能内の語句を検索語にして別の機能で検索することです。ある機能内の語句をなぞって選択した後、**ホームインデックス**キーに数回タッチして、ホームインデックス1画面で検索する機能にタッチするだけでキーワード検索ができます。

● 次のときは、「なぞってキーワード検索」はできません。
・スケジュール機能とアクションリスト機能の間で検索
・電卓機能から直前に使用していた機能への検索

● フォトメモリー機能、インターネットライブラリ機能では、タイトル入力画面のタイトルから他機能のデータの「なぞってキーワード検索」ができます。

データ編集

ここでは、基本的なデータの複写や複製のほか、異体字変換や郵便番号変換、電卓を使った便利な操作などを説明しています。

操作メニューを使った文字の変換

旧字体などに変換する　異体字変換

いったん新字体の漢字を採用し、異体字変換で旧字体などに変換します。

例　入力した「秋葉」を「穐葉」に異体字変換する場合

「秋」をなぞって選択　　**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**異体字変換**にタッチ

秋葉 ➡ 秋葉 ➡ 穐葉

ひらがな←→カタカナに変換する　ひら←→カタ変換

入力項目で変換する

入力項目に入力したひらがな・カタカナをカタカナ・ひらがなに変換します。
変換したい文字は、1項目内で選択してください。

例　入力項目に入力した「ぼたん式」を、「ボタン式」に変える場合

カタカナにする部分「ぼたん」をなぞって選択　　**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**ひら←→カタ変換**にタッチ

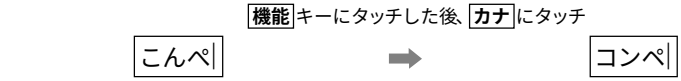
ぼたん式 ➡ ぼたん式 ➡ ボタン式

メモ
- カタカナをひらがなに変えるときも、上と同じ操作をします。
- ひらがなとカタカナが混在している部分を選択したときは、ひらがなはカタカナに、カタカナはひらがなに変わります。
- ひらがな←→カタカナ変換できるのは、全角のひらがな・カタカナです。半角のカタカナを変換すると、全角のひらがなになります。

入力行で変換する

入力行に入力したひらがな・カタカナをカタカナ・ひらがなに変換します。50音ボード、タイプライターボード、携帯型キーボードで変換できます。

例　入力行のひらがな「こんぺ」を、カタカナの「コンペ」に変える場合



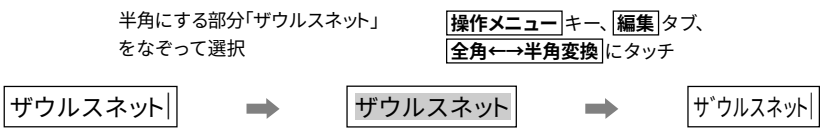
- カタカナをひらがなに変えるときは、**機能**キーにタッチした後、**ひら**にタッチします。
- **入力行の文字を部分的に変換するとき**
  変換したい文字をなぞって選択した後、**機能**キーに続けて**カナ**または**ひら**にタッチします。
- 手書認識ボードから入れたひらがな・カタカナは、**機能**キーに続けて**カナ**または**ひら**で変換できません。入力ボードを切り替えて変換してください。

全角←→半角に変換する　　全角←→半角変換

入力項目で全角←→半角変換する

入力項目に入力されたカタカナ・記号は、全角←→半角変換できます。変換したい文字は、1項目内で選択してください。

例　入力項目に入力した「ザウルスネット」を、「ｻﾞｳﾙｽﾈｯﾄ」に変える場合



- 半角を全角に変えるときも、上と同じ操作をします。
- 全角と半角が混在している部分を選択したときは、全角は半角に、半角は全角に変わります(漢字は変換されません)。
- 濁音、半濁音を含む全角カタカナを半角に変換すると、「タ」と「゛」などと2文字になります。
- **半角に変換できる記号**
  記号入力ボードで**半角記号**にタッチして表示される記号です。ただし、一部の記号は変換できません。

郵便番号を住所に変換する　郵便番号変換

この製品の郵便番号辞書は7桁の郵便番号に対応しています。
入力した郵便番号から住所を入力するには、次の2つの方法があります。

- アドレス帳の郵便番号項目に入力した郵便番号から住所を入力するとき
  (☞「アドレス帳」の章、「郵便番号から住所を入力する」)
- 上記以外の項目に入力した郵便番号から住所に変換するとき

ここでは、スケジュールなどに入力した古い5桁の郵便番号から、新しい7桁の郵便番号と住所に変換します。

1 **新規作成画面または修正画面で、変えたい郵便番号をなぞって選択します。**

2 **操作メニュー**キー、**編集**タブ、**郵便番号変換...**にタッチします。
郵便番号の住所一覧が表示されます。

3 **入力する住所に1回または2回タッチします。または住所を選択し、住所&番号採用にタッチします。**
なぞって選択した郵便番号が新しい番号に置き換えられ、住所が入力されます。

- 「県名採用」の**しない**にタッチすると都道府県名は入力されません。
- 郵便番号を住所に置き換えるときは、**住所採用**にタッチします。
  住所を郵便番号に置き換えるときは、**番号採用**にタッチします。
- 郵便番号変換画面で表示されている郵便番号以外の番号と住所を見るには、**逆送り**キー、**順送り**キーにタッチします。変換したい郵便番号や住所を表示した後、**住所&番号採用**などにタッチします。
- 郵便番号がはっきりしないときは、近い番号を入力して変換し、**逆送り**キー、**順送り**キーにタッチして目的の住所を探します。
- この製品の郵便番号辞書は、郵政省から1998年6月に提供されたデータをもとに株式会社シンフォームが監修した辞書(郵政省 新郵便番号データ準拠 1998年版)を採用しています。
  ※郵便番号および住所については、変更等が考えられますので、ご使用の際は郵政省より発行された郵便番号簿をよくご確認のうえ、ご使用ください。
  ※郵便番号および住所の変更に対して、この製品の辞書内容の更新等は行いませんのであらかじめご了承ください。
  ※郵便番号辞書の内容(郵便番号および住所)に関するお問い合わせはご容赦願います。

入力している住所から郵便番号を調べる　郵便番号逆変換

入力した住所から郵便番号を入力するには、2つの方法があります。

- アドレス帳の住所項目に入力した住所から郵便番号を入力するとき
  (☞「アドレス帳」の章、「住所から7桁の郵便番号を入力する」)
- 上記以外の項目に入力した住所から郵便番号に変換するとき

ここでは、入力した住所から郵便番号と住所に変換します。

1 **郵便番号を変えたい住所をなぞって選択します。**

2 **操作メニュー**キー、**編集**タブ、**郵便番号変換...にタッチします。**
郵便番号と住所一覧が表示されます。

3 **住所に1回または2回タッチするか、住所&番号採用にタッチします。**
なぞって選択した住所が新しい郵便番号と住所に置き換えられます。
番地などは、再度入力します。
ほかの郵便番号を表示するときは、**表示制限解除**にタッチして**逆送り**キー、**順送り**キーにタッチします。

メモ
- 住所を郵便番号に置き換えるときは、**番号採用**にタッチします。
- 入力されている住所によっては(たとえば、「府中市」や「京都市上京区仲之町」など)、複数の郵便番号が合致していることがあります。このような場合は、**逆送り**キー、**順送り**キーにタッチして、ほかの郵便番号を表示します(☞「アドレス帳」の章、「住所から7桁の郵便番号を入力する」の2つ目の「メモ」)。
- 住所がはっきりしない場合などは、わかる範囲の住所を入力し、郵便番号変換画面で**表示制限解除**にタッチした後、**逆送り**キー、**順送り**キーにタッチして目的の住所を探します。

現在の日付・時刻を入力する　日付スタンプ・時刻スタンプ

今日の日付や現在時刻を簡単に入力できます。

例 **今日「2002/ 5/15」の日付を入力する場合**

操作メニューキー、**編集**タブ、**日付スタンプ**にタッチ

メモ
- 時刻は、時計の時刻に従って、12時間制のときは12時間制、24時間制のときは24時間制で入力されます。
- アクションリストの開始日などは、新規作成画面にすると、自動的に今日の日付が入力されます。

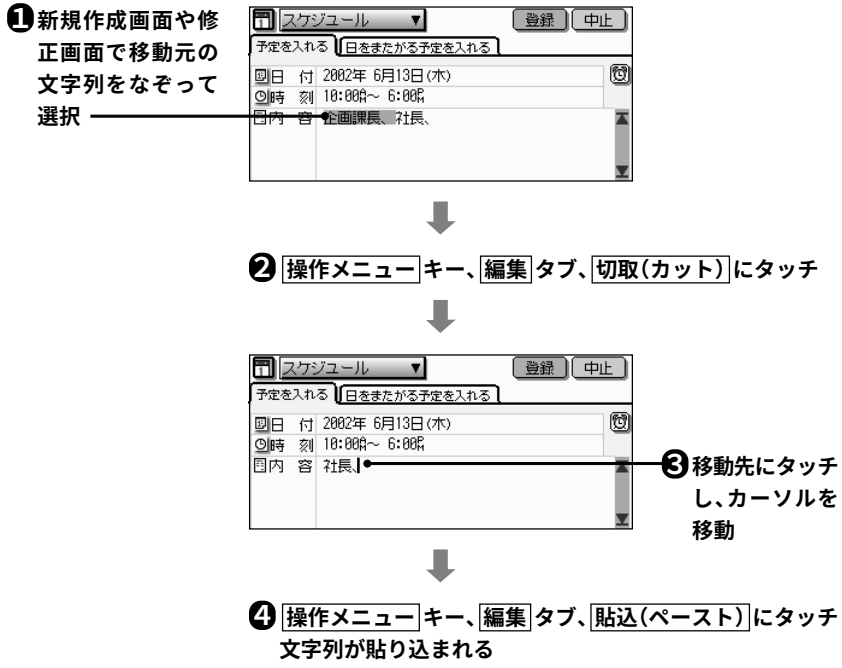
複写・切り取り・貼り込み

文字列やデータを移動するときは、**切取(カット)**と**貼込(ペースト)**を組み合わせて使います。
また、文字列やデータを複写するときは、**複写(コピー)**と**貼込(ペースト)**を組み合わせて使います。

文字列を移動・複写する

文字列を移動・複写します。

例 文字列を移動する場合



- 文字列を複写するときは、手順❷で表示されたメニューの**複写(コピー)**にタッチします。
- 切り取った文字列や複写した文字列は、電源を切っても残ります。
- 一度切り取った文字列や複写した文字列は、次に切り取りや複写をするまで何回でも同じ文字列を貼り込めます。
- 文字列の切り取り・貼り込みは、新規作成画面や修正画面でのみ実行できます。また、ほかの機能との間でもできます。

● **詳細表示画面で複数画面にまたがる文章を選択するには**
選択したい文章の最初の文字にタッチし、そのままゆっくり画面の下端にペンをずらすと、スクロールしながら文字が選択されていきます。最後の文字でペンを離します。

ご注意
- 切り取り・複写した文字列やデータは、1つしか記憶されません。新たに文字列やデータを切り取り・複写すると、これまで記憶していた文字列やデータは消え、新しく切り取り・複写したデータだけが記憶されます。
- メモリーがいっぱい近くまで使用されていると、切り取り・複写を実行しても貼り込みできないことがあります。
- 詳細表示画面では、文字列を選択しても、切り取りを行うと1データの切り取りになります。

1データを移動・複写する

1データを移動・複写するときは、文字列の移動・複写と同じように、**切取(カット)**または**複写(コピー)**と、**貼込(ペースト)**を組み合わせて行います。

1 移動したいデータを詳細表示画面に表示します。一覧画面では、そのデータを選択します。

2 操作メニューキー、編集タブ、切取(カット)にタッチします。
削除する確認メッセージが表示されます。

3 はいにタッチします。
移動元のデータが削除され、別に記憶されます。

4 移動したい機能に移り、新規作成画面を表示します。
登録済みのデータに追加するときは、修正画面を表示します。

5 操作メニューキー、編集タブ、貼込(ペースト)にタッチします。
データが貼り込まれます。

6 必要ならばデータを修正し、登録にタッチして登録します。

メモ
- 1データを複写するときは、手順 **2**で表示されたメニューから**複写(コピー)**にタッチします。
- 1データの切り取り・複写は、詳細表示画面または一覧画面で行います。
また、貼り込みは、新規作成画面、修正画面で行います。
- フォトメモリーのデータを複写して貼り込むと、「PICTURE(タイトル名)」のみが貼り込まれます。データの内容は貼り込まれません。
- 情報ファイルのファイル間でデータを移動・複製する操作は、333ページをご覧ください。

各機能間でのデータの移動・複写について

各機能間で1データの移動・複写を行うときは、それぞれの項目の内容が違うため貼り込まれる項目や内容が異なります。

- 各機能で入力できる文字数が違うため、データ量が多いと貼り込めないときがあります。
- 日をまたがるスケジュール、コンタクト登録データは、通常のスケジュールデータと同じように移動・複写されます。
- フォトメモリーのデータは、レポート＆自由帳、パーソナルデータベースⅡ以外には貼り込めません。「PICTURE(タイトル名)」のみが貼り込まれます。レポート＆自由帳、パーソナルデータベースⅡへの貼り込みについては、216、241ページをご覧ください。
- クイックメモ機能で作成されたデータは、フォトメモリーのデータです。
- インターネットライブラリのデータを他機能に貼り込むことはできません(インターネットライブラリのデータを貼り込むときは文字列を複写して貼り込みます)。
- 顔写真つきのアドレス帳のデータを、他機能に貼り込むと、テキスト文字のみが貼り込まれます。

複　製

個人名だけが違うアドレス帳のデータを作るときなどは、もとになるデータを複製して使います。簡単に同じようなデータを作ることができます。

1 複製したいデータを詳細表示画面に表示するか、一覧画面で選択します。

2 操作メニューキー、編集タブ、複製にタッチします。
この後、修正画面でデータを修正して登録します。

メモ
- もとになるデータが情報ファイルにファイルされているときは、複製したデータも同じファイルにファイルされます。また、もとになるデータに貼りつけられているクイックメモも複製したデータに貼りつけられます。スケジュールアラームなども複製されます。

他機能の数字を使って電卓で計算する

ほかの機能内の数字を使って電卓で計算できます。また、計算結果をほかの機能に貼り込めます。

- ほかの機能→電卓…ほかの機能から、数値や計算式などを複写します。
- 電卓→ほかの機能…計算結果をほかの機能のデータ内に貼り込みます。

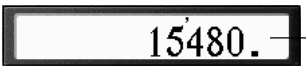
※電卓とデータのやり取りができる機能は、スケジュール、アクションリスト、アドレス帳、レポート&自由帳、フォトメモリー(文字入力)、メール(新規作成/修正画面)、パーソナルデータベースⅡです。

ほかの機能から、数値や計算式などを複写する

❶他機能の新規作成画面や修正画面を表示

❷計算に使う数値や計算式をなぞって選択

❸ホームインデックスキーに数回タッチし、ツールインデックス画面で電卓アイコンにタッチ



なぞった数値や計算式の結果が表示される

電卓画面

● 電卓への数値の複写

数値や式と見なせない文字や記号は無視され、数値だけが複写されます。

例：12360円×3泊 → 12360×3＝37080

計算に使用できるのは、数字、小数点(.)、四則演算子(＋、－、×(＊)、÷(/))です。カッコ( )は使用できません。

● 電卓に数値を複写するときは、ほかの機能の画面で数値や計算式をなぞって選択し、操作メニューキー、編集タブ、複写(コピー)にタッチした後、電卓画面で貼込にタッチしても貼り込むことができます。

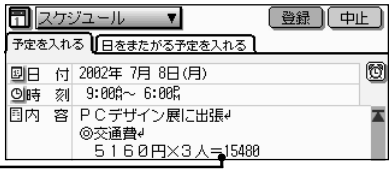
計算結果をほかの機能のデータ内に貼り込む

❶この表示窓内にタッチ
（グレー表示）

❷電卓画面で 複写 にタッチし、(クローズボタン)にタッチ

❸他機能に移り、計算結果を貼り込む新規作成画面や修正画面を表示

❹計算結果を貼り込む位置にカーソルを移動



❺ 操作メニューキー、 編集 タブ、 貼込(ペースト) にタッチ

データの修正・削除

フォトメモリー、レポート&自由帳、アクションリストなどの機能に登録したデータを削除したり修正したりする操作は、同様の方法で行います。

データの修正

データの修正は、各機能で同じように操作できます。

1 修正したいデータを表示するか、一覧画面で選択します。

2 修正にタッチしてデータを修正し、登録にタッチします。

- **修正前と修正後の2つのデータを登録するには**
  手順 **2**で**機能**キー、**登録**にタッチします。修正前のデータはそのまま残ります(フォトメモリーは除く)。
- フォトメモリーの縮小表示で表示しているデータを修正画面で登録すると、元データの画像サイズが1/4に縮小されます。
- フォトメモリーの640×480ドットを超えるデータを修正画面で登録すると、一部が消去されます。

データの削除

データの削除は、各機能で同じように操作できます。

1 削除したいデータを一覧画面で選択します。

2 操作メニューキー、編集タブ、削除にタッチします。

3 削除メニューから削除する範囲にタッチします。
確認メッセージで はい にタッチして削除します。

- **詳細表示画面での削除は**
  削除したいデータを表示し、**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**削除**にタッチします。
- **削除メニューの「ファイル内全データ」とは**
  画面左上の機能名(**アドレス帳▼**など)にタッチし、情報ファイル名にタッチしてその情報ファイルのデータのみ表示しているときに**操作メニュー**キー、**編集**タブ、**削除**、**ファイル内全データ**にタッチすると、その情報ファイルに分類されているデータがすべて削除されます。
- **シークレット機能が設定されているときは**
  1データ以外の削除操作はできません。シークレット機能を外してから削除してください。

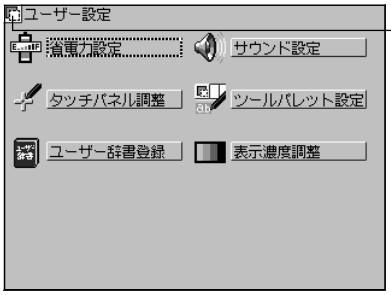
ユーザー設定

ユーザー設定では、自動節電機能が働くまでの時間を設定したり、タッチパネルを調整して使いやすくできます。また、よく使う語句を登録してより入力しやすくできます。

使いやすい設定に変える　ユーザー設定

使いやすくするための設定は、ユーザー設定画面から機能を選んで行います。

❶ **ホームインデックス**キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で**ユーザー設定**アイコンにタッチ



画面を閉じる
戻る(電源)ボタンを押しても閉じることができる

ユーザー設定画面

ユーザー設定画面の説明

◆**省電力設定**
自動節電(オートパワーオフ)機能が働くまでの時間を設定します(☞次ページ)。

◆**タッチパネル調整**
ペンでタッチした位置と画面の位置がずれているときに、ずれを修正します(☞361ページ)。

◆**ユーザー辞書登録**
よく使う語句をユーザー辞書に登録します(☞358ページ)。

◆**サウンド設定**
キータッチ音やアラート音などの入/切を設定します(☞360ページ)。

◆**ツールパレット設定**
ツールパレットの消しかたを設定します(☞361ページ)。

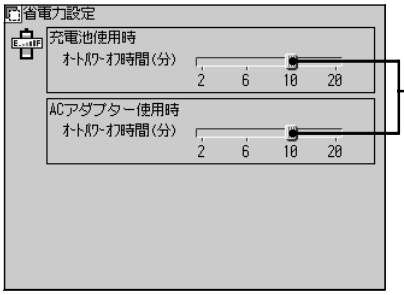
◆**表示濃度調整**
画面表示を見やすい濃さに調整します(☞次ページ)。

自動節電機能を設定する　省電力設定

自動節電(オートパワーオフ)機能が働くまでの時間を設定します。充電池での使用時、ACアダプターでの使用時を別々に設定できます。充電池の消費電力を抑えたいときには、短時間で自動節電機能が働くように設定します。用途に合わせて時間を設定してください。

❶**ユーザー設定画面を表示(☞前ページ)**

❷**省電力設定にタッチ**



❸**にタッチし、スライドさせ設定を変更**
設定を変更すると、すぐに機能が働く

省電力設定画面の説明

◆充電池使用時
充電池で使うときの状態を設定します。

◆ACアダプター使用時
ACアダプターを使うときの状態を設定します。

◆オートパワーオフ時間(分)
自動節電機能が働くまでの時間を設定します。

表示濃度を調整する　表示濃度調整

画面表示を見やすい濃さに調整します。表示濃度は周囲の温度、見る位置(角度)によって変わります。もっとも見やすくなるように調整してください。

1 ユーザー設定画面を表示します(☞前ページ)。

2 表示濃度調整にタッチします。
表示濃度調整画面が表示されます。

3 淡く 濃くまたは逆送りキー、順送りキーにタッチして、表示濃度を調整します。

4 左上の(クローズボタン)にタッチします。

よく使う語句を登録する　ユーザー辞書登録

よく使う語句をユーザー辞書に登録すると、ひらがな1文字で呼び出すことができます。よく使う会社名や単語などを登録すると、簡単に入力できるようになります。

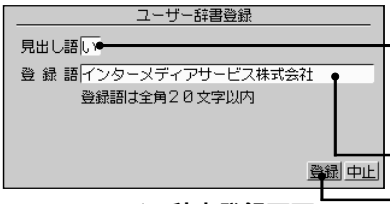
ユーザー辞書に登録する

よく使う語句をユーザー辞書に登録します。

例　「インターメディアサービス株式会社」を「い」で登録する場合

❶アドレス帳などの詳細表示画面で登録する語句をなぞって選択

❷ユーザー設定画面
(☞356ページ)で
[ユーザー辞書登録]
にタッチ

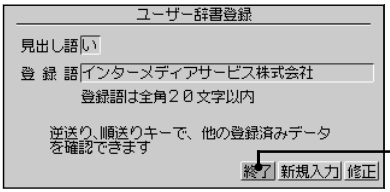


❸見出し語(「い」)を全角ひらがな1文字で入力

❹登録語を確認

❺[登録]にタッチ

ユーザー辞書登録画面



❻[終了]にタッチ

- 続けてユーザー辞書に登録するときは、手順 ❻ で [終了] の代わりに [新規入力] にタッチします。
- 登録語と見出し語が両方入力されていないと登録できません。
- 登録語は手順 ❹ で、直接入力することもできます。
- 登録語は、37語(1語当たり10文字の場合)登録できます。

登録した語句を使う

ユーザー辞書に登録した語句を入力するには、次の2つの方法があります。

- 見出し語を入力して漢字変換と同じように変換する
- ユーザー辞書ボードから選ぶ

●見出し語を入力し、登録した語句に変換する

1 **見出し語(「い」)を入力行に入力します。**

2 **変換にタッチします。**
見出し語(「い」)で登録した登録語に変換されます。
入力したい登録語が表示されないときは、漢字の変換と同じように**変換**や**前候**にタッチして候補を選びます。

●登録した語句を、ユーザー辞書ボードから入力する

1 **入力ボードの文字▼にタッチし、表示されたメニューから ユーザー辞書を選択します。**
ユーザー辞書ボードが表示されます。

2 **見出し語のあるインデックスにタッチし、入力したい登録語に1回または2回タッチします。**

登録した語句を修正する

1 **ユーザー設定画面を表示します(☞356ページ)。**

2 **ユーザー辞書登録にタッチします。**
ユーザー辞書登録画面が表示されます。

3 **逆送りキー、順送りキーにタッチし、修正する登録語を表示させます。**

4 **修正にタッチします。**
修正画面が表示されます。

5 **見出し語や登録語を修正し、登録にタッチします。**
修正した登録語が登録されます。

6 **終了にタッチします。**

登録した語句を削除する

1 **ユーザー設定画面を表示します(☞356ページ)。**

2 **ユーザー辞書登録にタッチします。**
ユーザー辞書登録画面が表示されます。

3 **逆送りキー、順送りキーにタッチし、削除する登録語を表示させます。**

4 **操作メニューキー、削除にタッチします。**
削除メニューが表示されます。

5 **1データ**にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。

6 **はい**にタッチします。
登録語が削除されます。

7 **終了**にタッチします。
データがないときは、中止にタッチします。

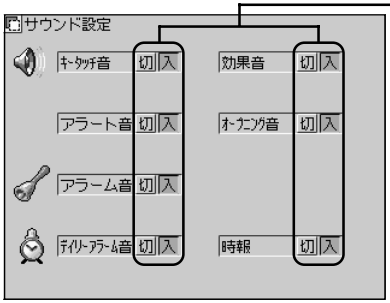
● **登録語を一括削除するには**
手順 **5**で**全ユーザー辞書データ**にタッチします。また、手順 **7**で**中止**にタッチしてユーザー辞書登録を終了します。

タッチ音などを入 / 切する サウンド設定

サウンド設定では、ペンでタッチしたときの音や、操作中の注意音、オープニング音などを消したり鳴らしたりすることができます。

❶ユーザー設定画面を表示(☞356ページ)

❷ **サウンド設定**にタッチ



❸ **切**または**入**にタッチし、設定を変更
入にすると音が鳴る

サウンド設定画面の説明

◆キータッチ音
ペンでタッチしたときのキータッチ音を入/切します。

◆アラート音
操作中のアラート音を入/切します。
アラート音は、次のような場合に鳴ります。
- 検索したデータがないときに「見つかりません」の表示と同時に鳴る音
- スケジュールデータの繰り返し登録を設定したときのデータ件数の表示と同時に鳴る音

◆アラーム音
スケジュールアラームで設定した時刻に鳴るアラーム音を入/切します。

◆デイリーアラーム音
デイリーアラームで設定した時刻に鳴るアラーム音を入/切します。

◆効果音
効果音を入/切します。効果音は、次のような場合に鳴ります。
- 「なぞってキーワード検索」を実行開始するときの音など

◆オープニング音
電源を入れたときの音を入/切します。

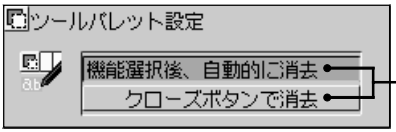
◆時報
毎正時に自動的に鳴る音を入/切します。

ツールパレットの消しかたを設定する ツールパレット設定

ツールパレット設定では、ツールパレットの消去のしかたを設定します。

❶ユーザー設定画面を表示(☞356ページ)

❷ ツールパレット設定 にタッチ



❸タッチし、設定を変更

ツールパレット設定画面の説明

◆ 機能選択後、自動的に消去
ツールパレットのメニューを選ぶと、自動的にツールパレットを消します。

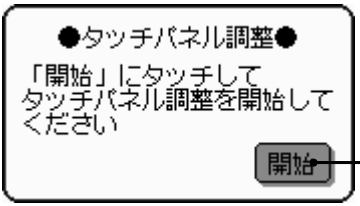
◆ クローズボタンで消去
ツールパレットの左上の ボタンにタッチするまでツールパレットを表示します。

タッチパネルを調整する タッチパネル調整

ペンでタッチしたとき、ボタンなどが反応しなかったり違うボタンが働くなど、タッチした位置が画面の位置とずれているときは、タッチパネル調整でずれを修正します。

❶ユーザー設定画面を表示(☞356ページ)

❷ タッチパネル調整 にタッチ
または (スクロールボタン)を押して タッチパネル調整 を選択し、決定ボタンを押す

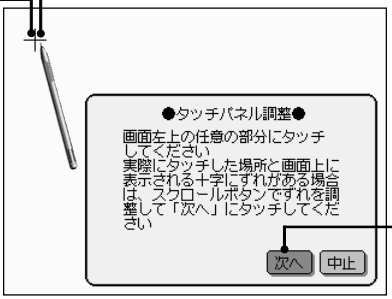


❸ 開始 にタッチ
または 決定 ボタンを押す

❹画面左上の任意の位置にタッチ
十字が表示される。
タッチした位置と十字にずれがある場合は、❺を行います。
タッチした位置と十字がどれくらいずれているか覚えておいてください。
ずれていないときは次へにタッチしてください。

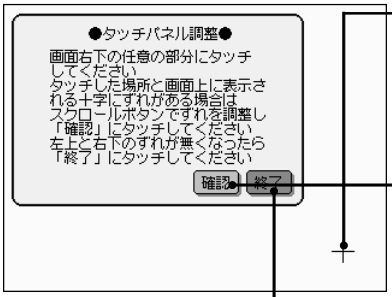
❺◇(スクロールボタン)を押し、覚えておいたタッチ位置に十字を移動する

❻次へにタッチ



タッチパネル調整画面

❼画面右下の任意の位置にタッチ
十字が表示される。
タッチした位置と十字にずれがある場合は、❽を行います。
タッチした位置と十字がどれぐらいずれているか覚えておいてください。
ずれていないときは終了にタッチしてください。

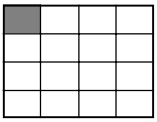


❽◇(スクロールボタン)を押し、覚えておいたタッチ位置に十字を移動する

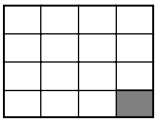
❾調節ができたら確認にタッチ
この後、手順❹～❽を繰り返す

❿調整が終わったら終了にタッチ

- タッチパネル調整画面では、実際にタッチした位置と表示された十字を◇(スクロールボタン)を押して合わせ、調整します。
- タッチパネル調整画面でタッチする場所によってずれる方向が異なる場合は、画面左上→画面右下を調整し、確認にタッチして画面左上→画面右下を調整します。
- 手順❹の画面左上の任意の位置とは、次の画面左上1/16の範囲内です。
  また、手順❼の画面右下の任意の位置とは、次の画面右下1/16の範囲内です。



画面左上1/16



画面右下1/16

メモリー管理

メモリー管理では、メモリーの使用量や各機能のデータの登録件数を確かめることができます。また、メモリーを整理すると、使えるメモリーが増えます。
シークレットデータを消去することもできます。

メモリー使用量と登録件数を確かめる

メモリー管理では、本体やコンパクトフラッシュメモリーカードのメモリー使用量や、各機能の登録件数を調べることができます。

❶ **ホームインデックス**キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で**メモリー管理**アイコンにタッチ

❷ メモリー使用量と登録件数を確認

❸ **戻る**(電源)ボタンを押し、終了する

メモリー管理画面

メモリーの空き容量

左右の(スクロールボタン)を押しても切り替えできる

メモリー使用量

登録件数
上下の(スクロールボタン)を押してスクロールする

ソフトウェア管理番号

メモリー管理画面の説明

◆**本体**
本体メモリーの使用量と登録件数の表示に切り替えます。

◆**カード**
コンパクトフラッシュメモリーカードが装着されているときに選択できます。カードメモリーの使用量などが表示されます。

◆**使用量**
使用しているメモリーの量をグラフで表示します。

- ▨ …… WWWブラウザキャッシュのメモリー使用量
- ■ …… WWWブラウザキャッシュ以外の機能のメモリー使用量
- ▩ …… 不要になって、しかも使用できなくなったメモリー領域
- ▨ …… バックアップのメモリー使用量(カード選択時のみ表示)

使用状況によってグラフ表示に若干の差異があります。たとえば、文字列を切取・複写しているとき、メールにデータを添付しているとき、パーソナルデータベースⅡのデータを入力中などです。

◆**メモリー整理**
メモリーの断片化を解消します(☞365ページ)。

◆**全データ消去**
カードを含めたすべてのデータを消去し、初期化します(☞366ページ)。

◆**シークレットデータ消去**
パスワードを忘れたときに、シークレットデータを消去します(☞366ページ)。

● メモリー管理画面の件数表示欄にタッチすると、選択状態になりますが、操作には無関係です。

● **こんなときにはメモリー整理を**
インターネットライブラリなどのタイトルを変更したり、データを削除・修正登録したり、修正途中で別の機能に切り替えたりすると、メモリー使用量のアミの部分の増えかたが大きくなります。必要に応じてメモリー整理を行ってください(☞次ページ)。

● この製品のユーザーエリアは約7MBですが、初期化した場合に、メモリー管理画面に表示されるメモリーの「空き容量」は7MBより小さい値になります。これは各機能のデータを格納するためのデータフォーマットにメモリーが使用されているためです。

メモリーがいっぱいになると

メモリーをいっぱい、またはいっぱい近くまで使用すると、機能が十分に働かないことがあります。

次のような状態になったときは、メモリー整理をするか、不要なデータを削除したうえでメモリー整理を実行してください(☞次項)。

- データを新規に作成しているときや修正しているときに「メモリーがたりません」と表示されたり、通信などで「メモリー容量不足で……」と表示される
- 各種一覧表示ができない(アドレス帳の会社一覧やアクションリストの未処理一覧など)
- 絞り込みができない
- アクションプランナーが使えない
- 機能切り替え時の状態保持機能が働かない(入力途中のデータが消えるなど)
- 複写、貼込ができない
- メール送信で送信データへのデータの添付ができない
- アドレス帳の会社名変更が途中までしかできない
- 別売のデジタルカメラカードCE-AG06を装着しても、写真を登録することができない
- 画面の切り替えやデータの表示に時間がかかるなど、動作が遅くなる
- データを新規に作成しているときや修正しているときに別の機能に切り替え、もとの機能に戻ってくると、入力・修正途中のデータが消失する
  また、電源を切り、再び入れたとき、入力・修正途中のデータが消失する
  特にフォトメモリーではその現象が発生しやすくなる
- CookieやSSLに対応したホームページに接続できない
- その他、一部の機能が働かない

さらにデータを入れられるようにする メモリー整理

この製品では、登録や修正、削除などの操作で、不要になったデータやメモリー管理情報の部分は消去されずに残っています(ここではこれを「メモリーの断片化」と呼びます)。このため、登録したデータの件数に比べて、メモリー使用量が多くなります(メモリー断片化の領域は、メモリー管理画面の使用量を表すバーチャートにアミで表示されている部分です)。
「メモリー整理」を行うと、不要なデータすべてが消去され、メモリーの断片化が解消し、空いたメモリーを有効に使用できるようになります。
※「メモリー管理情報」とは、メモリーの使用状況を管理するための情報です。

1 **メモリー管理画面を表示します(☞363ページ)。**

2 **メモリー整理にタッチします。**
確認のメッセージが表示されます。

3 **実行にタッチします。**
メモリー整理が実行され、アミの部分が消去されてメモリーが空きます。本体メモリーの場合、通常約数分かかります。

ご注意
- この製品では、登録されているデータを削除するだけでは、メモリーの空きエリアは増えません。多くのデータを削除したとき、あるいはサイズの大きなデータを削除したときには、必ず「メモリー整理」を実行してください。
- メモリー整理には時間がかかります。通常数分で終了しますが、**データの状態や大容量のコンパクトフラッシュメモリーカードの場合、1時間以上かかることがあります。ACアダプターを使用してメモリー整理を実行してください。充電池を使わざるを得ないときには、充電池の残量が十分であることをお確かめください。**
- **メモリー整理の実行中は、途中で電池交換スイッチを絶対に操作しないでください。また、ACアダプターの使用時は、途中でACアダプターを外さないでください。**これらの操作を行うと、データが壊れてしまいます。
- メモリー整理を中断するときは、中断するまで中断キーにタッチし続けてください。

メモ
- **作業用メモリーについて**
この製品では、データを記憶しておくフラッシュメモリーとは別に、RAMを作業用のシステムエリアとして使用しています(このエリアを「作業用メモリー」と呼びます)。入力や修正途中のデータなども、この作業用メモリーに書き込まれます。いろいろな作業をしているうちに、作業用メモリーの断片化が進み、「メモリーがたりません」などと表示されたり、電源が切れたりすることがあります。リセット操作(☞「付録」の章、「リセット操作」)をすると、作業用メモリーの断片化は解消され、この製品を使用できるようになります。作業用メモリーの断片化によって電源が切れたときは、再度電源を入れると、自動的にリセットされ、使用できるようになります。

すべてのデータを消去する 全データ消去

カードを含めたすべてのデータを消去します。

1 メモリー管理画面を表示します(☞363ページ)。

2 全データ消去にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。

3 確認にタッチした後、メッセージどおりに操作します。
この操作は「初期化」と同じです(☞「付録」の章、「初期化する」)。
全データが消去されます。

シークレットデータを消去する シークレットデータ消去

パスワードを忘れてシークレットデータを表示できなくなったときは、シークレットデータを消去するしか方法がありません。

1 メモリー管理画面を表示します(☞363ページ)。

2 シークレットデータ消去にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。

3 はいにタッチします。
すべてのシークレットデータが消去されます。

ご注意

- **シークレットデータ消去を行うと**
  シークレット機能の設定/解除にかかわらず、すべてのシークレットデータとパスワードが消去されます。
- **コンパクトフラッシュメモリーカードを装着しているときにシークレットデータ消去を行うと**
  本体とカードのすべてのシークレットデータとパスワードが消去されます。
  カードのメモリー管理画面で**シークレットデータ消去**にタッチしても、本体とカードのすべてのシークレットデータとパスワードが消去されます。

シークレット/全機能ロック

シークレット機能を使うと、登録したデータや、ID入力ボードに登録したIDやパスワードを他人に見られないようにできます。また、全機能ロックを使うと、この製品を他人が勝手に使えないようにすることができます。シークレットにしたデータを見たり、全機能をロックしたこの製品を使うには、設定したパスワードでシークレットや全機能ロックを解除します。

● シークレット機能を使って、データをシークレットにする流れや、シークレットにしたデータを見る流れは次のようになります。

■ データをシークレットにする流れ（☞367〜369ページ）

1. パスワードを登録し、シークレット機能を設定（☞このページ）
2. データをシークレットにする（☞369ページ）
3. シークレットデータが表示されなくなる

■ シークレットデータを見る流れ（☞369〜370ページ）

1. シークレット機能を一時的に解除（☞369ページ）
2. 通常と同じようにシークレットデータを見る
3. 一時解除したシークレット機能を再設定（☞370ページ）

● 全機能ロックについては、371〜373ページをご覧ください。
● ID入力ボードについては、145ページをご覧ください。

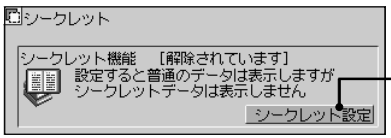
データを秘密にする　シークレット機能

シークレット機能を使うと、登録したデータや、ID入力ボードに登録したIDやパスワードを他人に見られないようにできます。

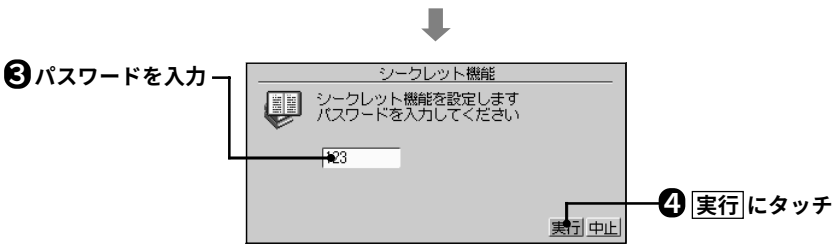
パスワードを登録する　シークレット設定

データをシークレットにしたり、ID入力ボードを表示させないようにするには、パスワードを登録してシークレット機能を設定する必要があります。
なお、パスワードを登録すると、全機能ロックを設定できるようにもなります。

❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で シークレット アイコンにタッチ



シークレット画面



❺確認のメッセージで 確認 にタッチ

❻ にタッチ。または 戻る (電源)ボタンを押す

ご注意

- **パスワードを忘れると**
  パスワードといっしょにシークレットデータもすべて消去しなければなりません。また、全機能ロックを設定していた場合は、初期化して全データを消去しなければなりませんので、ご注意ください。万一のためにパスワードは控えておいてください。
- **パスワードの入力では**
  全角と半角の文字、大文字と小文字などが区別されます。まちがえないように注意してください。
- **パスワードをまちがって登録すると**
  シークレット機能を解除できなくなります。手順 ❸ 、❹ でパスワードをよく確認してから手順 ❺ の操作をしてください。特に手書認識ボードでパスワードを入れるときは、まちがった文字が入っていないかよく確認してください。

メモ

- **シークレットの状態を確かめるには**
  シークレット機能の設定/解除状態は、シークレット画面の「シークレット機能」の右の[解除されています]などで確かめることができます。
- **すでに に設定してシークレットにしたデータがあるときに、パスワードを登録すると**
  シークレット機能を一時解除しない限り、シークレットデータやID入力ボードを表示できません。
- コンパクトフラッシュメモリーカードの装着時、パスワードを登録すると本体と同じパスワードが、カードにも登録されます。パスワードの登録・消去は、本体とカードに対して同時に行われます。パスワードの変更・消去については、374ページの「メモ」をご覧ください。

データをシークレットにする　シークレットデータ

データをシークレットにします。いったんシークレットにしたデータは、シークレット機能を一時解除、またはデータのシークレットを解除しない限り見ることはできません。

1 シークレットにするデータを表示します。

2 にタッチします。
に変わり、シークレットデータになります。

3 ほかの画面に切り替えます。
以後シークレット機能を解除、または一時解除するまで、シークレットデータは表示されなくなります。

メモ
- **シークレットにできるデータは**
が表示される機能のデータをシークレットにできます。
- パスワードが登録されていないときに、にタッチしてに変えてもデータは表示されます。ただし、シークレット機能を設定すると、表示されなくなります。

シークレットデータを見えるようにする

シークレットにしたデータを見えるようにします。

一時的にシークレットデータを見る　一時解除

シークレット機能を一時的に解除すると、シークレットデータを見ることができます。また、ID入力ボードを表示することができます。一時的な解除では、電源を入れ直すとシークレット機能が設定されます。

1 シークレット画面を表示します（☞367ページ）。

2 一時解除にタッチします。
シークレット機能（シークレット機能一時解除）画面が表示されます。

3 パスワードを入力し、実行にタッチします。
確認のメッセージが表示され、シークレット機能が一時的に解除されます。

4 画面左上のにタッチするか、戻る（電源）ボタンを押して閉じます。

5 この後、通常のデータと同じようにシークレットデータを表示します。

メモ
- バックアップ/リストアを行おうとしたときなどに「シークレットがかかっています…」のメッセージが表示され、一時解除後実行のボタンが表示されたときは、一時解除後実行にタッチしてシークレット機能を一時的に解除できます。

データのシークレットを解除する

シークレットの指定を解除し、普通のデータにします。
前ページのシークレット一時解除では、電源を入れ直すとシークレット機能が設定され、データは見えなくなります。
シークレットの指定を解除すると、シークレット機能が設定されていても、データは見えます。

1 シークレット機能を一時的に解除します(☞前ページ)。

2 シークレットの指定を解除するシークレットデータを表示します。

3 にタッチします。
表示が になり、シークレットの指定が解除されます。

メモ

● シークレットデータを削除するには
シークレット機能を解除または一時的に解除した後、データを削除します。
全シークレットデータを削除するには、メモリー管理画面で**シークレットデータ消去**にタッチします。パスワードとすべてのシークレットデータが消去されます。また、全機能ロックが設定されていた場合、全機能ロックも解除されます。コンパクトフラッシュメモリーカードが装着されていると、カード内のシークレットデータも消去されます。

一時的に解除したシークレット機能をもう一度設定する

シークレット機能を一時的に解除した後、シークレットデータを見られないようにするには、もう一度シークレット機能を設定します。
一時的にシークレット機能を解除しているときに、電源を切ったり、自動節電機能で電源が切れたときなどは、自動的にシークレット機能が再設定されます。

1 シークレット画面を表示します(☞367ページ)。

2 シークレット設定にタッチします。
確認のメッセージが表示され、シークレット機能が再設定されます。

3 画面左上の にタッチするか、戻る(電源)ボタンを押して閉じます。

この製品を他人が使えないようにする 全機能ロック

全機能ロックを使うと、この製品を他人が使えないようにできます。全機能ロックを設定すると、電源オン時にパスワードを入力してロックを外さないと、この製品を使うことができなくなります。全機能ロックを解除するパスワードは、シークレットを設定するパスワードと同じものです。

全機能ロックを設定する 全機能ロック設定

全機能ロックを設定する流れは、次のようになります。

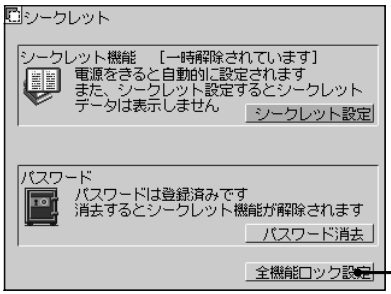
1. パスワードを登録(☞367ページ)
2. シークレット機能を一時的に解除(☞369ページ)
3. 全機能ロックを設定

電源を切/入した後、全機能ロックがかかる

全機能ロックが設定されると、パスワードを入力しない限りこの製品を使うことはできません。

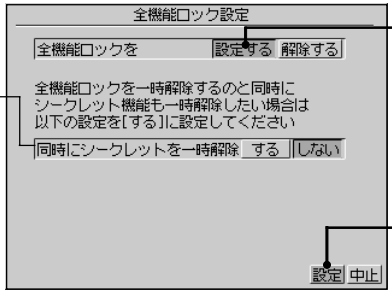
❶パスワードを登録し、シークレット機能を設定(☞367ページ)

❷シークレット画面で 一時解除 にタッチし、シークレット機能を一時的に解除(☞369ページ)



❸ 全機能ロック設定 にタッチ

シークレット画面



するでは、全機能ロックを一時的に解除してこの製品を使うとき、同時にシークレット機能も一時的に解除する。
しないでは、シークレット機能を一時的に解除しない

❹ **設定する**にタッチ

❺ **設定**にタッチ

全機能ロックが設定される
以後、電源オン時にパスワードを入力しないと使えなくなる

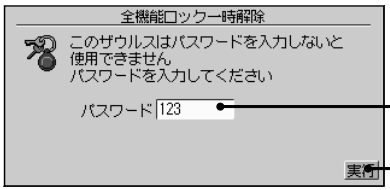
ご注意
- パスワードを忘れると、この製品を初期化し、全データを消去しないと使えなくなりますのでご注意ください。万一のためにパスワードは控えておいてください。

メモ
- **全機能ロック設定**は、シークレット機能を一時的に解除したときに表示されます。
- 全機能ロックを設定していると、電源を切っているときにはスケジュールアラームとデイリーアラームは鳴りません。

全機能ロックしたこの製品を使う　一時解除

電源を入れたときにパスワードを入力すると、全機能ロックが一時的に解除されこの製品を使うことができます。一時的な解除では、電源を入れ直すと、再び全機能ロックが設定されます。

❶ **戻る(電源)ボタンを押し、電源を入れる**



❷ **パスワードを入力**

❸ **実行**にタッチ

全機能ロックが一時解除される
全機能ロック設定画面で、「同時にシークレットを一時解除」の右欄をする**にしていた場合、シークレット機能も一時的に解除される**

メモ
- 全機能ロックを解除するパスワードは、シークレットを設定するパスワードと同じものです。

全機能ロックを解除する

全機能ロックを解除すると、電源を入れたとき全機能ロックは働かなくなります。

1 シークレット画面を表示します(☞367ページ)。

2 一時解除にタッチし、シークレット機能を一時解除します。
シークレット画面に
全機能ロック設定が表示されます。

3 全機能ロック設定にタッチします。
全機能ロック設定画面が表示されます。

4 「全機能ロックを」の右欄の解除するにタッチします。

5 設定にタッチします。
全機能ロックが解除されます。

● メモリー管理画面で**シークレットデータ消去**にタッチし、すべてのシークレットデータを消去すると、パスワードが消去され、設定されていた全機能ロックも解除されます。

パスワードを変更・消去する

パスワードを変更するときは、一度現在のパスワードを消去した後、新しいパスワードを登録し直します。
パスワードを消去すると、設定されているシークレット機能と全機能ロックが解除されます。

1 シークレット画面を表示します（☞367ページ）。

2 パスワード消去にタッチします。
パスワード入力画面が表示されます。

3 現在のパスワードを入力し、実行にタッチします。
確認のメッセージが表示され、パスワードが消去されます。

4 パスワードを変更する場合は、この後、新しいパスワードを登録します（☞367ページ）。

5 画面左上の にタッチするか、戻る（電源）ボタンを押して閉じます。

● **コンパクトフラッシュメモリーカードを装着してパスワードを登録したときのパスワードの変更・消去は**
カードを装着してパスワードを登録したときは、本体と同じパスワードがカードにも登録されています。パスワードの登録・変更・消去は本体とカードに対して同時に行われます。カードを外して本体のパスワードを変更すると、カードと本体のパスワードが違うことになります。この後、カードを装着すると、パスワードが違うためカードが使えません。
本体のパスワードを変えるときは、必ずカードを装着してください。

コラム

パスワードを忘れてしまったときは

■ シークレット機能を設定していたときは
パスワードを忘れると、シークレットデータやID入力ボードを表示できなくなります。このようなときは、シークレットデータを消去するしか方法がありません。また、ID入力ボードを使えません。
シークレットデータの消去については、「メモリー管理」をご覧ください（☞366ページ）。

■ 全機能ロックを設定していたときは
パスワードを忘れると、全機能ロックを解除できなくなり、この製品が使えなくなります。このようなときは、この製品を初期化し、全データを消去しないと使えません。
初期化については、「付録」の章、「初期化する」をご覧ください。

カード

この製品では、当社推奨のCompact Flash™仕様のコンパクトフラッシュメモリーカード（以下、「カード」と呼びます）を使って、次のことができます。

- 本体のメモリーを拡張し、データの登録件数を増やす（☞378ページ）
- 本体のデータをバックアップ、機能別複製する（☞「バックアップ/リストアとカード複製」382ページ）

この製品では、Compact Flash™仕様のコンパクトフラッシュメモリーカードが使用できます。
動作確認ができているコンパクトフラッシュメモリーカード一覧については、下記のホームページでご確認ください（2000年7月現在）。
URL: http://www.sharp.co.jp/sc/zaurussp/zcfcard.html

メモ

- コンパクトフラッシュメモリーカードを初めて使うときは、内部の状態が一定ではないためメモリーカードのデータを消去しないと使用できないことがあります（故障ではありません）。このときは、表示されるメッセージに従ってメモリーカードを初期化（完全消去（フォーマット））してください。
- コンパクトフラッシュ（Compact Flash）はSanDisk Corporationの商標です。
- コンパクトフラッシュメモリーカード以外に別売のコンパクトROMカードも使用できます。

ご注意

- MI-310など（MI-C1シリーズ、MI-EX1を除く）で使用していたコンパクトフラッシュメモリーカードは、この製品ではそのままでは使用できません。データ変換することにより、この製品で使用できるようになり、カード内のデータを見ることができるようになります。コンパクトフラッシュメモリーカードを取り付けたときにデータ変換を行うかどうかのメッセージが表示されますので、メッセージに従って操作し、データ変換してください。なお、いったんデータ変換を行うと、MI-310など、もとの機種では使用できなくなりますのでご注意ください。
- ザウルスマップカード（CE-ZM4R）でお店情報を追加するときに写真データを登録することはできません。

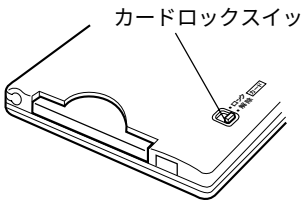
カードを取り付ける

カードは、以下の手順で取り付けます。

1 切キーにタッチして、電源を切り、クリアカバーを取り付けます。

2 本体裏側のカードロックスイッチを「解除」側にします。

(注) カードロックスイッチを「ロック」側にしたまま、カードを取り出さないでください。無理に操作すると壊れることがあります。

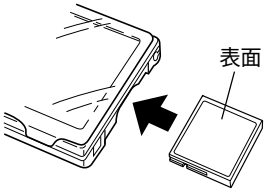


3 保護カードまたはすでに入っているカードを抜き取ります。

4 カードの表面を上にして、端子側から奥まで確実に挿入します。

カードは、本体の表側とカードの表側が同じ向きになるようにして挿入してください。裏表をまちがえると、故障したり、カードが取り出せなくなります。

(注) また、カードロックスイッチを「ロック」側にしたまま、カードを取り付けないでください。無理に押し込むと故障したり、カードが取り出せなくなります。



5 本体裏側のカードロックスイッチを「ロック」側にします。

メモ

- データが異常、とメッセージが表示されたときは、「異常が起きたとき」(☞「付録」の章)を参照してください。
- データの転送中や通信中などは、中断キーにタッチして動作を止めてから電源を切ってください。

ご注意

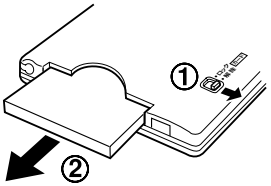
- この製品で使用できるカードは、当社がMI-P10用として推奨するコンパクトフラッシュメモリーカード/コンパクトROMカード/デジタルカメラカード/モデムカードのみです。電子手帳用またはPIシリーズザウルス(PI-3000/PI-4000/PI-4500/PI-5000/PI-6000/PI-6500/PI-6600/PI-8000)で使用されているICカードや、MI-500/MI-600シリーズ用などのPCカードは使用できません。
- **電源が入ったままで、絶対にカードを抜き差ししないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。**
- 取り外した保護カードは大切に保管してください。

カードを取り外す

カードは、以下の手順で取り外します。

1 **切キーにタッチして、電源を切り、クリアカバーを取り付けます。**

2 **本体裏側のカードロックスイッチを「解除」側にします(①)。**
次にカードを抜き取ります(②)。



3 **保護カードを取り付け、カードロックスイッチを「ロック」側に戻します。**

ご注意

● **カードを取り外したときは**
必ず付属の保護カードを取り付けてください。ほかの保護カードを取り付けないでください。カードが使用できなくなることがあります。

本体のメモリーを拡張する

カードを取り付けると、本体とは別に、次の機能のデータをカード側に登録でき、データの登録件数を増やすことができます。

- スケジュール　• 記念日　• アドレス帳　• フォトメモリー
- アクションリスト　• レポート＆自由帳　• パーソナルデータベースII
- メール　• インターネットライブラリ　• MOREソフト
- パソコンデータ　• 情報ファイル

このため、

- ビジネス用は本体、プライベート用はカードなどと、目的別にデータを登録して管理できます。
- フォトメモリーのデータはカードに登録、ほかの機能のデータは本体に登録するなどと、機能別にデータの登録先を変えることができます。

データの登録先を切り替える

データの登録先を本体からカードへ、カードから本体に切り替えます。

● スケジュール、記念日、アドレス帳、フォトメモリー、アクションリスト、レポート＆自由帳、パーソナルデータベースII、メール、インターネットライブラリ、情報ファイルでは

データの登録先を切り替えるには、タッチパネルキーの**カード**キーにタッチします。登録先がカード→本体→カードと交互に切り替わります。

カードに切り替わると、画面左上の各機能のアイコンがカードアイコン( )に変わります。カードアイコン( )を表示させているときに、登録したデータはカードに登録されます。カードアイコン( )を表示していないときは、本体にデータが登録されます。

たとえば、アドレス帳でタッチパネルキーの**カード**キーにタッチしてカードアイコン( )を表示させると、アドレス帳のデータをカードに登録できるようになります。

なお、本体側に登録されるのか、カード側に登録されるのかは画面左上のアイコンを確認してから行ってください。本体側に登録したつもりで、データの登録先がカード側になっているとカード側に登録されます。

カードだけを登録先にするときは、各機能でカードアイコン( )を表示させます。本体だけを登録先にするときは、各機能でカードアイコン( )を表示させずに各機能のアイコンを表示させます。

● カードに登録されたデータの表示・修正・通信などは、タッチパネルキーの**カード**キーにタッチしてカードアイコン( )を表示させ、本体データと同じように操作します。

●MOREソフト、パソコンデータでは

MOREソフト画面、パソコンデータ画面の**カード**にタッチし、カードと本体を切り替えます。

●アクションプランナーでカードデータを抽出するとき

アクションプランナーで、カードのデータを抽出するときは、関連語入力画面で**カード**にタッチしてカードを抽出対象に選びます。抽出したデータは、カードの情報ファイルに入ります。

●その他

各機能別の検索や絞り込みは、本体とカードで登録先ごとに別々に行います。検索や絞り込みを行いたい機能でタッチパネルキーの**カード**キーにタッチし、本体またはカードに切り替えてから実行してください。

本体のデータをバックアップしたり、カードに複製する

本体のデータをカードにバックアップしたり、機能別に複製することができます。くわしくは、「バックアップ/リストアとカード複製」(☞382ページ)をご覧ください。

●バックアップ

本体の全データをカードにバックアップします。
大切なデータが消えてしまっては取り返しがつきません。この機能を使って、全データをカードにバックアップしておくことをおすすめします。
バックアップを定期的(1週間や10日間など)にすると、最新のデータを常に保存できます。

●機能別複製

アドレス帳、スケジュール、記念日、アクションリスト、フォトメモリー、レポート&自由帳、パーソナルデータベースⅡ、メール、インターネットライブラリのデータをカードに複製します。

カードデータロック機能について

カードデータロック機能とは

カードデータロック機能とは、カードのデータをほかの本体で見られないようにする機能です。カードと本体のパスワードが一致しないと、自動的にカードのデータをロックして使えなくします。
パスワードの設定・解除はシークレット機能で行います(☞367、369ページ)。

パスワードを登録する

本体、カードとも、パスワードが登録されていない状態で、カードを装着し、本体にパスワードを登録します。これで、本体とカードに同じパスワードが登録されます。

パスワードを消去する

本体、カードとも、同じパスワードが登録されているときに、カードを本体に装着し、本体のパスワードを消去します。これで、本体とカードのパスワードが消去されます。

ご注意

- カードを取り付けた状態で、**ホームインデックス**キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で**メモリー管理**アイコンにタッチし、メモリー管理画面で**シークレットデータ消去**にタッチすると、本体とカードの両方のシークレットデータとパスワードが消去されます。注意してください。

カードデータロックの状態と解除方法

本体とカードのパスワード登録状況によって、ロック状態と解除方法は次のようになります。

パスワード登録		電源を入れたときのメッセージ	対処方法
本体	カード		
× ○	× ○		• カードは使用できる
○	×	カードにパスワードが登録されていません 本体のパスワードをカードに登録します よろしいですか？	• **はい** にタッチすると、本体のパスワードがカードに登録されカードが使用できる
×	○	カードにパスワードが登録されているため、このカードは使えません……	• **はい** にタッチして本体にカードと同じパスワードを登録する その後、電源を切って入れる • **いいえ** にタッチしてカードのシークレットデータ、パスワードを消去する
○	◎	本体とカードのパスワードが違います このカードは使えません	• 本体のパスワードを消去し、改めてカードと同じパスワードを登録する その後、電源を切って入れ直す

×…パスワードなし　○…パスワード1　◎…パスワード2

ご注意

- タッチパネルキーの **カード** キーにタッチしても、カードのデータが選択できず、カードアイコン( )も表示しないときは、カードがロックされています。このようなときは、いったん電源を切り、電源を入れ直します。上記の表のいずれかのメッセージが表示されたら、対処してください。
- カードのパスワードを忘れて使えないときは、本体のパスワードを消去してから電源を切って入れ直し、上記の表の3番目の対処をしてください。

バックアップ/リストアとカード複製

当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカード(以下、「カード」と呼びます)に、本体に登録した全データを保管(バックアップ)したり、バックアップした全データを呼び出す(リストア)ことができます。また、機能別にデータを複製したり、別のMI-P10にデータを移すこともできます。

ここでは、

- カードに本体の全データを保管(バックアップ)する(☞次ページ)
- ほかのMI-P10へ全データを送信する(☞386ページ)
- カードにデータを機能別に複製する(☞「機能別複製」387ページ)

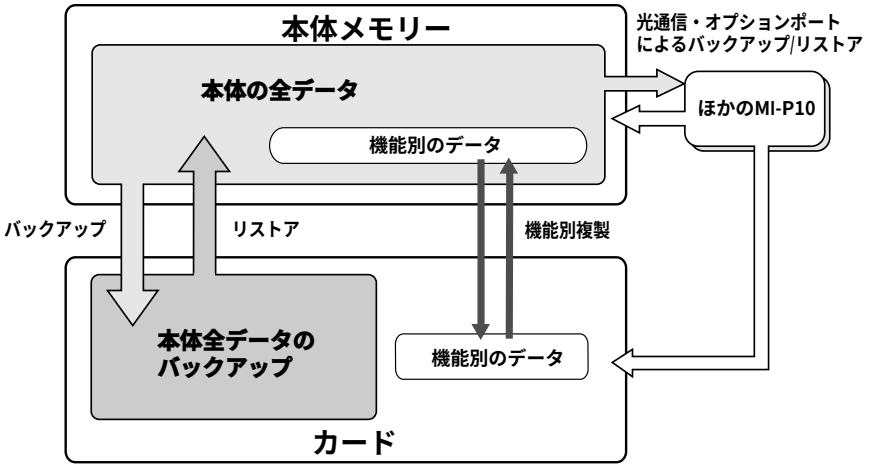
を説明します。

● パソコンにバックアップをするには

パソコン連携ソフト「ザウルスパワーコネクション」(別売のパソコン連携キットCE-P10PKに付属)や「マルチメディア個人情報管理ソフトPowerPIMM Ver 3.5 CE-S35PM」(※)を使うと、パソコンにバックアップをすることができます(PowerPIMMでのバックアップについては、PowerPIMMのヘルプをご覧ください)。

※Ver 3.51以降にバージョンアップのうえ、ご利用ください。

くわしくは、「MI-P10システムのご案内」をご覧ください。



全データをカードへ保管(バックアップ)する

次の内容をカードに保管(バックアップ)します。

●保管(バックアップ)できる内容

- 情報ファイル　• スケジュール　• 休日設定　• 記念日　• アドレス帳
- フォトメモリー　• アクションリスト　• レポート&自由帳
- パーソナルデータベースII　• インターネットライブラリ
- ユーザー設定の各内容　• 各機能の設定内容　• シークレットの状態
- パスワード　• 辞典のマーカー　• 所有者情報　• 受信簿　• 送信簿
- 分類条件設定　• 接続先情報　• 予約録画の設定情報　• 接続機器情報
- キャッシュの内容　• マークページ　• 通信記録　• MOREソフト
- MOREドライバー　• パソコンデータなどのデータ

ご注意

- 充電池が消耗しているとき(ステータス表示の の表示が0%に近いとき)は、バックアップおよびバックアップデータの消去ができません。ACアダプターを接続してください。
- バックアップを中止したときや何かの原因でバックアップが中止されたときは、データが正しくバックアップされません。必ず、バックアップ先のデータを消去してください。
- カードにバックアップしたデータは、検索の対象にはなりません。
- バックアップすると、シークレット機能のパスワードもバックアップされます。バックアップしたデータを本体に呼び出す(リストア)と、パスワードもバックアップしたときの状態に戻ります。また、オプションポート16や光通信でバックアップ(☞386ページ)を行ったときは、受信側のパスワードは送信側のパスワードに置き換わります。
- MI-P10の全データをカードにバックアップしたものを、MI-P1シリーズなどほかのザウルスに移して使用することはできません。

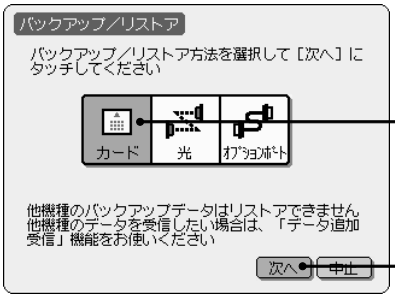
メモ

- シークレット機能が設定されているときは、シークレット機能を解除(☞369ページ)してからバックアップしてください。

全データをカードにバックアップする　バックアップ

本体の全データをカードにバックアップします。

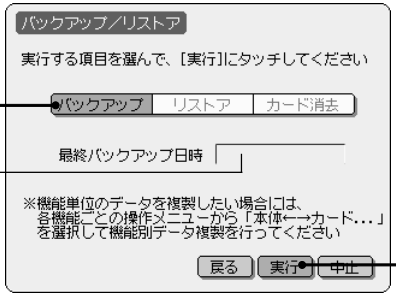
❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で バックアップ/リストア アイコンにタッチ



❷ カード にタッチ

❸ 次へ にタッチ

バックアップ/リストア画面



❹ バックアップ にタッチ

最後にバックアップした日時。
一度もバックアップしたことがない場合は何も表示されない

❺ 実行 にタッチ

❻ 確認のメッセージで はい にタッチ

● 一度バックアップを行ったカードを使って、再びバックアップを行うと、前回保管したデータは上書きされます。前回保管したデータを残したいときは、別のカードにバックアップを行ってください。

バックアップしたデータを呼び出す　リストア

カードにバックアップしたデータを本体に呼び出します(リストア)。

ご注意

- バックアップしたデータとMOREソフト、MOREドライバーをカードから本体に呼び出すと、本体のデータとMOREソフト、MOREドライバーはすべてなくなります。ご注意ください。オプションポート16や光通信でリストアを行ったときも同様です。

1 **バックアップ/リストア画面を表示します(☞前ページ)。**

2 **カード、次へにタッチします。**

3 **リストア、実行にタッチします。**
確認のメッセージが表示されます。

4 **確認にタッチします。**
確認のメッセージが表示されます。

5 **はいにタッチします。**
データが本体に呼び出されます。

メモ

- **バックアップしたカードのデータを消去するときは**
  手順 **3**で**カード消去**、**実行**にタッチします。
- ほかのザウルスのデータをバックアップしたカードをこの製品に呼び出すことはできません。

ほかのMI-P10へ全データを送信する

この製品の通信機能(光通信またはオプションポート16)を使って、ほかのMI-P10に全データを送信(バックアップ)することができます。

ここでは光通信機能を使った例で説明します。

●送信側の操作

1 バックアップ/リストア画面を表示します(☞384ページ)。

2 光、次へ **にタッチします。**

3 バックアップ、本体、次へ **にタッチします。**
全データの送信を実行する画面が表示されます。

受信側を受信待ちの状態にします。

9 相手が受信待ちになったら、実行**にタッチし、確認のメッセージで**はい**にタッチします。**
「送信中(IrDA 115kbps)」と送信状況を示すバーチャートが表示され、送信が終わると、「送信中!」の表示が消えます。

●受信側の操作

4 バックアップ/リストア画面を表示します(☞384ページ)。

5 光、次へ **にタッチします。**

6 リストア、本体、次へ **にタッチします。**
受信待ちの状態にする画面が表示されます。

7 実行 **にタッチします。**
全データの消去を確認するメッセージが表示されます。

8 はい **にタッチします。**
「受信中(IrDA 115kbps)」が表示され、受信待ちになります。

送信側で送信を実行させます。

受信が終わると、「受信中!」の表示が消えます。

メモ

- **通信する相手**
  光通信、オプションポート16での通信にかかわらず、通信相手は、MI-P10だけです。
- **オプションポート16でバックアップするとき**
  接続のしかたは414ページをご覧ください。手順 **2**と **5**の**光**の代わりに**オプションポート**にタッチしてください。また手順 **3**の画面で**条件設定**にタッチして、オプションポート16の条件設定をお互いに相手機に合わせます。
- 送信される内容は、383ページの「**●保管(バックアップ)できる内容**」をご覧ください。また、383、385ページの「ご注意」も併せてご覧ください。

機能別にカードへデータを複製する 機能別複製

機能別にデータを複製して、カードに保存します。機能別に複製できるのは、次の機能です。

- アドレス帳　• スケジュール　• 記念日　• アクションリスト
- フォトメモリー　• レポート＆自由帳　• メール
- パーソナルデータベースII　• インターネットライブラリのデータ

また、カードに保存したこれらのデータを本体に複製することができます。

ご注意

- **情報ファイルに分類しているデータを本体メモリーとカードの間で複製・移動すると**情報ファイルの分類情報は複製・移動されません。このため、複製・移動先では、未分類データになりますのでご注意ください。
- シークレットが設定されているときは、シークレットデータは複製・移動しません。シークレットデータも複製・移動の対象とするには、シークレット機能を解除してから操作してください(☞369ページ)。

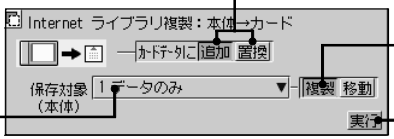
本体のデータをカードに複製する 本体→カード

機能別のデータをカードに複製します。

ここではインターネットライブラリの1データを、カードに複製して保存します。

❶複製したいインターネットライブラリのデータを一覧画面で選択

❷ 操作メニュー キー、通信 タブ、本体←→カード... にタッチ



❸この枠内にタッチし、表示されたメニューから、データの範囲を選択

❹複製方法を指定

❺ 複製 にタッチ

❻ 実行 にタッチ

❼「カードデータに」で 置換 を選んだときは、確認メッセージで はい にタッチ

画面の説明

◆カードデータに

追加… 指定したデータがカードに追加されます。

置換… カードのインターネットライブラリなどの全データが、複製したデータに上書きされ、複製する前のデータはなくなります。

◆ 複製

本体のデータは残ります。

◆ 移動

本体のデータがカード側に移動します。本体のデータは削除され、なくなります。

◆保存対象

1データのみ

表示中の1データ、一覧画面で選択した1データのみを複製します。

全Internetライブラリ

選択した機能によって名称は違います。本体の選択した機能の全データを複製します。

指定以降のデータ

表示中のデータ以降、または一覧画面で選択したデータ以降(指定データおよびそれより前に登録されたデータ)を複製します。

カードのデータを本体に複製する　カード→本体

カードに入っているインターネットライブラリなどのデータを、本体に複製します。

1 本体に複製する機能の画面を表示します。

2 タッチパネルキーの カード キーにタッチします。

カードに保存されているデータの画面に変わります。

3 複製するデータを一覧画面で選択します。

4 操作メニュー キー、通信 タブ、本体←→カード... にタッチします。

Internet ライブラリ複製:カード→本体画面などが表示されます。

5 複製する方法(ここでは 追加)と保存対象(ここでは 1データのみ)を指定し、実行 にタッチします。

置換 を選んだときは、確認のメッセージが表示されます。**はい** にタッチします。

カードのデータが本体に複製されます。

メモ

● **複製した後のデータの扱い**

・本体データ

追加… 指定したデータが本体に追加されます。

置換… 本体のインターネットライブラリなどの全データが、複製したデータに上書きされ、複製する前の本体のデータはなくなります。

・カードデータ

複製… カードのデータは残ります。

移動… カードのデータが削除され、なくなります。

● 複製するデータ範囲は、上記の「画面の説明」をご覧ください。

パソコンとの連携(PCリンク)

PCリンクは、パソコンとのデータ通信を行うための機能です。
PCリンクには、PowerリンクとPowerPIMMリンク、パソコンリンクの3つの形式があり、パソコン側のソフトによって使い分けします。

- Powerリンク …… 別売のパソコン連携キットCE-P10PKに付属のパソコン連携ソフト「ザウルスパワーコネクション」や「マルチメディア個人情報管理ソフトPower PIMM Ver 3.5 CE-S35PM」(☞下記の「メモ」)と通信する場合に使います。
- PowerPIMMリンク …… 「ザウルスパワーコネクション Ver 1.0〜2.0」や「ザウルスパワーリンク for Microsoft Outlook」と通信する場合に使います。
- パソコンリンク …… 上記の「Powerリンク」、「PowerPIMMリンク」を使用しないパソコンリンクソフトに対応するための機能です。

パソコン連携ソフト「ザウルスパワーコネクション」(別売のパソコン連携キットCE-P10PKに付属)を使うと、インターネットライブラリ、フォトメモリーの画像データなどをパソコンとの間で送受信ができます。また、「スケジュール」、「アクションリスト」、「アドレス帳」とMicrosoft Outlook2000/Outlook98/Outlook97との間で、お互いのデータを最新のものに更新することができます。くわしくは、「CE-P10PK取扱説明書」およびパソコン連携ソフトの「ヘルプ」をご覧ください。
マルチメディア個人情報管理ソフトPowerPIMM Ver 3.5 CE-S35PM(☞下記の「メモ」)を使うと、パソコンとデータを連携できます。「スケジュール」、「アクションリスト」、「アドレス帳」などのデータをPowerPIMMとの間で、お互いのデータを最新のものに更新することができます。

メモ

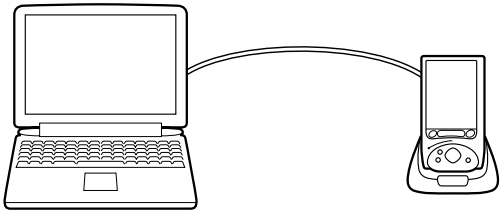
- マルチメディア個人情報管理ソフトPowerPIMM Ver 3.5 CE-S35PMは、Ver 3.51以降にバージョンアップのうえ、ご利用ください。同梱の「MI-P10システムのご案内」もご覧ください。
- この製品は、Ver 3.51より前のバージョンのPowerPIMMには対応していません。
- PIMとは、Personal Information Managementの略で、スケジュールやアドレス帳などの個人情報を管理することです。

※ Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
※ Outlookは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。

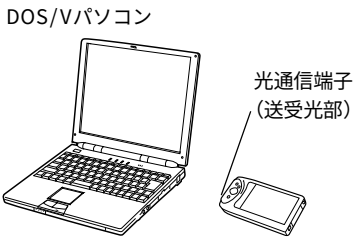
通信方法について

PCリンクを使ってパソコンと通信するときの方法には、次の3つがあります。

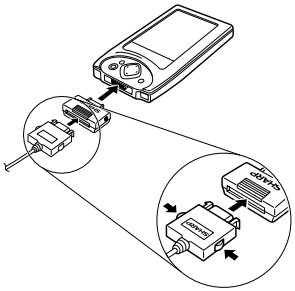
- 別売のパソコン連携キット（CE-P10PK）に付属のクレードルを使った通信
- 光通信（IrDA方式やASK方式。PowerリンクおよびPowerPIMMリンクは、IrDA方式のみ）
- オプションポート16を使ったケーブル通信



別売のパソコン連携キット（CE-P10PK）に付属のクレードルを使っての通信
（☞CE-P10PK取扱説明書）



光通信
（☞401ページ）



オプションポート16を使っての通信
（☞414ページ）

通信方法によって次の別売品が必要になる場合があります。
光通信を使って通信するときは、光通信ポートが内蔵されているパソコンをお使いください。

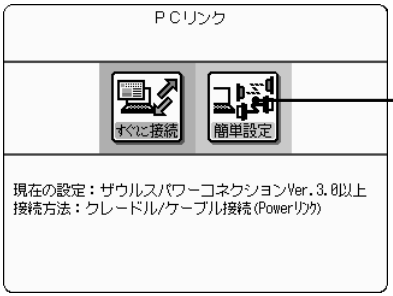
- 接続用ケーブルCE-155TS※、CE-150TS※、CE-170TS（オプションポート16を使ってケーブル通信するとき）

※CE-155TS/150TSを使用する場合、オプションポート変換アダプターCE-HA15が必要です。

Powerリンク、PowerPIMMリンクを使う

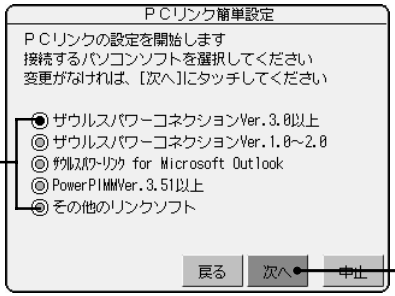
パソコンと接続してデータの送受信を行うために、この製品のPCリンクの設定を行います。この設定は1度行えば、次回から**すぐに接続**アイコンにタッチするだけで、同じ設定内容でパソコンと接続できます。

❶ホームインデックスキーに数回タッチし、ツールインデックス画面で PCリンク アイコンにタッチ



❷ 簡単設定 アイコンにタッチ

PCリンク画面

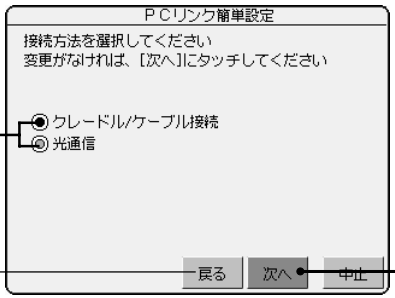


❸接続するパソコンソフトにタッチして選択

❹ 次へ にタッチ

パソコン連携キットCE-P10PKに付属のパソコン連携ソフト「ザウルスパワーコネクション」の場合は、「ザウルスパワーコネクションVer.3.0以上」を、PowerPIMMの場合は「PowerPIMM Ver.3.51以上」を選択します。

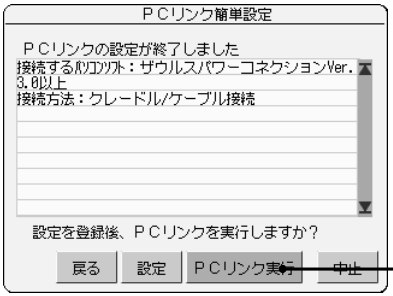
❺接続方法にタッチして選択



戻るにタッチすると、1つ前の画面に戻る

❻次へにタッチ

❼これ以降、画面のメッセージに従って選択する



❽パソコン側が実行可能な状態（☞次ページの「メモ」「●パソコン側での準備」）になっていることを確認し、PCリンク実行にタッチし、PCリンクを実行すぐに実行しないときは設定にタッチして設定内容を登録する

❾パソコンに接続されたら、ザウルスパワーコネクションやPowerPIMMなどの機能を実行

● **ザウルス認証情報について（PowerPIMMリンク使用時）**

ザウルスとパソコン間で通信を行うとき、特定のザウルスとのみ通信したい場合は、ザウルス側でザウルス認証情報を設定します。ザウルス認証情報の「名前」と「パスワード」は、パソコン側のソフトの設定と同じものを入力してください。パスワードは必ず半角英数字で指定してください。

パソコン側のソフトでザウルス認証情報設定を行わないときには、ザウルス側の「名前」の入力を省略できますが、実行時にパスワードの入力が要求されます。そのときは、任意の英数字をパスワードとして入力してください。

● **パスワードの入力手段について（PowerPIMMリンク使用時）**

パスワードの入力手段を「あらかじめ登録しておく」に設定すると、自動的にパスワードが入力され便利ですが、この製品を紛失したり他人に使われたとき、通信してデータを勝手に読まれる恐れがありますので、この製品の管理に十分ご注意ください。

入力手段を「接続毎に入力」に設定すると手順 ❽ の後、パスワードの入力が要求されます。

● **パソコン側での準備**

1 クレードルやケーブルを使うときは、この製品とパソコンを接続します。

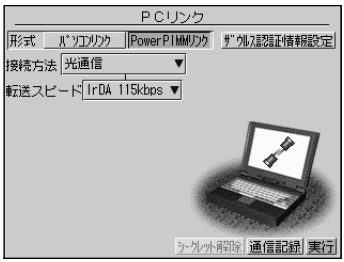
2 パソコンでザウルスパワーコネクションやPowerPIMMを起動し、この製品と通信できる状態にします。くわしくは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

● **2回目以降の接続は**

一度「PCリンク簡単設定」で接続のしかたを設定すると、2回目以降はPCリンク画面で**すぐに接続**アイコンにタッチして接続できます。PCリンク画面の下の部分には、現在設定されている内容が表示されます。

● **「ザウルスパワーコネクション」、「ザウルスパワーリンク for Microsoft Outlook」「PowerPIMM」以外のリンクソフトと通信するときは**

手順 ❸ で「その他のリンクソフト」を選び、**次へ**にタッチして、下記のPCリンク画面でPCリンクの形式や接続方法などを選択し、**実行**にタッチしてPCリンクを実行します。



通信時のご注意などについて

ご注意

- ザウルスパワーコネクション、PowerPIMMなどのパソコンソフトと通信する場合、ザウルス側のメモリーに空き容量が必要です。空き容量が少ないと、通信時間が長くなったり、通信できないことがあります。この製品に登録されているデータの内容によっては、メモリー使用量を50%以下に減らしていただく必要がある場合もあります。また、通信終了後も、メモリー使用量を確認し、必要に応じてメモリー整理を行ってください。
- パソコンにデータを送って活用する場合、それらのデータのタイトルにはWindows 95/Windows 98でファイル名として使用を禁止されている記号(, ¦ " < > \ / :)は使わないでください。

メモ

- 光通信するときは、光通信部をまっすぐに対向させ、相手機との距離を約30cm以下にしてご使用ください。
- PCリンク実行中は、ほかの機能に移ることはできません。
- **シンクロナイズ解除について**
  何回かシンクロナイズを実行し、以後シンクロナイズを実行する必要がなくなった場合には、「シンクロナイズ解除」を実行します。シンクロナイズ解除を行うにはPCリンク画面で、**機能**キーに続けて**順送り**キーにタッチします。
  ご注意：「シンクロナイズ解除」を実行した後、再びPowerPIMMとのシンクロナイズを行うと、この製品側およびPowerPIMM側ともデータが2重に登録されますので、ご注意ください。再びシンクロナイズを行う可能性があるときには、決して「シンクロナイズ解除」を実行しないでください。
  ※ザウルスパワーコネクションでシンクロナイズを実行したときも同様です。
- PowerPIMM、ザウルスパワーコネクションでは、シークレット機能が設定されていると、PCリンクを使用できません。**シークレット解除**にタッチしてシークレット機能を解除してください。
- **パソコン連携ソフト「ザウルスパワーコネクション」を使うときのシークレットの扱い**
  この製品にシークレット機能を設定している場合、あらかじめパソコン側の「ザウルスパワーコネクション」にシークレットのパスワードを登録しておくと、自動的にパスワードを照合し、シークレットを解除します。
- パソコン側のPowerPIMMのバージョンによっては、連携できる内容が異なります。

パソコンリンクを使う　パソコンリンク

パソコンリンクは、パソコンと接続してデータの送受信を行うための機能です。
この機能はパソコン側でコントロールされます。
この機能を使うには、パソコン、パソコン側のパソコンリンクソフト、接続用ケーブル(光通信を使わないとき)などが必要です。この製品のみでは使用できません。

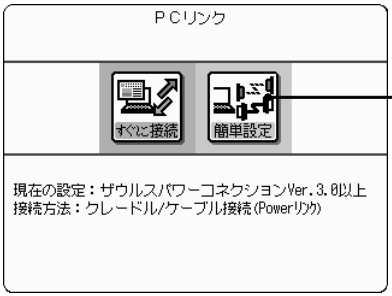
●通信方法

次の3つの通信方法があります。

- 光通信
- オプションポート16を使ったケーブル通信
- パソコン連携キット(CE-P10PK)に付属のクレードルを使った通信

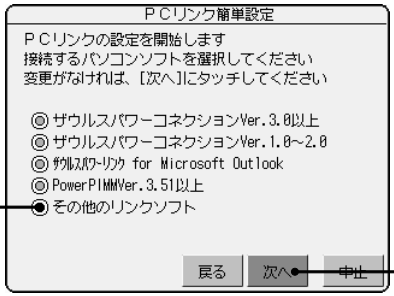
●設定のしかた

❶ ホームインデックスキーに数回タッチし、ツールインデックス画面で PCリンク アイコンにタッチ



❷ 簡単設定 アイコンにタッチ

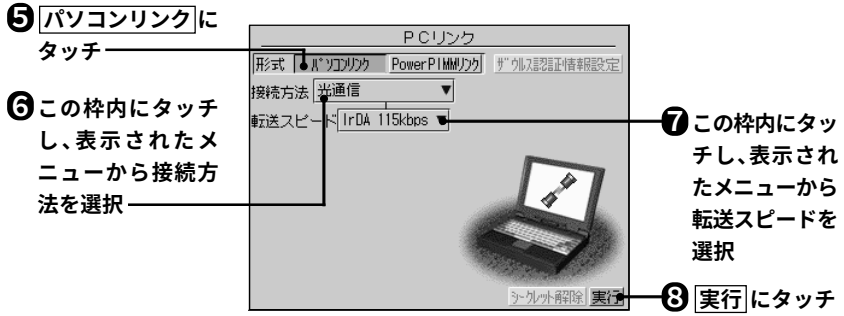
PCリンク画面



❸「その他のリンクソフト」を選択

❹ 次へ にタッチ

PCリンク簡単設定画面



PCリンク(パソコンリンク)画面

● パソコンリンクを実行中のままにしておくと、充電池が早く消耗します。また、自動節電機能も働きません。使用しないときや、通信が終了したときは、中断キーにタッチしてパソコンリンクの実行を終了させてください。

● パソコンリンクを中断するときには、**中断**キーにタッチします。

● シークレット機能が設定されているときは、パソコンリンクはできません。**一時解除後実行**にタッチしてシークレット機能を解除してください。

● 2回目以降の接続は

一度「PCリンク簡単設定」で接続のしかたを設定すると、2回目以降はPCリンク画面で**すぐに接続**アイコンにタッチして接続できます。PCリンク画面の下の部分には、現在設定されている内容が表示されます。

PC送信箱/PC受信箱を使う

別売のパソコン連携キット（CE-P10PK）に付属のザウルスパワーコネクションを使って、パソコンとデータのやり取りを手軽に行うことができます。送信するデータを各機能からPC送信箱に入れておき、まとめてパソコンに送信することができます。パソコンから受信したデータはPC受信箱に入り、一覧表示することができます。

メモ
- パソコン側の操作については、別売のパソコン連携キット（CE-P10PK）に同梱の取扱説明書やヘルプをご覧ください。

PC送信箱にデータを入れる

フォトメモリーの画像データなどをPC送信箱に入れて、まとめてパソコンに送ることができます。

ここでは、フォトメモリーで作成したデータをパソコンに送ります。

❶送信するフォトメモリーのデータを表示一覧画面ではデータにタッチして選択

❷画面左上の［フォトメモリー▼］にタッチし、表示されたメニューから［PC送信箱に入れる］にタッチ

❸［ホームインデックス］キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で［PC送信箱］アイコンにタッチ

送信するデータが表示される

❹パソコンとクレードルを接続し、この製品をのせて スタート ボタンを押す

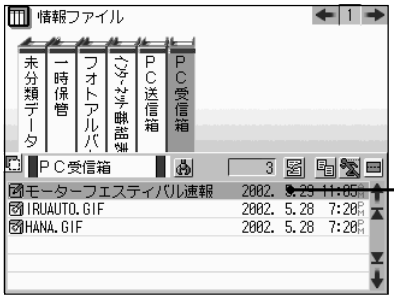
- PC送信箱に登録してパソコン側(ザウルスパワーコネクションのザウルス受信箱)に送ることができる機能については、別売のパソコン連携キット(CE-P10PK)に同梱の取扱説明書をご覧ください。

PC受信箱で受信したデータを確認する

パソコンからこの製品にデータをまとめて取り込むことができます。取り込んだデータはPC受信箱に入ります。

ここでは、受信したデータを確認します。

❶ ホームインデックス キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で PC受信箱 アイコンにタッチ



❷見たいデータに1回または2回タッチ

- PC受信箱に入ったデータは、除外したり、ほかの情報ファイルに移動するまでPC受信箱の一覧に表示されます。
  除外したり、ほかの情報ファイルに移動したりする方法は、「情報ファイル」の章をご覧ください。

データ交換

MI-P10どうし、またはほかのザウルスなどとデータを交換できます。データ交換すると、ほかのザウルスなどでこれまで使っていたアドレス帳やスケジュールなどのデータをこの製品で活用できるようになります。
データ交換は、光通信またはオプションポート16を使って行います。

通信方法、通信できる機種

MI-P10どうし、またはほかのザウルスなどとは、次のように通信できます。
ワープロと通信する場合は、416ページをご覧ください。

●通信方法

通信方法	説明
光通信 **(☞401ページ)**	1データまたは複数データの通信(操作メニューの 通信 タブの 光通信... を使う)
オプションポート16 **(☞414ページ)**	1データまたは複数データの通信(オプションポート変換アダプターCE-HA15と通信ケーブルCE-400Lで接続)

●通信できる機種(2000年6月現在)

分類名	機種	通信できる方法			
		光通信	参照ページ	オプションポート	参照ページ
ザウルス	MI-P10	○(*1)	401	○	414
	MI-C1シリーズ	○(*1)	401	○	414
	MI-EX1	○(*1)	401	○	414
	MI-P1/MI-P2シリーズ	○(*1)	401	○	414
	MI-610	○(*1)	401	○(*2)	414
	MI-506/MI-504	○(*1)	401	○(*2)	414
	MI-310	○(*1)	401	○	414
	MI-110M/MI-106M/MI-106	○(*1)	401	○	414
	MI-10	○(*1)	401	○(*2)	414
	PI-8000/PI-7000/PI-6600/PI-6500/PI-6000/PI-5000/PI-4500/PI-4000/PI-3000	○(*3)	401	○(*2)	414
液晶パッド	PA-Z900/Z800/Z700/Z500/Z330/Z300/X500	○(*4)	410	―	―
コミュニケーションパル	MT-300/MT-200シリーズ	○(*1)	401	―	―
液晶デジタルスチルカメラ	VE-LC2	○(*5)	411	―	―
デジタルカラープリンタ	VP-EC2	○(*5)	411	―	―

＊1：IrDA方式で光通信します。
＊2：オプションポート15で通信できます。
＊3：ASK方式で光通信できます。
＊4：ASK方式で光通信できます。 PA-Z900では、IrDA方式での光通信もできます。
＊5：IrTran-P方式で光通信できます。

- 参照ページの欄には、その操作の主な説明をしているページが記載されています。通信ケーブルの接続のしかた(☞414ページ)、およびデータの互換性について(☞このページ)も参照してください。

ご注意

● この製品は、ハイパー電子システム手帳、SC電子手帳とは通信できません。

メモ

● この製品はメモリー容量が大きく、多くのデータを記憶できます。このため、全データ通信など、多くのデータを通信するときは、時間が長くかかることがあります。

●データの互換性について

この製品とほかの機種では、データを利用する場合に次のような制約があります。

表示文字について

- この製品のデータを他機種で利用するときは、他機種がもっていない漢字などは正しく表示されません。
- 一部の記号は半角と全角が入れ替わることがあります。

データ項目および項目長について

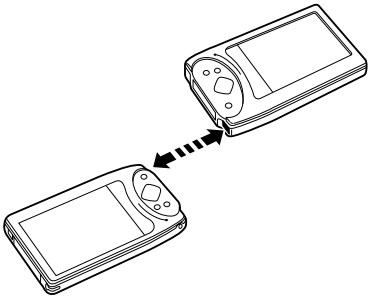
- データを送受信したとき、お互いにもっていない項目や機能のデータは通信できないか、または見ることができません。
- データを送信したとき、1データの長さがそれぞれの機種の最大の長さを超えた部分は切り捨てられます。この製品の各機能のデータの長さの制限については、「付録」の章、「仕様」をご覧ください。

光通信でほかのザウルスなどと通信する 光通信

光通信を使うと、ケーブルなどを使わず簡単に通信できます。

光通信のしかた

この製品の側面には、光通信を行うための光通信端子(送受光部)があります。光通信を行うときは、お互いの光通信端子がまっすぐに向き合うようにし、間に遮蔽物を置かないようにしてください。また、MI-P10どうしで光通信を行う場合は、お互いの距離を約30cm以下にしてください。MI-P10以外の機種との光通信では、相手の機種により通信可能距離が短くなる場合があります。



ご注意

- 光通信中は近くで携帯電話、PHS電話機などで通話をしないでください。通信エラーになる場合があります。離れた場所で通話するようにしてください。

メモ

- **光通信について**
  外光の影響、充電池の消耗状況、通信の距離、送信/受信する角度などによって、通信が不安定になり、通信できないことや、通信エラー、受信データの一部が変わったり抜けたりすることがあります。太陽光など強い光は避けてください。光通信した後は、受信データに不自然な文字や記号がないか確かめてください。
- ASK方式で光通信を行うときは、お互いの距離を約5〜30cmにしてください。うまく通信できないときは、少し離したり近づけたりしてください。
- 光通信端子にゴミやホコリなどがついて汚れると、通信ができにくくなります。汚れたときは、傷がつかないように柔らかい布でふき取ってください。

ザウルスどうしで光通信する

このページから406ページには、コミュニケーションパルMT-300/MT-200シリーズの説明も含まれます。

●送信側/受信側の操作

MI-P10どうしで光通信を使って、全アドレス帳データを送受信します。

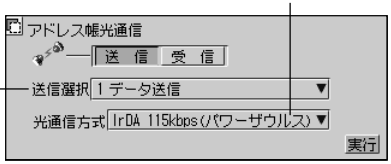
◆送信側の操作

1 **アドレス帳の詳細表示画面または一覧画面を表示します。**

2 **操作メニュー**キー、**通信**タブ、**光通信...**にタッチします(☞MI-P10以外の機種は次ページ)。

アドレス帳光通信画面が表示されます。

送信するデータの範囲を選ぶ(☞404ページ)
光通信方式を選ぶ(☞次ページ)



通信条件画面(送信側)

3 **送信**にタッチし、送信するデータの範囲と光通信方式(ここでは「IrDA 115kbps(パワーザウルス)」)を選びます。

受信側を受信待ちの状態にします。

8 **相手が受信待ちになったら、実行にタッチします。**

「送信中(IrDA 115kbps)」と表示され、送信されます(複数のデータを送信する場合は、送信状況を示すバーチャートも表示)。表示が消えると、送信が終わります。

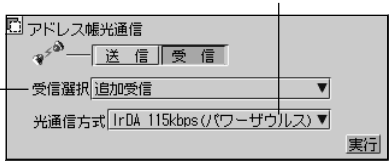
◆受信側の操作

4 **受信するデータの機能の画面にします。ここでは、アドレス帳データを受信するので、アドレス帳画面にします。**

5 **操作メニュー**キー、**通信**タブ、**光通信...**にタッチします(☞MI-P10以外の機種は次ページ)。

アドレス帳光通信画面が表示されます。

受信方法を選ぶ(☞404ページ)
光通信方式を選ぶ(☞次ページ)



通信条件画面(受信側)

6 **受信**にタッチし、受信方法と光通信方式(ここでは「IrDA 115kbps(パワーザウルス)」)を選びます。

7 **実行にタッチします。**

「受信中(IrDA 115kbps)」と表示され、受信待ちになります。「置換受信」(☞404ページ)の選択時は、その機能の全データ消去の確認メッセージが表示されます。**はい**にタッチすると、「受信中(IrDA 115kbps)」が表示されます。

送信側で送信を実行させます。

「受信中(IrDA 115kbps)」が消えると、受信が終わります(複数データの受信の場合、バーチャートが表示されます)。

●光通信方式の選択

MI-P10では、IrDAおよびASKのいずれかの光通信方式から選べます。光通信方式は、通信相手の機種に合わせて次のように設定します。

通信相手	通信相手側の光通信方式	MI-P10側の選択する光通信方式
MI-P10 MI-C1シリーズ MI-EX1 MI-P1/MI-P2シリーズ MI-310 MI-600シリーズ MI-500シリーズ MI-100シリーズ	IrDA 115kbps（パワーザウルス）	IrDA 115kbps（パワーザウルス）
MI-10	IrDA 115kbps（カラーザウルス）	
MT-300/MT-200シリーズ	IrDA 115kbps	
PIシリーズザウルス	新携帯情報ツール	ASK 9600bps（ザウルス）

●光通信画面の表示のしかた

MI-P10では、操作メニューの**通信**タブの**光通信...**を使って1データ、複数データを光通信します。

通信する相手機種の操作方法は、機種によって異なります。くわしくは、相手機種の取扱説明書をご覧ください。

通信相手	操作手順
MI-P10 MI-C1シリーズ MI-EX1	**操作メニュー**キー、**通信**タブ、**光通信...**にタッチ
MI-P1/MI-P2シリーズ	オリジナル画面で**光通信**アイコンにタッチ
MI-310	通信メニューによる光通信を使う
MI-600シリーズ MI-500シリーズ MI-100シリーズ MI-10	ザウルス通信による光通信を使う
MT-300/MT-200シリーズ	**メニュー**キー、**光通信**にタッチ
PIシリーズザウルス	オプション機能による光通信を使う

●送信するデータの範囲を選ぶ

- **1データ送信**
  … 表示中の1データ、一覧画面で選択した1データのみを送信します。
- **単位データ送信**(*)
  … 会社単位、月単位など、表示(指定)されている単位別にデータを送信します。
- **指定データ以降送信**(*)
  … 機能別に、表示中のデータ以降、または一覧画面で選択したデータ以降(記憶順、個人名または会社名の50音順など)のデータを送信します。
- **機能別全データ送信**(*)
  … 各機能別の全データを送信します。

＊：絞り込んだ状態では、絞り込まれたデータのみが送信されます。

● 通信を開始する機能の画面によって、光通信画面の「送信選択」の内容が変わります。また、選べない内容は薄い文字になります。
各機能で送信できるデータの範囲は、412ページを参照してください。

●受信方法(受信選択)

- **追加受信**
  … 本体内のデータを残したまま、受信データを追加します。
- **置換受信**
  … 受信しようとしている機能の本体メモリーまたはカードの全データ(シークレットデータを含む)を消して、受信データだけを記憶します。

●通信するときの注意

- **送信側**…シークレット機能が設定されていると、シークレットデータは送信されません。シークレット機能を解除して送信してください。
- **受信側**…シークレット機能が設定されているときに置換受信すると、シークレットデータも消去されます。
- **操作**……操作には十分注意してください。操作をまちがえると、大切なデータが消えてしまいます。
  - 送信側と受信側をまちがえない
  - 追加受信と置換受信をまちがえない

● **通信を中止するには**
中断キーにタッチします(通信が中止されるまで、タッチしたままにします)。
中止すると、受信側のデータが次のようになります。
- **追加受信のとき**……中止するまでに受信したデータを記憶する
- **置換受信のとき**……その機能の全データは消去される

ザウルスと通信するときの制限事項

ほかのザウルスと通信するときの、制限事項があります。

- MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズと通信するとき(☞このページ)
- PIシリーズザウルスと通信するとき(☞407ページ)

にまとめていますので、通信する相手機種の制限事項をご覧ください。

MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズと通信するときの制限

- お互いに持っていない機能や項目の内容は、通信できません。
- この製品のパーソナルデータベースIIは、MI-EX1のマイコンテンツとの間で送受信することができます。この製品のフォトメモリーは、MI-EX1のマイコンテンツ(電子アルバム)で受信することができます。
- MI-310などのパーソナルデータベースは、この製品のパーソナルデータベースIIで受信することができます。この製品のパーソナルデータベースII(電子アルバム以外)をMI-310などのパーソナルデータベースに送信するときは、通信条件画面で、光通信方式として、この製品では**IrDA 115kbps(パーソナルデータベース)**を選択します。受信側(MI-310など)では、光通信方式は**IrDA 115kbps(パワーザウルス)**を選択します。なお、MI-310などのパーソナルデータベースで設定できる項目数を越えているときやPNG形式の画像データを含むときなどは、MI-310などでは、一部受信されません。
- この製品のパーソナルデータベースIIの電子アルバムに入っているJPEGまたはGIF形式のデータを、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズのフォトメモリーや手書メモに送信することができます。ここで、通信条件画面で、光通信方式として、この製品では**IrDA 115kbps(フォトメモリー)**を選択します。受信側(MI-P1/MI-P2シリーズなど)では、光通信方式を**IrDA 115kbps(パワーザウルス)**を選択します。

●MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-310などの手書メモ/フォトメモリーは、この製品のフォトメモリーで受信することができます。
●この製品で別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)を使って撮影モードと画質を「ドキュメント」にして撮影したデータ(パーソナルデータベースⅡの電子アルバム)は、MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1でのみ受信できます。
●MI-10にアドレス帳のデータを送信したとき、MI-10では貼りつけられた顔写真を表示することはできません。また、MI-10では、パーソナルデータベースⅡ、インターネットライブラリのデータを受信できません。
●MI-10に、フォトメモリーデータを送信するときは、1データ送信でのみ送信できます。送信できるデータのサイズは、320×240ドット以下となります。
●この製品で作った16階調のフォトメモリーのデータをカラー表示機能をもつMI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-310、MI-600/MI-500シリーズ、MI-10で受信し、表示すると、階調付きのイラストなどは、階調の濃さにあったグレーで表示されます。
●MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-600/MI-500シリーズ、MI-310、MI-10のカラー情報(フォトメモリーのカラーの画像データや、インターネットライブラリのデータなど)を受信すると、この製品の内部ではカラー情報を保持します。このため、もとのザウルスに戻すと、カラーで表示されます。
●パーソナルデータベースⅡのフォームのみを送信することはできません。1件以上データを入力しておいてください。
●パーソナルデータベースⅡのデータを送信したときに、受信側にデータベース名もフォームもまったく同じものがあるときには、そのデータベースに追加受信されます。
●MI-500シリーズなど「未分類データ」ファイルがもともとない機種にこの製品から「未分類データ」ファイルをファイル単位で送信しても、受信側には「未分類データ」ファイルはできず、データだけが各機能で受信されます。受信側に「未分類データ」ファイルが作成されていてもそのファイルにはデータは入りません。またMI-500シリーズなどに「未分類データ」ファイルが作成されていて、そのファイルをファイル単位でこの製品に送信すると、この製品の「未分類データ」ファイルに入ります。
●送信側は情報ファイルのリスト画面からデータ送信し、受信側も情報ファイル画面で受信したときには、貼付データ(クイックメモ)は送信されません。貼付データも送りたい場合には、添付されているデータの機能(アドレス帳など)を選んで、その機能の画面よりデータを送信してください。
●インターネットライブラリのデータを送受信するときのデータサイズは256KB以下です。このサイズより大きいインターネットライブラリのデータをMI-P1/MI-P2シリーズ、MI-310などに送信することはできません(相手がMI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1のときは512KBまで可能)。

PIシリーズザウルスと通信するときの制限

- お互いに持っていない機能や項目の内容は、通信できません。
- 各機種の受信可能なデータサイズの制約により、そのサイズを超えるデータは通信できない場合があります。
- クイックメモが貼りつけられているデータをPIシリーズザウルスに送信すると、クイックメモの部分は受信されません。クイックメモをPIシリーズザウルスに送信したいときは、フォトメモリー機能でそのデータをPIシリーズザウルスに送信してください。
- **レポート&自由帳データをPIシリーズザウルスに送信すると**
  レポート&自由帳データをPIシリーズザウルスに送信すると、受信側ではレポートまたは自由帳の「一時保管」ファイルに登録されます。受信側で必要に応じてファイル名を変更してください。
- **PIシリーズザウルスのレポート&自由帳データを受信すると**
  送信元データのファイル名と同じ名前のファイルが情報ファイルに自動的に作成されます。レポート&自由帳の「一時保管」ファイルは、情報ファイルの「一時保管」ファイルに登録されます。
- PI-6000、PI-6500、PI-6600、PI-7000、PI-8000の自動和文/英文レターを受信すると、レターの最後に連続した数字が表示されます。これらの数字は、PI-6000、PI-6500、PI-6600、PI-7000、PI-8000に戻すと表示されなくなります。
- PI-3000とは、アクションリストの期限日は通信されません。
- PI-3000からデータを転送したときには、春分の日、秋分の日を確認し、日付が違う場合は変更してください。
- PIシリーズザウルスから送られてくるデータの中に「",」があったり、項目の最後が「"」になっていると、この製品では「異常なデータがあります」のエラーとなります。それらの文字列を削除したうえで、この製品に転送してください。
- 「゛」を含むデータをPIシリーズザウルスで受信すると、「゛」が2つ連続して書き込まれることがあります。
- **PIシリーズザウルスから手書メモのデータを取り込んだときは**
  PIシリーズザウルスの手書メモデータをこの製品に取り込み、この製品からパソコンに送信したり、メールに添付するときは、いったんフォトメモリーで **修正** に続けて **登録** にタッチし、登録し直しておいてください。また、タイトルが未設定の場合は、必ず詳細表示画面ではタイトル欄にタッチするか、一覧画面では **操作メニュー** キー、**編集** タブ、**タイトル入力...** にタッチしてタイトル、日付、時刻を入力しておいてください。そのまま送信すると、正しく受信できません。

●この製品のフォトメモリー機能はPIシリーズザウルスの手書メモ機能と通信できます。
- この製品のデータはPIシリーズザウルスの画面サイズに合わせ、上下左右が切り取られて表示されます。
- デジタルカメラカードで撮影した画像は送信できません。

●PIシリーズザウルスから転送された手書メモのデータをクイックメモで見ると、一部が表示されません。このようなときは、そのデータをフォトメモリー機能で**修正**にタッチしていったん修正画面にし、**登録**にタッチすると、表示することができるようになります(縮小表示では、網掛けや線などが表示されないことがあります)。

●情報ファイルのデータをPIシリーズザウルスに送信するときは、データ確認画面にして1件ずつデータを送信します。

●情報ファイルに分類しているデータをこの製品からPIシリーズザウルスに送信すると、受信側PIシリーズザウルスではデータのみ受信し情報ファイルは受信しません。

●この製品のアドレス帳機能はPIシリーズザウルスの電話帳、名刺管理機能と通信できます。

- PIシリーズザウルスの電話帳、名刺管理データをこの製品のアドレス帳で受信すると、「電話帳」、「名刺管理」というタイトルのファイルが作成され、自動的に各ファイルに登録されます。
- アドレス帳データをPIシリーズザウルスへ送信する場合、PIシリーズザウルス側を電話帳にして受信すると電話帳に入り、名刺管理にして受信すると名刺管理に入ります。
- 項目の内容はそれぞれ次のように通信されます。

送信側		受　信　側	
この製品	➜	PIシリーズザウルスの名刺管理	PIシリーズザウルスの電話帳
個人名	→	名前	同左
個人名のよみ	→	名前のよみ	同左
会社TEL	→	電話番号(番号の前に(会社)がつく)	同左
会社FAX	→	FAX番号(番号の前に(会社)がつく)	—(*)
自宅TEL	→	電話番号(番号の前に(自宅)がつく)	同左
自宅FAX	→	FAX番号(番号の前に(自宅)がつく)	—(*)
携帯電話	→	電話番号(番号の前に(携帯)がつく)	同左
ポケベル	→	電話番号(番号の前に(ﾎﾟｹﾍﾞﾙ)がつく)	同左
メールアドレス	→	備考(アドレスの前に(ID)がつく)	同左
会社名	→	会社名	—(*)
会社名のよみ	→	会社名のよみ	—(*)
所属	→	所属	—(*)
役職	→	役職	—(*)
会社郵便	→	郵便番号(番号の前に(会社)がつく)	同左
会社住所	→	住所(住所の前に(会社)がつく)	同左
自宅郵便	→	郵便番号(番号の前に(自宅)がつく)	同左
自宅住所	→	住所(住所の前に(自宅)がつく)	同左
誕生日	→	生年月日	誕生日
備考	→	備考	同左
チェックリスト	→	チェックリスト	同左
顔写真	→	ー(*)	ー(*)

＊：「ー」は受信されないことを示しています。

送信側		受信側
PIシリーズザウルスの名刺管理	➜	この製品
名前	→	個人名
名前のよみ	→	個人名のよみ
電話番号	→	会社TEL
FAX番号	→	会社FAX
会社名	→	会社名
会社名のよみ	→	会社名のよみ
所属	→	所属
役職	→	役職
郵便	→	会社郵便
住所	→	会社住所
生年月日	→	誕生日
備考	→	備考
チェックリスト	→	チェックリスト
交際録	→	備考((交際録)がつく)

送信側		受信側
PIシリーズザウルスの電話帳	➜	この製品
名前	→	個人名
名前のよみ	→	個人名のよみ
電話番号	→	自宅TEL
郵便番号	→	自宅郵便
住所	→	自宅住所
生年月日	→	誕生日
備考	→	備考
チェックリスト	→	チェックリスト

液晶パッドと光通信する

液晶パッドとはASK(9600bps)で通信します。MI-P10では各機能の光通信画面の「光通信方式」で「ASK 9600bps(ザウルス)」を選択します。液晶パッドの光通信画面では、「液晶ペンコム<ZAURUS>」を選びます。

- PA-Z900はIrDA方式でも通信できます。MI-P10では、各機能の光通信画面の「光通信方式」を「IrDA 115kbps(パワーザウルス)」に設定します。またPA-Z900側は、「パワーZAURUS/カラーZAURUS」を選びます。IrDA方式での通信について、くわしくはPA-Z900の取扱説明書をご覧ください。

●通信できるデータの種類

<液晶パッド>		<この製品>
スケジュール(期間スケジュールを除く)	⟷	スケジュール(日をまたがる予定(期間スケジュール)を除く)
約束リスト	⟷	アクションリスト
アドレス帳	⟷	アドレス帳

- お互いにもっていない機能や項目の内容は、通信できないか、または見ることができません。パーソナルデータベースII、インターネットライブラリのデータは通信できません。
- 各機種の受信可能なデータサイズの制約により、そのサイズを超えるデータは通信できない場合があります。
- **液晶パッドのアドレス帳との通信**
  液晶パッドのアドレス帳のデータを受信すると、「名刺管理」というタイトルの情報ファイルが作成され、自動的にそのファイルに登録されます。
  - 液晶パッドのアドレス帳データの「電話番号1」、「FAX番号1」、「郵便番号1」、「住所1」をこの製品で受信すると、「会社TEL」、「会社FAX」、「会社郵便」、「会社住所」に格納されます。「電話番号2」、「FAX番号2」、「郵便番号2」、「住所2」をこの製品で受信すると、「自宅TEL」、「自宅FAX」、「自宅郵便」、「自宅住所」に格納されます。
  - この製品のアドレス帳のデータを液晶パッドに送信すると、電話番号の項目のように自宅と会社の両方があるものについては、(自宅)や(会社)がついて受信されます。
  - この製品のアドレス帳に貼りつけられた顔写真は、液晶パッドでは受信されません。
- 通信する範囲と開始画面については、412ページを参照してください。

●通信のしかた

液晶パッドとのデータ交換は、この製品どうしの光通信と同じように光通信できます(☞401ページ)。液晶パッド側は、オプション機能による光通信を使います。液晶パッドの取扱説明書をご覧のうえ、通信操作を行ってください。

IrTran-P方式で光通信する

この製品では、画像データを赤外線で送受信するためのIrTran-P方式による光通信が可能です。この製品とIrTran-P方式に対応した液晶デジタルスチルカメラVE-LC2などとの間で画像データを送受信したり、デジタルカラープリンタVP-EC2などで印字することができます。

IrTran-P方式による光通信を行うには、フォトメモリーまたはパーソナルデータベースIIの電子アルバムのデータの一覧画面から、**操作メニュー**キー、**通信**タブ、**光通信...**にタッチして、光通信画面を表示し、「光通信方式」で、**IrTran-P方式**を選んで実行します。

なお、IrTran-P方式で送受信を行うには、フォトメモリーや電子アルバムのデータを1件以上登録しておいてください。

※ IrTran-P方式による光通信では、画像データ(JPEG形式)以外のデータを扱うことはできません。

※ VP-EC2を使って印字できる画像サイズは640×480ドット、または320×240ドット、320×200ドットです。

※ IrTran-P方式による光通信では、1件ずつデータを送受信してください。

ご注意

● IrTran-P方式では640×480ドットより大きいサイズのJPEG形式のデータは送信できません。また、PNG形式のデータは送信できません。

通信する範囲と開始画面

送信を始めるときの画面によって、送信できるデータの範囲が違います。
次の表を参照して、データを表示・指定してください。

機能	送信の範囲	通信できる開始画面
スケジュール	１データ送信 (記念日データ、期間スケジュールデータ含む)	詳細表示画面、１日表示画面
	全スケジュールデータ送信 全通常スケジュールデータ送信 全期間スケジュールデータ送信 年間単位通常スケジュールデータ送信 月間単位通常スケジュールデータ送信 週間単位通常スケジュールデータ送信 １日単位通常スケジュールデータ送信	カレンダーを含む各画面
記念日	１データ送信 全記念日送信 全(月/日)データ送信 全(月/週/曜)データ送信	記念日の詳細表示画面 (スケジュールの画面から**操作メニュー**キー、**操作**タブ、**記念日設定...**にタッチして入ります)
アドレス帳	１データ送信	会社一覧以外の各画面
	全アドレス帳データ送信 会社単位送信	アドレス帳の各画面
	指定データ以降送信	個人名順…… 電話帳(自宅)一覧画面、詳細表示画面(電話帳(自宅)一覧画面からのデータ表示)
		会社名順…… 電話帳(会社)一覧画面、詳細表示画面(電話帳(会社)一覧画面からのデータ表示)
		会社別個人名順…… 会社別個人一覧画面、詳細表示画面(会社別個人一覧画面からのデータ表示)
フォトメモリー	１データ送信 全フォトメモリーデータ送信 指定データ以降送信	フォトメモリーの各画面
レポート&自由帳	１データ送信 １データ送信(ワープロ文書通信)(*) 全レポート&自由帳データ送信 指定データ以降送信 (＊：光通信時のみ)	レポート&自由帳の各画面
アクションリスト	１データ送信 全アクションリストデータ送信 全未処理データ送信 全処理済データ送信 指定データ以降送信	アクションリストの各画面

機能	送信の範囲	通信できる開始画面
情報ファイル	１データ送信 情報ファイル単位送信	情報ファイルの各リスト画面
パーソナルデータベースII	１データ送信 １データベース送信	パーソナルデータベースIIの各画面 （複数選択可の項目一覧画面を除く）
	選択データ送信	複数選択可の項目一覧画面
インターネットライブラリ	１データ送信 全Internetライブラリ送信 指定データ以降送信	インターネットライブラリの一覧画面

（注）下記の機能は、MI-P10以外に表欄にある機種間でのみ、データの送受信ができます。

情報ファイル	MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-P1/MI-P2シリーズ、 MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10
インターネットライブラリ	MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、 MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、 MT-300/MT-200シリーズ
パーソナルデータベースII	MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、 MI-600/MI-100シリーズ、MI-310※

※：MI-EX1とはマイコンテンツデータとデータ送受信します。
※：MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-100シリーズ、MI-310とはパーソナルデータベースとデータ送受信します。

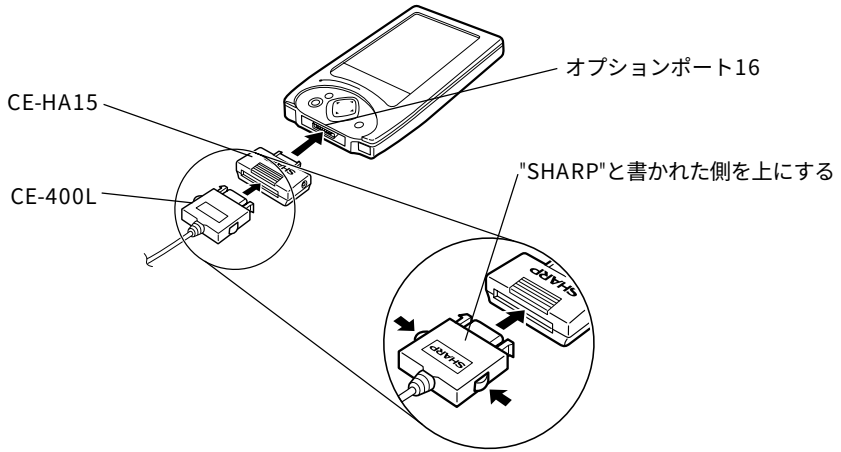
- 各機能とも新規作成画面や修正画面を除きます。
- 絞り込み状態（**絞り込み** **解除** が表示されている）では、絞り込まれたデータだけが送信されます。
- シークレット機能が設定されていると、シークレットデータは送信されません。送信したいときは、シークレット機能を解除して通信してください（☞369ページ）。
- スケジュールの1データ送信でPIシリーズザウルスに送信できるのは、通常の予定（通常スケジュール）のみです。記念日データ、アクションリストのデータは、それぞれの画面から送信してください。
- 次の範囲は、受信側がMI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズの場合にのみ選択できます。
  「全スケジュールデータ送信」、「全期間スケジュールデータ送信」、「全記念日送信」

ケーブルでほかのザウルスと通信する

MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、PIシリーズザウルスとの間では、オプションポート16を使って通信ができます。通信するときは、オプションポート変換アダプターCE-HA15が必要です。

接続のしかた

両方とも電源を切った後、通信ケーブルCE-400Lを接続してください。MI-P10側のオプションポート16には、オプションポート変換アダプターCE-HA15を装着する必要があります。相手側がオプションポート16を使用する場合は、相手側にもオプションポート変換アダプターCE-HA15が必要です。
通信するときは、お互いの通信条件を合わせてから通信してください(☞次項)。



オプションポート16の条件を設定する

オプションポート16を使って通信するときは、送信側と受信側の通信条件を合わせておく必要があります。MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-310、MI-100シリーズ以外の機種では、オプションポート15の通信条件を設定します。
通信条件が違うと、「通信エラー...」などと表示され、通信できないことがあります。

オプションポート16条件設定画面

1 **詳細表示画面や一覧画面で、操作メニューキー、通信タブ、クレードル/ケーブル通信...にタッチします。**

2 **通信条件にタッチします。**
オプションポート16条件設定画面が表示されます。

3 **通信条件を設定し、設定にタッチします。**
条件が設定されます。

●MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、PIシリーズザウルスとの通信条件
- **データ長** ……8ビット
- **Xパラメータ** …有

通信のしかた

オプションポート16を使ってこの製品とほかのザウルスが通信する方法は、402ページの「●送信側/受信側の操作」と同様の方法で行えます。
通信操作は、402ページの手順 **2**と **5**で、**光通信...**の代わりに**クレードル/ケーブル通信...**にタッチし、オプションポート16通信画面を表示します。また、通信方式(接続機種)は、下記を参照して選択してください。
また、通信時の制限事項なども、光通信と同様です。

●通信方式(接続機種)の選択

- **MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10と通信する場合**
  402ページの手順 **3**と **6**で、送信側/受信側どちらも「パワーザウルス」を選択します(MI-10側では、「カラーザウルス」)。
- **PIシリーズザウルスと通信する場合**
  402ページの手順 **3**と **6**で、MI-P10側は「ザウルス」を選択し、PIシリーズザウルス側は「新携帯情報ツール」を選択します。

「書院」と通信する

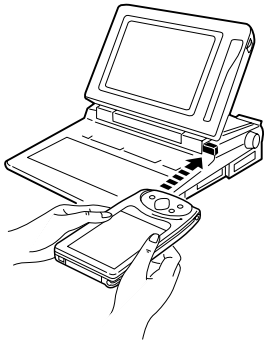
ワープロ通信

当社の日本語ワードプロセッサ「書院」との通信では、レポート&自由帳やフォトメモリーのデータなどを、WD-VP1などに光通信で送信することができます。

レポート&自由帳やフォトメモリーのデータを転送する

この製品のレポート&自由帳やフォトメモリーのJPEGまたはGIF形式のデータを、書院MR-3/2、WD-VP3/VP2/VP1/EX1/990EX/M900/M800/M700、WM-C100などに光通信で送信することができます(一方向のみ)。操作方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください(「パワーザウルス・カラーザウルス」や「カラーザウルス」を「MI-P10」に読み替えてください)。
また、IrTran-P方式でMR-3/2、WD-VP3/VP2/VP1/EX1/990EX/M900/M800、WM-C100に画像データを送信する場合は、それぞれの取扱説明書および本書411ページの「IrTran-P方式で光通信する」を参照してください。
なお、レポート&自由帳のデータを送信するときはレポート&自由帳光通信画面の「送信選択」の項目で「1データ送信(ワープロ文書通信)」を、「光通信方式」の項目で「ASK9600bps(ザウルス)」を選択します。

なお、光通信部は、まっすぐ対向させて約5～30cmの距離でご使用ください。



メモ

- 光通信で書院にデータを送る場合、書院側に認識番号(コードレステンキー認識番号)が設定されていると通信できません。
  書院の取扱説明書の「コードレステンキーの使いかた」を参照して、コードレステンキー認識番号を使用しないように設定してください。
- 書院MR-3/2、WD-VP3/VP2/VP1/EX1/990EX/M900/M800/M700、WM-C100などとの間では、アドレス帳のデータも通信できます(ASKまたはIrDA)。
- WM-C100との間では、スケジュールのデータも通信できます(ASK、IrDA)。
  ただし、WM-C100の住所録をMI-P10で受信するとWM-C100の自宅宛名の住所は会社住所に入ります。

● **転送できる内容**

転送できる内容		可否
項目名などを含むデータ		○
文字サイズ	横倍角、4倍角	○
	縦倍角	×
下線（アンダーライン）		○

● ワープロ通信でデータを送るとき、書院用にデータを変換します。
このとき、変換用の作業エリアよりも大きな容量のデータを送信すると、次のメッセージを表示してデータの一部が送られない場合があります。

メッセージ	送られないデータ
貼り込まれているフォトメモリーデータは送信できませんでした	フォトメモリーデータだけが送られません 複数のフォトメモリーが貼り付けられていても、1件も送られません
文字データだけを送信できました	フォトメモリーデータが送られません
文字データを途中までしか送信できませんでした	フォトメモリーデータおよび文字データの一部が送られませんでした

エラーについて

エラーメッセージ	主な原因
通信エラーが発生しました	●通信が中断された ●通信ケーブルが外れている ●通信条件が異なる ●光通信で光がさえぎられた ●外来光や外来ノイズなどにより、通信データに異常が生じた
データの種類が異なっているため受信できません	●アクションリストデータをスケジュール機能で受信しようとしたときなど、送信した機能と受信する機能が違っている
本体のメモリーが不足しています **カードのメモリーが不足しています**	●受信データが多く、メモリーがいっぱいになった 不要なデータを削除し、メモリー整理を行ってから通信してください
受信データの中に異常なデータがありこれ以上受信できません	●この製品では扱えない項目やデータが送られてきたときなど、受信したデータが正しくない
シークレットがかかっています **シークレットを解除して送信しますか？…**	●シークレット機能が設定されている シークレットデータを含めて通信したいときには、シークレット機能を解除してから行ってください

名刺交換

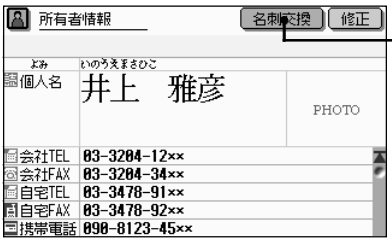
名刺交換とは、ほかのザウルスとお互いの所有者情報を光通信で送受信することです。名刺交換をすると、相手から受信した所有者情報が、アドレス帳のデータとして登録され、メール送信のメール(宛先選択)画面で、宛先を指定できます。名刺交換できるのは、MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、PIシリーズザウルス、MT-300/MT-200シリーズです。

名刺交換をするには、あらかじめ互いに所有者情報を登録する必要があります。所有者情報の登録のしかたは、「所有者情報」の章を参照してください。光通信のしかたは、401ページを参照してください。

名刺交換する

名刺交換

❶ ホームインデックスキーに数回タッチし、ツールインデックス画面で 名刺交換 アイコンにタッチ

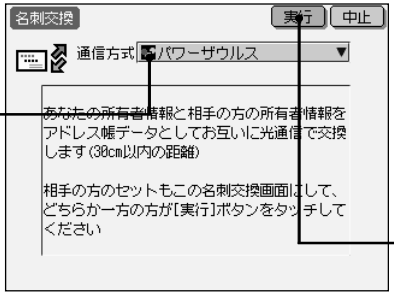


❷ 名刺交換 にタッチ

所有者情報画面

❸ この枠内にタッチし、表示されたメニューから相手の機種を選択(☞次ページの「メモ」)

❹ 名刺交換する相手も同様の操作を行い、名刺交換画面が表示されていることを確認



❺ どちらか一方の 実行 にタッチ

名刺交換画面

❻「名刺交換中!」と表示され、お互いの所有者情報が送受信される
名刺交換が終わると、受信データ確認画面が表示される
確認にタッチすると、お互いの所有者情報がアドレス帳(PI
シリーズザウルスでは名刺管理)に登録される

● **実際に通信する相手と通信方式について**

手順 ❸ で実際に通信する相手と「通信方式」で選ぶ機種の関係は次のようになります。

通信する相手	通信方式
MI-P10、MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310	パワーザウルス
MT-300/MT-200シリーズ	
MI-10	カラーザウルス
PIシリーズザウルス	ザウルス

※この製品の名刺交換の通信方式は「パワーザウルス」と同じです。

● 相手の所有者情報はアドレス帳のデータとして登録されます。貼りつけられているフォトメモリーはクイックメモとして扱われます。
この製品の所有者情報は相手のアドレス帳(PIシリーズザウルスの場合は名刺管理)のデータとして登録されます。MI-10にはこの製品の顔写真は転送されません。また、PIシリーズザウルスには、PIシリーズザウルスにない項目は転送されません。

● 名刺交換の実行を中止するときは、中断キーにタッチします。

パソコンデータの読み込み（インポート）と送り出し（エクスポート）

ホームインデックス1画面やツールインデックス画面などに[パソコンデータ]アイコンはありませんので、追加してから使います。ここでは、ツールインデックス画面に[パソコンデータ]アイコンを追加したものとして説明します。アイコンの追加方法は「基本操作」の章、「インデックス画面を編集する」をご覧ください。

インターネットなどから画像データなどを読み込んで、この製品で使えるようにします。また、フォトメモリーなどのデータをパソコン形式データに変換してパソコンで使えるようにします。

※ インターネットライブラリのデータをパソコンとやり取りするには、パソコン連携ソフト「ザウルスパワーコネクション」（パソコン連携キットCE-P10PKに付属）を使用します。「パソコンデータ」を経由してのやり取りはできません。

読み込み（インポート）と送り出し（エクスポート）について

データのやり取り

読み込み（インポート）や送り出し（エクスポート）を使ってインターネットなどから取り込んだ画像データをこの製品で使えるようにしたり、この製品で作成したフォトメモリーなどのデータをパソコンで使えるようにします。

- 読み込み（インポート）　……「パソコンデータ」に入っているパソコン形式のデータを変換し、フォトメモリーなどに読み込む
- 送り出し（エクスポート）　… フォトメモリーなどの各データをパソコン用の形式に変換し、「パソコンデータ」に送り出す

※ 本体メモリー内のデータは本体内の「パソコンデータ」に、コンパクトフラッシュメモリーカード内のデータはカード内の「パソコンデータ」に送り出されます。読み込み時も同じです。

扱えるデータ形式

読み込み（インポート）、送り出し（エクスポート）で扱えるデータ形式は、次のようになります。

- JPEG形式/PNG形式（フルカラーが表示できる画像データの形式）*1
- CSV形式（コンマで区切られたデータ形式。ただしパーソナルデータベースⅡに準拠したデータ構成を持つもの）
- GIF形式（256色まで表示できる画像データの形式）*1

＊1：この製品での表示は、白黒16階調になります。

● 画像データを送り出すとき、フォトメモリーやパーソナルデータベースⅡで手書きしたデータはGIF形式に変換されます。別売のデジタルカメラカード(CE-AG06)で画質を「ドキュメント」モードにして撮影した写真はPNG形式のデータに、それ以外のモードで撮影した写真はJPEG形式のデータに変換されます。

取り込んだデータを読み込む(インポート)

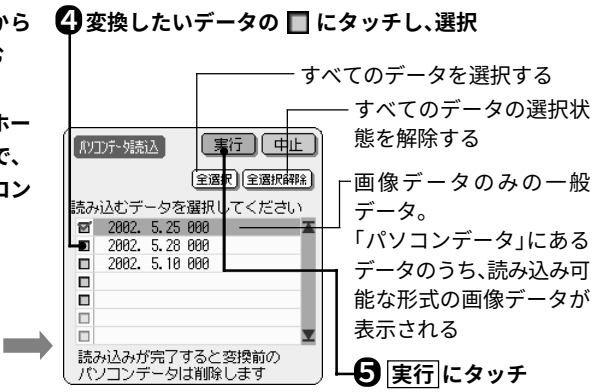
パソコンで使われている形式のデータを読み込みます。

ここでは、インターネットなどから、この製品の「パソコンデータ」に取り込んだ画像データを、フォトメモリーのデータとして読み込みます。

❶インターネットなどから画像データを取り込む

❷ホームインデックスキーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で、フォトメモリーアイコンにタッチ

❸操作メニューキー、通信タブ、読込/送出、PCデータを読込...にタッチ



パソコンデータ読込画面

ご注意

● パソコン形式データの読み込みを実行すると、「パソコンデータ」内の元データは削除されます。

● パソコンデータ読込画面では、各データは送られてきたデータのもとのタイトル(ファイル名)で表示されます。

● **規定外の形式のデータを読み込むと**
万一、規定外の形式のデータが「パソコンデータ」に入ったときや、データの読み込み途中で異常終了してしまったときは、読み込み(インポート)時に、変換ができない旨のエラーメッセージが表示されます。ファイル名を確かめ、**確認**にタッチします(読み込み(インポート)は中断します)。この後、変換できなかったデータを削除してください。

● インターネットに接続し、ホームページの表示画面から保存した画像データは、「パソコンデータ」に送られます。フォトメモリーのデータとして読み込むには、上記の「取り込んだデータを読み込む(インポート)」操作を行い、データを変換してください。

● パソコンからこの製品に読み込んで、フォトメモリーのデータとして登録できる画像データの最大サイズは約126KBです。

● パソコンデータに入っている音声データは、読み込めません。

● **パーソナルデータベースⅡで画像データを読み込むには**

電子アルバムフォームのデータとして読み込みます。

1 **ホームインデックス**キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で**データベースⅡ**アイコンにタッチする

2 電子アルバムの画面を表示し、**操作メニュー**キー、**通信**タブ、**読込/送出**、**画像PCデータを読込...**にタッチする

3 パソコンデータ読込画面で変換するデータを選択する

4 **実行**にタッチする

電子アルバム(パーソナルデータベースⅡ)に登録できる画像データの最大サイズは、約500KBです。

● **パーソナルデータベースⅡでCSV形式のデータを読み込むには**

CSV形式のデータを読み込む場合は、読み込む先のパーソナルデータベースⅡの画面を表示し、**操作メニュー**キー、**通信**タブ、**読込/送出**、**PCデータを読込...**にタッチします。パソコンデータ読込画面でデータを選択し、**実行**にタッチします。

● **添付(リンク)されているデータの読み込み(インポート)**

画像データなどが添付(リンク)されているデータを読み込むときは、元データを読み込んだ後、フォトメモリーで添付(リンク)されているデータを個別に読み込んでください。添付(リンク)されているすべてのデータを読み込まないと、添付(リンク)されているデータを表示させることができません。

作成したデータを送り出す(エクスポート)

パソコンで使用できるデータに変換します。

ここでは、複数件の画像データを変換して「パソコンデータ」に送り出します。

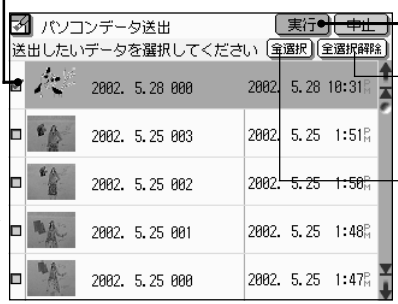
● パソコン形式データに変換すると、変換結果の格納のために、通常、元データと同じサイズ以上の本体メモリー領域を必要とします。そのため、変換時にはできるだけ多くの本体メモリーの空きを作っておいてください。

●フォトメモリーのデータを送り出す

❶ **ホームインデックス**キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で**フォトメモリー**アイコンにタッチ

❷ **操作メニュー**キー**通信**タブ、**読込/送出**、**PCデータに送出...**にタッチ

❸ **変換したいデータの□にタッチし、選択**



❹ **実行**にタッチ

すべてのデータの選択状態を解除する

すべてのデータを選択する

パソコンデータ送出画面

❺ **確認のメッセージで確認にタッチ**

● **貼りつけされているデータの送り出し(エクスポート)**
クイックメモとして貼りつけられているデータは、元データを送り出し(エクスポート)た後、フォトメモリーで貼りつけられているデータを個別に送り出してください。

● **フォトメモリーのデータを送り出すときのご注意**
フォトメモリーのパソコンデータ送出画面で、パソコンデータに変換したい画像データを選択するために画面をスクロールするときには、▲▼を使うか、スクロールボール(●)を操作してスクロールしてください。スクロールアイコン▲▼を使用した後に、画像データを選択すると、パソコンデータへの変換の実行時に正しく選択されないことがあります。

●パーソナルデータベースIIで送り出す

❶ **ホームインデックス**キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で**データベースII**アイコンにタッチ

❷ 送り出したいデータのあるパーソナルデータベースを表示

❸ **操作メニュー**キー、**操作**タブ、**複数選択**、**複数選択可**にタッチ

❹ 変換したいデータの□にタッチし、選択

❺ **操作メニュー**キー、**通信**タブ、**読込/送出**、**PCデータに送出...**にタッチ

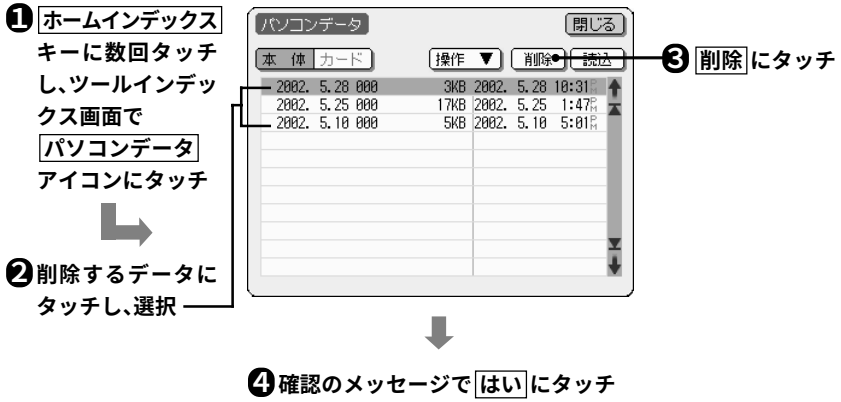
❻ 確認のメッセージで**はい**にタッチ

● **「おいしいお店」などのパーソナルデータベースIIに入っている画像データを送り出す場合**
送り出したいパーソナルデータベースIIを選び、上記の手順❷～❹と同様に行い、手順❺で**操作メニュー**キー、**通信**タブ、**読込/送出**、**画像をPCデータに送出...**にタッチします。この場合、送り出される画像データは、選択したデータに貼り込まれている画像データすべてです。1件のデータに2つの画像が貼り込まれているときは、2つの画像が送り出されます。画像一覧画面で送り出しを行ったときも、選択されているデータの中の画像がすべて送り出されます。詳細表示(画像なし)画面での送り出しは、表示しているデータの中の画像すべてが送り出されます。詳細表示(画像あり)画面での送り出しは、表示している画像のみが送り出されます。詳細表示画面に貼り込まれている画像データを表示して選択し、**操作メニュー**キー、**通信**タブ、**読込/送出**、**画像をPCデータに送出...**にタッチすると、表示中の画像データは「パソコンデータ」に送り出されます。

● **電子アルバムのデータを送り出す場合**
画像一覧画面では送り出したいデータを選択し、画像表示画面では送り出したいデータを表示し、**操作メニュー**キー、**通信**タブ、**読込/送出**、**画像をPCデータに送出...**にタッチします。
複数のデータをまとめて送り出したいときは、前ページの手順❷で電子アルバムの画像一覧画面を表示して、**画像一覧**にタッチし、表示されたメニューから**項目一覧**を選択します。その後、手順❸、❹を行い、手順❺で**操作メニュー**キー、**通信**タブ、**読込/送出**、**画像をPCデータに送出...**にタッチします。
● パーソナルデータベースⅡのデータを**PCデータに送出...**で送り出すと、CSV形式のデータとして送り出されます。

パソコンデータ画面で受信・削除する パソコンデータ

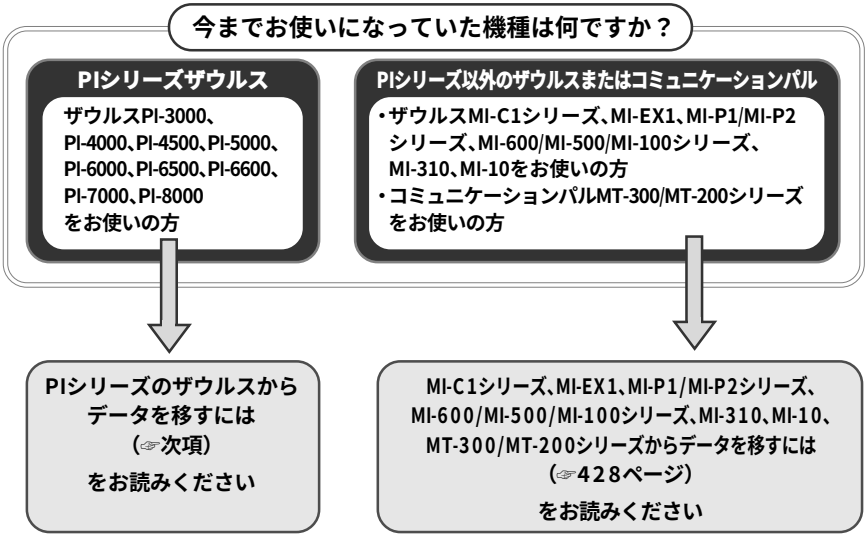
この機能はツールインデックス画面に追加してから使います。
ツールインデックス画面への追加は、48ページをご覧ください。
MOREソフトやパソコン形式データを受信したり、読み込み(インポート)、送り出し(エクスポート)を行ったデータを削除するときは、パソコンデータ画面で行います。



● **パソコンからデータを読み込むには**
パソコンデータ画面で**読込**にタッチした後、パソコン側で「ザウルスコネクション」などを使って送信します。
● **操作▼**は、将来の機能拡張のためのボタンです。
● パソコンデータにはMOREソフトで使用するデータも入っています。このデータを削除すると、MOREソフトが起動しなくなりますので、パソコンデータの画面からデータを削除するときは、フォトメモリーなどで送り出した(エクスポートした)データ以外は不用意に削除しないでください。
たとえば、「MPCZHELP.TXT」を削除すると、「ブンコビューア」MOREソフトの操作説明が読めなくなります。

買い替えのお客様へ

今までほかのザウルスやコミュニケーションパルをお使いになっていたお客様は、すでに入力されているデータをこの製品に移して使用することができます。データを移す方法は機種によって異なります。該当する機種の説明をご覧になってデータを移してください。



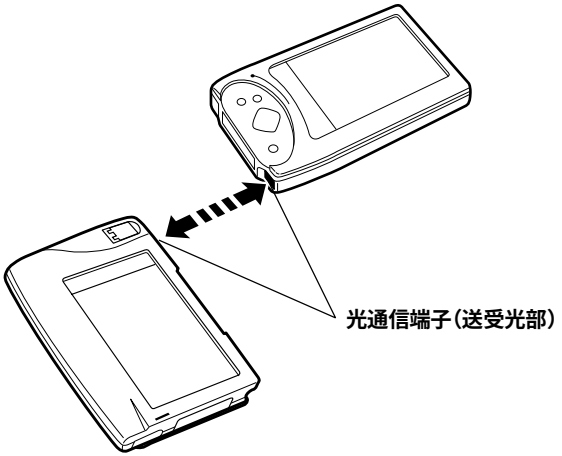
PIシリーズのザウルスからデータを移すには

PIシリーズのザウルス（PI-3000、PI-4000、PI-4500、PI-5000、PI-6000、PI-6500、PI-6600、PI-7000、PI-8000）からMI-P10にデータを移すには、機能別全データ通信を使用します。追加受信機能は使用できません。
通信手段としては、光通信あるいはオプションポート16を使ったケーブル通信を使用します。ここでは光通信機能を使った例で説明します。それぞれの通信のしかたの詳細は、PIシリーズの取扱説明書『機能編』、および本書の「データ交換」の章（☞399ページ）を参照してください。

例 以下では、PIシリーズザウルスの電話帳1全データを、光通信でMI-P10に移す例を説明します。ほかの機能のデータについても同様にしてPIシリーズザウルスからMI-P10に転送することができます。

1 双方の光通信端子（送受光部）がまっすぐに向き合うように置きます。光通信端子間の距離は、5〜30cmにしてください。双方の光通信端子の間を遮断するものを置かないようにします（☞401ページ）。

また、連続して通信を行いますので、消費電力が多くなります。PIシリーズザウルスでは新しい乾電池に取り替え、MI-P10では充電池をフルに充電しておくか、ACアダプターの使用をおすすめします。



●受信側（MI-P10）の操作

2 ホームインデックス キーに数回タッチし、ホームインデックス1画面で アドレス帳 アイコンにタッチしてアドレス帳画面を表示します。

3 操作メニュー キー、通信 タブ、光通信... にタッチします。

4 「光通信方式」が「ASK 9600bps（ザウルス）」になっていることを確認し、受信 にタッチします。「受信選択」の項目は 追加受信 を選びます。

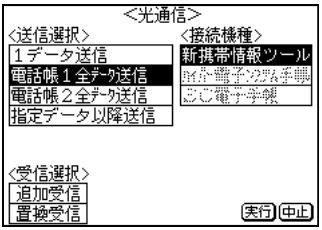
※「受信選択」で 置換受信 を選んで通信を実行すると、MI-P10にあったアドレス帳のデータは消えますので、ご注意ください。

5 実行 にタッチします。

●送信側（PIシリーズザウルス）の操作

6 **電話帳**にタッチして電話帳画面を表示します。

7 **メニュー**に3回タッチし、メニューの「オプション」、「光通信」にタッチします。



8 **＜送信選択＞で「電話帳1全データ送信」を、＜接続機種＞で「新携帯情報ツール」を選択します。**

9 **実行**にタッチします。

送信側では「送信中!」が表示され、受信側では「受信中（ASK 9600bps）」が表示されて、電話帳1のデータが転送されます。

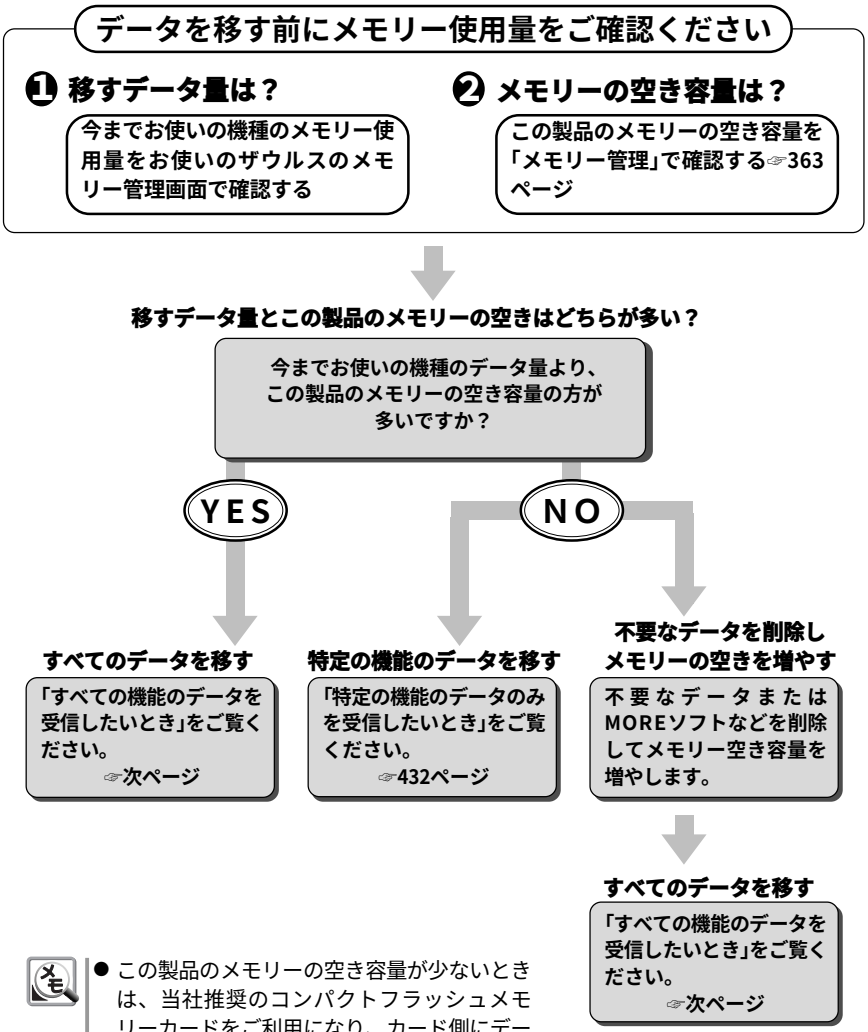
終了すると、双方とも「終了しました」のメッセージが表示されて、アドレス帳画面になります。

- PIシリーズザウルスの「電話帳」および「名刺管理」のデータをMI-P10が受信すると、双方のデータはアドレス帳に格納されます。また同時に、「電話帳」および「名刺管理」というタイトルの情報ファイルが作成されます。
  PIシリーズの電話帳1／2のデータ内容そのままに、「電話帳1」、「電話帳2」のタイトルの情報ファイルを作成するには、次のようにします。
  1 PIシリーズの「電話帳1」のデータをMI-P10に移します。
    情報ファイルに「電話帳」ファイルができます。
  2 この「電話帳」ファイルのタイトルを「電話帳1」に変更します（☞336ページ）。
  3 PIシリーズの「電話帳2」のデータをMI-P10に移します。
    情報ファイルに「電話帳」ファイルができます。
  4 この「電話帳」ファイルのタイトルを「電話帳2」に変更します。
- PIシリーズザウルスの「レポート&自由帳」のデータをMI-P10が受信すると、PIシリーズの「ファイル名」は、MI-P10では、情報ファイルのファイル名に置き換わります（全角8文字まで）。
  なお、情報ファイルに生成できるファイル数は234個までです（☞327ページ）。
  PIシリーズ側にファイルが多数あるときには、不要なファイルを削除するなどして、情報ファイルのファイル数が234個を超えないようにしてください。
- データ転送中に**中断**キーにタッチして通信を中断したときには、それまでMI-P10で受信したデータは正しくない可能性があります。再度データ転送を実行してください。

MI-C1シリーズ、MI-EX1、MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-310、MI-10、MT-300/MT-200シリーズからデータを移すには

パワーザウルスなどPIシリーズ以外のザウルスやコミュニケーションパルからMI-P10にデータを移すには、追加受信機能を使用します。
通信手段としては、光通信あるいはオプションポート16を使ったケーブル通信を使用します。

ここでは、光通信機能を使った方法を説明します。

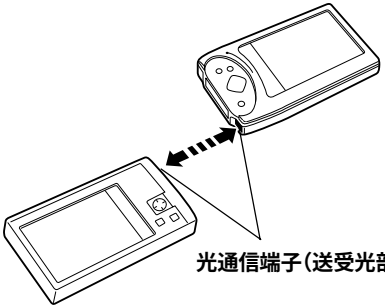


● この製品のメモリーの空き容量が少ないときは、当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードをご利用になり、カード側にデータを移すこともできます。

すべての機能のデータを受信したいとき

1 MI-P10のメモリーの空き容量が、送信側のメモリー使用量より多いことを、双方のメモリー管理画面で確信します。

2 双方の光通信端子(送受光部)がまっすぐ向き合うように置きます。光通信端子間の距離は、30cm以下にしてください。双方の光通信端子の間を遮断するものを置かないようにします(☞401ページ)。また、連続して通信を行いますので、消費電力が多くなります。今までお使いの機種がバッテリーパックや充電池の方はフルに充電し、乾電池の方は新しい乾電池と交換してください。また、ACアダプターをお持ちの方はACアダプターをご使用ください。MI-P10では、充電池をフルに充電するかACアダプターをご使用ください。

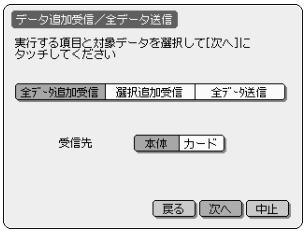


●受信側(MI-P10)の操作

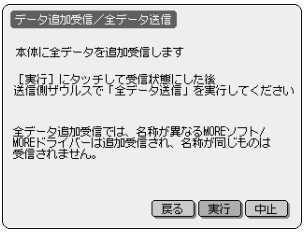
3 ホームインデックスキーに数回タッチして、ツールインデックス画面で追加受信アイコンにタッチします。
データ追加受信/全データ送信画面が表示されます。

4 光にタッチして選択した後、次へにタッチします。

5 下の画面で全データ追加受信、本体にタッチして選択し、次へにタッチします。



6 実行にタッチし、確認のメッセージではいにタッチします。



ご注意

- 所有者情報、インターネットのマークページの情報や通信記録、ユーザー辞書、メールの分類条件、スケジュールの休日設定、統合辞典のマーカー、各機能の設定内容は追加受信ではなく、置換受信されます。

●送信側（今までお使いの機種）の操作

7 MI-C1シリーズではデータ追加受信/全データ送信画面、MI-C1シリーズ以外では全データ保存画面を表示します。

画面の表示のしかたは機種によって異なります。下記の表を参照して表示してください。

MI-C1シリーズ	**ツール**キー、**追加受信**アイコンにタッチ
MI-EX1	**電源**ボタン、**オリジナル**、**全データ保存**アイコンにタッチ
MI-P1/MI-P2シリーズ	オリジナル画面で**全データ保存**アイコンにタッチ
MI-600/MI-500シリーズ	**通信**キー、**全データ保存**アイコンにタッチ
MI-310	**通信メニュー**キー、**全データ保存**にタッチ
MI-100シリーズ	**通信/メール**キー、**全データ保存**アイコンにタッチ
MI-10	**ザウルス通信**キー、**▼**、**全データ保存**アイコンにタッチ
MT-300/MT-200シリーズ	**設定**キー、**全データ保存**にタッチ

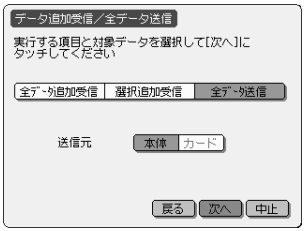
8 MI-C1シリーズでは、光、次へにタッチします。

MI-C1シリーズ以外では光通信、選択にタッチします。

全データ保存：光（全データ通信）画面が表示されます。

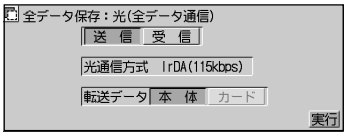
- MT-300/MT-200シリーズでは、この手順は飛ばして、手順**9**に進みます。
- 機種によっては、**光通信**ではなく、**光**にタッチします。

9 MI-C1シリーズでは、下の画面で全データ送信、本体、次へにタッチし、続けて実行にタッチします。



MI-C1シリーズ以外では、下の画面で送信、本体にタッチして選択し、実行にタッチします。

- MT-300/MT-200シリーズでは、「転送データ」の項目はありません。



※上の画面は、MI-EX1のものです。

10 確認画面で[はい]にタッチします。

送信側では「送信中」が表示され、受信側では「受信中」が表示されてデータの転送が行われます。

終了すると「送信中」、「受信中」の表示が消えます。

- MI-P10側にあるMOREソフトと異なる名称のMOREソフトが送信側にある場合は、それらも追加受信します。同じ名称のMOREソフトは受信しません（MI-P10側のMOREソフトがそのまま残ります）。
- **マイコンテンツのデータについて**
  MI-EX1のマイコンテンツのデータは、MI-P10側のパーソナルデータベースⅡに追加受信されます。
- **今までお使いの機種でご利用になっていたフラッシュメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードのデータをMI-P10に移す方法は**
  手順 **9**の「転送データ」の項目（MI-C1シリーズでは「送信元」）で[**本体**]の代わりに[**カード**]を選びます。
- **今までお使いの機種からMI-P10用のコンパクトフラッシュメモリーカードにデータを移す方法は**
  手順 **5**の「受信先」の項目で[**本体**]の代わりに[**カード**]を選びます。

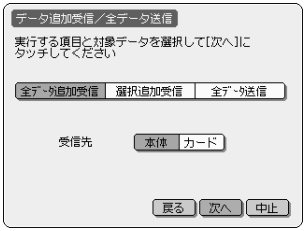
特定の機能のデータのみを受信したいとき

1 **429ページの手順 2のように、双方の機種を置きます。**

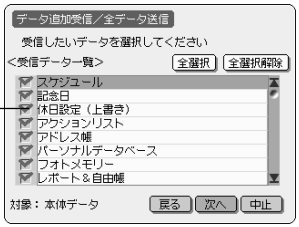
●受信側（MI-P10）の操作

2 **ホームインデックス キーに数回タッチして、ツールインデックス画面で 追加受信 アイコンにタッチします。**
データ追加受信/全データ送信画面が表示されます。

3 **光 にタッチして選択した後、次へ にタッチします。**



4 **選択追加受信、本体 にタッチして選択し、次へ にタッチします。**



にタッチして、選択する/しないを切り替える

5 **受信データー覧で受信したくない機能の にタッチして にし、次へ にタッチした後、実行 にタッチし、確認のメッセージで はい にタッチします。**

●送信側（今までお使いの機種）の操作

「すべての機能のデータを受信したいとき」の手順 **7**～ **10**（☞430、431ページ）を行うと、選択した機能のデータが追加受信されます。

ご注意
- 所有者情報や各機能の設定など、受信データー覧に「（上書き）」と表示されている内容は追加受信ではなく、置換受信されます。

メモ
- 上記の画面の受信データー覧で選択されている機能が少ない場合でも、送信側はいったん全データを送るため、時間がかかります。
- MOREソフトやMOREドライバー、MI-P10にない機能は移せません。
- 送信するデータが情報ファイルに分類されているときは、その情報ファイルも受信します。
- MI-EX1のマイコンテンツのデータを追加受信するときは、受信データー覧で「パーソナルデータベース」を選択します。MI-P10のパーソナルデータベースIIに追加受信されます。

付　録

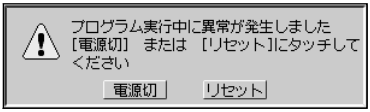
付 録

異常が起きたとき

異常が起きたときは、落ち着いて処理しましょう。
強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合など、ごくまれに**中断**キーなども含めた、すべての機能が働かない、データを正常に表示しない、などの異常が起きることがあります。
このような場合は、状況に応じて次の操作を行ってください。

プログラム実行中に異常が発生したとき

この製品を操作中、プログラムの実行に関して何らかの異常が発生したときに、次のようなメッセージが表示されることがあります。



このときには、まず**切**キーにタッチしてみてください。いったん本体の電源が切れますが、再び電源を入れたとき、実行中に異常を起こした機能だけが再起動されます。異常発生前に使用していたほかの機能の入力途中のデータには影響がありません。
切キーにタッチしても、再び同じメッセージが表示されるときには、**リセット**にタッチします。本体の電源が切れますので、再び電源を入れると、自動的にリセットされ、時刻設定画面が表示されます。これは、次項の「リセット操作」を行ったのと同じです。異常発生前に使用していた機能の入力途中のデータは消去されますが、登録済みのデータには影響ありません。

リセット操作

すべての機能が働かなくなった、データを正常に表示しない、などの異常が発生したときは、次のリセット操作を行ってみてください。

1 電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にした後、約5秒後に「ロック(使用時)」側に戻します。
時刻設定画面が表示されます。

2 日付と時刻が正しいかを確認します。まちがっているときは、設定し直してください(☞次ページ)。

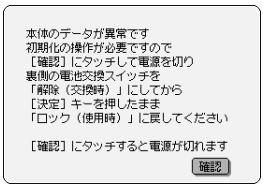
ご注意
- リセット実行中に電池交換スイッチを操作しないでください。記憶内容が変化・消去することがあります。
- 強度の外来ノイズなどにより、記憶内容が変化していた場合は、上記のリセット操作でも、記憶内容が消去される場合があります。
- **メモリー整理実行時のご注意**
  メモリー整理の実行には時間がかかることがあります。メモリー整理の実行中は、途中で電池交換スイッチを絶対に操作しないでください。また、ACアダプターを使用しているときは途中でACアダプターを外さないでください。これらの操作を行うと、データが壊れてしまいます(☞365ページ)。

メモ
- **作業用メモリーが足りないときは**
  不要なデータを削除したり、メモリー整理を行っても「メモリーがたりません」などと表示されるときや、一部の機能が働かないなど作業用メモリーの断片化が進んでいるときにもリセット操作を行ってみてください(☞365ページの「メモ」)。

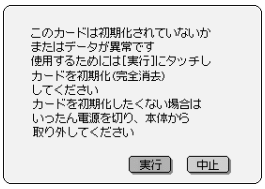
データ異常と初期化

電源を入れたときや、リセット操作をしたとき、左下のような画面が表示されることがあります。このときは、電源を切った後、初期化(☞次項)を行ってください。またコンパクトフラッシュメモリーカードなどのデータに異常が発生したときや使えないカードのとき、右下のような画面が表示されることがあります。カードの全データを消去してよいときは、**実行**にタッチしてカードを初期化(完全消去)してください(**中止**にタッチすると、本体は使用できますがカードは使用できません)。

本体が初期化されていないとき データが異常なとき



カードが初期化されていないとき



初期化する

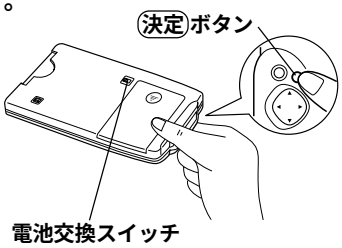
本体やコンパクトフラッシュメモリーカードなどのデータに異常がある場合、初期化を行います。データ異常が発生したとき以外、初期化は行わないでください。

初期化を行うと、登録しているデータだけを消去したり、登録しているデータ/MOREソフトなどすべてのデータを消去します。以下の手順に従って表示される画面の内容を確認して操作してください。

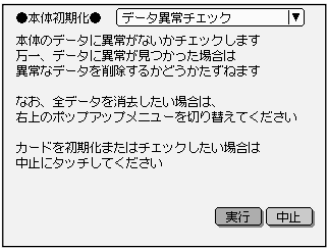
1 **切キーにタッチして電源を切ります。**

2 **本体裏側の電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側から「解除(交換時)」側に切り替えます。**

3 **決定ボタンを押したまま、電池交換スイッチを「解除(交換時)」側から「ロック(使用時)」側に切り替えます。**



4 **2〜3秒して本体から「ピッピー」という音が聞こえたら、決定ボタンから離します。**
本体の初期化の確認画面が表示されます。



5 **初期化画面で**
データ異常チェック▼にタッチし、表示されたメニューを選びます。
メニューの内容については、次ページの「メモ」をご覧ください。
カード側を初期化する場合は、本体初期化画面で**中止**にタッチします。
カード初期化画面が表示されますので画面の内容に従って操作します。

6 **実行にタッチします。**
時刻設定の画面が表示されますので、時報などに合わせて**設定**にタッチします。

7 **「お待ちください」と表示され、画面に表示されている内容に従ってデータのチェックや全データ消去などが行われます。しばらくしてプレイ インデックス画面またはホームインデックス1画面などが表示されます(初期化画面で完全消去(フォーマット)を選択して、実行するとホームインデックス1画面などが表示されます)。**

● 初期化を行うと、タッチパネル調整や表示濃度調整は工場出荷時の内容が設定されますが、これは変更することができます。くわしくは、361、357ページをご覧になり調整してください。

● **手順 4の画面が表示されないときは**

もう一度、手順 **1**〜 **3**の操作をしてください。また、次のことを確かめてください。

- 電池交換スイッチが「ロック（使用時）」側になっているか
- 充電池は正しく入っているか、消耗していないか

● **初期化画面で選択できるメニューについて**

初期化画面で、**データ異常チェック▼**にタッチすると次の3つのメニューが表示されます。それぞれの初期化を行ったときに消去されるデータについて下表にまとめています。

画面に表示されるメニュー	メニューに従った初期化を行うと
データ異常チェック	データ異常が見つかった機能のデータは削除されます。それ以外のデータはそのまま残ります。
全データ消去（MOREは残る）	• MOREソフトやクイックパスは残ります。 • 登録したデータはすべて消去されます。
完全消去（フォーマット）	この製品には何もデータが入っていない状態になります。 • MOREソフトやクイックパスは消去されます。 • 登録したデータはすべて消去されます。 •「Play Index」MOREソフトなど、あらかじめ入っていたMOREソフトも消去され、前ページの手順 **7**ではホームインデックス1画面などが表示されます。

● **初期化（データ異常チェック）を行ったとき**

初期化（データ異常チェック）を行うと、登録されているデータに異常がないかチェックを行い、データ異常がある場合は確認の画面が表示されます。データ異常の画面が表示されたときは、画面に表示されている内容に従って操作してください。

ご注意

● 電池交換スイッチの操作をするときは、必ずこの製品の電源を切ってから行ってください。特に、「お待ちください」や「登録中」、「メモリー整理中」などのメッセージが表示されているときには電池交換スイッチを操作しないでください。記憶内容が変化・消失する場合があります。

充電池を充電する

充電池を充電する時期

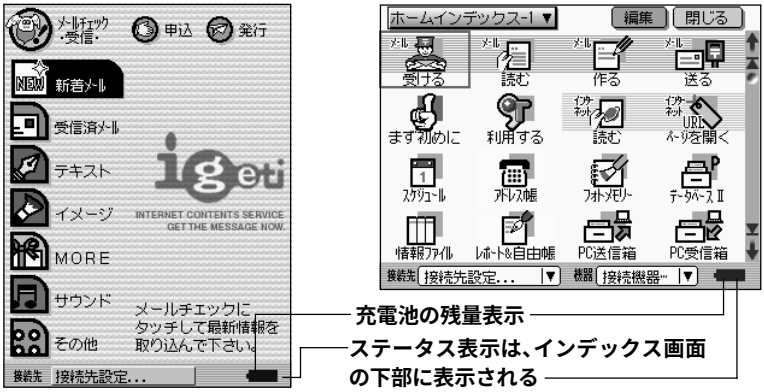
充電池が消耗すると、「ACアダプターを接続して充電してください」と表示されますので、充電池を充電してください(☞次ページ)。そのままにしておくと、自動的に電源が切れます。充電池が消耗すると、戻る(電源)ボタンを押しても電源は入りません。

- 充電池が消耗し電源が切れた後に、付属のACアダプターを接続し戻る(電源)ボタンを押しても電源が入らないことがあります。このような場合は、約3分以上充電池を充電してから使用してください。
- この充電池は、充電する前に充電池を使い切ったり、放電したりする必要はありません。
- **充電環境について**
  - 充電は、周りの温度が5℃～35℃の場所で行ってください。温度が低くなるほど充電しにくくなり、充電池を劣化させます。
  - 充電中や使用中に充電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- **付属のACアダプターを使うと**

  「ACアダプターを接続して充電してください」のメッセージが表示されてから、電源が切れるまでの間にACアダプターを使用すると、メッセージは消えます。別売のパソコン連携キット(CE-P10PK)を使って、本体に装着された充電池を充電することができます。くわしくは、別売のパソコン連携キット(CE-P10PK)の取扱説明書をご覧ください。

充電池の残量を確認する

充電池の残量は、プレイ インデックス画面やホームインデックス1画面などのステータス表示で確認できます。付属のACアダプターが接続されているときは、充電池の残量は表示されません。



● **ACアダプターが接続されていると**
[redacted] の代わりに [redacted] と表示されます。
● **ステータス表示の [redacted] の表示は**
黒色の部分が残量です。白色の部分が多くなったときは充電池が消耗していますので充電池を充電してください。
デジタルカメラカード(CE-AG06)の使用後など、充電池の残量表示が大幅に少なく表示されることがあります。このようなときはいったん電源を切り、もう一度電源を入れると、充電池の残量が正しく表示されます。

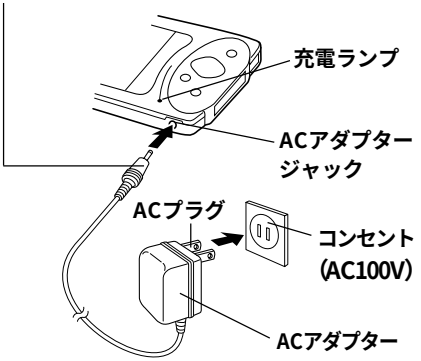
充電池(EA-BL05)を充電する

この製品に充電池を装着した状態で充電してください。

1 **切キーにタッチして電源を切ります。**

2 **付属のACアダプターを、右図のようにこの製品のACアダプタージャックとAC100Vのコンセントに接続します。本体の充電ランプが点灯して、充電が始まります。**
満充電になると、本体の充電ランプが消え、充電が完了します(通常、約3時間かかります。ただし使用温度、使用状態によって変わります)。

抜き差しは、この部分を持って行ってください。ケーブルを引っぱって抜かないようにしてください。



3 **ACアダプターを取り外します。**

● **使用中の充電は**
この製品を使用中に充電すると、充電が完了するまで長い時間がかかります。充電池を充電するときは、この製品を使用しないようにすると、早く充電できます。
● **充電時の電池交換スイッチの位置は**
充電池を充電するときには、本体裏面の電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側にしておいてください。「解除(交換時)」側にしても充電されますが、充電中でも充電ランプは点灯しません。

ご注意
● ACアダプターのコードを足で引っかけたり、踏みつけたりしないようにご注意ください。
● 長期間使用しなかった充電池の充電には、通常より多くの時間がかかりますが、故障ではありません。
● ACアダプターを、市販されている「電子変圧器」などに接続しないでください。ACアダプターが故障することがあります。

ご注意

- この製品に電源が入っている状態でACアダプターを接続すると、充電ランプが点灯し、ACアダプターから電源が供給されていること示します(このとき充電ランプは消えません)。
- 長時間使用するとACアダプターは温かくなりますが、故障ではありません。
- 充電池の残量が少ない状態で長時間ご使用にならないと、充電池が自然放電してしまい、ACアダプターを接続しても電源が入らなくなることがあります。このようなときは、充電池を約3分間充電してからこの製品をご使用ください。
- **充電中に異常が発生すると**
  充電池またはACアダプターに異常があると、充電ランプが点滅します。
  このようなときは、ただちに充電を中止し、充電池が破損していないか、指定の充電池を使用しているかどうかを確認してください。充電池、ACアダプターともに外観上異常がなく、指定の充電池が使用されていた場合は、475ページの「アフターサービスについて」をご覧のうえ、修理を依頼してください。
- 充電池がこの製品に装着されているとき、電池ぶたを開けたまま、電池挿入口を下にしないでください。電池挿入口に手を添えていなかった場合、充電池がこの製品から抜け落ちて、足に当たったり、大切な物に当たって壊したりすることがあります。
- 端子が汚れたら、乾いたきれいなやわらかい布などで拭き取ってください。

⚠警告

- **表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。**
- **付属のACアダプターをコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。**
- **ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。**
- **次のことをお守りください。火災や感電の原因となります。**
  - **ACアダプターを水やその他の液体につけたり、ぬらしたりしないでください。**
  - **ACアダプターおよび本体の上やそばに、液体の入った容器を置かないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。**
  - **お客様による改造や分解・修理はしないでください。**
  - **ACアダプターに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**
  - **ACアダプターに針金などの金属を差し込んだりしないでください。**
  - **コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。**
- **使用されないときには、安全のため、ACアダプターをコンセントおよびMI-P10本体から外しておいてください。**

⚠警告

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- 雷が鳴りはじめたら、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

⚠注意

- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。
  - 周囲温度0～40℃、湿度35～85%の範囲でご使用ください。
  - 直射日光の当たる場所では使用しないでください。
  - ほこりの多い場所に置かないでください。
  - 重い物を載せたり、落下しやすいところに置かないでください。
  - 電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

充電池について

充電池を消耗したまま使っていると、電源が自動的に切れ、放っておくと電源が切れたまま入らなくなります。
充電池は、この製品に取り付けた状態で充電してください(☞438ページ)。

■使用できる充電池

種類	形名	個数
充電池	EA-BL05	1個

※EA-BL05以外の充電池は使用しないでください。

● ご購入直後の充電は
通常は充電し始めてから約3時間で満充電されますが、工場出荷時からの時間の経過により、ご購入直後の充電時間は変わります。

● 長時間ご使用にならないときは
充電池は、ご使用にならなくても自然に放電します。充電池の消耗によるトラブルを避けるために、保存される前にはできるだけ放電させ、使用される前に充電することをおすすめします。
また、充電池をこの製品から取り外し、低温(10℃前後)保存すると長持ちします。

⚠危険

● 充電池(リチウムイオン充電池)について、次のことをお守りください。発熱・発火・破裂の原因となります。

- **MI-P10で使用できる充電池は、EA-BL05です。これ以外の充電池は使用しないでください。**
- **プラスとマイナスの向きが決められています。MI-P10にうまく装着できないときは、無理をしないで、充電池の向きを確かめてください。**
- **充電にはMI-P10および付属のACアダプター(EA-66)以外のものを使用しないでください。また、この充電池は指定機器以外の機器には使用しないでください。**
- **直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所(60℃以上)に放置しないでください。**
- **釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**
- **充電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけないでください。**
- **外傷、変形の著しい充電池は使用しないでください。**
- **分解、改造、ハンダ付けをしないでください。**
- **水や火の中に投入したり、加熱しないでください。**
- **端子をショートさせないでください。金属小物(鍵、アクセサリー、ネックレスなど)と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。**
- **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。**

⚠危険

● 充電池からもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。障害を起こす恐れがあります。

⚠警告

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
- 水や海水に浸けたり、雨滴などでぬらさないでください。万一、ぬれた場合には、直ちに使用を止めてください。
- 充電池から液がもれたり異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。
- 液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
- 充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

● 充電池を誤って飲み込むことがないように、充電池は乳幼児の手の届かない所へ置いてください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。

⚠注意

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となることがあります。
- 小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。
- 乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が MI-P10 から取り出さないように注意してください。
- 充電は必ず 5 ～ 35°Cの範囲で行ってください。
- 充電方法については、MI-P10の取扱説明書をよくお読みください。
- 使用した後は、必ず使用機器（MI-P10）の電源を切ってください。

● 充電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

● 充電池を本体に装着する際に、サビ、異臭、発熱その他異常と思われたときは、充電池を本体に装着しないでお買いあげの販売店にご持参ください。

■充電池(EA-BL05)の使用時間

462ページの仕様の欄をご覧ください。
使用温度、使用状態によっては充電池の使用時間が短くなります。また、使い始めのころは、たくさんのデータを連続して入力することが多く、比較的早く消耗します。

● **低温で使用するときは**
低温では、電池の特性により使用時間が非常に短くなりますが、常温では通常の使用時間に戻ります。

■充電池(EA-BL05)の寿命

この充電池を常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。ただし繰り返し使用するうちに充電池が劣化し、使用できる時間が短くなってきます。正常に充電しても使用時間が短くなってきた場合は、新しい充電池をご購入ください。新しい充電池については、もよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

使用済みリチウムイオン充電池のリサイクルご協力お願い Li-ion

● この製品にはリチウムイオン充電池が使用されております。この充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。充電池の交換、およびご使用済み製品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。ご使用済みリチウムイオン充電池は「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています」のステッカーを貼ったシャープ製品取り扱いのお店へご持参ください。

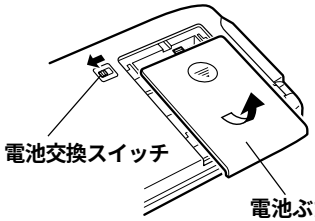
● リサイクルのときは、端子にガムテープなどを貼り、絶縁してください。

充電池の交換手順

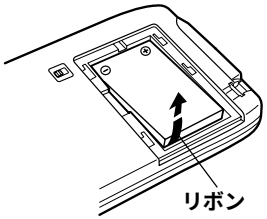
充電池を交換すると、この製品を動作させるための電力が保持されません。充電池交換後に表示される時刻設定画面(このページの手順 **7**)で、必ず日付と時刻を設定してください。

1 **この製品の電源を切ります。**

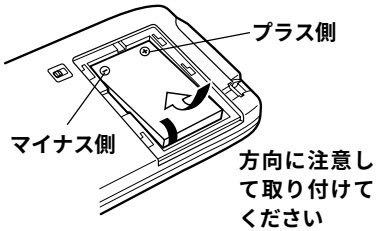
2 **本体裏側の電池交換スイッチを「解除(交換時)」側にし、裏面の電池ぶたを取り外します。**



3 **消耗した充電池を取り出します。**



4 **充電池を㊀、㊉の表示がある方から取り付けます。このときリボンは充電池の下側から巻くようにし、リボンの端が充電池の上にくるようにします。**



5 **リボンが外に出ないようにして電池ぶたを取り付けた後、電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側にします。**

6 **電源が入っていることを確認します。**
電源が入っていないときは手順 1からやり直してください。

7 **時刻設定画面になりますので、日付と時刻を設定してください(☞435ページの手順 6)。**

メモ
- 充電池を入れた後は、必ず電池ぶたを取り付け、すぐに電池交換スイッチを「ロック(使用時)」側にしてください。この後、充電池が充電されていない場合は、ACアダプターを使用して充電してください。
- 時刻設定画面では、「東京」の時刻が表示されます。「東京」以外の都市の時刻を確認・設定する場合には、時計機能で行ってください(☞322ページ)。

ご注意
- 電池交換スイッチの操作をするときは、必ずこの製品の電源を切ってから行ってください。特に、「お待ちください」や「登録中」、「メモリー整理中」などのメッセージが表示されているときには電池交換スイッチを操作しないでください。記憶内容が変化・消失する場合があります。

手書認識について

手書認識ボードで手書き文字を入力する際の書きかたや注意事項について、まとめています。
手書き文字をザウルスに正しく認識させるようにするために、ぜひご一読ください。

文字の書きかた(注意点)

付属のタッチペンで、空白の記入枠に、なるべく正しい筆順で書いてください。

- 原則として楷書で書いてください。ただし、少々ならば続け字になっても多くの場合認識できます。また、漢字を書く場合、「へん」と「つくり」、「かんむり」と「あし」の間が線でつながっていても認識できる場合があります。

楷書 続け字 "てへん"と「丁」がつながっている

楷書 続け字 "くさかんむり"と「四」がつながっている

- 角を丸くした丸文字を書かないようにしてください。ほかの文字に認識される率が高くなります。

良い例 悪い例

- 文字は傾かないように書いてください。
  文字が傾いていると正しく認識しないことがあります。

良い例 悪い例

- 一文字ずつ、記入枠からはみ出さないように書いてください。
  枠からはみ出してしまったときは、枠内に入っている部分のみが文字として認識されてしまいます。

良い例 悪い例

- 枠の外から書き始めないでください。枠の外から書き始めた線は、認識されません。

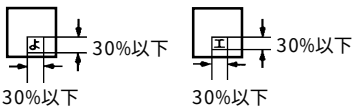
良い例 悪い例

文字の書きかたと認識される文字について

手書認識は、筆順、画数が認識の基本になっています。
漢字などはなるべく楷書でていねいに書いてください。
※入力した文字は、認識されるとき、直前に書かれた文字の種類に強く影響されます。

●ひらがな・カタカナの小文字の認識

- ひらがな・カタカナの小文字がある文字は、記入枠の縦横約30%以下の大きさで書くと小文字と認識されます。記入枠の真ん中より下に書いてください。



- 記入枠の縦横約50%以上の大きさで書くと、おおむね大文字と認識されます。
- 30%～50%の大きさで書いた場合、直前に入力した文字により変わります。たとえば"フ"の後に"ア"を書くと小文字になります。

●英字の認識

- 英字の小文字は筆記体で書くと認識されやすくなります。

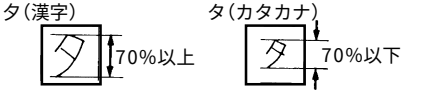
- 大文字は筆記体では認識されません。ブロック体で書いてください。

●よく似たひらがな・カタカナ(へ、べ、ぺ、リ)の認識

- これらの文字は、通常ひらがなと認識されます。ただし、"べ""ぺ""り"は直前に入力した文字がカタカナの場合はカタカナと認識されます。"へ"は常にひらがなと認識されます。

●漢字とカタカナの認識

- 下表のように、漢字とカタカナで似ている文字は、記入枠の縦横約70%以上で書くと漢字と認識されます。



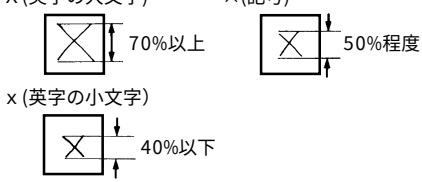
漢字	カタカナ
二	ニ
夕	タ
八	ハ
口	口
工	エ,ｴ
力	カ

注："ト"は常にカタカナと認識されます。

- 二を縦横約30%以下で書くと"="(記号)になります。
- 50%～70%の大きさで書いた場合、直前で入力した文字がカタカナの場合はカタカナと認識され、それ以外は漢字と認識されます。なお、カタカナに小さい文字がある場合は、ひらがな・カタカナの小文字の認識と同様に認識されます。

●"X"(英大文字)と"×"(記号)、"x"(英小文字)の認識

- 記入枠の縦横約70%以上の大きさで書くと"X"(英大文字)と認識されます。
- 50%程度で書くと"×"(記号)と認識されます。
- 40%以下で書くと"x"(英小文字)と認識されます。



- 50%～70%で書くと、直前が数字の場合は"×"(記号)、その他の場合は"X"(英大文字)と認識されます。

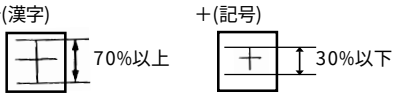
●"ー"などの認識

- "ー"などは、直前に入力した文字などにより、次のように認識されます。なお、下記以外のときは"一"(漢数字)と認識されます。

一(漢数字)	直前に漢字が入力されているとき
ー(長音符)	直前にひらがな・カタカナが入力されているとき
－(マイナス)	直前に英字・数字が入力されているとき

●"十"(漢字)と"+"(記号)の認識

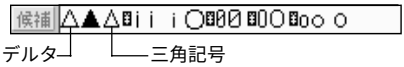
- 記入枠の縦横約70%以上の大きさで書くと"十"(漢字)と認識されます。
- 30%以下で書くと"+"(記号)と認識されます。



- 30%～70%で書くと、直前の入力が英字・数字の場合は"+"(記号)、その他の場合は"十"(漢字)と認識されます。

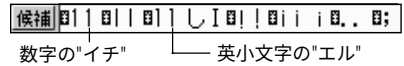
●Δ(デルタ)と△(三角記号)の認識

- 小さく見えるのがデルタで、大きく見えるのが三角記号です。



●1(数字の"イチ")とl(英小文字の"エル")の認識

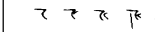
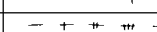
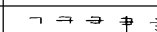
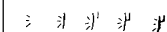
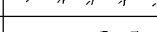
- 表示では同じに見えますが、初期状態で前にあるのが数字の"イチ"です。



(候補文字から選択した場合は、選択した文字が先頭に来ます。)

認識をまちがえやすい文字の一覧

認識には正しい筆順の情報が必要ですが、まちがえやすい筆順の文字についてはある程度の誤りでも認識するように配慮しています。
どうしても認識しない文字については、次の筆順を参考にしてください。

文字など	書き順	文字など	書き順
・(中点)	点を打つだけ	武 8画	
「	（上から下へ1画で書く）	飛 9画	
」	（上から下へ1画で書く）	帯 10画	
”	’ ”	粛 11画	
→	― →	淵 12画	
せ 3画	一 十 せ	鼎 13画	
凸 5画	丨 亅 凵 凸 凸	龍 16画	
凹 5画	乚 凵 ㄩ 凹 凹	禰 18画	

●その他の認識されにくい文字の書きかた

文字など	書き順	書きかた
0(ゼロ)		縦に細長く
		／を入れる
O(オー)		丸く
		上に￣をつける
0(漢数字)		横に細長く
7		少しそらす
ク		ふくらませる(横に長くすると"ワ"になる)
ア		最後をはらう
了		最後の左をはねる
T		最後をまっすぐに止める
丁		最後を左にはねる
9		最後をまっすぐに
q		2画で書く
		筆記体で書く
l(エル)		筆記体で書く
I(アイ)		上下に-をつけて書く
∠		1画で細長いループを描くように書く
#		縦の線を斜めに書く
τ		ー と し を離し、2画目をひらがなの"し"のように書く
∉		縦の線を45°程度に傾けて書く

文字など	書き順	書きかた
〒		縦の線をまっすぐに書く
Δ（デルタ）		縦長に書く。横に長く書くと三角記号"△"になる
Φ		上下に-をつけて書く
Ψ		上下に-をつけて書く
v		最初を左にそらし、最後はまっすぐに上に引く
〃		枠の上側で、右上から左下へ小さく書く
⌀		○を小さく書く。/を長く書く
⸝		∪を∪のように書く。縦の線をまっすぐに書く
Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ		ローマ数字の上下に ¯ をつけて書く ※Ⅰ、Ⅸは第1位に認識されません。
ⅰ ⅱ ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ		上の ' を後から書く ※ⅰ、ⅴ、ⅹは第1位に認識されません。

その他

●スペースの入力

スペースは次の記号で入力します。

文字など	書き順	書きかた
全角スペース		記入枠の横幅いっぱいに、1画で書く
半角スペース		横幅を記入枠の60%程度で書く

第１位認識とその認識文字

手書認識ボードで入力できる文字や記号は「手書認識できる文字の表」(☞451ページ)に示しますが、第１位に認識されるものと、それらの候補としてのみ呼び出されるものがあります。また大きさや書き順、あるいは前に入力した文字によって認識される文字が変わることがあります。

●カタカナ

- 全角の文字が第１位に認識され、半角のカタカナは認識候補として呼び出します。ただし、半角のカタカナの直後に同じ種類の文字を書いたときは、半角文字に認識されます。

●数字・英字・記号

- 半角の数字・英字が第１位に認識され、全角の数字・英字は認識候補として呼び出されます。
- 記号によって全角の記号が第１位に認識されるものと、半角の記号が第１位に認識されるものがあります。

●次の文字や記号は、ほかの文字や記号の認識候補として呼び出されます。

文字・記号など	備　考
へ(カタカナ)	へ(ひらがな)の候補
ト(漢字)	ト(カタカナ)の候補
”	"（半角の ”）の候補
〔	(の候補
〕	)の候補
『	「の候補
』	」の候補
【	(の候補
】	)の候補
○	0、0、○(漢数字)の候補
●	0、0、○(漢数字)の候補
◆	◇の候補
■	□の候補
▲	△の候補
▼	▽の候補
★	☆の候補

●次の文字や記号は手書き入力したとき、ほかの文字や記号が第１位に認識されます(または認識されやすくなります)。

文字・記号	第1位に認識されやすい文字・記号
´	’
″	"（半角の ”）
;	:
<	く
ι（イオタ）	し
κ（カッパ）	k, K
ο（オミクロン）	O(英字)
ν（ニュー）	u V
χ（カイ）	X
ω（オメガ）	W
Ⅰ（ローマ数字）	I(英字)
Ⅸ（ローマ数字）	区
ⅰ（ローマ数字）	i(英字)
Ⅴ（ローマ数字）	V(英字)
Ⅹ（ローマ数字）	X(英字)
曰(いわく)	日

略字入力による認識

次の表は漢字とその略字です。これらの文字は略字で書いても認識されます。

漢字	略字	漢字	略字	漢字	略字
第		風		機	
個		質		喜	
職		門		層	
営		働		点	
様		権		前	
摩		国		来	
器		電		鮮	

● 国は口または口の候補として認識されます。

ローマ字→かな変換表

タイプライターキーボード、携帯型キーボード(別売品)

あア行	A	I	U	E	O
かカ行	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さサ行	SA	SI SHI	SU	SE	SO
たタ行	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
なナ行	NA	NI	NU	NE	NO
はハ行	HA	HI	HU FU	HE	HO
まマ行	MA	MI	MU	ME	MO
やヤ行	YA		YU		YO
らラ行	RA	RI	RU	RE	RO
わワ行	WA	WYI(ゐ)		WYE(ゑ)	WO(を)
んン	N	NN	NX		

がガ行	GA	GI	GU	GE	GO
ざザ行	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だダ行	DA	DI	DU	DE	DO
ばバ行	BA	BI	BU	BE	BO
ぱパ行	PA	PI	PU	PE	PO

きゃキャ行	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃシャ行	SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
ちゃチャ行	TYA CHA CYA	TYI CYI	TYU CHU CYU	TYE CHE CYE	TYO CHO CYO
にゃニャ行	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃヒャ行	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃミャ行	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃリャ行	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃギャ行	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃジャ行	ZYA JA JYA	ZYI JYI	ZYU JU JYU	ZYE JE JYE	ZYO JO JYO
ぢゃヂャ行	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃビャ行	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃピャ行	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
いぇイェ行				YE	
くぁクァ行	QA KWA	QI		QE	QO
くゎクヮ行		QWI	QWU	QWE	QWO
ぐぁグァ行	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
つぁツァ行	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃテャ行	THA	THI	THU	THE	THO
でゃデャ行	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ふぁファ行	FA	FI		FE	FO
ふゃフャ行	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
うぃウィ行		WI			
うぇウェ行				WE	
とぅトゥ行			TWU		
どぅドゥ行			DWU		

●撥音(はつおん)の入力

- "ん、ン"の次に母音または"Y"がくるときや"ん、ン"で終わるとき"N"の後に"X"を入力する
  ほんやく→HONXYAKU(HONNYAKU)
  はんい→HANXI(HANNI)
  ほん→HONX(HONN)
- 上記以外のとき
  ほんき→HONKI

●促音の入力

"N"と"Y"以外の子音を重ねる
けっか→KEKKA
トップ→TOPPU

●特殊な表現の入力

ヴゅ→VYU

●小さい文字(ァ、ィ、ゥ、エ、ォ、カ、ケ、ッ、ヤ、ユ、ヨ、ワ)の単独入力

- "X"または"L"の次に、それぞれの文字を入力する。
  ティータイム→TEXI-TAIMU　　トップ→TOXTUPU
- "ヵ"と"ヶ"はカタカナで入力される。

手書認識できる文字の表

この製品では、ひらがな、カタカナ、英字、数字（0～9）の非漢字、およびJIS第1水準漢字（区点コード1600～4751）が手書認識できるほかに、このページ以降の漢字（JIS第2水準漢字の一部）、記号を手書認識することができます。以下の第2水準の表はコード表の形式ではありません。ある漢字に対する区点コード、シフトJISコード、JISコードを調べたいときには、この製品の統合辞典機能の「漢和辞典」でお調べください（☞303ページ）。同様にして異体字も調べることができます（☞312ページ）。ただし、手書認識できない記号等や、統合辞典の「漢和辞典」で調べることができない記号等については453ページに区点コード表を掲載しております。

※文字、記号、数字などのフォント(字形)は、実際に表示されるものと異なる場合がありますので、ご了承ください。

手書認識できるJIS第2水準漢字

この製品で手書認識ができる第2水準の漢字は次のとおりです。

丶	丼	丿	豫	事	二	亞	人	仞	仍	佛	佇	侏	侑	儘	俎	倅	伜	俯			
偖	傳	僥	僭	僣	僂	儿	兒	兢	冖	冤	冠	冪	冫	冽	凅	凛					
几	凡	凩	凰	凵	函	刀	刎	刹	剋	剌	剪	剳	剽	力	勁						
勹	匈	匚	匳	卩	卮	厂	厖	厠	厦	厮	又	曼									
口	吽	呵	咎	呟	呻	咀	咄	咬	咤	哭	哺	啖	啗	喀	咯	喘	喩	嗚	嗅	嗟	嗜
嘔	嘴	嘲	噪	噫	噓	嚊	嚙	囁	囃	囗	囮	國	圓	嵩							
土	址	坪	埃	埒	垉	堡	墟	壜	壌	士	壹	壷	壽	夕	夛	夥					
大	夭	奎	奘	奢	女	奸	佞	佚	姨	姜	婉	娶	媚	嫺	嫻	嬌	孀				
子	孕	孵	宀	寃	寇	寳	尸	屁	屎	屓	屏	山	屹	峙	崗	崑	崚				
崙	崘	嵌	嶽	巖	工	巫	已	巳	巵	广	廈	廣	廝	廚	廾	彜	彝				
弓	彌	彎	弯	彑	彗	彙	彳	彷	彿	徊	徘	徨	心	忽	恍	恣	恙				
悍	惧	悛	悸	悴	悖	愕	慇	慍	愴	慄	慙	慚	慟	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懃
懴	戈	戞	戡	戦	戸	扁	手	扠	扨	抒	拗	拌	拇	拉	挟	掖	掟	掟	揣	揉	
插	揶	揄	搦	搏	擘	撓	撥	撼	撻	擡	抬	擶	攫	支	敲	敫	方	旁	旛		
日	旱	昊	昴	晏	晢	晨	晟	晰	暉	暝	曄	暸	曖	曠	昡	曰	曰				
月	朦	朧	霸	木	杣	杞	柘	枷	柩	槍	栞	條	梃	檮	棘	棕	椒	椁	椚	楷	
楔	椰	楡	榮	槁	槃	榜	榴	樂	樅	樒	櫁	橙	橄	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檬	櫟	樑
櫻	欒	鬱	欠	歇	歹	歿	殲	殱	毛	毬	毫	毯	气	气	氣						
水	沐	泄	泗	汨	洽	洸	洵	洒	浿	涜	涎	濤	涅	渕	涸	淺	渾	渓	滉	漑	灌	
滔	漱	澁	潘	澤	澹	澪	濱	瀑	瀘	潴	瀝	瀘									

火	炒 炯 炬 炸 烋 烙 焉 焜 焙 煥 熙 熙 煌 熏 燻 熨 爛 熾 燎 燧 燿
爛	爪 爬 爻 爼 牛 牽 犁 犬 犴 狢 狡 狷 猜 猥 猾 獏 獪
獨	玉 珈 珀 琅 瑯 琥 琲 瑕 瑙 瑤 璧 瓏 瓔 珶 瓦 甍 甕
生	甦 田 疇 畴 疒 疣 疳 疵 疽 疸 疼 疾 痒 痙 痣 痺 瘍 瘉 瘤
癭 癇 癈 白 皓 皮 皸 皹 皺 皿 盪 盞 目 眈 眩 眞 眥 眦
眸 睨 睛 瞑 瞞 瞰 瞼 矢 矮 石 砌 砒 礦 礪 硅 磋 磔 礫
示 祓 禧 齋 禾 稟 禀 稻 穴 竈 竹 笙 筐 筍 筵 筏 箋 箒 箏
箏 箝 籌 簔 籠 簗 籃 籐 籤 籤 米 糀 糯 糸 紆 絆 絨 絣 絛 綺
綸 緻 縢 繍 縷 繹 繧 緕 缶 罐 网 罠 罹 羈 羇 羊 羞 羹 羹
羽 翔 老 耆 耳 聚 聰
肉 肛 肚 肱 胥 胚 胱 脛 脩 腋 隋 脾 腑 腱 膊 膀 膠 膣 腟 腸 臘 臈
臼 舅 舌 舎 舟 艫 舮
艸 芻 苟 苺 茉 茖 茲 茹 茫 茗 莉 董 萠 萼 萬 蒡 蓼 蕁 藁 薊 薔 薮
薇 蕾 藉 藏 虫 虱 蛉 蠣 蛛 蜀 蜑 蜷 蜻 蝮 螢 螯 蟇 蟆 蟒 蟒 蠹 蠹
血 衄 衣 衾 衽 袵 袂 袢 裔 褄 褪 襄 褻 褶 禪 禅 襞 見 覺
言 訃 訛 訶 詈 詭 詢 誂 誦 諄 諌 諧 謂 謚 諡 讀 讀 證 譖 譖 譟 讓
豸 豺 貉 貎 貔 貔 貘 貝 貪 賤 贊 贅 贓 賦 贔 走 赳 趙
足 跌 跛 跪 踝 蹂 踵 蹊 蹉 踪 躁 躇 躊 躙 躙 身 躾
車 軋 輒 輙 輌 輌 輳 輻 轣 辛 辟 辣
辶 迪 邇 逅 逡 逞 逾 逎 邂 遽 邁 邊 邑 邨 邱 郛 鄂 鄙
酉 酊 酣 酩 金 鈑 鉤 鋏 鋺 鋼 錢 鐡 鐵 鑢 鑑 鑚 鑚
門 閇 閙 閨 閤 闕 濶 阜 阯 隘 隕 雨 雹 霎 霰 霹
革 勒 鞋 鞏 韋 韋 韭 齏 韲 音 竟 頁 頌 頸 頷 頽 顆
風 颯 飄 食 飩 飫 餃 餉 餘 餞 饉 饅 馬 駝 駱 騙 騒 驀 驕
骨 髀 髟 髪 髣 鬼 魁 魚 鮨 鰺 鯢 鰛 鰛
鳥 梟 鳧 鴛 鴟 鵄 鵝 鵞 鶉 鶫 鵪 鵯 鹿 麒 麥 麩 麸
麻 靡 黍 黎 鼻 鼾 齒 齟 齧 齬 堯 槇 遙 瑤 凜 熙

■記号等の区点コード表

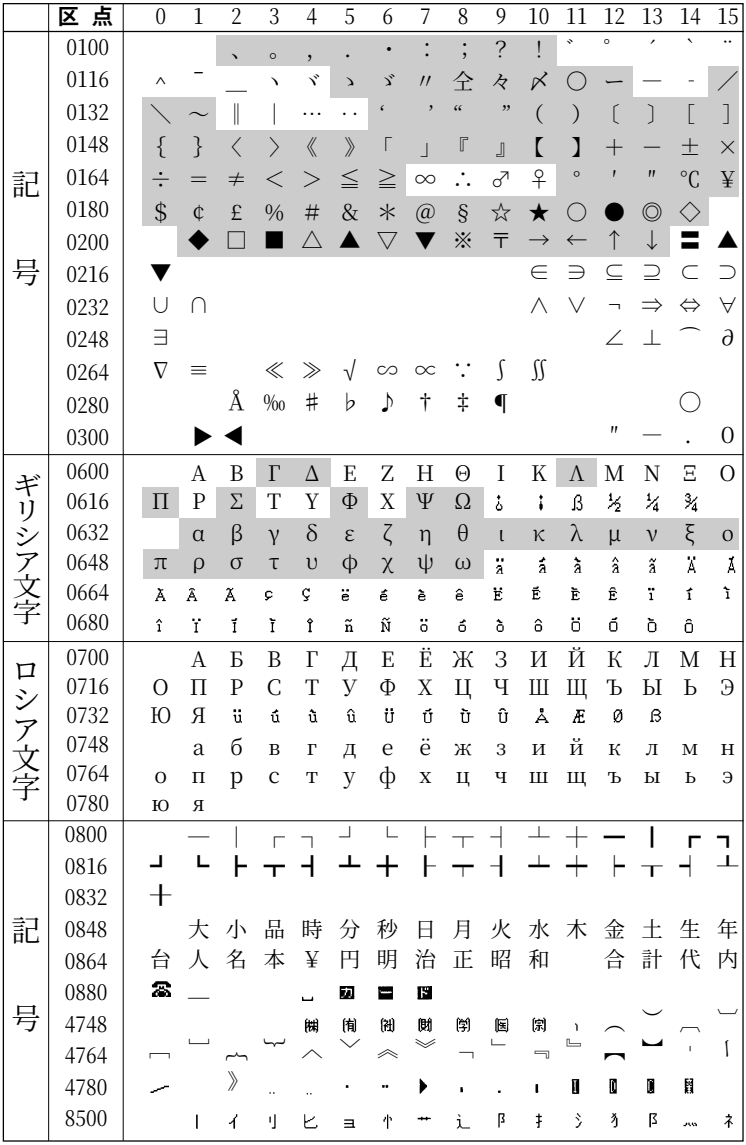
●コード表の見かた

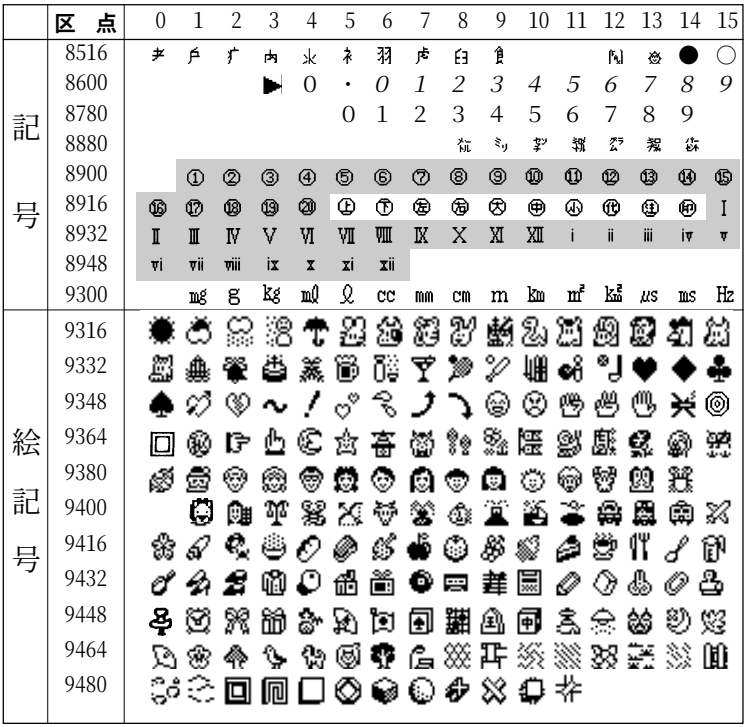
この表は、この製品で使用できる記号等を、区点コードで引けるようにしています。表の左の行はそれぞれの開始コードを、上の列は開始コードに加算するコードを表しています。

例:「я」の場合

コード体系	行	列	行+列=コード
区点体系	0732	1	0732+1=0733

※表中の網かけの記号および網かけのギリシャ文字は、手書認識ができます。





● 区点コード表のうち、区点コードが
0215、0216、0301、0302、0312～0315
の文字と、「記号」、「絵記号」の欄の文字は、この製品特有の文字や記号なので、メール送信時やパソコンとのやり取りでは使用しないことをおすすめします。

統合辞典について

この統合辞典は株式会社 学習研究社が、学研統合電子辞典のデータから必要と思える見出し語を選択し、原典の語釈をできるだけ損なわないように簡略化したものを収録しています。

使用記号について

●この辞典で使用される記号のうち、各辞典で共通した意味合いとして使われる記号類とその意味は次のとおりです。

記号	意味
・	見出し語で2つ以上表記がある場合の区切りとして使用
;	英和・和英辞典で日本語の意味や英語訳語の区切りとして使用
( )	説明補足や省略可能および、言い換え可能な言葉を表す場合などに使用
「 」	用語の明確化・強調を表す場合に使用
＝	同様の意味の言葉を表す場合に使用
類	類語
対	対語

※各辞典で独自に使われている記号については、各辞典の編集要旨に記述しています。

国語辞典編集要旨

見出し語について

●この辞典は見出し語約45,200語を50音順に収録しています。
見出し語は、「学研電子国語辞典」から日常生活にかかすことができないと思われる語を中心に選択しています。

●1字漢字で意味を追加できないもの(特に音読み１字漢字)については国語辞典に収録せず、漢和辞典に漢字自体のもつ意味を付加して収録したものもあります。
【例】
『亜』、『伊』、『層』など

●専門用語、時事用語などは収録していません。

振りがなについて

振りがなは、見出し語の中の漢字に対して、その読みを付記しました。振りがなを漢字１字に対応させることができない見出し語は、左詰めでその読みを付記しました。

【例】 アジサイ
紫陽花

送りがなについて

送りがなは、昭和48年6月18日内閣告示『送り仮名の付け方』にもとづき、送りがなを省くことができるものは省きました。

【例】
あたる　当たる
　　当る ← この辞典ではこちらを採用しています。

意味について

(1) 意味の語釈が何とおりにもなるものについては、代表的なものを採用しています。

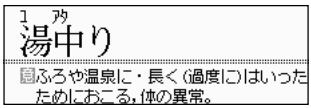
(2) 一部の見出し語については、意味にその英訳を表示しているものがあります(例：アメリカ)。

(3) 意味文中に使われている記号類と意味は次のとおりです。

①“・”

用例が複数あるときの区切りや、意味の繰り返しを避ける場合などに使用しています。

【例】



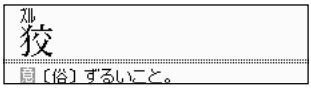
※この場合は、「ふろや温泉に長くはいったためにおこる、体の異常」「ふろや温泉に過度にはいったためにおこる、体の異常」の記述を省略するために使用しています。

②“〔〕”

用語の分野を略字で示す場合または、その語の用法などに関する注記を説明する場合に使用しています。

●用語の分野を示す。

【例】

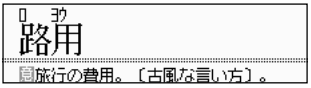


＊用語の分類は次の種類があります。

〔数〕----- 数字
〔陰〕----- 陰語
〔俗〕----- 俗語
〔文〕----- 文語・文章語

●その語の用法などを説明。

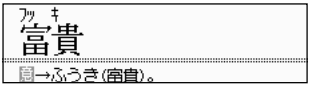
【例】



③“→”

見出し語に関連して、ほかの項目を参照する必要がある場合に相手の項目を示すために使用しています。

【例】



※意味は、ふうき(富貴)の見出し語に収録されているので、“ふうき”または“富貴”をなぞってマルチ検索してください。

漢和辞典編集要旨

収録範囲

この漢和辞典では親字(見出し語になっている漢字)としてJIS第1水準、JIS第2水準で規定されている漢字すべて6,355字を収録しています。

総画数

漢字の画数については特に規定されたものはありません。

この辞典は、JIS-X-0208-90 の漢字表にもとづいて、画数を決めています。

部首

(1) 分類

一般的に『康熙辞典』を原型として分類されています。ただし、検索のしやすさを考慮し便宜的にほかの部首のところに分類しているものなどがあります。

この辞典で採用している部首については、部首一覧表を参照ください(☞459ページ)。

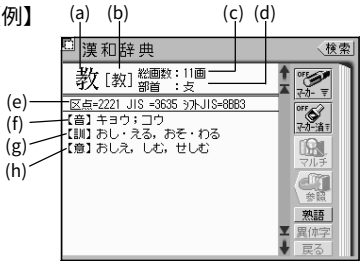
【例】

『腹』や『肩』などの漢字の部首は、本来“肉”(にく)ですが、検索のしやすさを考慮して“月”(つきへん)に収録されています。

見出し漢字情報

見出し漢字に関する情報は次のように表示されます。

【例】



(a) 見出し漢字(JIS第1水準、第2水準の漢字)

(b) 漢字の区別

区別には次のような種類があります。

[教]……教育漢字
[常]……常用漢字(教育漢字を除く)
[人]……人名漢字
[旧]……旧字体
[異]……異体字(意味はまったく同じだが、標準の文字と字体の異なる文字)

※常用外漢字は区別が表示されません([]として表示)。

(c) 見出し漢字の総画数
(d) 見出し漢字の部首
(e) 区点コード、JISコード、シフトJISコード
(f) 音読み
(“；”のすぐ後の読みは常用漢字表外の読みです。この例では、コウが常用漢字表外の音読みです。)
(g) 訓読み
“・”は振りがなと送りがなの区切りを示しています。
(h) 見出し漢字の意味
音読みのみの漢字の場合は、一般的な読みを示している場合もあります。

熟語情報

漢字検索の後、その漢字を使った必要性が高いと思われる熟語を表示させることができます
(ここで表示される熟語は国語辞典の見出し語に収録されているものです)。

英和辞典編集要旨

収録語について

この英和辞典において収録語とは、見出し語とその見出し語に付属する熟語・類語・対語・例文・日本語訳語・注釈語をさします。

見出し語数	約33,500語
熟語数	約4,000語
類語数	約1,400語
対語数	約1,500語
例文数	約10,400語
日本語訳語数	約103,200語
注釈語数	約10,300語
計	約164,400語

見出し語について

(1) 見出し語の選択
- この辞典は見出し語約33,500語をアルファベット順に収録しています。
- 見出し語は「学研電子英和辞典」から一般的で必要な基本単語と、それに準ずる使用頻度の高い単語を中心に選択しています。
- 専門用語、時事用語は収録しておりません。

(2) 英米のつづりの違いについて
米つづりを中心に収録し、比較的使用頻度の高い英つづりについては、別の見出し語として収録しています。
【例】“color”と“colour”(colorの英つづり)

(3) 主要な不規則変化形は、見出し語としてたてています。
【例】 **got**【[米]gɑt,[英]gɔt】
過 ①〔getの過去・過去分詞〕

(4) 発音記号・使用記号について
①発音記号やアクセントは、1991年時点英米で使用されていた発音にもとづいています(ほかの辞書とは、異なるものがあります)。
②発音記号は、原則的に国際音標文字(IPA)を使用しています。
③発音およびアクセントの位置は日本語訳語の最初にある品詞のものを表示しています(品詞によっては発音が大きく異なるものもあります)。
【例】
表示される発音記号　　発音の変わる品詞と発音記号
read【riːd】 ⟶ 形容詞【red】
④略語などの見出し語には発音記号のないものもあります。
【例】EC(欧州共同体　European Communityの略)
⑤発音記号内で使われる“[]”は米式発音・英式発音と強弱を示しています。
【例】 [米]……米式発音
[英]……英式発音
[強]……強めの発音
[弱]……弱めの発音

例文・熟語について

(1) 熟語の和訳中で意味が著しく異なる場合は“＼”で区切っています。
【例】 熟 (all) in a lather
◆汗びっしょりで＼(時間の切迫で)あせって,うろたえて

訳語中の記号について

(1) 訳語中に使われている“〈〉”は主に専門用語の分類や補足説明に使用しています。
【例】 **tobacco**【təbǽkou】
名 ①〈植物〉タバコの葉;タバコ

(2) 品詞などの表現に使われる記号と意味は次のとおりです。

名	名詞	代	代名詞
形	形容詞	副	副詞
動	動詞	自	自動詞
他	他動詞	自・他	自・他動詞
助	助動詞	冠	冠詞
接	接続詞	前	前置詞

感	感嘆詞・間投詞	単	三単現
過	過去形	分	過去分詞
過分	過去・過去分詞	進	動名詞・現在分詞
複	複数形	比	比較級
最	最上級	熟	熟語
例	例文		

和英辞典編集要旨

収録語について

この和英辞典において収録語とは、見出し語とその見出し語に付属する派生語、補足説明語、英語訳語をさし、収録語数は以下のとおりです。

見出し語数	約35,500語
派生語数	約8,100語
補足説明語数	約6,000語
英語訳語数	約47,300語
計	約97,000語

見出し語について

(1) 見出し語の選択
- ●この辞典は見出し語約35,500語を収録しています。
- ●見出し語は「学研電子和英辞典」から日常生活にかかすことができないと思われる語を中心に選択しています。
- ●専門用語、時事用語は収録していません。

(2) 見出し語の表記・送りがな・配列
国語辞典に準拠しています。

訳語について

(1) 見出し語に対応する英語は米つづりを中心に収録しています。

(2) 補足説明がある場合は“ ≪ ≫ ”で記述しています。

【例】
```
枝
  ◇a branch;a bough《大枝》;a twig
  《小枝》
```

(3) 日本語の語義が異なるものを派生語として“ [] ”で記述しています。

【例】
```
風紀
  ◇[道徳]morals
  ◇[規律]discipline
```

参　考

字形について

- ●国語・漢和辞典の見出し語に使われている漢字の字形は株式会社 学習研究社が JIS-X-0208-90 の漢字表に準拠して24ドットで作成したものを採用していますので、一般の辞典などで採用されている文字と字形が異なるものがあります。
- ●和英辞典の見出し語や各辞典の意味で使われている漢字は、国語・漢和辞典の見出し語に比べて少ないドット数で構成されているため、一部の漢字は略字を用いています。

【例】

活字	国語・漢和辞典 見出し語 (24ドット)	和英辞典 見出し語/ 各辞典意味 (12ドット)
鬱	→	→ 鬱

部首一覧表

【注意】 漢字の部首は代表的なものを採用していますので、検索した部首と一致しないものがあります。

画数	部首
1画	一 丨 丶 丿 乙 亅
2画	二 亠 人 𠆢 儿 入 八 冂 冖 冫 几 凵 刀 力 勹 匕 匚 十 卜 卩 厂 厶 又
3画	刃 辶 阝 口 囗 土 士 夂 夊 夕 大 女 子 宀 寸 小 尢 尸 屮 山 巛 川 工 己 巾 干 幺 广 廴 廾 弋 弓 彐 彡 彳 忄 扌 氵 犭 阝 斤 爫 灬 爿 牙 牛 犬 辶 王 礻 老 艹 无
4画	夂 子 彐 斤 止 心 氺 戈 户 手 支 攴 攵 文 斗 方 无 旡 日 曰 月 木 欠 歹 殳 毋 比 毛 氏 气 水 火 灬 爪 爫 父 爻 爿 片 牙 牛 犬 辶 王 礻 老 艹 无
5画	阝 无 旡 歹 氺 牙 玄 玉 瓜 瓦 甘 生 用 田 疋 疒 癶 白 皮 皿 目 矛 矢 石 示 禸 禾 穴 礻 立 罒
6画	瓜 竹 米 糸 缶 网 羊 羽 老 而 耒 耳 聿 肉 臣 自 至 臼 舌 舛 舟 艮 色 艸 虍 虫 血 行 衣 西 襾
7画	臼 舛 見 角 言 谷 豆 豕 豸 貝 赤 走 足 身 車 辛 辰 邑 酉 釆 里 臣 麦
8画	糸 金 長 門 阜 隶 隹 雨 青 非 食 黽 斉
9画	面 革 韋 韭 音 頁 風 飛 食 首 香
10画	韋 馬 骨 高 髟 鬥 鬯 鬲 鬼 竜
11画	魚 鳥 鹵 鹿 麥 麻 黄 黒 亀
12画	黄 黍 黒 黹 歯
13画	黽 鼎 鼓 鼠
14画	鼻 齊
15画	歯
16画	龍 龜
17画	龠

検索部首		検索漢字の部首
亻	→	人
小	→	小
川	→	巛
彐	→	互
氵	→	水
犭	→	犬
犭	→	犬
辶	→	辶
艹	→	艸
忄	→	心
攵	→	支
灬	→	火
爫	→	爪
王	→	玉
礻	→	示
耂	→	老
无	→	无
氺	→	水
罒	→	网
衤	→	衣
西	→	襾
臼	→	臼
麦	→	麥
食	→	食
黽	→	鼠
斉	→	齊
竜	→	龍
黒	→	黑
亀	→	龜
黄	→	黄

手順作成用コマンドについて

手順作成用コマンドは、インターネット接続時、無手順で接続するときにPPPに切り替わるまでの手順を作成するときに使用します。

記述のしかた

・コマンドの記述 …… 半角英字の大文字、小文字どちらでもかまいません。
・文字列の記述 …… 必ず ’ ’で囲みます。
文字列中にコントロールコードを記述するときは、コントロールコードの前に「¥」を入れます。

¥n、¥N	改行コード
¥r、¥R	0dh
¥m、¥M	0dh
¥000	10進数3桁で任意の(コントロール)コード(001～255)
¥I	設定されているID
¥P	設定されているパスワード
¥¥	「¥」の文字

文字列やコメントの中以外には、スペースを入れないでください。
・ラベルの記述 …… コマンド中で使用する ’ ” 、 ： ； は入れないでください。
1コマンドラインの長さは最大255文字です。
・書式の記述 …… []部分は省略できます。

コマンドリファレンス

： コマンド

ラベルを定義します。R、J、Lコマンドでジャンプする位置を定義します。

書式 ：ラベル
例 ：ERROR
：MAIL
：END

S コマンド

指定された文字列を送信します。1行分を送信するときは、改行コードも含めてください。

書式 S:文字列
例 S: ’¥P¥r ’

R コマンド

指定された文字列を指定された時間だけ待ちます。指定の文字列を受信できない場合、ラベルが指定されているとラベルのコマンドへ進み、指定されていないときは次のコマンドへ進みます。
秒数は、0～255の値を指定できます。

書式 R:秒数,文字列[,ラベル]
例 R:15, ’word ’
15秒間 wordを待ち、受信したらすぐに次のコマンドへ進み、受信しなくても15秒後に次のコマンドに進みます。
R:15, ’word ’,ER0
15秒間 wordを待ち、受信したらすぐに次のコマンドへ進み、受信しないときは15秒後にER0のラベルのコマンド行に進みます。

W　コマンド

指定された時間停止します。秒数は、0～255の値を指定できます。

書式　W:秒数

例　W:20

L　コマンド

指定されたラベルに無条件にジャンプします。

書式　L:ラベル

例　L:ERR

J　コマンド

指定した文字列を受信したときに、指定したラベルにジャンプします。指定した文字列を受信できないときは、次のコマンドへ進みます。分岐数は10以内です。

書式　J:秒数,文字列,ラベル[;文字列,ラベル;文字列,ラベル...]

例　J:10,'SHARP ',L1;'ZAURUS ',L2

’　コマンド

指定した文字列をコメントとして扱います。ほかのコマンドと異なり、「:」は必要ありません。文字列を　’ ’で囲む必要はありません。

書式　’文字列

例　’パスワード送信

P　コマンド

指定した時間ウィンドウを開き、指定した文字列を表示します。秒数は、0～255の値を指定できます。

¥rで表示を改行します。

書式　P:秒数,文字列

例　P:3,'エラー '

P:10,'エラーです¥r最初からやり直してください '

O　コマンド

通信途中でも強制的に回線を切断し、インターネット トップ画面に戻ります。

書式　O:

E　コマンド

手順を終了します。

スクリプトファイルの終了では、自動的に「E」コマンドが実行されます。

n=0ならば、手順を終了し、通信画面に移ります。

n=1ならば、手順を終了し、エラー表示します。

書式　E:[n]

● \n、\Nが使用できない場合は、\r、\Rあるいは\013\010をお使いください。

仕　様

形　　名	MI-P10	
品　　名	パーソナルモバイルツール	
ＣＰＵ	32 ビット RISC	
本体メモリー	16MB（DRAM 8MB、フラッシュメモリー8MB） ユーザーエリア：約 7MB（フラッシュメモリー） ※ご購入時の空き容量は約 5MB です(*)。	
表 示 部	320 × 240 ドット、3.8 型モノクロ 16 階調液晶	
使用文字種	総文字種：6,879 種（JIS 第 1 水準漢字：2,965、 JIS 第 2 水準漢字：3,390、非漢字 524 文字）	
内蔵辞書	約 145,000 語（人名・地名含む）	
手書認識文字種	4,082 種（JIS 第 1 水準漢字：2,965、 JIS 第 2 水準漢字：722、非漢字 395） 注）●◆■等の塗りつぶし記号は、候補文字として認識 1,035 種（漢和辞典の部首、部品検索で認識できる文字）	
ユーザー辞書登録可能語数	37 語（1 語当たり 10 文字の場合）	
１データ当たりの入力可能文字数	アドレス帳…約600文字	
	スケジュール…約500文字	
	メール • メール本文の最大長…約32,000文字（約64KB） • 本文と添付を含めた場合の最大…約512KB	
	アクションリスト…約500文字	
	レポート＆自由帳…約1,800文字	
	パーソナルデータベースⅡ • データベース作成件数…最大 255 件 • 1件当たりのサイズ　テキスト…最大約1,800文字　画像…最大約500KB （1 件としてテキスト、画像両方登録できる）	
統合辞典	**国語辞典語数**	見出し語…約 45,200 語
	漢和辞典語数	親字（見出し語になっている漢字）数…6,355 字 （JIS 第 1 水準 2,965 字、JIS 第 2 水準 3,390 字）
	英和辞典語数	見出し語数…約 33,500 語　熟語数…約 4,000 語 類語数…約 1,400 語　対語数…約 1,500 語 例文数…約 10,400 語　日本語訳語数…約 103,200 語 注釈語数…約 10,300 語
	和英辞典語数	見出し語数…約35,500語　派生語数…約8,100語 補足説明語数…約6,000語　英語訳語数…約47,300語

（＊）この製品の一部の機能がMOREソフトとしてユーザーエリアに入っています。容量の多いMOREソフトやデータは、当社推奨のコンパクトフラッシュメモリーカードでメモリーを拡張してからご利用ください。

電　卓	計算機能	10 桁（ 加減乗除、定数、べき乗、パーセント、メモリー計算、概数など）
時　計	時間制	12 時間制 /24 時間制切り替え可能
	世界時計	基準都市の日付・時刻と、主要239都市の中の1都市の日付・時刻を表示

内蔵 PHS アダプター部

通信速度	64kbps*（実効伝送速度58.4kbps）/32kbps（実効伝送速度29.2kbps） ※この通信速度は、PHS電話機、この製品およびシステムなどを含めた通信速度ではありません。
通信規格	PIAFS（PHSインターネットアクセスフォーラム標準）2.0/2.1版準拠
制御コマンド	ATコマンド

＊NTTドコモとDDIポケットの64Kデータ通信に対応

内蔵デジタル携帯電話アダプター部

通信速度	9600bps　※ この通信速度は、デジタル携帯電話、この製品およびシステムを含めた通信速度ではありません。
通信規格	RCR STD-27　V.42bis準拠
制御コマンド	ATコマンド

内蔵 cdmaOne アダプター部

通信速度	14.4kbps/9600bps　※ この通信速度は、cdmaOne方式のデジタル携帯電話、この製品およびシステムを含めた通信速度ではありません。
制御コマンド	ATコマンド

表示フォントについて

この製品では、当社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています（ただし、電卓やカレンダーなど一部LCフォントでないものもあります）。

LCロゴマークはシャープ株式会社の商標です。

共通部

電　源	DC3.7V 充電池：リチウムイオン充電池（EA-BL05）
使用時間	約 27 時間　（カレンダー画面を連続的に表示させた場合） 約 16 時間　（1 時間当たり、検索（呼び出し）を 5 分間、表示状態を 55 分間の割合で連続的に行った場合） 約 4 時間 30 分（PHS 電話機（＊1）と CE-PT1/CE-PT2/CE-PT3/CE-DL1 を使用してデータ通信（送受信）を連続的に行った場合） 約 6 時間　（デジタル携帯電話（＊2）と CE-CT1/CE-DT1/CE-DL1 を使用してデータ通信（送受信）を連続的に行った場合） ＊1： PHS 電話機には、ドッチーモ（PHS として使用した場合）を含む ＊2： デジタル携帯電話には、cdmaOne 方式のデジタル携帯電話、ドッチーモ（携帯電話として使用した場合）を含む （＊ CE-CT1 や CE-PT2 などのケーブル / アダプターと接続できる電話機については『取扱説明書（通信ガイド）』をご覧ください。） 約 1 時間 40 分（デジタルカメラカード CE-AG06 で連続的に撮影した場合） （注）上記の数字は、いずれも使用温度が 25°C で、充電池（EA-BL05）が満充電のときのものです。 使用時間は、周囲の温度などの使用条件によって変わります。
消費電力	0.9W
使用温度	0°C～ 40°C
外形寸法	クリアカバー取り外し時： 幅約 74 ㎜×奥行約 135 ㎜×厚さ約 15 ㎜（突起部を除く） クリアカバー取り付け時： 幅約 74 ㎜×奥行約 135 ㎜×厚さ約 18 ㎜（突起部を除く）
質　量	クリアカバー取り外し時： 約 140g クリアカバー取り付け時： 約 160g （充電池を含み、保護カードを含む）
付属品	充電池（EA-BL05）1個、ACアダプター（EA-66）、タッチペン（本体装着）、クリアカバー（本体装着）、保護カード（本体装着）、はじめにお読みください、インターネットかんたん接続設定、取扱説明書、取扱説明書（通信ガイド）、Sharp Space Townご入会の手引き、お客様ご相談窓口のご案内、MI-P10システムのご案内、保証書

その他の機能、端子

光通信機能	IrDA 方式（115kbps、IrTran-P 対応）、ASK 方式 通信可能距離：約 30 ㎝以下 ただし、ASK 方式の場合、約 5 ～ 30cm （本体側面を平行に向かい合わせ、光通信端子を直面させて通信する場合。表記の通信可能距離は、相手の機種により短くなる場合があります。）
接続端子種類	オプションポート 16（16 ピン端子） 携帯型キーボード用端子 AC アダプター端子
カードスロット	コンパクトフラッシュ™(＊)

＊：コンパクトフラッシュ（Compact Flash）はSanDisk Corporationの商標です。

充電池（EA-BL05）

使用電池	リチウムイオン充電池
外形寸法	長さ約 55 ㎜×幅約 31 ㎜×高さ約 5 ㎜
質　　量	約 18 g
公称電圧	DC3.7V
公称容量	550mAh
充電時間	満充電になるまでの時間(常温 25℃での目安) 約 3 時間
使用温度	0 ～ 40℃
充電温度	5 ～ 35℃
充放電回数	約 300 回

AC アダプター（EA-66）

入　　力	100V　50/60Hz
出　　力	DC4.5V　500mA
外形寸法	幅約 50 ㎜×奥行約 41 ㎜×高さ約 72 ㎜
質　　量	約 300 g
コード長	約 1.9 m

記憶できるデータ数のめやす

（それぞれの機能単独で、本体メモリー領域をすべて使用した場合（この製品にあらかじめ入っているMOREソフトなどはすべて削除した状態）。記載の数字は条件によって変わります。）

アドレス帳

顔写真なし	約22,600件
顔写真あり	約 1,700件

（ご注意） 同じ機能（アドレス帳やスケジュールなどの単位）のデータ登録件数が約5000件を超えると、データの並べ替えや絞り込みの処理時間、データ通信時間が非常に長くなります。同一機能へのデータ登録件数は約5000件までにすることをおすすめします。

※ パーソナルデータベースⅡの場合はさらに遅くなります。

さくいん

記号・その他

◌(スクロールボタン) ..... 25、41、150
16ピン端子 25
1日表示 193
50音ボード 81
ACアダプター 31
ACアダプタージャック 25
ASK 403
BCC: 110
CC: 110
CE-150TS 390
CE-155TS 390
CE-170TS 390
CE-400L 414
CE-AG06 285
CE-HA15 ..... 390、414
CE-KB1 87
CE-P10PK 390
Cookie 159
CSV形式 420
EA-BL05 441
GIF形式 ..... 123、420
ID入力ボード 145
IrDA 403
IrTran-P 411
JPEG形式 ..... 123、420
MIME 121
MOREインデックス画面 40
MOREソフト ..... 152、296
MOREドライバー 300
PC受信箱 398
PC送信箱 397
PCリンク 389
PIシリーズ以外からのデータ移行 428
PIシリーズからのデータ移行 425
POP認証 122
PowerPIMMリンク 391
Powerリンク 391
SSL ..... 155、159
TO: 110
URL ..... 139、149
VE-LC2 411
VP-EC2 411

あ行

アイコン 54
明るさ 292
アクションプランナー 338
アクションリスト 210
アクションリストデータの表示/非表示 202
宛先選択 109
宛先直接入力 111
アドレス帳 161
アラート音 360
アラーム音 ..... 208、360
異体字検索 312
異体字変換 346
一時解除
　シークレット 369
　スケジュールアラーム 209
　全機能ロック 372
一覧画面
　項目の表示幅変更(アドレス帳) 180
　データ選択 58
　表示項目の変更(アドレス帳) 180
一括送信 102
移動
　1データ 351
　アイコン 50
　アクションリスト 212
　カーソル 73
　各機能間 352
　情報ファイル 328
　スケジュール 198
　つまみ 59
　範囲データ 271
　マークページ 143
　文字列 350
イメージ情報の制限 140
イメージ表示 156
インターネット 126
インターネット番組表 130

インターネットブラウザ 126
インターネットライブラリ 160
インデックス ..... 54、55
インデックス画面 32
インポート 421
英和辞典 ..... 304、313
液晶パッド 410
エクスポート 422
オートパワーオフ 357
オープニング音 360
オープニング画面 279
送り出し（パソコンデータ） 422
お好みメニュー 60
お知らせメール 104
オプションポート16（16ピン端子） 25
オプションポート16 414
オリジナルインデックス画面 50
オリジナルフォーム 223
音訓検索 308
音訓変換 76
オンライン辞典 317

か行

カーソル 71
カード 375
カードキー 25
カードデータロック機能 380
カードロックスイッチ 25
開始日順 213
会社一覧 169
会社別個人一覧 169
会社名変更（アドレス帳） 186
解除
　シークレット 370
　スケジュールアラーム 209
　全機能ロック 373
回転 272
顔切出し 183
顔写真付きのアドレス帳 295
学習機能 75
画数検索 310
拡大表示 53
画質 292
画像（デジタルカメラ） 292
画像保存 153
カタカナ→ひらがな変換 346
かな漢字変換 75
画面（表示部） 25
カレンダー 192
カレンダー開始曜日 202
漢字検索 303
漢字コード（シフトJIS/EUC）の切り替え 149
漢字コード変更 149
漢字変換中の修正 79
漢和辞典 ..... 303、308
キータッチ音 360
期限日順 213
記号入力ボード 86
基準フォントサイズ 156
起動画面設定 51
記念日 204
機能キー 25
機能別データ受信 432
機能別複製 387
逆送りキー ..... 25、57
キャッシュ 158
旧字体への変換 346
休日解除 200
休日設定 200
行間 272
切り替え
　インデックス画面 34
　入力ボード 66
切キー 25
切り取り 350
クイックパス 153
クイックメモ 281
区切り線 180
矩形切出し 183
区点コード表 453
区点入力ボード 91
組み合わせ検索 312

組み込み（MOREドライバー） 300
クリアカバー ..... 25、27
繰り返し（スケジュール） 197
グループ登録 110
グループ登録（メールアドレス） 177
クレードル 390
クローズボタン 57
計算 ..... 324、353
携帯型キーボード 87
携帯型キーボード用コネクター 25
ケーブル通信 414
決定ボタン ..... 25、44、150
検索 340
　アクションリスト 343
　アドレス帳 343
　スケジュール 343
　パーソナルデータベースII 343
　フォトメモリー 343
　レポート&自由帳 343
検索語 342
効果音 360
後退 73
項目削除 ..... 222、254、261
項目識別 257
項目挿入 222
項目追加 261
項目編集 ..... 254、260
項目名 256
項目名変更 221
項目リスト 254
国語辞典 ..... 302、306
語尾検索
　英和辞典 315
　国語辞典 306
　和英辞典 316
コマンドリファレンス 460
コンタクト登録 172
コンパクトカードスロット 25
コンパクトフラッシュメモリーカード 375
コンマ 258

さ行

サーバーのメールを受信後 ..... 120、122
再送 103
採用 71
ザウルス認証情報 393
ザウルスパワーコネクション 389
サウンド設定 360
作業用メモリー 365
削除
　MOREソフト 300
　MOREドライバー 301
　アドレス帳 171
　オリジナルフォーム 226
　画像（パーソナルデータベース） 245
　記念日 206
　クイックメモ 284
　項目削除 222
　受信メール 116
　情報ファイル ..... 336、337
　スケジュール 196
　データ 355
　パーソナルデータベースII 234
　範囲データ 271
　フォトメモリー 268
　未送信/送信済みメール 113
　ユーザー辞書登録 359
削除の禁止 255
撮影 288
撮影可能枚数 291
撮影モード ..... 285、292
サマータイム 323
参照用データ 337
シークレット 367
シークレットデータ 369
シークレットデータ検索 342
シークレットデータ消去 366
時刻スタンプ 349
時刻設定 322
自動受信 ..... 122、135
自動節電機能 ..... 30、357

自動送信 135
自動文章追加 ..... 119、121
自分宛にも送信 ..... 119、121
時報 360
絞り込み
　アドレス帳 344
　情報ファイル 331
　スケジュール 344
　レポート&自由帳 344
シャッターボタン 285
週間グラフ表示 195
週間表示 194
修正
　アドレス帳 171
　オリジナルフォーム 226
　会社名変更（アドレス帳） 186
　画像（パーソナルデータベース） 245
　クイックメモ 284
　データ 355
　入力行での修正 73
　パーソナルデータベースII 234
　フォトメモリー 268
　未送信メール 112
　ユーザー辞書登録 359
充電 438
充電池
　交換手順 444
　充電時期 437
　使用できる充電池 441
充電ランプ 25
重要度順 213
熟語検索
　英和辞典 315
　漢和辞典 312
　国語辞典 307
縮小表示 274
受信 114
順送りキー ..... 25、57
条件設定
　インターネット 156
　オプションポート16 415
　メール ..... 119、121
省電力設定 357
情報ファイル 326
常用語ボード 91
除外
　クイックメモ 284
　添付データ 99
初期化 435
所有者情報 92
処理済み 211
新規作成
　アクションリスト 210
　アドレス帳 162
　クイックメモ 281
　情報ファイル 327
　スケジュール 188
　パーソナルデータベースII 252
　フォーム 223
　フォトメモリー ..... 265、269
　レポート&自由帳 214
シンクロナイズ 394
人名変換 80
数字入力ボード 85
ズーム 292
スクロールアイコン 56
スクロールバー ..... 54、56
スクロールボール 56
スケジュールアラーム 207
スケジュール 187
スタンプ 269
ステータス表示 59
スペル 304
スライドショー 275
接続 148
設定
　スケジュールアラーム 207
　パーソナルデータベースII 254
　マークページ 141
　録画設定 138
前回検索語 303
全角←→半角変換 347

全機能ロック 371
選択受信 114
選択送信 103
全データ追加受信 429
全データ消去 366
総画数検索 310
操作設定 157
操作メニュー 46
操作メニュー キー 25
送信 96
　一括送信 102
　インターネットのメール送信 154
　再送 103
　選択送信 103
　他機能のデータ 98
　添付データ 99
送信後メールを自動受信 ..... 120、122
ソート 256

た行

タイトル 139
タイトル入力（フォトメモリー） 266
タイトル変更（情報ファイル） 336
タイプライターボード 83
ダウンロード ..... 152、153
タッチパネルキー ..... 25、45
タッチパネル調整 361
タッチペン ..... 25、28
タブ ..... 54、55
断片化 365
チェックリスト 185
地名変換 80
抽出 338
中断 キー 25
ツールインデックス画面 39
ツールパレット ..... 149、156
ツールパレット設定 361
つまみ 59
停止（MOREソフト） 299
デイリーアラーム 323
デイリーアラーム音 360
データ異常 434
データ交換 399
データの選択 58
データベース名変更 263
データ編集 346
手書き 265
手書認識できる文字 451
手書認識の詳細 445
手書認識ボード 68
出口案内 278
デジタルカメラ 285
手順作成用コマンド 460
展開 298
電源交換スイッチ 25
電源の入/切 29
電子アルバム 238
転送 118
電卓 ..... 324、353
電池ぶた 25
添付データ 99
電話する 181
電話帳（会社）一覧 168
電話帳（自宅）一覧 167
統合辞典 302
統合辞典（編集要旨） 455
登録
　情報ファイル 328
　パスワード 367
　ホームページ 148
　マークページ 142
時計 321
閉じる ボタン 57
取り付け/取り外し
　カード ..... 376、377
　デジタルカメラ 286
取り外し（MOREドライバー） 301

な行

内蔵フォーム 236
長いメールはスキップ ..... 120、122
なぞってインターネット 148
なぞってキーワード検索 345
なぞる ..... 58、151
ナビゲーション 63
並べ替え 256
入力
　ID入力ボード 145
　インターネットの文字入力 151
　検索語 342
　時刻 349
　パーソナルデータベースII 228
　日付 349
　文字（フォトメモリー） 272
入力行での修正 73
入力タイプ ..... 256、258
入力ボード 64
入力文字制限 257
年月日 199
ノーマル 292

は行

パーソナルデータベースII 227
背景色 270
配達証明付き送信 ..... 120、121
パスワード
　ID入力ボード 145
　カードデータロック機能 380
　シークレット 367
　パスワード変更/消去 374
　録画設定 139
パソコンデータ 420
パソコンリンク 395
パソコン連携キット 390
バックアップ ..... 379、382
貼り込み
　パーソナルデータベースII 239
　文字列・データ 350
反転 272
ハンドストラップ取り付け部 25
光通信 401
光通信端子 25
日付スタンプ 349
日付変更（フォトメモリー） 266
描画色 270
表記検索
　国語辞典 307
　和英辞典 316
表示
　アドレス帳 167
　記念日 206
　クイックメモ 283
　コンタクト履歴 174
　撮影した画像 294
　受信メール 115
　情報ファイル ..... 330、332
　スケジュール 192
　パーソナルデータベースII ..... 231、246
　フォトメモリー 267
　ホームページ 148
　マークページ 143
　未送信/送信済みメール 112
　レポート&自由帳 217
　録画したホームページ 137
表示形式 255
表示項目変更 ..... 180、233
表示設定 156
表示濃度調整 357
表示幅変更 ..... 180、232
表示変更（カレンダー開始曜日） 202
ひらがな→カタカナ変換 346
便せん 100
ファイル 326
ファイン 292
フォーカス調整ダイヤル ..... 285、289
フォーム 236
フォーム作成（パーソナルデータベースII） 248
フォーム作成 223
フォーム変更 220

フォトメモリー 264
複写
1データ 351
URL 149
各機能間 352
スケジュール 198
範囲データ 271
文字列 350
複製
1データ 352
情報ファイル ..... 334、335
パーソナルデータベースII 262
部首一覧表 459
部首画数検索 311
部首検索 309
部品検索 311
ブラウザ機能 127
ブランクワード検索 314
フルスクリーン表示 274
プレイ インデックス画面 36
プレイ インデックスボタン 25
プログラム異常 433
文節区切り変換 78
ページ更新 159
ページ名 148
ページめくり 57
ヘッダーをMIMEに変換 121
変化形検索 315
変換
異体字変換 346
音訓変換 76
かな漢字変換 75
人名変換 80
地名変換 80
文節区切り変換 78
郵便番号逆変換 ..... 179、349
郵便番号変換 ..... 178、348
連文節変換 77
編集(インデックス画面) 48
返信 117
ホームインデックス1画面 37
ホームインデックス2画面 38
ホームインデックスキー 25
ホームページ登録 148
保管 383
保護カード 25
補助ソート項目 256
保存
インターネット画像 153
保存先設定 157
ボタン 54
クローズボタン 57
後退 73
採用 71
削除 73
中止 55
登録 55
閉じるボタン 57
入力 71
ポップアップメニュー 55

ま行

マーカー 319
マークページ 141
マルチ検索 319
未処理 211
見出し語検索 304
見出し語語尾検索 315
見出し語表記検索
国語辞典 307
和英辞典 316
見出し語読み検索
国語辞典 302
和英辞典 305
名刺交換 418
メールアドレス ..... 109、175
メール自動分類 116
メール条件設定 121
メールデータの表示/非表示 203
メールを送信前にPOP認証 122
メッセージナビ 63
メモリー拡張 378

メモリー管理 363
メモリー計算 325
メモリー整理 365
戻る（電源）ボタン ..... 25、44

や行

ユーザー辞書登録 358
ユーザー辞書ボード 91
ユーザー設定 356
ユーザー名 139
優先ソート項目 256
優先文字コード 156
郵便番号逆変換 ..... 179、349
郵便番号変換 ..... 178、348
容量 158
呼び出しキー 25
読み検索
　統合辞典 302
　和英辞典 305
読み検索ボード 167
読み項目 257
読み込み
　MOREソフト 296
　パソコンデータ 421
予約録画 130

ら行

リストア 382
リセット操作 434
履歴 174
リンクページの自動取り込み 140
レイアウト（レポート&自由帳） 219
例文検索 315
レポート&自由帳 214
連写 293
レンズ 285
連文節変換 77
ローマ字→かな変換表 450
録画 130
録画日 139
路線図 278

わ行

ワープロ通信 416
ワイルドカード検索 313
和英辞典 ..... 305、316

アフターサービスについて

◆保証について

1．この製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

2．保証期間はお買いあげの日から１年間です。
保証期間中でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

3．保証期間後の修理は……
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

◆修理を依頼されるときは

1．「困ったときは」(☞次ページ) をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

2．それでも異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店に**お持込み**のうえ、修理をお申しつけください。**ご自分での修理はしないでください。**

3．アフターサービスについてわからないことは……
お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのシャープお客様ご相談窓口へお申しつけください。別添の「お客様ご相談窓口のご案内」のとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

困ったときは

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、前ページの「アフターサービスについて」をご覧のうえ修理を依頼してください。

こんなとき	ここをお確かめください
●戻る(電源)ボタンを押しても何も表示されない(電源が入らない) **●文字などが表示されない**	●本体裏側の電池交換スイッチは「ロック(使用時)」側になっていますか(☞435ページ)。 ●充電池が消耗していませんか(☞437ページ)。 ●リセット操作を行ってください(☞434ページ)。 ●表示濃度が薄すぎると、何も表示されていないように見えることがあります。表示濃度を調整してください(☞357ページ)。
表示が薄いまたは濃い	●表示濃度を調整してください(☞357ページ)。
●すべてのキーが動かない **●データを正常に表示しない**	●「異常が起きたとき」の操作をよく読んでリセット操作を行ってください(☞433ページ)。
「メモリーがたりません」や「メモリーが不足しています」と表示される	●メモリー上の空きエリアの断片化が進んでいることが考えられます。**ホームインデックス**キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で**メモリー管理**アイコン、**メモリー整理**にタッチしてメモリー整理を行ってみてください。 ●不要なデータを削除し、メモリー整理を行ってください。 ●不要なデータを削除したり、メモリー整理を行っても「メモリーがたりません」などと表示されるときは、作業用メモリーの断片化が進んでいることが考えられます。「異常が起きたとき」の操作をよく読んでリセット操作を行ってください(☞434ページ)。
「作業用メモリーがたりません」などと表示される	●起動しているMOREソフトを停止して作業用メモリーを空けてください(☞299ページ)。 ●リセット操作をしてみてください(☞434ページ)。
「充電池の残量が少ないためこの機能は実行できません...」と表示される	●充電池の残量が少なくなると、通信やカードへのデータの複製や保存、メモリー整理など一部の機能が使えなくなります。充電池を充電してください。
スケジュールアラームを設定したが、アラームが鳴らない	●**ホームインデックス**キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で**ユーザー設定**アイコン、**サウンド設定**にタッチし「アラーム音」の**入**にタッチしてください。
「シュルシュル」という音がする	●静かな場所でご使用のとき、「シュルシュル」という音が聞こえる場合がありますが、これは構成回路の動作音であり、故障ではありません。

付録

こんなとき	ここをお確かめください
キーを押しても音が鳴らない	● **ホームインデックス**キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で**ユーザー設定**アイコン、**サウンド設定**にタッチし「キータッチ音」の**入**にタッチしてください。
急に電源が切れた	● 自動節電機能(オートパワーオフ)が働くと電源が切れます(☞357ページ)。 ● 充電池が消耗すると、電源が切れます。ACアダプターを使って充電してください(☞437ページ)。 ● 強い静電気や電気的なノイズなどを受けたときに、電源が切れることがあります。 ● 作業用メモリーの断片化が進むと、電源が切れることがあります。再度電源を入れると、作業用メモリーの断片化が解消され、使用することができます。このとき、時刻設定画面が表示されますので、**確認**にタッチしてください。
タッチペンで画面にタッチすると、1、2秒間隔で電源が入りそうになるが、入らない	● 充電池が消耗しています。ACアダプターを使って充電池を充電してください。

● 「データの登録、一覧表示や画面の切り替わりが遅い」、「ほかの画面から戻ってきたとき、前の状態に戻らない」、「検索や絞り込みができない」、「各種の一覧表示ができない」、「複写や貼り込みなどができない」、「全角←→半角変換やひらがな←→カタカナ変換ができない」、「その他、一部の機能が働かない」などのときは、本体またはカードのメモリーの空き容量が足りません。不要なデータを削除し、**ホームインデックス**キーに数回タッチし、ツールインデックス画面で**メモリー管理**アイコン、**メモリー整理**にタッチしてメモリー整理を行ってください(☞365ページ)。

●インターネット、メールを使用しているとき

こんなとき	ここをお確かめください
接続先に電話がかからない	● 接続ケーブル/アダプターなどが正しく接続されていないことが考えられます。正しく接続されていることを確認します。 ● 本体の充電池の消耗が考えられます。本体に充電池の充電を促すメッセージやマークが表示されているときは、ACアダプターを使って充電してください。 ●「接続機器」の設定は正しいですか。お使いの通信機器に合わせて、「携帯電話[CE-DT1]」、「PHS 64K(ドコモ)[CE-PT1]」などを選びます(☞『取扱説明書(通信ガイド)』28ページ)。 ● デジタル携帯電話側の設定をFAX送信モードにしてデータ通信していませんか。デジタル携帯電話側のデータ通信モードとFAX送信モードの両方を「OFF」に設定してみてください(デジタル携帯電話側の設定のしかたは、デジタル携帯電話の取扱説明書をご覧ください)。 ● 本体に正しい電話番号が入力されているか確認してください。デジタル携帯電話やPHS電話機では、同一市内でも市外局番から入れないと話し中になります。 ● デジタル携帯電話やPHS電話機などのディスプレイ表示部に「圏外」の表示が出ていませんか。「圏外」の表示が出ている所では電波が届きませんので、電波が届くところまで移動してご使用ください。「圏外」を表示していない場合でも、ノイズ等の影響で電波の状況が悪いときがあります。そのようなときは、時間帯や場所を変えてみてください。 ● PHS電話機側の設定が、電話をかけるときにPHSサービスが選ばれるモードになっていますか。コードレス電話機として使用しているとき(たとえば32Kデータ通信に対応していないホームステーションやオフィスステーションを使用しているときなど)はデータ通信ができません(設定のしかたについては、PHS電話機の取扱説明書をご覧ください)。 ● PHS接続ケーブル(アファ)/アダプターを使用して接続するとき、接続先がPIAFS(PHSインターネットアクセスフォーラム標準)に対応していますか。PIAFSに対応していないときは、PHSサービス会社のプロトコル変換装置(PTE)を経由して接続する必要があり、PHS経由先設定を行います(☞『取扱説明書(通信ガイド)』144、145ページ)。 ● モデムカードを使用している場合、電話回線の種類が正しく設定されているかを確認します。接続機器登録/修正画面の「ダイヤル」の項目で、ご使用の電話回線に合わせて「トーン」「パルス20」「パルス10」のいずれかを設定します。 ● モデムカードを使用している場合、ディジタル回線に接続していませんか。ディジタル回線では通信できませんのでご注意ください。

こんなとき	ここをお確かめください
接続先に電話がかからない	● モデムカードを使用している場合、内線から接続しているときは、市外局番がついていると接続できないことがあります。市外局番を外して接続してみてください。 ● 海外へ送信したり、NTT(日本電信電話株式会社)の支店、営業所から遠距離であったりしませんか。回線の状態によって正常に通信できないことがあります。
途中で電話が切れたり、データが乱れたりする	● デジタル携帯電話やPHS電話機などのバッテリーの消耗が考えられます。デジタル携帯電話やPHS電話機などのバッテリーの容量を確認してください。 ● 磁石などの近くではありませんか。磁気の影響で本体のデジタル携帯電話アダプター/PHSアダプター/cdmaOneアダプター機能が正しく動作しない場合があります。 ● PHS電話機を利用している場合、通信サービスの接続先が使用しているモデムとPTEとの相性により、接続できない場合があります。接続先を変えてみてください。 ● キャッチホンではありませんか。 キャッチホンの回線でご使用の場合、通信中に電話がかかってくると、データが乱れたり回線が切断されたりすることがあります。このときは、もう一度通信し直してください。
通信中に急に本体の電源が切れる	● データ通信を行っているとき、急に本体の電源が切れた場合は、本体の充電池が消耗していることが考えられます。充電池を充電して、再度通信してみてください。
「モデムが接続されていません」や「モデムを認識できません」と表示される	● 接続ケーブル/アダプターなどと本体は正しく接続されていますか。 ● 本体の充電池が消耗していることが考えられます。本体の充電池を充電して、再度通信してみてください。
デジタル携帯電話に「ブースターハシヨウデキマセン」や「メッセージ」などと表示される	● デジタル携帯電話からデジタル携帯電話接続ケーブルが外れていませんか。本体とデジタル携帯電話の電源を切り、正しく接続し直してください。
接続先に電話はかかっても、目的の通信サービスに入ることができない	●「接続できません」、「パスワードが間違っています」、「設定に誤りがあります」(インターネット)などのエラーメッセージが表示され、通信サービスに入れない場合は、IDやパスワードを確認してください(数字の「0」(ゼロ)と英字の「O」(オー)、数字の「1」と英字の「l」(アイ)などの区別も確認してください)。

こんなとき	ここをお確かめください
接続先に電話はかかっても、目的の通信サービスに入ることができない	● メールやインターネットの場合は、目的の通信サービスの通信条件と合っているかを確認します。接続条件の設定画面の各設定項目で通信サービスの通信条件を設定してください(Sharp Space Townの場合は**標準設定**にタッチします)。 ● 接続手順の記述がまちがっていませんか。接続先の電話番号を変更したときには、接続手順がかわる場合があります(☞『取扱説明書(通信ガイド)』134ページ)。
PHSで64Kデータ通信ができない	● 64Kデータ通信に対応しているPHSを使用していますか。 ● 64Kデータ通信に対応したエリアで通信していますか。PHSのサービスエリアでも64Kデータ通信サービスに対応していないエリアがあります。64Kデータ通信に対応したエリアかどうかは、各通信サービス会社にお問い合わせください。 ● 接続先として、64KPIAFS対応のアクセスポイントの電話番号を指定していますか。DDIポケットのH"の場合は64KPIAFS(2.1版)です。プロバイダーによっては、64KPIAFSに対応しているアクセスポイントがない場合があります。アクセスポイントについては、各プロバイダーにお問い合わせください。
何度接続しても「話し中です」と表示され、通信サービスにつながらない	● 通信サービスの利用者が集中している時間帯では、なかなかつながらないことがあります。別のアクセスポイントへの接続を試みるか、早朝などすいている時間帯にかけ直してください。 ● モデムカードを使用している場合、電話回線の種類の設定が誤っていると、「話し中です」が表示されることがあります。接続機器登録/修正画面の「ダイヤル」項目の設定が正しいかどうか確認してください。
「接続できません」や「通信エラーが発生しました」、「通信異常が発生しました」などと表示され、通信サービスにつながらなかったり、通信途中で回線が切断される	● 回線の状態が悪いと、なかなかつながらなかったり、通信途中で回線が切断されることがあります。接続機器登録/修正画面で「転送スピード」の設定を下げ、再度接続してみてください(☞『取扱説明書(通信ガイド)』138ページ)。 ● 電話番号の先頭にスペースが入っていませんか。電話番号の先頭にスペースが入っていると接続できません。
自宅からはうまくメール送受信などができたのに、会社の電話回線を使うと接続できない(モデムカード使用時)	● 会社の電話回線が構内交換機(PBX)に接続されていませんか。構内交換機に接続されている電話回線ではうまく通信できないことがあります。構内交換機を通っていない電話回線を使ってみてください。
会社からはうまくメール送受信などができたのに、自宅の電話回線を使うと接続できない(モデムカード使用時)	● 会社の電話回線が0発信など外線番号の必要な電話であり、外線番号の設定が**要**になったままではありませんか。 **否**に設定し直してください。

●インターネットを使用しているとき

こんなとき	ここをお確かめください
接続しようとすると「接続手順不良発生」または「設定に誤りがあります」のメッセージが表示されて接続できない	● 回線が混雑している時間帯や、回線状況によっては、このようなエラーが発生することがあります。早朝などすいている時間帯にアクセスするか、アクセスポイントを変えてみてください。
通信中にキー入力を受けつけなくなり、動作が止まってしまった	● **中断**キーにタッチしてください。それでも症状が改善されないときは、**接続を切る**に続いて**はい**にタッチしてください。通信サービスとの接続および電話回線を切ることができます。
ホームページを表示できない	● URLがまちがっていませんか。 大文字と小文字のまちがいや、「.」と「,」、「：」と「；」、「＿(アンダーバー)」と「-(ハイフン)」などをまちがっていませんか。ツールパレットの**開く**にタッチして、URLを確認してください。 ● ネームサーバーを正しく設定していますか。ネームサーバーが設定されていないとホームページに接続できません。接続条件設定(基本1)画面を確認してください(☞『取扱説明書(通信ガイド)』131ページ)。 ● Proxyサーバーを正しく設定していますか。Proxyサーバーの設定がまちがっていると、ホームページに接続できません。接続条件設定(基本2)画面を確認してください(☞『取扱説明書(通信ガイド)』133ページ)。 ● 指定したホームページが込み合っている可能性があります。しばらくしてから、もう一度、接続してください。
ホームページを表示するまでに時間がかかる	● 接続先のサーバーにアクセスが集中している可能性があります。しばらくしてから、もう一度接続してみてください。 ● デジタル携帯電話は通信速度が9600bpsのため、画像が表示されるホームページを見ようとすると読み込みに時間がかかります。条件設定(表示設定)画面で「イメージ表示」を「しない」に設定してイメージ(画像)を表示しないようにするとページの読み込みが早くなります(☞156ページ)。
ホームページからリンクできない	● リンク先が込み合っている可能性があります。しばらくしてから、もう一度、接続してください。 ● リンク先のアドレスが変わっていたり、リンク先がなくなっていることが考えられます。
画像データが表示されない	● サイズの大きい画像データを表示させることはできません。 ● この製品で表示できる画像データはGIF形式、JPEG形式のデータです。それ以外の形式のデータを表示させることはできません。ただし、GIF形式、JPEG形式のデータでも種類によっては、表示できないものもあります。

こんなとき	ここをお確かめください
画像データが表示されない	● URLの後に、/（スラッシュ）がついていないと画像が表示できないページがあります。ツールパレットの**開く**にタッチして、URLを確認してください。
ホームページの文字が正しく表示されない	● 海外のホームページなどには、この製品で使用していない文字コードが使われていることがあります。このような文字コードは、文字化けを起こします。接続しているホームページを確認してください。
予約録画で取り込んだページをすべて表示できない	● リンクしているページの取り込みを設定していないと、リンクしているページを取り込みません。くわしくは140ページをご覧ください。
登録にタッチして取り込んだページや予約録画で取り込んだページをすべて表示できない（インターネットライブラリ使用時）	● インターネットライブラリの1データとして保存できる最大のサイズは512KBです。取り込む1つのホームページのサイズがこれより大きい場合は、そのホームページのデータをすべて取り込むことができません。くわしくは160ページをご覧ください。 ● メモリーの空き容量が取り込みたいホームページのサイズより少ないと、すべて取り込むことができません。メモリー使用量をご確認ください。
ホームページの表示が、この製品とパソコンとで異なる	● この製品が採用しているホームページの表示のしかたを規定した仕様は、パソコン用の代表的なインターネットブラウザの仕様と一部異なっています。そのため、パソコン用のブラウザで表示できても、この製品では表示できなかったり、表示のしかたが違ったりします。くわしくは129ページをご覧ください。
入会したプロバイダーのサーバーに接続できない	● 認証方式の違い、使用の回線の違い（この製品ではダイヤルアップIP接続のみ）など、プロバイダー固有の接続条件により、接続できない場合があります。 ● プロバイダーが使用しているモデムとの相性により、接続できない場合があります。 ● プロバイダーのアクセスポイントの電話番号や、ネームサーバーのIPアドレスが変更されていると、接続できません。プロバイダーにお問い合わせください。
NTTドコモのモペラに接続できない	● アクセスポイントの先頭に「186」をつけていますか。NTTドコモの「モペラ」に接続する場合は、アクセスポイントの先頭に「186」が必要です。

●メールを使用しているとき

こんなとき	ここをお確かめください
メールの送信ができない	●「話し中です」、「接続できません」のエラーメッセージが表示された場合、接続機器登録/修正画面の接続する機器やダイヤルの選択がまちがっていませんか。正しく選択してください(☞『取扱説明書(通信ガイド)』138ページ)。 ● 接続先の電話番号は、正しい電話番号が設定されていますか。接続の前に確認してください。 ● メールで「設定に誤りがあります」のエラーメッセージが表示された場合、コネクションIDやコネクションパスワードなどがまちがっていませんか。接続条件設定(基本1)画面を確認してください(☞『取扱説明書(通信ガイド)』131ページ)。 ● プロバイダーによっては、メール受信してからでないと送信できない場合があります。条件設定(Internet)画面で「メールを送信前にPOP認証」を**する**に設定してみてください(☞122ページ)。
メール送信に時間がかかる	● 接続完了後メール送信開始までに時間がかかる場合は、条件設定(Internet)画面で「メールを送信前にPOP認証」が**する**に設定されていませんか。**しない**に変えてみてください(☞122ページ)。なお、プロバイダーによっては**する**に設定しないと送信できない場合があります。
メールが宛先に届かない	● 宛先のメールアドレスは正しいですか。確認してください。
送信終了後、「送信できないデータがありました」の画面が表示される	● 添付データの件数が多い場合など、添付データによっては送信できない場合があります。この場合は、添付を分割して数回に分けてメールを送ってください。
メールが受信できない	●「接続できません」のエラーメッセージが表示された場合、IDやパスワード、メールアカウント、メールパスワードなどがまちがっていませんか。メールでは、接続条件設定(基本2)画面で、メールアカウント、メールパスワードを確認してください。
受信したメールが一部しか入っていない	● 受信メールのサイズが800KBを超えている場合やメールの条件設定で、「長いメールはスキップ」の設定を「有」にしている場合は、メールの一部のみ受信します。パソコンでメール受信するか、「長いメールはスキップ」の設定を「無」にするか、送信者側に800KB以下のメールにして再送してもらってください。

こんなとき	ここをお確かめください
受信メールに添付データが入っていない	● 添付データの１件のサイズが約512KB以上の場合は、その添付データを受信できません。送信側に確認してください。
受信メールの本文やタイトルが文字化けして読めない	● 半角カタカナやJISコードにない半角ひらがな・特殊文字・絵記号などの文字は正しく受信できません(☞123ページ)。送信側に確認してください。
受信メールの添付データが文字化けなどでうまく受信できない	● この製品で受信できるデータ以外の拡張子を持つファイルではありませんか(☞124ページ)。送信側に確認してください。 ● MIME以外の形式で送信されていませんか。送信側に確認してください。 ● 添付データのファイル名に全角文字を使用したり、長いファイル名を使用していませんか(☞124ページ)。送信側に確認してください。
「メールパスワードの設定が間違っています」と表示される	● メールの選択受信などを行っている途中で電話回線が切れ、すぐに再度、選択受信を行うと、「メールパスワードの設定が間違っています」と表示されメールの受信ができないことがあります。このような場合は、電話回線が切れたのち10分程度待ってから再度接続してください。 ● @niftyでインターネットには接続できるが、メール送受信ができない場合、@niftyサービスセンター(0120-816-042)までお問い合わせください。

●光通信をしているときに

こんなとき	ここをお確かめください
光通信ができない	● 距離は約5～30cmになっていますか(☞401ページ)。 ● お互いの光通信端子(送受光部)がまっすぐに向き合っていますか。 ● 受信側を受信状態にした後、送信側からデータを送っていますか。 ● 光通信機能の選択は送信側、受信側とも同じですか。相手機によっては1データのみの光通信と複数データの光通信では、機能が違うことがあります。通信方法を合わせてください(☞403ページ)。 ● PI-8000などのPIシリーズザウルスと光通信する場合は、この製品の光通信方式が「ASK(9600bps)」に設定されていますか(☞403ページ)。 ● 相手機が**光送信**、**光受信**キーを使っていませんか。この製品と光通信するときは、ザウルスMI-C1シリーズ、MI-EX1では**操作メニュー**キー、**通信**タブ、**光通信...**、MI-P1/MI-P2シリーズではオリジナル画面で**光通信**、MI-600/MI-500/MI-100シリーズ、MI-10ではザウルス通信の**光**、MI-310では通信メニューの**光通信**、PIシリーズザウルスではメニューの**オプション**、**光通信**にタッチして行います。

補足説明

「テガルス」を使ってFAX送信する

NTTコミュニケーションズ(株)が提供している「テガルス」を使って、この製品から相手先のファクシミリにインターネットメールの本文などを送信することができます。
なお、「テガルス」のサービスを利用するには、申し込みが必要です。Sharp Space Townのホームページから申し込むことができます(URL:http://www.zaurusworld.ne.jp)。

「テガルス」のサービス内容やご利用料金、サービスへの申し込みについては、Sharp Space Townのホームページをご覧ください。

(2000年7月1日現在)

メモ

メモ